XC90

OWNER'S MANUAL

VÄLKOMMEN!

ボルボ社では、末永くお車をご愛顧いただけることを願っております。お買い上げいただいた車両は、運転者および同乗者の方々に安全で快適なドライビングをご提供できるように設計されています。ボルボ車は世界でもっとも安全な車の 1 つです。ボルボ車は、現在の安全・環境基準も満たしています。

ボルボ車をより一層お楽しみいただくために、本オーナーズマニュアルに記載されている説明およびメンテナンス情報をよくお読みになることをお薦めします。オーナーズマニュアルには、モバイルアプリ版(ボルボマニュアル)およびボルボ・カーズサポートサイト(support.volvocars.com)で利用できるウェブ版もあります。

TP 23240

目次

イントロダクション

オーナーズインフォメーションを見つける方法 14
車載のデジタルオーナーズマニュアル 15
デジタルオーナーズマニュアルの使い方 17
モバイル機器対応のオーナーズマニュアル 19
Volvo Cars サポートサイト 20
オーナーズマニュアルを読む 20
データの記録 23
アクセサリー、追加装備、および診断ソケットに関する重要情報 24
Volvo ID 24
Drive-E - さらにクリーンに走る喜びを 26
IntelliSafe - 運転者サポート 29
Sensus - オンライン接続性およびエンターテイメント 30
オーナーズマニュアルと環境 33
ウインド、ガラスおよびミラー 33
センターディスプレイの概要 34
センターディスプレイの操作 37
センターディスプレイのビュー内での移動 41
センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル 46
センターディスプレイの設定を変更する 47
機能ビューと車両機能用ボタン 48
センターディスプレイのキーボードの使用 50
画面に文字/単語を手書き入力する 54

重要です。必ずお読みください。

ご使用に際して！ 58
重要な安全上のご注意！ 59
火災および排気ガスに関するご注意 65
エンジン始動時のご注意！ 68
発進時のご注意！ 70
重要な操作上のご注意！ 70
してはいけないこと！ 75
その他使用上のご注意！ 85
踏切などで動けなくなったとき！ 85
万が一、事故を起こしてしまったら… 86
冬道での安全走行のポイント！ 87
タイヤ・ホイールについて！ 88
タイヤチェーンについて！ 89
燃料補給時のご注意！ 90
保証とアフターサービス 91

重要な安全上のご注意！

重要な安全上のご注意！ 94
妊娠中の安全確保のために 95
Whiplash Protection System 95
シートベルト 97
シートベルトテンショナー 97
シートベルトの着脱 98
ドアおよびシートベルトリマインダー 100
エアバッグ 102
運転席側および助手席側エアバッグ 102
助手席側エアバッグのオン/オフ* 104
サイドエアバッグ 106
インフレータブルカーテン 107
セーフティモード 108
セーフティモード起動後の車両の始動/移動 109
チャイルドセーフティ 110
チャイルドシート 111
チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント 113
チャイルドシート用のロアマウンティングポイント 114
車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表 116
i-Size/ISOFIX マウンティングポイント 118
ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表 119
i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表 122
インテグレーテッド・チャイルドシート* 123
インテグレーテッド・チャイルドシート・クッション* を引き上げる 124
インテグレーテッド・チャイルド・クッション* を下げる 124

計器およびコントロール装置

計器およびコントロール装置、左ハンドル車 128
計器およびコントロール装置、右ハンドル車 130
ドライバーディスプレイ 132
ドライバーディスプレイ設定 136
ドライバーディスプレイの表示灯 137
ドライバーディスプレイの警告灯 139
外気温計 141
時計 142
燃料計 142
ドライバーディスプレイのライセンス契約 143
ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー 149
ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する 150
ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージ 151
ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理 153
ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイから保存されたメッセージを管理する 154
ヘッドアップディスプレイ* 156
音声認識 159
音声認識を使用する 160

音声認識の設定 161
電話の音声認識コントロール 161
ラジオおよびメディアの音声認識操作 162
エアコンディショナーの音声操作 163
音声認識および地図ナビゲーション 164
フロントマニュアルシート 165
フロントパワーシート* 165
フロントパワーシート*の調節 166
フロントパワーシート*のメモリー機能を使用する 166
マルチファンクションフロントシート* 167
マルチファンクションフロントシート*の機能の調節 168
運転席から助手席シートを調節する* 170
2 列目シートのヘッドレストの調節 170
2 列目シートの前後位置の調節* 172
2 列目シートのバックレストの傾き調節 172
2 列目シートのバックレストを倒す 173
3 列目シート*への乗り降り 175
3 列目シート*のバックレストを倒す 176
ステアリングホイール 177
ステアリングホイールの調節 178
ライトスイッチ 178
ヘッドライト光軸補正 180
ポジションランプ 181
デイタイムランニングライト 182
ロービーム 182
ハイビームのオン/オフ 183
アクティブベンディングランプ* 186
フロントフォグランプ/コーナリングライト* 187
リアフォグランプ 187
ブレーキランプ 188
非常点滅灯 188
方向指示器を使用する 189
ルームランプ 190
ホームセーフライト点灯 192
アプローチライト点灯 193
ウインドスクリーンワイパーを使用する 193
レインセンサー のオン/オフ 194
ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャー 195
リアウインドワイパーおよびウォッシャー 196
パワーウインド 197
パワーウインドの操作 197
サンブラインドを使用する* 199
ドアミラーの調節 199
ルームミラー 201
コンパス* 202
コンパス*を校正する 203
パノラマルーフ* 204
パノラマルーフ*の操作 205
HomeLink®* 208
HomeLink®* のプログラミング 209
トリップコンピューター 211
ドライバーディスプレイにトリップデータを表示する 213
センターディスプレイに走行統計を表示する 215
センターディスプレイの設定 216
設定メニューのカテゴリー 217
設定メニューでシステム設定を変更する 218
設定メニューの設定のリセット 219
運転者プロフィール 220
運転者プロフィールの選択 221
運転者プロフィールの編集 221
リモートコントロールキーと運転者プロフィールの関連付け 222
アプリの設定を変更する 223
名義変更に伴うユーザーデータのリセット 224

エアコンディショナー

エアコンディショナー 226
エアコンディショナー - センサー 227
体感温度 227
空気の質 228
クリーンエアフィルター 229
Clean Zone Interior Package* 229
Interior Air Quality System* 229
エアコンディショナー 230
センターディスプレイのエアコンディショナー 231
トンネルコンソール後部のエアコンディショナー* 233
エアコンディショナーの自動調節 233
エアコンディショナーのオン/オフ 234
温度の調節 236
ファンレベルの調節 238
ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ 240
エアリサーキュレーションのオン/オフ 242
エアディストリビューション 243
エアディストリビューションの変更 244
空気吹出口の開閉および向き変更 245
エアディストリビューションオプション一覧表 246
シートヒーター*のオン/オフ 249
シートベンチレーション*のオン/オフ 250
ステアリングホイールヒーター*のオン/オフ 251
パーキングエアコンディショナー* 252
プリコンディショニング*の開始/停止 253
プリコンディショニングタイマー* 254
プリコンディショニングタイマー*の設定 254
プリコンディショニングタイマー*のオン/オフ 256
快適環境維持機能*のオン/オフ 257
パーキングエアコンディショナー*のシンボルおよびメッセージ 258
ヒーター* 259
パーキングヒーター* 260
アディショナルヒーター* 261

荷物の積み込みおよび収納

車内インテリア 264
トンネルコンソール 265
電源ソケット 266
グローブボックスの使用 270
サンバイザー 270
トランクルーム/カーゴスペース 271
荷物の積み込みに関する推奨事項 271
荷物固定用アイレット 273
バッグフック 274
ラゲッジカバー* 274
カーゴネット* 277
スチールガードネット* 279

ロックおよびアラーム

リモートコントロールキー 282
リモートコントロールキーの作動範囲 284
Red Key – 制限付きリモートコントロールキー* 285
スタートおよびロックシステムのアンテナ位置 286
外側からのロック/ロック解除 287
車両のロック/ロック解除の表示 290
内側からのロック/ロック解除 291
デッドロック* 293
テールゲートのロック/ロック解除 294
プライベートロックの使用 296
脱着式キーブレード 297
脱着式キーブレードによるロック/ロック解除 298
パワーテールゲート* 300
足の動きによるテールゲートの開閉* 303
リモートコントロールキーの電池交換 304
イモビライザー 307
チャイルドロック 308
アラーム* 309
アラームの自動セット/再セット* 311
リモートコントロールキーを使用しないアラーム*の解除 312
リモートコントロールキーシステムの型式認定 313

運転者サポート

速度感応式のステアリングホイール操舵力 322
スタビリティ・システム 322
エレクトロニック・スタビリティ・コントロール ESC 323
エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモード 324
エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのシンボルおよびメッセージ 325
速度リミッター* 327
速度リミッターの作動と起動 328
速度リミッターの速度を管理する 329
速度リミッターの解除/再作動 329
速度リミッターをオフにする 331
自動速度リミッター* 331
自動速度リミッターの作動/解除 333
自動速度リミッターの許容範囲の変更 334
クルーズコントロール 335
クルーズコントロールの作動と起動 336
クルーズコントロールの速度を管理する 337
クルーズコントロールの解除/再作動 338
クルーズコントロールを解除する 340
車間警告機能* 341
車間警告機能*の作動と車間時間の設定 342
車間警告機能*の限界 343
アダプティブクルーズコントロール* 344
アダプティブクルーズコントロール*の作動と起動 347
アダプティブクルーズコントロール*の速度を管理する 349
アダプティブクルーズコントロール*の車間時間の設定 350
アダプティブクルーズコントロール*の解除/作動 352
アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト 354
アダプティブクルーズコントロールによる追従対象車両変更およびオートブレーキ 355
アダプティブクルーズコントロール*の限界 356
クルーズコントロール とアダプティブクルーズコントロール* を切り替える 357
アダプティブクルーズコントロール*のシンボルおよびメッセージ 359
Pilot Assist* 361
Pilot Assist*の作動と起動 365
Pilot Assist*の速度を管理する 367
Pilot Assist*の車間時間の設定 368
Pilot Assist*のオフ/オン 369

Pilot Assist*による対象車両の変更とオートブレーキ 371
Pilot Assist*の限界 373
Pilot Assist*のシンボルおよびメッセージ 375
レーダーユニット 376
レーダーユニットの限界 378
レーダーユニットの型式認定 382
カメラユニット 386
カメラユニットの限界 387
City Safety 390
City Safety の警告距離の設定 393
City Safety による障害物の検知 394
City Safety の横方向の交通への対応 396
回避操作ができない場合の City Safety 397
City Safety の限界 398
City Safety に関するメッセージ 401
Rear Collision Warning 402
BLIS* 402
BLIS*を起動/解除する 404
BLIS*の限界 404
Cross Traffic Alert* 405
Cross Traffic Alert*を起動/解除する 406
Cross Traffic Alert の機能の限界 407
BLIS* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ 409
ロード・サイン・インフォメーション* 410
ロード・サイン・インフォメーションの標識表示 411
ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定 413
ロード・サイン・インフォメーションおよびスピード違反取り締まりカメラ情報* 414
ロード・サイン・インフォメーション*の限界 415
Driver Alert Control 416
Driver Alert Control を起動/解除する 417
Driver Alert Control の限界 418
レーン・キーピング・エイド 418
レーンアシストをオン/オフにする 421
レーンアシストのシンボルおよびメッセージ 422
衝突の危険があるときのアシスト 424
衝突の危険があるときのアシストのシンボルおよびメッセージ 425
車線逸脱回避ステアリングアシスト 426
正面衝突回避ステアリングアシスト 428
追突回避ステアリングアシスト* 429
パークアシスト* 431
パークアシスト*の作動/解除 433
パークアシスト*の限界 434
パークアシスト*のシンボルおよびメッセージ 436
パークアシスト・カメラ* 437
ガイドラインとパークアシスト・カメラ*の視野 439
パークアシスト・カメラ*の起動 441
パークアシスト・カメラ*の機能の限界 442
パークアシスト・カメラ*のシンボルおよびメッセージ 444
パークアシスト・パイロット* 446
アクティブパークアシスト*による駐車 447
パークアシスト・パイロット*の限界 451
パークアシスト・パイロット*に関するメッセージ 453

運転操作の要領

アルコールロック* 456
アルコールロックのバイパス* 456
アルコールロックを使用してエンジンを始動する前に 457
イグニッション位置 457
車両の始動 459
車両をオフにする 460
ステアリングホイールロック 461
別のバッテリーによるジャンプスタート 461
トランスミッション 462
オートマチックトランスミッションのギヤポジション 463
ギヤシフトインジケーター* 465
ギヤセレクターインヒビター 466
ステアリングホイールパドルによるギヤチェンジ* 467
Start/Stop 468
Start/Stop 機能の使用 468
Start/Stop 機能の条件 470
ドライブモード* 472
ECO ドライブモード 475
オートレベライザー*および衝撃吸収 477
AWD(全輪駆動車)* 479
ブレーキ機能 479
フットブレーキ 479
アダプティブブレーキランプ 481
制動力増幅 481
衝突後のオートブレーキ 482
パーキングブレーキ 482
パーキングブレーキを使用する 483
パーキングブレーキに不具合がある場合 485
ヒル・スタート・アシスト 486
停車時のオートブレーキ 486
低速コントロール* 487
ヒルディセントコントロール* 488
水たまりでの運転 489
エンジンおよび駆動システムのオーバーヒート 490
メインバッテリーへの過剰な負荷 491
長距離走行の準備 492
冬季の運転 492
燃料給油口フラップの開閉と給油 493
燃料の取り扱い 495
ガソリン 496
ディーゼル 496
ディーゼルエンジン車のタンクが空になった場合 497
ディーゼル微粒子除去フィルター 498
経済走行 499
トーイングブラケット* 500
格納式トウバー* 500
トーイングブラケット*の仕様 502
トレーラーなどのけん引 503
トレーラーランプ 505
トレーラー・スタビリティ・アシスト* 506
けん引フック 507
けん引 508
車両移動 510

オーディオ・メディア

オーディオ・メディア 512
アプリ 512
オーディオ設定 513
ラジオ 514
ラジオ放送局の変更および検索 514
ラジオの設定 516
メディアプレーヤー 516
メディア再生 517
Gracenote® 520
メディアの検索 520
CD プレーヤー* 521
Bluetooth® 経由のメディア 521
Bluetooth® 経由でデバイスを接続する 522
USB ポート経由のメディア 522
USB ポート経由でデバイスを接続する 522
ビデオ 523
メディアのオーディオ設定 523
テレビ* 524
TV*の使用 524
Apple CarPlay* 526
Apple CarPlay*の使用 527
Apple CarPlay*の設定 528
Android Auto* 529
Android Auto*の設定 530
メディアの技術仕様 531
電話 532
携帯電話の接続 533
携帯電話の接続/切断 534
通話の操作 535
テキストメッセージの操作 536
電話帳の管理 537
電話の設定 538
テキストメッセージの設定 538
Bluetooth® 設定 539
オンライン車両* 539
車両に接続する 540
Wi-Fi ホットスポットによるインターネットの共有 541
インターネット接続なし/接続不良 542
Wi-Fi ネットワークを削除する 543
Wi-Fi の技術とセキュリティ 543
カーモデム*の設定 544
アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール 544
オーディオ・メディアのライセンス契約 546
サービスの利用規約とお客様の個人情報保護方針 557

ホイールおよびタイヤ

タイヤ 560
タイヤの回転方向 561
タイヤのトレッド摩耗インジケーター 562
タイヤ空気圧の点検 562
タイヤ・モニタリング* 563
タイヤ・モニタリング・システム*によるタイヤ空気圧の点検 565
タイヤ・モニタリング*によるタイヤ空気圧の修正 566
タイヤ・モニタリング*の校正 567
緊急パンクリペアーキット 568
緊急パンクリペアーキットを使用する 569
緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる 572
タイヤを交換する場合 573
ホイールの取り外し 574
ホイールの取り付け 576
ホイールボルト 577
スペアタイヤ* 577
ウインタータイヤ 578
ツールキット 579
三角警告板(停止表示板) 580
ジャッキ* 581
救急用品キット 582

ホイールリムのサイズ表示 582
タイヤのサイズ表示 582

保守点検

ボルボメンテナンスサービスプログラム 586
車両状態 586
コネクテッド・サービス予約 586
リモートアップデート 589
システムアップデート 589
車両を持ち上げる 591
ボンネットの開閉 593
エンジンルームの概要 594
エンジンオイル 595
エンジンオイルの点検と補充 596
クーラントの補充 598
エアコンディショナーシステムの点検整備 599
ランプ交換 600
ロービームランプ交換 602
ヘッドライトの楕円形カバーを外す 603
ハイビームランプ交換 604
デイタイムランニングライト/ポジションランプのランプ交換 604
フロント方向指示器ランプ交換 605
バルブ仕様 606
サービスポジションのワイパーブレード 606
ワイパーブレードの交換 607
ウォッシャー液リザーバータンク 609
メインバッテリー 609
バッテリーに表示されているシンボル 612
補助バッテリー 613
ヒューズ 615
ヒューズの交換 615
ヒューズ – エンジンルーム内 616
ヒューズ – グローブボックス下 619
ヒューズ – カーゴスペース内 623
エクステリアの清掃 627
磨きおよびワックスがけ 630
防錆 630
内装の清掃 631
センターディスプレイの清掃 632
塗装の損傷 633
塗装面の補修 634

仕様

タイプの表示 636
寸法 639
重量 641
けん引重量およびトウボール荷重 642
エンジンの仕様 644
エンジンオイル – 仕様 645
エンジンオイルに対して過酷な走行条件 646
クーラント – 仕様 647
トランスミッションフルード – 仕様 647
ブレーキフルード – 仕様 647
燃料タンク – 容量 648
エアコンディショナー – 仕様 648
燃料消費量および CO2 排出量 650
承認タイヤ空気圧 651

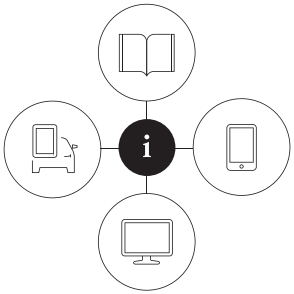
50 音順索引

50 音順索引 653

イントロダクション

オーナーズインフォメーションを見つける方法

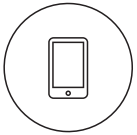
オーナーズインフォメーションには数種類の製品形式があり、デジタル版と印刷版の両方で提供されています。オーナーズマニュアルには車両のセンターディスプレイ版、モバイルアプリ版、ボルボ・カーズサポートサイトで利用できるウェブ版があります。グローブボックスには、仕様およびヒューズに関する情報などを収録したSUPPLEMENT TO THE OWNER'S MANUAL(オーナーズマニュアル付録冊子)とQuick Guide が収納されています。オーナーズマニュアルの印刷版は別売りです。



車両のセンターディスプレイ[1]

センターディスプレイのトップビューを下方向にドラッグして、**オーナーズマニュアル**をタップします。ここには、車両のエクステリア画像およびインテリア画像を使用したビジュアル操作ガイドのオプションがあります。情報はカテゴリーに分類されており、検索することもできます。

モバイルアプリ



App Store または Google Play で「ボルボマニュアル」を検索してアプリをスマートフォンまたはタブレットにダウンロードし、車両を選択します。アプリには、車両のエクステリア画像およびインテリア画像を使用したビジュアル操作ガイドのビデオチュートリアルおよびオプションがあります。オーナーズマニュアルはセクション間を簡単に移動することができます。また、内容は検索可能です。

ボルボ・カーズサポートサイト

support.volvocars.com のページを表示して、国を選択します。ここでは、オーナーズマニュアルをオンラインおよびPDF ファイル形式で利用することができます。ボルボ・カーズサポートサイトには、ビデオチュートリアルをはじめ、お客様の車両や車両の保有に関して役立つ情報も掲載されています。サポートページは多くの市場で利用することができます。

印刷版のマニュアル

グローブボックスには、仕様およびヒューズに関する情報を収録したSUPPLEMENT TO THE OWNER'S MANUAL(オーナーズマニュアル付録冊子)[1] が収納されています。この付録冊子には、重要情報や実用的な情報もまとめられています。

Quick Guide も印刷版として提供され、車両でよく使われる機能について最初に読んでおくと役立つ情報が収録されています。

選択した装備レベルや市場などにより、他にも印刷版で提供される可能性のあるオーナーズインフォメーションがあります。

[1] センターディスプレイのオーナーズマニュアルに対応していない市場向けの車両には、完全版オーナーズマニュアルの印刷版が付属します。

印刷版のオーナーズマニュアルおよび関連の付録は別途注文することができます。注文については、ボルボディーラーにお問い合わせください。

センターディスプレイの言語を変更する

センターディスプレイの言語は変更できますが、オーナーズインフォメーションが国や地域の法令に該当しないことがあります。理解しづらい言語には変更しないでください。画面のメニューに戻る方法がわかりにくくなる場合があります。

重要

安全運転を行い、適用される法律や規則に従う責任は、つねに運転者にあります。また、オーナーズマニュアルに記載されているボルボの推奨事項に従って、車両の維持および取り扱いを行うことも重要です。

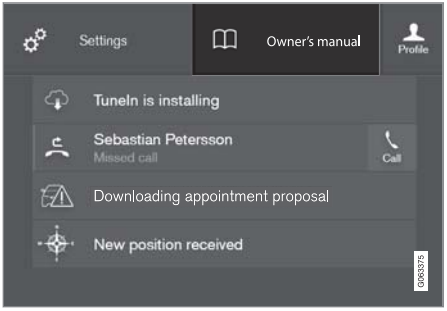
万が一、センターディスプレイの情報とマニュアル(印刷版)の情報が異なる場合、必ず印刷版のマニュアルに記載されている情報に従ってください。

関連情報

- 車載のデジタルオーナーズマニュアル (p. 15)
- モバイル機器対応のオーナーズマニュアル (p. 19)
- Volvo Cars サポートサイト (p. 20)
- オーナーズマニュアルを読む (p. 20)

車載のデジタルオーナーズマニュアル

車両のセンターディスプレイでデジタル[2]オーナーズマニュアルを使用することができます。



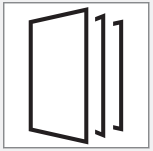
デジタルオーナーズマニュアルはトップビューから利用できます。

デジタルオーナーズマニュアルを見る – センターディスプレイのトップビューを下方向にドラッグして、**オーナーズマニュアル** をタップします。

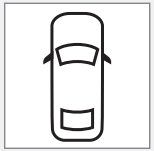
注意

走行中にデジタルオーナーズマニュアルを利用することはできません。

デジタルオーナーズマニュアルには、目的の情報を見つけるためのさまざまなオプションが用意されています。これらのオプションには、オーナーズマニュアルのスタートページからアクセスすることができます。トップメニューから ☰ をタップすると、オプションが表示されます。

オーナーズマニュアルのメニューに表示されるシンボルと意味	
	オーナーズマニュアルのスタートページを表示します。
	カテゴリー別にまとめられた項目。同じ項目が複数のカテゴリーに分類されていることがあります。
	特に役立つ項目とそのリンクが表示された Quick Guide ページへ移動します。車両に関する一般的な質問への回答を提供します。

[2] ほとんどの市場で利用することができます。

オーナーズマニュアルのメニューに表示されるシンボルと意味	
	車両のエクステリアおよびインテリアの概略図。さまざまな箇所がホットスポットとして指定され、各箇所に関する項目と関連付けられています。
	ここには、「お気に入り」として登録した項目がすべてまとめられます。

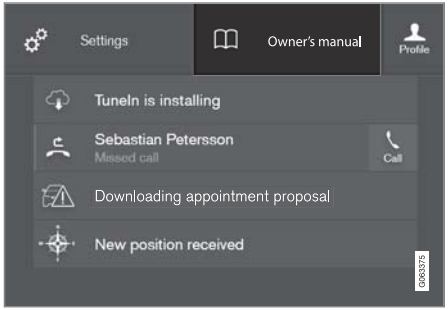
オーナーズマニュアルのメニューに表示されるシンボルと意味	
	車内のさまざまな機能を説明する短いビデオチュートリアルを表示します。
	車内で利用できるオーナーズマニュアルのバージョンを表示するとともに、その他の役立つ情報を提供します。

関連情報

- デジタルオーナーズマニュアルの使い方 (p. 17)

デジタルオーナーズマニュアルの使い方

デジタルオーナーズマニュアルは車内のセンターディスプレイから利用することができます。コンテンツは検索可能で、セクション間の移動も簡単です。



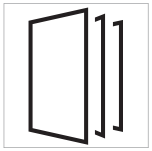
デジタルオーナーズマニュアルはトップビューから利用できます。

デジタルオーナーズマニュアルを見る

– デジタルオーナーズマニュアルを見る – センターディスプレイのトップビューを下方向にドラッグして、**オーナーズマニュアル** をタップします。

デジタルオーナーズマニュアルには、目的の情報を見つけるためのさまざまなオプションが用意されています。オーナーズマニュアルメニューにアクセスするには、オーナーズマニュアルの上部バーにある ☰ をタップしてください。

カテゴリーによる検索



オーナーズマニュアルの項目は、メインカテゴリーおよびサブカテゴリーの形式に構成されています。検索性を向上させるために、同じ項目が複数の適切なカテゴリーに分類されています。

1. ☰ をタップして、**カテゴリー** を選選します。
   › メインカテゴリーがリストで表示されます。
2. 任意のメインカテゴリー(❑)をタップします。
   › サブカテゴリー(❑)と項目(🗎)のリストが表示されます。
3. 項目名をタップすると、項目が開きます。戻るには、戻る矢印キーをタップします。

エクステリアおよびインテリアのホットスポット

車両のエクステリアおよびインテリアの概略図。さまざまな箇所がホットスポットとして指定され、各箇所に関する項目と関連付けられています。

1. ☰ をタップして、**エクステリア/インテリア** を選択します。
   › ホットスポットを特定したエクステリア/インテリア画像が表示されます。ホットスポットからは、車両の関連箇所に関する項目に移動できます。画面を横方向にスワイプすると、前後の画像を表示できます。
2. ホットスポットをタップします。
   › その箇所に関する項目のタイトルが表示されます。
3. タイトルをタップすると、項目が開きます。戻るには、戻る矢印キーをタップします。

よく使われる機能を Quick Guide で調べる

車両でもっともよく使用される機能に関して特に役立つ項目と、そのリンクが表示されたページへ移動します。項目はカテゴリーを使用して閲覧することもできますが、ここでは、素早く閲覧できるようにまとめられています。目的の項目をタップすると、全文を読むことができます。

お気に入り

ここには、お気に入りとして保存されている項目があります。目的の項目をタップすると、全文を読むことができます。

項目をお気に入りとして保存する/お気に入りから削除する

項目が開いているときに右上の ☆ をタップすると、項目がお気に入りとして保存されます。お気に入りとして保存されると、星印が塗りつぶされます：★。

お気に入りから項目を削除するには、現在の項目の星印をもう一度タップします。

ビデオ

車内のさまざまな機能を説明する短いビデオチュートリアルを表示します。

インフォメーション

このシンボルをタップすると、車内で利用できるオーナーズマニュアルのバージョンに関する情報とともに、その他の役立つ情報が表示されます。

スタートページ

このシンボルをタップすると、オーナーズマニュアルのスタートページに戻ります。

検索機能の使用

1. オーナーズマニュアルのトップメニューの 🔍 をタップします。画面の下側にキーボードが表示されます。
2. キーワード(「シートベルト」など)を入力します。
   > 文字を入力すると、候補の項目とカテゴリーが表示されます。
3. 表示された項目/カテゴリーをタップすると、アクセスすることができます。

関連情報

- 車載のデジタルオーナーズマニュアル (p. 15)
- センターディスプレイのキーボードの使用 (p. 50)

モバイル機器対応のオーナーズマニュアル

オーナーズマニュアルはモバイルアプリ[3]としてApp StoreおよびGoogle Playからダウンロードすることができます。アプリはスマートフォンおよびタブレット向けに編集されています。

オーナーズマニュアルはモバイルアプリとしてApp StoreまたはGoogle Playからダウンロードすることができます。ここに表示されているQRコードを使用すると、アプリに直接移動できます。App StoreまたはGoogle Playで「Volvo manual」(ボルボマニュアル)を検索する方法もあります。

このアプリには、動画とエクステリア画像およびインテリア画像が含まれており、車両のさまざまな部分が「ホットスポット」として強調され、各箇所に関する項目と関連付けられています。オーナーズマニュアルはセクション間を簡単に移動することができます。また、内容は検索可能です。

モバイルアプリはApp StoreおよびGoogle Playからダウンロードすることができます。

関連情報

- オーナーズマニュアルを読む (p. 20)
- Volvo Cars サポートサイト (p. 20)

[3] 一部のモバイル機器のみ。

Volvo Cars サポートサイト

車両に関する詳しい情報は、ボルボ・カーズのウェブサイトとサポートサイトで入手できます。

インターネットでのサポート

サポートサイトのページを表示するには、support.volvocars.com に移動してください。サポートサイトはほとんどの市場で利用することができます。

Volvo On Call*、ナビゲーションシステム*およびアプリなど、ウェブベースのサービスや機能に関するサポート情報が掲載されています。ビデオやステップ・バイ・ステップの指示で、さまざまな手順(携帯電話経由で車両をインターネットに接続する方法など)について解説します。

ダウンロード可能な情報

地図

Sensus Navigation 装備車では、サポートページから地図をダウンロードすることができます。

PDF 形式のオーナーズマニュアル

オーナーズマニュアルは PDF 形式のファイルとしてダウンロードすることができます。必要に応じてマニュアルをダウンロードするときには、車両モデルおよびモデルイヤーを選択してください。

連絡先

サポートサイトには、カスタマーサポートとお客様の最寄りのボルボディーラーの連絡先が掲載されています。

ボルボ・カーズのウェブサイトにログインする

個人用 Volvo ID を作成して、www.volvocars.com にログインします。ログインが完了すると、サービス、契約および保証の概要を確認することができます。ここには、お客様の車両モデルに対応するアクセサリーやソフトウェアに関する情報もあります。

関連情報

- Volvo ID (p. 24)

オーナーズマニュアルを読む

運転の前に、ボルボ車についてご理解いただくため、オーナーズマニュアルを十分にお読みください。

オーナーズマニュアルをお読みになると、新しい機能をご理解いただけると共に、さまざまな状況で適切な判断ができ、また車両の色々な機能を十分にご活用いただけます。オーナーズマニュアルに記載されている、注意、警告指示を厳守してください。

製品改良のため、開発作業はつねに続けられています。改良により、オーナーズマニュアルに収録されている情報、説明および図が実際の車両と異なる場合があります。製造者(メーカー)が予告なく変更する場合があります。

このマニュアルは、車両の外へ持ち出さないでください。問題が発生した場合、専門家によるサポートの提供先や問い合わせ方法に関する必要な情報を見つけることができなくなります。

© ボルボ・カー・コーポレーション

オプション/アクセサリー

標準装備の他に、オプション装備(メーカーオプション)やアクセサリー装備(ディーラーオプション)などについても記載されています。

このオーナーズマニュアルでは、オプション/アクセサリーには必ず*マークが付いています。

オーナーズマニュアルに記載されていても、車両にその装備がない場合があります。車両の装

* オプション/アクセサリー。

備は、各市場でのニーズや、国、地域の法規に適合するようになっています。

標準装備またはオプション/アクセサリー装備についてご不明な点は、ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください。

特別なテキスト

⚠ 警告

ケガのおそれがある場合は、警告テキストが表示されます。

重要

損傷のおそれがある場合は、「重要」と表示されます。

注意

「注意」には、装備や機能を使いやすくするためのヒントなどが記載されています。

脚注

オーナーズマニュアルには、ページの下部または表の最後に脚注の形で情報が収録されています。これは、本文中の番号に対応した補足情報です。表内の記載に対応した脚注の場合は、参照先の番号ではなく文字が使用されています。

ディスプレイテキスト

車内には、メニューテキストとディスプレイテキストを表示するディスプレイがあります。オーナーズマニュアルでは、ディスプレイに表示されるテキストと通常のテキストは書体が異なります。メニューテキストおよびディスプレイテキストの例：**電話**、**新しいメッセージ**。

表示ラベル

重要な情報を簡潔かつ明確な方法で表示するように、車内にはさまざまな表示ラベルが使用されています。表示ラベルは、警告/情報の重要度に応じて次のように分類されています。

ケガに対する警告

黄色地に黒の ISO シンボル、メッセージ欄は黒地に白字テキスト/イメージ。危険な状況であることを示すために使用。この警告を無視した場合、大ケガや死亡にいたるおそれがあります。

重大な損傷のおそれ

黒地または青地の警告欄およびメッセージ欄に、白の ISO シンボルおよび白字テキスト/イメージ。危険な状況であることを示すために使用。この警告を無視した場合、物品などが損傷を受けるおそれがあります。

インフォメーション

黒地のメッセージ欄に、白の ISO シンボルおよび白字テキスト/イメージ。

注意

オーナーズマニュアルに掲載されている表示ラベルは、車両の表示ラベルと若干異なっている場合があります。ラベル掲載の目的は、ラベルの概観と車両に貼られている位置を示すことです。お客様の車両に関する情報は、車両内の各ラベルに記載されています。

作業手順のリスト

このオーナーズマニュアルでは、指定の順番で行うべき作業手順には、番号が付いています。

1 作業手順がステップ・バイ・ステップで図示されている場合は、図の中に手順に対応した番号が付いています。

A 作業手順を指定の順番で行う必要がない場合は、文字の付いた箇条書きの説明が図の近くにあります。

1 矢印(番号付きの矢印、番号のない矢印の両方があります)は、可動部分の動きを示すためのものです。

A 順序を変えても問題がない場合には、動きをはっきりさせるために文字を伴った矢印が使用されています。

作業手順がステップ・バイ・ステップで図示されていない場合は、手順を示す番号には普通の字体が使われています。

位置リスト

1 図の中の色々なコンポーネントを指し示すには、赤丸付きの番号が使用されています。図のそばに位置リストがあり、それぞれの番号は図の中の番号と対応しています。

箇条書き

順不同のものを表記するときは、黒丸付きの箇条書きが使用されています。

例：

- クーラント
- エンジンオイル

関連情報

密接に関連している情報を含む他の項目を指しています。

図

オーナーズマニュアルのイラストは特定の機能の例または全体像を示すことが目的であり、略図が使用されていることがあります。イラストは、装備レベルや市場によっては、実際の車両と外観が異なる場合があります。

次ページに続く

▶▶ このシンボルは、項が次ページに続いている場合、ページの右下に表示されます。

前ページから続く

◀◀ このシンボルは、項が前ページから続いている場合、ページの左上に表示されます。

関連情報

- 車載のデジタルオーナーズマニュアル (p. 15)
- モバイル機器対応のオーナーズマニュアル (p. 19)
- Volvo Cars サポートサイト (p. 20)

データの記録

ボルボ社の安全および品質保証の一環として、車両の作動、機能および事故に関する特定の情報が車両に記録されます。

この車両には「Event Data Recorder」 (EDR)が装備されています。この装置の主な目的は、交通事故や、エアバッグが作動する、または車両が路上の障害物にぶつかるといった、衝突に似た状況に関連するデータを記録することです。データは、こういった種類の状況下で車両システムがどのように作動するかについて理解を深めるために記録されます。EDR は車両の運動状態および安全システムに関するデータを、短時間(通常 30 秒以下)記録するよう設計されています。

この車両に搭載された EDR は交通事故、または衝突に似た状況があった場合に、以下に関するデータを記録するよう設計されています。

- 車内のさまざまなシステムがどのように作動したか
- 運転席および助手席のシートベルトは作動したか
- 運転者によるアクセルまたはブレーキペダルの使用
- 車両の走行速度

この情報は、弊社が交通事故、ケガ、車両の損傷が発生する状況をより把握するために役立ちます。EDR は、重大な衝突状況が発生した場合にのみデータを記録します。EDR は、通常の走行状況下では一切データの記録を行いません。同様に、誰が運転しているか、または事故やニアミス状況の地理的な位置に関するデータをシステムが記録することはありません。ただし警察などの第三者が、交通事故後に規定に沿って収集した個人情報の類と共に記録されたデータを使用する場合があります。データを解析するには、車両または EDR にアクセスするための特殊な機器およびアクセス権が必要です。

EDR に加え、車両には車両の機能を継続的に確認しモニターするよう設計された、多数のコンピューターが搭載されています。これらのコンピューターは通常の走行時にデータを記録することができますが、特に車両の操作や機能性に影響する不具合を記録したり、車両の運転者サポート機能(例:City Safety やオートブレーキ機能)が起動したときのデータを記録することができます。

記録された一部のデータは、サービスおよびメンテナンスメカニックが車両に発生した不具合を診断し、修理するために必要です。記録された情報はまた、ボルボが法律および政府当局によって定められた法的要件を満たすために必要です。車両で記録された情報は、該当の車両がサービスまたは修理を受けるまで、車内のコンピューターに保存されます。

上記に加え、記録された情報は、ボルボ車両の安全性および品質の継続的な向上を目的とした研究や製品開発のために、集計形式で使用される場合があります。

車両所有者の同意なしに、ボルボが上述の情報を第三者に開示することはありません。国の法令および規制を順守するため、ボルボはこれらの情報へアクセスする法的権利を行使する警察または当局へ、関わる情報を開示せざるを得ない場合があります。車両のコンピューターに記録された情報を読み取り、解析するためには特殊な機器が必要です。ボルボ社およびボルボ社と契約を結んでいるサービス工場がこの機器へのアクセス権を持っています。ボルボ社は、点検整備時にボルボに転送される情報が、安全な方法で保管ならびに処理され、その処理が適用される法的要件を満たすものであるように保証する責任を負っています。詳しくはボルボディーラーにお問い合わせください。

アクセサリー、追加装備、および診断ソケットに関する重要情報

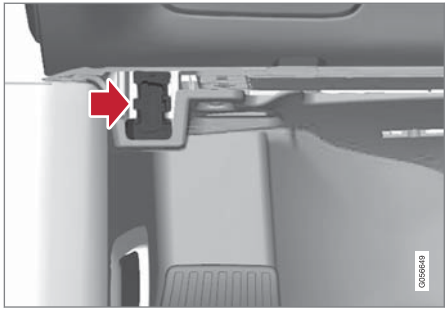
アクセサリーや追加装備、またはソフトウェア/診断ツールの不適切な接続や取り付けは、車両の電気系統に支障をきたすおそれがあります。

一部のアクセサリーは、車両のコンピューターシステムに関連ソフトウェアをインストールしないと正常に作動しません。このため、ボルボは、電気系統に接続または影響するアクセサリーを取り付ける前に、ボルボ指定のサービ ス工場に必ずお問い合わせされることをお薦めします。

車両の診断ソケットへ設備を接続する

⚠ 警告

On-board Diagnostic ソケット(OBDII)に非承認の装置を接続した場合、その影響に対してボルボ・カーズでは一切責任を負いません。このソケットは、必ず訓練を受けた有資格のボルボサービスメカニックが使用する必要があります。



故障診断ソケット OBDII は、運転席側のメーター・パネルの下にあります。

Volvo ID

Volvo ID を使用すると、幅広い個人向けボルボメンテナンスサービス[4]にオンラインでアクセスすることができます。

Volvo ID は車両、volvocars.com または Volvo On Call アプリ[5] から作成することができます。一部の機能およびサービスを利用するには、車両が個人の Volvo ID に登録されている必要があります。Volvo ID を車両に登録すると、さまざまなボルボメンテナンスサービスを車両から直接利用できるようになります。

サービスの例：

- Volvo On Call* - Volvo On Call アプリへのログイン時に Volvo ID が使用されます。
- 車両に送信 - インターネット上の地図サービスから住所を車両に直接送信することができます。
- コネクテッド・サービス予約 - お気に入りサービス工場/ディーラーを volvocars.com に登録して、サービスを車両から直接予約できるようにします。

Volvo ID の作成

Volvo ID はいくつかの方法で作成することができます。Volvo ID を volvocars.com または Volvo On Call アプリで作成した場合、さまざまな Volvo ID サービスを使用できるようにす

[4] 利用できるサービスは、時間の経過とともに変化することがあります。また、装備レベルや市場によっても異なります。
[5] Volvo On Call* の利用契約が必要です。

るには、Volvo ID を車両にも登録する必要があります。

Volvo ID アプリを使用する

1. センターディスプレイのアプリビューで **ダウンロードセンター** から Volvo ID アプリをダウンロードします。
2. アプリを起動して、個人用メールアドレスを登録します。
3. 指定のメールアドレスに自動送信されてくる指示に従います。
   > Volvo ID が作成され、車両に自動的に登録されます。これで Volvo ID サービスを利用することができます。

ボルボ・カーズのウェブサイトで

1. www.volvocars.com に移動し、右上のアイコンを使用してログインします[6]。Volvo ID の作成を選択します。
2. 個人用メールアドレスを入力します。
3. 指定のメールアドレスに自動送信されてくる指示に従います。
   > これで Volvo ID が作成されました。ID を車両に登録する方法については、以下を参照してください。

Volvo On Call モバイルアプリ[7] を使用する

1. App Store、Windows Phone、Google Play などを経由してスマートフォンから最新版の Volvo On Call アプリをダウンロードします。
2. アプリのスタートページから Volvo ID の作成を選択し、個人用メールアドレスを入力します。
3. 指定のメールアドレスに自動送信されてくる指示に従います。
   > これで Volvo ID が作成されました。ID を車両に登録する方法については、以下を参照してください。

Volvo ID を車両に登録する

Volvo ID をウェブまたは Volvo On Call アプリで作成した場合、以下の手順で車両に登録してください。

1. まだダウンロードしていない場合、Volvo ID アプリをアプリビューの **ダウンロードセンター** からダウンロードします。
2. アプリを起動し、ご自分の Volvo ID/メールアドレスを入力します。
3. Volvo ID に関連付けられているメールアドレスに自動送信されてくる指示に従います。
   > これで Volvo ID が車両に登録されました。Volvo ID サービスを利用することができます。

注意

アプリをダウンロードするには、車両をインターネットに接続する必要があります。

Volvo ID の利点

- ユーザー名 1 つとパスワード 1 つでオンラインサービスにアクセスできます。ユーザー名 1 つとパスワード 1 つを覚えておくだけです。
- サービス(Volvo On Call など)のユーザー名/パスワードを変更すると、その他のサービスのユーザー名/パスワードも自動的に変更されます。

関連情報

- アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール (p. 544)
- 車両に接続する (p. 540)

[6] 一部市場でのみ利用可能。
[7] Volvo On Call* の利用契約が必要です。

Drive-E – さらにクリーンに走る喜びを

ボルボでは、環境への悪影響を減らすために、より安全でより効率的な製品およびソリューションの開発に取り組み続けています。

環境への配慮はボルボ・カーズの本質的価値であり、すべての事業に影響をおよぼします。環境研究は車両のライフサイクル全体に基づくもので、設計から廃棄およびリサイクルにいたるまでの期間で車両が環境におよぼす影響を考慮します。ボルボ・カーズには、「ボルボの開発する新製品は必ず先代の製品よりも環境への影響が小さいものでなければならない」という基本理念があります。

ボルボで環境管理に取り組んだ結果、環境保護にさらに効果的で、低公害化を実現するドライブライン Drive-E が開発されました。ボルボは個人環境も重視します。例えば、エアコンディショナーシステムの働きにより、車内の空気は車外の空気よりもきれいです。

ボルボ車は厳しい国際環境基準に適合します。ボルボの製造工場はすべて、ISO 14001 認証を取得する必要があります。この認証取得により、事業に伴う環境問題に対して体系的な取り組みが可能になり、環境影響を低減しつつ改善を継続することができます。ISO 認証の取得は、現行の環境法令および規制を順守していることも意味します。ボルボはパートナーにもこの認証の取得を要求しています。

燃費

車両の全体的な環境影響の大部分はその使用によるものであるため、ボルボ・カーズの環境への取り組みでは、燃料消費量、二酸化炭素排出量、その他の空気汚染物質の低減を重視しています。ボルボ車は、非常に効率のよい燃費を

誇っています。燃費がよければよいほど、温室効果の原因となる二酸化炭素の排出量が少なくなります。

環境向上への貢献

エネルギー効率および燃料効率に優れた車両は、環境影響の低減に貢献するだけでなく、維持費の低減にもつながります。運転者は簡単に燃料消費量の低減を図ることができるため、燃料費を節約すると同時に環境の向上に貢献することになります。以下はいくつかのヒントです。

- 効果的な平均速度をあらかじめ想定してください。速度が約 80 km/h (約 50 mph)を超える場合、または 50 km/h (約 30 mph)未満の場合、エネルギー消費量が増加します。
- メンテナンスノート(整備手帳)で推奨されている間隔に従って、車両の点検整備を行ってください。
- 無用なアイドリングは避けてください。長時間停車するときは、エンジンを停止してください。地域の規則に従って、交通法規を遵守してください。
- 計画的に走行してください。何度も不必要に停止したり、走行速度にばらつきがあると、燃料消費量が増加します。
- 寒冷時の始動では、プリコンディショニング*を使用してください。寒冷時の始動性が向上し、摩耗が減少します。エンジンが暖機されるまでの時間が短縮され、燃料消費量と排気ガス量が低減されます。

使用済みのバッテリーやオイルなど、環境に有害な廃棄物は、環境に配慮した適切な方法で処理してください。この種の廃棄物の処理についてご不明な点は、ボルボ指定のサービス工場にご相談ください。

効率のよいエミッションコントロール

ボルボ車は「内も外もクリーン」というコンセプトの基に設計されています。このコンセプトは、車内の空気を清浄に保ち、なおかつ車外に排出されるガスをできるだけ効率よくコントロールすることを指しています。ボルボ車の排気ガスは、現在の排気ガス規制値のほとんどを大幅に下回ります。

車内の空気を清浄に保つ

クリーンエアフィルターは、空気取入口から埃や花粉が車内に侵入することを防ぎます。

インテリア・エア・クオリティ・システム(IAQS)*が、車内に取り入れられる空気を外気よりも清浄に保ちます。

このシステムは、車内の空気から、粒子状物質、炭化水素、窒素酸化物、地表オゾンなどの有害物質を除去します。センサーが外気の汚れを感知すると空気取入口を閉じて、内気のリサーキュレーションに切り替えます。このような状況は、渋滞走行時やトンネル通過時などに発生する場合があります。

IAQS はクリーン・ゾーン・インテリア・パッケージ(CZIP)*に含まれています。このパッケージには、車両をリモートコントロールキーでロック解除したときにファンを作動できるようにする機能も含まれています。

インテリア

ボルボ車のインテリアには厳選された素材が使用されており、快適にお使いいただけるように検査を実施しています。細部の中には手製の箇所もあります。ステアリングホイールの継ぎ目などは手で縫合されています。インテリアは、高温や強い光にさらされたときに不快感の原因になる強烈な臭いや化学物質を発することがないようにモニターされます。

ボルボのサービス工場と環境

定期的にメンテナンスを受けることにより、車両の耐用年数が長くなるだけでなく、燃料消費量も低減します。これは、環境保全への貢献にもつながります。ボルボ指定のサービス工場に修理やメンテナンスをご依頼いただければ、ボルボ社のシステムに基づいて適切な整備を実施します。ボルボ社では、サービス工場から出るガス、廃液、廃棄物などはできるだけ環境に悪影響を与えない方法で処理するなど、環境対策を徹底させています。ボルボ指定のサービス工場には、環境対策に関するボルボの教育・訓練を受けたメカニックがおり、必要な機器や工具も揃っておりますので、最善の環境対策をご提供することができます。

リサイクル

ボルボはライフサイクルの視点で取り組んでいるため、環境に優しい方法で車両をリサイクルすることも重要視しています。車両のほとんど

▶▶

◀◀ の部品がリサイクルできます。車両を廃車にされるオーナーの皆様には、ディーラーから認定/承認リサイクル施設の紹介を受けていただくようお願いいたします。

関連情報

- ドライブモード*（p. 472）
- オーナーズマニュアルと環境（p. 33）
- 経済走行（p. 499）
- 燃料消費量および C02 排出量（p. 650）
- 空気の質（p. 228）

* オプション/アクセサリー。

IntelliSafe – 運転者サポート

IntelliSafe はボルボ・カーズの車両安全に関するコンセプトです。このコンセプトには、車両で移動するときの安全性を高め、ケガを予防し、乗員を他の道路使用者から保護するためのシステム（標準とオプションの両方）が多数含まれています。

サポート

IntelliSafe には、車両の安全運転に役立つシステムが組み込まれています。車両に搭載されている運転者サポート機能には、例えば自車と先行車との距離を一定に保つアダプティブクルーズコントロール* などがあります。

Pilot Assist* は車線逸脱の防止と先行車との車間時間の維持に役立ちます。

Park Assist Pilot* は周辺エリアを感知し運転者が駐車しやすいよう支援します。

他にも、運転者支援システムには、アクティブハイビーム、Cross Traffic Alert (CTA)*、および Blind Spot Information (BLIS)* システムなどがあります。

予防

事故の防止を支援する機能の一例が City Safety です。これは他の車両、歩行者、サイクリストまたは大型動物との衝突の危険を運転者に知らせる機能です。運転車が警告に反応せず衝突の危険が差し迫ると、City Safety が自動的にブレーキを作動します。

Lane Keeping Aid (LKA)* もまた、事故の防止に役立つ機能です。車両が左右の車線を逸脱しそうになると運転者に警告を発し、車線内にとどまるようにステアリングを修正します。

他には、ステアリングアシスト機能もあります。この機能は車両が不意に道路から逸脱する危険を低減するために、自発的にステアリングを操作して車両を車道に戻します。

保護

運転者と乗員の保護のために、車両には危機的な状況や衝突時にシートベルトのゆるみを取り除くことができるシートベルトテンショナーが装備されています。車両にはエアバッグおよびインフレータブルカーテンと、むち打ち症を予防する Whiplash Protection System (WHIPS) も装備されています。

関連情報

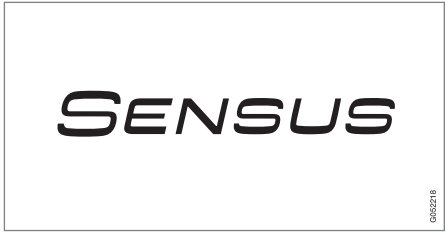
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 344)
- パークアシスト・パイロット* (p. 446)
- ハイビームのオン/オフ (p. 183)
- Cross Traffic Alert*を起動/解除する (p. 406)
- BLIS* (p. 402)
- City Safety (p. 390)
- レーン・キーピング・エイド (p. 418)
- スタビリティ・システム RSC[1] (p. 322)
- シートベルト (p. 97)
- 重要な安全上のご注意！ (p. 94)
- エアバッグ (p. 102)
- Pilot Assist* (p. 361)
- 車線逸脱回避ステアリングアシスト (p. 426)
- Whiplash Protection System (p. 95)

[1] Roll Stability Control

Sensus – オンライン接続性およびエンターテイメント

Sensus インターネットを利用したり、さまざまなタイプのアプリを使用したりすることができます。また、車両を Wi-Fi ホットスポットとして使用することもできます。

Sensus について



Sensus はデジタル世界との知的インターフェースおよびオンライン接続を提供します。直感的なナビゲーション構成により、必要なときに、運転の邪魔をすることなく、適切なサポート、情報およびエンターテイメントを提供することができます。

Sensus には、エンターテイメント、オンライン接続、ナビゲーション*、運転者と車両とのユーザーインターフェースに関連する車載ソリューションがすべて組み込まれています。お客様と車両と外部の世界をつなぎ、コミュニケーションを可能にするのが Sensus です。

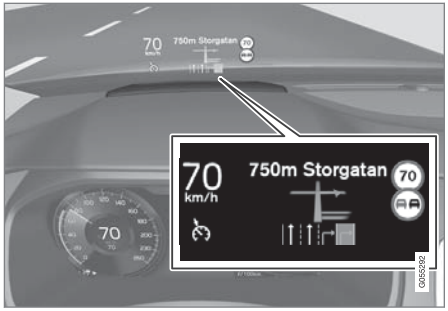
必要なときに、必要な場所で情報を提供

車内の複数のディスプレイにより、適切なタイミングで情報が提供されます。情報の表示される場所は、運転者による情報の優先順位に応じて異なります。

* オプション/アクセサリー。

情報にはさまざまな種類があり、その優先順位に応じて、表示されるディスプレイが異なります。

ヘッドアップディスプレイ*



ヘッドアップディスプレイには、運転者がすみやかに対処する必要のある特定の情報が表示されます。このような情報には、交通警告、速度情報およびナビゲーション*情報などが含まれます。ヘッドアップディスプレイには、ロード・サイン・インフォメーションや電話の着信も表示されます。ディスプレイはステアリングホイール右側のステアリングリモコンおよびセンターディスプレイから操作します。

ドライバーディスプレイ

12 インチドライバーディスプレイ

8 インチドライバーディスプレイ

ドライバーディスプレイには、速度や電話の着信、再生中の曲に関する情報などが表示されます。ディスプレイの操作には、ステアリングホイールのステアリングリモコン 2 つを使用します。

センターディスプレイ

車両の主要機能の多くは、センターディスプレイから操作します。センターディスプレイはタッチスクリーンです。したがって、車内のボタンおよびスイッチ類の数は最小限に抑えられています。画面は手袋を着用しているときでも操作することができます。

エアコンディショナーシステム、エンターテイメントシステムおよびシート位置*などは、ここから操作します。センターディスプレイに表示される情報については、必要に応じて、運転者または車内の乗員が対応することができます。

音声認識システム

音声認識システムは、運転者がステアリングホイールから手を離すことなく使用することができます。このシステムは自然な話し言葉を理解することができます。音声認識は、曲の再生、電話の発信、設定温度の変更、テキストメッセージの読み上げなどに使用することができます。

すべての機能/システムの詳細については、オーナーズマニュアルまたはその追補版の該当セクションを参照してください。

関連情報

- センターディスプレイの操作（p. 37）
- センターディスプレイのビュー内での移動（p. 41）
- ヘッドアップディスプレイ*（p. 156）
- ドライバーディスプレイ（p. 132）
- 音声認識（p. 159）
- オンライン車両*（p. 539）
- オーディオ・メディア（p. 512）

* オプション/アクセサリー。

オーナーズマニュアルと環境

オーナーズマニュアルには、管理森林に由来する紙が使用されています。

森林管理協議会(FSC)® のシンボルは、オーナーズマニュアルに使用されている紙パルプが FSC® が認証した森やその他の管理資源に由来していることを示します。

関連情報

- Drive-E – さらにクリーンに走る喜びを（p. 26）

ウインド、ガラスおよびミラー

車両には、ウインド、ガラスおよびミラー用のコントロールがあります。車両の一部のウインドはラミネーションで強化され、特に車内の防音性を向上させています。

ラミネーテッドガラス

ウインドスクリーンおよびパノラマルーフ*にはラミネーテッドガラスが使用されています。ガラスは補強されているため、不正侵入に対する保護が強化され、車内の防音効果も高くなっています。ラミネーテッドガラスは、他の一部のガラス面ではオプションとして用意されています。

ラミネーテッドガラスが採用されているウインドには、このシンボルが表示されています[9]。

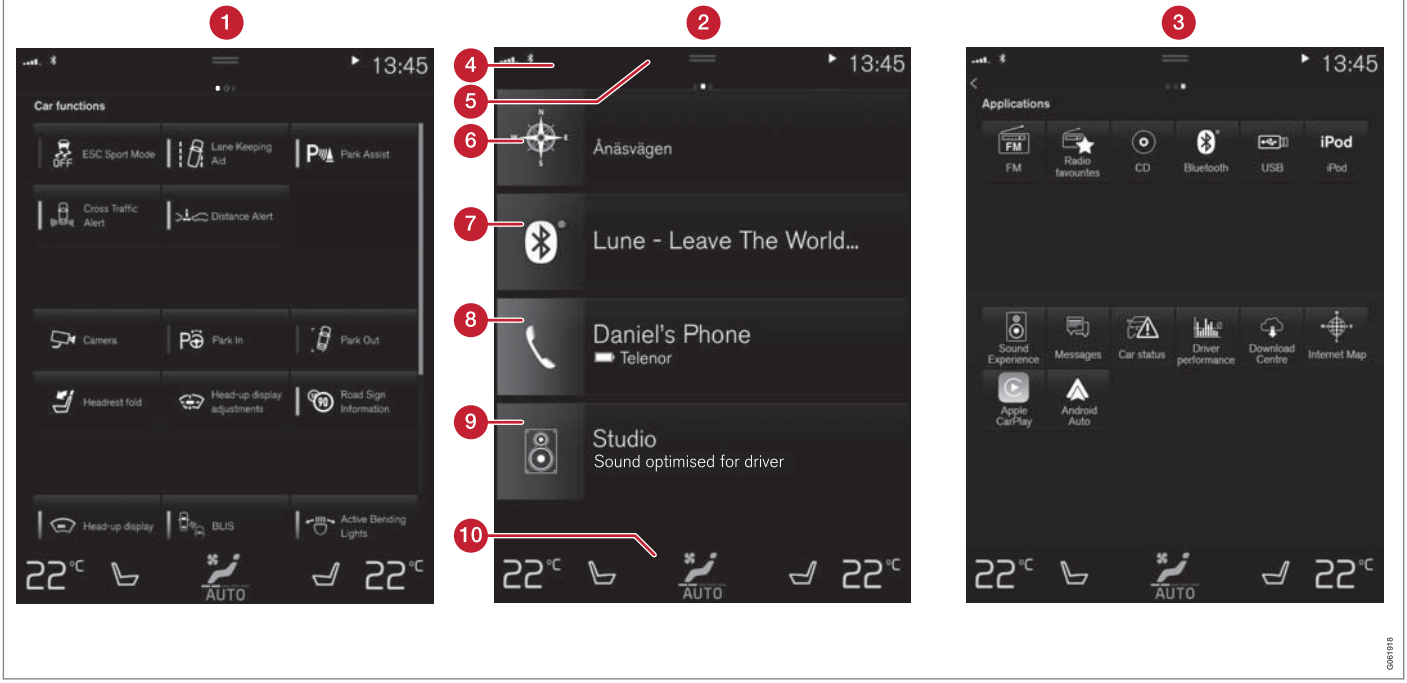
関連情報

- パノラマルーフ*（p. 204）
- パワーウインド（p. 197）
- ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ（p. 240）
- サンブラインドを使用する*（p. 199）
- ルームミラー（p. 201）
- ドアミラーの調節（p. 199）
- ヘッドアップディスプレイ*（p. 156）
- ウインドスクリーンワイパーを使用する（p. 193）
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャー（p. 195）

[9] ウインドスクリーンまたはパノラマルーフ*には適用されません。これらのガラスには必ずラミネーテッドガラスが採用されているため、このシンボルはありません。

センターディスプレイの概要

車両の機能の多くは、センターディスプレイで操作できます。ここでは、センターディスプレイとそのオプションについて紹介します。



センターディスプレイの基本ビュー(3 つ)右にスワイプすると機能ビュー、左にスワイプするとアプリビューが表示されます [10]。

1 機能ビュー – 1 回タップすることでオン/オフできる車両機能。一部の機能はトリガー機能であり、設定オプションのあるウィンドウが開きます。**カメラ**およびパーキング機能などがこれに該当します。ヘッドアップディスプレイ* の設定は、機能ビュー

[10] 右ハンドル車の場合、方向が逆になります。

からも行われますが、調節にはステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用します。

2. ホームビュー – 画面が起動したときに最初に表示されるビュー。
3. アプリケーションビュー(アプリビュー) – ダウンロードしたアプリ(サードパーティー製アプリ)および内蔵機能用アプリ(**FM ラジオ**など)。アプリアイコンをタップすると、アプリが開きます。
4. ステータスバー – 車内のアクティビティが画面上部に表示されます。ステータスバーの左側にはネットワーク/接続情報、右側には実行中のバックグラウンドアクティビティの表示とメディア関連情報および時計が表示されます。
5. トップビュー – トップビューを表示するには、タブを下方向にスクロールします。**設定**、**ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙ**、**ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ** および車両の保存済みメッセージには、ここからアクセスできます。
6. ナビゲーション – Sensus Navigation*などで地図ナビゲーションを利用できます。サブビューをタップすると展開します。
7. メディア – 最近使用したメディア関連アプリ。サブビューをタップすると展開します。
8. 電話 – ここから電話機能を利用できます。サブビューをタップすると展開します。
9. エキストラサブビュー – 最近使用したアプリ/車両機能で、その他のサブビューに属さないもの。サブビューをタップすると展開します。
10. クライメート列 – 温度、シートヒーターレベル* およびファンレベルの設定表示と直接操作。クライメート列の中央にあるシンボルをタップすると、クライメートビューが開き、詳細な設定オプションが表示されます。

関連情報

- センターディスプレイの操作 (p. 37)
- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 41)
- 機能ビューと車両機能用ボタン (p. 48)
- アプリの設定を変更する (p. 223)
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル (p. 46)
- センターディスプレイの設定 (p. 216)
- ヘッドアップディスプレイ* (p. 156)
- メディアプレーヤー (p. 516)
- 電話 (p. 532)
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 231)
- センターディスプレイの清掃 (p. 632)

* オプション/アクセサリー。

センターディスプレイの操作

車両の機能の多くは、センターディスプレイから操作および管理されます。センターディスプレイはタッチスクリーンで、タッチに反応します。

センターディスプレイのタッチスクリーン機能の使用

画面の反応は、操作の種類(タップ、ドラッグ、スワイプ)に応じて異なります。複数のビューの切り替え、オブジェクトのマーキング、リストのスクロール、アプリの移動などの操作は、画面をさまざまな方法でタッチすることにより行うことができます。

赤外線フィルムの採用により、画面は画面の真上に指があることを感知できます。この技術により、手袋をはめたままでも画面を使用することができます。

画面の操作は、2 人の人が同時に行うことができます。運転席側と助手席側のエアコンディショナー設定を個別に調節するときなどに便利です。

重要

尖ったものを使用して画面を操作すると傷をつけるおそれがあります。

次表には、さまざまな画面操作手順が示されています。

手順	実行	結果
	1 回タップする。	オブジェクトをハイライト表示する、選択を確定する、または機能を有効にする。
	2 回連続タップする。	デジタルオブジェクト(地図など)を拡大表示する*。
	長押しする。	オブジェクトをグラブする。アプリの移動や地図上での地図ポイントの移動*に使用できる。指を画面に押し当てた状態で、オブジェクトを任意の場所にドラッグする。
	2 本指で 1 回タップする。	デジタルオブジェクト(地図など)を縮小表示する*。

手順	実行	結果
	ドラッグ	ビューを切り替える、リスト、テキストまたはビューをスクロールする。タッチアンドホールドをしたままドラッグすると、アプリの移動または地図上での地図ポイントの移動*ができる。画面上を横方向または上下方向にドラッグする。
	スワイプ/素早いドラッグ	ビューを切り替える、リスト、テキストまたはビューをスクロールする。画面上を横方向または上下方向にドラッグする。
	ピンチアウト	拡大表示する。
	ピンチイン	縮小表示する。

* オプション/アクセサリー。

画面をオフにした後、オンに戻す

センターディスプレイのホームボタン

センターディスプレイをオフにすると、走行中の妨げにならないように画面が暗くなります。クライメート列の表示は継続され、画面に関連付けられているアプリとその他の機能は動作を続けます。

1. 画面の下にあるホームボタンを長押ししします。
   > 画面のクライメート列以外の部分が暗くなります。クライメート列は表示され続けます。エアコンディショナー、オーディオ、ガイド*およびアプリなど、すべての機能が動作を続けます。このモードのとき、付属のクロスを使用して画面を清掃することができます。「センターディスプレイの清掃」を参照してください。
2. 画面をオンに戻す – ホームボタンを押します。
   > 画面をオフにする前に表示されていたビューが再表示されます。

注意

操作実行のプロンプトが画面に表示されているときには、画面をオフにすることはできません。

注意

エンジンをオフにし、運転者のドアを開けると、センターディスプレイは自動的にオフになります。

別のビューからホームビューに戻る

1. ホームボタンを軽く押します。
   > ホームビューの最後の位置が表示されます。
2. もう一度軽く押します。
   > ホームビューのすべてのサブビューが初期設定に戻ります。

注意

ホームビュー標準モードで、ホームボタンを短く押してください。さまざまなビューへのアクセス方法を説明するアニメーションが画面に表示されます。

車両機能用アプリおよびボタンの移動

アプリビューと機能ビューの車両機能用アプリおよびボタンは、お好みに応じて、それぞれ移動および整理することができます。

1. アプリ/ボタンを長押ししします。
   > アプリ/ボタンの大きさが変わり、少し透明になります。これで移動できる状態になりました。
2. アプリ/ボタンをビューの空きスペースにドラッグします。

アプリ/ボタンの配置に使用できる行数は最大48です。表示中のビューの外側にアプリ/ボタンを移動させるには、アプリ/ボタンをビューの下部までドラッグします。新しい行が追加され、ドラッグしたアプリ/ボタンが配置されます。

アプリ/ボタンは下の行に適宜配置することができます。ビューの外に配置されたアプリ/ボタンは、ビューのノーマルモードでは表示されません。

画面をスワイプすると、ビューを上下にスクロールできます。

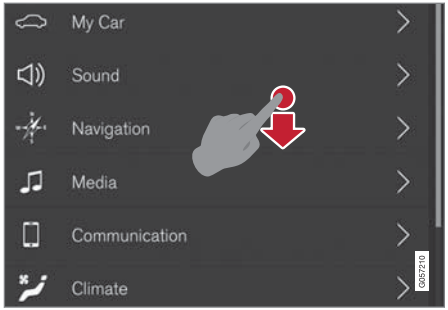
注意

ほとんどまたはまったく使用しないアプリは、下部に移動して、画面に表示されないようにしてください。これにより、よく使うアプリを見つけやすくなります。

▶▶

リスト、項目またはビューのスクロール

画面にスクロールインジケーターが表示された場合、ビューを上または下方向にスクロールすることができます。ビューの任意の場所で下/上方向にスワイプしてください。



スクロールインジケーターは、ビューをスクロールできるときにセンターディスプレイに表示されます。

センターディスプレイのコントロールの使用

温度調節

このコントロールは多くの車両機能に使用されます。以下のいずれかの方法で温度などを調節します。

- コントロールを設定したい温度までドラッグする。
- +/– をタップして温度を徐々に上昇/低下させる。
- コントロールに表示されている希望温度をタップする。

関連情報

- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 41)
- センターディスプレイの設定 (p. 216)
- Sensus – オンライン接続性およびエンターテイメント (p. 30)
- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 284)
- アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール (p. 544)
- センターディスプレイのキーボードの使用 (p. 50)
- センターディスプレイの設定を変更する (p. 47)

センターディスプレイのビュー内での移動

センターディスプレイには、ホームビュー、トップビュー、クライメートビュー、アプリケーションビュー(アプリビュー)、機能ビューという 5 つの基本ビューがあります。運転席ドアを開けると、画面は自動的に起動します。

ホームビュー

ホームビューは、画面が起動したときに表示されるビューです。このビューは、4 つのサブビュー(**ナビゲーション**、**メディア**、**電話**、エキストラ)で構成されます。

アプリ/機能ビューで選択したアプリ/車両機能は、ホームビューの各サブビューで起動します。例えば、**FM ラジオ** は **メディア** サブビューで起動します。

最後に使用したアプリ/車両機能が他の 3 つのサブビューのいずれにも該当しない場合、そのアプリはエキストラサブビューに含まれます。

サブビューには各アプリに関する簡単な情報が表示されます。

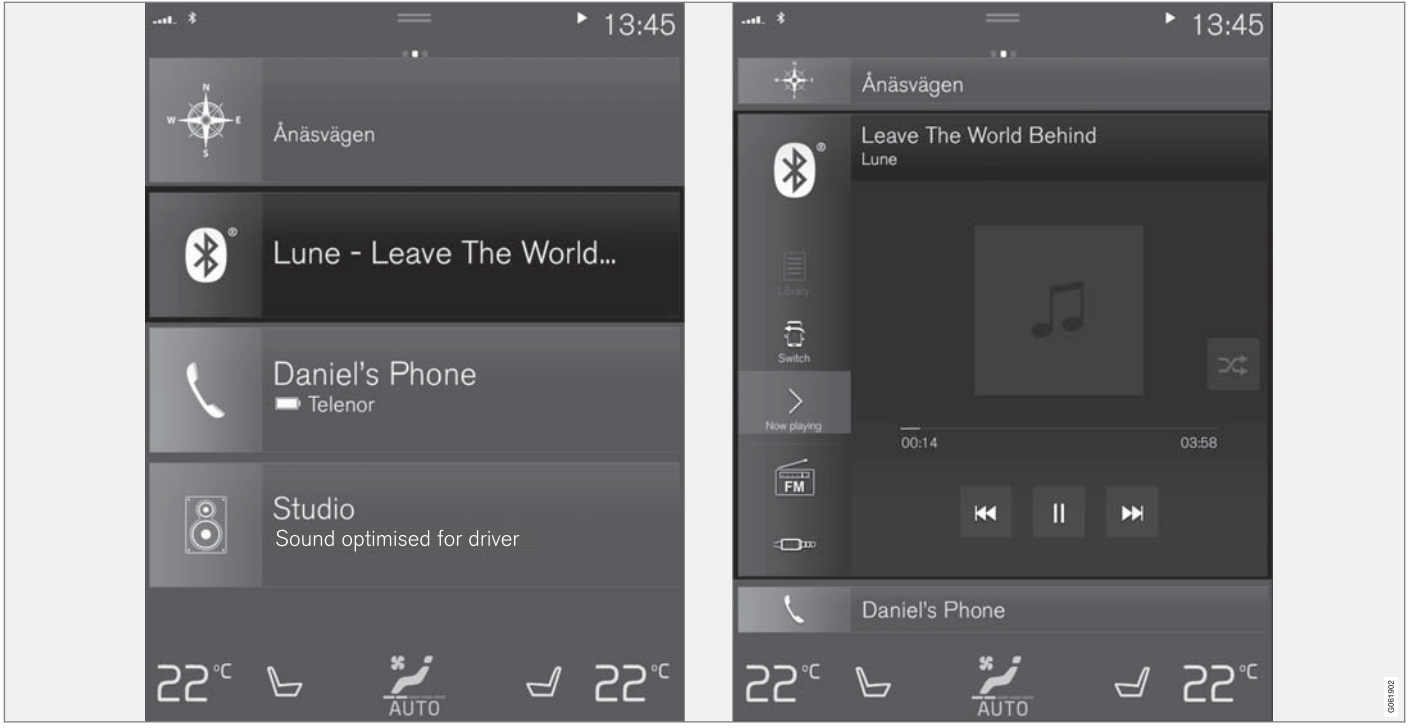
注意

初めて車両をお使いになる場合、ホームビューの一部のサブビューにはコンテンツがありません。

注意

ホームビュー標準モードで、ホームボタンを短く押してください。さまざまなビューへのアクセス方法を説明するアニメーションが画面に表示されます。

サブビューをデフォルトモードから展開する



センターディスプレイのサブビューの標準モードと拡張モード

サブビューの展開

– サブビュー 1、2、3 の場合 : サブビューの任意の場所をタップします。サブビューが展開すると、ホームビューの 4 番目のサブビューが一時的に消えます。他の 2 つは最小化され、一部の情報のみが表示されます。4 番目のサブビューをタップすると、他の 3 つのサブビューは最小化され、一部の情報のみが表示されます。

  展開したビューでは、アプリの基本機能にアクセスできます。

展開したサブビューを閉じる

– サブビューは 3 通りの方法で閉じることができます。
  - 展開したサブビューの上部をタップします。
  - 別のサブビューをタップします(タップされたサブビューが展開モードで開きます)。
  - センターディスプレイの下にあるホームボタンを軽く押します。

サブビューをフルスクリーンモードで開く/閉じる

エキストラサブビューおよび **ナビゲーション** のサブビューは、フルスクリーンモードで開くことができます。フルスクリーンモードでは、表示される情報および設定オプションが増えます。

新しいサブビューがフルスクリーンモードで開いている場合、その他のサブビューの情報は表示されません。

展開モードのときに、アプリをフルスクリーンで開く – シンボルをタップします。

展開モードに戻るには、シンボルをタップします。画面の下部にあるホームボタンを押す方法もあります。

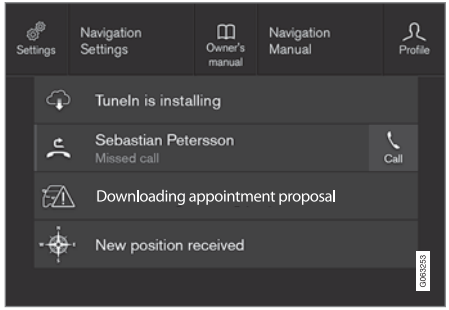
センターディスプレイのホームボタン

ホームボタンを押すと、いつでもホームビューに戻ることができます。フルスクリーンモードからホームビューの標準ビューに戻る – ホームボタンを 2 回押します。

ステータスバー

車内のアクティビティが画面上部に表示されます。ステータスフィールドの左側にはネットワーク/接続情報、右側には実行中のバックグラウンドアクティビティの表示とメディア関連情報および時計が表示されます。

トップビュー



トップビューが下にドラッグされた状態

画面上部のステータスバーの中央にタブがあります。タブをタップする、または画面の上から下方向にドラッグ/スワイプすることにより、トップビューを開きます。

トップビューでは、つねに以下の項目を利用できます。

- **設定**
- **ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙ**
- **ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ**
- 車両の保存済みメッセージ

トップビューでは、状況により以下の項目を利用できる場合があります。

- コンテンツ連動設定(**ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ 設定** など)
- コンテンツ連動オーナーズマニュアル(**ナビゲーション ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙ** など)

トップビューを終了する – トップビューの外側をタップするか、ホームボタンを押すか、またはトップビューの下部をタップして、上方向にドラッグします。これに伴い、下層のビューが表示されて使用できるようになります。

注意

始動中/停止中、または画面にメッセージが表示されているときは、トップビューを使用することができません。クライメートビューが表示されているときも使用できません。

コンテンツ連動設定およびオーナーズマニュアル

アプリ(ナビゲーションなど)の実行中にトップビューを下方向にドラッグします。

- コンテンツ連動設定が使用できる場合、トップビューの **設定** の右に表示されます。コンテンツ連動設定をタップすると、画面に表示されているコンテンツに関連する設定にアクセスすることができます。例えば、**ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ 設定** をタップすると、ナビゲーション関連の設定が表示されます。
- コンテンツ連動オーナーズマニュアルが使用できる場合、トップビューの **ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙ** の右に表示されます。コンテンツ連動オーナーズマニュアルをタップすると、デジタルオーナーズマニュアルの中で、画面に表示されているコンテンツに関連する項目にアクセスすることができます。例えば、**ナビゲーション ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙ** をタップすると、ナビゲーション関連の項目が開きます。

これは車両の一部のアプリにのみ適用されます。ダウンロードしたサードパーティー製アプリの場合、特定アプリの項目または設定などは利用できません。

クライメートビュー

クライメート列は画面の下部に常時表示されています。よく使うエアコンディショナー設定(温度、シートヒーターおよびファンの設定など)は、この列で直接変更することができます。

クライメート列の中央にあるシンボルをタップすると、クライメートビューが開き、詳細なエアコンディショナー設定を利用できるようになります。

このシンボルをタップすると、クライメートビューが閉じて前のビューに戻ります。

アプリケーションビュー

アプリケーションビューと車両のアプリ

ホームビューからアプリケーションビュー(アプリビュー)にアクセスするには、画面を右から左にスワイプします[11]。ここには、ダウンロードしたアプリ(サードパーティー製アプリ)および内蔵機能用アプリ(**FM ラジオ** など)があります。一部のアプリについては、アプリビューに簡単な情報が直接表示されます(**メッセージ** の未読メッセージの数など)。

アプリのアイコンをタップすると、アプリが起動します。関連するサブビュー(**メディア** など)で開きます。

アプリの数が多い場合、アプリビューを下方向にスクロールすることができます。下方向にスクロールするには、下から上にスワイプ/ドラッグしてください。

アプリを移動するには：

1. アプリを長押しします。
   > 移動できる状態のときには、アプリの色が少し透明になり、大きさがやや大きくなります。
2. アプリを任意の場所にドラッグします。

注意

アプリおよび車両機能ボタンは、既に使用中のスロットには配置できません。

画面を左から右にスワイプする[11]、またはホームボタンを押すと、ホームビューに戻ることができます。

機能ビュー

機能ビューとさまざまな車両機能用ボタン

ホームビューから機能ビューにアクセスするには、画面を左から右にスワイプします[11]。ここでは、**ﾚｰﾝ･ﾃﾞﾊﾟｰﾁｬｰ･ｳｫｰﾆﾝｸﾞ**、**ﾚｰﾝ･ｷｰﾋﾟﾝｸﾞ･ｴｲﾄﾞ***、**パークアシスト*** などさまざまな車両機能をオン/オフすることができます。

機能の数が多い場合、ここでもビューを下方向にスクロールすることができます。下方向にスクロールするには、下から上にスワイプ/ドラッグしてください。

アプリビューではアプリアイコンをタップすることによりアプリを起動しますが、機能ビューはアプリビューと異なり、対応する機能ボタンをタップすることで機能をオン/オフします。一部の機能(トリガー機能)は、タップしたときに新しいウィンドウで開きます。

機能ボタンの移動や並べ替えは、アプリビューと同様に行うことができます。

関連情報

- センターディスプレイの操作（p. 37）
- センターディスプレイの概要（p. 34）
- 車載のデジタルオーナーズマニュアル（p. 15）
- 機能ビューと車両機能用ボタン（p. 48）
- アプリの設定を変更する（p. 223）
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル（p. 46）
- センターディスプレイのエアコンディショナー（p. 231）

[11] 左ハンドル車に適用されます。右ハンドル車の場合、反対方向にスワイプします。

センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル

センターディスプレイのステータスバーに表示できるシンボルの概要

ステータスバーには、進行中のアクティビティとその状況(場合による)が表示されます。スペースに制限があるため、ステータスバーにすべてのシンボルがつねに表示されるとは限りません。

シンボル	意味
	インターネットに接続済み。
	インターネットへの接続に失敗した。
	ローミング有効
	携帯電話ネットワークの信号強度
	Bluetooth 機器接続済み
	Bluetooth は有効だが、機器は未接続。
	GPS との間で情報が送受信された。
	Wi-Fi ネットワークに接続済み

シンボル	意味
	テザリング有効(Wi-Fi ホットスポット)。車両は利用可能な接続を共有します。
	カーモデム有効
	USB 共有中。
	処理中
	プリコンディショニングタイマーオン。
	オーディオソース再生中
	オーディオソース停止
	通話中
	オーディオソース消音
NEWS	ラジオチャンネルからニュースを受信
TP	交通情報を受信
15:45	時計

関連情報

- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージ (p. 151)
- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 41)
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージ (p. 151)

センターディスプレイの設定を変更する

運転席ドアを開けると、センターディスプレイは自動的に起動します。サウンドおよびテーマをカスタマイズするために、センターディスプレイの設定を変更することができます。運転に支障がないように画面をオフにすることができます。

センターディスプレイのシステムサウンドの音量をオフにする/変更する

センターディスプレイのシステムサウンドの音量を変更または完全にオフにすることができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **サウンド ➔ システム音量** をタップします。
3. **タッチサウンド** で、コントロールをドラッグして画面のタッチサウンドの音量を変更/オフにします。コントロールを任意の音量までドラッグします。

画面の外観の変更

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ メーター ➔ ディスプレイテーマ** をタップします。
3. テーマ(**Minimalistic** または **Chrome rings** など)を選択します。

これらの外観に追加する形で、**ノーマル** および **明るい** から選択することができます。**ノーマル** を選択すると、画面の背景が暗く、テキストが明るくなります。この設定がすべてのテーマの初期設定です。「明るい」を選択することもできます。この場合、背景が明るく、テキストが暗くなります。この設定は、日差しが強いときなどに役立ちます。

ユーザーはいつでもこの設定を選択することができます。この設定は周囲光の影響を受けません。

関連情報

- センターディスプレイの設定 (p. 216)
- Sensus – オンライン接続性およびエンターテイメント (p. 30)
- センターディスプレイの清掃 (p. 632)
- センターディスプレイの操作 (p. 37)

機能ビューと車両機能用ボタン

車両機能のボタンはすべて機能ビュー(センターディスプレイの基本ビューの１つ)に配置されています。ホームビューから機能ビューに移動するには、画面を左から右にスワイプしてください[12]。

さまざまな種類のボタン

車両機能には 3 種類のボタンがあります。以下を参照してください。

ボタンの種類	特性	該当する車両機能
ボタン機能	オン/オフ位置があります。 機能が動作しているときは、ボタンアイコンの左にある LED インジケーターが点灯します。ボタンを押すと、機能がオン/オフになります。	機能ビューのほとんどのボタンは機能ボタンです。
トリガーボタン	オン/オフ位置がありません。 トリガーボタンをタップすると、その機能のウィンドウが開きます。例えば、シート位置を変更するためのウィンドウなどがあります。	• **カメラ** • **ヘッドレストを倒す** • **ﾍｯﾄﾞｱｯﾌﾟﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの調節**
パーキングボタン	オン、オフおよびスキャンモードがあります。 機能ボタンと似ていますが、パーキングスキャン用の位置が追加されています。	• **自動駐車** • **自動発車**

12 左ハンドル車に適用されます。右ハンドル車の場合、反対方向にスワイプします。

ボタンのさまざまなモード

機能ボタンまたはパーキングボタンの LED インジケーターが緑で点灯している場合、その機能は動作しています。一部の機能は、機能がオンになると、追加の説明が表示されます。この説明が数秒間表示された後、ボタンの LED インジケーターが点灯します。

ﾚｰﾝ・ｷｰﾋﾟﾝｸﾞ・ｴｲﾄﾞ の場合、ボタンをタップしたときに、**所定速度時のみ に作動** などの説明が表示されます。

ボタンを短く 1 回タップすると、機能がオン/オフになります。

機能が解除されると、LED インジケーターが消灯します。

ボタンの右側に三角の警告マークが表示されている場合、正常に動作していないものがあります。

関連情報

- センターディスプレイの概要（p. 34）
- センターディスプレイのビュー内での移動（p. 41）
- 設定メニューのカテゴリー（p. 217）

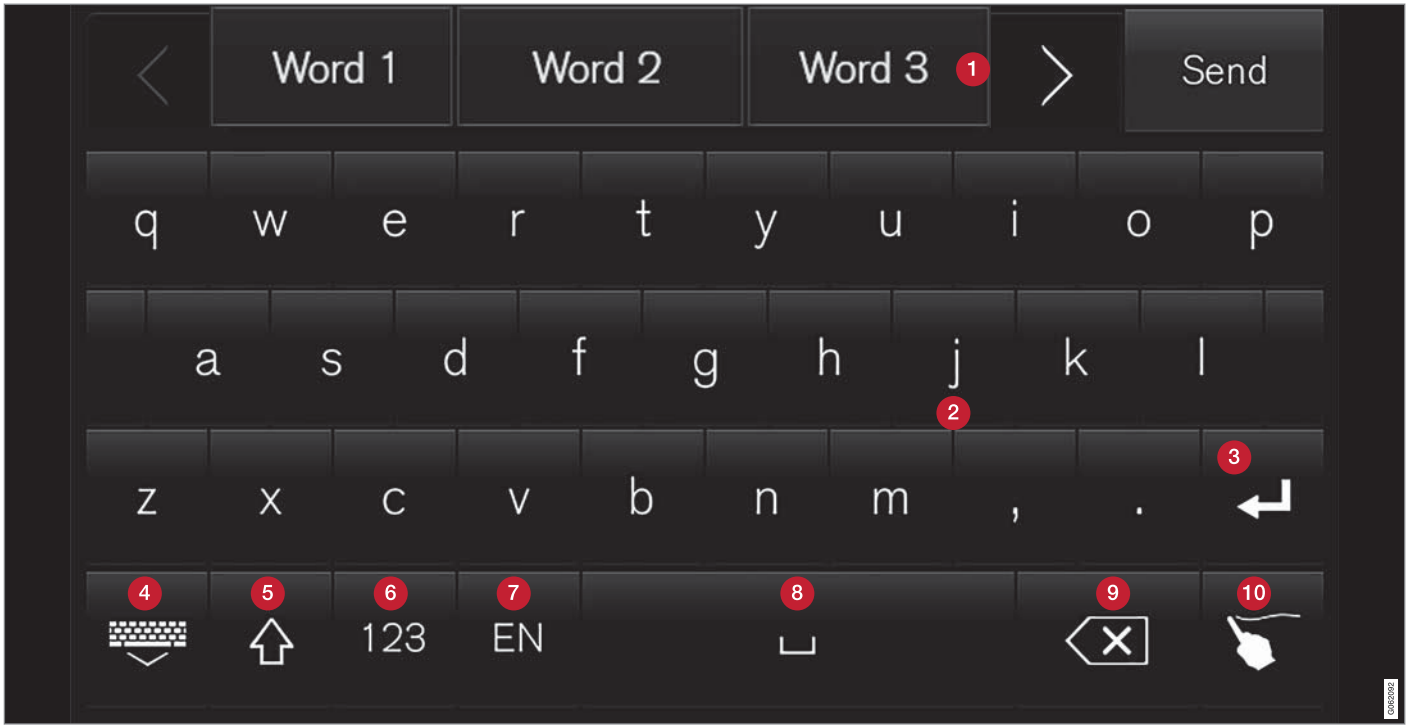
センターディスプレイのキーボードの使用

センターディスプレイキーボードを使用すると、キーを使用して入力することができます。文字を画面に手書きで入力することもできます。

キーボードで入力する

車内でテキストメッセージを入力するとき、パスワードを入力するとき、またはデジタルオーナーズマニュアルの項目を検索するときなど、文字および数字を入力するときには、キーボードを使用することができます。

キーボードは画面に入力できる場合にのみ表示されます。



画像はキーボードに表示される可能性のあるボタンのいくつかを示しています。外観は言語設定およびキーボードの使用される状況に応じて異なります。

1 候補単語または文字の列[13]。新しい文字の入力に伴って、候補単語は変化します。右矢印と左矢印を使用して、候補単語間を移動します。候補単語をタップして選択します。

13 アジアの言語に適用されます。

一部の言語はこの機能に対応していません。対応していない場合、キーボードに候補単語の列は表示されません。

2. キーボードで入力可能な文字は、選択されている言語により異なります(ステップ 7 参照)。文字をタップして入力します。
3. ボタンの機能はキーボードの使用されている状況に応じて異なり、@ (メールアドレスの入力時)を入力する場合と**改行する**(通常の文字入力用)場合があります。
4. キーボードを非表示にします。非表示にできない場合、ボタンは表示されません。
5. 大文字で書くときに使用されます。大文字を 1 文字書いた後に小文字で入力を続けるには、もう 1 回タップします。もう 1 回タップすると、すべての文字が大文字になります。もう 1 回タップすると、キーボードは小文字に戻ります。このモードでは、ピリオド、感嘆符または疑問符の後の最初の文字が大文字になります。テキストフィールドの最初の文字も大文字になります。名前または住所を入力するテキストフィールドの場合、各単語の先頭が自動的に大文字になります。パスワード、ウェブアドレスまたはメールアドレスを入力するテキストフィールドの場合、ボタンで設定を変更しない限り、すべての文字が自動的に小文字になります。
6. 数字の入力。数字入力のキーボード(2)が表示されます。ABC (数字モードのとき、123 の代わりに表示)をタップすると文字キーボードに戻り、#\~ をタップすると特殊文字のキーボードが開きます。
7. 文字入力言語を変更します(EN など)。利用可能な文字および候補単語(1)は、選択した言語により異なります。1 回長くタップして言語のリストを開き、使用する言語をタップします。軽くタップすると、リストが表示されることなくリストの次の言語に変更されます。キーボードの言語を追加するには、「キーボード言語の変更」を参照してください。
8. スペース
9. 入力したテキストを削除します。軽くタップすると、一度に 1 文字ずつ削除されます。長押しすると、一度に多くの文字を削除することができます。
10. キーボードモードを変更して、文字を手書き入力できるようにします。詳しくは、「画面に文字を手書き入力する」を参照してください。

キーボード上の確定ボタン(画像では非表示)をタップして、入力したテキストを確定します。ボタンの外観は状況に応じて異なります。

キーボード言語の変更

キーボードの言語を切り替えることができるようにするには、最初に **設定** で言語を追加する必要があります。

設定の言語を追加/削除する

キーボードは自動的にシステム言語と同じ言語に設定されます。キーボード言語は、システム言語に影響をおよぼすことなく手動で変更することができます。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム言語および単位 ➔ キーボードレイアウト** をタップします。
3. リストから言語を 1 つ以上選択します。
   › これで、文字入力の際に、キーボードから複数の言語を直接切り替えられるようになります。

設定 で自発的に言語を選択していない場合、キーボードは車両のシステム言語と同じ言語を使用します。「設定メニューでシステム設定を変更する」を参照してください。

キーボードの言語の切り替え

設定 で多数の言語を選択した場合、キーボードのボタン (キーボード図の 7) を使用すると、言語を切り替えることができます。

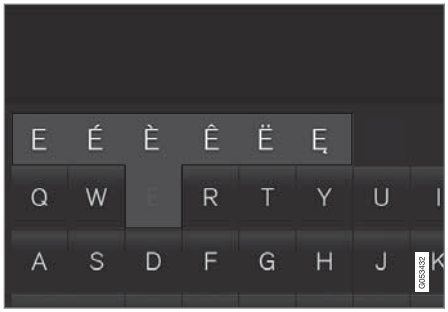
リストでキーボード言語を変更するには、

1. ボタンを 1 回長く押します(前図参照)。
   › リストが開きます。
2. 必要な言語を選択します。**設定** で 4 つを超える言語を選択した場合、キーボードからリストをスクロールすることができます。
   › キーボードは選択された言語に変更され、その他の候補単語が表示されます。

リストを表示することなくキーボード言語を変更するには、

– ボタンを 1 回軽く押します。
   › キーボードは、リストが表示されることなくリストの次の言語に変更されます。

特殊文字



特殊文字(é または è など)を入力するには :

1. 入力したい文字を長押しします。
   › ボックスが開き、選択可能な特殊文字が表示されます。
2. 必要な特殊文字をタップします。特殊文字を選択しないと、本来の文字が入力されます。

関連情報

- 画面に文字/単語を手書き入力する (p. 54)
- センターディスプレイの設定 (p. 216)
- センターディスプレイの操作 (p. 37)
- テキストメッセージの操作 (p. 536)
- 設定メニューでシステム設定を変更する (p. 218)

画面に文字/単語を手書き入力する

センターディスプレイのキーボードを使用すると、手書きで画面に文字や単語を入力することができます。

キーボードのボタンを押すと、キーによる入力から手書きでの文字入力に切り替わります。

1. 文字/単語/単語の一部の手書き入力エリア
2. 画面(1)に文字を手書きしたときに候補の文字または単語が表示されるテキストフィールド
3. 文字/単語/単語の一部の候補。リストはスクロール可能です。
4. スペーススペースは、文字の手書き入力エリア(1)にダッシュ(-)を入力して入れることもできます。「手書きでテキストフィールドにスペースを入力する」の項を参照してください。
5. 入力したテキストを削除します。短く押すと、1 文字ずつ削除されます。次の文字を削除するときには、少し時間をあけてからもう 1 回押してください。
6. 通常の文字入力用キーボードに戻ります。
7. 入力時の音をオフ/オンにします。
8. キーボードを非表示にします。非表示にできない場合、ボタンは表示されません。
9. テキスト入力言語を変更します。

文字/単語を手書き入力する

1. 文字の手書き入力エリア(1)に文字、単語または単語の一部を書きます。単語または単語の一部を重ね書きするか、または線上に書きます。
   > 多数の候補文字または単語が表示されます(3)。もっとも可能性の高い文字がリストの最上位に表示されます。

重要

尖ったものを使用して画面を操作すると傷をつけるおそれがあります。

2. しばらく待って文字/単語を入力します。
   > リストの最上位にある文字/単語が入力されます。リストの文字/単語を押すことにより、別の文字を選択することもできます。

手書き文字を削除/変更する

手書き入力エリア(1)を横方向にスワイプすると、テキストフィールド(2)の文字がすべて削除されます。

– 文字を削除/変更するには、いくつかの方法があります。
  - リスト(3)の中から必要な文字/単語を選んで押します。
  - 文字を削除してもう一度始めるには、テキスト削除ボタン(5)をタップします。
  - 手書き入力エリア(1)を横方向(右から左[14])にスワイプします。手書き入力エリアを数回スワイプすると、複数の文字を削除できます。
  - テキストフィールド(2)の X をタップすると、入力したテキストがすべて削除されます。

手書きでテキストフィールドに改行を入力する

手で改行を入力するには、手書き入力エリアで上記の記号を入力します[15]。

手書きでテキストフィールドにスペースを入力する

左から右にダッシュを書いてスペースを入力します[16]。

関連情報

- センターディスプレイのキーボードの使用 (p. 50)
- テキストメッセージの操作 (p. 536)
- 設定メニューでシステム設定を変更する (p. 218)

14 アラビア語のキーボードの場合、反対方向にスワイプします。右から左にスワイプすると、空白ができます。
15 アラビア語のキーボードの場合、同じ記号を逆向きに入力します。
16 アラビア語のキーボードの場合、右から左にダッシュを書きます。

重要です。必ずお読みください。

ご使用に際して！

このオーナーズマニュアルは、標準で取り付けられていない装備品、機能および日本仕様以外の装備品、機能についても記載されています。**このオーナーズマニュアルで説明されていても、車にその装備などが装着されていない/ 装着できない場合がありますのでご了承ください。**

スウェーデン・ボルボ社の原稿を元に、日本語版を作成していますが、現車と記述内容などが異なる場合は現車が優先されます。

後付けのオプションパーツおよびアクセサリーパーツなどの使用方法、あるいは取付方法については、各製品毎に添付されている取扱説明書(または取付説明書)の指示に従ってください。

ご不明な点がございましたら、ボルボ指定のディーラーにお尋ねください。

このオーナーズマニュアルに記載されている取扱説明は、一般的な使用状況を想定したものです。したがって、車の使用場所、使用環境、取扱方法により異なる場合がありますので、十分ご注意ください。

このオーナーズマニュアルに記載してあるすべての情報、イラスト、および仕様は、最新の製品情報に基づいていますが、製造者(メーカー)が予告なく変更する場合があります。

オーナーズマニュアル内のイラストは、大まかなものであり正確な描写を目的とするものではありませんので、実際の車両と一致しない場合があります。

また、安全・快適なドライブのために知っておいていただきたい項目が、次ページから説明されていますので、必ずお読みください。

このオーナーズマニュアルは、車両の一部とみなされます。

車を売却される場合は、次のオーナーの方のためにこのオーナーズマニュアルとメンテナンスノート(整備手帳)および点検整備記録簿を車内に保管しておいてください。

道路運送車両法により、点検整備と日常点検が義務付けられています。

車を適切な状態に維持し、安心してご使用いただくために点検整備を必ず実施してください。

また、**お客様ご自身で日常点検も必ず実施してください。**

このオーナーズマニュアルに記載されている取扱方法と異なる使用や、点検整備を実施していないなどの場合は、ボルボ社の保証が適用されないことがありますので十分ご注意ください。

また、このオーナーズマニュアルの記載事項を守らなかったために生じた損傷、事故などに関しては、弊社は責任を負うことができませんのでご了承ください。

(オーナーズマニュアル掲載の写真、イラスト、文章の無断転載、複写を禁じます。)

© ボルボ・カー・コーポレーション

⚠ 警告

このオーナーズマニュアルは、ボルボ・カー・ジャパンによる正規の販売ルートで輸入および販売された車両にのみ適用されます。

追加装備品の取り付けについて：

追加装備品を装着する場合は、製品に付属の取付要領書および注意事項に従って装着を行ってください。

ご不明な点がございましたら、ボルボ指定のディーラーにお尋ねください。

⚠ 警告

ボルボ純正以外の追加装備品の装着や、装置の不適切な取り付けは、運転に悪影響をおよぼし故障や火災の原因となります。

無線機などについて：

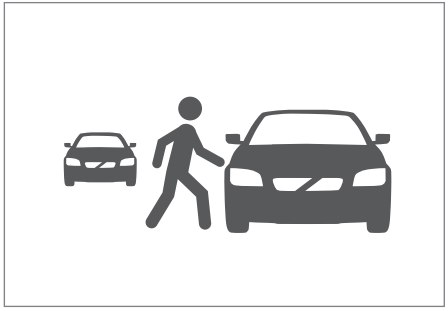
無線機など、アンテナを介して通信する通信機器を車内で使用すると、車両の電子機器(エンジンマネジメントシステム、ABS、エアバッグなど)に影響を及ぼすおそれがあります。

詳しくは、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

関連情報
- 重要な安全上のご注意！（p. 59）

重要な安全上のご注意！

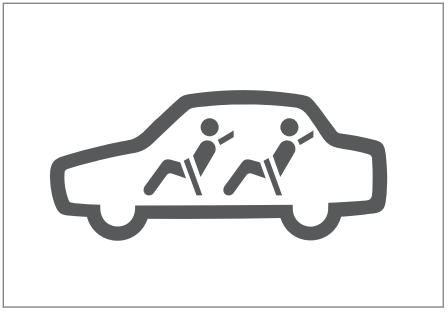
ドアを開ける際は、必ず周囲の安全を確認してください。



特に路上では、後続車や他の交通に十分注意してください。

- ドアを確実に閉めてください。ドアが確実に閉められていないと、走行中にドアが突然開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

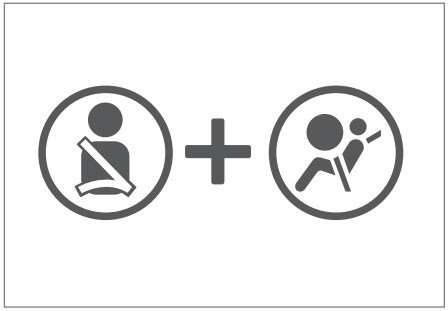
シートベルトは正しい姿勢で、必ず正しく着用してください。



シートベルトを正しく着用できない場所に、同乗者を乗車させないでください。

- シートベルトのロックタブを、バックルに確実にロックしてください。同乗者のシートベルトも正しく着用しているか、必ず確認してください。

エアバッグは、シートベルトの補助装置です。



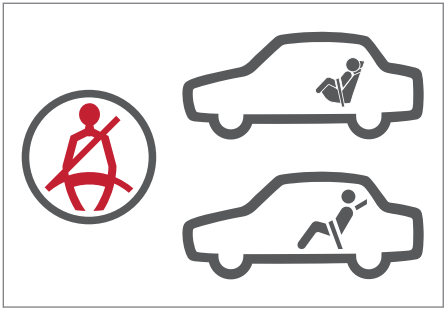
エアバッグが取り付けられていても、シートベルトは必ず着用してください。

- シートベルトを着用していないと、エアバッグが作動した際の衝撃で大ケガをするおそれがあります。
- 同乗者にもエアバッグシステムについての注意事項を、十分に説明してください。
- エアバッグは膨張速度が極めて速く、また、布でできているため、エアバッグ作動時に摩擦熱で皮膚にヤケドや擦過傷を負うおそれがあります。

必ず、助手席側エアバッグとチャイルドシートの取り付け位置に関する安全注意事項に従ってください。

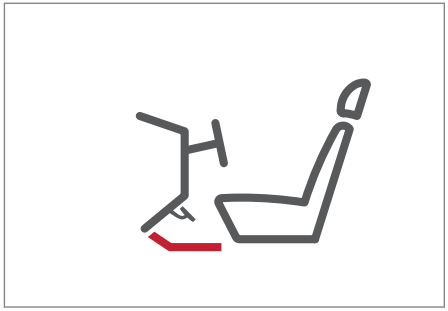
- 助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向き装着タイプのチャイルドシートを使用しないでください。
- 助手席側エアバッグが無効になっている場合、絶対に乗員(お子様および大人)を前向きで助手席に座らせないでください。
- この指示を守らないと、生命に危険がおよぶ、または大ケガをするおそれがあります。

後席であってもシートベルトは必ず正しく着用し、お子様にもシートベルトを着用させてください。



- シートベルトが首やあごに当たるような小さなお子様や幼児を乗車させる際は、チャイルドシートを必ずご使用ください。
- シートベルトが合わないまま使用すると、衝突の際に頭部や腹部などに強い衝撃を受けて大ケガをするおそれがあります。

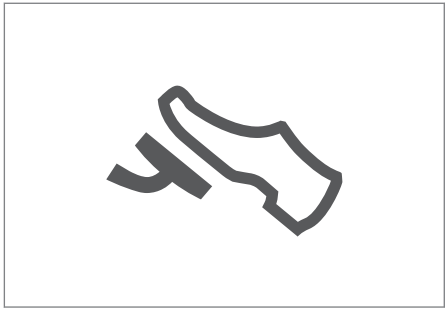
フロアマットは敷く前に運転席用、助手席用を必ず確認してください。



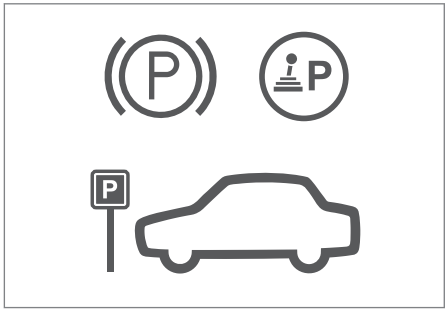
アクセルペダルに引っかからない位置に正しく敷いてください。

- エンジンを始動する前にフロアマットが正しく固定されているか確認してください。
- フロアマットを固定していない状態で使用したり、二重に敷いたり正しく敷かれていないと、運転中にフロアマットが移動してペダルと干渉し、暴走などのおそれがあります。
- アクセルペダルの上に、フロアマットを乗せないでください。ペダルが戻らなくなり、大変危険です。

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンを始動する前に右足で各ペダルを踏み、ペダルの位置を確認してください。



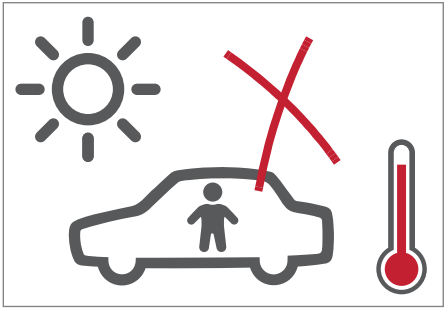
駐停車する場合は傾斜した場所を避けてください。



パーキングブレーキを確実にかけ、セレクターレバーがP(パーキング)の位置に入っていることを確認してください。

- エンジンを止めます。

車から離れる場合は、お子様もご一緒にお連れください。

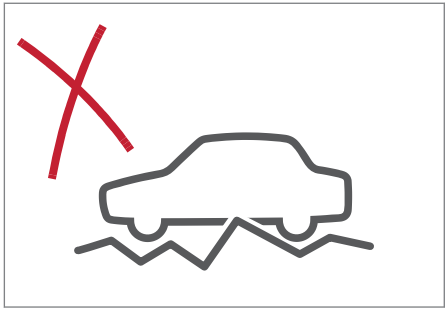


- お子様だけを車内に残すことは危険です。特に炎天下に駐車した場合は、車内およびシートベルトやシートは高温になり、熱射病/熱中症やヤケドなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子様がパワーウインドやその他の装置を動かしたり、あるいは車を発進させてしまう場合があり、大ケガをしたり火災や事故につながるおそれがあります。

盗難やいたずらを未然に防ぐためにも、車から離れる際はパーキングブレーキをかけ、必ずエンジンを停止してキーを抜き、施錠してください。

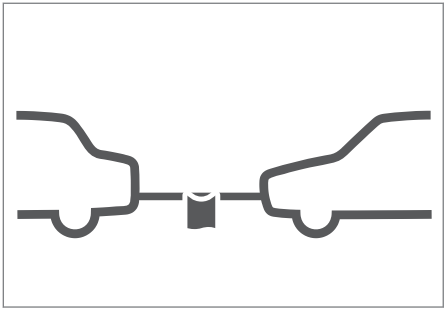
- 車内に、貴重品を置いたままにしないでください。

悪路や未舗装路の走行は、十分に注意してください。



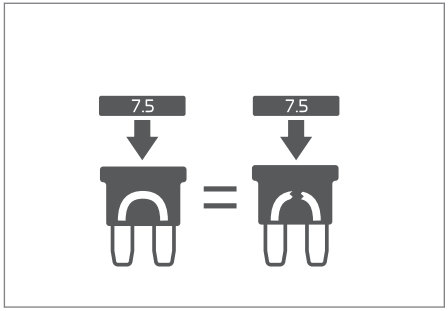
- タイヤ、床下、サスペンションなどを損傷し、さらには障害物に挟まれたり、ぬかるみにはまって脱出できなくなるおそれがあります。
- やむをえず走行する場合は、低速でゆっくり走行してください。
- 走行後、すみやかに車の点検を行ってください。
- AWD 車といっても、万能ではありません。

けん引が必要な場合は、事故を起こさないように十分注意してください。



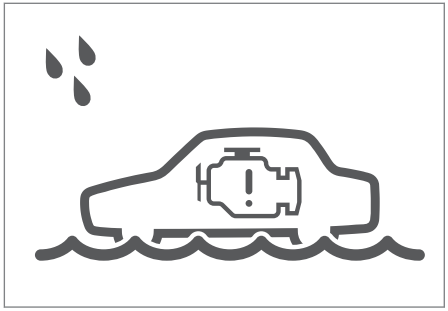
オーナーズマニュアルの「けん引」の項を参照してください。また、周囲の交通状況にも注意してください。

ヒューズを交換する場合は必ず同じ色、同じアンペアのヒューズと交換してください。



高アンペアのヒューズを使用すると過大な電流が流れてもヒューズが切れず、配線や電装品を損傷させて発火し火災が発生するおそれがあり大変危険です。

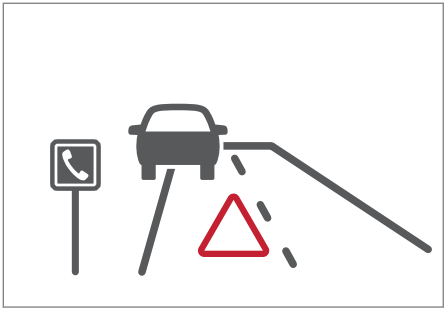
深い水たまりや、極端な冠水路を走行、また、突然の大雨などにより水しぶきを上げて走行した場合は、エンジンルーム内の電気配線やドライブベルト、タイミングベルトに水分が付着しているおそれがあります。



早めに点検を受けてください。

- 水分が付着していると、エンジン不調やベルト類の損傷劣化の原因となります。

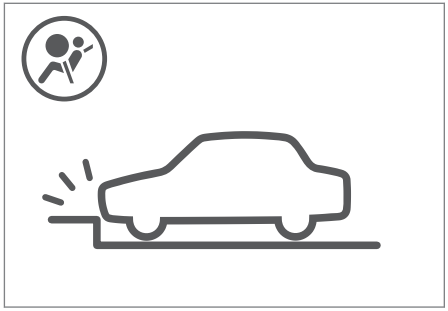
高速道路や自動車専用道路を走行中に故障したときなどは、急ブレーキをかけずに惰力で走行して路肩に車を止めてください。



- 故障やパンクで驚き、急ブレーキを踏むと、衝突されたりスリップするおそれがあります。
- 車を惰性で直進させて、路肩に止めてください。
- 前輪がパンクしたときは、ハンドルが取られて大変危険です。
- 路肩に停車したときは、後続車にわかるように、停止表示器材を置いてください。なお、夜間の場合は、非常点滅灯およびテールランプを点灯してください。
- 非常電話は 1 km おき（トンネル内は 200 m おき）に設置されています。

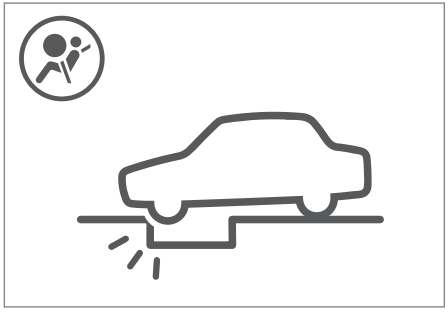
- 近い場所の非常電話で通報しようとして、反対車線へ横断しないでください。
- 通報後は、必ず全員安全な場所に避難してください。

エアバッグ（運転席、助手席、サイドエアバッグ、インフレータブルカーテン）は事故の際に必ず作動するとは限りません。



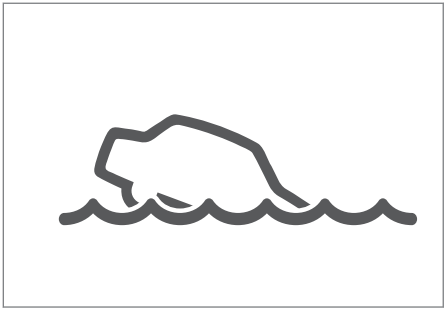
- 衝突の位置/角度、衝撃の度合いによっては、エアバッグが作動しない場合があります。
- 斜めに塀や、ガードレール、車などに衝突したとき。
- トラックなどの荷台の下に潜り込み衝突したとき。
- 衝突されたり、転覆、横転したとき。
- 衝突の方向が、車の中心からずれていたとき。
- 電柱、道路標識などのポールに衝突したとき。
- 前後フェンダー部など、車内部以外に側面から衝突されたとき。
- 電柱などに側面をぶつけたとき。
- 車内部に斜めに衝突されたとき。
- 側面にバイクなどが衝突したとき。

車の外見上の損傷が少なくても、エアバッグが作動する場合があります。



- 道路上の物や車止めなどの縁石にぶつかったとき。
- 穴や溝に落ちる、またはジャンプしたとき。
- 車両の下面に強い衝撃を受けたとき。
- その他、中央分離帯などに衝突したとき。

もしも、川や海などに転落した場合は…



水中に車が転落したときの脱出方法：

- 水中ではドアロックやパワーウインドが使用できず、閉じ込められるおそれがあります。このような場合は、脱出用ハンマーなどを使用してください。（脱出用ハンマーは、カーショップなどで購入することができます。）
- 浮いている車のドアは、水圧で開きません。落ち着いてシートベルトを外し、窓が開けられる状態であれば、窓を開けて脱出してください。
- 窓が開けられない場合は、水面より高い位置の割りやすい側面の窓ガラスを脱出用ハンマーなどで割って脱出します。ドアをロック解除できる場合などには、車両内と車両外の水位がほぼ同じ高さになるまで待ち、ドアを開けて脱出します。

関連情報

- ご使用に際して！（p. 58）
- 火災および排気ガスに関するご注意（p. 65）

火災および排気ガスに関するご注意

エンジンをかけたまま、車内で仮眠をとることは大変危険です。

- 仮眠中に無意識にアクセルペダルを踏んだり、セレクターレバーを動かすおそれがあり、排気系統の過熱による車両火災や車が走り出して事故が発生する場合があります。
- やむをえず仮眠するときは、必ずエンジンを止めてください。

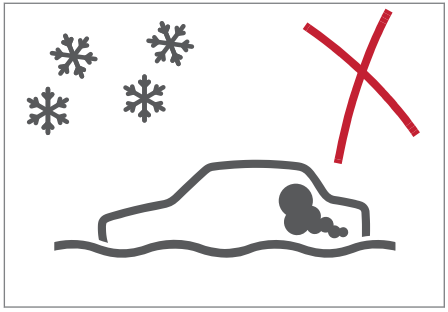
ガレージのような換気の悪い場所や密閉された場所で、エンジンをアイドリングしないでください。

- 人体に有害な排気ガスが充満し、一酸化炭素(CO)中毒を起こすおそれがあります。
- このような場所でエンジンを始動する場合は、その前に必ずガレージのドアや窓を開けてください。

車内を閉めきった状態で、エンジンをアイドリングしないでください。

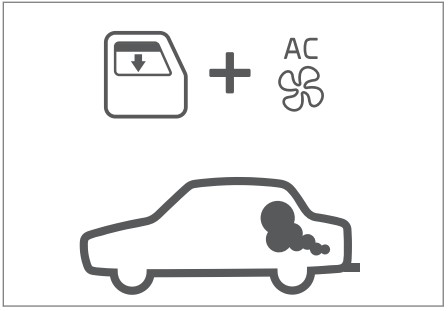
- 排気ガスが車体の水抜き穴や溶接の隙間、マフラーの腐食部から車内に侵入し、一酸化炭素(CO)中毒を起こすおそれがあります。
- 広い場所でも、しばらくアイドリングする必要があるときは、換気のため窓などを開けるか、エアコンディショナーを作動させてください。
- 熱せられた排気系統に接触するような枯れ草や枯葉、紙、木材など燃えやすい物の上に車を駐停車しないでください。風や気象条件によって、排気管や排気ガスの熱により火災になるおそれがあります。

大雪で停車してしまった場合は、車内への排気ガスの侵入に注意してください。



- 車の周囲に積もった雪や、特に排気管の出口を塞いでいる雪を取りはらってください。

排気ガスの臭いがしたり、排気ガスが車内に侵入している疑いがある場合は、すべての窓を開放してエアコンディショナーを作動させて換気してください。

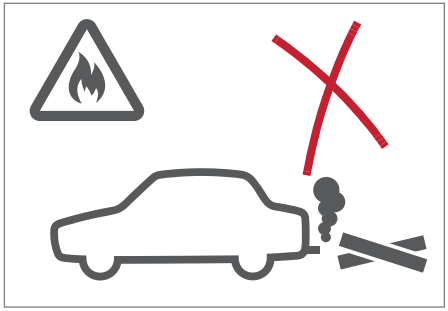


ただちに車の点検、または整備を受けてください。そのまま放置すると、一酸化炭素(CO)中毒を起こすおそれがあります。次のような場合も車内に排気ガスが侵入する原因となりますので、排気系統は点検してください。

- 排気管などの排気系統に異常音が聞こえるとき。
- 車の床下まわりに錆が発生しているとき。
- 衝突などにより車が損傷を受けたとき。
- 走行中、路上の障害物などにより損傷を受けたとき。

- 修理や整備が正しく行われていなかったとき。
- その他、車や排気系統が不適切に改造されているとき。

可燃物の近くに、駐車しないでください。



- 車両後方や排気管付近に燃えやすい物があると、火災になるおそれがあり危険です。
- 木材、ベニヤ板などが車両後方にあるときは、車両後端を 60 cm 以上離して止めてください。木材との距離が短いと排気ガスによって変色や変形したり、火災になるおそれがあります。

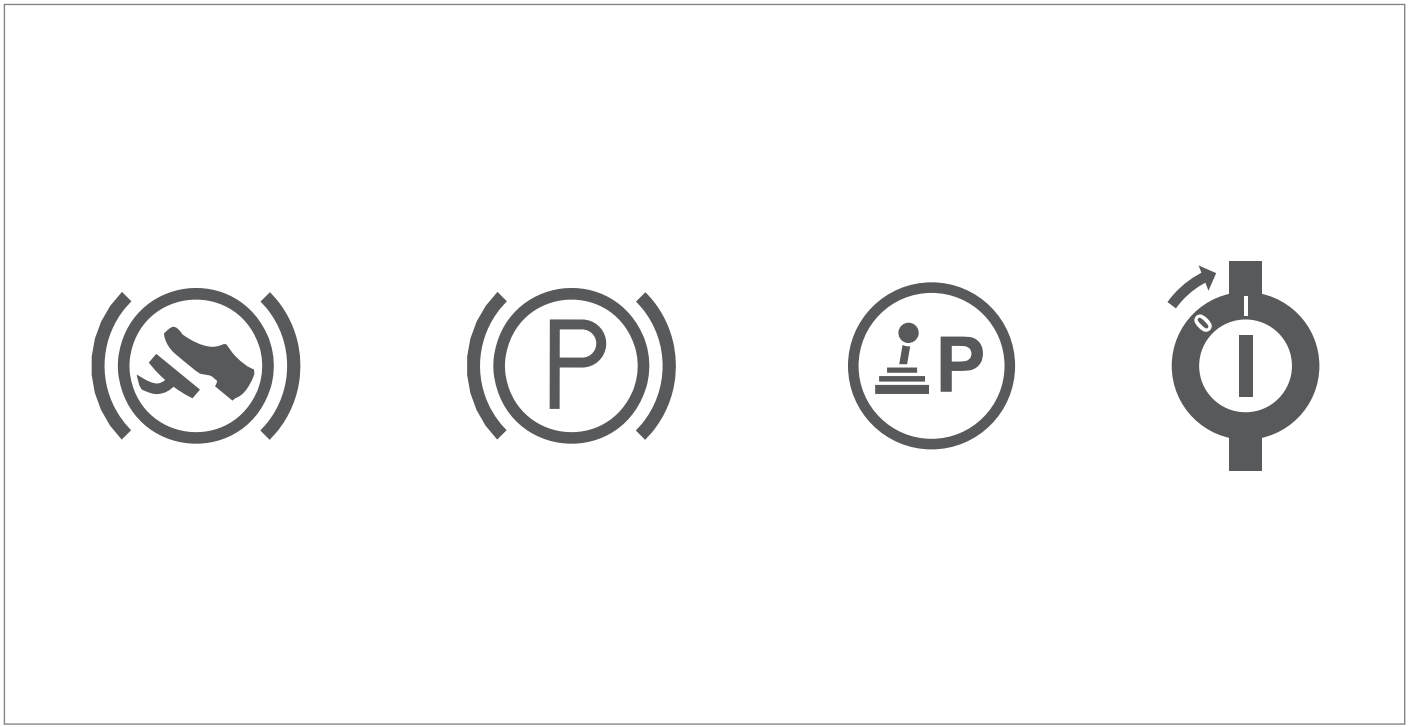
エンジンルーム内に可燃物等がないことを確認してください。

- 走行前にエンジンルーム内に可燃物の置き忘れがないか確認してください。エンジンや排気管の熱により火災になるおそれがあります。
- 車両を長期間使用しなかった場合は、エンジンルーム内に小動物や鳥類によって持ち込まれた小枝等がないことを確認してください。エンジンや排気管の熱により火災になるおそれがあります。
- 走行中に焦げたような異臭などを感じたときは、ただちにエンジンを止めて車両から離れてください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 59)
- エンジン始動時のご注意！ (p. 68)

エンジン始動時のご注意！



エンジン始動時は、ブレーキペダルを踏み、パーキング(駐車)ブレーキをかけて、トランスミッションのセレクターレバーを P(パーキング)の位置にしてください。

関連情報

- 火災および排気ガスに関するご注意 (p. 65)
- 発進時のご注意！ (p. 70)

発進時のご注意！

オートマチック車を発進させるときは、以下の点に注意して正しい方法で操作してください。

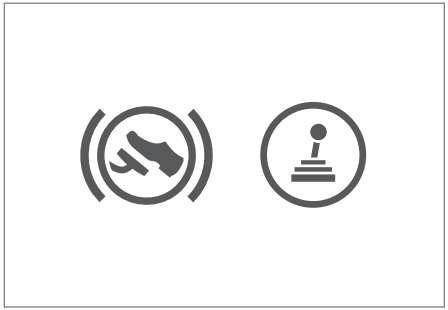
誤った方法で操作すると、思わぬ事故につながります。

セレクターレバーを**P**(パーキング)または**N**(ニュートラル)から他へシフトするときは、アクセルペダルは踏まずに**必ずブレーキペダルを確実に踏みながら**行ってください。

- ブレーキペダルを踏まずに、セレクターレバーを**D**(ドライブ)または**R**(リバース)にシフトすると、アクセルペダルを踏まなくても車は動き出しますので注意してください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時など、アイドル回転が高いときは、車が動こうとする力が強くなるので特に注意してください。

発進時はブレーキペダルを、ゆっくりとゆるめることをつねに心がけてください。ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキを解除し、アクセルペダルに踏みかえます。

- 急発進を防ぐために、アクセルペダルは徐々に踏み込んでください。ルームミラーやドアミラーで、確認できない死角範囲があります。
- 発進するときは、周りの状況にも十分注意してください。
- 適切な始動方法と運転操作をご理解いただくために、「運転操作の要領」の説明もあわせてご覧ください。

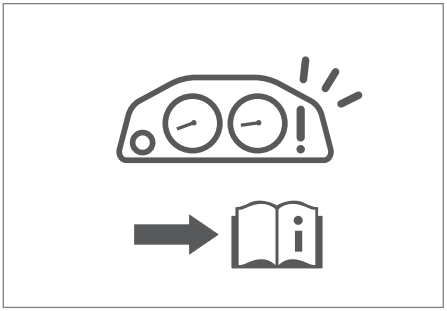


関連情報

- エンジン始動時のご注意！（p. 68）
- 重要な操作上のご注意！（p. 70）

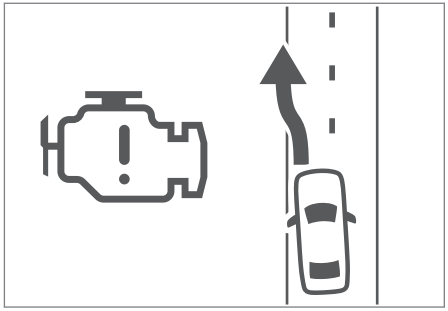
重要な操作上のご注意！

走行中にメーター・パネルにある警告灯が点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、オーナーズマニュアルに従って適切な処理をおこなってください。



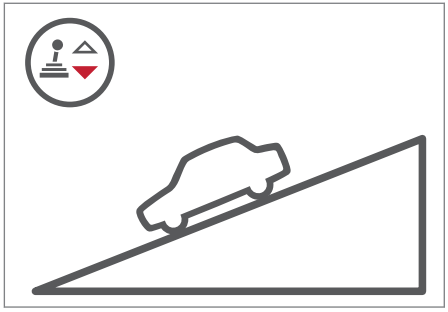
- 走行中の車の状態にも注意し、いつもと違うエンジン、排気系統からの異音、臭い、運転感覚などの違いを感じた場合は、すみやかに点検を行ってください。そのまま走行を続けると、重大な事故につながるおそれがあります。

走行中にエンジンが停止した場合は、安全な場所に停車してください。



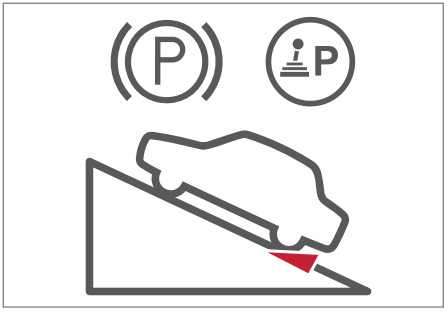
- 特に高速道路などで停車する場合は、後続車両に十分注意してください。
- 走行中にエンジンが停止すると、ブレーキの倍力装置やパワーステアリング装置の倍力補助が正常に作動しなくなるので、ブレーキペダルの踏み込みが硬くなり、ハンドルが重くなります。

長い下り坂や急な坂道を下る場合は、低いシフトレンジにシフトダウンしてエンジンブレーキを併用してください。



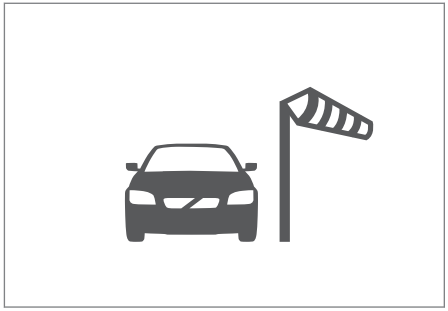
- ブレーキペダルを踏み続けたり急ブレーキを繰り返すと、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、最悪の場合は停止できなくなるおそれもあります。
- エンジンブレーキを使用する際は、車のコントロールを失ってしまうような過度な効かせかたをしないでください。

坂道で駐車する場合は、パーキングブレーキを確実にかけ、セレクターレバーをP(パーキング)に入れてください。



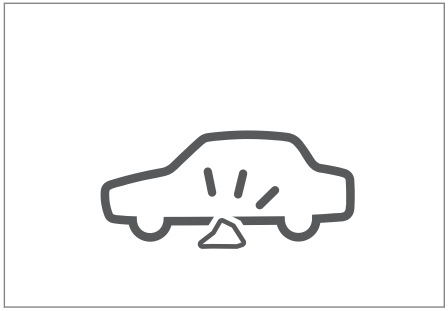
さらに急な坂道では、タイヤに輪止めをしてください。

強風で車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかりと握りスピードはひかえめに走行してください。



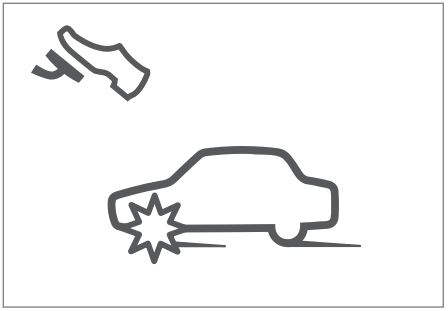
- 特にトンネルの出口や橋、土手の上、山の切り通し、大型車を追い越したり追い越されたりする場合、強い横風が発生しやすいので十分に注意してください。

走行中に路上の障害物によって、車の床下に衝撃を受けた場合は、安全な場所に停車し、車の下にブレーキオイルや燃料などの漏れがないか、また各部に損傷がないかも必ず確認してください。



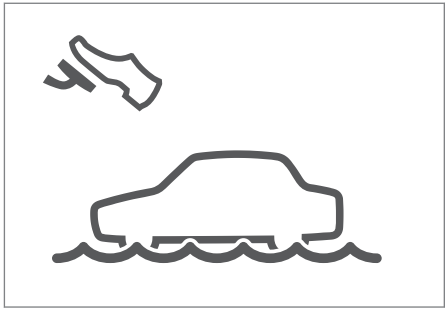
- そのまま走行を続けると、大変危険です。

走行中にタイヤがパンクした場合は、タイヤ、ホイールを損傷させないように徐々にブレーキをかけてゆっくり減速してください。



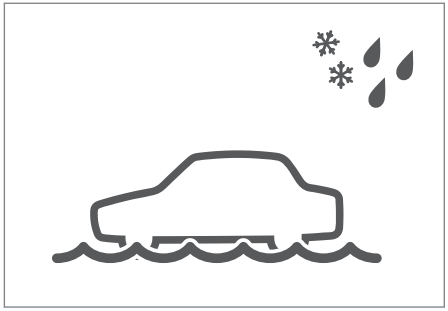
急ブレーキをかけると、ハンドルを取られて大変危険です。

水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。



- ブレーキペダルを軽く踏み、効き具合を確認してください。ブレーキの効きが悪いときは、しばらく低速で走行しながらブレーキペダルを軽く数回踏み、ブレーキを乾かしてください。

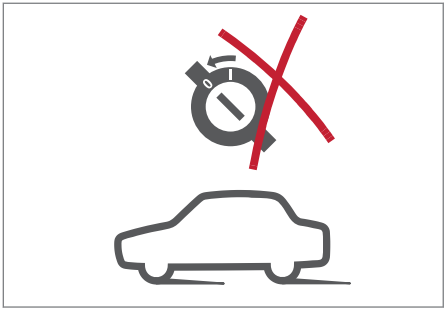
雨天時は路面が滑りやすくなっています。



急加速、急ブレーキ、急ハンドルを避け、スピードをひかえめにして走行してください。

- 積雪路や凍結路など、普段と異なる環境で走行する場合は、特に慎重に運転してください。

走行中は、エンジンを止めないでください。

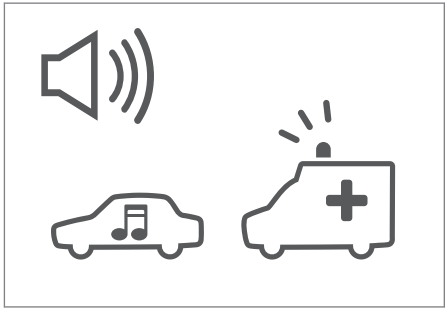


- 走行中にエンジンを止めると、ブレーキペダルの踏み込みが硬くなり、ハンドル操作も非常に重くなって事故につながるおそれがあり危険です。
- リモートコントロールキーをロック位置にしてキーを抜くと、ハンドルがロックされてハンドル操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中は、ハンドルやシートの位置を調節しないでください。

- 走行中に調節すると、正しい運転操作ができず重大な事故につながるおそれがあり大変危険です。

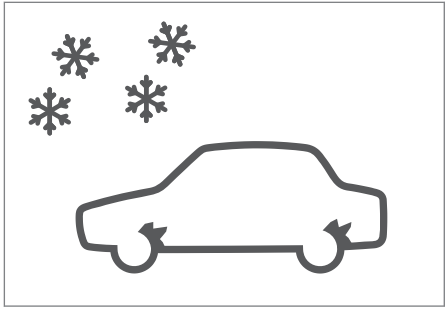
オーディオの音量はほどほどに



テレビやカーナビを見ながらの運転はおやめください。

- 過大な音量で聞いていると、緊急車両が近づいてもわからない場合があります。
- テレビやカーナビを見ながら、あるいは携帯電話を使用しながらの運転も事故につながるおそれがあり大変危険です。また、道路交通法違反にもなります。

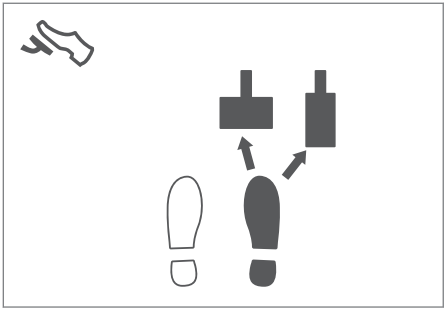
雪路を走行中は、はね上げた雪や氷が車のフェンダーの裏側に少しずつ溜まって氷結し、ハンドルの切れを悪くします。



ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。

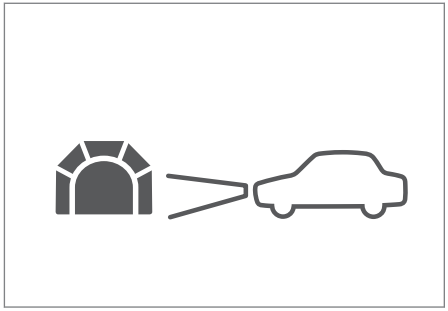
- ブレーキシステムに付着して、ブレーキの効きが悪くなる場合がありますので、ときどき軽くブレーキペダルを踏み、ブレーキの効き具合を確認してください。

ブレーキペダルはアクセルペダルのように、右足で踏む習慣をつけてください。



- 左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど適切なブレーキ操作ができず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

トンネル内を走行する際は、ヘッドライトを点灯し、速度を落として進入してください。



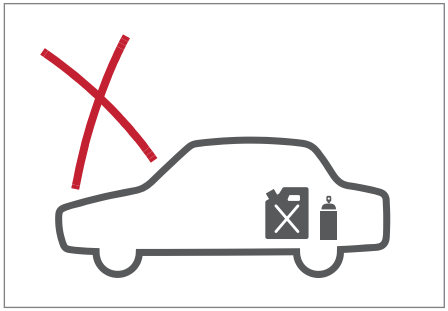
- 照明が暗いトンネルでは、進入直後に急に視界が悪くなる場合がありますので注意してください。また、トンネルを出た後は、ライトの消し忘れにも注意してください。

関連情報

- 発進時のご注意！（p. 70）
- してはいけないこと！（p. 75）

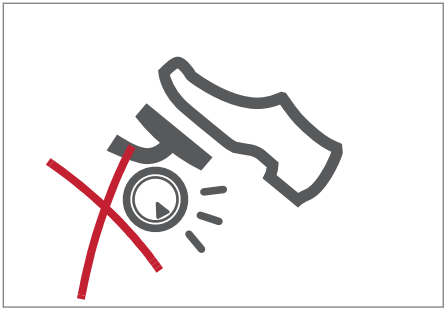
してはいけないこと！

車内やトランクルーム/カーゴスペース内などに、燃料の入った容器やスプレー缶などの可燃物を放置しないでください。



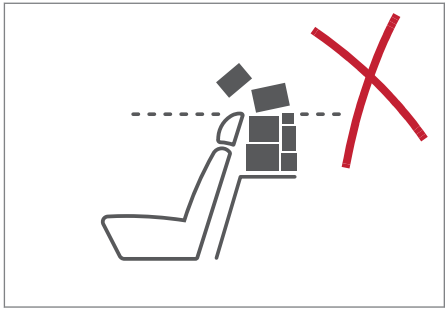
- 特に夏期には可燃物が気化しやすく、膨張して引火、爆発するおそれがあり大変危険です。

運転席の足元付近に、物を置かないでください。



- 空き缶などが足元にあると、アクセルペダルやブレーキペダルの下に挟まって操作の妨げとなり、重大な事故につながるおそれがあります。

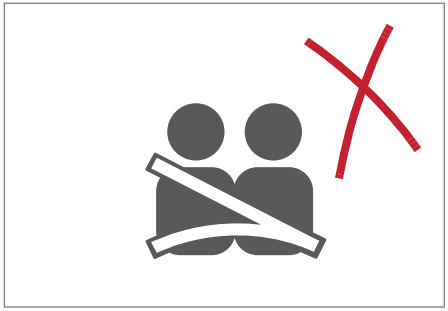
荷物を、シートバックよりも高く積み上げないでください。



また、後席のシートバックの後方にあるハットシェルフの上に、荷物を置かないでください。

- 急ブレーキや衝突の際に物が移動したり飛び出してケガをしたり、荷物が損傷して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転視界を妨げないためにも、荷物はできるだけラゲッジルームに載せ、あるいはシートバックの高さよりも低く水平に積み、走行中に荷物が動かないように確実に固定してください。

二人で、同一のシートベルトを使用しないでください。



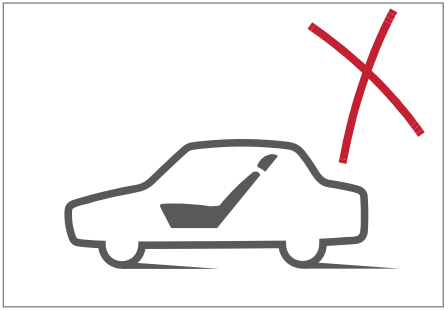
- 衝突した際に二人が互いにぶつかり合い、大ケガをするおそれがあります。また、シートベルトが本来の機能を発揮しません。

肩ベルトを、肩の後ろに通さないでください。

また、脇の下に通したり、ベルトをねじったり、たるみをつけて着用することもしないでください。

- 衝突の際に、上半身が前方へ移動してベルトの力が直接腹部にかかり、大ケガをするおそれがあります。

走行中はシートバックを、大きくリクライニングさせないでください。

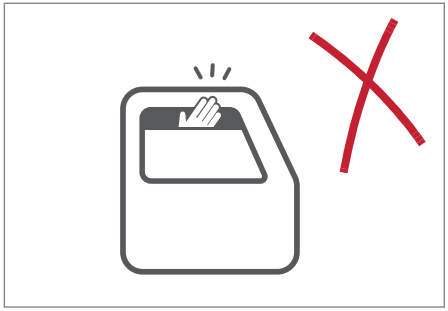


- リクライニングしていると、衝突した際にシートベルトが十分に機能しないため、大ケガをするおそれがあります。

走行中には、絶対にお子様をエアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしないでください。

エアバッグが作動した際に衝撃を受け、大ケガをするおそれがあり大変危険です。乗車させる場合は、チャイルドシートを必ず使用してください。

お子様にドアやパワーウインド、パノラマルーフの操作をさせないでください。

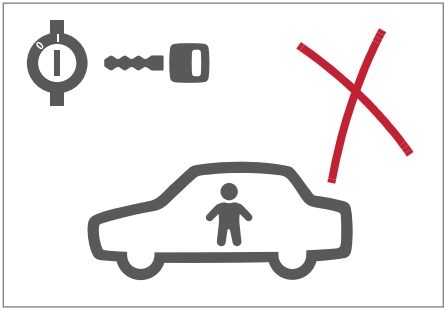


- 閉めるときに手や頭などを挟んで、思わぬケガをするおそれがあり大変危険です。
- 走行中、あるいは後方を確認しないでドアを開けると、大変危険です。

走行中にウインドやパノラマルーフから、顔や手を出さないでください。

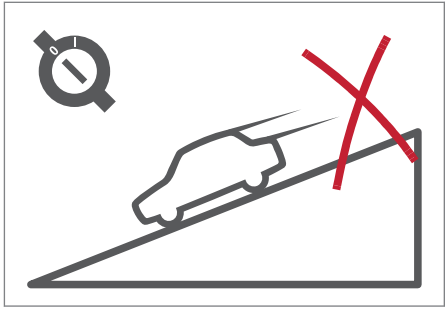
- 車外の障害物に当たったり、急ブレーキの際に車外に投げ出されて、大ケガをするおそれがあります。

リモートコントロールキーを付けたまま、お子様を車内に残さないでください。



- お子様がパワーウインドやその他の装置を動かしたり、あるいは車を発進させてしまう場合があり、大ケガをしたり火災や事故につながるおそれがあります。
- 車から離れる場合は、お子様もご一緒にお連れください。また、リモートコントロールキーを必ず抜いてください。

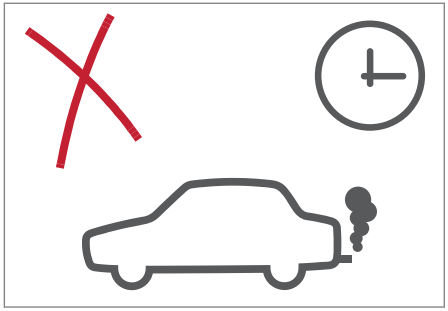
エンジンが停止しているときは、車を移動させないでください。



車を少しでも移動する場合は、必ずエンジンを始動してください。

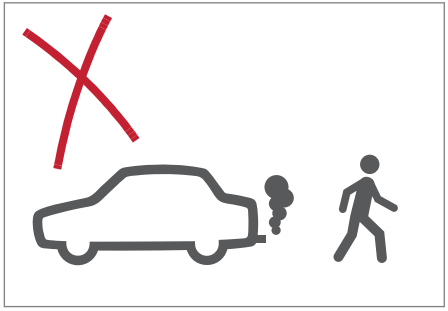
- エンジンが作動していないと、ブレーキペダルの踏み込みが硬くなり、ハンドル操作も重くなって思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 特に坂道を利用しての移動は、事故を起こす可能性が高く危険です。

エンジンを始動したら、長時間アイドリングをしないでください。



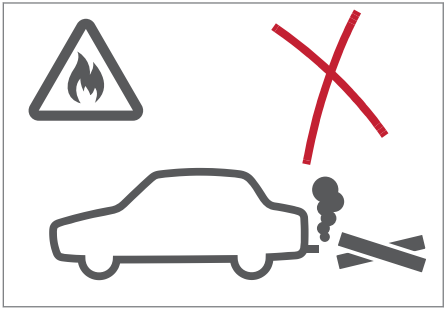
エンジンに悪影響を与え、燃費も悪くなります。

エンジンが作動しているときは、車から離れないでください。



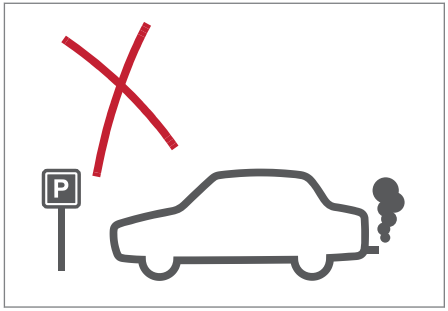
- パーキングブレーキが完全にかけられていない場合や、セレクターレバーが P(パーキング)に確実に入っていない場合、車が急に動き出すおそれがあります。
- 短い時間でも、車から離れたときに車内の貴重品を盗まれたり、車ごと盗難されるおそれがあります。

枯れ草や枯れ葉、紙、木材など、燃えやすい物があるところで駐停車したり、走行したりしないでください。



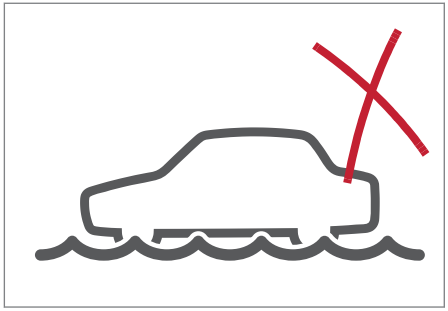
- 排気管や排気ガスの熱により着火し、火災が発生するおそれがあります。
- 木材、ベニヤ板などが車両後方にあるときは、車両後端を 60 cm 以上離して止めてください。木材との距離が短いと排気ガスによって変色や変形したり、火災になるおそれがあります。

停車中に、エンジンを空吹かししないでください。



- セレクターレバーが **P**(パーキング)または **N**(ニュートラル)以外にあると、車が動き出して思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。近隣の方の迷惑にもなります。

深い水たまりや冠水路は、走行しないでください。

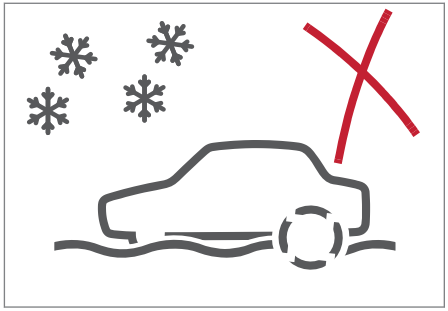


- 水が吸気口や排気管からエンジンに侵入して、エンジンを損傷させるおそれがあります。
- 車内の床面に少しでも水が入ってしまった場合は、ただちに運転を中止してください。浸水した水が車の電子システムの作動に悪影響を与えて、誤作動するおそれがあり大変危険です。
- 冠水してエンジンが停止した場合は、絶対にエンジンを再始動させずに修理を依頼してください。エンジン内部が損傷する原因となります。

河原や砂地は、できる限り走行しないでください。

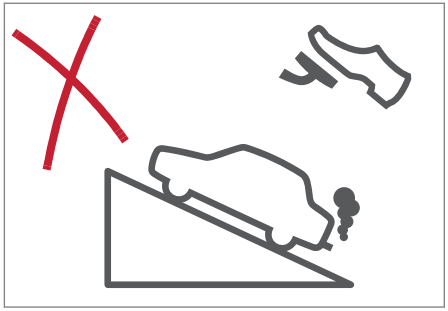
- タイヤ、床下、サスペンションなどを損傷し、さらには砂利石など障害物に挟まれたり、砂地にはまって脱出できなくなるおそれがあります。
- AWD 車といっても、万能ではありません。

車が新雪やぬかるみにはまり込んでしまった場合は、脱出するときに高速で車輪を回転をさせないでください。



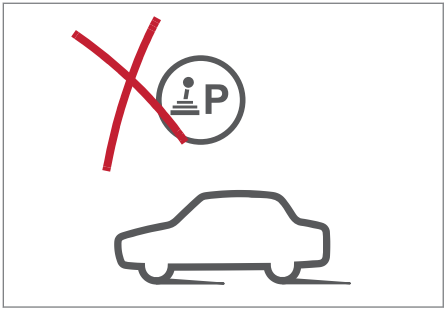
- タイヤを高速で回転させると、タイヤが破裂したり、車体や駆動システム損傷して思わぬ事故につながるおそれがあります。

上り坂の途中で、ブレーキの代わりにアクセルペダルを踏んで、車を停止状態に保つことはしないでください。



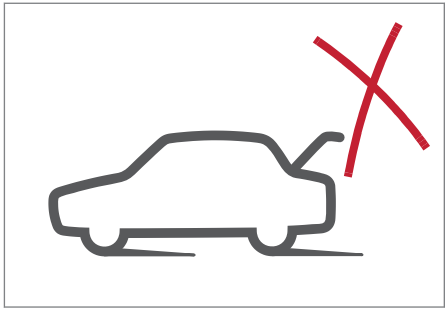
- トランスミッションが損傷する原因となります。

車が動いているときは、セレクターレバーをP(パーキング)に入れないください。



- 車が停止しているときにのみ、**P**(パーキング)にシフトしてください。走行中に**P**にシフトすると、トランスミッションが損傷します。
- 前進中に、**R**(リバース)にシフトしないでください。また、後退中に前進位置にシフトしないでください。トランスミッションが損傷する原因となります。

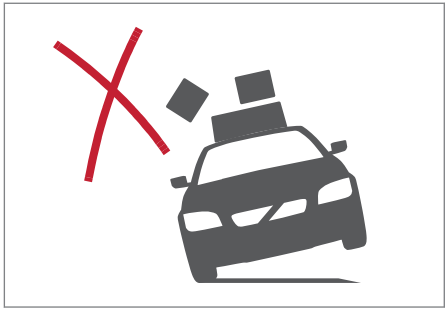
トランクリッドまたはテールゲートを開けたまま、走行しないでください。



排気ガスが車内に侵入するおそれがあり大変危険です。

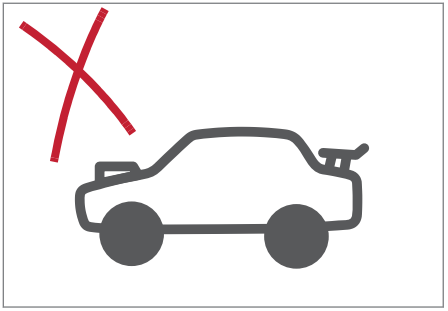
- トランクリッドまたはテールゲートを開けたまま走行すると、車外の物などに当たったり、車内の物が落ちて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ルーフには直接、物を載せないでください。



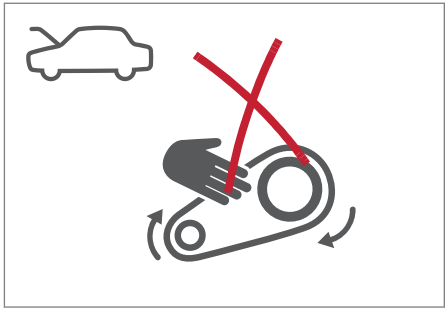
- 荷崩れなどを起こして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ロードキャリアなどを付けた場合でも、重い物や大きな物は載せないでください。重心が高くなり、走行不安定になり大変危険です。

違法改造はししないでください。



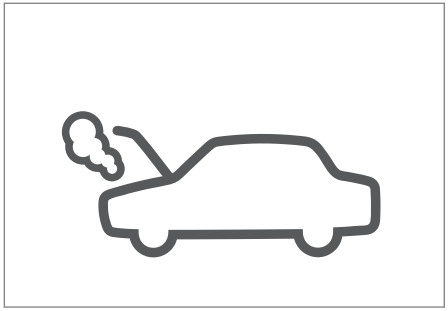
- 車の性能や機能に適さない部品を装着すると故障の原因となったり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ボルボ純正部品を、必ずご使用ください。

エンジン作動中は、ドライブベルトなど回転している部分に手や衣服、髪の毛などを近付けないでください。



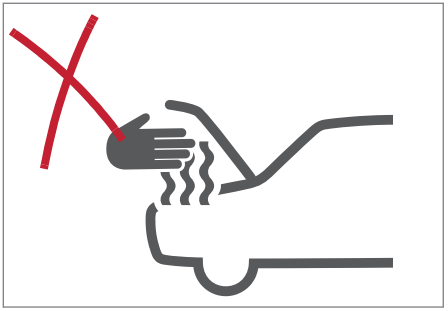
- 電動クーリングファンは､エンジン停止中でも自動的に回転する場合があり大変危険です。ご注意ください。

過熱したエンジンから噴き出す蒸気によって、ボンネットを開けただけでも大ヤケドをするおそれがあります。



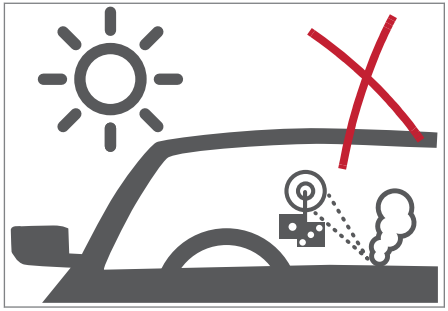
蒸気が噴き出すのが見えたり、噴き出す音が聞こえた場合は、エンジンに近寄らないでください。

エンジンやラジエータが熱いときは、エキスパンションタンクキャップを開けないでください。



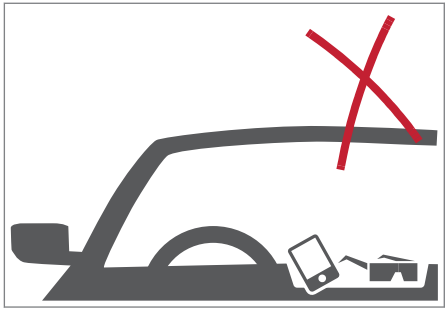
- 沸騰した液体と蒸気が噴き出して､ヤケドをするおそれがあります。冷えるまでお待ちください。

ウインドスクリーンに、アクセサリーなどを取り付けないでください。



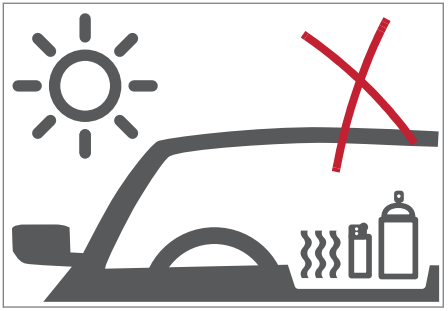
- 運転視界を妨げたり、吸盤などがレンズの役目をして火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

メーター・パネルやダッシュボードの上に、物を置いたまま走行しないでください。



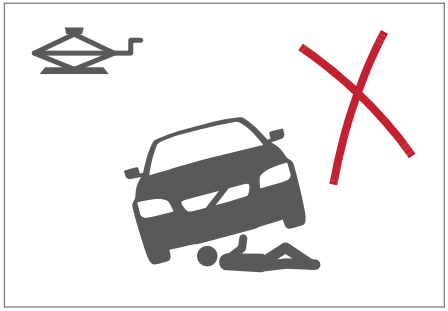
- 運転視界を妨げたり、発進時や走行中にそれらが移動して、安全運転の妨げになります。
- 衝突の際にエアバッグが正常に作動せず、大ケガをするおそれがあります。

車内にライターやスプレー缶、炭酸飲料などの缶類を放置しないでください。



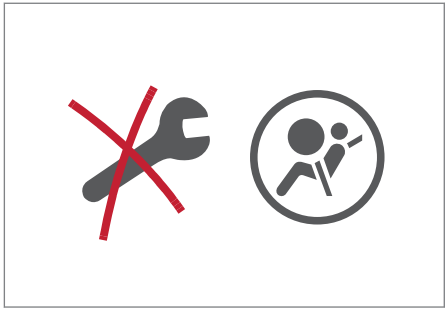
- 炎天下などに駐車していると、車内が高温になり、ライターなどの可燃物が自然発火したり、缶類が破裂するおそれがあり大変危険です。

ジャッキアップした車の下には、絶対に入らないでください。



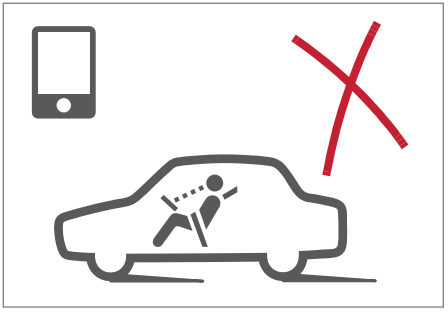
- ジャッキが突然外れて、大ケガをするおそれがあり危険です。また、ジャッキは必ず水平な場所で、正しいジャッキ取り付け位置にあてがってください。
- ジャッキをかけたまま、エンジンをかけないでください。車が突然動き出して、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車が動き出さないようにパーキングブレーキをかけ、地面に接しているタイヤの前後に輪止めをしてください。

エアバッグ装置を、ご自分で修理・交換しないでください。



- エアバッグ装置の修理・交換は、必ずボルボ指定のサービス工場にご用命ください。ご自分で不適切な修理・交換を行うと、誤って作動して大ケガをしたり、正常に作動しないおそれがあり大変危険です。

運転中はナビゲーションシステムを眺め続けたり、携帯電話を使用したりしないでください。



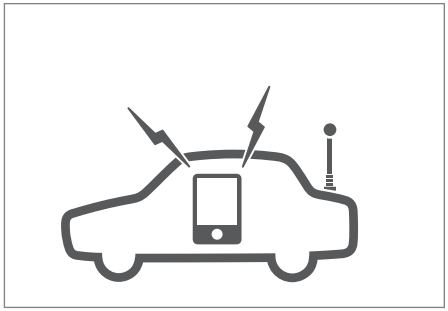
- 運転中のナビゲーションシステム(RTI など)の注視/使用により前方不注意となり、事故を起こす原因となります。
- 携帯電話を探したり、電話の操作に気をとられる、また、会話に夢中になるなどして、大変危険で重大な事故を起こす原因となります。また、道路交通法違反にもなります。

関連情報

- 重要な操作上のご注意！ (p. 70)
- その他使用上のご注意！ (p. 85)

その他使用上のご注意！

車に無線機、自動車電話などの電子機器を取り付けると、エンジンなどを制御する電子システムの作動に障害を与える場合があります。



正常な走行ができなくなったり最悪の場合、火災など、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

- このような装置を取り付ける際は、必ずボルボ指定のサービス工場にご相談ください。

走行中の飛び石などによるボディーの傷は、すみやかに補修をしてください。

また、酸性雨、塩害、鳥糞、薬品、鉄粉、煤煙、降灰などがボディーにかかった場合も、すみやかに洗い流すなどして取り除いてください。

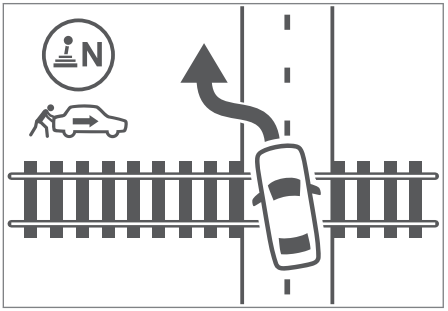
- ボディーの傷をそのままにしておくと、塗装面ばかりではなくボディーそのものを腐食させてしまいます。
- 鳥の糞などの成分で塗装を急速に変色させ、洗っただけでは取れないシミが残ります。

関連情報

- してはいけないこと！（p. 75）
- 踏切などで動けなくなったとき！（p. 85）

踏切などで動けなくなったとき！

安全な場所まで押し出してください。（セレクターレバーは、N（ニュートラル）位置にしてください）



ただし、列車が近づいている場合は、ただちに全員安全な場所に避難してください。

- ただちに、車から全員降りて安全な場所に避難してください。
- 踏切から脱出できない場合は、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがない所では、非常信号用具/懐中電灯や目立ちやすい赤い布などで、安全な場所から列車に合図してください。

関連情報

- その他使用上のご注意！（p. 85）
- 万が一、事故を起こしてしまったら…（p. 86）

万が一、事故を起こしてしまったら…

事故現場での対処法は、次の通りです。

事故発生

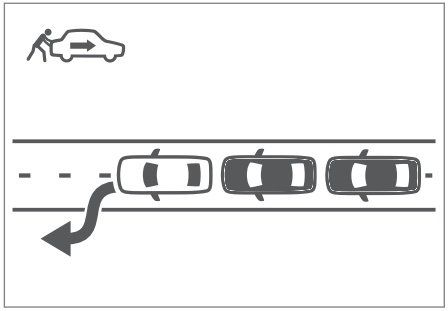
ケガ人を救助する：

- どんなに軽いケガでも病院へ。ただし､むやみにケガ人を動かさない方がよい場合があります。必要であれば救急車を呼んでください。（警察・消防に連絡するときは、場所や目印になるもの、ケガ人の状況、事故の様子などを伝える）

加害者、被害者に関わらず、相手を確認する。

- 氏名､住所､勤務先､車の登録番号(ナンバープレート)、相手の加入先の保険会社名、証券番号、契約者名などを確認する。

可能であれば、車を安全な場所に移動する。



- 渋滞や二次災害を起こさないように。

事故状況を確認してメモをとる。

- スピード、信号、停車位置などを確認します。目撃者の証言も重要です。忘れない内にメモしましょう。

必ず警察に連絡する。

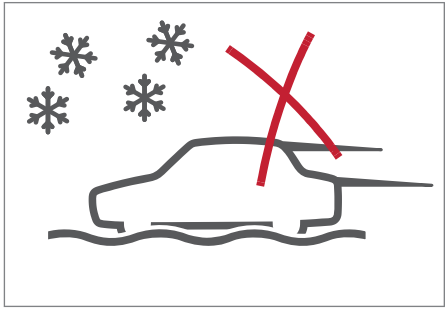
- 警察に事故届を、必ず出してください。

関連情報

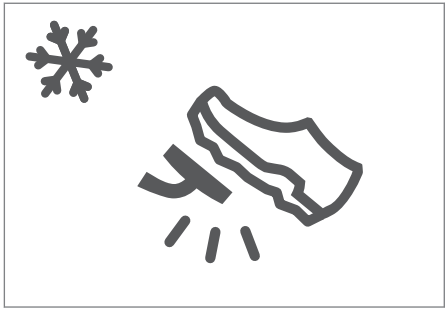
- 踏切などで動けなくなったとき！（p. 85）
- 冬道での安全走行のポイント！（p. 87）

冬道での安全走行のポイント！

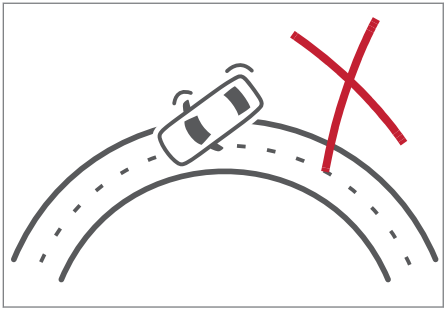
路面の積雪、雪質、凍結状況に応じた適切な運転を行ってください。



- 車に雪が積もっている場合は、雪を落としてから走行してください。
- 車に雪が積もっている場合、ドアの開閉時に車内に入らないように注意してください。
- 降雪時や前走車で巻き上げられる雪煙などで、視界が妨げられるので注意してください。また、ヘッドライトやテールランプに付着した雪は、こまめに取り除いてください。

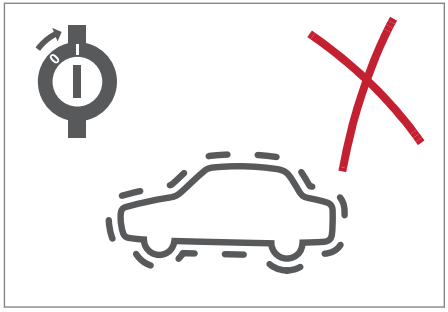


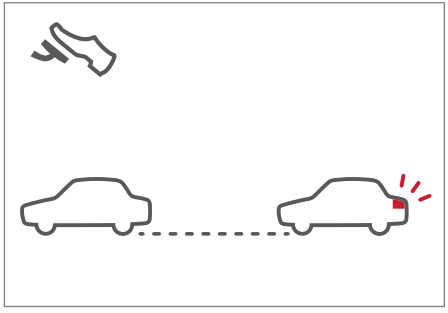
- ペダル操作を誤らないように、靴底の雪などを落としてください。
- ブレーキは一度に強く踏み込まずに、ソフトに踏んでください。
- 急ハンドルは避けて、スムーズなハンドル操作をしてください。
- 交差点付近やカーブの手前では、早めに減速してください。



- 急なアクセル操作によるスリップを避けるため、カーブは一定の速度で走行してください。
- 橋の上や山間部では、凍結やスリップに注意してください。
- 日中でも、日陰などは雪や氷が残っている場合がありますので、十分に注意してください。

急発進は避けてください。





ゆっくり発進してください。

- ブレーキは早めに踏んでください。急ブレーキは避けて、エンジンブレーキを上手に使用してください。
- 下り坂では、エンジンブレーキを有効に使用してください。状況に応じて、シフトダウンしてください。
- 車間距離は十分にとり、車線変更は慎重に行ってください。
- つねに、2〜3 台前の車の動き・状況を見て、判断するようにしてください。
- 車両前部を風下に向けて、**パーキング(駐車)ブレーキ**はかけずに、**P** 位置に入れてください。パーキング(駐車)ブレーキを使用すると、凍り付くおそれがあります。
- ワイパーブレードがウインドスクリーンに凍り付いてしまわないように、注意してください。
- ドアキーシリンダーが凍り付いてしまう場合がありますので、注意してください。

関連情報

- 万が一、事故を起こしてしまったら… (p. 86)
- タイヤ・ホイールについて！ (p. 88)

タイヤ・ホイールについて！

- タイヤローテーションをする場合、タイヤのサイドウォール部にタイヤの回転方向(→)が表示されている際には、前進方向のタイヤの回転方向に合わせて、すべてのタイヤの(→)が前進方向になるように装着してください。
- 積雪路など走行時は、ウインタータイヤの残り溝が新品時の 50%以上ある(トレッドに残り溝マークが出ていない)事を確認してください。溝の深さが 50%未満のウインタータイヤは、ウインタータイヤとしての機能を十分発揮しません。
- スチールおよびアルミホイールに、亀裂、変形などの損傷や著しい腐食があるもの、また溶接や手直しした物は絶対に使用しないでください。
- タイヤやリムの側面を縁石に接触させたり、道路上の物体や段差を乗り越えたりすることを避けてください。タイヤやリムに傷が付くおそれがあります。
- 急発進、急加速、急停止、急旋回は、大変危険ですので絶対にしないでください。特に、積雪路など滑りやすい道路では、事故を起こすおそれがありますので、カーブでは減速するなど道路状況に応じた適切な運転をしてください。
- 走行中は、つねに走行速度に応じた車間距離を取ってください。 特に、積雪路など滑り

やすい道路走行時は、十分な車間距離を取ってください。

- 走行中に操縦不安定、または異常な音および振動を感じたときは、すみやかに安全な場所に停車して、車両およびタイヤなどを点検してください。外観上、異常が見当たらなくても、早い時期にボルボ指定のサービス工場に点検を依頼してください。
- 瞬間パンク修理剤、またはタイヤ艶出し剤などで、タイヤに劣化など有害な影響を及ぼすおそれのあるものは、使用しないでください。
- タイヤのタイプやサイズを変更したとき(ウインタータイヤ←→夏タイヤ)などの場合は、タイヤの運動特性・操縦特性が変化しますので、十分注意して運転してください。
- ウインタータイヤで乾燥舗装路を走行する場合は、急発進、急加速、急停止、急旋回を避けて、安全運転を心がけてください。
- 車体と接触する状態で、タイヤを装着しないでください。また、フェンダーからはみ出すタイヤ・ホイールの装着は、違法改造となりますので、絶対にしないでください。なお、フェンダーからはみ出さない場合でも、ホイールハウスの内側、フェンダーの折り返しなどとの干渉にも注意してください。
- タイヤを取り外して保管する場合は、直射日光、雨および水、油類、その他熱源、火花などがかからないようにしてください。
- ホイールバランス調整時は、必ず 4 本調整してください。
- 定期的にホイールボルト・ナットの締め付け状態、ホイールバランスウエートの取り付け状態を確認してください。
- 自動洗車機を使用するとアルミホイールに傷が付くおそれがありますので、なるべく手作業で行ってください。

関連情報

- 冬道での安全走行のポイント！ (p. 87)
- タイヤチェーンについて！ (p. 89)

タイヤチェーンについて！

- 装着するタイヤとサイズが合ったタイヤチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンの装着を、事前に練習してください。
- タイヤチェーンは、必ず前輪左右に同じ物を装着してください。
- タイヤチェーン装着時、車体との隙間が十分にある事を確認してください。(詳しくは、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。)
- タイヤチェーンの脱着は、安全な場所で行ってください。
- タイヤチェーンを脱着する際に車を動かす場合は、チェーンの金具類をタイヤで踏まないでください。
- タイヤチェーン装着後、約 200 m ほど走行して異常な音、振動などがないか確認し、安全な場所で停車して再度、タイヤチェーンの取り付け状態を確認してください。
- タイヤチェーン装着時は、時速 50 km/h (30 mph)以下で走行してください。
- タイヤチェーン装着時は、急発進、急加速、急停止、急旋回やタイヤを空転させる運転は絶対にしないでください。

- タイヤチェーン装着走行中、異常な音や振動がしたら、安全な場所に車を止めて点検してください。
- 雪のない舗装路面を、タイヤチェーンを装着して連続走行しないでください。

関連情報

- タイヤ・ホイールについて！（p. 88）
- 燃料補給時のご注意！（p. 90）

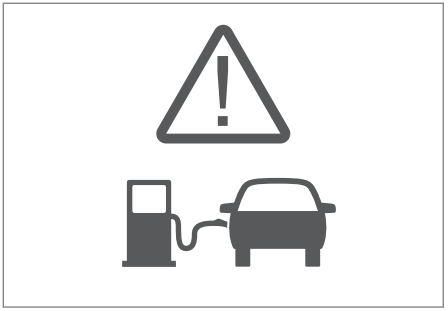
燃料補給時のご注意！

燃料補給時は、次の事を必ず守ってください。

燃料補給時は、次の事を必ず守ってください。身体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火する場合があり、ヤケドをするおそれがあります。

- **エンジンは、必ず止めてください。**
- 車のドア、窓を閉めてください。
- **タバコなどの火気を、近付けないでください。**
- 燃料の給油口にポンプのノズルを**挿入する前に**、車両のボディまたは給油機などの金属部分に触れて、必ず身体の**静電気除去を行ってください**。
- 給油口のフラップを開くなどの**給油操作はすべて、必ず一人で行ってください**（複数で行うと、静電気が除去できない場合があります）。
- **給油中、再び車内のシートに戻らないでください**（座ることで再帯電する場合があります）。
- **給油口に、他の人を近付けないでください**。
- ガソリンスタンドの計量器が、最初に自動停止した時点で給油をやめてください。過度に給油すると、気温が高いときに燃料が外に漏れ出すおそれがあり、大変危険です。

その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を必ず守ってください。



- アルコール系燃料や不適切な燃料添加剤を給油/使用すると、走行性能の悪化、およびエンジン/燃料系統に重大な障害を与え、燃料漏れなどの不具合や火災などの事故にいたる危険性があり、また車を長期間ご使用されずにいた場合、燃料が劣化するおそれがあります。

必ず、適正なガソリンをご使用ください。

- ディーゼルエンジン搭載車にディーゼル以外の燃料の補給は絶対にしないでください。
- ガソリンエンジン搭載車にガソリン以外の燃料の補給は絶対にしないでください。
- 指定グレードの燃料を使用してください。
- 誤った燃料を少量でも使用すると、燃料系統やエンジンが損傷するおそれがあります。

関連情報

- タイヤチェーンについて！（p. 89）
- 保証とアフターサービス（p. 91）

保証とアフターサービス

保証書（別冊）

- 保証書は、必ず「お名前、ご住所、販売店名」などの必要事項が記入され、販売店印が押印されていることをご確認の上、保証規定の内容をよくお読みください。保証書は、大切に保管してください。 **保証期間、保証内容などは、保証書（別冊）に記載しています。**

修理を依頼されるとき

- 修理を依頼されるときはお買い上げいただいたボルボディーラー、またはボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。なお、保証期間中に修理を依頼される際は、保証書/メンテナンスノート（整備手帳）、点検整備記録簿をご提示ください。保証規定に示す条件に従って、ボルボ指定のサービス工場で修理させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談

- 修理などに関するご相談、ご不明な点は、お買い上げいただいたボルボディーラー、またはボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

なお、故障などの緊急時にボルボディーラー、またはボルボ指定のサービス工場に連絡が取れない場合（定休日など）は、ロードサイド・アシスタンスサービス、JAF などに対応を依頼してください。

関連情報

- 燃料補給時のご注意！（p. 90）

重要な安全上のご注意！

重要な安全上のご注意！

車両には、事故の際に運転者と乗員を保護するために連携して作動する複数のセーフティシステムが装備されています。

車両には、事故の際に反応し、さまざまなセーフティシステム(さまざまなタイプのエアバッグやシートベルトテンショナーなど)を作動させるセンサーが数多く装備されています。さまざまな角度からの衝突、横転または路上からの逸脱など、特定の事故状況に応じて、システムは最善の保護を提供できるよう反応します。

Whiplash Protection System など、機械式のセーフティシステムもあります。また、車両は衝突による衝撃の大半をビーム、柱、フロア、ルーフ、ボディのその他の部分に拡散できるよう作られています。

衝突後、車両の重要な機能が損傷した場合は、車両のセーフティモードがオンになることがあります。

ドライバーディスプレイの警告灯

車両の電気系統をイグニッション位置 II にすると、ドライバーディスプレイの警告灯が点灯します。車両のセーフティシステムに不具合がない場合、警告灯は約 6 秒後に消灯します。

⚠ 警告

警告灯が点灯している場合、または走行中に警告灯が点灯し、ドライバーディスプレイに **SRSｴｱﾊﾞｯｸﾞ 至急ｻｰﾋﾞｽが必要 ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟにお越し下さい** というメッセージが表示される場合は、安全システムの一部が正常に機能していないことを表しています。すみやかにボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

⚠ 警告

絶対に、ご自分で車両のさまざまな安全装置の改造や修理をしないでください。システムへの作業に不具合があると、誤作動につながり、大ケガをするおそれがあります。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

特定の警告灯が損傷している場合は代わりに車両全般用の警告灯が点灯し、ドライバーディスプレイに同じメッセージが表示されます。

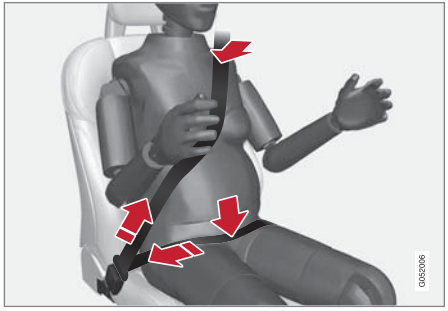
関連情報

- 妊娠中の安全確保のために（p. 95）
- シートベルト（p. 97）
- エアバッグ（p. 102）
- Whiplash Protection System（p. 95）
- セーフティモード（p. 108）
- チャイルドセーフティ（p. 110）

妊娠中の安全確保のために

妊娠中はシートベルトを正しく使用することが重要です。また、妊娠中の方が運転する場合、正しい着座姿勢をとることも重要です。

シートベルト



肩ベルトは肩から胸の中央を通り、腹部の横にくるようにかけてください。

腰ベルトは、骨盤のできる限り下の位置にかけてください。絶対に腹部を圧迫しないように注意してください。シートベルトはゆるみがない状態で、体に確実に密着させてください。さらに、シートベルトがねじれていないことを点検してください。

着座姿勢

妊娠中の運転では、妊娠月が進むにしたがって、フットブレーキやステアリングホイールの操作など車両の操作がしやすいようにシートおよびステアリングホイールを調節してください。

シートを腹部とステアリングホイールの間の距離が最大となる場所に配置してください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！（p. 94）
- シートベルト（p. 97）
- フロントマニュアルシート（p. 165）
- フロントパワーシート*（p. 165）

Whiplash Protection System

Whiplash Protection System（WHIPS）は、むち打ち症のリスクを低減します。このシステムは、衝撃を吸収するバックレストおよびシートクッションと、特別な機構を持つフロントシートのヘッドレストで構成されています。

追突されたときに、追突の角度、速度、および追突車の状態などが作動条件に合うと、WHIPSが作動します。

WHIPS が作動すると、フロントシートバックレストが後方に傾斜し、シートクッションが下方向に移動して、運転席および助手席の乗員の着座姿勢を変えます。この動きにより、むち打ち症を引き起こす原因となる衝撃の一部を吸収します。

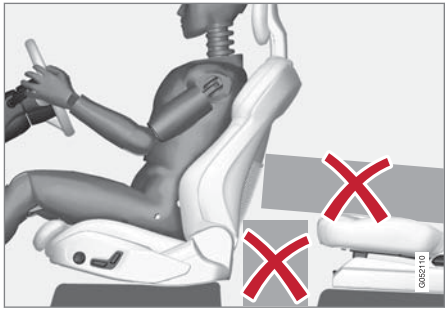
⚠ 警告

WHIPS は、シートベルトの補助機能です。シートベルトを必ず着用してください。

⚠ 警告

ご自身で、シートまたはWHIPSの改造や修理を絶対にしないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

衝突などが原因でフロントシートに大きな力が加わった場合は、必ずシートを交換してください。シートに損傷が見当たらなくても、シートの保護装置の一部が失われているおそれがあります。



WHIPSの作動が妨げられないよう、フロントシートまたはリアシートの後ろまたは下のフロアには、なにも置かないようにしてください。

⚠ 警告

リアシートクッションとフロントシートバックレストの間に、硬い物を置かないでください。

リアシートのバックレストを倒す場合、衝突の際に荷物がフロントシートバックレストまで滑ってこないように荷物を固定する必要があります。

⚠ 警告

リアシートのバックレストを倒す、または後ろ向き装着タイプのチャイルドシートをリアシートで使用する場合、倒したバックレストまたはチャイルドシートと接触しないように、該当する側のフロントシートを前方へ移動させる必要があります。

着座姿勢

WHIPS の保護効果を最大限に引き出すために、運転者と助手席乗員は正しい着座姿勢を保ち、システムの機能を妨げないようにすることが必要です。

走行を開始する前に、フロントシートでの正しい着座姿勢を確認してください。

運転者と助手席乗員は、頭部とヘッドレストの間の隙間ができるだけ小さくなるような姿勢で、シートの中央に座ってください。

WHIPS とチャイルドシート

WHIPS はチャイルドシート/ブースタークッションに座っているお子様の保護効果を損なうものではありません。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 94)
- フロントマニュアルシート (p. 165)
- フロントパワーシート* (p. 165)
- Rear Collision Warning (p. 402)
- チャイルドシート (p. 111)

* オプション/アクセサリー。

シートベルト

シートベルトを着用していないと、急ブレーキの際に大ケガをしたり、生命に危険がおよぶおそれがあります。

シートベルトの保護機能が最大の効果を発揮するためには、シートベルトが体に密着していることが重要です。バックレストはできるだけ倒さずに、立てた位置で使用してください。シートベルトは、通常の着座姿勢のときに効果を発揮するようにできています。

⚠ 警告

シートベルトをフックまたはその他の車内付属品に留めたり、かけたりしないでください。シートベルトが正しく締まらなくなります。

⚠ 警告

シートベルトとエアバッグの作動は、連動しています。シートベルトを着用していない場合、または着用方法が正しくない場合は、衝突の際にエアバッグの保護機能が最大限に働かないおそれがあります。

⚠ 警告

ご自身で、シートベルトの改造や修理を絶対にしないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

衝突などが原因でシートベルトに大きな力が加わった場合は、必ずシートベルト装置全体を交換してください。シートベルトに損傷が見当たらなくても、体を保持する機能が失われているおそれがありますのでご注意ください。シートベルトがすり切れていたり損傷している場合は、新しいシートベルトと交換してください。新しいシートベルトは必ず認定されたタイプを使用し、交換前と同じ位置に取り付けてください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！（p. 94）
- シートベルトテンショナー（p. 97）
- シートベルトの着脱（p. 98）
- ドアおよびシートベルトリマインダー（p. 100）

シートベルトテンショナー

車両には危機的な状況や衝突時にシートベルトのゆるみを取り除くことのできるパイロテクニックおよび電動シートベルトテンショナーが装備されています。

衝突時のシートベルトテンショナー

すべてのシートベルトに、パイロテクニックシートベルトテンショナーが装備されています。

パイロテクニックシートベルトテンショナーは、衝突により一定以上の力が加わったとき、シートベルトのゆるみを取り除いて、乗員をさらに効果的に拘束します。

危機的な状況でのシートベルトテンショナー

運転席シートベルトと助手席シートベルトには、電動シートベルトテンショナーが装備されています。

シートベルトテンショナーは運転者サポートシステム City Safety および Rear Collision Warning と連携して、一緒に作動する場合があります。パニックブレーキ、道路外への逸脱(溝への脱輪、地面からの浮き上がり、障害物との衝突など)、横滑り、衝突の危険性など、危機的な状況のとき、シートベルトテンショナーの電動モーターがシートベルトのゆるみを取り除きます。

電動シートベルトテンショナーは乗員の位置を修正して、身体を車内にぶつける危険性を低下させ、安全装置(車両のエアバッグなど)の効果をさらに高めます。

重要

助手席側エアバッグを無効にすると、助手席側の電動シートベルトテンショナーも無効になります。

電動シートベルトテンショナーのリセット

危機的な状況から抜け出すと、シートベルトおよび電動シートベルトテンショナーは自動的にリセットされます。

ベルトの張力が解除されない場合：

1. 安全な場所に停車します。
2. シートベルトを一旦外して、再着用します。
   > シートベルトおよび電動シートベルトテンショナーがリセットされます。

警告

ご自身で、シートベルトの改造や修理を絶対にしないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

衝突などが原因でシートベルトに大きな力が加わった場合は、必ずシートベルト装置全体を交換してください。シートベルトに損傷が見当たらなくても、体を保持する機能が失われているおそれがありますのでご注意ください。シートベルトがすり切れていたり損傷している場合は、新しいシートベルトと交換してください。新しいシートベルトは必ず認定されたタイプを使用し、交換前と同じ位置に取り付けてください。

関連情報

- シートベルト (p. 97)
- シートベルトの着脱 (p. 98)
- ドアおよびシートベルトリマインダー (p. 100)
- City Safety (p. 390)
- Rear Collision Warning (p. 402)
- 助手席側エアバッグのオン/オフ* (p. 104)

シートベルトの着脱

走行を開始する前に、乗員全員がシートベルトを着用していることを確認してください。

シートベルトを着用する

1. シートベルトをゆっくり引き出して、ねじれや損傷がないことを確認します。

   2列目のセンターシートでは、シートベルトが専用のベルトガイドに正しく入っていることを確認します。

注意

以下のような場合には、シートベルトがロックして引き出せなくなります:

- シートベルトを急激に引き出したとき
- ブレーキ時や加速時
- 車体が大きく傾いたとき

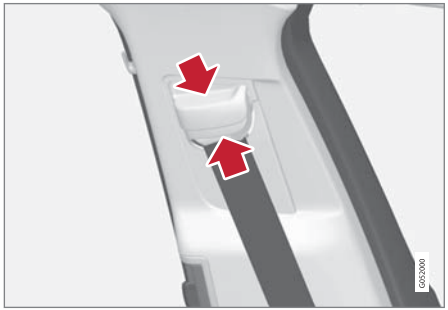
* オプション/アクセサリー。

2. ロックタブを専用バックルに差し込んで、シートベルトをロックします。
   › ロックすると、カチッと音がします。

⚠ 警告

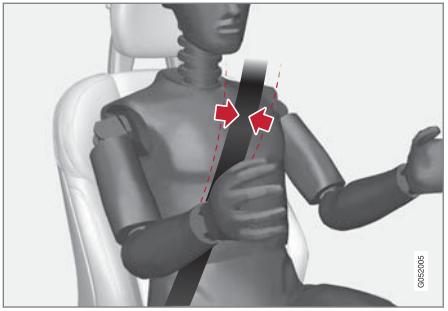
シートベルトは、必ず正しい側のバックルに差し込んでください。これを怠ると、衝突時にシートベルトやバックルが正常に機能しないおそれがあります。大ケガを負うおそれがあります。

3. フロントシートおよび2列目のドア側シートでは、シートベルトの高さを調節することができます。



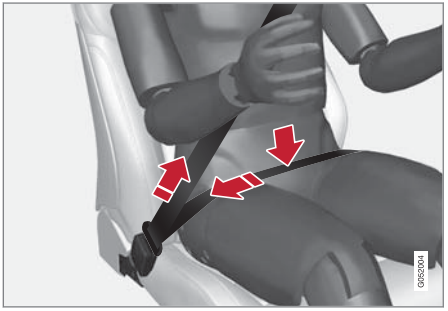
シートマウンティングを押して、シートベルトを上下に動かしてください。

ベルトがのどにかからない範囲で、ベルトをできるだけ高い位置に配置してください。



シートベルトは必ず肩にかかる必要があります(腕にかけないこと)。

4. 斜めにかかった肩ベルトを肩の方に引き上げて、腰ベルトを締めてください。



腰ベルトは、腹部を避け、必ず腰の低い位置にかけてください。

⚠ 警告

各シートベルトは 1 人用です。

⚠ 警告

シートベルトをフックまたはその他の車内付属品に留めたり、かけたりしないでください。シートベルトが正しく締まらなくなります。

⚠ 警告

シートベルトに傷を付けたり、バックルの中に異物を入れたりしないでください。衝突時にシートベルトやバックルが正常に機能しないおそれがあります。大ケガを負うおそれがあります。

シートベルトを外す

1. シートベルトバックルの赤いリリースボタンを押すと、シートベルトは自動的に巻き取られます。
2. シートベルトが完全に巻き取られない場合は、手で押し戻して、ゆるみが残らない状態まで完全に巻き取らせてください。

   2 列目のセンターシートでは、シートベルトが専用のベルトガイドに正しく入っていることを確認します。

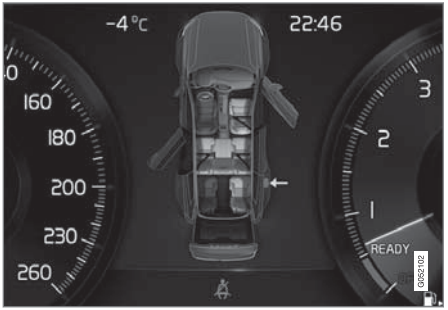
関連情報

- シートベルト（p. 97）
- シートベルトテンショナー（p. 97）
- ドアおよびシートベルトリマインダー（p. 100）

ドアおよびシートベルトリマインダー

システムはシートベルトを着用していない乗員にシートベルトの着用を促します。また、ドア、ボンネット、テールゲートまたは燃料給油口フラップが開いている場合も警告します。

ドライバーディスプレイのグラフィック表示



ドライバーディスプレイのグラフィックとさまざまな種類の警告ドアおよびテールゲートの警告の色は、車速に応じて異なります。

ドライバーディスプレイのグラフィックは、シートベルトを着用している乗員と着用していない乗員が座っているシートを表示します。

ボンネット、テールゲート、燃料給油口フラップ、またはいずれかのドアが開いている場合も同じグラフィックが表示されます。

グラフィックは右側のステアリングリモコンにある **0** ボタンを押して消すことができます。

シートベルトリマインダー

ルーフコンソールの警告表示

ルーフコンソールに警告が表示され、ドライバーディスプレイにも警告灯が表示されます。

警告音は車速、走行時間および距離に応じて異なります。

運転者および乗員のベルトの状態は、ベルトを着用したとき、または外したときにドライバーディスプレイグラフィックに表示されます。

チャイルドシートは、シートベルトリマインダーの対象外となります。

フロントシート

運転者または助手席乗員がシートベルトを着用していない場合、警告音および警告灯が作動して着用を促します。

リアシート

リアシートのシートベルトリマインダーには、2つの補助機能があります：

- リアシートのシートベルト使用状況を、インフォメーション・ディスプレイに表示します。シートベルトが使用されているときには、ドライバーディスプレイのグラフィックが表示されます。
- 走行中にリアシートのシートベルトが着用されていない場合、警告灯と警告音により着用を促します。このリマインダーは、シートベルトを再度着用すると停止します。

ドア、ボンネット、テールゲートおよび燃料給油口フラップのリマインダー

ボンネット、テールゲート、燃料給油口フラップまたはドアが正しく閉じていない場合、ドライバーディスプレイのグラフィックにより開いている箇所が表示されます。ただちに安全な場所に停車して、警告の対象箇所を閉めてください。

車速が約 10 km/h (6 mph) 未満のときは、ドライバーディスプレイのインフォメーションシンボルが点灯します。

車速が約 10 km/h (6 mph) を超えているときは、ドライバーディスプレイの警告灯が点灯します。

関連情報

- シートベルト（p. 97）
- シートベルトテンショナー（p. 97）
- シートベルトの着脱（p. 98）

エアバッグ

車両には、運転者および乗員用のエアバッグとインフレータブルカーテンが装備されています。

⚠ 警告

エアバッグコントロールモジュールは、センターコンソールの中にあります。センターコンソールに、水その他の液体が入った場合は、メインバッテリーへのケーブルの接続を外してください。エアバッグが展開するおそれがありますので、エンジンを始動しないでください。この場合、車両を回収します。積載車に載せて搬送してください。

作動後のエアバッグ

いずれかのエアバッグが作動したときは、次の指示に従ってください。

- 車両移動をします。ボルボ指定のサービス工場に搬送してください。エアバッグ作動後は、絶対に自走しないでください。
- ボルボ指定のサービス工場に、車両のセーフティシステム部品の交換を依頼してください。
- 医師の診察を必ず受けてください。

⚠ 警告

エアバッグ作動後は、絶対に自走しないでください。エアバッグによってハンドル操作が妨げられるおそれがあります。他のセーフティシステムも損傷を受けているおそれがあります。エアバッグ作動時に放出された煙や埃が原因で、目や皮膚に傷や炎症を起こす場合があります。炎症を起こした場合は、冷水でよく洗ってください。エアバッグの展開速度は極めて速く、エアバッグの布との摩擦熱で皮膚にヤケドや擦過傷を負うおそれがあります。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！（p. 94）
- 運転席側および助手席側エアバッグ（p. 102）
- サイドエアバッグ（p. 106）
- インフレータブルカーテン（p. 107）

運転席側および助手席側エアバッグ

シートベルトの補助として、車両には運転席および助手席にエアバッグが装備されています。

運転席側および助手席側エアバッグ

前面衝突の際、エアバッグが運転者および助手席乗員の頭部、顔面、胸部と運転者の膝および脚を衝撃から保護します。

衝突によって一定レベル以上の衝撃を受けると、センサーが作動してエアバッグが展開します。エアバッグにより、衝突時に乗員に対する当初の衝撃が緩和されます。エアバッグは、衝突による圧力がかかると内部のガスが抜け、収縮します。このとき、車内に煙が放出されますが、これは異常ではありません。エアバッグが膨張・収縮する一連の動作は、瞬間的に行われます。

注意

センサーは、衝突の性質やシートベルトが着用されているかどうかを判断し、それに応じて作動条件が変化します。どの座席にも該当します。

そのためエアバッグ 1 つだけが作動する場合や、1 つも作動しない場合があります。センサーは、車両が受けた衝撃の強さを感知して、必要なエアバッグだけを作動させます。

警告

シートベルトとエアバッグの作動は、連動しています。シートベルトを着用していない場合、または着用方法が正しくない場合は、衝突の際にエアバッグの保護機能が最大限に働かないおそれがあります。

エアバッグ作動時にケガをする危険を減らすため、乗員は背中全体がバックレストに接するように背筋を伸ばしてまっすぐに座り、足はフロアに置いてください。

警告

修理について、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。エアバッグシステムへの作業に不具合があると、誤作動につながり、大ケガをするおそれがあります。

運転席側エアバッグ

ステアリングホイールのエアバッグ

このエアバッグは、ステアリングホイールの中央に収納されています。ステアリングホイールに **AIRBAG** の文字が表示されています。

ニーエアバッグ

このエアバッグは運転席側のメーター・パネルの下部に収納されています。パネルに、**AIRBAG** の文字が表示されています。

警告

ニーエアバッグが格納されているパネルの前面または上部に物を置いたり、取り付けたりしないでください。

助手席側エアバッグ

このエアバッグは、グローブボックス上のパネル内に収納されています。パネルに、**AIRBAG** の文字が表示されています。

警告

助手席側エアバッグが装着されているダッシュボードの前や上には、絶対に物を置いたりアクセサリーなどを取り付けないでください。

助手席側エアバッグラベル

助手席側サンバイザーのラベル

助手席側ドアピラーのラベルラベルは助手席側ドアを開くと見えます。

助手席側エアバッグの警告ラベルは、前図の位置に表示されています。

⚠ 警告

車両に助手席エアバッグのオン/オフスイッチが装備されていない場合、エアバッグは常に作動可能な状態です。

⚠ 警告

助手席シートの前には、絶対に誰も立たせたり座らせたりしないでください。

助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向きチャイルドシートを使用しないでください。

助手席側エアバッグが無効になっている場合、絶対に乗員(お子様および大人)を前向きで助手席に座らせないでください。

この指示を守らないと、命を危険にさらす、または大ケガをするおそれがあります。

関連情報

- エアバッグ（p. 102）
- 助手席側エアバッグのオン/オフ*（p. 104）

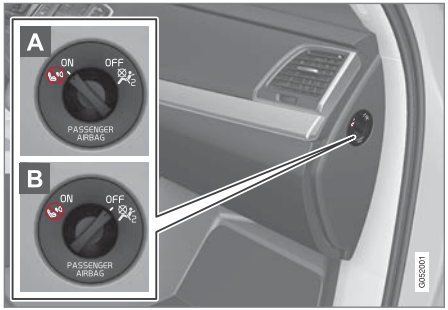
助手席側エアバッグのオン/オフ*

車両に助手席側エアバッグ・カットオフ・スイッチ、Passenger Airbag Cut Off Switch (PACOS)スイッチが装備されている場合、助手席側エアバッグはオフにすることができます。

スイッチ

助手席側エアバッグのスイッチは、メーター・パネルの助手席側端にあります。助手席ドアを開けて操作します。

スイッチが希望の位置になっているか確認してください。



A **ON** – エアバッグがオン(作動可能状態)で、前方を向いて着座する乗員(お子様あるいは大人)が助手席に安全に座ることができます。

B **OFF** – エアバッグがオフ(非作動状態)で、助手席の後ろ向き装着タイプのチャイルドシートに、お子様が安全に座ることができます。

⚠ 警告

車両に助手席エアバッグのオン/オフスイッチが装備されていない場合、エアバッグは常に作動可能な状態です。

* オプション/アクセサリー。

助手席側エアバッグをオンにする

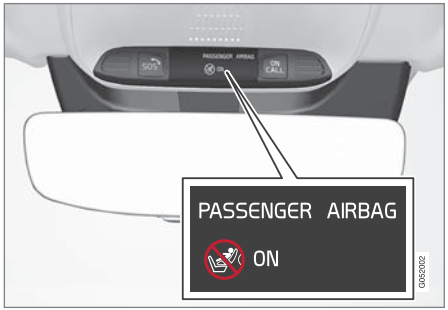
1 スイッチを引き出して、**OFF** (B)位置から **ON** (A)位置に回します。

› ドライバーディスプレイにメッセージ **助手席ｴｱﾊﾞｯｸﾞ ｵﾝ 了承して下さい**が表示されます。

注意

イグニッション位置が I 以下のときに助手席側エアバッグをオン/オフにした場合、車両の電気系統を II 以上のイグニッション位置にしてから約 6 秒後に、ドライバーディスプレイにメッセージが表示され、ルーフコンソールに以下のインジケーターが表示されます。

2. ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの **0** ボタンを押して、メッセージを確認します。



› ルーフコンソールにテキストおよびシンボルが表示され、助手席側エアバッグがオン(作動可能状態)になったことが示されます。

警告

助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向きチャイルドシートを使用しないでください。

助手席に乗員(お子様および大人)を前向きで座らせるときには、必ず助手席側エアバッグを有効にしてください。

この指示を守らないと、命を危険にさらす、または大ケガをするおそれがあります。

助手席側エアバッグをオフにする

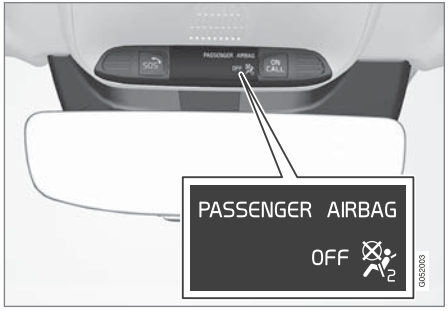
1 スイッチを引き出して、**ON** (A)位置から **OFF** (B)位置に回します。

› ドライバーディスプレイにメッセージ **助手席ｴｱﾊﾞｯｸﾞ ｵﾌ 了承して下さい**が表示されます。

注意

イグニッション位置が I 以下のときに助手席側エアバッグをオン/オフにした場合、車両の電気系統を II 以上のイグニッション位置にしてから約 6 秒後に、ドライバーディスプレイにメッセージが表示され、ルーフコンソールに以下のインジケーターが表示されます。

2. ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの **0** ボタンを押して、メッセージを確認します。



› ルーフコンソールにテキストおよびシンボルが表示されれば、助手席側エアバッグがオフ(非作動状態)であることを示します。

⚠ 警告

助手席側エアバッグが無効になっている場合、絶対に乗員(お子様および大人)を前向きで助手席に座らせないでください。

この指示を守らないと、命を危険にさらす、または大ケガをするおそれがあります。

重要

助手席側エアバッグを無効にすると、助手席側の電動シートベルトテンショナーも無効になります。

関連情報

- 運転席側および助手席側エアバッグ (p. 102)
- シートベルトテンショナー (p. 97)
- チャイルドシート (p. 111)

サイドエアバッグ

運転席シートおよび助手席シートのサイドエアバッグは、衝突の際に乗員の胸部と腰回りを保護します。

サイドエアバッグはフロントシートの外側バックレストフレームに備えられており、フロントシートの運転者と乗員を保護します。

側面からの衝突によって一定レベル以上の衝撃を受けるとセンサーが反応し、サイドエアバッグが膨張します。サイドエアバッグは、乗員とドアの間で膨張して衝突の衝撃を和らげます。エアバッグは、衝突による圧力がかかると内部のガスが抜け、収縮します。作動するのは、側面から衝撃を受けた側のエアバッグのみです。

⚠ 警告

修理について、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。サイドエアバッグシステムへの作業に不具合があると、誤作動につながり、大ケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

シートの外側とドアパネルの間に、なにも物を置かないでください。このスペースは、サイドエアバッグの作動に必要です。

シートカバーは、ボルボ社が認可した製品以外は使用しないでください。それ以外のシートカバーは、サイドエアバッグの作動の妨げになるおそれがあります。

⚠ 警告

サイドエアバッグは、シートベルトの補助装置です。シートベルトを必ず着用してください。

サイドエアバッグとチャイルドシート

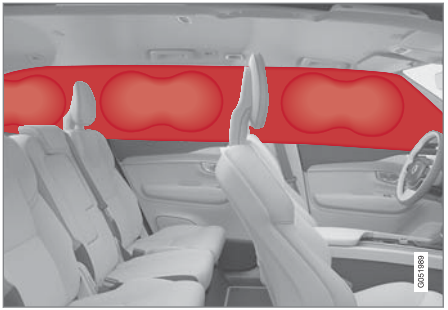
サイドエアバッグはチャイルドシート/ブースタークッションに座っているお子様の保護効果を損なうものではありません。

関連情報

- エアバッグ（p. 102）
- チャイルドシート（p. 111）

インフレータブルカーテン

インフレータブルカーテン、Inflatable Curtain（IC）は、衝突時に運転者および乗員の頭部を車内部品との衝撃から保護するのに役立ちます。



インフレータブルカーテンはヘッドライニングの両側に沿って取り付けられており、運転者およびドア側シートの乗員の保護に役立ちます。パネルには **IC AIRBAG** と表示されています。

衝突によって一定レベル以上の衝撃を受けると、センサーが作動してインフレータブルカーテンが展開します。

⚠ 警告

修理について、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。インフレータブルカーテンシステムへの作業に不具合があると、誤作動につながり、大ケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

ルーフのハンドルに、絶対に重い物を吊り下げたり取り付けないでください。フックは、軽量の衣服のみをかけるために設計されたものです(傘などの硬い物はかけないでください)。

ヘッドライニング、ドアピラー、およびサイドパネルに、スクリューをねじ込んだり物を取り付けないでください。保護効果が損なわれるおそれがあります。この部分への取り付けが認められているボルボ純正品のみを使用してください。

⚠ 警告

ドアウインドの上端よりも上まで荷物を積載する場合、荷物とパワーウインドの間には、10 cm (4 インチ)の空間を確保してください。荷物を積むと、ヘッドライニングの内側に装着されているインフレータブルカーテンの保護効果が損なわれるおそれがあります。

⚠ 警告

インフレータブルカーテンは、シートベルトの補助装置です。シートベルトを必ず着用してください。

関連情報

- エアバッグ（p. 102）

セーフティモード

セーフティモードは、燃料パイプ、セーフティシステムのセンサー、ブレーキシステムなどの重要な機能が損傷を受けた可能性があるときに作動する保護機能です。

車両が衝突事故に合った場合、ドライバーディスプレイに **セーフティーモード オーナーズマニュアルを 参照して下さい** というメッセージが警告表示とともに表示されることがあります。ただし、ドライバーディスプレイに損傷がなく、車両の電気系統が正確に作動している場合に限ります。このメッセージは、車両の機能が低下していることを意味します。

⚠ 警告

ドライバーディスプレイに **セーフティーモードオーナーズマニュアルを 参照して下さい** メッセージが表示されているときに燃料の臭いを感じた場合は、絶対にエンジンの始動を試みないでください。ただちに、車両から離れてください。

危険な交通状況などで車両がセーフティモードになった場合、システムをリセットしてエンジンを始動し、車両を少し離れた場所に移動させることが可能です。

⚠ 警告

車両がセーフティモードになっているときは、絶対にご自身で車を修理したり、電子機器のリセットをしないでください。ケガをするおそれがあり、また不具合の原因となります。**セーフティーモードオーナーズマニュアルを 参照して下さい** が表示された場合には、ボルボ指定のサービス工場で車両の点検修理を必ず行ってください。

⚠ 警告

車両がセーフティモードになっているときは、絶対に車両をけん引しないでください。ボルボ指定のサービス工場に積載車に載せて搬送してください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！（p. 94）
- セーフティモード起動後の車両の始動/移動（p. 109）
- 車両移動（p. 510）

セーフティモード起動後の車両の始動/移動

危険な交通状況などで車両がセーフティモードになった場合、システムをリセットしてエンジンを始動し、車両を少し離れた場所に移動させることが可能です。

セーフティモード後の車両の始動

1. 全般的な車両の損傷状況と燃料漏れの有無を確認します。燃料の臭いがしていないことを、必ず確認してください。

   わずかな損傷しか見つからず、燃料漏れもなければ、エンジンを始動してください。

⚠ 警告

ドライバーディスプレイに **セーフティーモードオーナーズマニュアルを 参照して下さい** メッセージが表示されているときに燃料の臭いを感じた場合は、絶対にエンジンの始動を試みないでください。ただちに、車両から離れてください。

2. スタートノブを時計回りに回して、車両をオフにします。
3. エンジンを始動します。
   > 車両の電子機器がシステムチェックを実行し、通常の状態への回復を試みます。

! 重要

ディスプレイにメッセージ **セーフティーモードオーナーズマニュアルを 参照して下さい** が表示され続ける場合は、絶対に走行またはけん引をしないでください。レッカーサービスを使用してください。隠れた損傷があった場合、移動中に車両を制御できなくなるおそれがあります。

セーフティモード後の車両の移動

1. エンジンの始動を試みた後、ドライバーディスプレイにメッセージ **Normal mode The vehicle is now in normal mode** が表示され、車両が危険な場所に停止している場合は、車両を慎重に移動させてください。
2. 必要以上に移動させないでください。

⚠ 警告

車両がセーフティモードになっているときは、絶対に車両をけん引しないでください。ボルボ指定のサービス工場に積載車に載せて搬送してください。

関連情報
- セーフティモード（p. 108）
- 車両移動（p. 510）

チャイルドセーフティ

ボルボでは、ボルボ車専用に設計されたチャイルドセーフティ製品（チャイルドシートやブースタークッション、取付アタッチメント）を取り揃えております。

ボルボのチャイルドセーフティ製品をご利用いただくことで、お子様のためにもっとも安全な車内環境を整えることができます。また、ボルボのチャイルドセーフティ製品は車両に確実に対応し、簡単に使うことができます。

お子様は、年齢や体格に関わらず、必ず適切な固定装置を使用して正しく座らせてください。お子様を、けっして乗員のひざの上に座らせないでください。

ボルボでは、小さいお子様（少なくとも 3〜4 歳ごろまで）に対しては、できるだけ後ろ向きに装着するチャイルドシートのご使用を推奨しています。その後は、身長が 140 cm になるまで、前向きのブースタークッション/チャイルドシートをご使用ください。

注意

お子様の年齢および身長に応じて使用する必要のあるチャイルドシートのタイプを規定した法律は、国ごとに異なります。適用される法律や規則を確認してください。

注意

チャイルドセーフティ製品の取り付けに関してご不明な点は、その用具の製造元（メーカー）にお問い合わせください。

関連情報
- 重要な安全上のご注意！（p. 94）
- チャイルドシート（p. 111）
- インテグレーテッド・チャイルドシート*（p. 123）

* オプション/アクセサリー。

チャイルドシート

お子様が車内で座る位置や、チャイルドシートの種類を決める際には、お子様の体重と身長が重要な要件となります。

お子様が、快適で安全な姿勢になるように座らせてください。チャイルドシートの正しい使用方法を確認してください。

正しい取り付け方法に関しては、チャイルドシートの取付説明書を参照してください。

注意

チャイルドセーフティ用具をご使用になる場合は、付属の取付説明書をよくお読みください。

注意

絶対に、チャイルドシートを未固定のまま車内に放置しないでください。お子様が座らないときでも、必ずチャイルドシートの取扱説明書に従って固定してください。

チャイルドシートの位置

後ろ向き装着タイプのチャイルドシートとエアバッグを一緒に使用することはできません。

助手席側エアバッグがオン(作動可能状態)になっているときは、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートは必ず 2 列目または 3 列目*シートに取り付けてください。お子様を助手席に座らせると、エアバッグ作動時に大ケガを負うおそれがあります。

助手席側エアバッグがオフ(非作動状態)になっているときは、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートをフロントの助手席に取り付けることができます。

注意

お子様を乗せる位置に関する規則は、国により異なります。適用される法律や規則を確認してください。

警告

助手席シートの前には、絶対に誰も立たせたり座らせたりしないでください。

助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向きチャイルドシートを使用しないでください。

助手席側エアバッグが無効になっている場合、絶対に乗員(お子様および大人)を前向きで助手席に座らせないでください。

この指示を守らないと、命を危険にさらす、または大ケガをするおそれがあります。

チャイルドシートの取り付け

チャイルドシートを車内に取り付けるときには、以下の点について考慮する必要があります。

▶▶

⚠ 警告

シートベルトバックルのリリースボタンに当たるようなタイプのスチール製ブレース付きブースタークッション/チャイルドシートなどは、絶対に使用しないでください。シートベルトバックルが、突然外れるおそれがあります。

チャイルドシートのストラップは、シートの前後方向調節バーやシート下のスプリング、レールまたはビームに固定しないでください。これらの部分には鋭い角があるため、ストラップが損傷するおそれがあります。

チャイルドシート上部を、ウインドスクリーンに当てないでください。

フロントシートへの取り付け

- 後ろ向き装着タイプのチャイルドシートを取り付ける場合、助手席側エアバッグがオフ(非作動状態)になっていることを確認します。
- 前向き装着タイプのチャイルドシートを取り付ける場合、助手席側エアバッグがオン(作動状態)になっていることを確認します。
- ボルボ推奨のチャイルドシート、汎用型または準汎用型のチャイルドシートのみを使用します。車両がチャイルドシートメーカーの適合車種一覧表に掲載されている必要があります。
- ISOFIX チャイルドシートは、車両に ISOFIX コンソール[1] アクセサリーが装備されている場合にのみ使用することができます。
- チャイルドシートに下側ストラップが装備されている場合、ボルボでは下側ストラップをロアマウンティングポイントに取り付けて使用することを推奨します[1]。
- チャイルドシートを取り付けやすくするために、ISOFIX ガイドを使用することができます。

2 列目シートへの取り付け

- ボルボ推奨のチャイルドシート、汎用型[2] または準汎用型のチャイルドシートのみを使用します。車両がチャイルドシートメーカーの適合車種一覧表に掲載されている必要があります。
- サポートレッグ付きのチャイルドシートをセンターシートに取り付けないでください。
- ドア側のシートには ISOFIX フィクスチャーシステムが装備されており、i-Size[3] 用に承認されています。
- ドア側のシートにはアッパーマウンティングポイントが装備されています。ボルボでは、上側ストラップをヘッドレストの穴に通してから、マウンティングポイントでテンションをかけることを推奨します。これができない場合、チャイルドシートメーカーの指示に従ってください。
- 3 列目シート*装備車の場合、2 列目シートを最後方の位置に調節する必要があります。チャイルドシートを 3 列目シートでも使用する場合、例外とすることができます。この場合、チャイルドシートの取り付け状態がメーカーの指示から逸脱しないことを必ず確認してください。
- チャイルドシートに下側ストラップが装備されている場合、ストラップをロアマウンティングポイントに取り付けた後には、絶対に前のシートの位置を調節しないでください。チャイルドシートを取り付けないときには、必ず下側ストラップを取り外してください。
- チャイルドシートを取り付けるときには、ISOFIX ガイドを使用しないでください。

1 アクセサリーの種類は市場によって異なります。
2 センターシートには適用されません。
3 市場によって異なります。

3 列目シート*への取り付け

- ボルボ推奨のチャイルドシート、汎用型または準汎用型のチャイルドシートのみを使用します。車両がチャイルドシートメーカーの適合車種一覧表に掲載されている必要があります。
- サポートレッグ付きのチャイルドシートを 3 列目シートに取り付けないでください。
- 必要に応じて、十分なスペースを確保するために、2 列目シートを前方に移動させます。チャイルドシートが 2 列目シートにも取り付けられている場合、チャイルドシートの取り付け状態がメーカーの指示から逸脱しないことを確認します。

助手席側エアバッグラベル

助手席側サンバイザーのラベル

助手席側ドアピラーのラベルラベルは助手席側ドアを開くと見えます。

助手席側エアバッグの警告ラベルは、前図の位置に表示されています。

関連情報

- チャイルドセーフティ（p. 110）
- チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント（p. 113）
- チャイルドシート用のロアマウンティングポイント（p. 114）
- i-Size/ISOFIX マウンティングポイント（p. 118）
- 助手席側エアバッグのオン/オフ*（p. 104）

チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント

車両には、2 列目ドア側シートにチャイルドシート用のアッパーマウンティングポイントが装備されています。

アッパーマウンティングポイントは、前向きに装着するチャイルドシート用です。

チャイルドシートをアッパーマウンティングポイントに取り付けるときは、シートの製造元（メーカー）の取扱説明書に必ず従ってください。

マウンティングポイントの位置

マウンティングポイントの位置はバックレスト後部のシンボルで示されています。

マウンティングポイントは 2 列目ドア側シートの後部にあります。

⚠ 警告

チャイルドシートのアッパーストラップは、必ずヘッドレスト脚部の穴に通してから、マウンティングポイントで張力を調節してください。この方法を使用できない場合、チャイルドシートメーカーの推奨方法に従ってください。

ⓘ 注意

ドア側シートに折りたたみ式ヘッドレストが装備されている場合には、このタイプのチャイルドシートが取り付けやすくなるように、ヘッドレストを折りたたんでください。

ⓘ 注意

カーゴスペースにラゲッジカバーが付いている車両は、マウンティングポイントにチャイルドシートを取り付ける前に、ラゲッジカバーを取り外してください。

関連情報

- チャイルドシート（p. 111）
- チャイルドシート用のロアマウンティングポイント（p. 114）
- i-Size/ISOFIX マウンティングポイント（p. 118）
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表（p. 116）

チャイルドシート用のロアマウンティングポイント

車両には、フロントシート*と 2 列目シートにチャイルドシート用のロアマウンティングポイントが装備されています。

ロアマウンティングポイントは、後向きに装着するチャイルドシート用です。

チャイルドシートをロアマウンティングポイントに取り付けるときは、シートの製造元(メーカー)の取扱説明書に必ず従ってください。

マウンティングポイントの位置

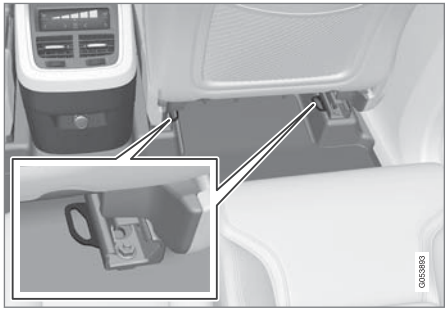
フロントシートのマウンティングポイント位置

フロントシートのマウンティングポイントは助手席のレッグルームの側面にあります。

フロントシートのマウンティングポイントは、車両に助手席側エアバッグのオン/オフスイッ

＊ オプション/アクセサリー。

チ*が装備されている場合にのみ取り付けられています。



2 列目シートのマウンティングポイント位置

2 列目シートのマウンティングポイントは、フロントシートのフロアレールの後部にあります。

関連情報

- チャイルドシート（p. 111）
- チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント（p. 113）
- i-Size/ISOFIX マウンティングポイント（p. 118）
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表（p. 116）
- 助手席側エアバッグのオン/オフ*（p. 104）

車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表

この表には、チャイルドシートの種類、取り付け位置、対応するお子様の体格に関する推奨事項が記載されています。

注意

車両にチャイルドシートを取り付ける前に、必ず「チャイルドシート」の項をお読みください。

体重	フロントシート（エアバッグ非作動状態、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートのみ可）	フロントシート（エアバッグ作動状態、前向き装着タイプのチャイルドシートのみ可）	2列目シート、ドア側シート	2列目シート、センターシート	3列目シート*
グループ0 10 kg以下	U[A、B]	X	U[B]	L[B]	U
グループ0+ 13 kg以下	U[A、B]	X	U[B]	L[B]	U
グループ1 9～18 kg	L[C]	UF[A、D]	U、L[C]	L	U
グループ2 15～25 kg	L[C]	UF[A、E]	U[E]、L[C]	B*[、F]、L[E]	U[E]

＊ オプション/アクセサリー。

体重	フロントシート(エアバッグ非作動状態、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートのみ可)	フロントシート(エアバッグ作動状態、前向き装着タイプのチャイルドシートのみ可)	2列目シート、ドア側シート	2列目シート、センターシート	3列目シート*
グループ3 22～36 kg	X	UF[A、G]	U[G]	B*、[F]、L[G]	U[G]

U：汎用型のチャイルドシートに適しています。

UF：汎用型の前向きチャイルドシートに適しています。

L：特定のチャイルドシートに適しています。これらのチャイルドシートには、特定車両モデル、限定カテゴリー、または準汎用カテゴリーが含まれる場合があります。

B：この全グループに承認された内蔵チャイルドシート。

X：この体重グループのお子様には適しません。

A バックレストを通常よりも起こした位置にします。
B ボルボの推奨品：ボルボ・ベビーシート(型式承認 E1 04301146)
C ボルボの推奨品：ボルボ・リバーシブルシート、後ろ向き装着(型式承認 E5 04192)、ボルボ後ろ向き装着シート(型式承認 E5 04212)。
D この体重グループのお子様には後ろ向き装着タイプのチャイルドシートをお薦めします。
E ボルボの推奨品：ボルボ・リバーシブルシート、前向き装着(型式承認 E5 04192)、バックレスト付き/なしブースタークッション(型式承認 E5 04216)、ボルボバックレスト付きブースタークッション(型式承認 E1 04301169)、ボルボブースターシート(型式承認 E1 04301312)。
F ボルボの推奨品：インテグレーテッドチャイルドシート(型式承認 E5 04218)。
G ボルボの推奨品：バックレスト付き/なしブースタークッション(型式承認 E5 04216)、ボルボバックレスト付きブースタークッション(型式承認 E1 04301169)、ボルボブースターシート(型式承認 E1 04301312)。

⚠ 警告

助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向きチャイルドシートを使用しないでください。

関連情報

- チャイルドシート（p. 111）
- チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント（p. 113）
- ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表（p. 119）
- i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表（p. 122）

i-Size/ISOFIX マウンティングポイント

車両には、2 列目シートにチャイルドシート用の i-Size/ISOFIX[4] マウンティングポイントが装備されています。

i-Size/ISOFIX は国際標準規格に基づくチャイルドシート固定システムです。

チャイルドシートを i-Size/ISOFIX マウンティングポイントに取り付けるときは、シートの製造元(メーカー)の取扱説明書に必ず従ってください。

マウンティングポイントの位置

マウンティングポイントの位置はバックレストカバーのシンボル [4] で示されています。

i-Size/ISOFIX のマウンティングポイントは、2 列目ドア側シートのバックレスト下部の後方に隠れています。

マウンティングポイントに手が届くように、シートクッションを押し下げます。

関連情報

- チャイルドシート (p. 111)
- チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント (p. 113)
- チャイルドシート用のロアマウンティングポイント (p. 114)
- i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 122)
- ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 119)

[4] 名前およびシンボルは市場により異なります。

ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表

この表には、ISOFIX チャイルドシートの種類、取り付け位置、対応するお子様の体格に関する推奨事項が記載されています。

チャイルドシートは UN Reg R44 による承認を受けている必要があり、車両モデルはチャイルドシートメーカーの適合車種一覧表に記載されている必要があります。

注意

車両にチャイルドシートを取り付ける前に、必ず「チャイルドシート」の項をお読みください。

体重	サイズ等級[A]	チャイルドシートのタイプ	フロントシート（エアバッグ非作動状態、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートのみ可）[B]	フロントシート（エアバッグ作動状態、前向き装着タイプのチャイルドシートのみ可）[B]	2 列目シート、ドア側シート	2 列目シート、センターシート	3 列目シート*
グループ 0 10 kg 以下	E	後ろ向きに装着するベビーシート	IL[B、C]、X[D]	X	IL[C]	X	X
グループ 0+ 13 kg 以下	E	後ろ向きに装着するベビーシート	IL[B、C]、X[D]	X	IL[C]	X	X
	C	後ろ向き装着タイプのチャイルドシート					
	D	後ろ向き装着タイプのチャイルドシート					

体重	サイズ等級[A]	チャイルドシートのタイプ	フロントシート（エアバッグ非作動状態、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートのみ可）[B]	フロントシート（エアバッグ作動状態、前向き装着タイプのチャイルドシートのみ可）[B]	2列目シート、ドア側シート	2列目シート、センターシート	3列目シート*
グループ1 9～18 kg	A	前向き装着タイプのチャイルドシート	X	IL[B、E]、X[D]	IL[E]、IUF[E]	X	X
	B	前向き装着タイプのチャイルドシート					
	B1	前向き装着タイプのチャイルドシート					
	C	後ろ向き装着タイプのチャイルドシート	IL[B]、X[D]	X	IL[F]	X	X
	D	後ろ向き装着タイプのチャイルドシート					

＊ オプション/アクセサリー。

体重	サイズ等級[A]	チャイルドシートのタイプ	フロントシート（エアバッグ非作動状態、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートのみ可）[B]	フロントシート（エアバッグ作動状態、前向き装着タイプのチャイルドシートのみ可）[B]	2列目シート、ドア側シート	2列目シート、センターシート	3列目シート*
IL：特定の ISOFIX チャイルドシートに適しています。 この種のチャイルドシートは、特定車両モデル、限定カテゴリー、または準汎用カテゴリーを想定している場合があります。							
IUF：汎用型の ISOFIX 前向きチャイルドシートシステムに適しています。							
X：ISOFIX チャイルドシートには適していません。							

A ISOFIX フィクスチャーシステム対応のチャイルドシートにはサイズ等級があります。サイズ等級は、正しいタイプのチャイルドシートを選択するときの参考になります。サイズ等級はチャイルドシートのラベルに表示されています。
B ISOFIX コンソールアクセサリー装備車の場合に、準汎用型(IL)の ISOFIX チャイルドシートを取り付けるときに有効(アクセサリーの種類は市場によって異なります)。
C ボルボの推奨品：ISOFIX 固定システムを使用して固定した、ボルボベビーシート(型式承認 E1 04301146)。
D 車両に ISOFIX ブラケットが装備されていない場合に適用。
E この体重グループのお子様には後ろ向き装着タイプのチャイルドシートをお薦めします。
F ボルボの推奨品：BeSafe iZi Kid X3 ISOfix(型式承認 E5 04200)。

⚠ 警告

助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向きチャイルドシートを使用しないでください。

ⓘ 注意

i-Size/ISOFIX チャイルドシートにサイズ等級がない場合は、チャイルドシートの製造元(メーカー)が提供する適合車種一覧表に該当車種が掲載されている必要があります。

ⓘ 注意

ボルボが推奨する i-Size/ISOFIX チャイルドシートについては、ボルボディーラーにお問い合わせください。

関連情報

- チャイルドシート（p. 111）
- i-Size/ISOFIX マウンティングポイント（p. 118）
- i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表（p. 122）
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表（p. 116）

i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表

この表には、i-Size チャイルドシートの種類、取り付け位置、対応するお子様の体格に関する推奨事項が記載されています。

チャイルドシートは UN Reg R129 による承認を受けている必要があります。

注意

車両にチャイルドシートを取り付ける前に、必ず「チャイルドシート」の項をお読みください。

チャイルドシートのタイプ	フロントシート(エアバッグ非作動状態、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートのみ可)	フロントシート(エアバッグ作動状態、前向き装着タイプのチャイルドシートのみ可)	2 列目シート、ドア側シート	2 列目シート、センターシート	3 列目シート*
i-Size チャイルドシート	X	X	i-U[A]	X	X

i-U：i-Size 「汎用型」チャイルドシート(前向きおよび後ろ向き)に適しています。

X：汎用型のチャイルドシートには適していません。

A ボルボ社は、このグループに後ろ向きに装着するチャイルドシートをお薦めします。

関連情報

- チャイルドシート (p. 111)
- i-Size/ISOFIX マウンティングポイント (p. 118)
- ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 119)
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 116)

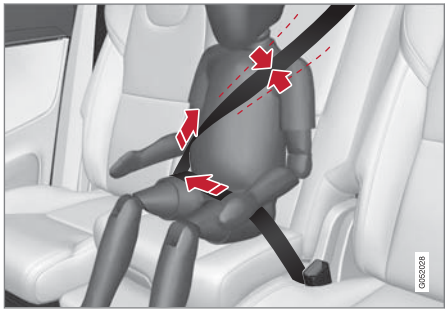
* オプション/アクセサリー。

インテグレーテッド・チャイルドシート*

2 列目シートのセンターシートのインテグレーテッド・チャイルドシートは、お子様の快適さと安全を実現します。

このチャイルドシートは、車両のシートベルトとともに使用することでお子様に安全性を提供するよう特別に設計されています。

このチャイルドシートは体重 15～36 kg、かつ身長 97 cm 以上のお子様向けに認証されています。



正しい位置。シートベルトは必ず肩にかけてください。

走行前に、次のことを確認してください。

- シートクッションが所定位置でロックされていること。
- ヘッドレストがお子様の後頭部全体に対応するように、ヘッドレストがお子様の頭部と同じ高さに調節されていること（可能な場合）。
- シートベルトにねじれやゆるみがなく、シートベルトがお子様の体に確実に密着していること。
- 肩ベルトがお子様の肩の下や首にかかっていないこと。
- 最大の保護効果を得られるよう、腰ベルトが骨盤の下の低い位置にかかっていること。

⚠ 警告

インテグレーテッドチャイルドシートの修理または交換は、必ずボルボ指定のサービス工場に依頼してください。絶対に、ご自分でチャイルドシートの改造や修理をしないでください。衝突事故などによりインテグレーテッドチャイルドシートに大きな負荷が加わった場合、シートクッション、シートベルトおよびブラケット、またはシート全体を交換する必要があります。損傷が見当たらなくても、チャイルドシートの保護性能が低下しているおそれがあります。衝突などの際にシートクッションが低い位置にあった場合も同様です。シートクッションが著しく摩耗していたり、傷が付いている場合も、新品と交換してください。

⚠ 警告

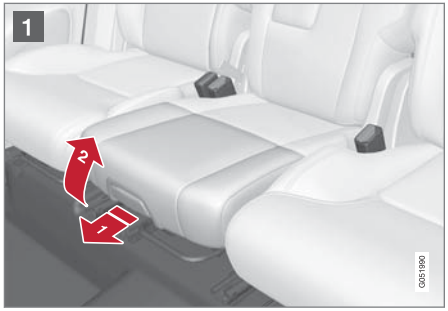
インテグレーテッドチャイルドシートの取扱説明書に従わないと、事故の際にお子様が大ケガをするおそれがあります。

関連情報

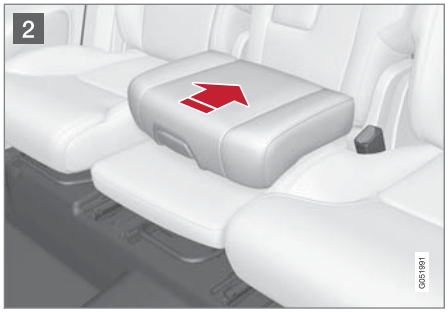
- チャイルドセーフティ（p. 110）
- インテグレーテッド・チャイルドシート・クッション* を引き上げる（p. 124）
- インテグレーテッド・チャイルド・クッション* を下げる（p. 124）

インテグレーテッド・チャイルドシート・クッション* を引き上げる

インテグレーテッド･チャイルドシートを使用するときは、シートクッションを引き上げて使用します。



1 ハンドルを前方および上側に引いて、シートクッションの固定を解除します。



2 シートクッションを後方に押して、定位置にロックします。

⚠ 警告

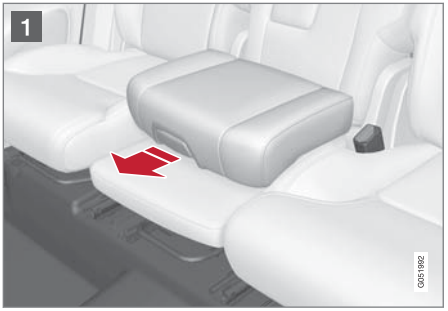
インテグレーテッドチャイルドシートの取扱説明書に従わないと、事故の際にお子様が大ケガをするおそれがあります。

関連情報

- インテグレーテッド・チャイルドシート* (p. 123)
- インテグレーテッド･チャイルド･クッション* を下げる (p. 124)

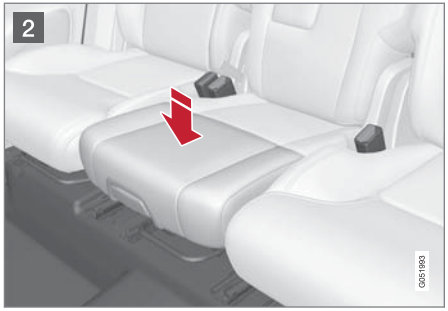
インテグレーテッド・チャイルド・クッション* を下げる

インテグレーテッド･チャイルドシート未使用時は、リアシートに収まるようシートクッションを下げます。



1 ハンドルを前方に引いて、シートクッションの固定を解除します。

＊ オプション/アクセサリー。



2 シートクッションが定位置に収まるまで、クッションの中央を手で押し下げます。

重要

チャイルドシートのシートクッションを収納する前に、クッションの下に物(オモチャなど)が挟まっていないか確認してください。

注意

リアバックレストを倒す前に、まずチャイルドシートのシートクッションを下げる必要があります。

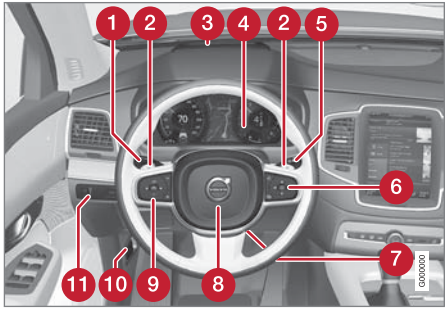
関連情報

- インテグレーテッド・チャイルドシート* (p. 123)
- インテグレーテッド・チャイルドシート・クッション* を引き上げる (p. 124)

計器およびコントロール装置

計器およびコントロール装置、左ハンドル車

ここでは、運転者の近くにあるディスプレイとコントロール装置の位置を示します。

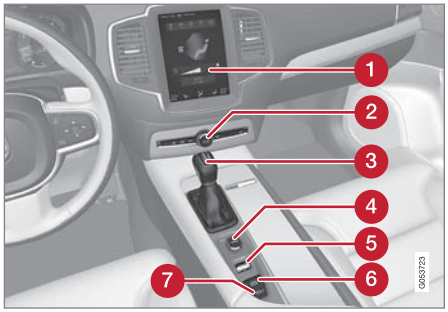


	ディスプレイ/機能/コントロール
1	ポジションランプ、デイタイムランニングライト、ロービーム、ハイビーム、方向指示器、フロントフォグランプ/コーナリングライト*、リアフォグランプ、トリップメーターリセット
2	オートマチックトランスミッションのマニュアルギヤチェンジ用ステアリングホイールパドル*
3	ヘッドアップディスプレイ*

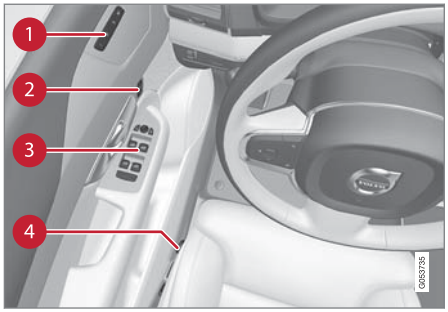
	ディスプレイ/機能/コントロール
4	ドライバーディスプレイ
5	ワイパー/ウォッシャー、レインセンサー*
6	ステアリングホイール右側のステアリングリモコン
7	ステアリングホイールの調節
8	ホーン
9	ステアリングホイール左側のステアリングリモコン
10	ボンネット開操作
11	ディスプレイライト、テールゲートロック解除、テールゲート開/閉操作*、ハロゲンヘッドライト光軸調整

	ディスプレイ/機能/コントロール
1	フロント読書灯およびルームランプ
2	パノラマルーフ*
3	ルーフコンソールのディスプレイ
4	ルームミラーの手動防眩

* オプション/アクセサリー。



	ディスプレイ/機能/コントロール
1	センターディスプレイ
2	非常点滅灯、最大デフロスター/ヒーテッドウインドスクリーン*、メディア、グローブボックスリッド開操作
3	ギヤセレクターレバー
4	スタートノブ
5	ドライブモードコントロール*
6	パーキングブレーキ
7	停車時のオートブレーキ



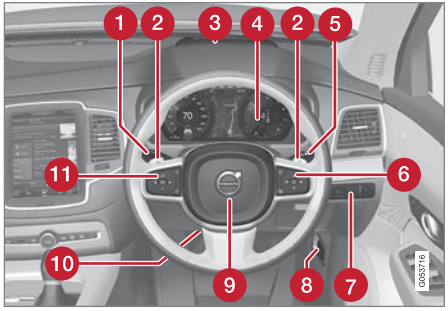
	ディスプレイ/機能/コントロール
1	以下のセットアップ用メモリー： • フロントパワーシート* • ドアミラー • ヘッドアップディスプレイ*
2	ドア開操作、サイドドアおよびテールゲートのロック/ロック解除
3	パワーウインド、ドアミラー
4	フロントシートの調節

関連情報

- ステアリングホイール（p. 177）
- フロントマニュアルシート（p. 165）
- フロントパワーシート*の調節（p. 166）
- ライトスイッチ（p. 178）
- エアコンディショナー（p. 230）
- センターディスプレイの概要（p. 34）

計器およびコントロール装置、右ハンドル車

ここでは、運転者の近くにあるディスプレイとコントロール装置の位置を示します。

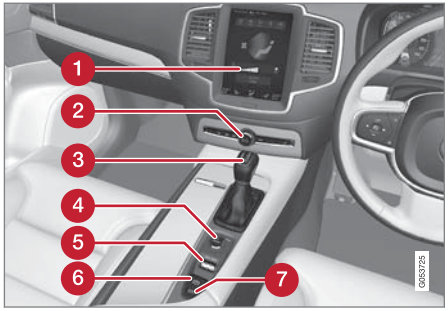


	ディスプレイ/機能/コントロール
1	ポジションランプ、デイタイムランニングライト、ロービーム、ハイビーム、方向指示器、フロントフォグランプ/コーナリングライト*、リアフォグランプ、トリップメーターリセット
2	オートマチックトランスミッションのマニュアルギヤチェンジ用ステアリングホイールパドル*
3	ヘッドアップディスプレイ*

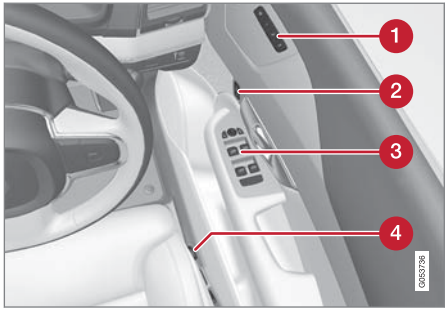
	ディスプレイ/機能/コントロール
4	ドライバーディスプレイ
5	ワイパー/ウォッシャー、レインセンサー*
6	ステアリングホイール右側のステアリングリモコン
7	ディスプレイライト、テールゲートロック解除、テールゲート開/閉操作*
8	ボンネット開操作
9	ホーン
10	ステアリングホイールの調節
11	ステアリングホイール左側のステアリングリモコン

	ディスプレイ/機能/コントロール
1	フロント読書灯およびルームランプ
2	パノラマルーフ*
3	ルーフコンソールのディスプレイ
4	ルームミラーの手動防眩

* オプション/アクセサリー。



	ディスプレイ/機能/コントロール
1	センターディスプレイ
2	非常点滅灯、最大デフロスター/ヒーテッドウインドスクリーン*、メディア、グローブボックスリッド開操作
3	ギヤセレクターレバー
4	スタートノブ
5	ドライブモードコントロール*
6	パーキングブレーキ
7	停車時のオートブレーキ



	ディスプレイ/機能/コントロール
1	以下のセットアップ用メモリー： • フロントパワーシート* • ドアミラー • ヘッドアップディスプレイ*
2	ドア開操作、サイドドアおよびテールゲートのロック/ロック解除
3	パワーウインド、ドアミラー
4	フロントシートの調節

関連情報

- ステアリングホイール（p. 177）
- フロントマニュアルシート（p. 165）
- フロントパワーシート*の調節（p. 166）
- ライトスイッチ（p. 178）
- エアコンディショナー（p. 230）
- センターディスプレイの概要（p. 34）

ドライバーディスプレイ

ドライバーディスプレイには、車両と運転に関する情報が表示されます。

ドライバーディスプレイには、ゲージ、インジケーター、表示灯および警告灯が表示されます。ドライバーディスプレイの表示は、車両の装備、設定、およびその時点でオンになっている機能により異なります。

ドライバーディスプレイには 12 インチ*と 8 インチの 2 種類があります。

⚠ 警告

ドライバーディスプレイに不具合がある場合、ブレーキ、エアバッグ、その他のセーフティシステムなどに関する情報が表示されないことがあります。そのため、運転者は車両のシステムの状態を確認することや、警告および情報を受け取ることができません。

⚠ 警告

万が一、ドライバーディスプレイが消えた、作動/始動時に点灯しない、または完全に/部分的に認識できない場合、車両を使用しないでください。ただちにサービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場をお薦めします。

12 インチドライバーディスプレイ*

ドライバーディスプレイでの位置

左側	中央	右側
スピードメーター	インジケーターおよび警告灯	タコメーター/ECO ゲージ [A]
トリップメーター(走行距離計)	外気温計	ギヤシフトインジケーター
オドメーター [B]	時計	ドライブモード (Comfort、Off Road、Eco、Dynamic または Individual)

* オプション/アクセサリー。

左側	中央	右側
クルーズコントロールおよび速度リミッター情報	メッセージ(図を伴う場合あり)	燃料計
ロード・サイン・インフォメーション*	ドアおよびシートベルト情報	Start/Stop 機能の状態
-	メディアプレーヤー	走行可能距離
-	ナビゲーション地図*	瞬間燃料消費量
-	電話	アプリメニュー(ステアリングホイールのステアリングリモコンで起動)
-	音声認識	-
-	コンパス A	-

A 選択したドライブモードによって異なります。
B 積算走行距離。

8 インチドライバーディスプレイ

◀◀ ドライバーディスプレイでの位置

左側	中央	右側
燃料計	スピードメーター	メディアプレーヤー
ドライブモード (Comfort、Off Road、Eco、Dynamic または Individual)	ロード・サイン・インフォメーション*	電話
ギヤシフトインジケーター	クルーズコントロールおよび速度リミッター情報	ナビゲーション情報*
タコメーター/ECO ゲージ A	ドアおよびシートベルト情報	時計
走行可能距離	Start/Stop 機能の状態	アプリメニュー(ステアリングホイールのステアリングリモコンで起動)
外気温計	-	瞬間燃料消費量
インジケーターおよび警告灯	-	オドメーター B
-	-	トリップメーター(走行距離計)
-	-	インジケーターおよび警告灯
-	-	音声認識
-	-	エンジン温度計
-	-	メッセージ(図を伴う場合あり)
-	-	コンパス A

A 選択したドライブモードによって異なります。
B 積算走行距離。

* オプション/アクセサリー。

ダイナミックシンボル

ダイナミックシンボルの基本形。

ドライバーディスプレイの中央には、メッセージの種類によって外観を変えるダイナミックシンボルがあります。インジケーターや警告灯を表示することもできれば、この位置からさらに大きな画像に変化して情報を明示する画像シーケンスになることもできます。

12 インチドライバーディスプレイの表示灯の例

ドライバーディスプレイの起動

ドライバーディスプレイはドアを開けるとすぐに起動します(イグニッション位置 **0**)。ドライバーディスプレイはしばらく使用しないと消灯します。以下の方法のいずれかを使用することにより、再起動することができます。

- ブレーキペダルを踏む
- スタートノブをイグニッション位置 **I** に回す
- いずれかのドアを開ける

関連情報

- ドライバーディスプレイ設定（p. 136）
- ドライバーディスプレイの表示灯（p. 137）
- ドライバーディスプレイの警告灯（p. 139）
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー（p. 149）
- 燃料計（p. 142）
- ドライバーディスプレイのライセンス契約（p. 143）

ドライバーディスプレイ設定

ドライバーディスプレイの設定はドライバーディスプレイのアプリケーションメニューとセンターディスプレイの 設定 メニューで行うことができます。

アプリメニューの設定

アプリメニューを使用すると、ドライバーディスプレイに表示する情報を次の中から選択することができます。

- トリップコンピューター
- メディアプレーヤー
- 電話
- ナビゲーションシステム*

ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを開いて操作するには、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用します。「ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する」を参照してください。

センターディスプレイの設定

情報タイプの選択

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ メーター ➔ メーター情報** をタップします。
3. 背景に表示する情報を選択します。
   - **背景に情報を表示しない**
   - **再生中のメディア情報を表示**
   - **ルート設定なしでも地図を表示** [1]

   12 インチドライバーディスプレイ*では情報が中央に表示され、8 インチドライバーディスプレイでは情報が右上のフィールドに表示されます。

テーマの選択

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ メーター ➔ ディスプレイテーマ** をタップします。
3. ドライバーディスプレイのテーマ(外観)を選択します。
   - **Glass**
   - **Minimalistic**
   - **Performance**
   - **Chrome rings**

言語の選択

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム言語および単位 ➔ システム言語** をタップして、言語を選択します。
   › すべてのディスプレイの言語に変更が反映されます。

関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 132）
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー（p. 149）
- センターディスプレイの設定（p. 216）

[1] 地図は 12 インチドライバーディスプレイ*のみに表示されます。8 インチドライバーディスプレイには案内のみが表示されます。詳細については、「地図ナビゲーションのディスプレイおよび操作」と「ドライバーディスプレイでの地図ナビゲーション」を参照してください。

ドライバーディスプレイの表示灯

表示灯は、機能の作動、システムの作動、異常や故障の発生を運転者に知らせます。

シンボル	意味
	インフォメーション(ディスプレイテキストをお読みください) 車両のシステムの 1 つが正常に機能しなくなると、ドライバーディスプレイにインフォメーションシンボルが点灯し、テキストが表示されます。インフォメーションシンボルは、他の表示灯と共に点灯する場合もあります。
	ブレーキシステムの不具合 パーキングブレーキに不具合がある場合、シンボルが点灯します。
	ABS 不具合 この警告灯が点灯した場合は、システムが機能していません。この状態でもブレーキシステムは通常通り作動しますが、ABS 機能は働きません。

シンボル	意味
	オートブレーキオン フットブレーキまたはパーキングブレーキが作動しているときにオートブレーキが作動すると、シンボルが点灯します。停車したとき、ブレーキが車両を静止状態に保持します。
	タイヤ空気圧システム このシンボルは、タイヤ空気圧が低いときに点灯します。タイヤ空気圧システムに不具合がある場合、このシンボルは最初に約 1 分間点滅してから点灯に変わります。システムが本来通りにタイヤの空気圧低下を検出または警告できないことが考えられます。
	エミッションシステム エンジン始動後にこの警告灯が点灯した場合、車両のエミッションシステムに不具合が発生したおそれがあります。サービス工場まで走行し、点検を受けてください。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

シンボル	意味
	左右方向指示器 方向指示器を使用しているときに、シンボルが点滅します。
	ポジションランプ ポジションランプが点灯すると、シンボルが点灯します。
	ヘッドライトシステムの不具合 ABL 機能(アクティブベンディングランプ)に不具合が発生した、またはヘッドライトシステムに別の不具合が発生した場合、このシンボルが点灯します。
	アクティブハイビームオン アクティブハイビームが点灯すると、シンボルが青色で点灯します。
	アクティブハイビームオフ アクティブハイビームが消灯すると、シンボルが白色で点灯します。

シンボル	意味
	ハイビームオン このシンボルは、ハイビーム使用時またはパッシングライト位置で点灯します。
	アクティブハイビームオン アクティブハイビームが点灯すると、シンボルが青色で点灯します。ポジションランプが点灯しています。
	アクティブハイビームオフ アクティブハイビームが消灯すると、シンボルが白色で点灯します。ポジションランプが点灯しています。
	ハイビームオン ハイビームおよびポジションランプが点灯すると、シンボルが点灯します。
	フロントフォグランプオン フロントフォグランプがオンのときに点灯します。
	リアフォグランプオン リアフォグランプがオンのときに点灯します。

シンボル	意味
	レインセンサーオン レインセンサーがオンのときに点灯します。
	プリコンディショニングオン エンジンブロックおよび車内ヒーター/エアコンディショナーにより車両のプリコンディショニングが行われているときに点灯します。
	スタビリティ・システム スタビリティ・システムが作動すると、点滅します。点灯し続ける場合は、システムに不具合があります。

シンボル	意味
	スタビリティ・システム、スポーツモード スポーツモードがオンのときには、シンボルが点灯します。スポーツモードを選択すると、よりアクティブな運転が可能になります。システムがアクセルペダルやステアリングホイールの動き、さらにコーナリングをモニターし、通常よりもアクティブに運転しているとシステムが判断すると、一定範囲内で後輪の意図的なスリップを許容します。スリップが一定レベルを超えると、システムが介入し、車両を安定させます。

シンボル	意味
	レーンアシスト 白色のシンボル：車線境界線が検知されています。 灰色のシンボル：レーンアシストはオンですが、車線境界線が検知されていません。 黄色のシンボル：レーンアシストの警告/介入
	レーンアシストおよびレインセンサー 白色のシンボル：車線境界線が検知されています。レインセンサーはオンです。 灰色のシンボル：レーンアシストはオンですが、車線境界線が検知されていません。レインセンサーはオンです。

ドア、ボンネット、テールゲートおよび燃料給油口フラップのリマインダー

ボンネット、テールゲート、燃料給油口フラップまたはドアが正しく閉じていない場合、ドライバーディスプレイにインフォメーションシンボルまたは警告灯およびグラフィックが表示されます。

関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 132）
- ドライバーディスプレイの警告灯（p. 139）
- ドアおよびシートベルトリマインダー（p. 100）

ドライバーディスプレイの警告灯

警告灯は、重要な機能の作動や、重大な異常や故障の発生を運転者に知らせます。

⚠ 警告

ブレーキフルードレベルがリザーバータンクの **MIN** マークより低い場合は、ブレーキフルードを補充するまで絶対に運転しないでください。

サービス工場でブレーキフルードが減った原因を調べる必要があります。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

⚠ 警告

ブレーキシステムと ABS の警告灯が両方同時に点灯しているときは、急ブレーキをかけた際に車体後部が横滑りするおそれがありますので、ご注意ください。

シンボル	意味
	警告 車両の安全性または操縦安定性に関わるような不具合が発生すると、赤色の警告灯が点灯します。同時に、ドライバーディスプレイにテキストが表示されます。警告灯は、他の表示灯と共に点灯する場合もあります。
	シートベルトリマインダー この警告灯は、運転席/助手席の乗員がシートベルトを着用していないとき、またはリアシートの乗員がシートベルトを外したときに点滅します。
	エアバッグ 警告灯が点灯し続ける場合、または走行中に点灯した場合は、車両のセーフティシステムのいずれかに不具合が検出されたことを表しています。ドライバーディスプレイのディスプレイテキストをお読みください。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

シンボル	意味
	ブレーキシステムの不具合 この警告灯が点灯したときは、ブレーキフルード量が規定量以下に減っているおそれがあります。お近くの正規サービス工場でブレーキフルード量の点検を受け、問題を解決してください。
	パーキングブレーキ作動 パーキングブレーキがかかっているときに、警告灯が点灯します。 表示灯が点滅する場合は、システムに不具合が発生していることを意味しますドライバーディスプレイのディスプレイテキストをお読みください。

シンボル	意味
	油圧低下 この警告灯が走行中に点灯した場合は、エンジンオイルの油圧が低下しています。ただちにエンジンを停止して、エンジンオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。オイルレベルが正常であるにも関わらず警告灯が点灯する場合は、サービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
	充電不良 走行中に電気系統に不具合が発生すると点灯します。サービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
	衝突リスク City Safety は他車や歩行者、サイクリストまたは大型動物と衝突するリスクについて警告を発します。

ドア、ボンネット、テールゲートおよび燃料給油口フラップのリマインダー

ボンネット、テールゲート、燃料給油口フラップまたはドアが正しく閉じていない場合、ドライバーディスプレイにインフォメーションシンボルまたは警告灯およびグラフィックが表示されます。

関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 132）
- ドライバーディスプレイの表示灯（p. 137）
- ドアおよびシートベルトリマインダー（p. 100）
- 重要な安全上のご注意！（p. 94）

外気温計

外気温計はドライバーディスプレイに表示されます。

車外の温度がセンサーによって検知されます。

12 インチドライバーディスプレイと 8 インチドライバーディスプレイの外気温計の位置

停車している場合、外気温計は高すぎる値を示すことがあります。

外気温が-5 ℃～+2 ℃（23～36 °F）の場合、路面凍結によるスリップの危険があることを警告するために、ドライバーディスプレイに雪の結晶マークも表示されます。雪の結晶マークは、ヘッドアップディスプレイにも一時的に表示されます（ヘッドアップディスプレイ装備車の場合）。

外気温計の設定

外気温計の単位は、センターディスプレイのトップビューで変更します。

- **設定 ➔ システム ➔ システム言語および単位 ➔ 測定単位**の順に選択し、**m, km/℃、yd, mi /℃、ft, mi/℉** の中から必要な単位の種類を選択します。

関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 132）
- エアコンディショナー – センサー（p. 227）

時計

時計はドライバーディスプレイとセンターディスプレイの両方に表示されます。

位置

12 インチドライバーディスプレイと 8 インチドライバーディスプレイの時計の位置

センターディスプレイの時計は、ステータスフィールドの右上にあります。

状況により、ドライバーディスプレイではメッセージおよび情報で時計が隠れることがあります。

時刻および日付の設定

センターディスプレイのトップビューで**設定** ➔ **システム** ➔ **日付および時刻**の順にタップして、時刻および日付の形式を変更します。

タッチスクリーンの上または下矢印を押して、時刻および日付を調整します。

GPS 装備車の自動時刻合わせ

ナビゲーションシステム装備車の場合、**自動時刻設定** を選択することができます。タイムゾーンは、車両の位置に基づいて自動的に調整されます。ナビゲーションシステムのタイプによっては、適切なタイムゾーンを取得するために、現在地(国)も設定する必要があります。**自動時刻設定** を選択していない場合、時刻および日付はタッチスクリーンの上または下矢印を使用して調整します。

サマータイム

一部の国では、**自動** でサマータイムの自動設定を選択することができます。その他の国では、**オン** または **オフ** でサマータイムを設定することができます。

関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 132）
- センターディスプレイの設定（p. 216）

燃料計

ドライバーディスプレイの燃料計はタンク内の燃料残量を表示します。

12 インチドライバーディスプレイの燃料計

燃料計のベージュ色のゾーンは、タンク内の燃料の量を示します。

燃料残量が低下して給油が必要になると、燃料ポンプシンボルが点灯して、オレンジ色に変わります。トリップコンピューターに走行可能距離も表示されます。「トリップコンピューター」の項を参照してください。

8 インチドライバーディスプレイの燃料計

燃料計のバーはタンク内の燃料の量を示します。

燃料残量が低下して給油が必要になると、燃料ポンプシンボルが点灯して、オレンジ色に変わります。トリップコンピューターに走行可能距離も表示されます。「トリップコンピューター」の項を参照してください。オレンジ色のバーが 1 つだけになっている場合、残量が著しく低下しています。すみやかに燃料を補給してください

関連情報

- トリップコンピューター (p. 211)
- 燃料給油口フラップの開閉と給油 (p. 493)

ドライバーディスプレイのライセンス契約

ライセンスとは、特定のアクティビティを操作する権利、または他人の権利を契約条件に基づいて使用する権利の許諾契約です。以下はボルボ社と製造元/開発元との使用許諾契約で、英語で記載されています。

BSD 4-clause "Original" or "Old" License

Copyright (c) 1982, 1986, 1990, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

BSD 3-clause "New" or "Revised" License

Copyright (c) 2011-2014, Yann Collet.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the organisation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derive from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

BSD 2-clause “Simplified” license

Copyright (c) <YEAR>, <OWNER> All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of the FreeBSD Project.

FreeType Project License

1. 1 Copyright 1996-1999 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg Introduction The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in

addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project. This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least. This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that: o We don't promise that this software works. However, we are be interested in any kind of bug reports. (`as is' distribution) o You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage) o You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the FreeType code. (`credits') We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor. Legal Terms 0. Definitions Throughout this license, the terms `package', `FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType project', be they named as alpha, beta or final release. `You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'. This program is referred to as `a program using the FreeType engine'. This license applies to all files distributed in the original FreeType archive, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this. The FreeType project is copyright (C) 1996-1999 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below. 1. No Warranty THE FREETYPE ARCHIVE IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT. As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

2. Redistribution Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: o Redistribution of source code must retain this license file (`licence.txt') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying

documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files. o Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory. These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType code, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising The names of FreeType's authors and contributors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.
4. Contacts There are two mailing lists related to FreeType: o freetype@freetype.org Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation. o devel@freetype.org Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc. o http://www.freetype.org Holds the current FreeType web page, which will allow you to download our latest development version and read online documentation. You can also contact us individually at: David Turner <david.turner@freetype.org> Robert Wilhelm <robert.wilhelm@freetype.org> Werner Lemberg <werner.lemberg@freetype.org>

Libpng License

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.0.13, April 15, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux

Eric S. Raymond

Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane

Glenn Randers-Pehrson

Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler

Kevin Bracey

Sam Bushell

Magnus Holmgren

Greg Roelofs

Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger

Dave Martindale

Guy Eric Schalnat

Paul Schmidt

Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

printf("%s",png_get_copyright(NULL));

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson randeg@alum.rpi.edu
April 15, 2002

MIT License

Copyright (c) <year> <copyright holders>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

zlib License

The zlib/libpng License Copyright (c) <year> <copyright holders>

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

SGI Free Software B License Version 2.0.

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008)

Copyright (C) [dates of first publication] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved. Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to http://oss.sgi.com/projects/FreeB/ shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER

LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 132）

ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー

ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー(アプリメニュー)からは、一部のアプリのよく使う機能に素早くアクセスすることができます。

センターディスプレイを使用する代わりに、ドライバーディスプレイのアプリメニューを使用することができます。

アプリメニューはドライバーディスプレイに表示され、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンで操作します。アプリメニューを使用すると、ステアリングホイールから手を離したり、視線を道路からそらしたりすることなく、さまざまなアプリやアプリ内の機能を簡単に切り替えることができます。

アプリメニュー機能

利用できる機能のタイプは、アプリに応じて異なります。以下のアプリとその関連機能は、アプリメニューから制御することができます。

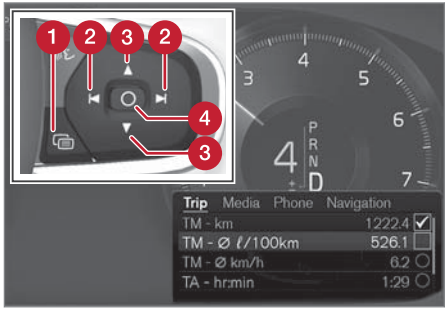
アプリ	機能
トリップコンピューター	トリップメーターの選択、ドライバーディスプレイの表示項目の選択など。
メディアプレーヤー	メディアプレーヤーのアクティブなソースの選択。
電話	コールリストの連絡先への電話。
ナビゲーション	ガイドの一時停止、最近使用した目的地へのガイドの開始など。

関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 132）
- センターディスプレイの概要（p. 34）
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する（p. 150）

ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する

ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー(アプリメニュー)の操作には、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用します。



アプリメニューとステアリングホイール右側のステアリングリモコン

1. 開く/閉じる
2. 左/右
3. 上/下
4. 確定

アプリメニューを開く/閉じる

- 開く/閉じる(1)を押します。

  (ドライバーディスプレイに未読のメッセージがある場合、アプリメニューを開くことはできません。アプリメニューを開くには、先に未読のメッセージを確認する必要があります。)

  > アプリメニューが開きます/閉じます。

使用しない状態がしばらく続いた場合、または特定のオプションを選択した場合、アプリメニューは自動的に閉じます。

アプリメニューでの移動と選択

1. 左または右(2)をタップして、利用できるアプリを切り替えます。

   > 前/次のアプリの機能がアプリメニューに表示されます。

2. 上または下(3)をタップして、選択したアプリの機能をブラウズします。
3. 確認(4)を押して、目的の機能のオプションを確定またはハイライト表示します。

   > 機能がオンになり、オプション次第ではアプリメニューが閉じます。

アプリメニューを再度開いた場合、直近に選択したアプリの機能が直接開きます。

関連情報

- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー (p. 149)
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理 (p. 153)

ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージ

ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイは、さまざまな状況でメッセージを出して運転者に知らせ、支援します。

ドライバーディスプレイ

ドライバーディスプレイ[2] のメッセージ

ドライバーディスプレイ[3] のメッセージ

ドライバーディスプレイには、運転者に対して重要度の高いメッセージが表示されます。

ドライバーディスプレイでのメッセージの表示位置は、表示中のその他の情報に応じて異なることがあります。メッセージを確認し、必要に応じて対処すると、メッセージはドライバーディスプレイから消えます。時間の経過に伴って消えることもあります。メッセージを保存する必要がある場合、**車両の状態** アプリに配置されます。このアプリはセンターディスプレイのアプリビューから開くことができます。

メッセージ構成にはいくつかの種類があり、図、シンボル、またはメッセージ確認用/リクエスト受入用のボタンなどが一緒に表示されるものもあります。

サービスメッセージ

次表には、重要なサービスメッセージとその意味が記載されています。

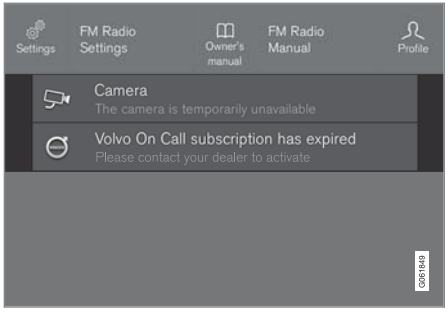
メッセージ	意味
安全に 停車して下さい A	停車してエンジンを停止してください。重大な損傷のおそれがあります。サービス工場 B にご相談ください。
エンジン停止 A	停車してエンジンを停止してください。重大な損傷のおそれがあります。サービス工場 B にご相談ください。
至急ｻｰﾋﾞｽが必要 ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟにお越し下さい A	ただちにサービス工場 B に連絡し、点検を受けてください。
販売店に お問い合わせ下さい A	すみやかにサービス工場 B に連絡し、点検を受けてください。
定期ﾒﾝﾃﾅﾝｽ **メンテナンスを 予約して下さい**	定期点検整備の時期です。サービス工場 B にご連絡ください。次回の点検整備日の前に表示されます。

[2] 8 インチドライバーディスプレイ装備車。
[3] 12 インチドライバーディスプレイ装備車。

メッセージ	意味
定期ﾒﾝﾃﾅﾝｽ **メンテナンス時期です**	定期点検整備の時期です。サービス工場[B]にご連絡ください。次回の点検整備日に表示されます。
定期ﾒﾝﾃﾅﾝｽ **メンテナンス時期を過ぎています**	定期点検整備の時期です。サービス工場[B]にご連絡ください。点検整備日が過ぎたときに表示されます。
一時的にオフ[A]	機能が一時的に解除されていることを示します。この機能は、走行中またはエンジン再始動後に、自動的にリセットされます。

A メッセージの一部では、問題が発生した場所に関する情報が表示されます。
B ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

センターディスプレイ



センターディスプレイのメッセージ

センターディスプレイには、運転者に対して重要度の低いメッセージが表示されます。

ほとんどのメッセージはセンターディスプレイのステータスバーの上に表示されます。しばらく後、またはメッセージに関して必要な対処をすると、メッセージはステータスバーから消えます。メッセージを保存する必要がある場合、センターディスプレイのトップビューに配置されます。

メッセージ構成にはいくつかの種類があり、図、シンボル、またはメッセージに関連する機能をオン/オフにするボタンが一緒に表示されるものもあります。

ポップアップメッセージ

状況により、メッセージがポップアップウィンドウの形で表示されることがあります。ポップアップメッセージはステータスバーに表示されるメッセージよりも重要度が高く、消すためには確認/処置が必要です。保存する必要があるメッセージは、センターディスプレイのトップビューに配置されます。

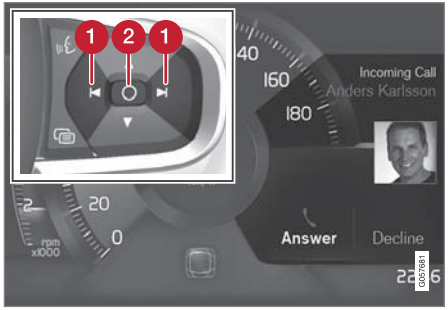
関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 132）
- センターディスプレイの概要（p. 34）
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理（p. 153）
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイから保存されたメッセージを管理する（p. 154）

ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理

ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理には、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンとセンターディスプレイのビューを使用します。

ドライバーディスプレイ



ドライバーディスプレイ[4] のメッセージとステアリングホイール右側のステアリングリモコン

ドライバーディスプレイ[5] のメッセージとステアリングホイール右側のステアリングリモコン

1. 左/右
2. 確定

ドライバーディスプレイのメッセージの中には、メッセージ確認用/リクエスト受入用などのボタンが含まれているものがあります。

新しいメッセージへの対応

メッセージにボタンがある場合：

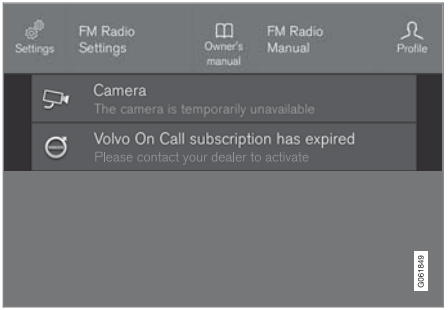
1. 左または右(1)を押して、利用できるボタンを切り替えます。
2. 確認(2)を押して、選択を確定します。
   > メッセージがドライバーディスプレイから消えます。

メッセージにボタンがない場合：

- 確認(2)を押してメッセージを閉じるか、メッセージが自動的に閉じるまでしばらく待ちます。
  > メッセージがドライバーディスプレイから消えます。

メッセージを保存する必要がある場合、**車両の状態** アプリに配置されます。このアプリはセンターディスプレイのアプリビューから開くことができます。これと関連して、メッセージ **車両状態ｱﾌﾟﾘに車両情報を保存しました** がセンターディスプレイに表示されます。

センターディスプレイ



センターディスプレイのメッセージ

[4] 8インチドライバーディスプレイ装備車。
[5] 12インチドライバーディスプレイ装備車。

センターディスプレイのメッセージの中には、メッセージに関連付けられている機能のオン/オフ用などのボタン(またはポップアップメッセージでの複数のボタン)が含まれているものがあります。

新しいメッセージへの対応
メッセージにボタンがある場合：

- ボタンをタップして操作を行うか、メッセージが自動的に閉じるまでしばらく待ちます。
  › メッセージがステータスバーから消えます。

メッセージにボタンがない場合：

- メッセージをタップしてメッセージを閉じるか、メッセージが自動的に閉じるまでしばらく待ちます。
  › メッセージがステータスバーから消えます。

メッセージを保存する必要がある場合、センターディスプレイのトップビューに配置されます。

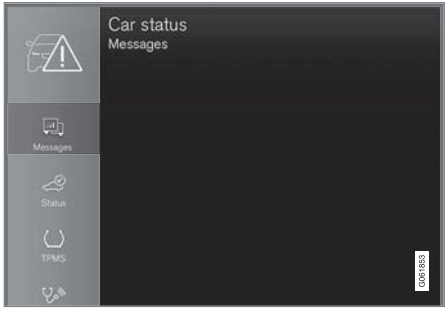
関連情報

- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージ（p. 151）
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイから保存されたメッセージを管理する（p. 154）

ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイから保存されたメッセージを管理する

ドライバーディスプレイまたはセンターディスプレイのどちらから保存された場合でも、メッセージはセンターディスプレイで管理されます。

ドライバーディスプレイから保存されたメッセージ



保存されたメッセージは、**車両の状態**アプリで確認することができます。

ドライバーディスプレイに表示されているメッセージで、保存する必要があるものは、センターディスプレイの **車両の状態** アプリに配置されます。これと関連して、メッセージ **車両状態ｱﾌﾟﾘに車両情報を保存しました** がセンターディスプレイに表示されます。

保存済みメッセージを読む
保存済みメッセージをすぐに読むには：

- センターディスプレイの **車両状態ｱﾌﾟﾘに車両情報を保存しました** メッセージの右にあるボタンを押します。
  › 保存済みメッセージが **車両の状態** アプリに表示されます。

保存済みメッセージを後で読むには：

1. センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。
   › ホームビューの下部にあるサブビューでアプリが開きます。
2. アプリで **メッセージ** タブを選択します。
   › 保存済みメッセージのリストが表示されます。
3. 右の矢印を押して、メッセージを展開/最小化します。
   › メッセージに関する詳しい情報がリストに表示され、アプリの左の画像がメッセージに関する情報をグラフィック形式で表示します。

保存済みメッセージの管理

展開モードの場合、一部のメッセージにはボタンが 2 つあり、サービスの予約またはオーナーズマニュアルの表示に使用することができます。

保存済みメッセージに対応してサービスを予約するには：

- メッセージの展開モードで、**予約 リクエスト** または **電話で予約**[6] を押して、サービス予約のサポートを受けます。
  - 〉 **予約 リクエスト** を使用する場合：アプリで **予約** タブが開き、サービスおよび修理作業の予約リクエストを作成します。

    電話で予約 を使用する場合：電話アプリが起動し、サービスセンターに電話して、サービスおよび修理作業を予約します。

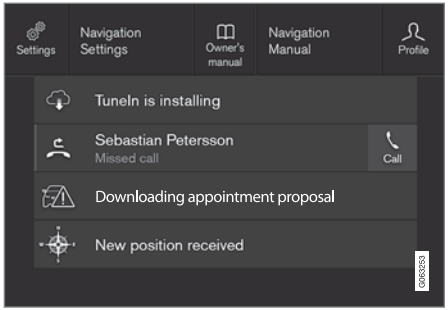
保存済みメッセージをオーナーズマニュアルで調べるには：

- メッセージの展開モードで **オーナーズマニュアル** を押して、メッセージの内容をオーナーズマニュアルで調べます。
  - 〉 センターディスプレイでオーナーズマニュアルが開き、メッセージに関連付けられている情報を表示します。

アプリの保存済みメッセージは、エンジンを始動するたびに自動的に削除されます。

[6] 市場によって異なります。

センターディスプレイから保存されたメッセージ



トップビューでの保存済みメッセージと利用可能なオプション

センターディスプレイに表示されているメッセージで、保存する必要があるものは、センターディスプレイのトップビューに配置されます。

保存済みメッセージを読む

1. センターディスプレイのトップビューを開きます。
   - 〉 保存済みメッセージのリストが表示されます。展開できるメッセージには、右に矢印が付いています。
2. 矢印を押して、メッセージを展開/最小化します。

保存済みメッセージの管理

一部のメッセージには、メッセージに関連付けられている機能のオン/オフ用などのボタンがあります。

- 操作を行うには、ボタンを押してください。

トップビューの保存済みメッセージは、車両をオフにするたびに自動的に削除されます。

関連情報

- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージ（p. 151）
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理（p. 153）

ヘッドアップディスプレイ*

ヘッドアップディスプレイは、車両のドライバーディスプレイを補完し、ドライバーディスプレイからの情報をウインドスクリーンに映します。映しだされたイメージは、運転席からのみ見ることができます。

着信

ヘッドアップディスプレイは、速度、クルーズコントロール機能、ナビゲーションなどに関する警告および情報を運転者の視野の中に表示します。ヘッドアップディスプレイには、ロード・サイン・インフォメーションや電話の着信も表示されます。

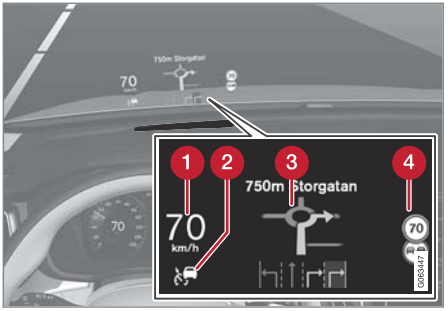
注意

以下の場合、運転者にはヘッドアップディスプレイの情報が見えなくなります。

- 偏光サングラスを使用している
- 運転席シートの中央に正しく座っていない
- ディスプレイユニットのカバーガラスに異物がある
- 光の条件が望ましくない

重要

情報を投影するディスプレイユニットはダッシュボードに配置されています。ディスプレイユニットのカバーガラスの損傷を防止するため、カバーガラスの上にはなにも置かないでください。また、カバーガラスに物を落とさないように注意してください。



ディスプレイの表示例

1. 速度
2. クルーズコントロール
3. ナビゲーション
4. 道路標識

ヘッドアップディスプレイには、以下のようないくつかのシンボルが一時的に表示されることがあります。

警告灯が点灯した場合、ドライバーディスプレイの警告メッセージをお読みください。

インフォメーションシンボルが点灯した場合、ドライバーディスプレイのテキストをお読みください。

* オプション/アクセサリー。

注意

視覚障害をお持ちの場合、ヘッドアップディスプレイの使用中に頭痛やストレスを感じることがあります。

ヘッドアップディスプレイの City Safety

注意

City Safety* がオンになると、ヘッドアップディスプレイの情報が City Safety のグラフィック表示に変更されます。このグラフィックは、ヘッドアップディスプレイがオフの場合でも点灯します。

運転者の注意を喚起するために City Safety のグラフィックが点滅します。

ヘッドアップディスプレイのオン/オフ

センターディスプレイの機能ビューで **ヘッドアップ ディスプレイ** ボタンをタップします。

注意

ヘッドアップディスプレイの有効化/無効化および調整は、ヘッドアップディスプレイが画像を表示しているときにのみ行うことが可能です。車両のエンジンンが作動している必要があります。

ヘッドアップディスプレイの設定

オプションを選択して、ウインドスクリーンへのヘッドアップディスプレイの投影に関する設定を調節します。

ディスプレイオプションの選択

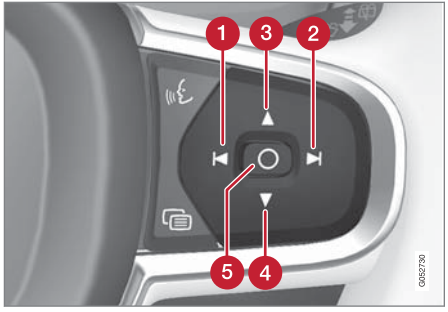
1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ディスプレイ ➔ ヘッドアップディスプレイのオプション** をタップします。
3. 表示する機能を選択します。
   - **ナビを表示**
   - **Road Sign Information を表示**
   - **運転者サポートを表示**
   - **電話を表示**

この設定は運転者プロフィールに個人用設定として保存することができます。

▶▶

明るさと縦方向の位置の調節

1. センターディスプレイの機能ビューで **ﾍｯﾄﾞｱｯﾌﾟﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの調節** ボタンをタップします。
2. ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用して、運転者の視野に投影されている画像の明るさと縦方向の位置を調節します。



1. 暗くする
2. 明るくする
3. 位置を上げる
4. 位置を下げる
5. 確定

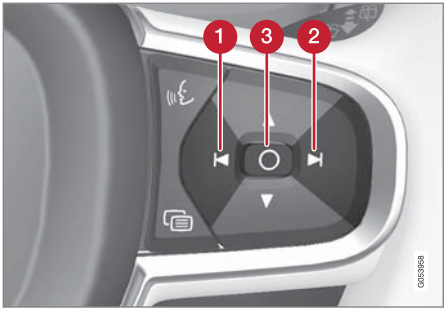
グラフィックの明るさは、背景光に合わせて自動的に調節されます。明るさは、他のディスプレイの明るさによる影響も受けます。

高さ位置は、フロントパワーシート*のメモリー機能に記憶させることができます。

水平位置の調整

ウインドスクリーンまたはディスプレイユニットを交換した場合、ヘッドアップディスプレイの水平位置の調整が必要になることがあります。調整では、投影画像を時計回りまたは反時計回りに回します。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ メーター ➔ ヘッドアップディスプレイのオプション ➔ ヘッドアップディスプレイ較正** を選択します。
3. ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用して、画像の水平位置を調整します。



1. 反時計回りに回転
2. 時計回りに回転
3. 確定

清掃

乾いたきれいなマイクロファイバークロスを使用して、ディスプレイのカバーガラスをやさしく拭いてください。必要に応じて、マイクロファイバークロスを軽く湿らせてください。

強いシミ抜き溶剤は、絶対に使用しないでください。取れにくい汚れには、ボルボ純正専用クリーナー(ボルボ指定のディーラーでお求めになれます)のご使用を推奨しています。

* オプション/アクセサリー。

ウインドスクリーンを交換する場合

ヘッドアップディスプレイ装備車には、投影画像の表示要件を満たす特殊なウインドスクリーンが装備されています。

ウインドスクリーンを交換するときには、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください[7]。ヘッドアップディスプレイのグラフィックを正しく表示するためには、適切なタイプのウインドスクリーンを取り付ける必要があります。

関連情報

- 機能ビューと車両機能用ボタン（p. 48）
- センターディスプレイの設定（p. 216）
- ステアリングホイール（p. 177）
- フロントパワーシート*のメモリー機能を使用する（p. 166）
- ドライバーディスプレイ（p. 132）

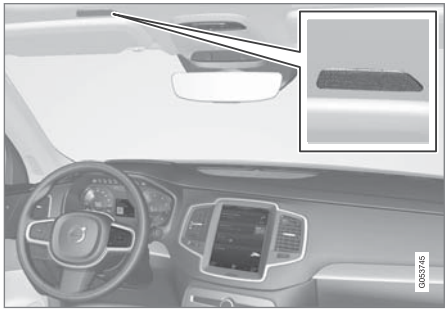
音声認識[8]

音声認識システムを使用すると、運転者はメディアプレーヤー、Bluetooth 接続電話、エアコンディショナーシステムおよびボルボナビゲーションシステム*を音声で操作することができます。

音声コマンドは、運転者の注意が散漫になるのを防ぎ、運転に集中し、道路や交通状況に専心できるよう支援する便利な機能です。

⚠ 警告

車両を安全に操作し、適用されている交通規則を順守する全体的責任は、つねに運転者にあります。



音声認識システム用マイク

音声認識コントロールは、ユーザーが発話するコマンドとシステムからの音声による応答との対話形式で行われます。音声認識システムは、Bluetooth ハンズフリーシステムと同じマイクを使用します。音声認識システムの応答は車両のスピーカーから聞こえます。状況により、メッセージがドライバーディスプレイに表示されることもあります。機能はステアリングホイール右側のステアリングリモコンから操作します。設定にはセンターディスプレイを使用します。

システムアップデート

音声認識システムはつねに更新されています。最適なパフォーマンスを実現するため、アップデートを入手してください。
support.volvocars.com を参照してください。

関連情報

- 音声認識を使用する（p. 160）
- 電話の音声認識コントロール（p. 161）
- ラジオおよびメディアの音声認識操作（p. 162）
- エアコンディショナーの音声操作（p. 163）
- 音声認識および地図ナビゲーション（p. 164）
- 音声認識の設定（p. 161）

[7] ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。
[8] 特定市場に適用

音声認識を使用する [9]

音声認識操作を使用するための基本手順

ステアリングホイールの音声認識用ボタン を押してシステムを起動し、音声コマンドを使用して対話を開始してください。

通信中には、以下の点に留意してください。

- コマンドを発声するには、トーンが鳴った後通常の音声、通常の速度で発声してください。
- システム応答中は、発話しないでください(この間システムはコマンドを理解できません)。
- ドア、ウインドおよびパノラマルーフ* を閉じて、車内に騒音がないようにしてください。

音声認識は以下の方法でオフにすることができます。

- 「**キャンセル**」と発声する
- ステアリングホイールの音声認識ボタン を長押しする

会話の速度を速めてシステムからのプロンプトをスキップするには、システム音声が話しているときにステアリングホイールの音声認識用ボタン を押して、次のコマンドを発声します。

音声認識操作の例

を押し、「**電話 [Forename] (名前) [Surname] (名字) [number category] (番号カテゴリー)**」と発声すると、電話帳の中から選択した連絡先に電話できます(連絡先に自宅、携帯電話、勤務先など、複数の番号が登録されている場合)。

を押し、「**電話 Robin (ロビン) Smith (スミス) 携帯**」と発声します。

コマンド/フレーズ

以下のコマンドは、いつでも使用することができます。

- 「**リピート**」 - 現在の対話の最後の音声指示を繰り返します。
- 「**キャンセル**」 - 対話を中止します。
- 「**ヘルプ**」 - ヘルプ対話を開始します。システムは現在の状況で利用可能なコマンド(リクエスト、例など)を示します。

特定の機能に関するコマンドについては、関連セクション(「電話の音声認識操作」など)で説明されています。

数字

数字のコマンドはコントロールする機能によって、発話の仕方が異なります。

- **電話番号および郵便番号**は、1 数字ずつ個々に発話します(例:ゼロ、さん、いち、に、に、よん、よん、さん(03122443))。
- **家の番号**は個々に、またはまとめて発話することができます(例:に、に、またはにじゅうに(22))。英語またはオランダ語の場合は、複数のグループを連続して発話することができます(例:にじゅうに、にじゅうに(2222))。英語では「ダブル」または「トリプル」も使用可能です(例:ダブルゼロ(00))。数字は 0-2,300 まで使用可能です。
- **バンド**は「きゅうじゅうはってんはち(98.8)」、「ひゃくよんてんに(104.2)」といったように発話します。

関連情報

- 音声認識 (p. 159)
- 電話の音声認識コントロール (p. 161)
- ラジオおよびメディアの音声認識操作 (p. 162)
- エアコンディショナーの音声操作 (p. 163)
- 音声認識および地図ナビゲーション (p. 164)
- 音声認識の設定 (p. 161)

[9] 特定市場に適用

* オプション/アクセサリー。

音声認識の設定 [10]

音声認識システムのいくつかの設定を行うことができます。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ 音声コントロール**に移動して、設定を選択します。
   - **音声コマンドを繰り返す**
   - **性別**
   - **スピーチの速度**

オーディオ設定

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **サウンド ➔ システム音量 ➔ 音声コントロール**に移動して、設定を選択します。

言語の変更

音声認識は一部の言語でご利用いただけます。音声認識がご利用いただける言語は、言語リスト内で アイコンを伴って表示されています。

言語を変更すると、メニュー、メッセージおよびヘルプテキストにも影響をおよぼします。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム言語**に移動して、言語を選択します。

関連情報

- 音声認識（p. 159）
- 音声認識を使用する（p. 160）
- 電話の音声認識コントロール（p. 161）
- ラジオおよびメディアの音声認識操作（p. 162）
- エアコンディショナーの音声操作（p. 163）
- 音声認識および地図ナビゲーション（p. 164）

電話の音声認識コントロール [11]

Bluetooth 接続した携帯電話の音声操作用コマンドを使用して、連絡先への発信、メッセージの読み上げ、音声入力による簡単なメッセージの作成を行う。

電話帳の連絡先を特定するには、電話帳に入力されている連絡先情報を音声認識コマンドに含める必要があります。例えば、**Robin Smith** という連絡先に複数の電話番号が登録されている場合、以下のようなコマンドで番号カテゴリーも指定することができます。**Home（自宅）**または **携帯**：「**電話 Robin（ロビン）Smith（スミス）携帯**」

を押して、以下のコマンドの 1 つを発声します。

- 「**電話[contact]（連絡先）**」 - 電話帳の中から選択した連絡先に電話をかけます。
- 「**電話 [phone number]（電話番号）**」 - 電話番号に電話します。
- 「**履歴**」 - コールリストを表示します。
- 「**メッセージを読む**」 - メッセージが読み上げられます。複数のメッセージがある場合、読み上げるメッセージを選択します。
- 「**メール宛先 [contact]（連絡先）**」ユーザーに簡単なメッセージを発話するよう促します。メッセージが復唱された後、メッセージ

[10] 特定市場に適用
[11] 特定市場に適用

を送信[12]するか変更するかを選択することができます。本機能を使用するには、車両がインターネットに接続されている必要があります。

関連情報

- 音声認識（p. 159）
- 音声認識を使用する（p. 160）
- 音声認識の設定（p. 161）
- 車両に接続する（p. 540）

ラジオおよびメディアの音声認識操作[13]

ラジオおよびメディアプレーヤーの音声認識操作用コマンド

を押して、以下のコマンドの 1 つを発声します。

- 「**メディア**」- メディアおよびラジオの対話を開始し、コマンドの例を表示します。
- 「**再生 [artist]（アーティスト）**」- 選択したアーティストの音楽が再生されます。
- 「**再生 [song title]（曲名）**」- 選択した曲が再生されます。
- 「**再生 [song title]（曲名）の [album]（アルバム）**」 - 選択したアルバムの選択した曲が再生されます。
- 「**再生 [TV channel name]（TV チャンネル名）**」 - 選択した TV チャンネルが表示されます。
- 「**再生 [radio station]（ラジオ放送局）**」- 選択したラジオ放送局が受信されます。
- 「**周波数 [frequency]（周波数）**」 - 現在のバンドで選択したラジオ周波数が受信されます。ラジオソースがアクティブになっていない場合、初期設定で FM バンドが選択されます。
- 「**周波数 [frequency]（周波数）[wavelength]（バンド）**」- 選択したバンドで選択したラジオ周波数が受信されます。
- 「**ラジオ**」 - FM ラジオが起動します。
- 「**ラジオ FM**」 - FM ラジオが起動します。
- 「**ラジオ AM**」 - AM ラジオが起動します。
- 「**TV**」 - TV*の再生が開始します。
- 「**CD**」 - CD*の再生が開始します。
- 「**USB**」 - USB の再生が開始します。
- 「**iPod**」 - iPod の再生が開始します。
- 「**ブルートゥース**」 - Bluetooth 接続されているメディアソースの再生が開始します。
- 「**似た音楽**」 - USB デバイスから現在再生中の音楽と似た音楽が再生されます。

関連情報

- 音声認識（p. 159）
- 音声認識を使用する（p. 160）
- 音声認識の設定（p. 161）

12 車両からのメッセージ送信は、一部の車両でのみ可能です。対応車両については、support.volvocars.com を参照してください。
13 特定市場に適用

* オプション/アクセサリー。

エアコンディショナーの音声操作 [14]

温度変更、シートヒーター* の作動、またはファンレベルの変更など、エアコンディショナーシステムの音声操作コマンドです。

を押して、以下のコマンドの 1 つを発声します。

- 「**エアコン**」– エアコンディショナーの対話を開始し、コマンドの例を表示します。
- 「**温度を X 度に設定**」– 希望する温度を設定します。
- 「**温度を上げる**」/「**温度を下げる**」 – 温度設定を 1 目盛り上げます/下げます。
- 「**温度同期**」– 車内のすべてのクライメートゾーンの温度を運転席の設定温度と同期します。
- 「**フロア送風オン**」/「**ボディ送風オン**」 – 使用したい吹出口を開けます。
- 「**フロア送風オフ**」/「**ボディ送風オフ**」 – 使用しない吹出口を閉じます。
- 「**ファンを最大**」/「**ファンオフ**」 – 吹出口を Max/Off に変更します。
- 「**ファン速度を上げる**」/「**ファン速度を下げる**」– ファンレベルを 1 目盛り上げます/下げます。
- 「**オートエアコンオン**」 – オートエアコンディショナーをオンにします。
- 「**エアコンオン**」/「**エアコンオフ**」 – エアコンディショナーをオン/オフにします。
- 「**車内循環オン**」/「**車内循環オフ**」 – エアサーキュレーションをオン/オフにします。
- 「**デフロスターオン**」/「**デフロスターオフ**」– ウインドおよびドアミラーのデフロスターをオン/オフにします。
- 「**デフロスターオン**」/「**デフロスターオフ**」– 最大デフロスターをオン/オフにします。
- 「**エレクトリックデフロスターオン**」/「**エレクトリックデフロスターオフ**」 – ヒーテッドウインドスクリーン*をオン/オフにします。
- 「**リアデフロスターオン**」/「**リアデフロスターオフ**」 – リアウインドおよびドアミラーデフロスターをオン/オフにします。
- 「**ステアリングヒーターオン**」/「**ステアリングヒーターオフ**」 – ステアリングホイールヒーター*をオン/オフにします。
- 「**ステアリングヒーターを上げる**」/「**ステアリングヒーターを下げる**」 – ステアリングホイールヒーター*の設定を 1 目盛り上げます/下げます。
- 「**シートヒーターオン**」/「**シートヒーターオフ**」 – シートヒーター*をオン/オフにします。
- 「**シートヒーターを上げる**」/「**シートヒーターを下げる**」– シートヒーター*の設定を 1 目盛り上げます/下げます。
- 「**シートベンチレーションオン**」/「**シートベンチレーションオフ**」 – ベンチレーテッドシート*をオン/オフにします。
- 「**シートベンチレーション上げる**」/「**シートベンチレーション下げる**」 – ベンチレーテッドシート*の設定を 1 目盛り上げます/下げます。

関連情報

- 音声認識（p. 159）
- 音声認識を使用する（p. 160）
- 音声認識の設定（p. 161）
- エアコンディショナー（p. 226）

[14] 特定市場に適用

音声認識および地図ナビゲーション[15]

一部のナビゲーションシステム機能は、音声コマンドで起動することができます。

をタップして、以下のコマンドの 1 つを発声します。

- 「**ナビゲーション**」 – ナビゲーションの対話が始まり、コマンドの例が表示されます。
- 「**自宅**」 – **自宅** 位置まで案内されます。
- 「**目的地は [City]（市町村）**」 – 市町村が目的地として指定されます。例：「目的地は横浜」（横浜まで走行）。
- 「**交差点を追加**」 – 対話が始まり、2 つの通りを指定するように指示されます。指定した通りどうしの交差点が目的地になります。

以下のいずれかを発声することにより、検索することができます。

1. 「**目的地は [prefecture]（県）[district]（地区）[City]（市町村）**[16] **[quarter number]（番地）**[16]」
2. 「**目的地は [prefecture]（県）[City]（市町村）[district]（地区）**[16] **[town/locality]（町/字）**[16] **[quarter number]（番地）**[16]」
3. 「**目的地は [prefecture]（県）[City]（市町村）[town/locality]（町/字）[quarter number]（番地）**[16]」
4. 「**目的地は [prefecture]（県）[town/locality]（町/字）[village]（村）**[16] **[quarter number]（番地）**[16]」

- 「**目的地は [contact]（連絡先）**」 – 電話帳の連絡先が目的地として指定されます。例：「目的地は Robin Smith」（ロビン・スミスの住所まで走行）。
- 「**施設検索 [POI category]（POI カテゴリー）**」 – 特定カテゴリーの近隣施設（POI）（レストランなど）が検索されます[17]。リストをルートに沿って並べ替えるには、検索結果リストが表示されたときに「**Along the route（ルート沿い）**」と発声します。
- 「**[City]（市町村）で 施設検索 [POI category]（POI カテゴリー）**」 – 特定のカテゴリーおよび市で近隣施設（POI）（レストランなど）が検索されます。検索結果リストは市の中心部から優先的に並べられます。例：「Search for restaurant in London」（ロンドンのレストランを検索）。
- 「**施設検索 [phone number]（電話番号）**」 – 住所録およびライブラリの施設（Point of Interest – POI）から電話番号が検索されます。
- 「**お気に入りを表示**」 – お気に入りの場所がドライバーディスプレイに表示されます。
- 「**道順を削除**」 – 旅程に保存されている経由地および最終目的地がすべて消去されます。
- 「**音声案内を繰り返す**」 – 前回の音声案内が繰り返されます。
- 「**音声案内オフ**」 – 音声案内がオフになります。
- 「**音声案内オン**」 – 音声案内がオフからオンになります。

関連情報

- 音声認識（p. 159）
- 音声認識を使用する（p. 160）
- 音声認識の設定（p. 161）

15 特定市場に適用
16 省略できます。
17 ユーザーには POI（施設）に電話するオプションとその POI を目的地として指定するオプションがあります。

フロントマニュアルシート

車両のフロントシートには、最適な座り心地を提供するためにさまざまな設定オプションがあります。

1. 上下にポンピングして、シートクッション*の前端を上昇/下降させます。
2. レバーを引き上げてシートクッションを前方/後方に手で動かし、シートクッションの長さ* を変更します。
3. ハンドルを持ち上げてシートを前後に調節し、ステアリングホイールおよびペダルまでの距離を調節します。調節後は、シートが確実に固定されていることを確認してください。
4. ボタンを上方/下方/前方/後方に押して、ランバーサポート*を調節します。
5. コントロールを上下に調節して、シートを上昇/下降させます。
6. コントロールノブを回して、バックレストの傾きを変更します。

⚠ 警告

運転席シートの調節は、必ず走行前に行ってください。走行中は絶対に調節しないでください。急ブレーキや事故の際に、ケガをすることがないように、シートが確実に固定されていることを確認してください。

関連情報

- フロントパワーシート*（p. 165）
- マルチファンクションフロントシート*（p. 167）
- シートヒーター*のオン/オフ（p. 249）
- シートベルト（p. 97）

フロントパワーシート*

車両のフロントシートには、最適な座り心地を提供するためにさまざまな設定オプションがあります。パワーシートは前後上下に動かすことができます。シートクッションの前部を上下させることができます。また、バックレストの傾きを変えることができます。ランバーサポートは上/下/前/後に調節することができます。

パワーシートの動きが妨げられると、オーバーロードプロテクションが作動します。この状態になった場合、障害物を取り除き、シートを再操作してください。

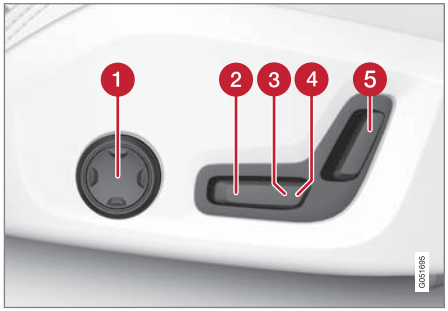
シートは、ドアをロック解除した後、エンジンが作動していない状態でも、一定時間内は調節することができます。エンジンが作動しているときには、いつでもシートを調節することができます。エンジンを停止した後でも、一定時間内であれば、調節することができます。

関連情報

- マルチファンクションフロントシート*（p. 167）
- フロントパワーシート*の調節（p. 166）
- フロントパワーシート*のメモリー機能を使用する（p. 166）
- フロントマニュアルシート（p. 165）
- シートヒーター*のオン/オフ（p. 249）

フロントパワーシート*の調節

フロントシートの座面の横にあるコントロールを使用して、お好みの着座位置になるように設定します。



1. ボタンを上方/下方/前方/後方に押して、ランバーサポートを調節します。
2. コントロールを上下に調節して、シートクッションの前端を上昇/下降させます。
3. コントロールを上下に調節して、シートを上昇/下降させます。
4. コントロールを前方/後方に調節して、シートを前方/後方に動かします。
5. コントロールを前方/後方に調節して、バックレストの傾きを変更します。

一度に 1 つのシート設定(前/後/上/下)のみ、調節することができます。

フロントシートのバックレストは、前方にいっぱいまで下げることはできません。

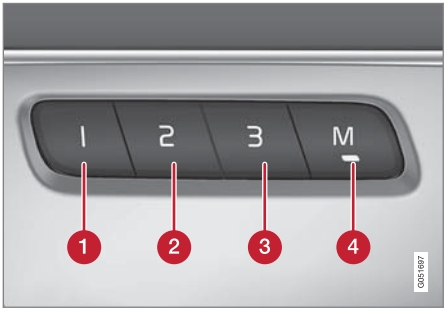
関連情報

- フロントパワーシート* (p. 165)
- フロントパワーシート*のメモリー機能を使用する (p. 166)
- マルチファンクションフロントシート* (p. 167)
- シートベルト (p. 97)

フロントパワーシート*のメモリー機能を使用する

メモリー機能には、シート、ドアミラー、ヘッドアップディスプレイ*の設定が記憶されます。

メモリー機能では、3 通りの設定を記憶することができます。メモリー機能のキーパッドは、片側または両側*のフロントドアに装備されています。



1. メモリーボタン
2. メモリーボタン
3. メモリーボタン
4. 設定保存ボタン M

設定を保存する

1. シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイをお好みの位置に調節します。
2. **M** ボタンを押して放します。ボタンの表示灯が点灯します。
3. 3 秒以内にボタン **1**、**2** または **3** を押します。
   > 選択したメモリーボタンに位置が保存されると、確認音が鳴り、**M** ボタンの表示灯が消灯します。

3 秒以内にメモリーボタンを押さないと、**M** ボタンが消灯し、位置は保存されません。

新しいメモリーを設定するには、シートを再調節する必要があります。

メモリー位置に移動する

保存されている設定は、フロントシートのドアが開いているときでも、閉じているときでも使用することができます。

フロントドアが開いている場合

– メモリーボタン **1** – **3** の 1 つを 1 回短く押します。シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイが動いて、選択したメモリーボタンに保存されている位置で停止します。

フロントドアが閉じている場合

– メモリーボタン **1** – **3** の 1 つを押したまま保持し、シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイが選択したメモリーボタンに保存されている位置で停止したら、ボタンから指を離します。

メモリーボタンから指を離したら、シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイの動きは停止します。

⚠ 警告

- 運転席シートはイグニッションがオフのときに調節できるため、絶対にお子様だけを車内に残したままにしないでください。
- パワーシートコントロールパネルのボタンを押すと、いつでもシートの動きを停止することができます。
- 走行中にはシートを調節しないでください。
- シートを調節するときには、シートの下になにもないことを確認してください。

関連情報

- フロントパワーシート*（p. 165）
- フロントパワーシート*の調節（p. 166）

マルチファンクションフロントシート*

マルチファンクションコントロールを使用して、座り心地を向上させます。

シート座面の横にあるマルチファンクションコントロール

一部のタイプでは、マルチファンクションコントロールを使用して、ランバーサポート*、サイドサポート*、クッションの長さ、およびマッサージ設定*を調節することができます。マルチファンクションコントロールで行った設定はセンターディスプレイに表示されます*。一部の機能選択は、センターディスプレイで直接行うこともできます。

センターディスプレイ

マルチファンクションコントロールで行った運転席および助手席シート設定は、センターディスプレイに表示されます。片側のフロントシー

トのみの設定がセンターディスプレイに表示される場合、その設定は画面の中央に配置されます。両側のフロントシートの設定オプションを表示することができる場合、運転席の設定オプションは上半分に、助手席の設定オプションは下半分に表示されます。

センターディスプレイでシート設定ビューの表示を停止するには、センターディスプレイの下にあるホームボタンを押します。

関連情報

- フロントパワーシート*（p. 165）
- マルチファンクションフロントシート*の機能の調節（p. 168）
- シートヒーター*のオン/オフ（p. 249）

マルチファンクションフロントシート*の機能の調節

設定の変更には、シートのマルチファンクションコントロールとセンターディスプレイの両方を使用することができます。設定の範囲はセンターディスプレイに表示されます*。

シート座面の横にあるマルチファンクションコントロール

マルチファンクションコントロールを作動させるには、コントロールを上方向/下方向に回します。

フロントシートのマッサージ設定*の調節

フロントシートには、バックレストにマッサージ機能が装備されています。マッサージにはエアクッションが使用され、数通りのマッサージ設定が用意されています。

1. コントロールを上方向/下方向に回して、マルチファンクションコントロールを作動させます。センターディスプレイにシート設定ビューが表示されます。
2. シート設定ビューで **マッサージ** を選択します。
3. マッサージの機能を切り替えるには、タッチスクリーンで直接選択するか、マルチファンクションコントロールの上/下ボタンでカーソルを上/下に動かして選択します。タッチスクリーンで直接選択する、矢印を押す、またはマルチファンクションコントロールの前/後ボタンを使用することにより、選択された機能の設定を変更します。

マッサージの設定

マッサージには以下の設定オプションがあります。

- **オン/オフ**:**オン/オフ** を選択して、マッサージ機能をオン/オフにします。
- **プログラム 1–5**:プリセットのマッサージプログラムが 5 つあります。**ｽｳｪﾙ**、**ﾄﾚｯﾄﾞ**、**ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽ**、**ﾗﾝﾊﾞｰ** および **ｼｮﾙﾀﾞｰ** のいずれかを選択します。
- **強度**：**低**、**標準** および **高** のいずれかを選択します。
- **速度**：**遅い**、**標準** および **速い** のいずれかを選択します。

マッサージの再開

マッサージ機能は 20 分後に自動的にオフになります。この機能は手動で再開できます。

– 選択したマッサージプログラムを再開するには、センターディスプレイの **再起動** をタップします。
  › マッサージプログラムが再開されます。なにも対処しないと、メッセージがトップビューに表示され続けます。

エンジンが停止しているときは、マッサージ機能を使用することができません。

フロントシートバックレストのサイドサポート*の調節

サイドサポートが得られるように、バックレストの側面を調節することができます。

サイドサポートを調節するには

1. コントロールを上方向/下方向に回して、マルチファンクションコントロールを作動させます。センターディスプレイにシート設定ビューが表示されます。
2. シート設定ビューで **ｻｲﾄﾞﾎﾞﾙｽﾀｰ** を選択します。
   - フロントシートボタンを押すと、サイドサポートのサポート力が高まります。
   - リアシートボタンを押すと、サイドサポートのサポート力が低下します。

フロントシートのランバーサポート*の調節

ランバーサポートは上/下/前/後に調節することができます。

ランバーサポートを調節するには

1. コントロールを上方向/下方向に回して、マルチファンクションコントロールを作動させます。センターディスプレイにシート設定ビューが表示されます。
2. シート設定ビューで **ﾗﾝﾊﾞｰ** を選択します。
   - シートボタンを押し上げるとランバーサポートが上に、押し下げると下に動きます。
   - フロントシートボタンを押すと、ランバーサポートのサポート力が高まります。
   - リアシートボタンを押すと、ランバーサポートのサポート力が低下します。

フロントシートのシートクッションの伸長

シートクッションの長さは、シートのマルチファンクションコントロールを使用して調節することができます。

1. コントロールを上方向/下方向に回して、マルチファンクションコントロールを作動させます。センターディスプレイにシート設定ビューが表示されます。
2. シート設定ビューで **ｸｯｼｮﾝｴｸｽﾃﾝｼｮﾝ** を選択します。
   - フロントシートボタンを押すと、シートクッションが長くなります。
   - リアシートボタンを押すと、シートクッションが短くなります。

関連情報

- マルチファンクションフロントシート*（p. 167）
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイから保存されたメッセージを管理する（p. 154）

運転席から助手席シートを調節する*

助手席シートは運転席シートから調節することができます。

機能をオンにする

この機能は、センターディスプレイを使用して2通りの方法でオンにすることができます。

機能ビューを使用する場合

助手席シートの調節 ボタンをタップして、オンにします。

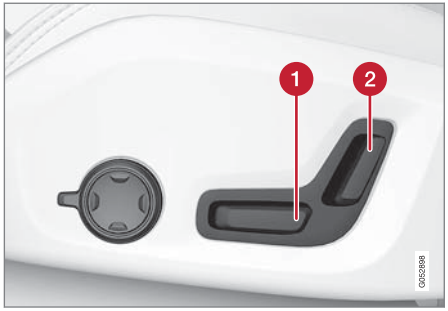
「設定」から

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ シート**をタップします。
3. **運転席から助手席を調節** を選択して、オンにします。

助手席シートを調節する

この機能をオンにしてから10秒以内に、運転者は助手席シートを調節する必要があります。この時間内に調節しないと、機能は解除されます。

運転者が助手席シートを調節するときには、運転席のコントロールを次のように使用します。



1. コントロールを前方/後方に調節して、助手席シートを前方/後方に動かします。
2. コントロールを前方/後方に調節して、助手席シートのバックレストの傾きを変更します。

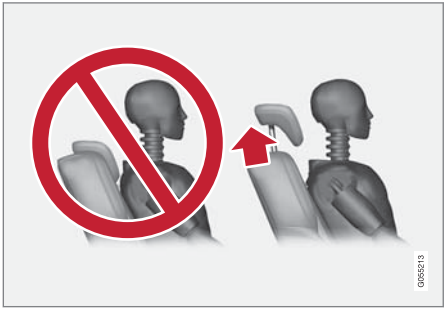
関連情報

- フロントパワーシート*（p. 165）
- フロントパワーシート*の調節（p. 166）
- シートベルト（p. 97）

2列目シートのヘッドレストの調節

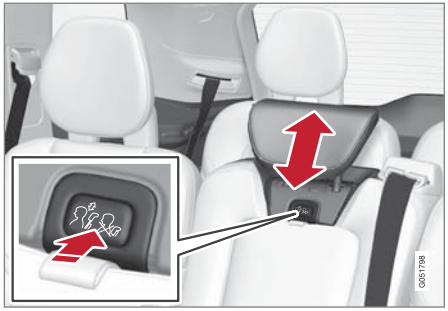
乗員の座高に合わせて、センターシートヘッドレストを調節します。後方の視界を向上させたいときは、ドア側シートのヘッドレスト*を倒してください。

センターシートヘッドレストの調節



センターシートのヘッドレストは、後頭部全体を受けられるように乗員の座高に応じて調節する必要があります。必要に応じて、手動で持ち上げます。

* オプション/アクセサリー。



下げる場合は、ボタン(バックレストとヘッドレストの中間、図参照)を押しながら、ヘッドレストを慎重に押し下げます。

⚠ 警告

センターシートを使用しない場合は、センターシートのヘッドレストを必ず一番低い位置に設定してください。センターシートを使用する場合は、ヘッドレストを乗員の座高に合わせて正しく調節し、可能であれば後頭部全体をサポートするようにします。

ドア側リアシートヘッドレストを電動で倒す*

ドア側ヘッドレストは、センターディスプレイから 2 通りの方法で倒すことができます。

機能ビューを使用する場合

ヘッドレストを倒す ボタンをタップして、ヘッドレストを倒す操作をオン/オフにします。

「設定」から

車両の電気系統をイグニッション位置 **II** にしておく必要があります。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ シート** をタップします。
3. **2 列目シートのヘッドレストを倒す** を選択して、リアのドア側ヘッドレストを倒します。

⚠ 警告

ドア側のリアシートに乗員が座っているときは、ヘッドレストを倒さないでください。

カチッと音がするまで、ヘッドレストを手で元に戻してください。

⚠ 警告

ヘッドレストを持ち上げた場合には、必ずロック位置に固定してください。

⚠ 警告

3 列目シート*に乗員を乗せる場合には、必ず 2 列目ドア側シートのヘッドレストを起こす必要があります。

関連情報

- 2 列目シートのバックレストを倒す (p. 173)

2 列目シートの前後位置の調節*

7 人乗り*の車両では、2 列目シートおよび 3 列目シートの乗員が十分にレッグスペースを確保できるように、2 列目シートの位置を前方または後方に個別に調節することができます。5 人乗りの車両では、リアシートの前後位置を調節することはできません。

1. シートの下にあるハンドルを持ち上げます。
2. シートを前方または後方に動かして、適切な位置にします。
3. ハンドルから手を離し、シートをスライドさせてキャッチをかみ合わせます。

調節後は、シートが確実に固定されていることを確認してください。

⚠ 警告

- シートの調節およびロックは、走行前に行ってください。シートを調節する際は、注意してください。不適切な調整や不注意な調整を行った場合、手や指などが挟まりケガをすることがあります。
- 長い荷物を運ぶ場合、急ブレーキ時のケガおよび損傷を防止するため、必ず荷物をひもなどでしっかりと固定してください。
- 荷物の積み下ろしは、必ずエンジンを停止してパーキングブレーキをかけてから行ってください。
- 誤って動くことのないようにギヤセレクターレバーを **P** にしてください。

関連情報

- 2 列目シートのバックレストの傾き調節 (p. 172)

2 列目シートのバックレストの傾き調節

2 列目シートのバックレストの傾きは、シートごとに調節することができます。

センターシート

1. センターシートの右側にあるストラップを引きます。
2. バックレストにかける体重を減らし/増やして、バックレストの傾きを前後に調節します。
3. ストラップから手を離してバックレストの位置を固定し、バックレストをスライドさせてキャッチをかみ合わせます。

調節後は、シートが確実に固定されていることを確認してください。

* オプション/アクセサリー。

ドア側シート

1. シート側面のハンドルを引き上げます。
2. バックレストにかける体重を減らし/増やして、バックレストの傾きを前後に調節します。
3. ハンドルから手を離してバックレストの位置を固定し、バックレストをスライドさせてキャッチをかみ合わせます。

調節後は、シートが確実に固定されていることを確認してください。

⚠ 警告

- シートの調節およびロックは、走行前に行ってください。シートを調節する際は、注意してください。不適切な調整や不注意な調整を行った場合、手や指などが挟まりケガをすることがあります。
- 長い荷物を運ぶ場合、急ブレーキ時のケガおよび損傷を防止するため、必ず荷物をひもなどでしっかりと固定してください。
- 荷物の積み下ろしは、必ずエンジンを停止してパーキングブレーキをかけてから行ってください。
- 誤って動くことのないようにギヤセレクターレバーを P にしてください。

関連情報

- 2 列目シートの前後位置の調節*（p. 172）
- 2 列目シートのバックレストを倒す（p. 173）
- シートベルト（p. 97）

2 列目シートのバックレストを倒す

2 列目にはシートが 3 つあります。バックレストは個別に前方へ倒すことができます。

⚠ 警告

- シートの調節およびロックは、走行前に行ってください。シートを調節する際は、注意してください。不適切な調整や不注意な調整を行った場合、手や指などが挟まりケガをすることがあります。
- 長い荷物を運ぶ場合、急ブレーキ時のケガおよび損傷を防止するため、必ず荷物をひもなどでしっかりと固定してください。
- 荷物の積み下ろしは、必ずエンジンを停止してパーキングブレーキをかけてから行ってください。
- 誤って動くことのないようにギヤセレクターレバーを P にしてください。

重要

バックレストを折り畳む場合には、リアシートになにも置かないでください。また、シートベルトもバックルにはめないでください。リアシートの内装を傷付けるおそれがあります。

重要

インテグレーテッドチャイルドシート* のシートクッションは、センターシートバックレストを倒す前に下側位置にする必要があります。

センターシートのアームレスト*は、シートを下げる前に起こす必要があります。

車両にプライベートロック* が装備されている場合、シートを下げる前にテールゲートを閉じる必要があります。

注意

リアシートバックレストを前方に完全に倒す際は、フロントシートを前方に移動するかバックレストを立てる、またはその両方の作業をする必要があります。

状況により、リアシートを後方に動かす必要もあります。

2 列目シートを倒すときには、シートを起こしておく必要があります。3 列目シートの乗り降りのために前方に傾けているときには、シートを倒さないでください。

センターシート

バックレストを倒すには：

1. ヘッドレストを手動で下げます。
2. センターシートの右側にあるストラップを引きます。
3. バックレストを前方に倒して、所定の位置にロックします。バックレストを倒すと、シートクッションが下方向/前方に折りたたまれて、平坦な状態になります。

バックレストを起こして直立位置にするには：

1. ストラップを引きます。
2. バックレストを起こして、ストラップから手を離します。バックレストをスライドさせて、キャッチをかみ合わせます。
3. 必要に応じて、ヘッドレストを持ち上げます。

ドア側シート

バックレストを倒すには：

注意

2 列目シートを倒すときには、必ずシートの通常位置から操作を始めてください。シートが 3 列目シートの乗車/降車位置になっているときには、シートのレバーを使用しないでください。

1. シートの側面にあるハンドルを引き上げて、バックレストを倒す間、ハンドルを引き上げた状態に保ちます。

* オプション/アクセサリー。

2. バックレストを倒したときにバックレストおよびヘッドレストがフロントシートに接触しないことを確認します。バックレストを前方に倒して、所定の位置にロックします。
   > バックレストを倒すと、シートクッションが下方向/前方に折りたたまれて、平坦な状態になります。リアシートを倒すと、ヘッドレストは自動的に倒れます。

⚠ 警告

バックレストを倒した後は、バックレストが適切にロックされていることを確認してください。

バックレストを起こして直立位置にするには：

1. シートの側面にあるハンドルを引き上げて、バックレストを起こす間、ハンドルを引き上げた状態に保ちます。
2. バックレストを起こすときにバックレストおよびヘッドレストがフロントシートに接触しないことを確認します。バックレストを起こして、ハンドルから手を離します。
3. バックレストをスライドさせて、キャッチをかみ合わせます。
4. ヘッドレストは手動で持ち上げます。

⚠ 警告

リアシートバックレストが倒されていた場合には、バックレストおよびヘッドレストが確実に固定されているか確認してください。

リアシートのいずれかに乗員がいる場合には、必ずドア側シートのヘッドレストを起こしてください。

⚠ 警告

3 列目シート*に乗員を乗せる場合には、必ず 2 列目ドア側シートのヘッドレストを起こす必要があります。

関連情報

- 2 列目シートのバックレストの傾き調節 (p. 172)
- 3 列目シート*のバックレストを倒す (p. 176)
- 2 列目シートのヘッドレストの調節 (p. 170)

3 列目シート*への乗り降り

3 列目シート* への乗り降りをスムーズかつ簡単に行えるようにするために、2 列目シートを調節することができます。

バックレストを倒すには：

1. 2 列目のドア側シートの上部にあるハンドルを前方に引き上げます。
2. バックレストを前方に倒して、シート全体を前方に動かします。

シートを起こして直立位置にするには：

- シートを停止するまで後方にスライドさせます。バックレストは簡単に正しい位置に戻ります。

注意

乗車/降車の後にセンターシートのバックレストを元の位置にロックできない場合、バックレストを再度前方に動かしてから少し強めの力で後方へ戻すとロックできることがあります。

警告

リアシートバックレストが倒されていた場合には、バックレストおよびヘッドレストが確実に固定されているか確認してください。

リアシートのいずれかに乗員がいる場合には、必ずドア側シートのヘッドレストを起こしてください。

関連情報

- 2 列目シートの前後位置の調節*（p. 172）
- 2 列目シートのバックレストの傾き調節（p. 172）
- 2 列目シートのバックレストを倒す（p. 173）

3 列目シート*のバックレストを倒す

3 列目にはシートが 2 つあります。バックレストは個別に前方へ倒すことができます。

重要

3 列目シートバックレストを下げるためには、2 列目シートの位置と角度の変更が必要になることがあります。

1. バックレストの上部にあるハンドルを前方に引き上げます。
2. バックレストを倒したときにバックレストおよびヘッドレストが前のシートに接触しないことを確認します。バックレストを前方に倒します。
   > バックレストを倒すと、シートクッションが下方向/前方に折りたたまれて、平坦な状態になります。リアシートを倒すと、ヘッドレストは自動的に倒れます。

シートを元に戻すときは、バックレストをロック位置まで手動で起こします。ヘッドレストは手動で持ち上げます。

警告

リアシートバックレストが倒されていた場合には、バックレストおよびヘッドレストが確実に固定されているか確認してください。

リアシートのいずれかに乗員がいる場合には、必ずドア側シートのヘッドレストを起こしてください。

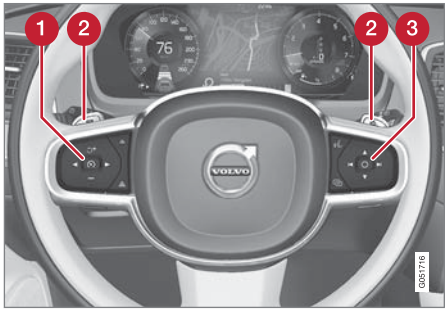
関連情報

- 2 列目シートのバックレストを倒す（p. 173）
- 2 列目シートのバックレストの傾き調節（p. 172）
- 2 列目シートの前後位置の調節*（p. 172）

* オプション/アクセサリー。

ステアリングホイール

ステアリングホイールには、ホーンや、運転者サポートシステムおよび音声認識などのコントロールがあります。



ステアリングホイールのステアリングリモコンおよびパドル*

1. 運転者サポートシステム用コントロールボタン [18]
2. オートマチックトランスミッションのマニュアルギヤチェンジ用パドル*
3. 音声認識、ヘッドアップディスプレイ設定、メニュー、メッセージおよび電話操作用コントロールボタン

ホーン

ホーンはステアリングホイールの中央にあります。

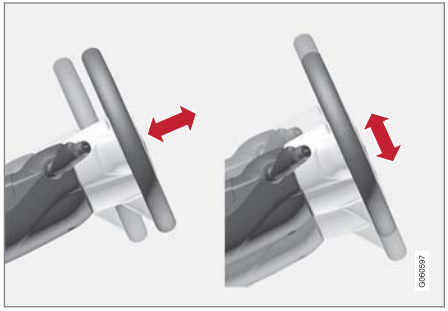
関連情報

- ステアリングホイールの調節（p. 178）
- ステアリングホイールヒーター*のオン/オフ（p. 251）
- 速度リミッター*（p. 327）
- クルーズコントロール（p. 335）
- アダプティブクルーズコントロール*（p. 344）
- 車間警告機能*（p. 341）
- Pilot Assist*（p. 361）
- ステアリングホイールパドルによるギヤチェンジ*（p. 467）
- 音声認識（p. 159）
- ヘッドアップディスプレイ*（p. 156）
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する（p. 150）
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理（p. 153）
- 電話（p. 532）

[18] 速度リミッター*、クルーズコントロール、アダプティブクルーズコントロール*、車間警告機能*および Pilot Assist*。

ステアリングホイールの調節

ステアリングホイールは位置を調節することができます。



ステアリングホイールの位置は上下および前後に調節することができます。

⚠ 警告

ステアリングホイールの調節およびロックは、走行前に行ってください。絶対に、走行中にステアリングホイールを調節しないでください。

速度感応式パワーステアリング では、操舵に必要な力を調節することができます。操舵に必要な力は、運転者が路面からの反応を得やすくなるように車速に応じて制御されます。

ステアリングホイールの調節

1. ステアリングホイールのロックを解除するときは、レバーを前方に押します。
2. ステアリングホイールの位置を調節します。
3. リリースレバーを元の位置に引き戻して、ステアリングホイールをロックします。レバーを動かしにくいときは、レバーを押し戻すと同時にステアリングホイールを少し押すようにしてロックしてください。

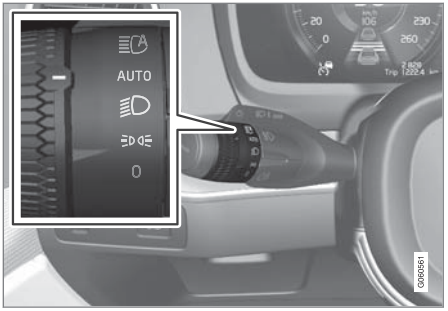
関連情報

- ステアリングホイール（p. 177）
- 速度感応式のステアリングホイール操舵力（p. 322）

ライトスイッチ

エクステリアランプおよびルームランプの操作には、異なるライトスイッチが使用されます。エクステリアランプの点灯および調節には、左側レバースイッチを使用します。ヘッドライト光軸補正 [19] およびルームランプの明るさの調節には、メーター・パネルのコントロールダイヤルを使用します。

エクステリアランプ



左側レバースイッチの回転リング

車両の電気系統がイグニッション位置 II のとき、または車両が作動しているときには、回転リングの位置に応じて以下の機能を使用することができます。

19 ハロゲンヘッドライト装備車に適用されます。

位置	意味
0	デイタイムランニングライト パッシングライトを使用することができます。
	デイタイムランニングライトおよびポジションランプ 駐車時はポジションランプが点灯します。[A] パッシングライトを使用することができます。
	ロービームおよびポジションランプ ハイビーム を作動させることができます。 パッシングライトを使用することができます。

位置	意味
AUTO	デイタイムランニングライトおよびポジションランプ 薄暗いときや暗闇、またはフロントフォグランプ*またはリアフォグランプを点灯させたとき、ロービームおよびポジションランプが点灯します。 アクティブハイビーム機能を作動させることができます。 ロービームがオンのとき、ハイビームを作動させることができます。 パッシングライトを使用することができます。
	アクティブハイビームオン/オフ

[A] 回転リングを**別の位置**からこの位置に動かした場合、車両が作動状態で**静止している**ときにも点灯。

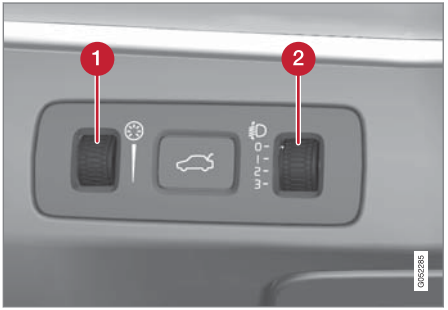
ボルボでは、車両の走行時は AUTO モードの使用を推奨します。

⚠ 警告

霧、雨など日光が弱い、または十分な強さがない場合、車両のライトシステムは反応しません。

運転者には、適用される交通法規に従って交通状況に適した照射パターンを使用して走行する義務があります。

メーター・パネルのコントロールダイヤル



1. 車内の照明調節用コントロールダイヤル
2. ヘッドライト光軸補正用コントロールダイヤル

LED[20] ヘッドライト*装備車は、ヘッドライト光軸補正が自動的に行われるため、ヘッドライト光

[20] LED(Light Emitting Diode)

◀◀ 軸補正用のコントロールダイヤルは装着されていません。

車内の照明調節

車内で点灯するライトは、使用中のイグニッション位置に応じて異なります。

ディスプレイの照明、コントロールの照明、アンビエントライト、およびインテリアシアターライト*は、コントロールダイヤルで調節します。

ヘッドライト光軸補正

荷重によって車体前後の傾きが変わり、ヘッドライトの光が対向車の視界を妨げることがあります。こうした状態を防ぐため、ヘッドライトの光軸を調節してください。車両に重い荷物を積載しているときは、光軸を低くしてください。

さまざまな荷重条件および設定については、「ヘッドライト光軸補正」の項を参照してください。

関連情報

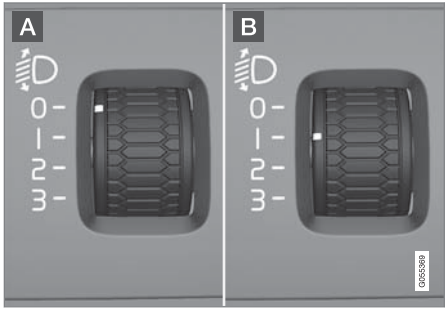
- ルームランプ（p. 190）
- ハイビームのオン/オフ（p. 183）
- イグニッション位置（p. 457）
- ポジションランプ（p. 181）
- ヘッドライト光軸補正（p. 180）

ヘッドライト光軸補正

ヘッドライト光軸補正 [21] には、メーター・パネルのコントロールダイヤルの 1 つを使用します。

1. エンジンを作動させたままにするか、車両の電気系統をイグニッション位置 I にします。
2. コントロールダイヤルを上/下に回して、ヘッドライトの光軸を調節します。

荷重条件に応じたコントロールダイヤルの位置は以下に示されています。



コントロールダイヤル位置の例

A コントロールダイヤルが 0 の位置

B コントロールダイヤルが 1 の位置

荷重条件	コントロールダイヤル位置
運転者のみ	0
運転者と助手席乗員	0
運転者と助手席乗員 2 列目シートに乗員 3 人	1
運転者と助手席乗員 2 列目シートに乗員 3 人 カーゴスペースに 220 kg の荷物	1
カーゴスペースが満載の状態で運転者のみ	2
運転者と助手席乗員 2 列目シートに乗員 3 人 3 列目シート*に乗員 2 人	1

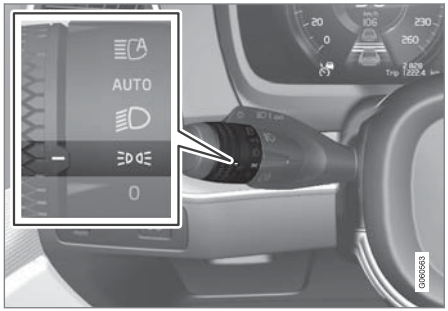
[21] ハロゲンヘッドライト装備車に適用されます。

* オプション/アクセサリー。

荷重条件	コントロールダイヤル位置
運転者と助手席乗員 3 列目シート*に乗員 2 人	0
運転者と助手席乗員 2 列目シートに乗員 3 人 3 列目シート*に乗員 2 人 カーゴスペースに 70 kg の荷物	1

関連情報
- ライトスイッチ（p. 178）

ポジションランプ
ポジションランプは、ステアリングホイールレバーの回転リングでオンにします。



ポジションランプ位置のレバースイッチ回転リング

回転リングを ≡D◐≡ 位置に回します。ポジションランプが点灯します(同時にナンバープレートランプが点灯します)。

暗いときにテールゲートを開くと、テールランプが点灯して(まだ点灯していなかった場合)、後方から接近してくる道路使用者に警告します。これは、回転リングの位置や車両の電気系統のイグニッション位置に関係なく作動します。

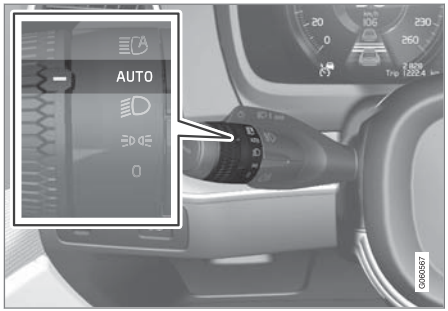
10 km/h（約 6 mph)以下の速度で 30 秒以上走行したとき、または速度が 10 km/h（約 6 mph)を超えた場合、デイタイムランニングライトが点灯します。運転者は ≡D◐≡ 以外の位置にする必要があります。

関連情報
- ライトスイッチ（p. 178）
- イグニッション位置（p. 457）

デイタイムランニングライト

車両には周辺の明るさを検知するセンサーがあります。ステアリングホイールレバーの回転リングが 0 、 または AUTO 位置にあり、車両の電気系統がイグニッション位置 II にあるか、車両が作動している場合、デイタイムランニングライトが点灯します。 AUTO 位置の場合、薄暗いときや暗闇でヘッドライトが自動的にロービームに切り替わります。

日中走行時のデイタイムランニングライト(DRL)



AUTO 位置のレバースイッチの回転リング

レバースイッチの回転リングが AUTO 位置の場合、昼間の走行ではデイタイムランニングライト(DRL[22])が点灯します。薄暗いときや暗闇の場合、車両は自動的にデイタイムランニングライトからロービームに切り替えます。フロントフォグランプ* またはリアフォグランプを点灯させた場合も、ロービームに切り替わります。

車両が作動状態で**静止している**ときに、回転リングを**別の位置**からポジションランプ位置 に動かすと、他のライトの代わりにポジションランプが点灯します。

警告

このシステムは、エネルギーの節約を助けます。霧や雨のときには、日光だけで十分かどうか見極めることができない場合がありますのでご注意ください。

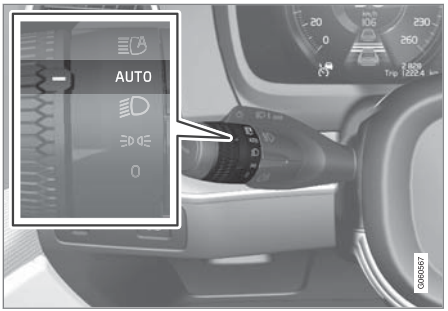
運転者には、適用される交通法規に従って交通状況に合った照射パターンを使用して走行する義務があります。

関連情報

- ライトスイッチ（p. 178）
- ロービーム（p. 182）
- イグニッション位置（p. 457）

ロービーム

ステアリングホイールレバーの回転リングを AUTO 位置にして走行している場合、薄暗いときや暗闇では自動的にロービームが点灯します。



AUTO 位置のレバースイッチの回転リング

ステアリングホイールレバーの回転リングが AUTO 位置で、車両の電気系統がイグニッション位置 II にあるか、車両が作動している場合、薄暗いときや暗闇ではロービームが自動的に点灯します。

レバーの回転リングが AUTO 位置の場合、以下のときにもロービームは自動的に点灯します。

- フロントフォグランプ*が点灯したとき
- リアフォグランプが点灯したとき

22 Daytime Running Lights

* オプション/アクセサリー。

- フロントおよびリアフォグランプが点灯したとき
- ウインドスクリーンワイパーが連続作動したとき

ステアリングホイールレバーの回転リングが 位置にあり、車両の電気系統がイグニッション位置 II にあるか、車両が作動している場合、ロービームが点灯します。

トンネルの検知

車両はトンネルに入ったことを検知して、デイタイムランニングライトからロービームに切り替えます。

トンネル検知を使用するには、左側レバーの回転リングを AUTO モードにしておく必要があります。

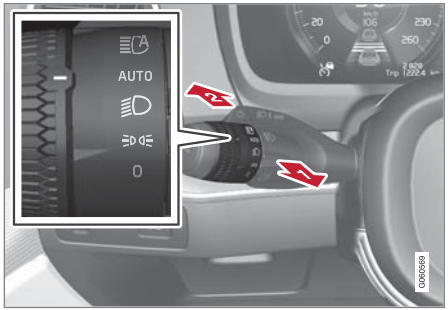
関連情報

- デイタイムランニングライト（p. 182）
- ライトスイッチ（p. 178）
- イグニッション位置（p. 457）

ハイビームのオン/オフ

ハイビームはステアリングホイールレバーでオンにします。

アクティブハイビームはレバーの回転リングでオンにします。



ステアリングホイールレバーの回転リング

1 パッシングライト位置

2 ハイビーム位置

パッシングライト

ステアリングホイールレバーを手前に少し動かしてパッシングライト位置にします。レバーを放すまで、ハイビームが点灯します。

ハイビーム

ハイビームは、ステアリングホイールレバーの回転リングが AUTO[23] または の位置のときに作動させることができます。ステアリングホイールレバーを前方に動かすと、ハイビームが作動します。ステアリングホイールレバーを手前に引くと解除されます。

ハイビームが点灯すると、ドライバーディスプレイに シンボルが点灯します。

アクティブハイビーム

アクティブハイビームは、ウインドスクリーンの上端にあるカメラセンサーを利用して、対向車のヘッドライトや先行車のリアランプを検知し、ハイビームからロービームに切り替える機能です。この機能では街路灯も検知対象になることがあります。

カメラセンサーに対向車または先行車が検知されなくなると、ハイビームが再点灯します。

ハロゲンヘッドライト装備車

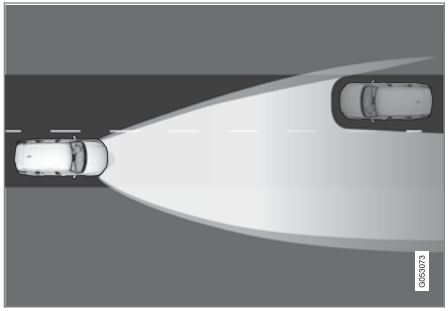
カメラセンサーが対向車のヘッドライトや先行車両のリアランプを検知しなくなってから約 1 秒経過後に、ライトはハイビームに戻ります。

[23] ロービームが作動すると。

LED[24] ヘッドライト*装備車

アクティブハイビームにオン/オフ機能[25]がある場合、カメラセンサーが対向車のヘッドライトや先行車両のリアランプを検知しなくなってから約 1 秒経過後に、ライトはハイビームに戻ります。

アクティブハイビームにアダプティブ機能[25]が搭載されている場合、従来の切り替え機能とは異なり、対向車または先行車の両サイドではハイビームが維持されます。その車両に直接向けられる光線部分のみが暗くなります。



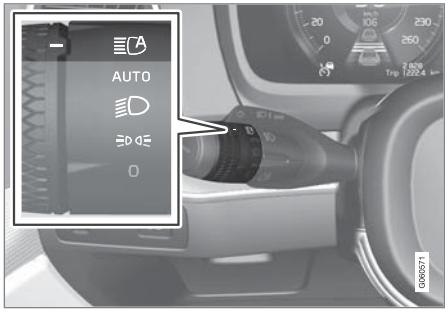
アダプティブ機能：対向車へ直接向けられるライトはロービームに切り替わりますが、その車両の両サイドではハイビームが維持されます。

カメラセンサーが対向車のヘッドライトや先行車両のリアランプを検知しなくなってから約 1 秒経過後に、ライトはフルハイビームに戻ります。

作動/非作動状態にする

この機能は、暗闇を約 20 km/h（約 12 mph）以上の速度で走行しているときに作動させることができます。

ステアリングホイールレバーの回転リングを AUTO 位置に回して手を離すと、アクティブハイビームが作動/解除状態になります。ハイビームが点灯しているときにアクティブハイビームをオフにすると、ライトはただちにロービームに切り替わります。



アクティブハイビーム作動中は、 シンボルがドライバーディスプレイに白く点灯します。

ハイビーム作動中は、このシンボルは青く点灯します。このことは、ハイビームがある程度減光されている場合（ライトがロービームよりも多少明るくなっている場合）の LED ヘッドライトにも当てはまります。

24 LED（Light Emitting Diode）
25 車両の装備レベルにより異なります。

マニュアル操作

注意

カメラセンサー前面のウインドスクリーン表面に付着した氷、雪、曇り、汚れなどはよく取り除き、きれいな状態を保ってください。

カメラセンサー前面のウインドスクリーンに、なにも貼り付けたり、取り付けたりしないでください。カメラの効力に支障が出て、カメラを使用している各システムが作動しなくなる原因となります。

このシンボルが、メッセージ **ｱｸﾃｨﾌﾞﾊｲﾋﾞｰﾑ 一時的に利用できません**と共にドライバーディスプレイに表示されている場合は、ハイビームとロービームの切り替えを手動で行う必要があります。ステアリングホイールレバーの回転リングは AUTO 位置のままにしておくことができます。 シンボルはこのメッセージが表示されると消灯します。

このシンボルが、メッセージ **ｳｨﾝﾄﾞｽｸﾘｰﾝｾﾝｻｰ ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされた。ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙを見て下さい**と共に表示されている場合も同様です。

アクティブハイビームは、濃い霧や激しい雨の中では一時的に利用できなくなる場合があります。アクティブハイビームが再度利用できるようになるか、ウインドスクリーンセンサーを遮っていたものがなくなると、メッセージが消え、 シンボルが点灯します。

警告

アクティブハイビームは、好条件の下で最適な照射パターンの使用をサポートする機能です。

運転者は、交通状況や天候により必要に応じて、ハイビームとロービームを手動で切り替える責任がありますので、ご注意ください。

重要

ハイビームとロービームの手動切り替えが必要になる場合の例:

- 激しい雨や霧の中を走行するとき
- 着氷性のある雨の中を走行するとき
- 雪嵐や溶けかかった雪の中を走行するとき
- 月明かりで走行するとき
- 明かりの乏しい建物密集地域を走行するとき
- 前方の車両のライトが暗いとき
- 道路上や道路脇に歩行者がいるとき
- 道路周辺に看板など反射性の高い物体があるとき
- 中央分離帯などにより、対向車のライトが遮られているとき
- 連絡道路に走行中の車両があるとき
- 稜線や谷底を走行するとき
- 急カーブを走行するとき

「City Safety の機能の限界」の項でカメラセンサーの機能の限界についての詳しい説明を参照してください。

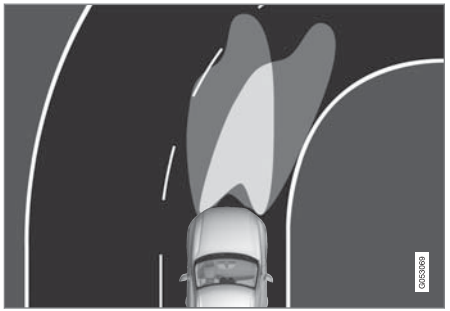
関連情報

- ライトスイッチ（p. 178）
- City Safety の限界（p. 398）

アクティブベンディングランプ*

アクティブベンディングランプは、カーブや交差点で十分な明るさを確保するように設計されています。

LED[26] ヘッドライト*装備車両には、車両の装備レベルに応じてアクティブベンディングランプを搭載することができます。



アクティブヘッドライトを解除したときの照射パターン(左)と作動したときの照射パターン(右)

アクティブベンディングランプは、ステアリングホイールの動きに追従して、カーブや交差点で十分な明るさを確保し、安全性を高めることができます。

この機能は、エンジンを始動すると自動的に起動します。この機能に不具合が発生すると、ドライバーディスプレイに の警告灯が点灯すると共に、ドライバーディスプレイに説明のテキストが表示されます。

この機能は、薄暗いときや暗闇で、車両がロービームを点灯して走行している場合にのみ作動します。

機能のオフ/オン

この機能は工場出荷時点でオンモードになっており、センターディスプレイを使用して、2 通りの方法でオフ/オンを切り替えることができます。

機能ビューを使用する場合

ｱｸﾃｨﾌﾞ ・ﾍﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ ・ﾗｲﾄ ボタンをタップします。

「設定」から

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ライトと照明 ➔ 車外照明** をタップします。
3. **アクティブ･ベンディング･ライト** を選択解除/選択します。

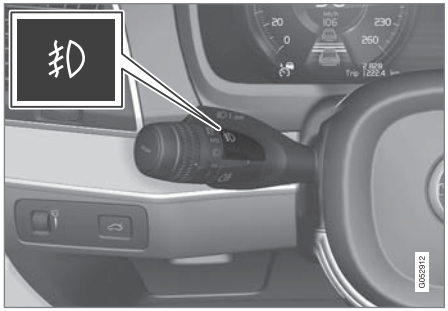
関連情報

- センターディスプレイの設定（p. 216）
- フロントフォグランプ/コーナリングライト*（p. 187）

[26] LED(Light Emitting Diode)

フロントフォグランプ/コーナリングライト*

フォグランプには、斜め横を照らすコーナリングライトが装備されています。



フロントフォグランプボタン

フロントフォグランプは、イグニッション位置が II のとき、または車両が作動していて、ステアリングホイールレバーの回転リングが AUTO、 または の位置のときにのみ点灯させることができます。

オン/オフボタンを押します。フロントフォグランプが点灯すると、ドライバーディスプレイに シンボルが点灯します。

スタートノブを時計回りに回して車両をオフにするか、またはステアリングホイールレバーの回転リングを 0 位置にすると、フロントフォグランプは自動的に消灯します。

> **注意**
>
> フォグランプの使用に関する規則は、国によって異なります。

コーナリングライト

フロントフォグランプにはコーナリングライト機能が搭載されています。これは、急なカーブでステアリングホイールを回した方向または方向指示器を出している方向の斜め前方を一時的に照射する機能です。

この機能は、ステアリングホイールレバーの回転リングが AUTO または 位置で、車速が約 30 km/h（約 20 mph）未満の場合に、薄暗いときや暗闇で作動します。

また、両側のコーナリングライトは、後退時の後退灯の補助ランプとして点灯します。

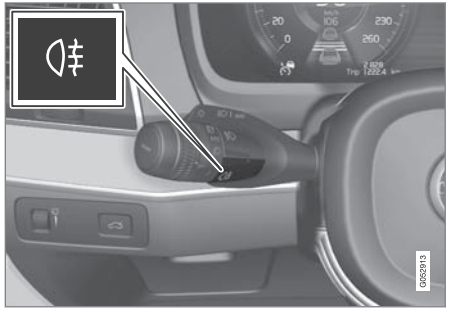
この機能は工場出荷時点でオンになっており、センターディスプレイでオフ/オンを切り替えることができます。

関連情報

- ライトスイッチ（p. 178）
- リアフォグランプ（p. 187）
- アクティブベンディングランプ*（p. 186）
- イグニッション位置（p. 457）

リアフォグランプ

リアフォグランプは通常のリアランプよりもかなり強烈であるため、霧、雪、煙、埃などで視界が低下しているときにのみ使用して、他の道路使用者に前方の車両の存在を早めに警告する必要があります。



リアフォグランプボタン

リアフォグランプは、左ハンドル車では左側、右ハンドル車では右側のランプで構成されています。

リアフォグランプは以下の場合にのみ点灯させることができます。

- イグニッション位置が II のとき、または車両が作動していてステアリングホイールレ

▶▶

バーの回転リングが AUTO または の位置のとき

- ステアリングホイールレバーの回転リングが 位置で、フロントフォグランプを点灯させたとき

オン/オフボタンを押します。リアフォグランプが点灯すると、ドライバーディスプレイに シンボルが点灯します。

リアフォグランプは以下の場合に自動的に消灯します。

- スタートノブを時計回りに回して車両をオフにしたとき、またはステアリングホイールレバーの回転リングを 0 位置にしたとき
- ステアリングホイールレバーの回転リングが 位置で、フロントフォグランプを消灯させたとき

注意

リアフォグランプの使用に関する法規は、国によって異なります。

関連情報

- ライトスイッチ（p. 178）
- フロントフォグランプ/コーナリングライト*（p. 187）
- イグニッション位置（p. 457）

ブレーキランプ

ブレーキペダルを踏むと、ブレーキランプが点灯します。

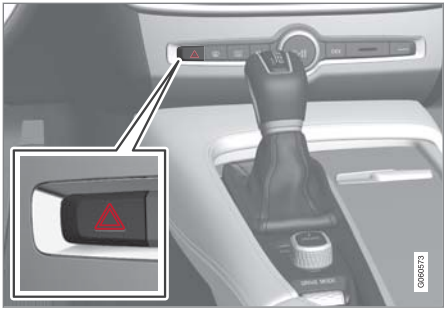
ブレーキランプは、ブレーキペダルを踏み込むと点灯します。また、アダプティブクルーズコントロール*、City Safety、後方衝突警告システムのいずれかがブレーキをかけた場合にも点灯します。

関連情報

- アダプティブブレーキランプ（p. 481）
- アダプティブクルーズコントロール*（p. 344）
- City Safety（p. 390）
- Rear Collision Warning（p. 402）

非常点滅灯

非常点滅灯は、車両のすべての方向指示器を同時に作動させて他の道路使用者に注意を促します。この機能は交通の危険があるときに警告のために使用することができます。



非常点滅灯ボタン

ボタンを押すと、非常点滅灯が点滅します。

車両に強くブレーキがかかってアダプティブブレーキランプが作動し、速度が低下すると、非常点滅灯が自動的に作動します。非常点滅灯はアダプティブブレーキランプの点滅が停止した後に点滅を開始し、車両が再発進すると自動的に消灯します。ボタンを押して消灯させる方法もあります。

注意

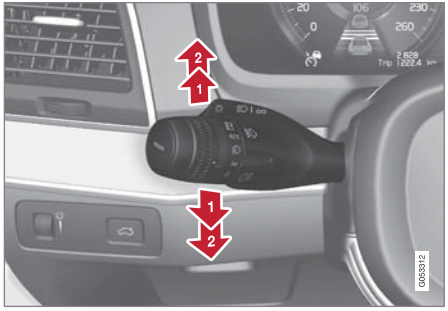
非常点滅灯の使用に関する規則は国によって異なることがあります。

* オプション/アクセサリー。

関連情報
- 方向指示器を使用する（p. 189）
- アダプティブブレーキランプ（p. 481）

方向指示器を使用する

車両の方向指示器は左側レバースイッチで操作します。レバーの位置に応じて、方向指示器が 3 回または連続で点滅します。



方向指示器

ワンタッチ方向指示位置

1 レバーを上または下に、1 段目の位置まで動かして放します。方向指示器が 3 回点滅します。この機能はセンターディスプレイでオン/オフにすることができます。

注意
- この自動点滅は、ステアリングホイールレバーをすぐに反対方向に動かすことにより停止することができます。
- ドライバーディスプレイの方向指示器シンボルが通常よりも速く点滅した場合、ドライバーディスプレイのメッセージを確認してください。

方向指示位置

2 レバーを上または下に、いっぱいまで動かします。

レバーはこの位置で止まります。手で元の位置に戻すか、右折または左折終了後にステアリングホイールを直進位置に戻すと、自動的に元の位置に戻ります。

関連情報
- ライトスイッチ（p. 178）
- 非常点滅灯（p. 188）
- センターディスプレイの設定（p. 216）

ルームランプ

ルームランプはフロントシートおよびリアシート*の上のオーバーヘッドスイッチから点灯/消灯します。

次の場合、7 分以内ならルームランプを手動で点灯/消灯させることができます。

- 車両をオフにして、車両の電気系統をイグニッション位置 **0** にした場合
- 車両をロック解除したが、始動していない場合

フロントライト

ルーフコンソールの読書灯およびルームランプのスイッチ

1. 左側読書灯
2. ルームランプ
3. ルームランプの自動機能
4. 右側読書灯

フロント読書灯
右側および左側の読書灯は、ルーフコンソールのボタンを短く押すことにより点灯/消灯することができます。ボタンを長押しすると明るさを調整できます。

ルームランプ
フロアライトおよびインテリアルーフランプは、ルーフコンソールのボタンを短く押して点灯/消灯します。

ルームランプの自動機能
ルーフコンソールの **AUTO** ボタンを短く押すと、自動機能がオンになります。自動機能がオンになると、ボタンの表示灯が点灯します。**AUTO** ボタンを押すと、ルームランプは以下の条件に基づいて点灯および消灯します。

ルームランプは：

- 車両のロックを解除したとき、および車両をオフにしたときに点灯します。
- 車両を始動したとき、および車両をロックしたときに消灯します。
- ドアを開けると点灯し、閉じると消灯します。
- いずれかのドアが開いていると、ライトは 2 分間点灯したままになります。

リアランプ

車両後部エリアには、車内照明としても使用される読書灯があります。

読書灯はインテリアルーフに取り付けられています。

2 列目 [27] および 3 列目シート*の上にある読書灯

[27] パノラマルーフ*装備車の場合、ランプユニットが 2 個（ルーフの各側に 1 個ずつ）あります。

パノラマルーフ*装備車の 2 列目シートの上にある読書灯

読書灯は、ランプのボタンを短く押して点灯/消灯します。ボタンを長押しすると明るさを調整できます。

グローブボックスランプ

グローブボックスランプは、グローブボックスリッドの開閉と連動して点灯/消灯します。

メイクアップミラーランプ*

サンバイザーのメイクアップミラーランプは、カバーの開閉と連動して点灯/消灯します。

グランドライト*

グランドライトは、ドアの開閉と連動して点灯/消灯します。

シルライト

シルライトは、ドアの開閉と連動して点灯/消灯します。

カーゴスペースランプ

カーゴスペースランプは、テールゲートの開閉と連動して点灯/消灯します。

アンビエントライト

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ライトと照明 ➔ 車内照明** をタップします。
3. 以下の設定の中から選択します。
   - **環境照明強度** で、**オフ**、**低** および **高** から選択します。
   - **環境照明レベル** で、**下げる** および **フル** から選択します。

ステアリングホイールの横にあるコントロール装置

アンビエントライトの明るさは、メーター・パネルのコントロールダイヤルを使用して調節することができます。

- コントロールダイヤルを回して、明るさを調節します。

インテリアシアターライト*

車両には、ライトの色を変化させるために LED が多数装備されています。これらのライトは車両の作動中に点灯します。

インテリアシアターライトはセンターディスプレイで変更することができます。

ライトの明るさの変更

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ライトと照明 ➔ 車内照明 ➔ インテリアシアターライト**をタップします。
3. **インテリアシアターライトの照度** で、**オフ**、**低** および **高** から選択します。

ライトの色の変更

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ライトと照明 ➔ 車内照明 ➔ インテリアシアターライト**をタップします。
3. **温度** および **色で調節** の中から選択して、ライトの明るさおよび色を変更します。

   温度 オプションを使用すると、ライトの明るさは設定した車内温度に応じて変化します。

   色で調節 オプションでは、**テーマカラー** サブカテゴリーを使用してさらに調節することができます。

ステアリングホイールの横にあるコントロール装置

インテリアシアターライトの明るさは、メーター・パネルのコントロールを使用して調節することができます。

- コントロールダイヤルを回して、明るさを調節します。

ドアの小物入れのランプ

ドアの小物入れのランプは車両の作動中に点灯します。明るさは、メーター・パネルのコントロールダイヤルを使用して微調節することができます。

トンネルコンソールのフロントカップホルダーのランプ

フロントカップホルダーのランプは、車両をロック解除すると点灯し、車両をロックすると消灯します。明るさは、メーター・パネルのコントロールダイヤルを使用して微調節することができます。

関連情報

- ライトスイッチ（p. 178）
- イグニッション位置（p. 457）
- センターディスプレイの設定（p. 216）

ホームセーフライト点灯

夜間に車両をロックした後、エクステリアランプの一部をホームセーフライトとして点灯させておくことができます。

この機能を作動させるには：

1. 車両をオフにします。
2. 左側レバーを前方のメーター・パネルの方向に動かしてから放します。
3. 車外に出てドアをロックします。

機能が作動すると、ロービーム、ポジションランプ、アウターハンドルランプ*、ナンバープレートランプが点灯します。

ホームセーフライト点灯時間は、センターディスプレイで設定することができます。

関連情報

- アプローチライト点灯（p. 193）
- センターディスプレイの設定（p. 216）

* オプション/アクセサリー。

アプローチライト点灯

アプローチライトは車両をロック解除したときに点灯します。少し離れた場所から車両のライトを点灯させるときに使用されます。

ロック解除時にこの機能をリモートコントロールキーで作動させると、ポジションランプ、アウターハンドルランプ*、ナンバープレートランプ、インテリアルーフランプ、フロアライトが点灯します。作動時間中にドアを開けると、アウターハンドルランプ*とインテリアランプの点灯時間が延長されます。

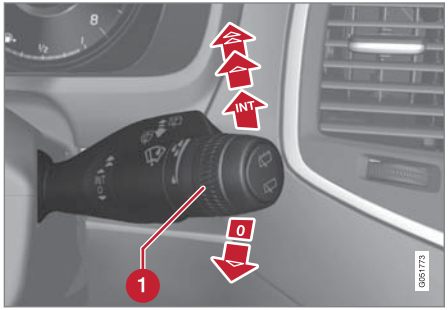
この機能はセンターディスプレイでオフ/オンにすることができます。

関連情報

- ホームセーフライト点灯（p. 192）
- リモートコントロールキー（p. 282）
- センターディスプレイの設定（p. 216）

ウインドスクリーンワイパーを使用する

ウインドスクリーンワイパーはウインドスクリーンを清掃します。ウインドスクリーンワイパーの設定には、右ステアリングホイールレバーを使用します。



右ステアリングホイールレバー

1 コントロールダイヤル：レインセンサー* の感度およびワイパーの作動頻度の設定に使用。

シングルストローク

ワイパーレバーを下げて放すと、ワイパーが 1 回だけ作動します。

ウインドスクリーンワイパーオフ

0 ワイパーレバーを **0** 位置に戻すと、ワイパーが停止します。

間欠ワイパー

INT 間欠ワイパー位置のときには、コントロールダイヤルを使用してワイパーの作動間隔を調節することができます。

ワイパー連続作動

ワイパーレバーを押し上げると、ワイパーは通常の速さで作動します。

ワイパーレバーをさらに押し上げると、ワイパーは高速で作動します。

重要

ワイパーを作動させる前に、ウインドスクリーン（およびリアウインド）とワイパーブレードが凍結していないか確認してください。積もった雪や凍結を取り除いてからワイパーを作動させてください。

重要

ワイパーを作動させるときは、ウォッシャー液を十分に使用してください。ウインドスクリーンが濡れている状態であることが必要です。

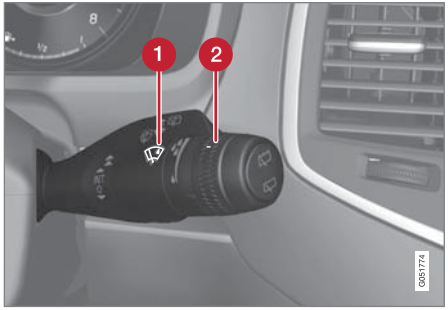
関連情報

- レインセンサー のオン/オフ（p. 194）
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャー（p. 195）

- リアウインドワイパーおよびウォッシャー (p. 196)
- サービスポジションのワイパーブレード (p. 606)

レインセンサー のオン/オフ

レインセンサーはウインドスクリーンに付着した水滴の量を感知して、フロントワイパーを自動的に作動・停止させます。レインセンサーの感度は、右ステアリングホイールレバーのコントロールダイヤルで調節することができます。



右ステアリングホイールレバー

1. レインセンサーボタン
2. コントロールダイヤルによる感度/作動回数の調節

レインセンサーがオン場合、レインセンサーのシンボル がドライバーディスプレイに表示されています。

レインセンサーをオンにする

レインセンサーをオンにする場合は、車両走行中または電気系統がイグニッション位置 I または II のときに、ウインドスクリーンワイパーレバーを 0 位置またはシングルストローク作動位置にする必要があります。

レインセンサーボタン を押して、レインセンサーを作動させます。

ワイパーレバーを下方向に押すと、ワイパーがもう 1 回作動します。

コントロールダイヤルを上に回すと感度が増し、下に回すと感度が低下します。コントロールダイヤルを上に回すと、ワイパーが 1 回多く作動します。

レインセンサーをオフにする

レインセンサーボタン を押すか、レバーを上げてワイパーの作動プログラムを変更すると、レインセンサーはオフになります。

イグニッション位置 0 にする、またはエンジンを停止すると、レインセンサーは自動的にオフになります。

ワイパーブレードをサービスポジションにすると、レインセンサーは自動的にオフになります。サービスポジションから動かすと、レインセンサーは自動的に ON に戻ります。

重要

自動洗車機で洗車する際、洗車中にレインセンサーが作動してワイパーが動き出し、ワイパー機構が損傷するおそれがあります。車両が走行しているとき、または車両の電気系統がイグニッション位置 I または II のときに、レインセンサーをオフにしてください。ドライバーディスプレイのシンボルが消灯します。

メモリー機能のオン/オフ

レインセンサーのメモリー機能をオンにすると、車両の始動時に毎回レインセンサーボタンを押す必要がなくなります。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ワイパー** をタップします。
3. **レインセンサーメモリー** を選択して、メモリー機能をオン/オフにします。

関連情報

- ウインドスクリーンワイパーを使用する (p. 193)
- サービスポジションのワイパーブレード (p. 606)
- リアウインドワイパーおよびウォッシャー (p. 196)

ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャー

ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーはウインドスクリーンとヘッドライトを清掃します。ウォッシャー/ワイパーの作動には、右側レバーを使用します。

ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの始動

ウォッシャー機能、右側レバー

– 右側レバーを手前に引くと、ウインドスクリーンおよびヘッドライトのウォッシャーが作動します。
  › レバーを放すと、ワイパーが数回動いた後に停止します。

重要

凍結しているときや、リザーバータンクが空のときには、ウォッシャーシステムを作動させないでください。ポンプが損傷するおそれがあります。

ヒーテッドウォッシャーノズル*

冷寒時は、ウォッシャー液の凍結を防止するため、ウォッシャーノズルが自動的に加熱されます。

ヘッドライトウォッシャー*

ウォッシャー液の節約のため、ヘッドライトウォッシャーはヘッドライトが点灯しているときに所定の間隔で自動的に洗浄されます。

節約洗浄

リザーバータンク内のウォッシャー液の残量が約 1 リットルになると、メッセージ **ｳｫｯｼｬｰ液レベルが低下。 補充して下さい。** が シンボルとともにドライバーディスプレイに表示され、ヘッドライトへのウォッシャー液の供給が停止します。これは、ウインドスクリーンを洗浄し、視界を確保することを優先するためです。

関連情報

- ウインドスクリーンワイパーを使用する (p. 193)
- リアウインドワイパーおよびウォッシャー (p. 196)
- ウォッシャー液リザーバータンク (p. 609)

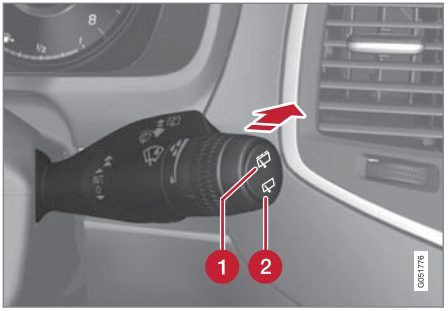
リアウインドワイパーおよびウォッシャー

リアウインドワイパーおよびウォッシャーはリアウインドを清掃します。ウォッシャー/ワイパーの作動および設定の変更には、右ステアリングホイールレバーを使用します。

注意

リアウインドワイパーには過熱保護が装備されているため、過熱した場合にはモーターが停止します。リアウインドワイパーは、冷却時間の経過後に再度作動します。

リアウインドワイパーおよびウォッシャーの使用



1. リアウインドワイパーの間欠ワイパー動作には、 を選択します。
2. リアウインドワイパーの連続動作には、 を選択します。

– 右ステアリングホイールレバーを前方に動かすと、リアウインドウォッシャーおよびワイパーの作動が始まります。

後退時のワイパー作動のオン/オフ

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ワイパー** をタップします。
3. **自動リアワイパー** を選択して、後退時のワイパー作動をオン/オフにします。

ウインドスクリーンワイパーを作動させているときにリバースギヤにシフトすると、リアウインドワイパーが作動します。この機能は、リバースギヤを解除すると停止します。

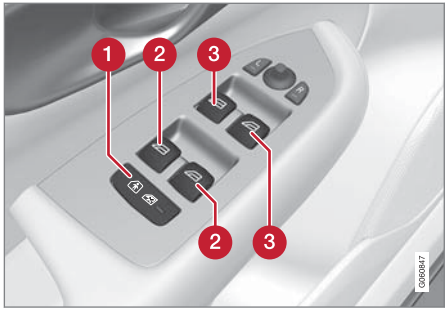
リアウインドワイパーが既に通常速度で作動している場合、作動モードは変更されません。

関連情報

- ウインドスクリーンワイパーを使用する（p. 193）
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャー（p. 195）
- レインセンサー のオン/オフ（p. 194）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 609）

パワーウインド

運転席ドアのコントロールパネルでは、すべてのパワーウインドを操作することができます。その他のドアのコントロールパネルでは、個々のドアのパワーウインドを操作します。



運転席側ドアのコントロールパネル

1. お子様が内側からリアドアを開く行為およびリアパワーウインドを開閉する行為を防止するパワー・チャイルドロック*
2. リアパワーウインドスイッチ
3. フロントパワーウインドスイッチ

関連情報

- パワーウインドの操作（p. 197）
- チャイルドロック（p. 308）

パワーウインドの操作

運転席ドアのコントロールパネルでは、すべてのパワーウインドを操作することができます。その他のドアのコントロールパネルでは、個々のドアのパワーウインドを操作します。

⚠ 警告

運転席のドアから窓を閉めるときは、お子様や乗員が挟まれることのないよう、確認してください。

⚠ 警告

リモートコントロールキーを使用して窓を閉めるときは、お子様や乗員が挟まれることのないよう、確認してください。

⚠ 警告

車内にお子様を残して車から離れる場合は、忘れずに車両の電気系統のイグニッション位置を **0** にしてパワーウインドの電源を切り、リモートコントロールキーを必ず抜いて、キーを携帯してください。

⚠ 警告

車内にお子様だけを放置しないでください。

操作

パワーウインドの操作

1. マニュアル作動
2. オート作動

運転席ドアのコントロールパネルでは、すべてのパワーウインドを操作することができます。その他のドアのコントロールパネルでは、個々のドアのパワーウインドのみを操作できます。同時に複数のコントロールパネルを操作することはできません。

パワーウインドを使用するには、イグニッション位置が I 以上にある必要があります。車両をオフにし、イグニッションをオフにした後も数分間はパワーウインドを操作できますが、いったんドアを開けると操作できなくなります。

注意

リアパワーウインドが開いているときに発生する風圧音は、フロントウインドを少し開けると低減させることができます。

注意

車速が約 180 km/h（約 112 mph）を超えている場合、ウインドを開けることはできませんが、閉じることはできます。

マニュアル作動

スイッチを上/下に軽く動かします。パワーウインドは、スイッチを保持している間上/下に動きます。

オート作動

スイッチを上/下いっぱいまで動かして、放します。ウインドは自動的にエンドポジションまで上/下します。

リモートコントロールキー、ドアハンドルまたはセントラルロックボタンによる操作

パワーウインドを操作するときに、外側からリモートコントロールキーまたはドアハンドルを使用する方法、または内側からセントラルロックボタンを使用する方法については、「リモートコントロールキー」、「外側からのロック/ロック解除」および「内側からのロック/ロック解除」の項を参照してください。

ピンチプロテクション

ウインドを閉めているときにその動きが妨げられると、ウインドが停止して自動的に開きます。氷などにより、ウインドが閉まらなくなった場合には、ピンチプロテクションを強制解除することができます。2 回続けて閉じる動作が中断された場合には、ピンチプロテクションが無効になり、自動保護機能が短時間解除されます。これにより、ボタンを持ち上げたままにすると、ウインドを閉めることができます。

リセット

メインバッテリーの接続を外した後は、パワーウインドのオート機能が正しく作動するようにリセットする必要があります。

1. ボタンの前端を軽く引き上げて、ウインドをいっぱいまで上げ、そこでボタンを 1 秒間保持します。
2. 少しの間、ボタンから手を離します。
3. ボタンの前端を再度引き上げ、1 秒間保持します。

警告

ピンチプロテクションが作動するためにはリセットすることが必要です。

関連情報

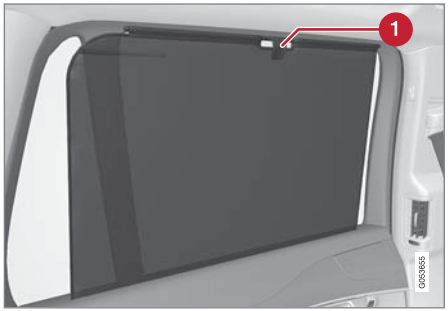
- パワーウインド（p. 197）
- チャイルドロック（p. 308）

- サンブラインドを使用する*（p. 199）
- イグニッション位置（p. 457）
- リモートコントロールキー（p. 282）
- 外側からのロック/ロック解除（p. 287）
- 内側からのロック/ロック解除（p. 291）

サンブラインドを使用する*

サンブラインドは各リアドアに組み込むことができます。

リアドア – マニュアル操作



1 キャッチに取り付けます

– サンブラインドを引き上げて、上部ドアフレームのフックにかけます。

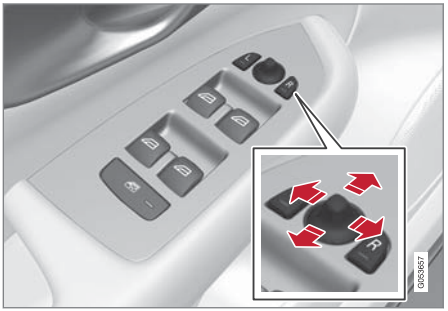
サンブラインドが引き上げられていても、ウインドが開閉できます。

関連情報

- パワーウインドの操作（p. 197）

ドアミラーの調節

ドアミラーの位置は運転席ドアのコントロールパネルのレバーで調節します。



ドアミラースイッチ

調節

1. 左側のミラーを調節するときは **L**、右側のミラーを調節するときは **R** ボタンを押します。ボタンの LED が点灯します。
2. 中央のノブを使用して、位置を調節します。
3. **L** または **R** ボタンを再度押します。ボタンの LED が消灯します。

⚠ 警告

両側のミラーは、最適な視野が得られるように湾曲しています。後続車や物体は、実際よりも遠くに見える場合がありますのでご注意ください。

フロントパワーシート*のメモリー機能

フロントパワーシートのメモリー機能には、ドアミラー位置を記憶させることができます。

電動格納式ドアミラー*

狭い場所に駐車するときや狭い場所を通過するときは、ドアミラーを格納することができます。

1. **L** ボタンと **R** ボタンを同時に押してください(イグニッション位置が **I** 以上であることが必要です)。
2. 約 1 秒間押してから放します。ミラーは自動的に格納位置まで動いて停止します。

ドアミラーを使用位置に戻すときは、**L** と **R** ボタンを同時に押します。ミラーは自動的に、使用位置まで動いて停止します。

駐車時にドアミラーを傾ける [28]

駐車するときなどに路面がよく見えるように、ドアミラーを下向きに傾けることができます。

– リバースギヤに入れ、**L** または **R** ボタンを押します。

リバースギヤを解除すると、ドアミラーは約 10 秒後に元の位置に戻ります。あるいは、**L** または **R** ボタンを押すとただちに元の位置に戻ります。

駐車時に自動的にドアミラーを傾ける [28]

リバースギヤを選択すると、駐車するときなどに路面がよく見えるように、ドアミラーが自動的に下向きに傾きます。リバースギヤを解除すると、ドアミラーは数秒後に元の位置に戻ります。

この機能の設定はセンターディスプレイを使用して行います。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ルームミラー/ドアミラーとイージーエントリー** をタップします。
3. **バック時にドアミラーを下向きにする** で、**オフ**、**運転席**、**助手席** または **両方** を選択して、オン/オフの切り替えと角度を変更するミラーを選択します。

ロック時の自動格納*

リモートコントロールキーでロック/ロック解除すると、ドアミラーは自動的に格納位置/使用位置に動きます。

この機能はセンターディスプレイでオン/オフにすることができます。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ルームミラー/ドアミラーとイージーエントリー** をタップします。
3. **ロック時にドアミラーを格納** を選択して、オン/オフにします。

中立位置へセットし直す

外部からの影響でドアミラー本体の位置が動いてしまったときは、電動格納機能を正常に機能させるため、ドアミラーを基本位置に戻してリセットする必要があります。

1. **L** と **R** ボタンを同時に押して、ドアミラーを格納します。
2. **L** と **R** ボタンを再度同時に押して、ドアミラーを使用位置に戻します。
3. 必要に応じてこの手順を繰り返します。

ドアミラー本体が中立位置にリセットされます。

自動防眩機能*

バックミラーに反射する後続車のライトを、自動的に和らげます。

この機能をドアミラーに装備する場合は、ルームミラーにも自動防眩機能が装備されている必要があります。「ルームミラー」を参照してください。

リバース位置を選択している場合を除き、自動防眩機能は走行中つねに作動しています。防眩機能の感度は 3 段階に調節することができ、そ

[28] メモリー機能付きパワーシートが装備されている場合のみ。

の設定はルームミラーおよびドアミラーに反映されます。

注意

感度を変更しても、防眩機能にすぐに大きな変化は見られません。変更が反映されるまでにしばらく時間がかかります。

この機能の設定はセンターディスプレイを使用して行います。

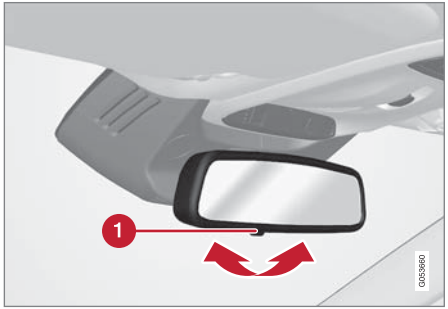
1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car** ➔ **ルームミラー/ドアミラーとイージーエントリー** をタップします。
3. **自動防眩リアビューミラー** で、**普通**、**暗い** または **明るい** を選択します。

関連情報

- ルームミラー（p. 201）
- センターディスプレイの設定（p. 216）
- フロントパワーシート*のメモリー機能を使用する（p. 166）

ルームミラー

ルームミラーは、ミラー下側のコントロールを使用して眩しさを調節することができます。または、自動的に眩しさが調節されます。



1 防眩切替レバー

手動防眩機能

ルームミラーに反射する後続車のヘッドライトの光を、自動的に和らげます。後続車のライトがルームミラーに反射して眩しいときは、防眩機能を使用してください。

1. 防眩機能を使用する場合は、防眩切替レバーを手前に引きます。
2. 防眩切替レバーを押して、通常位置に戻します。

自動防眩機能*

ルームミラーに反射する後続車のライトを、自動的に和らげます。自動防眩機能付ミラーには手動防眩機能のコントロールボタンはありません。

ルームミラーにはセンサーが 2 つあり、1 つは前方を、もう 1 つは後方を向いています。これらのセンサーが連動して眩しい光を判別および除去します。前向きのセンサーは周囲の光を感知します。後ろ向きのセンサーは後続車のヘッドライトの光を感知します。

注意

駐車証、トランスポンダー、サンバイザー、シートやカーゴスペースの荷物などで、センサーが遮られ、光がセンサーに届かない場合は、ルームミラーおよびドアミラーの防眩機能が低下します。

リバース位置を選択している場合を除き、自動防眩機能は走行中つねに作動しています。防眩機能の感度は 3 段階に調節することができ、その設定はルームミラーおよびドアミラーに反映されます。

注意

感度を変更しても、防眩機能にすぐに大きな変化は見られません。変更が反映されるまでにしばらく時間がかかります。

▶▶

この機能の設定はセンターディスプレイを使用して行います。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ルームミラー/ドアミラーとイージーエントリー** をタップします。
3. **自動防眩リアビューミラー** で、**普通**、**暗い** または **明るい** を選択します。

関連情報
- ドアミラーの調節（p. 199）
- センターディスプレイの設定（p. 216）

コンパス*

ルームミラー右上の部分に、車両の進行方向を表示するディスプレイが組み込まれています。

コンパス付きルームミラー

8 方位が英語の略字で表示されます：**N**（北）、**NE**（北東）、**E**（東）、**SE**（南東）、**S**（南）、**SW**（南西）、**W**（西）、**NW**（北西）。

コンパスのオン/オフ
コンパスは車両を始動すると自動的にオンになります。

コンパスをオフ/オンにするには：

– ペーパークリップなどを使用して、ルームミラーの下側にあるボタンを押します。

関連情報
- コンパス*を校正する（p. 203）
- イグニッション位置（p. 457）
- ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ（p. 240）

* オプション/アクセサリー。

コンパス*を校正する

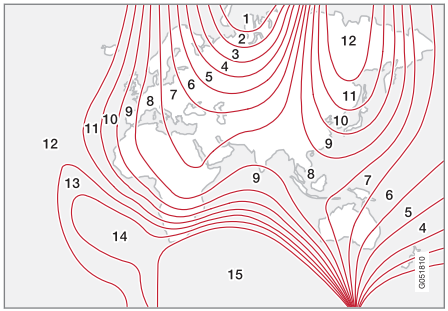
地球は地表の磁場により、15 の地域に分けることができます。磁場の異なる場所に移動する場合は、コンパスを校正し直すことが必要です。

以下に従って校正を実施します。

1. 鉄骨を使用した建物や高圧送電線などのない、広く安全な場所(屋外)に停車します。
2. エンジンを始動し、すべての電気機器(エアコンディショナー、ワイパーなど)をオフにし、すべてのドアが閉まっていることを確認します。

> **注意**
>
> 電気機器をオフにしておかないと、校正が失敗する、またはまったく始まらないおそれがあります。

3. ルームミラー下側のボタンをペーパークリップなどの細い物で約 3 秒間押したままにします。ディスプレイに現在の地域の番号が表示されます。



磁場の分布

4. 希望する地域の番号(**1-15**)が表示するまで、ボタンを繰り返し押します。コンパス用の磁場分布図を参照してください。
5. ディスプレイに文字 **C** が表示されるまで待機するか、文字 **C** が表示されるまで(約 6 秒間)ルームミラー下側のボタンを押し続けます。
6. 10 km/h (6 mph)以下の低速で、ゆっくりと円を描くように走行します。ディスプレイにコンパスの方位が表示されれば校正終了です。校正を微調整するために、さらに 2 周走行してください。
7. **ヒーテッドウインドスクリーン装備車両*:** ヒーテッドウインドスクリーンの作動中に文字 **C** がディスプレイに表示された場合は、上記の 6 に従ってヒーテッドウインドスクリーンが作動した状態で校正を行ってください。
8. 必要に応じてこの手順を繰り返します。

関連情報

- コンパス* (p. 202)

パノラマルーフ*

パノラマルーフは 2 つのガラスセクションに分かれています。フロントセクションは後端を水平方向(開位置)または垂直方向(ベンチレーション位置)に開くことができます。リアセクションは固定式のルーフガラスです。

パノラマルーフにはウインドデフレクターが装備されています。

パノラマルーフには、多孔性ファブリックを使用したサンブラインドがガラスルーフの下に取り付けられており、強い日差しなどから保護します。

パノラマルーフおよびサンブラインドは、ルーフに取り付けられているスイッチで操作します。

このボタンは車両の電気系統がイグニッション位置 I または II のときに使用できます。

⚠ 警告

パノラマルーフの可動部分に、乗員や物品が挟まれるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

- パノラマルーフの操作は、つねに慎重に行ってください。
- お子様にスイッチ類を操作させないでください。
- 車内にお子様だけを放置しないでください。
- 車両から離れる際には、車両の電気系統をイグニッション位置 0 にしてパノラマルーフへの電源を切り、リモートコントロールキーを携帯してください。
- 車両の電気系統が完全に切れている場合でも、絶対に物または体の一部をパノラマルーフから出さないでください。

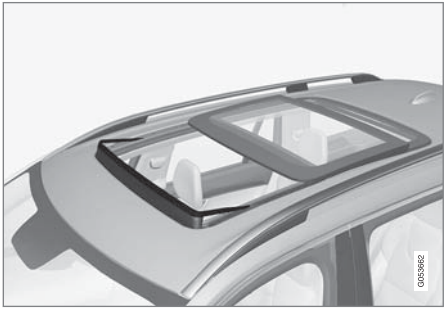
重要

- ロードキャリアが装着されている場合、パノラマルーフを開けないでください。
- パノラマルーフには重い荷物を載せないでください。

重要

- パノラマルーフを開ける前に、氷や雪を取り除いてください。
- パノラマルーフが閉じて凍り付いている場合には、パノラマルーフを操作しないでください。

ウインドデフレクター



パノラマルーフには、ルーフを開けた状態で走行するときに使用できるウインドデフレクターが取り付けられています。

関連情報

- パノラマルーフ*の操作 (p. 205)
- イグニッション位置 (p. 457)

パノラマルーフ*の操作

ルーフのスイッチで操作すると、パノラマルーフは最初に水平方向に移動してコンフォート位置まで開きます。

ベンチレーション位置では、ルーフのウインドスクリーンカバーの後端が持ち上がります。

⚠ 警告

パノラマルーフの可動部分に、乗員や物品が挟まれるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

- パノラマルーフの操作は、つねに慎重に行ってください。
- お子様にスイッチ類を操作させないでください。
- 車内にお子様だけを放置しないでください。
- 車両から離れる際には、車両の電気系統をイグニッション位置 **0** にしてパノラマルーフへの電源を切り、リモートコントロールキーを携帯してください。
- 車両の電気系統が完全に切れている場合でも、絶対に物または体の一部をパノラマルーフから出さないでください。

重要

- ロードキャリアが装着されている場合、パノラマルーフを開けないでください。
- パノラマルーフには重い荷物を載せないでください。

重要

- パノラマルーフを開ける前に、氷や雪を取り除いてください。
- パノラマルーフが閉じて凍り付いている場合には、パノラマルーフを操作しないでください。

パノラマルーフおよびサンブラインドは、車両の電気系統がイグニッション位置 **I** 以上のときに操作することができます。スタートノブを時計回りに回して手を離します。パノラマルーフおよびサンブラインドの操作には、天井のスイッチを使用します。

ベンチレーション位置

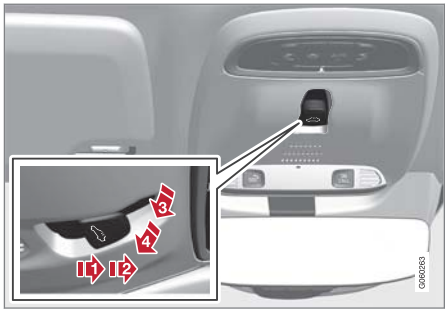
ベンチレーション位置(後端を垂直方向に開けた状態)

1. スイッチを上に押して開けます。
2. スイッチを前方/下方に押して閉じます。

ベンチレーション位置を選択すると、ウインドスクリーンカバーの後端が持ち上がります。サンブラインドが完全に閉じている状態でベンチレーション位置を選択した場合は、自動的に約 50 mm (約 2 インチ)開きます。

パノラマルーフをベンチレーション位置から閉じると、サンブラインドは自動的に追従します。

ルーフのスイッチによる操作



1 手動で開きます。

2 自動的に開きます。

3 手動で閉まります。

4 自動的に閉まります。

マニュアル操作

1. サンブラインドを開けるには、スイッチを後方に押してマニュアル操作用の位置にします。スイッチを後方に押している間、サンブラインドは全開位置の方向へ移動します。
2. パノラマルーフを開く - スイッチをもう一度後方に押してマニュアル操作用の位置にします。パノラマルーフは最初にコンフォート位置に到達します[29]。全開位置まで開けるには、スイッチをさらにもう一度(3回目)後方に押してください。

ルーフ/ブラインドを閉じるには、上記の操作を逆の順序で行います。スイッチを「マニュアル閉」の方向(前方/下方)へ押します。

スイッチから手を離した場合や、ガラスがコンフォート位置、全開または全閉位置に到達した場合、ルーフの動きは停止します。動いている方向と逆の方向にスイッチをもう一度操作した場合も、動きは停止します。

> **注意**
>
> マニュアル操作では、パノラマルーフを開ける前に、ルーフ/サンブラインドが完全に開いていなければなりません。閉じるときは、パノラマルーフを完全に閉じないと、サンブラインドを完全に閉じることができません。

オート操作

1. サンブラインドを最大位置まで開く - スイッチを後方に押して自動開の位置にし、放します。
2. パノラマルーフを開く - スイッチをもう一度後方に押してオート操作用の位置にし、放します。パノラマルーフは最初にコンフォート位置に到達します[29]。全開位置まで開けるには、スイッチをさらにもう一度(3回目)後方に押してオート操作用の位置にし、放します。

ルーフ/ブラインドを閉じるには、上記の操作を逆の順序で行います。スイッチを「オート閉」の方向(前方/下方)へ押します。

ガラスがコンフォート位置、全開または全閉位置に到達すると、ルーフの動きは停止します。動いている方向と逆の方向にスイッチをもう一度操作した場合も、動きは停止します。

全開位置から閉じている場合、ガラスがコンフォート位置に到達してもルーフの動きは停止しません。

[29] コンフォート位置はガラスカバーの開位置の 1 つで、走行中の風切り音や共鳴音を十分に低く抑えられる位置です。

オート操作 – 高速開/閉

パノラマルーフとサンブラインドは同時に開閉できます。

- 開けるには、スイッチを「自動開」の方向(後方)へ2度押して放します。
- 閉じるには、スイッチをオート操作の方向(前方/下方)へ2回押して放します。

ガラスがコンフォート位置または閉位置に到達すると、ルーフの動きは停止します。全開位置から閉じる場合、ルーフの動きはコンフォート位置で停止しません。ルーフがコンフォート位置に到達してもブラインドの動きは停止しません。動いている方向と逆の方向にスイッチをもう一度操作した場合も、動きは停止します。

サンブラインドの自動閉動作

気温の高いときに駐車すると、車両のロックから15分後にサンブラインドが自動的に閉じます。この動作は、車内の温度を下げることと、内装の日焼けを防止することが目的です。

この機能は工場出荷時点でオフになっており、以下の方法でオン/オフを切り替えることができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ロック** をタップします。

   自動でサンルーフカーテンを閉じる を選択して、オン/オフにします。

リモートコントロールキー、セントラルロックボタンまたはドアハンドルで閉める

リモートコントロールキー

- パノラマルーフとサンブラインドが閉位置の方向に動き始めるまでリモートコントロールキーのロックボタン を1回長押しします。その後、ロックボタンから手を離します。

リモートコントロールキーのロックボタンをもう一度押すか、ルーフ/ブラインドが閉位置に達すると、動きは停止します。

セントラルロックボタン

セントラルロックボタン

車両の電気系統が I 以上のイグニッション位置の場合、運転席ドアまたは助手席ドア*のセントラルロックボタンを使用してパノラマルーフを閉じることができます。

- パノラマルーフとサンブラインドが閉位置の方向に動き始めるまでセントラルロックボタン を1回長押しします。その後、ボタンから手を離します。

セントラルロックボタンをもう一度押すか、ルーフ/ブラインドが閉位置に達すると、動きは停止します。

ドアハンドル

キーレスロック/ロック解除機能*を搭載した車両は、外側のドアハンドルの外側部分に、感応式ロックスイッチがあります。

- パノラマルーフおよびサンブラインドが閉位置の方向へ動き始めるまで、ドアハンドルのひとつの外側部分にある感応式ロックスイッチに指をあてます。その後、ドアハンドルのくぼみから指を離します。

ドアハンドルのくぼみに再度指をあてる、またはルーフ/ブラインドが閉位置に達すると、動きは停止します。

⚠ 警告

リモートコントロールキー、セントラルロックボタン、またはドアハンドルを使用してパノラマルーフを閉める場合は、乗員の手などが挟まらないように注意してください。

▸▸

重要

パノラマルーフを閉めたときは、完全に閉まっていることを確認してください。

ピンチプロテクション

パノラマルーフには、ピンチプロテクションが装備されており、閉じる途中でガラスカバーやサンブラインドがなんらかの障害物によりブロックされると作動します。動きが妨げられた場合、ガラスカバーまたはサンブラインドは妨げられた位置から約 50 mm (約 2 インチ)ほど(またはフルベンチレーション位置まで)自動的に開きます。ピンチプロテクションはガラスカバーやサンブラインドが開くときにも作動しています。

ピンチプロテクションが作動した場合でも、ピンチプロテクションの作動から 10 秒以内に操作すれば、ピンチプロテクションが作動したときと同じ方向にガラスカバーまたはサンブラインドを再度操作することができます。したがって、ガラスカバー周辺部の凍結などにより閉じる動作が中断した場合には、ガラスカバーとサンブランドの両方、またはどちらか一方が閉じるまでスイッチを前方/下方に押し続けると、ピンチプロテクションを強制的に解除することができます。

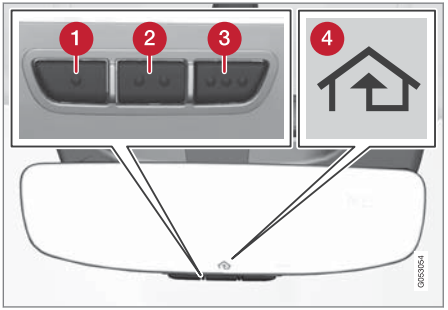
関連情報

- パノラマルーフ* (p. 204)
- イグニッション位置 (p. 457)
- リモートコントロールキー (p. 282)
- 内側からのロック/ロック解除 (p. 291)
- 外側からのロック/ロック解除 (p. 287)

HomeLink®*30

HomeLink® は、車両の電気系統に組み込まれたプログラム可能なリモートコントロールです。

概要



1. ボタン 1
2. ボタン 2
3. ボタン 3
4. インジケーターランプ

HomeLink®31 はプログラム可能なリモートコントロールで、最大 3 個の異なる機器(ガレージドアオープナー、アラームシステム、内外の照明など)を、それぞれのリモートコントロールに代わって遠隔操作することができます。
HomeLink® はルームミラーに組み込まれています。HomeLink® パネルは、ミラーガラス内のイ

* オプション/アクセサリー。

ンジケーターランプ 1 個とプログラム可能なボタン 3 個で構成されています。

HomeLink® に関する情報をお求めの場合、www.HomeLink.com または www.youtube.com/HomeLinkGentex をご覧いただくか、フリーダイヤル 00 8000 466 354 65（または有料の +49 6838 907 277）にご連絡ください。

⚠ 警告

- HomeLink® を使用してガレージドアやゲートを操作する場合は、ドアやゲートの周りに人がいないことを確認してください。
- HomeLink のプログラム作業中には、プログラム対象のガレージドアやゲートが作動するおそれがあります。したがって、プログラム作業中には、対象のドアまたはゲートに誰も近づけないようにしてください。
- ガレージドアオープナーをプログラムする際には、車両をガレージの外に駐車してください。
- ガレージドアに非常停止などの安全機能が備わっていない場合は、HomeLink® を使用しないでください。

将来プログラムするとき（車の買い替え時や別の車で使用する際など）に備えて、機器付属のリモートコントロールは保管しておいてください。車を売却される場合には、ボタンのプログラムを消去されることをお薦めします。「HomeLink® のプログラミング」の項を参照してください。

関連情報

- HomeLink®* のプログラミング (p. 209)

HomeLink®*[32] のプログラミング

HomeLink® のプログラミング手順

HomeLink® のプログラミング

ⓘ 注意

一部の車両では、HomeLink® のプログラム前、または、HomeLink を使用する前に、イグニッションを ON にするか、「アクセサリー位置」にすることが必要です。HomeLink® で代替するリモートコントロールに新品の電池を入れると、プログラミングの時間が短くなり、無線信号の送信が向上します。プログラミングの前に HomeLink® ボタンをリセットしてください。「HomeLink® ボタンのリセット」を参照してください。リセットが完了したら、HomeLink® は「学習モード」になり、プログラミングできる状態になります。

1. プログラムする HomeLink® のボタン[33] を押します。HomeLink® のインジケーターランプ[33] が 1 秒に 1 回の速さで黄色に点滅します。ボタンを長押しする必要はありません。

30 特定市場に適用
31 HomeLink および HomeLink ハウスマークは、Gentex Corporation の登録商標です。
32 特定市場に適用
33 ボタンおよびインジケーターランプの位置については、「HomeLink®*」の項を参照してください。

2. プログラムする HomeLink® ボタンにリモートコントロールを向けて、ボタンから約 2〜8 cm (約 1〜3 インチ)のところに構えてください。HomeLink®のインジケーターランプを遮らないよう注意してください。

   注記： 一部のリモートコントロールは、約 15〜20 cm (約 6〜12 インチ)離した方が HomeLink® をプログラムしやすくなります。プログラミング中に問題が発生した場合に備えて、このことに留意しておいてください。

3. HomeLink® にプログラムする機器付属のリモートコントロールのボタンを長押しし、インジケーターランプに注目します。インジケーターランプが毎秒 1 回の黄色の点滅から毎秒 10 回の緑色の点滅または緑色の点灯に切り替わるまで、ボタンから指を離さないでください。インジケーターランプが緑色で点滅または点灯したら、リモートコントロールのボタンから指を離すことができます。

   注記： 一部のレシーバーでは、プログラミングのステップ 3 をステップ 4 の指示に変更することが必要になる場合があります。

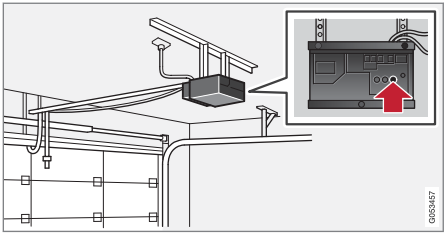
4. インジケーターランプが毎秒 1 回の黄色の点滅から毎秒 10 回の緑色の点滅または緑色の点灯に切り替わるまで、1 秒おきに機器付属のリモートコントロールのボタンを短く押す操作を繰り返します。

5. プログラムした HomeLink® ボタンを押して、インジケーターランプを確認します。

   › **緑色の点灯：** インジケーターランプが緑色で点灯している場合、**プログラミングは完了しています。**プログラムしたボタンを押すと、ガレージドアやゲートなどが作動するはずです。

   毎秒 10 回の緑色の点滅： プログラムするボタンを **2 秒間押したままにしてから、指を離します。**ボタンを押して放す操作をもう 1 度繰り返します。レシーバーのモデルによっては、さらにもう 1 度繰り返します。これでプログラミングは完了するため、プログラムしたボタンを押すと、ガレージドアやゲートなどが作動するはずです。

   レシーバーがまだ反応しない場合： プログラミングのステップ 6〜8 を行って、プログラミングを完了してください。



6. ガレージドア(または該当する機器)のレシーバーに用意されている学習ボタン [34] を確認します。通常は、レシーバーのアンテナブラケット付近にあります。

7. レシーバーの学習ボタンを押して放します。ステップ 8 はボタンを押してから 30 秒以内に完了する必要があります。

8. プログラムするボタンを **2 秒間押したままにしてから、指を離します。**ボタンを押して放す操作をもう 1 度繰り返します。レシーバーのモデルによっては、さらにもう 1 度繰り返します。**これでプログラミングは完了です。**プログラムしたボタンを押すと、ガレージドアやゲートなどが作動するはずです。

操作

HomeLink®が完全にプログラムされると、複数のリモートコントロールの代用として使用することができます。

[34] ボタンの名称や色は、メーカーにより異なります。

プログラムしたボタンを押します。ガレージドア、ゲート、アラームシステムなどが作動します(数秒かかることがあります)。ボタンを 20 秒以上押すと、プログラムが削除されます。ボタンを押すと、インジケーターランプが点灯または点滅します。必要であれば、機器付属のリモートコントロールを HomeLink®と併用することもできます。

注意

イグニッションがオンではない場合は、HomeLink® は運転席ドアが開いた後、30 分機能します。

プログラミングの問題が発生した場合、HomeLink® に連絡してください。インターネットの場合、www.HomeLink.com または www.youtube.com/HomeLinkGentex、電話の場合、フリーダイヤルの 00 8000 466 354 65 (または有料の+49 6838 907 277)をご利用ください。

HomeLink® ボタンのリセット

HomeLink® のボタンは、すべて同時にリセットされます。個々にリセットすることはできません。ただし、ボタンごとに再プログラミングが可能です。「個々のボタンのプログラミング」の項を参照してください。

1. HomeLink® のボタン 1 および 3 を押して、インジケーターランプが緑色で点滅し始める(約 10 秒間)まで押し続けます。
2. ボタンから手を離します。
   > これで HomeLink® は「学習モード」になり、プログラムし直すことができます。前述の「HomeLink® のプログラミング」の項を参照してください。

個々のボタンのプログラミング

個々の HomeLink® のボタンをプログラムする際は、次の手順に従ってください。

1. プログラムするボタンを押し、**手を離さないでください**。
2. 約 20 秒後に HomeLink® のインジケーターランプが黄色で点滅を開始してから、前述の「HomeLink® のプログラミング」の項にあるステップ 1 を開始します。

   注記： プログラムし直すボタンに新しいユニットがプログラムされていないと、以前に保存されていたプログラミングが回復します。

HomeLink® に関する情報をお求めの場合、もしくはコメントをお寄せいただく場合には、www.HomeLink.com または www.youtube.com/HomeLinkGentex をご覧いただくか、フリーダイヤル 00 8000 466 354 65 (または有料の +49 6838 907 277)にご連絡ください。

関連情報

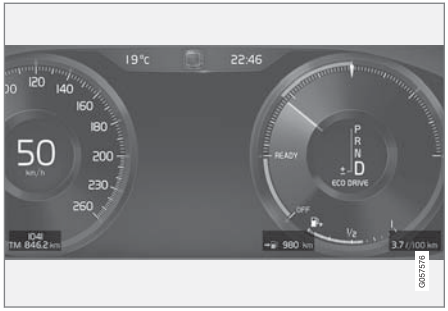
- HomeLink®* (p. 208)

トリップコンピューター

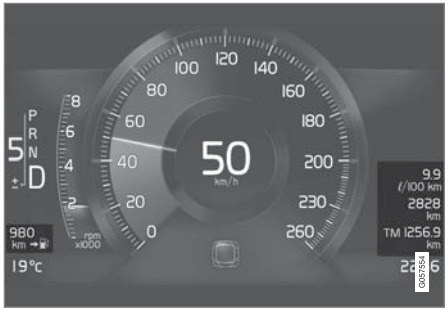
車両のトリップコンピューターは、走行中の距離、燃料消費量および平均速度などの値を記録および計算します。

燃費を意識した運転がしやすくなるように、瞬間燃料消費量と平均燃料消費量に関する情報が記録されます。トリップコンピューターの情報は、センターディスプレイに表示されます。

▶▶



12 インチドライバーディスプレイ*



8 インチドライバーディスプレイ

トリップコンピューターには以下のメーターが含まれています。

- トリップメーター(走行距離計)
- オドメーター
- 瞬間燃料消費量
- 走行可能距離
- ツーリスト(代替スピードメーター)

トリップメーター(走行距離計)

トリップメーターには TM と TA の 2 つがあります。

TM は手動でリセットすることができ、TA は車両を使用していない状態が 4 時間以上続くと、自動的にリセットされます。

走行中には以下の情報が記録されます。

- 走行距離
- 走行時間
- 平均速度
- 平均燃料消費量

トリップメーターを最後にリセットした時点からの数値が適用されます。

オドメーター

オドメーターは車両の総走行距離を記録します。この値はゼロにリセットできません。

瞬間燃料消費量

このゲージは現時点の燃料消費量を示します。この値は約 1 秒ごとに更新されます。

走行可能距離

トリップコンピューターは、タンクに残っている燃料で走行可能な距離を計算します。30 km (20 miles)前から現在までの平均燃費と、現在の燃料残量に基づいて、走行可能距離を算出します。

計測器に"----"と表示される場合は、走行可能距離を算出するために必要な燃料が残っていないことを表します。すみやかに燃料を補給してください。

注意

車両走行状況の変動により、若干の誤差が生じる場合があります。

一般的に、経済的な走行を心がけると、走行距離を伸ばすことができます。

ツーリスト(代替スピードメーター)

代替デジタルスピードメーターを使用すると、制限速度標識の単位が車両の計器の表示と異なる地域を走行するときに運転しやすくなります。

デジタルスピードメーターは、アナログスピードメーターの表示と反対の単位で表示されます。アナログスピードメーターの目盛りが **mph** である場合、デジタルスピードメーターは対応する速度を **km/h** で表示します(逆の組み合わせも可能)。

* オプション/アクセサリー。

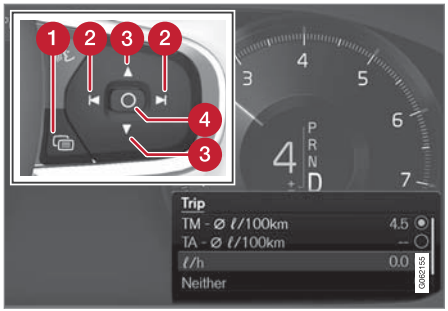
関連情報

- ドライバーディスプレイにトリップデータを表示する（p. 213）
- センターディスプレイに走行統計 を表示する（p. 215）

ドライバーディスプレイにトリップデータを表示する

トリップコンピューターの記録および計算した値は、ドライバーディスプレイに表示することができます。

値はトリップコンピューターアプリに保存されます。アプリメニューを使用すると、ドライバーディスプレイに表示する情報を選択することができます。



ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用してアプリメニュー[35]を開き、メニュー内を移動します。

1. アプリメニュー
2. 左/右
3. 上/下
4. 確定

1. (1)を押して、ドライバーディスプレイでアプリメニューを開きます。

   (ドライバーディスプレイに未読のメッセージがある場合、アプリメニューを開くことはできません。アプリメニューを開くには、先に未読のメッセージを確認する必要があります。)

2. (2)を押して左右に動かし、トリップコンピューターアプリを選択します。
   > 上の 4 行にはトリップメーター TM の測定値が表示されます。次の 4 行にはトリップメーター TA の測定値が表示されます。(3)を使用して上下にスクロールしてください。

[35] ディスプレイの外観はメーター・パネルのタイプに応じて異なることがあります。

3. 下のオプションボタンにスクロールして、ドライバーディスプレイに表示する情報を選択します。
   - 走行可能距離
   - オドメーター
   - トリップメーター TM または TA の走行距離、または走行距離の表示なし
   - 瞬間燃料消費量、TM または TA の平均燃料消費量、燃料消費量の表示なし
   - ツーリスト(代替スピードメーター)

   OK ボタン(4)でオプションを選択または選択解除します。変更はただちに反映されます。

トリップメーターのリセット

– 左側レバーの **RESET** ボタンを長押しすると、トリップメーター TM のすべての情報(走行距離、平均燃料消費量、平均速度および走行時間)がリセットされます。

  RESET ボタンを短く押すと、走行距離のみがリセットされます。

トリップメーター TA には自動リセット機能のみがあります。車両を使用しない状態が 4 時間以上続くと、メーターはリセットされます。

単位の変更

走行距離、速度などの単位は、センターディスプレイで以下の手順に従って変更します。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム言語および単位 ➔ 測定単位** をタップします。
3. 次の中から単位を選択します：**m, km/℃、yd, mi /℃、ft, mi/℉**。

> **注意**
>
> これらの単位は、トリップコンピューターだけでなくボルボのナビゲーションシステム* でも変更されます。

関連情報

- トリップコンピューター（p. 211）
- センターディスプレイに走行統計 を表示する（p. 215）
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する（p. 150）

* オプション/アクセサリー。

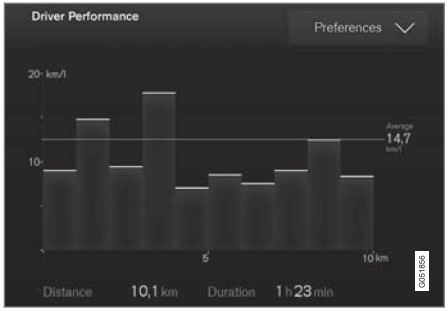
センターディスプレイに走行統計を表示する

トリップコンピューターの走行統計はセンターディスプレイにグラフィック表示されます。走行統計情報は、燃費を意識した運転をするのに役立ちます。

アプリビューで **燃費** アプリを開いて、走行統計を表示します。

図の各バーは、走行距離の単位として 1、10 または 100 km（またはマイル）を表します。バーは走行が進むにつれて右から埋まっていきます。右端のバーは現在距離の値を示します。

平均燃料消費量と総走行時間は、走行統計を最後にリセットした時点からの値が計算されています。



旅程情報 [36]

走行統計の設定

設定 をタップして、以下を行います。

- グラフの目盛りを変更する。バーの分解能を 1、10、100 km/miles から選択します。
- 走行ごとにデータをリセットする。車両が 4 時間以上静止しているときに行われます。
- 現在の走行のデータをリセットする

走行統計、計算された平均燃料消費量および総走行時間は必ず同時にリセットされます。

単位の変更

走行距離、燃料消費量などの単位は、以下の手順で変更します。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム言語および単位 ➔ 測定単位** をタップします。
3. 次の中から単位を選択します：**m, km/℃、yd, mi /℃、ft, mi/℉**。

関連情報

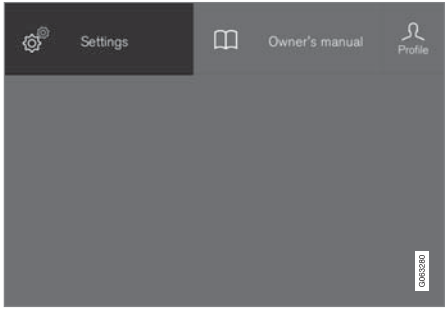
- トリップコンピューター（p. 211）
- ドライバーディスプレイにトリップデータを表示する（p. 213）

[36] 図は概略図です。配置は、車両モデルまたはソフトウェアのアップデートにより異なる場合があります。

センターディスプレイの設定

車両の多くの機能の 設定 および情報はセンターディスプレイの設定メニューで管理することができます。

設定を開く/閉じる、設定内を移動する

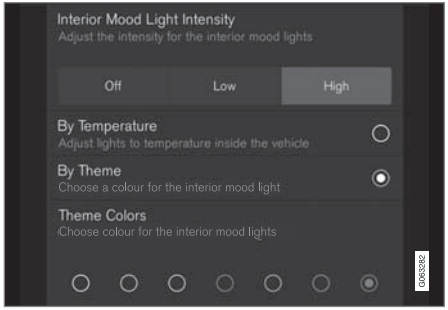


トップビューと**設定**用ボタン

1. タブをタップする、または画面を上から下方向にドラッグ/スワイプすることにより、トップビューを開きます。
2. **設定** をタップして、設定メニューを開きます。
3. 表示されているカテゴリーの 1 つをタップしてサブカテゴリーに移動し、もう 1 回タップして個々の設定に移動します。
4. **戻る** をタップして、設定メニューに戻ります。

   閉じる をタップして、設定メニューを閉じます。

設定を変更する



設定メニューのサブカテゴリーに表示される、さまざまな種類の設定(ここでは、マルチオプションボタンとラジオボタン)

1. カテゴリーおよびサブカテゴリーをタップして、必要な設定に移動します。
2. 設定(複数可)を変更します。変更する設定の種類により、変更の方法が異なります(種類ごとの説明については、次表参照)。

   › 変更はただちに保存されます。

設定の種類

設定には、次のようにさまざまな種類があります。

設定の種類	説明
トリガー機能	テキストをタップすることにより、アプリまたは別のビューが開き、さらに高度な設定ができるようになります(Bluetooth® 対応のユニットとの接続など)。
ラジオボタン	必要なラジオボタンをタップすることにより、複数の選択肢から設定が選択されます(システム言語の選択など)。
マルチオプションボタン	ボタンの必要な部分をタップすることにより、対象物のレベルが選択されます(City Safety の感度の選択など)。
チェックボックス	ボックスをタップして選択/解除することにより、機能がオン/オフになります(シートヒーターの自動起動の選択など)。
スライダー	スライダーをタップしてドラッグすることにより、所定の範囲内で対象物のレベルが選択されます(音量の選択など)。
情報の表示	実際の設定はありません。情報(車台番号など)を表示します。

関連情報

- センターディスプレイの概要（p. 34）
- センターディスプレイのビュー内での移動（p. 41）
- 設定メニューのカテゴリー（p. 217）
- 設定メニューでシステム設定を変更する（p. 218）

設定メニューのカテゴリー

センターディスプレイの設定メニューには多くのメインカテゴリーとサブカテゴリーがあり、車両の多くの機能に関する設定および情報がまとめられています。

設定には、**My Car**、**サウンド**、**ナビゲーション**、**メディア**、**通信**、**温度調整**、および **システム** の 7 つのメインカテゴリーがあります。

そして、各カテゴリーには多くのサブカテゴリーと設定オプションがあります。次表には、最上位のレベルのサブカテゴリーが示されています。領域または機能の設定オプションの詳細については、オーナーズマニュアルの関連セクションで説明されています。関連セクションで説明されていないシステム設定については、「設定メニューでシステム設定を変更する」の項を参照してください。

設定には個人用設定とグローバル設定があります。個人用設定は **ドライバープロファイル** に保存することができる設定です。グローバル設定は特定の運転者プロフィールに関連付けられない設定です。次表には、カテゴリーの設定が個人用、グローバル、または両方の混合のいずれであるかが示されています。

My Car

サブカテゴリー	設定
ディスプレイ	個人用
IntelliSafe	混合
ドライブモード/ドライブモード*	混合
ライトと照明	混合
ルームミラー/ドアミラーおよびイージーエントリー	混合
ロッキング	混合
パーキングブレーキおよびサスペンション	グローバル
ワイパー	個人用

オーディオ

サブカテゴリー	設定
トーン	個人用
バランス	個人用
システム音量	混合

ナビゲーション

サブカテゴリー	設定
地図	個人用
ルートと案内	個人用
交通	個人用

サブカテゴリー	設定
ETC	個人用
VICS	個人用

メディア

サブカテゴリー	設定
AM/FM ラジオ	個人用
Gracenote®	個人用
TV*	個人用
ビデオ	個人用

通信

サブカテゴリー	設定
電話	-
テキストメッセージ	-
Android Auto*	-
Apple CarPlay*	-
Bluetooth デバイス	-
Wi-Fi	グローバル
車両 Wi-Fi ホットスポット	グローバル

サブカテゴリー	設定
カーモデムインターネット*	グローバル
ボルボサービスネットワーク	グローバル

エアコンディショナー

メインカテゴリー **温度調整** にサブカテゴリーはありません。

システム

サブカテゴリー	設定
ドライバープロファイル	個人用
日付および時刻	-
システム言語および単位	個人用
キーボードレイアウト	グローバル
音声コントロール*	個人用
工場出荷時設定にリセット	-
システム情報	グローバル

関連情報

- センターディスプレイの設定 (p. 216)
- 設定メニューでシステム設定を変更する (p. 218)

設定メニューでシステム設定を変更する

センターディスプレイの設定メニューの **システム** カテゴリーには、車両システム(言語および単位など)の一般的な設定や情報がまとめられています。

ドライバープロファイル、**日付および時刻**、**システム言語および単位**、**キーボードレイアウト**、**音声コントロール**、**工場出荷時設定にリセット**および **システム情報** のシステム設定については、オーナーズマニュアルの関連セクションで説明されています。

システム言語の変更

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム言語および単位**に移動します。
3. システム言語を選択します。音声操作に対応している言語には、音声操作シンボルが表示されています。
   › ドライバーディスプレイ、センターディスプレイおよびヘッドアップディスプレイの言語が変更されます。

* オプション/アクセサリー。

システム単位の変更

長さおよび量の単位の変更

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム言語および単位 ➔ 測定単位**に移動します。
3. 以下の単位規格の中から 1 つ選択します。
   - **m, km/℃** – キロメートル、リットルおよび摂氏。
   - **yd, mi /℃** – マイル、ガロンおよび摂氏。
   - **ft, mi/℉** – マイル、ガロンおよび華氏。

   › ドライバーディスプレイ、センターディスプレイおよびヘッドアップディスプレイの単位が変更されます。

ストレージ情報を参照する

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム情報 ➔ ストレージ**に移動します。

   › 車両のハードディスクのストレージ情報が表示され、総容量、空き容量、インストール済みのアプリケーションが使用している容量が表示されます。

車台番号(VIN)の表示

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム情報 ➔ 車台番号**に移動します。

   › 車台番号(VIN[37])が表示されます。

関連情報

- 設定メニューのカテゴリー（p. 217）
- 運転者プロフィール（p. 220）
- 時計（p. 142）
- センターディスプレイのキーボードの使用（p. 50）
- 音声認識の設定（p. 161）
- システムアップデート（p. 589）
- 設定メニューの設定のリセット（p. 219）
- コネクテッド・サービス予約（p. 586）

設定メニューの設定のリセット

センターディスプレイの設定メニューで変更したすべての設定を一括して初期値にリセットすることができます。

リセットの種類

設定メニューの設定のリセットには、以下の 2 種類のリセットがあります。

- **工場出荷時設定にリセット** – すべてのデータおよびメディアを消去し、すべての設定を初期値にリセットします。
- **個人設定をリセット** – 個人情報を消去し、個人用設定を初期値にリセットします。

設定のリセット

ⓘ 注意

工場出荷時設定にリセット は車両が静止しているときにのみ使用できます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ 工場出荷時設定にリセット**に移動します。
3. 必要なリセットの種類を選択します。

   › ポップアップウィンドウが表示されます。

[37] Vehicle Identification Number.

4. **OK** をタップして、リセットを確定します。

   個人設定をリセット の場合、**使用中のプロファイルをリセット** または **全てのプロファイルをリセット** をタップして、リセットを確定する必要があります。

   › 選択した設定がリセットされます。

関連情報

- 設定メニューでシステム設定を変更する (p. 218)
- 運転者プロフィール (p. 220)
- 名義変更に伴うユーザーデータのリセット (p. 224)

運転者プロフィール

車内で行う設定の多くは運転者の好みに応じて調整することができ、運転者プロフィール(複数可)に保存することができます。

個人設定は、使用中の運転者プロフィールに自動で保存されます。各キーはひとつの運転者プロフィールに関連付けることができます。関連付けられたキーを使用すると、車両は該当の運転者プロフィールの設定を適用します。

運転者プロフィールに保存される設定

車内で行う設定の多くは、使用中の運転者プロフィールに自動的に保存されます(プロフィールがロックされていない場合)。「運転者プロフィールの編集」の項を参照してください。車内で行う設定は個人用設定またはグローバル設定のいずれかです。運転者プロフィールには、個人用設定のみが保存されます。

運転者プロフィールに保存できる設定には、スクリーン、ミラー、フロントシート、ナビゲーション、オーディオおよびメディアシステム、言語、音声認識などの設定があります。

グローバル設定と呼ばれる設定は、変更可能ですが、特定の運転者プロフィールには保存されません。グローバル設定の変更は、すべてのプロフィールに反映されます。

グローバル設定

グローバル設定およびパラメーターは、運転者プロフィールを切り替えても変更されません。どの運転者プロフィールが有効になっているかに関わらず、変更されません。

グローバル設定の一例は、キーボードレイアウト設定です。運転者プロフィール X を使用して、キーボードに言語を追加した場合、追加した言語は運転者プロフィール Y でも利用することができます。キーボードレイアウト設定は特定の運転者プロフィールには保存されません。設定は共通(グローバル)です。

パーソナル選択

例えばセンターディスプレイの明るさを設定するときに運転者プロフィール X を使用した場合、この設定は運転者プロフィール Y には反映されません。明るさ設定は個人用設定であるため、運転者プロフィール X に保存されます。

個人用設定とグローバル設定の区別についての詳細は、「設定メニューのカテゴリー」の項を参照してください。

関連情報

- 運転者プロフィールの編集 (p. 221)
- 設定メニューのカテゴリー (p. 217)
- 運転者プロフィールの選択 (p. 221)

運転者プロフィールの選択

車両をロック解除したときに選択されている運転者プロフィールは、最後に使用されていた運転者プロフィールです。車両をロック解除した後に、別の運転者プロフィールに変更することができます。

センターディスプレイが起動すると、選択された運転者プロフィールが画面の上部に表示されます。次に車両をロック解除したときに有効となる運転者プロフィールは、最後に使用された運転者プロフィールです。ただし、リモートコントロールキーが運転者プロフィールに関連付けられている場合、車両の始動時にはその運転者プロフィールが選択されます。「リモートコントロールキーと運転者プロフィールの関連付け」を参照してください。

別の運転者プロフィールに変更する方法には、2つのオプションがあります。

オプション 1：

1. センターディスプレイが起動したときに、センターディスプレイの上部に表示されている運転者プロフィールの名前をタップします。
   > 選択可能な運転者プロフィールの一覧が表示されます。
2. 該当の運転者プロフィールを選択します。
3. **確認** をタップします。
   > 運転者プロフィールが選択されて、システムが新しい運転者プロフィールの設定をロードします。

オプション 2：

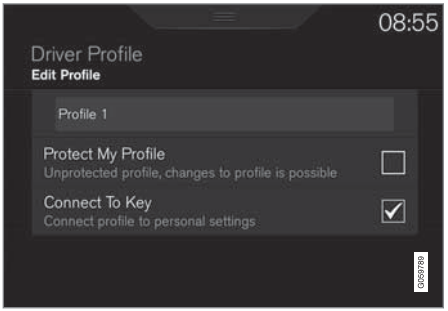
1. センターディスプレイのトップビューを下方向にスクロールします。
2. **ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ** をタップします。
   > オプション 1 と同じ一覧が表示されます。
3. 該当の運転者プロフィールを選択します。
4. **確認** をタップします。
   > 運転者プロフィールが選択されて、システムが新しい運転者プロフィールの設定をロードします。

関連情報

- 運転者プロフィール（p. 220）
- 運転者プロフィールの編集（p. 221）
- リモートコントロールキーと運転者プロフィールの関連付け（p. 222）

運転者プロフィールの編集

車両で使用されている運転者プロフィールの名前は変更することができます。



運転者プロフィールを変更する場合、変更の種類に関係なく、必ずセンターディスプレイのトップビューから**設定 ➔ システム ➔ ドライバープロファイル** の順に選択して行います。

運転者プロフィールの名前の変更

運転者プロフィールの名前の変更は、**ドライバープロファイル** ウィンドウから始めます。

1. **プロファイルを編集** を押します。
   > プロフィールの編集ができるメニューが開きます。

2. **プロファイル名** ボックスをタップします。
   › キーボードが表示され、名前を変更できるようになります。 をタップして、キーボードを閉じます。
3. **戻る/閉じる** をタップして、名前の変更を保存します。
   › これで名前が変更されました。

注意

プロフィール名の先頭にスペースを入れることはできません。スペースを入れた場合、プロフィール名は保存されません。

運転者プロフィールの設定のリセット

1 つ以上の運転者プロフィールに保存されている設定は、車両が停止しているときにリセットすることができます。

注意

工場出荷時設定にリセット は車両が静止しているときにのみ使用できます。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ 工場出荷時設定にリセット ➔ 個人設定をリセット** をタップします。
3. **使用中のプロファイルをリセット**、**全てのプロファイルをリセット**、**キャンセル** のオプションの中から 1 つ選択します。

関連情報

- 運転者プロフィール（p. 220）
- 設定メニューの設定のリセット（p. 219）
- センターディスプレイのビュー内での移動（p. 41）
- センターディスプレイのキーボードの使用（p. 50）
- 運転者プロフィールの選択（p. 221）

リモートコントロールキーと運転者プロフィールの関連付け

キーを運転者プロフィールに関連付けることができます。関連付けると、特定のリモートコントロールキーで車両を使用するときに、毎回運転者プロフィールとそのすべての設定が自動的に選択されるようになります。

はじめて使用するとき、リモートコントロールキーはどの運転者プロフィールとも関連付けられていません。車両を始動すると、**ゲスト** プロフィールが自動的に有効になります。

運転者プロフィールをキーに関連付けず、運転者プロフィールを手動で選択することもできます。車両をロック解除すると、最後に使用された運転者プロフィールが有効になります。キーを運転者プロフィールに関連付けると、その特定のキーを使用するときは、運転者プロフィールを選択する必要はありません。

リモートコントロールキーと運転者プロフィールの関連付け

キーに関連付けるプロフィールがまだ有効になっていない場合、最初にそのプロフィールを選択します。プロフィールを有効にした後でキーに関連付けることができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ ドライバープロファイル** をタップします。

3. 目的のプロフィールを選択します。ディスプレイはホームビューに戻ります。**ゲスト** プロフィールはキーに関連付けることができません。
4. トップビューを下方向に再度ドラッグし、**設定 ➔ システム ➔ ドライバープロファイル ➔ プロファイルを編集**の順にタップします。
5. **キー接続** を選択して、プロフィールをキーに関連付けます。1 つの運転者プロフィールを、現在車内で使用中のキー以外のキーに関連付けることはできません。車内に複数のキーがある場合、**複数のキーが見つかりました。バックアップリーダーに置いて下さい。** というメッセージが表示されます。

トンネルコンソール内のバックアップリーダーの場所

> **プロファイルがキーに接続されています** というメッセージが表示された場合、キーと運転者プロフィールが関連付けられたことを表します。

6. **OK** を押します。
> これで、このキーと運転者プロフィールとの関連付けは完了です。以降は **キー接続** ボックスのチェックを外さない限り、関連付けが維持されます。

関連情報

- 運転者プロフィール（p. 220）
- 運転者プロフィールの編集（p. 221）
- リモートコントロールキー（p. 282）

アプリの設定を変更する

アプリビューには、車両のすべてのアプリが表示されます。車両の内蔵機能に関連するアプリ設定は、センターディスプレイのトップビューから変更することができます。

内蔵機能用アプリ – 基本アプリ

最初から車両にインストールされているアプリ(例:**FM ラジオ** および **USB**)は Sensus の一部であり、車両の内蔵機能の一部です。これらのアプリの設定は、センターディスプレイのトップビューで直接変更することができます。

基本アプリの設定を変更する

1. アプリ(**FM ラジオ** など)をタップします。
2. トップビューを下方向にスクロールします。
3. **FMﾗｼﾞｵ 設定** をタップします。
4. 必要に応じて設定を変更し、選択を確定します。
5. ホームボタンまたは画面の閉ボタンを押します。

一部を除き、車両のほとんどの基本アプリには、上記の手順で設定するオプションがあります。設定の変更方法についての詳細は、「設定メニューのカテゴリー」の項を参照してください。

サードパーティー製アプリ

サードパーティー製アプリは、車両購入後にユーザーがダウンロードするもので、当初は車両のシステムにインストールされていません(**Volvo ID** など)。このようなアプリの設定は ▸▸

◀◀ トップビューからではなく、必ずアプリ内で行います。

関連情報

- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 41)
- センターディスプレイの設定 (p. 216)
- アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール (p. 544)
- 設定メニューのカテゴリー (p. 217)

名義変更に伴うユーザーデータのリセット

名義変更時には、ユーザーデータおよびシステム設定を工場出荷時設定に戻す必要があります。

車両の設定は、複数の異なるレベルでリセットすることができます。名義変更時には、すべてのユーザーデータおよびシステム設定を元の工場出荷時設定に戻してください。名義変更の場合、Volvo On Call* サービス の契約者名を変更することも重要です。

関連情報

- 設定メニューの設定のリセット (p. 219)
- Volvo ID (p. 24)

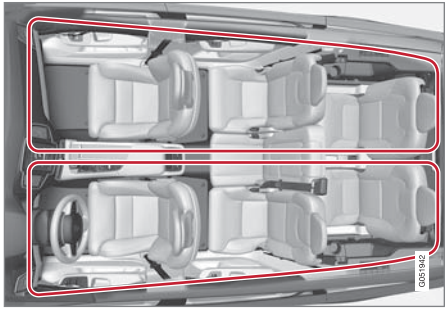
* オプション/アクセサリー。

エアコンディショナー

エアコンディショナー

車両には、オートマチック・エアコンディショナーが装備されています。車内の冷暖房と除湿をコントロールします。

2 ゾーンエアコンディショナー

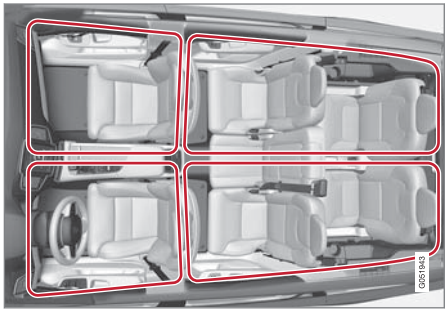


2 ゾーンエアコンディショナーの空調ゾーン

2 ゾーンエアコンディショナーでは、車内の温度を左右、個別に設定することができます。

エアコンディショナーシステムのすべての機能は、センターディスプレイとセンターコンソールのボタンで操作します。

4 ゾーンエアコンディショナー*



4 ゾーンエアコンディショナーの空調ゾーン

4 ゾーンエアコンディショナーでは、車内の温度を前後左右、個別に設定することができます。

エアコンディショナーシステムのすべての機能は、センターディスプレイとセンターコンソールのボタンで操作します。リアシートの機能は、トンネルコンソール後部のクライメートパネルからも操作することができます。

関連情報

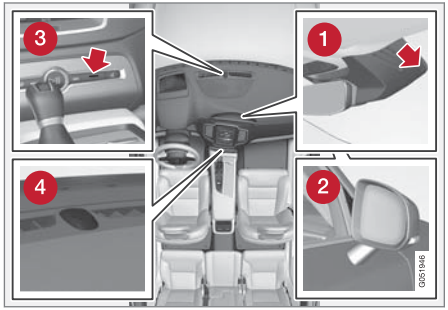
- エアコンディショナー – センサー（p. 227）
- 体感温度（p. 227）
- 空気の質（p. 228）
- エアコンディショナー（p. 230）
- エアディストリビューション（p. 243）
- パーキングエアコンディショナー*（p. 252）
- エアコンディショナーの音声操作（p. 163）

* オプション/アクセサリー。

エアコンディショナー – センサー

エアコンディショナーシステムは、複数のセンサーを使用して空調を調節します。

センサーの位置



1. 湿度センサー – ルームミラー側のケース内
2. 外気温センサー – 右側ドアミラー内
3. 車内温度センサー – センターコンソールのボタンの側
4. ソーラーセンサー – ダッシュボードの上部

注意

センサーが衣服などで覆われることがないように注意してください。

Interior Air Quality System*装備車には、エアコンディショナーシステム空気取入口にエア・クオリティ・センサーも装備されています。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 226）
- 体感温度（p. 227）
- Interior Air Quality System*（p. 229）

体感温度

エアコンディショナーシステムは、実際の温度ではなく、体感温度に基づいて空調を調節します。

車内で選択する温度は、その時点での車内および車両付近の周辺温度、気流速度、湿度、日射量などによる体感温度に対応します。

システムにはセンサーがあり、日光が車内のどちら側に差し込んでいるか検出します。したがって、左右両側を同じ温度に設定しても、左右の空気吹出口から流れる空気の温度が異なる場合があります。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 226）
- エアコンディショナー – センサー（p. 227）
- 温度の調節（p. 236）

空気の質

車内に採用されている素材と空気清浄システムにより、車内の空気は良好な状態に維持されます。

車内の素材

車内の内装は接触アレルギーや喘息を持つ方にも快適な設計です。

これらの素材は、車内に埃を発生させにくく、清掃しやすいように開発されたものです。

車内およびカーゴスペースのカーペットは、簡単に取り外して清掃することができます。

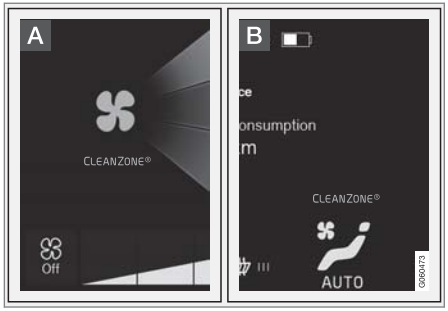
ボルボ推奨のクリーナーとカーケア用品を使用して、車内を清掃してください。

空気清浄システム

クリーンエアフィルターの他に、Clean Zone Interior Package* および Interior Air Quality System* も、車内の空気を良好な状態に保つのに役立ちます。

Clean Zone*

Clean Zone 機能は、車内の良質な空気におけるすべての条件が満たされているかどうかを確認します。



A インジケーターは、センターディスプレイのクライメートビューに表示されます。

B クライメートビューが開いていない場合、インジケーターはクライメート列に表示されます。

条件が満たされていない場合は、**Clean Zone（クリーンゾーン）**のテキストが白色になります。すべての条件が満たされていると、このテキストが青色に変わります。

確認される条件：

- すべてのドアとテールゲートが閉まっているか。
- すべてのパワーウインドとパノラマルーフ*が閉まっているか。
- 空気清浄システム Interior Air Quality System*がオンになっているか。
- ベンチレーションファンがオンになっているか。
- エアリサーキュレーションがオフになっているか。

注意

Clean Zone は空気品質が良好であることを示すものではなく、良好な空気品質の条件が満たされていることを示すだけです。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 226）
- クリーンエアフィルター（p. 229）
- Clean Zone Interior Package*（p. 229）
- Interior Air Quality System*（p. 229）
- 内装の清掃（p. 631）
- センターディスプレイのエアコンディショナー（p. 231）

* オプション/アクセサリー。

クリーンエアフィルター

車内に入る空気は、クリーンエアフィルターを通過して浄化されます。

クリーンエアフィルターの交換

エアコンディショナーシステムの本来の性能を維持するためには、フィルターを定期的に交換する必要があります。推奨交換間隔は、ボルボメンテナンスサービスプログラムに従ってください。埃や塵などの多い場所を走行する場合は、さらに頻繁な交換が必要です。

注意

クリーンエアフィルターには、数種類のタイプがあります。適切なクリーンエアフィルターを装着してください。

関連情報

- 空気の質 (p. 228)
- Clean Zone Interior Package* (p. 229)
- Interior Air Quality System* (p. 229)
- ボルボメンテナンスサービスプログラム (p. 586)

Clean Zone Interior Package*

Clean Zone Interior Package (CZIP)は、アレルギー源や喘息を引き起こす物質を車内から除去する一連の機能で構成されています。

次の事項が含まれています。

- 拡張ファン機能は、リモートコントロールキーで車両をロック解除したときにファンを作動させます。ファンにより、車内に新鮮な空気を導入します。この機能は必要に応じて作動し、一定時間が経過した後か、いずれかのドアを開けたときに解除されます。ファンの作動時間は、必要性の減少に応じ、車両製造後 4 年間を経過するまでの間に徐々に短くなります。
- 全自動の空気清浄システム Interior Air Quality System (IAQS)

関連情報

- 空気の質 (p. 228)
- クリーンエアフィルター (p. 229)
- Interior Air Quality System* (p. 229)

Interior Air Quality System*

Interior Air Quality System (IAQS)は、車内の空気から粒子状物質やガスを分離して、臭いや空気の汚れを低減する、全自動の空気清浄システムです。

IAQS は Clean Zone Interior Package (CZIP) に含まれており、車内の空気から、微粒子、炭化水素、窒素酸化物、地表オゾンなどの有害物質を除去します。

エア・クオリティ・センサーが外気の汚れを感知すると、空気取入口が閉じられ、エアリサーキュレーションがオンになります。

注意

車内の空気を清浄に保つため、エア・クオリティ・センサーは常時作動させてください。

寒冷気候では、曇りを防止するために内気循環(リサーキュレーション機能)は制限されています。

曇りが発生した場合、デフロスター機能を使用して、ウインドスクリーン、パワーウインドおよびリアウインドの曇りを取り除いてください。

エア・クオリティ・センサーのオン/オフ

エア・クオリティ・センサーのオン/オフを設定することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整** をタップします。
3. **空気清浄度センサー** を選択して、エア・クオリティ・センサーをオン/オフにします。

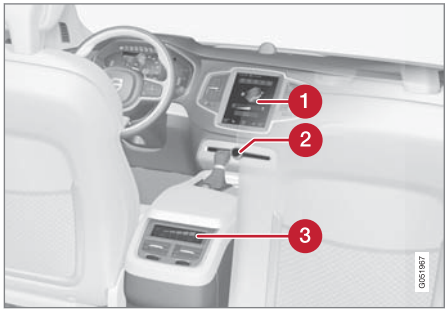
関連情報

- 空気の質（p. 228）
- クリーンエアフィルター（p. 229）
- Clean Zone Interior Package*（p. 229）
- エアリサーキュレーションのオン/オフ（p. 242）

エアコンディショナー

エアコンディショナーシステムの機能は、センターディスプレイ、センターコンソールのボタン、トンネルコンソール後部のクライメートパネル*で操作します。

エアコンディショナーの概要



1. センターディスプレイのエアコンディショナー
2. センターコンソールのデフロストボタン
3. トンネルコンソール後部のエアコンディショナー*

関連情報

- エアコンディショナー（p. 226）
- センターディスプレイのエアコンディショナー（p. 231）
- トンネルコンソール後部のエアコンディショナー*（p. 233）
- ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ（p. 240）

* オプション/アクセサリー。

センターディスプレイのエアコンディショナー

すべてのエアコンディショナー機能は、センターディスプレイのクライメートビューおよびクライメート列で操作することができます。

クライメート列

よく使うエアコンディショナー機能はクライメート列で操作することができます。

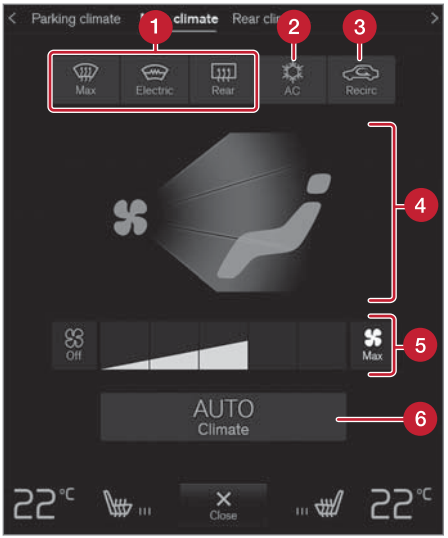
1. 運転席および助手席用温度コントロール
2. 運転席および助手席シートヒーター*およびベンチレーテッドシート*とステアリングホイールヒーター*用コントロール
3. クライメートビューへのアクセス用ボタン。ボタンのグラフィックは、起動中のエアコンディショナーの設定を示します。

クライメートビュー

クライメート列のセンターボタンを1回タップすると、クライメートビューが表示されます。クライメートビューはタブ(**メインエアコン**、**リアエアコン***および **駐車温度調整***)に分かれています。左/右にスワイプする、または個々の見出しをタップすると、タブが切り替わります。

メインクライメート

クライメート列の機能以外に、その他の主なエアコンディショナー機能も **メインエアコン** タブで操作することができます。



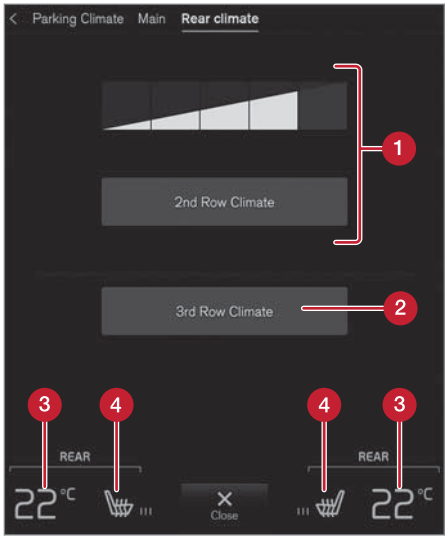
1. **Max、電気、リア** – ウインドおよびドアミラーデフロスター用コントロール
2. **エアコン** – エアコンディショナー用コントロール
3. **車内循環** – エアリサーキュレーション用コントロール
4. エアディストリビューション用コントロール

5 フロントシート用ファンコントロール(2ゾーンエアコンディショナーの場合、コントロールはリアシートと共通)

6 **AUTO** – クライメートの自動調節

リアエアコンディショナー*

リアシートのすべてのエアコンディショナー機能は、**リアエアコン** タブで操作することができます。



1 **2 列目の温度調整** – リアシートエアコンディショナー機能用コントロールリアシート用ファンコントロール

2 **3 列目の温度調整** – リアシート(3 列目)エアコンディショナー機能用コントロール*

3 リアシート用温度コントロール

4 リアシートヒーター用コントロール*

パーキングエアコンディショナー*

車両のパーキングエアコンディショナーは、**駐車温度調整** タブで操作することができます。

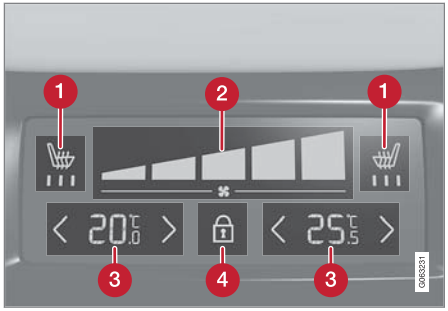
関連情報

- エアコンディショナー (p. 230)
- ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ (p. 240)
- エアコンディショナーのオン/オフ (p. 234)
- エアリサーキュレーションのオン/オフ (p. 242)
- エアディストリビューションの変更 (p. 244)
- ファンレベルの調節 (p. 238)
- エアコンディショナーの自動調節 (p. 233)
- 温度の調節 (p. 236)
- シートヒーター*のオン/オフ (p. 249)
- シートベンチレーション*のオン/オフ (p. 250)
- ステアリングホイールヒーター*のオン/オフ (p. 251)
- パーキングエアコンディショナー* (p. 252)

* オプション/アクセサリー。

トンネルコンソール後部のエアコンディショナー*

リアシートのエアコンディショナー機能は、トンネルコンソール後部のクライメートパネルで操作します。



1. リアシートヒーター用コントロール*
2. リアシート用ファンコントロール
3. リアシート用温度コントロール
4. クライメートパネルのロック/ロック解除ボタン

トンネルコンソールの後部にクライメートパネルがない車両にリアシートヒーター*が装備されている場合、トンネルコンソールの後部にリアシートヒーターを操作するためのボタンがあります。

クライメートパネルには、ファン速度および温度を不意に変更してしまうことを防止する画面ロックがあります。画面がロックされると、シートコントロール* およびロック解除ボタンのみが表示されます。

ロックを解除すると、ファン速度および温度はクライメートパネルで変更することができ、選択されているエアコンディショナー設定がすべて表示されます。使用しない状態が一定時間続くと、画面は自動的にロックされます。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 230）
- シートヒーター*のオン/オフ（p. 249）
- ファンレベルの調節（p. 238）
- 温度の調節（p. 236）

エアコンディショナーの自動調節

オートエアコンディショナーがオンの場合、複数のエアコンディショナー機能が自動的に制御されます。

クライメートビューの自動調節ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。

2. **AUTO** を短くまたは長くタップします。
   - 短いタップ – エアリサーキュレーション、エアコンディショナーおよびエアディストリビューションが自動制御されます。
   - 長いタップ – エアリサーキュレーション、エアコンディショナーおよびエアディストリビューションが自動制御され、温度およびファンレベルが標準設定の 22 ℃/72 ° F およびレベル **3**（リアシートはレベル **2**[1]）に変更されます。

   〉 エアコンディショナーの自動調節がオンになり、ボタンが点灯します。

注意

温度およびファン速度は、自動制御式エアコンディショナーシステムをオフにすることなく変更することができます。エアディストリビューションを手動で変更するか、または最大デフロスターをオンにすると、自動制御式エアコンディショナーシステムはオフになります。

関連情報

- センターディスプレイのエアコンディショナー（p. 231）
- エアコンディショナーのオン/オフ（p. 234）
- エアリサーキュレーションのオン/オフ（p. 242）
- エアディストリビューションの変更（p. 244）
- 温度の調節（p. 236）
- ファンレベルの調節（p. 238）

[1] 4 ゾーンエアコンディショナー*装備車。

エアコンディショナーのオン/オフ

エアコンディショナーは、必要に応じて冷房や除湿を行います。

メインエアコンディショナーのオン/オフ

クライメートビューのエアコンディショナーボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **エアコン** をタップします。

   〉 エアコンディショナーがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

   エアコンディショナーをオンにすると、エアコンディショナーシステムは必要に応じて作動と停止を自動的に制御します。

* オプション/アクセサリー。

注意

エアコンディショナーが最適な状態で作動するように、すべてのパワーウインドとパノラマルーフ*を閉じてください。

注意

ファンコントロールが **Off** 位置のときには、エアコンディショナーを作動させることはできません。

3 列目エアコンディショナー*のオン/オフ

クライメートビューの**リアエアコン**タブのエアコンディショナーボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開いて、**リアエアコン** のタブを開きます。
2. **3 列目の温度調整** をタップします。
   > エアコンディショナーがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

注意

3 列目シートのエアコンディショナーは、3 列目シートの乗員がシートベルトをすると自動的に作動します。

メインエアコンディショナーがオフの場合、または 2 列目シートのエアコンディショナー* がオフの場合、3 列目シートのエアコンディショナーを手動で作動させることはできません。

エンジン始動時の 3 列目シートエアコンディショナーのオン/オフ*

4 ゾーンエアコンディショナー*の場合、エンジン始動時に 3 列目シートのエアコンディショナーをオン/オフにするかどうかを設定することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整** をタップします。
3. **3 列目シート自動エアコン** を選択して、エンジン始動時の 3 列目シートのエアコンディショナーをオン/オフにします。

関連情報

- センターディスプレイのエアコンディショナー（p. 231）
- エアコンディショナーの自動調節（p. 233）

温度の調節

温度は左右、個別に設定することができます。4 ゾーンエアコンディショナー*では、温度を前後個別に設定することができます。

フロントシートの温度調節 [2]

クライメート列の温度ボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で左または右側温度ボタンをタップして、コントロールを開きます。

温度調節

2. 以下のいずれかの方法で温度を調節します。
   - コントロールを希望する温度までドラッグする。
   - +/– をタップして、温度を徐々に上昇/低下させる。

   › 温度が変化して、ボタンに設定温度が表示されます。

温度の同調

運転席側温度調節の同調ボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で運転席側温度ボタンをタップして、コントロールを開きます。
2. **温度同期** をタップします。

   › 車内のすべてのゾーンの温度が、運転席側の設定温度と同調し、温度ボタンの横に同調シンボルが表示されます。

温度同期 をもう一度タップするか、助手席側またはリアシート*温度設定を変更すると、同期は解除されます。

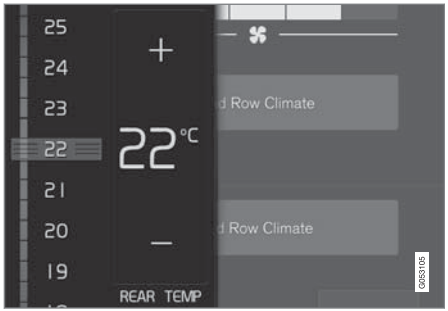
[2] 2 ゾーンエアコンディショナーの場合、リアシートにも適用。

リアシートの温度調節*

フロントシートからの操作

クライメートビューの**リアエアコン**タブの温度ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開いて、**リアエアコン** のタブを開きます。
2. 左または右側温度ボタンをタップして、コントロールを開きます。



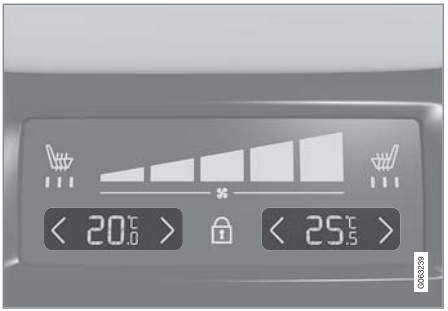
温度調節

3. 以下の方法で温度を調節します。
   - コントロールを希望する温度までドラッグする。
   - +/– をタップして、温度を徐々に上昇/低下させる。

   › 温度が変化して、ボタンに設定温度が表示されます。

リアシートからの操作

1. トンネルコンソールのクライメートパネルのロック解除ボタンを押して、コントロールボタンにアクセスします。



トンネルコンソール後部にあるクライメートパネルの温度調節

2. トンネルコンソールのクライメートパネルの左または右側 〈/〉 ボタンを押して、温度を徐々に低下/上昇させます。

   › 温度が変化し、クライメートパネルの画面に設定温度が示されます。

注意

希望する温度より高い温度または低い温度にセットしても、希望した温度に達するまでの時間が早まることはありません。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 230）
- センターディスプレイのエアコンディショナー（p. 231）

- トンネルコンソール後部のエアコンディショナー*（p. 233）
- エアコンディショナーの自動調節（p. 233）
- 体感温度（p. 227）

ファンレベルの調節

ファンは 5 段階の自動ファンレベルと Off および Max に設定することができます。4 ゾーンエアコンディショナー*では、ファンレベルを前後個別に設定することができます。

フロントシートのファンレベルの調節 [3]

クライメートビューのファンコントロールボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **Off**、**1-5**、**Max** の中から選択したいファンレベルをタップします。
   > ファンレベルが変更され、選択したレベルのボタンが点灯します。

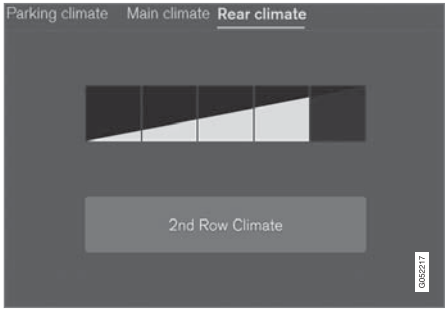
重要

ファンを完全に停止させると、エアコンディショナーが作動せず、ウインドの内側が曇るおそれがあります。

[3] 2 ゾーンエアコンディショナーの場合、リアシートにも適用。

リアシートのファンレベルの調節*

フロントシートからの操作



クライメートビューの**リアエアコン**タブのファンコントロールボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開いて、**リアエアコン** のタブを開きます。
2. **1**–**5** から設定したいファンレベルをタップします。

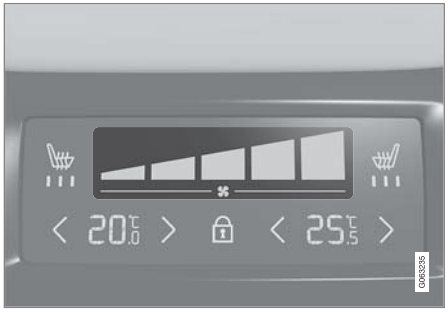
   2 列目シートおよび 3 列目シート*のファンレベルは、**2 列目の温度調整** をタップしてオフにすることができます。

   3 列目シートのファンレベルは 2 列目シートのレベルに従いますが、**3 列目の温度調整** をタップすると、単独でオフにすることができます*。

   › ファンレベルが変更され、選択したレベルのボタンが点灯します。

リアシートからの操作

1. トンネルコンソールのクライメートパネルのロック解除ボタンを押して、コントロールボタンにアクセスします。



トンネルコンソール後部にあるクライメートパネルのファンコントロール

2. **1**–**5** から設定したいファンレベルをタップします。

   › ファンレベルが変更され、選択したレベルのボタンが点灯します。

注意

フロントシートのファンレベルが **Off** 位置の場合、リアシートのファンレベルは設定することができません。

リアシートファン速度は、センターディスプレイのクライメートビューからのみオフにすることができます。

注意

エアコンディショナーシステムは、要求に応じて、選択されたファンレベルの範囲内で空気の流れを自動的に調整します。したがって、ファンレベルが同じでも、ファン速度が変化することがあります。

関連情報

- センターディスプレイのエアコンディショナー（p. 231）
- トンネルコンソール後部のエアコンディショナー*（p. 233）
- エアコンディショナーの自動調節（p. 233）

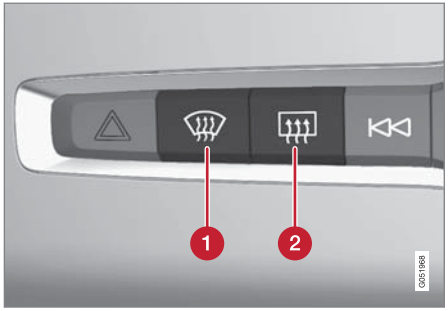
ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ

ウインドおよびドアミラーの霜や曇りを素早く取り除くときには、最大デフロスター、ヒーテッドウインドスクリーン*、リアウインドおよびドアミラーデフロスターの 3 つの機能を使用します。

センターコンソールのボタンによる操作

センターコンソールには、デフロスト機能に素早くアクセスするためのボタンがあります。

ヒーテッドウインドスクリーン*装備車の場合、最大デフロスターは、センターディスプレイのクライメートビューから単独でのみ作動させることができます。



センターコンソールのボタン

1. ヒーテッドウインドスクリーン*および最大デフロスターボタン
2. リアウインドおよびドアミラーデフロスターボタン

ヒーテッドウインドスクリーン非装備車：

- ボタン(1)を押します。
  - 最大デフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

ヒーテッドウインドスクリーン装備車：

- ボタン(1)を繰り返し押して、3 段階のレベルを切り替えます。
  - ヒーテッドウインドスクリーンオン
  - ヒーテッドウインドスクリーンおよび最大デフロスターオン
  - オフ
  - ヒーテッドウインドスクリーンおよび最大デフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

注意

ボタンを素早く 2 回押してヒーテッドウインドスクリーンをオフにすると、短時間でのファンレベルの上昇を抑制するために、最大デフロスターの起動までに若干の時間差が生じることがあります。

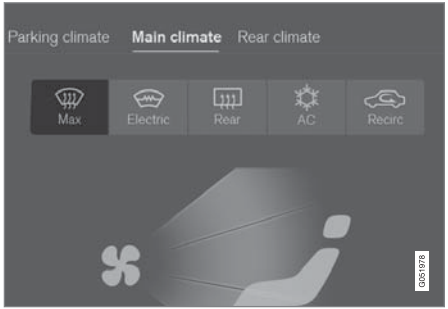
リアウインド/ドアミラーデフロスター：

- ボタン(2)を押します。
  - リアウインドおよびドアミラーデフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

* オプション/アクセサリー。

センターディスプレイのクライメートビューからの操作

最大デフロスターのオン/オフ



クライメートビューの最大デフロスターボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **Max** をタップします。
   › 最大デフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

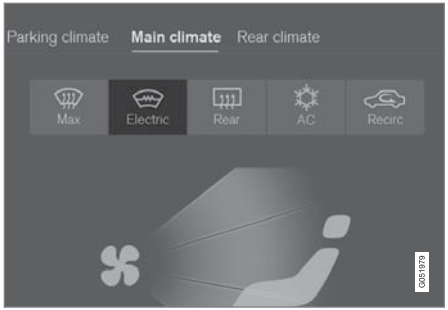
   最大デフロスターはクライメートおよびエアリサーキュレーションの自動制御をオフにし、エアコンディショナーをオンにして、ファンレベルを **5** に、温度を **HI** にします。

   最大デフロスターをオフにすると、エアコンディショナーシステムは前の設定に戻ります。

注意

ファンレベルを **5** に変更すると、騒音レベルが上昇します。

ヒーテッドウインドスクリーン*のオン/オフ



クライメートビューのヒーテッドウインドスクリーンボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **電気** をタップします。
   › ヒーテッドウインドスクリーンがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

注意

ウインドスクリーンの各側の端にある三角部分には電熱機能がないため、他の部分よりも除氷に時間がかかることがあります。

注意

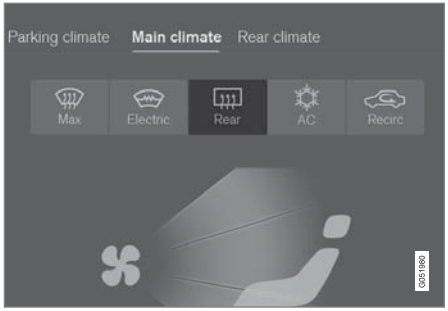
ヒーテッドウインドスクリーンは、トランスポンダーやその他の通信機器の性能に影響を及ぼすことがあります。

注意

Start/Stop 機能でエンジンがオートストップ中にヒーテッドウインドスクリーンを作動させると、エンジンは再始動します。

▶▶

リアウインドおよびドアミラーデフロスターのオン/オフ



クライメートビューのリアウインドおよびドアミラーデフロスターボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **リア** をタップします。
   › リアウインドおよびドアミラーデフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

ウインドデフロスターの自動起動のオン/オフ

エンジン始動時のヒーテッドウインドスクリーン*とリアウインドおよびドアミラーデフロスターの自動起動をオンまたはオフに設定することができます。自動起動をオンにすると、ウインドスクリーン/ウインドが凍結する、または曇るおそれがあるときにヒーターが起動します。

ウインドスクリーン/ウインドが十分に温かくなり、凍結または曇りが解消されると、ヒーターは自動的にオフになります。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整** をタップします。
3. **自動ウインドスクリーンデフロスター** を選択して、ヒーテッドウインドスクリーンの自動起動をオン/オフにします。

   自動リアウインドデフロスター を選択して、リアウインドおよびドアミラーデフロスターをオン/オフにします。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 230）
- センターディスプレイのエアコンディショナー（p. 231）

エアリサーキュレーションのオン/オフ

エアリサーキュレーションは、エアコンディショナーで車内の空気を再使用して、車外の汚れた空気や排気ガスが車内に入らないようにします。

クライメートビューのエアリサーキュレーションボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **車内循環** をタップします。
   › エアリサーキュレーションがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

* オプション/アクセサリー。

重要

リサーキュレーションを長時間続けると、特に冷寒時は霜や水滴が付着してウインドの内側が曇るおそれがあります。

注意

デフロスターの作動を最大にしているときには、エアリサーキュレーションをオンにすることができません。

エアリサーキュレーションタイマーのオン/オフ

エアリサーキュレーションタイマーをオンまたはオフに設定することができます。タイマーをオンにすると、エアリサーキュレーションは 20 分後に自動的にオフになります。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整** をタップします。
3. **リサーキュレーションタイマー** を選択して、エアリサーキュレーションタイマーをオン/オフにします。

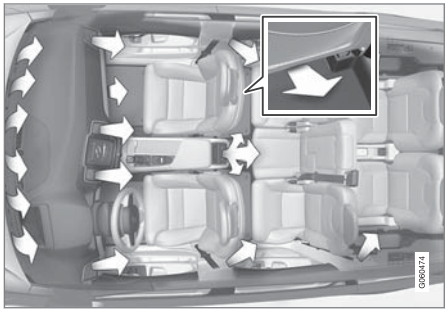
関連情報

- センターディスプレイのエアコンディショナー（p. 231）
- エアコンディショナーの自動調節（p. 233）

エアディストリビューション

エアコンディショナーシステムは取り入れた空気を車内数箇所の空気吹出口に分配します。

エアディストリビューションの概要



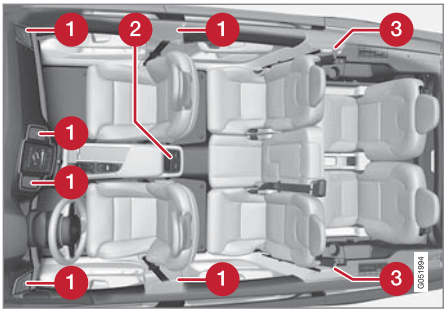
車内のエアディストリビューション（4 ゾーンエアコンディショナー）

オートおよびマニュアルエアディストリビューション

オートエアコンディショナーを使用していると、エアディスリビューションが自動的に行われます。必要に応じて、エアディストリビューションを手動で操作することもできます。

調節式空気吹出口

車内には、クライメートゾーンの数とシート数に応じて、調節式空気吹出口が 6 箇所、8 箇所*、または 10 箇所* にあります。



車内での調節式空気吹出口の位置

1. 2 ゾーンエアコンディショナー装備車の場合 – 空気吹出口はメーター・パネルに 4 箇所、フロントドアとリアドア間の各ドアピラーに 1 箇所ずつあります。
2. 4 ゾーンエアコンディショナー*装備車の場合 – トンネルコンソール後部に 2 箇所追加されます。
3. 4 ゾーンエアコンディショナー*および 7 人乗りの場合 – リアドア後方の各ドアピラーに 1 箇所ずつ追加されます。

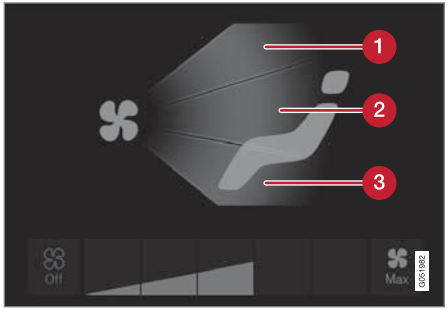
関連情報

- エアコンディショナー（p. 226）
- エアディストリビューションの変更（p. 244）
- 空気吹出口の開閉および向き変更（p. 245）

- エアディストリビューションオプション一覧表（p. 246）
- エアコンディショナーの自動調節（p. 233）

エアディストリビューションの変更

エアディストリビューションは必要に応じて手動で変更することができます。



クライメートビューのエアディストリビューションボタン

1. エアディストリビューション – ウインドスクリーンデフロスターベント
2. エアディストリビューション – ダッシュボードおよびセンターコンソールの空気吹出口
3. エアディストリビューション – フロアの空気吹出口

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. エアディストリビューションボタンを 1 つまたは複数押して、対応する空気吹出口を開閉します。
   > エアディストリビューションが変更され、ボタンが点灯/消灯します。

関連情報

- エアディストリビューション（p. 243）
- 空気吹出口の開閉および向き変更（p. 245）
- エアディストリビューションオプション一覧表（p. 246）
- センターディスプレイのエアコンディショナー（p. 231）
- エアコンディショナーの自動調節（p. 233）

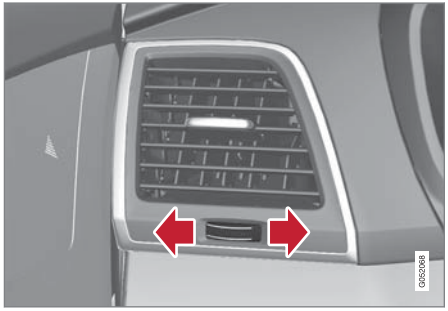
空気吹出口の開閉および向き変更

車内の空気吹出口の一部は、個別に開閉および向き変更を行うことができます。

ドアピラー空気吹出口およびダッシュボードアウター空気吹出口をパワーウインドに向けると、曇りを取り除くことができます。

気温の高いときにドアピラー空気吹出口を内側に向けると、空調を快適にすることができます。

空気吹出口の開閉

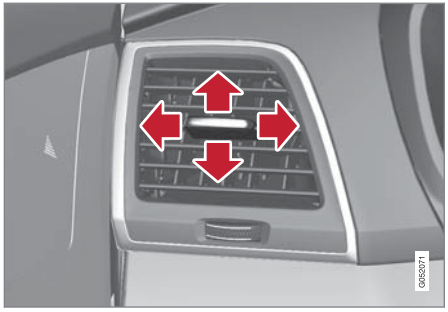


空気吹出口のコントロールダイヤル [4]

– コントロールダイヤルを回して、空気吹出口からの送風を導入/遮断します。

  コントロールダイヤルの白線の長さが伸びるほど、送風が強くなります。

空気吹出口の向き変更



空気吹出口のレバー [4]

– レバーを横方向/縦方向に動かして、空気吹出口からの送風の向きを変更します。

関連情報

- エアディストリビューション（p. 243）
- エアディストリビューションの変更（p. 244）
- エアディストリビューションオプション一覧表（p. 246）

[4] 図は概略図です。空気吹出口のデザインは場所により異なる場合があります。

エアディストリビューションオプション一覧表

エアディストリビューションは必要に応じて手動で変更することができます。設定では以下のオプションを使用できます。

	エアディストリビューション	目的
	マニュアルモードですべてのエアディストリビューションボタンの選択を解除すると、エアコンディショナーシステムは自動調節に戻ります。	
	デフロスターベントから主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。	気温が低く湿度が高いときに霜や曇りを防止します(この場合、ファンレベルは低よりも上にする必要があります)。
	ダッシュボードの空気吹出口から主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。	気温の高い状況で効率的に冷房します。

	エアディストリビューション	目的
	フロアの空気吹出口から主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。	フロアに温風または冷風を送り出します。
	ダッシュボードのデフロスターベントおよび空気吹出口からの主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。	気温が高く乾燥した状況で、快適な環境を提供します。
	デフロスターベントおよびフロアの空気吹出口から主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。	気温が低い状況または湿度の高い状況で、快適な環境を提供し、曇りを除去します。

	エアディストリビューション	目的
	ダッシュボードの空気吹出口とフロアの空気吹出口から主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。	晴天で涼しい気温のときに、快適な環境を提供します。
	デフロスターベント、ダッシュボードの空気吹出口、およびフロアの空気吹出口から主な送風。	車内をバランスの取れた快適な状態にします。

関連情報

- エアディストリビューション（p. 243）
- エアディストリビューションの変更（p. 244）
- 空気吹出口の開閉および向き変更（p. 245）
- センターディスプレイのエアコンディショナー（p. 231）

シートヒーター*のオン/オフ

寒いとき、快適性を向上させるために、運転席および他の座席のシートを温めることができます。

フロントシートヒーター*のオン/オフ

クライメート列のステアリングホイールおよびシートボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で左または右側のステアリングホイールおよびシートボタンをタップして、シートおよびステアリングホイールのコントロールを開きます。

   ベンチレーテッドシートまたはステアリングホイールヒーターが装備されていない場合、シートヒーターボタンはクライメート列で直接使用することができます。

2. シートヒーターボタンを繰り返しタップして、4 段階のレベル(**オフ**、**高**、**中**、**低**)を切り替えます。

   › レベルが変更され、ボタンにレベルが表示されます。

リアシートヒーター*のオン/オフ

フロントシートからの操作*

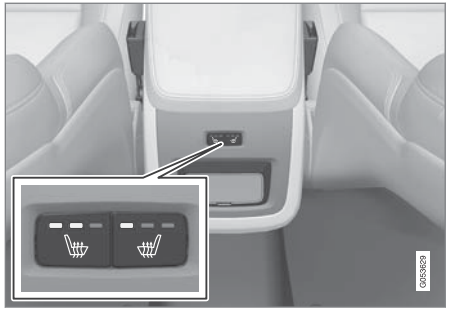
クライメートビューの**リアエアコン**グループのシートヒーターボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開いて、**リアエアコン** のタブを開きます。
2. シートヒーターボタンを繰り返しタップして、4 段階のレベル(**オフ**、**高**、**中**、**低**)を切り替えます。

   › レベルが変更され、ボタンにレベルが表示されます。

リアシートからの操作

2 ゾーンエアコンディショナーの場合：



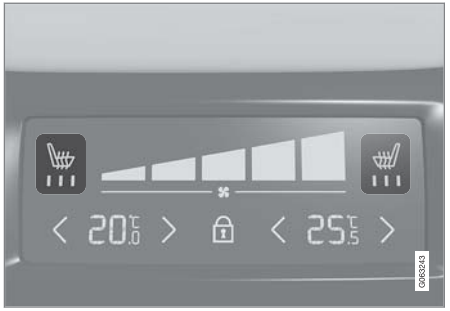
トンネルコンソール後部のシートヒーターボタン

– トンネルコンソール後部にあるシートヒーターの左または右側ボタンを繰り返し押して、4 段階のレベル(**オフ**、**高**、**中**、**低**)を切り替えます。

  › レベルが変化し、ボタンの LED が設定レベルを表示します。

4 ゾーンエアコンディショナーの場合*：

▸▸



トンネルコンソール後部にあるクライメートパネルのシートヒーター表示およびコントロール

– トンネルコンソールのクライメートパネルにあるシートヒーターの左または右側ボタンを繰り返しタップして、4 段階のレベル（**オフ**、**高**、**中**、**低**）を切り替えます。
  〉 レベルが変化し、クライメートパネルの画面に設定レベルが表示されます。

⚠ 警告

ヒーテッドシート機能の温度変化や温度上昇を感じにくい方や、ヒーテッドシートの操作のわからない方は、ヒーテッドシートに着座しないでください。火傷を負うおそれがあります。

シートヒーターの自動起動のオン/オフ

エンジン始動時のシートヒーターの自動起動をオンまたはオフに設定することができます。自動起動をオンにすると、外気温が低いときにヒーターが起動します。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整** をタップします。
3. **オート運転席ヒーターレベル** および **オート助手席シートヒーター** で、**オフ**、**低**、**中**、または **高** を選択して、運転席シートおよび助手席シートヒーターの自動作動をオン/オフにし、レベルを選択します。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 230）
- センターディスプレイのエアコンディショナー（p. 231）
- トンネルコンソール後部のエアコンディショナー*（p. 233）

シートベンチレーション*のオン/オフ

気温が高いときなどには、シートに通風して快適性を向上させることができます。

ベンチレーションシステムは、シートカバーを通して空気を吸い出すシートファンおよびバックレストファンで構成されています。車内の温度が下がるほど、冷房効果が高くなります。このシステムはエンジン回転中に作動させることができます。

＊ オプション/アクセサリー。

フロントシートベンチレーション*のオン/オフ

クライメート列のステアリングホイールおよびシートボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で左または右側のステアリングホイールおよびシートボタンをタップして、シートおよびステアリングホイールのコントロールを開きます。

   シートヒーターまたはステアリングホイールヒーターが装備されていない場合、ベンチレーテッドシートボタンはクライメート列で直接使用することができます。

2. ベンチレーテッドシートボタンを繰り返しタップして、4 段階のレベル(**オフ**、**高**、**中**、**低**)を切り替えます。
   > レベルが変更され、ボタンにレベルが表示されます。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 230)
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 231)

ステアリングホイールヒーター*のオン/オフ

寒いとき、運転者が快適に運転できるように、ステアリングホイールを温めることができます。

ステアリングホイールヒーターのオン/オフ

クライメート列のステアリングホイールおよびシートボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で運転席側のステアリングホイールおよびシートボタンを押して、シートおよびステアリングホイールのコントロールを開きます。

   シートヒーターまたはベンチレーテッドシートが装備されていない場合、ステアリングホイールヒーターボタンはクライメート列で直接使用することができます。

2. ステアリングホイールヒーターのボタンを繰り返しタップして、4 段階のレベル(**オフ**、**高**、**中**、**低**)を切り替えます。
   > レベルが変更され、ボタンにレベルが表示されます。

ステアリングホイールヒーターの自動起動のオン/オフ

エンジン始動時のステアリングホイールヒーターの自動起動をオンまたはオフに設定することができます。自動起動をオンにすると、外気温が低いときにヒーターが起動します。

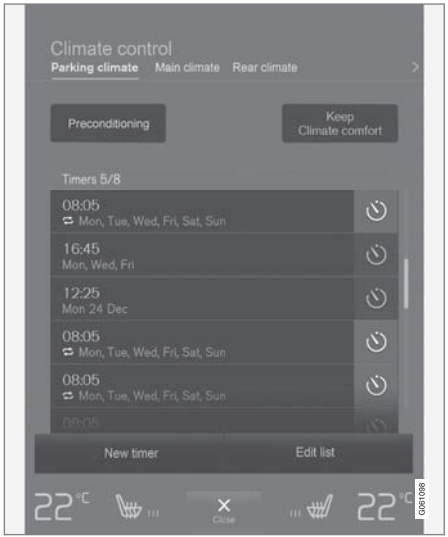
1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整**をタップします。
3. **オートステアリングホイールヒーターレベル** で、**オフ**、**低**、**中** または **高** を選択して、ステアリングホイールヒーターの自動作動をオン/オフにし、レベルを選択します。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 230)
- センターディスプレイのエアコンディショナー (p. 231)
- ステアリングホイール (p. 177)

パーキングエアコンディショナー*

駐車中に、車内の空調環境をプリコンディショニングまたは維持することができます。



プリコンディショニングおよび快適環境維持機能は、センターディスプレイのクライメートビューの**駐車温度調整**タブから操作します。

プリコンディショニング

走行前の車両のプリコンディショニングにより、走行中に必要なエネルギーと摩耗を低減できます。

プリコンディショニングはダイレクトスタートを使用する方法とタイマー設定で作動させる方法があります。

この機能は状況に応じていくつかのシステムを使用します。

- 寒冷時には、パーキングヒーター*により車内およびエンジンが暖められます。
- 暖かいときには、ベンチレーションにより車外から空気が取り込まれて車内が冷やされます。

> **注意**
>
> 車内のプリコンディショニング時には、エアコンディショナーの設定温度ではなく、快適温度になるように車内温度が調節されます。

快適環境維持機能

駐車中に車内の空調環境を維持することができます。駐車中にエンジンを停止していても、運転者または乗員が車内で快適な状態を維持したい場合などに有効です。

快適環境維持機能はダイレクトスタートでのみ作動させることができます。

* オプション/アクセサリー。

この機能は状況に応じていくつかのシステムを使用します。

- 気温が低いときには、エンジンの余熱により車内が快適な温度まで暖められます。
- 暖かいときには、ベンチレーションにより車外から空気が取り込まれて車内が冷やされます。

注意

車両を外側からロックすると、余熱の不必要な使用を避けるため、快適環境維持機能はオフになります。この機能は、運転者または乗員が車内に残っているときに、車内の環境を快適な状態に維持するために使用されます。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 226）
- プリコンディショニング*の開始/停止（p. 253）
- プリコンディショニングタイマー*（p. 254）
- 快適環境維持機能*のオン/オフ（p. 257）
- パーキングエアコンディショナー*のシンボルおよびメッセージ（p. 258）
- ヒーター*（p. 259）
- パーキングヒーター*（p. 260）

プリコンディショニング*の開始/停止

プリコンディショニングを行うと、エンジンを暖めたり、車内の暖房/換気ができます。この機能は携帯電話またはセンターディスプレイからダイレクトスタートを使用することができます。

センターディスプレイからの開始/停止

クライメートビューの**駐車温度調整**タブのプリコンディショニングボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択します。
3. **プリセット** をタップします。
   > プリコンディショニングがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

注意

車内のプリコンディショニング中はドアや窓を閉めてください。

警告

ヒーター*が装備されている場合、以下の場所ではプリコンディショニングを使用しないでください。

- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出されます。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

プリコンディショニングは、かなり前に設定したタイマーで開始される可能性があるため注意が必要です。

アプリからの開始*

プリコンディショニングの作動開始と選択した設定に関する情報は、Volvo On Call*アプリがインストールされているデバイスから管理することができます。プリコンディショニングは車内

▶▶

◀◀ を快適な温度まで暖房するか、または外気を導入して車内を換気します。

Volvo On Call* アプリを使用して、エンジンリモートスタート機能(Engine Remote Start - ERS)[5] で車内のプリコンディショニングを行うこともできます。

関連情報

- パーキングエアコンディショナー* (p. 252)
- プリコンディショニングタイマー* (p. 254)
- 快適環境維持機能*のオン/オフ (p. 257)
- パーキングエアコンディショナー*のシンボルおよびメッセージ (p. 258)
- ヒーター* (p. 259)

プリコンディショニングタイマー*

プリコンディショニングが指定時刻に終了するように、タイマーを設定することができます。

タイマーは以下を対象に最大 8 通りの設定に対応することができます。

- 特定の日付の時刻
- 特定の曜日(1 日または複数)、繰り返し起動あり/なし

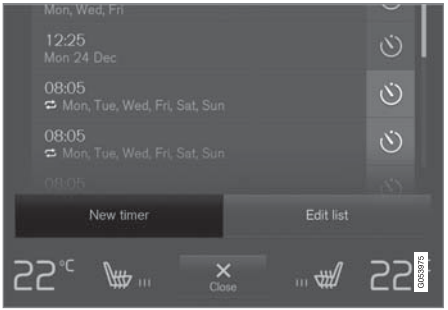
関連情報

- パーキングエアコンディショナー* (p. 252)
- プリコンディショニングタイマー*の設定 (p. 254)
- プリコンディショニングタイマー*のオン/オフ (p. 256)
- プリコンディショニング*の開始/停止 (p. 253)
- パーキングエアコンディショナー*のシンボルおよびメッセージ (p. 258)

プリコンディショニングタイマー*の設定

プリコンディショニングタイマーは最大で 8 通りの設定時刻に対応することができます。

タイマー設定の追加



クライメートビューの**駐車温度調整**の設定時刻追加用ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択します。

[5] 特定市場。

3. **タイマーを追加** をタップします。
   > ポップアップウィンドウが表示されます。

注意

すでにタイマーに 8 個の設定が入力されている場合、タイマー設定時刻を追加することはできません。タイマー設定時刻を新たに 1 つ追加するには、既存の設定時刻を 1 つ削除してください。

4. 特定日の時刻を設定するには、**日付** をタップします。

   特定曜日(1 日または複数)の時刻を設定するには、**曜日** をタップします。

   曜日 を使用する場合：**毎週 繰り返し** ボックスのチェックを付けて/外して、毎週をオン/オフにします。

5. **日付** を使用する場合：矢印で日付リストをスクロールして、プリコンディショニングの日付を選択します。

   曜日 を使用する場合：曜日のボタンをタップして、プリコンディショニングの曜日を選択します。

6. 矢印でスクロールして、プリコンディショニングを終了する時刻を設定します。

7. **確認** をタップして、設定時刻を追加します。
   > 設定時刻がリストに追加され、有効になります。

警告

ヒーター*が装備されている場合、以下の場所ではプリコンディショニングを使用しないでください。

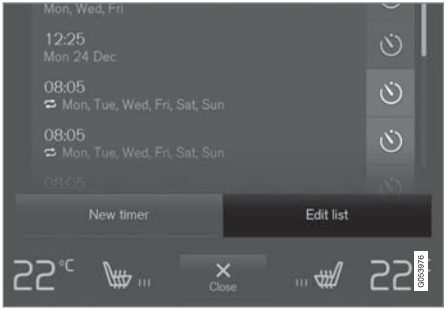
- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出されます。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

プリコンディショニングは、かなり前に設定したタイマーで開始される可能性があるため注意が必要です。

設定時刻の編集

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択します。
3. 変更する設定時刻をタップします。
   > ポップアップウィンドウが表示されます。
4. 「タイマー設定の追加」と同じ方法で設定時刻を変更します。

設定時刻の削除



クライメートビューの**駐車温度調整**タブのリスト編集/設定時刻削除用ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択します。
3. **リストを編集** をタップします。
4. リストの右にある削除アイコンをタップします。
   > アイコンが **削除** に変わります。
5. **削除** をタップして確定します。
   > 設定時刻がリストから削除されます。

関連情報

- プリコンディショニングタイマー* (p. 254)
- プリコンディショニングタイマー*のオン/オフ (p. 256)
- ヒーター* (p. 259)

プリコンディショニングタイマー*のオン/オフ

プリコンディショニングタイマーの設定時刻は、必要に応じてオンまたはオフにすることができます。

クライメートビューの**駐車温度調整**タブのタイマーボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択します。
3. 設定の右にあるタイマーボタンをタップして、設定時刻をオン/オフにします。
   > 設定時刻がオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

⚠ 警告

ヒーター*が装備されている場合、以下の場所ではプリコンディショニングを使用しないでください。

- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出されます。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

プリコンディショニングは、かなり前に設定したタイマーで開始される可能性があるため注意が必要です。

関連情報

- プリコンディショニングタイマー* (p. 254)
- プリコンディショニングタイマー*の設定 (p. 254)
- ヒーター* (p. 259)

* オプション/アクセサリー。

快適環境維持機能*のオン/オフ

快適環境維持機能は、走行後に車内の空調環境を維持します。この機能はセンターディスプレイからダイレクトスタートを使用することができます。

クライメートビューの**駐車温度調整**タブの快適環境維持機能ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択します。
3. **車内温度を 快適に保つ** をタップします。
   > 快適環境維持機能がオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

注意

車内の空調を維持するために必要な余熱がエンジンに残っていない場合、または外気温が約 20 ℃を超えている場合、快適環境維持機能を起動することはできません。

注意

車両を外側からロックすると、余熱の不必要な使用を避けるため、快適環境維持機能はオフになります。この機能は、運転者または乗員が車内に残っているときに、車内の環境を快適な状態に維持するために使用されます。

関連情報

- パーキングエアコンディショナー* (p. 252)
- プリコンディショニング*の開始/停止 (p. 253)

パーキングエアコンディショナー*のシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイには、パーキングエアコンディショナーに関する多くのシンボルおよびメッセージが表示される可能性があります。

パーキングヒーターが作動しているときには、ドライバーディスプレイにこのシンボルが点灯します。

シンボル	メッセージ	意味
	ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ **販売店に お問い合わせ下さい**	パーキングエアコンディショナーの作動が解除されています。すみやかにサービス工場[A] に連絡し、機能の点検を受けてください。
	ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ **一時的に利用できません**	パーキングエアコンディショナーの作動が一時的に解除されています。しばらく経っても問題が解消されない場合、サービス工場[A]に連絡して、機能の点検を受けてください。
	ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ **利用不可。 燃料が少なすぎます。**	燃料残量が少なすぎてパーキングヒーター*を作動させることができない場合、パーキングエアコンディショナーを作動させることはできません。車両の通常の燃料タンクに給油してください。
	ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ **利用不可。バッテリーの 充電量が少なすぎます。**	パーキングヒーター* を作動するには、メインバッテリーの充電レベルが低すぎる場合、パーキングエアコンディショナーを作動させることはできません。バッテリーを充電してください。

[A] ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

関連情報

- パーキングエアコンディショナー*（p. 252）
- プリコンディショニング*の開始/停止（p. 253）
- 快適環境維持機能*のオン/オフ（p. 257）
- プリコンディショニングタイマー*（p. 254）
- ヒーター*（p. 259）
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理（p. 153）

ヒーター*

ヒーターは、走行前および走行中にエンジンおよび車内を適切な温度にするために役立ちます。

ヒーターには補助機能が 2 つあります。

- パーキングヒーター – パーキングエアコンディショナーのプリコンディショニング* が作動したときに、必要に応じて、エンジンおよび車内を暖めます。
- アディショナルヒーター – 走行中、必要に応じて車内およびエンジンを暖めます。

ヒーターはフューエルドリブンヒーターで、右フロントホイールハウジングに取り付けられています。

注意

ヒーターが作動しているとき、右フロントホイールハウジングから煙りが発生し、低いブーンという音が聞こえることがあります。車両後部からフューエルポンプのカチカチ音が聞こえることもあります。これは異常ではありません。

バッテリーおよび充電

ヒーターは車両のメインバッテリーによって作動します。メインバッテリーの充電レベルが低すぎる場合、ヒーターのスイッチは自動でオフになり、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。

注意

ヒーターを使用する必要がある場合、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

燃料および給油

燃料給油口フラップの警告表示

ヒーターは通常の燃料タンクから送られる燃料を使用します。

急勾配の坂道に駐車するときは、ヒーターに燃料が供給されるように、車両前部が坂の下側を向くようにしてください。

燃料タンクの残量が低すぎる場合、ヒーターのスイッチは自動でオフになり、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。

注意

ヒーターを使用する必要がある場合、車両の通常の燃料タンクに燃料が十分に入っていることを確認してください。

警告

燃料がこぼれると、引火するおそれがあります。給油する前に、フューエルドリブンヒーターのスイッチを必ずオフにしてください。

ドライバーディスプレイで、ヒーターがオフになっていることを確認してください。パーキングヒーターとして機能しているときには、このシンボルは点灯します。

関連情報

- パーキングヒーター*（p. 260）
- アディショナルヒーター*（p. 261）
- パーキングエアコンディショナー*（p. 252）

パーキングヒーター*

車両のプリコンディショニングが作動している場合、必要に応じて、走行前にパーキングヒーターで車内が暖められます。

パーキングヒーターは、ヒーターの 2 つの補助機能のうちの 1 つです。ヒーターは右フロントホイールハウジングに取り付けられています。

パーキングヒーターが作動しているときには、ドライバーディスプレイにこのシンボルが点灯します。

注意

ヒーターが作動しているとき、右フロントホイールハウジングから煙りが発生し、低いブーンという音が聞こえることがあります。車両後部からフューエルポンプのカチカチ音が聞こえることもあります。これは異常ではありません。

パーキングエアコンディショナーのプリコンディショニング* がオンで、車内を暖める必要がある場合、パーキングヒーターは自動的に作動します。

適切な温度、タイマー設定時間、またはヒーターの最大作動時間に達すると、自動でオフになります。

ヒーターの最長作動時間は 40 分です。

注意

パーキングヒーターを使用する必要がある場合、車両の通常の燃料タンクに燃料が十分に入っていることを確認してください。

パーキングヒーターを使用する必要がある場合、メインバッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

重要

パーキングヒーターの使用および短距離走行を交互に繰り返すと、バッテリーが放電してエンジンが始動できなくなる場合があります。

定期的にパーキングヒーターを使用する場合は、パーキングヒーターを作動させた時間と同じ時間、車両を走行させるようにしてください。パーキングヒーターで消費されたエネルギーと同量のエネルギーを車両のバッテリーに充電することができます。パーキングヒーターは 1 回につき最長 40 分間使用されます。

警告

ヒーター*が装備されている場合、以下の場所ではプリコンディショニングを使用しないでください。

- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出されます。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

プリコンディショニングは、かなり前に設定したタイマーで開始される可能性があるため注意が必要です。

警告

パーキングヒーター から燃料の臭い、異常な量の煙、黒煙、異音が発生している場合、ヒーターをオフにし、可能な場合にはそのヒューズを引き抜いてください。修理について、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

* オプション/アクセサリー。

関連情報
- ヒーター*（p. 259）
- アディショナルヒーター*（p. 261）
- パーキングエアコンディショナー*（p. 252）
- ヒューズ – エンジンルーム内（p. 616）

アディショナルヒーター*

アディショナルヒーターは走行中に車内およびエンジンを暖めるのに役立ちます。

アディショナルヒーターは、ヒーターの 2 つの補助機能のうちの 1 つです。ヒーターは右フロントホイールハウジングに取り付けられています。

> **注意**
>
> ヒーターが作動しているとき、右フロントホイールハウジングから煙りが発生し、低いブーンという音が聞こえることがあります。車両後部からフューエルポンプのカチカチ音が聞こえることもあります。これは異常ではありません。

アディショナルヒーターは、走行中にヒーターが必要になると自動で作動し、制御されます。

車両がオフになると自動でオフになります。

> **注意**
>
> 補助ヒーターを使用する必要がある場合、車両の通常の燃料タンクに燃料が十分に入っていることを確認してください。

アディショナルヒーター自動起動のオン/オフ

アディショナルヒーターの自動起動はオンまたはオフに設定することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整** をタップします。
3. **追加ヒーター** を選択して、アディショナルヒーターの自動起動をオン/オフにします。

> **注意**
>
> 短距離の走行では、アディショナルヒーターの自動起動をオフにすることをお薦めします。

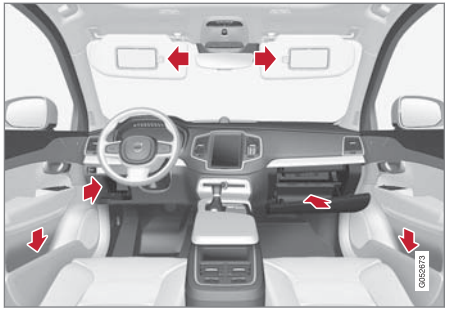
関連情報
- ヒーター*（p. 259）
- パーキングヒーター*（p. 260）

荷物の積み込みおよび収納

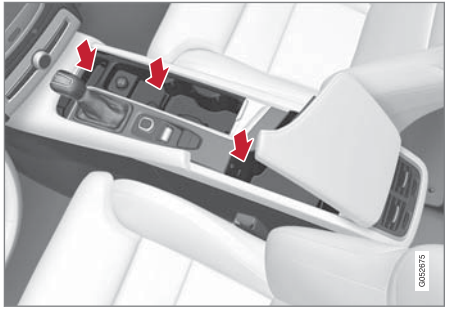
車内インテリア

車内インテリアおよび収納場所

フロントシート

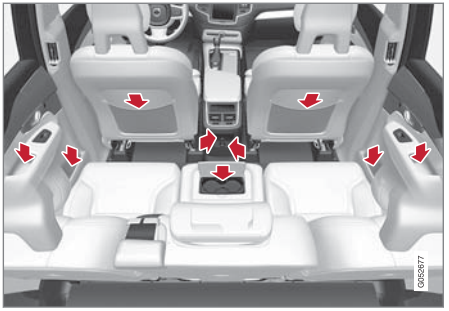


ドアパネルとステアリングホイール、グローブボックスおよびサンバイザーの小物入れ



トンネルコンソールのカップホルダー、電源ソケットおよびUSBポート付き収納スペース

2列目シート



ドアパネルの小物入れ、センターシートバックレストのカップホルダー*、フロントシートバックレストの小物入れポケット*、トンネルコンソールの電源ソケット

3列目シート*

サイドパネルの小物入れおよびカップホルダーとシート間の収納スペース

⚠ 警告

携帯電話やカメラ、アクセサリー用リモートコントロールなど固定されていない物体は、グローブボックスや収納ポケットに収納しておいてください。急ブレーキをかけたときや衝突事故の際に、乗員がケガをするおそれがあります。

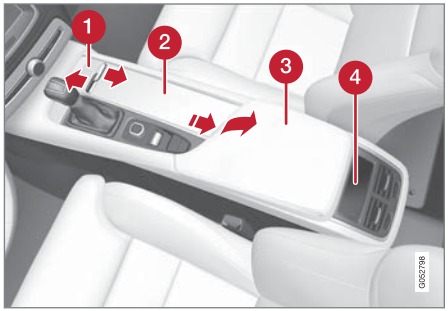
関連情報

- トンネルコンソール（p. 265）
- グローブボックスの使用（p. 270）
- サンバイザー（p. 270）
- 電源ソケット（p. 266）

＊ オプション/アクセサリー。

トンネルコンソール

トンネルコンソールはフロントシートの間にあります。



1. フタ付き小物入れ*。ハンドルを押すとフタを開閉できます。
2. 12V 電源ソケットと運転席および助手席用カップホルダーのある収納ボックス
3. アームレスト下の小物入れおよび USB ポート
4. リアシートエアコンディショナー機能*用コントロールまたは小物入れ

注意

アラーム*のセンサーの 1 つは、トンネルコンソールのカップホルダーの下にあります。カップホルダーにコインやキーなど、金属製の物を入れないようにしてください。アラームが作動することがあります。

関連情報

- 車内インテリア（p. 264）
- 電源ソケット（p. 266）
- USB ポート経由でデバイスを接続する（p. 522）
- トンネルコンソール後部のエアコンディショナー*（p. 233）

電源ソケット

トンネルコンソールに 12V 電源ソケット 2 つと 230V 電源ソケット*1 つがあり、カーゴスペースに 12V 電源ソケット*が 1 つあります。

電源ソケットを使用する際は、車両を I のイグニッション位置にしてください。電源ソケットはメインバッテリーの充電残量が低下しすぎない限り使用可能です。

エンジンを停止して車両をロックすると、電源ソケットは使用できなくなります。エンジンを停止した後、車両をロックしていない場合、またはロックによる電源遮断を一時的に無効にした状態でロックした場合、電源ソケットはエンジン停止からさらに 10 分間使用し続けることができます。

注意

エンジンをオフにした状態で電気ソケットを使用すると、メインバッテリーが放電するリスクがあり、これにより機能が制限される場合があることに注意してください。

電気ソケットに接続されているアクセサリーは、プリコンディショニングの使用中、または車両の電気系統が切り離されている場合でも作動することがあります。したがって、メインバッテリーの放電を防止するため、使用していないコネクターは切り離してください。

トンネルコンソールの電源ソケット – リアシート*

トンネルコンソールの電源ソケット(2 列目シート)

電源ソケットは、充電器やポータブルコンピューターなど、230V の電源を必要とするさまざまなアクセサリーに使用することができます。

* オプション/アクセサリー。

電源ソケットの使用

1. 電源ソケットカバーを引き下げて、アクセサリーのプラグを差し込みます。
   > 電源ソケットの LED[1] ランプが状態を表示します。
2. ランプが緑色で点灯していることを確認します。電源ソケットはこの状態のときにのみ使用できます。
3. アクセサリーを取り外すときには、プラグを引き抜きます。ケーブルを引っ張らないでください。

   電源ソケットを使用しないとき、または電源ソケットの近くにだれもいないときには、カバーを引き上げてください。

重要

ソケットの最大出力は、150W です。

重要

- アクセサリーを接続する際は、大きな、または重いコネクターは使用しないでください。ソケットを損傷したり、走行中に緩んだりするおそれがあります。
- 車両の電波受信機、または電気系統などに干渉するアクセサリーは使用しないでください。
- アクセサリーを配置する際は、急ブレーキや追突に備え、運転者や乗員がケガをしないよう配慮してください。
- 接続したアクセサリーは熱を発生し、乗員が火傷をしたりインテリアを焦がしたりするおそれがあるため、十分に注意してください。

警告

- 損傷や不具合のないアクセサリーのみ、使用してください。アクセサリーは電源ソケット用に設計されたコネクターを備え、230V、50Hz に対応している必要があります。アクセサリーは CE マーク、UL マークまたは同等の安全マークを取得している必要があります。
- 電源ソケット、コネクター、またはアクセサリーが、水やその他の液体に接触しないよう、十分にご注意してください。電源ソケットが損傷している、または水やその他の液体に接触しているおそれがあるときは、触れたり、使用したりしないでください。
- 分岐ソケット、アダプター、または延長コードを電源ソケットに接続しないでください。電源ソケットの安全機能を損なうおそれがあります。
- ソケットには保護カバーが備えられています。カバーの役割を妨げるものがソケットから突き出ていたり、ソケットを損傷したりしていないか、確認します。電源ソケットを使用しているときは、保

[1] LED (Light Emitting Diode)

護者の同伴なくお子様を車内に残して離れないようにしてください。

上記の注意点を守らなかった場合、深刻な、または死亡にいたる感電を引き起こす場合があります。

状態表示

電源ソケットの LED[2] ランプがソケットの状態を表示します。

状態表示	原因	対処
緑色に点灯	電源ソケットから接続機器に電流が供給されています。	なし。
オレンジ色に点滅	電源ソケットの電圧変換器の温度が高すぎます(アクセサリーの消費電流が大きすぎる、車内の温度が高すぎるなどの理由により)。	プラグを抜き、電圧変換器の温度が下がってからプラグを再度差し込んでください。
	接続されているアクセサリーの消費電流が大きすぎます(断続的または常時)、またはアクセサリーに不具合があります。	なし。そのアクセサリーは電源ソケットに接続できません。
消灯	電源ソケットはプラグが差し込まれていることを認識していません。	プラグが電源ソケットに正しく差し込まれていることを確認してください。
	電源ソケットに電力が供給されていません。	イグニッション位置を I にしてください。
	電源ソケットに供給されていた電力が遮断されました。	エンジンを始動するか、メインバッテリーを充電してください。

問題が解決しない場合、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

⚠ 警告

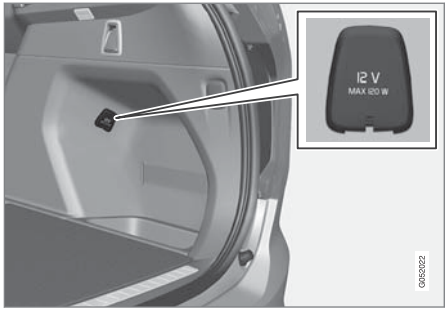
ご自身で、230V 電源ソケットの改造や修理を絶対にしないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

[2] LED (Light Emitting Diode)

12V 電源ソケット

トンネルコンソールの 12V 電源ソケット(フロントシート)

トンネルコンソールの 12V 電源ソケット(2 列目シート)



カーゴスペースの 12V 電源ソケット*

この電源ソケットは、ミュージックプレーヤー、保冷ボックス、携帯電話など、12V 電源用に設計されているさまざまなアクセサリーに使用することができます。

重要

各ソケットの最大出力は、120W (10A)です。

電源ソケットの使用

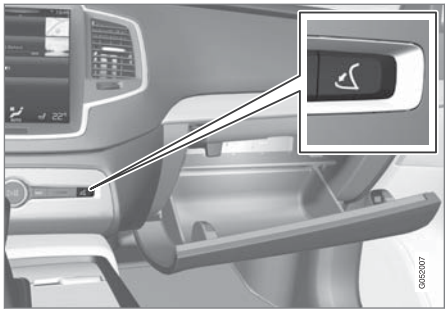
1. ブランキングプラグ(トンネルコンソール)を取り外すか、カバー(カーゴスペース)を開けて、アクセサリーのプラグを差し込みます。
2. 電源ソケットを使用しないとき、または電源ソケットの近くにだれもいないときには、アクセサリーのプラグを抜き、ブランキングプラグ(トンネルコンソール)を元通りに取り付けるか、カバー(カーゴスペース)を元に戻してください。

関連情報

- 車内インテリア (p. 264)

グローブボックスの使用

グローブボックスは助手席側にあります。



グローブボックスとセンターコンソールの開ボタン

グローブボックスには、オーナーズマニュアル(印刷版)や地図などを収納することができます。リッドの内側にペンホルダーもあります。グローブボックスの上端にはカードホルダーもあります。

グローブボックスを開ける

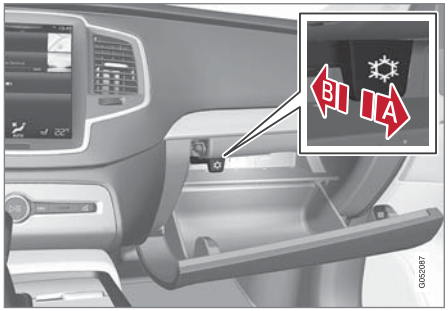
– センターコンソールの開ボタンを押します。
  › グローブボックスが開きます。

グローブボックスのロック/ロック解除

グローブボックスはロック(いわゆるプライベートロック)することができるため、車両を点検整備に出すときやホテルで駐車サービスに預けるときなどに役立ちます。プライベートロックではテールゲートもロックされます。

グローブボックスの保冷機能の使用*

グローブボックスは、飲料や食品の保冷に使用することができます。保冷機能は、エアコンディショナーシステムが作動しているとき(車両のイグニッション位置が II またはエンジンが作動しているとき)に動作します。



A 保冷オン

B 保冷オフ

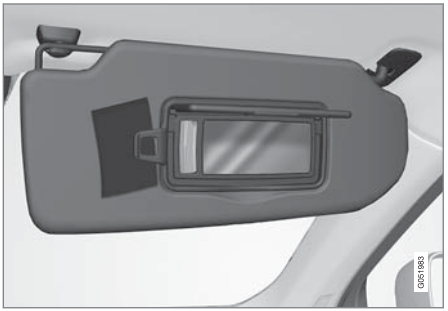
– レバーを車内方向/グローブボックス方向に動かすと、保冷機能がオン/オフになります。

関連情報

- 車内インテリア (p. 264)
- プライベートロックの使用 (p. 296)

サンバイザー

各サンバイザーの裏には、カードホルダー付きメイクアップミラーがあります。



ランプおよびカードホルダー付きのメイクアップミラー

メイクアップミラーランプ*は、カバーを持ち上げると自動的に点灯します。

メイクアップミラーのフレームには、カードやチケットなどを留めておくためのホルダーが付いています。

関連情報

- 車内インテリア (p. 264)

* オプション/アクセサリー。

トランクルーム/カーゴスペース

車両には、大きい荷物を運搬および固定できる、柔軟性の高いカーゴスペースが備えられています。

2 列目シートおよび 3 列目シート*のバックレストを倒すと、カーゴスペースが広がります。荷物の積み下ろしをしやすくしたいときは、オートレベライザー機能*を使用して、車両の後部を下げることができます。荷物固定用アイレットまたはバッグホルダーを使用すると、荷物を固定することができ、引き出し式のラゲッジカバー*を使用すると、荷物を隠すことができます。

けん引フックと緊急パンクリペアーキットまたはスペアタイヤ*はトランクルーム/カーゴスペースのフロアの下に保管されています。

関連情報

- 2 列目シートのバックレストを倒す (p. 173)
- 3 列目シート*のバックレストを倒す (p. 176)
- オートレベライザー*および衝撃吸収 (p. 477)
- 荷物の積み込みに関する推奨事項 (p. 271)
- ツールキット (p. 579)

荷物の積み込みに関する推奨事項

車両に荷物を積み込むときには、さまざまな点について留意する必要があります。

最大許容重量は、車両重量により異なります。乗員および車両に装着されているアクセサリーの総重量の分だけ、最大許容重量は小さくなります。

⚠ 警告

車両の走行性能は、積載物の重量や積載位置の影響を受けます。

トランクルーム/カーゴスペースへの荷物の積み込み

- 荷物は、リアシートのバックレストにもたれかかるように置いてください。
- 荷物を中央に置いてください。
- 重い荷物は、できるだけ低い位置に載せてください。倒したバックレストに重い荷物を置くことは避けてください。
- 鋭利な荷物は、内張りを傷付けないように柔らかい物で覆ってください。
- 荷物はストラップなどを使用して、荷物固定用アイレットに確実に固定してください。

⚠ 警告

固定されていない 20 kg (44 ポンド)の荷物は、50 km/h (30 mph)の速度で前面衝突したときには 1,000 kg (2,200 ポンド)の衝撃に相当します。

⚠ 警告

荷物を高く積み上げると、インフレータブルカーテンの保護効果が損なわれるおそれがあります。

- バックレストよりも高い位置に、荷物を積み上げないでください。

⚠ 警告

荷物は、必ず確実に固定してください。急ブレーキをかけたときに荷物が投げ出されて、乗員が大ケガをするおそれがあります。

鋭利な荷物は、柔らかい物で覆ってください。

長いものの積み降ろしは、必ずエンジンを停止してパーキングブレーキをかけてから行なってください。荷物がギヤレバーやギヤセレクターに当たってギヤが入ると、車両が動き出すおそれがあります。

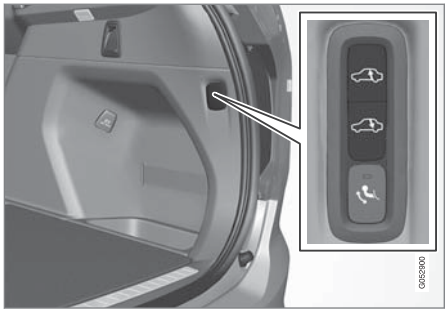
トランクルーム/カーゴスペースのスペースを広げる

リアシートのバックレストを倒すと、カーゴスペースが広がり、荷物を積み込みやすくなります。リアシートのバックレストのいずれかを折り畳む際には、荷物によってフロントシートのWHIPSシステムの機能に支障が出ないように十分注意してください。

車両後部のオートレベライザー*

車両のトランクルーム/カーゴスペースを作業しやすい高さにしたり、トレーラーとトウバーを連結する/切り離す*ときの作業性を向上させたりするために、車両の後部を上昇/下降させることができます。

オートレベライザーは、トランクルーム/カーゴスペースの右後部のサイドパネルにあるコントロールボタンで操作します。



車両後部の上昇/下降用コントロールボタン

このコントロールはボタン2つで構成されています。1つは車両後部を下降させ、もう1つは上昇させます。上昇または下降させる場合、車両後部が目標の高さに達するまで各ボタンを長押しする必要があります。

車両後部を通常の高さよりも高い位置まで上昇させることはできません。

走行中に後部は通常の高さに戻ります。

注意

ボンネットまたはドアが1つでも開いている場合、後部の高さを調節することはできません。これはテールゲートには適用されません。

警告

車高を下げるときには、車両の下に人や動物がいないこと、物がないことを十分に確認してください。生命を危険にさらすおそれや、車両または物を損傷するおそれがあります。

ルーフ上の荷物およびロードキャリアへの荷物の積載

車両のルーフに荷物を積む場合には、ボルボ純正のロードキャリア[3]の使用を推奨しています。車両への損傷を防ぎ、走行中の安全を最大限に確保するためです。

ロードキャリアを取り付けるときは、付属の取付説明書に従ってください。

- ロードキャリアと荷物が正しく固定されているか定期的に点検してください。荷物はリテーニングストラップなどを使用して、確実に固定してください。
- ロードキャリア全体に重量が均等に配分されるように、荷物を載せてください。重い荷物は、下になるように載せてください。
- 荷物のサイズが大きいほど空気抵抗が増えて、燃費が悪くなります。
- 安全運転を心がけてください。急発進、急ブレーキ、急ハンドルは避けてください。

[3] ボルボのロードキャリアは、ボルボ指定のディーラーで購入することができます。

⚠ 警告

ルーフ上に荷物を積載して走行するときは、車両の重心が変わり走行安定性が悪くなりますのでご注意ください。

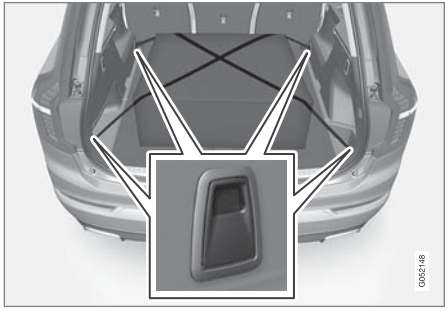
「重量」のセクションで最大ルーフ荷重を確認してください。

関連情報

- 荷物固定用アイレット（p. 273）
- 2 列目シートのバックレストを倒す（p. 173）
- 3 列目シート*のバックレストを倒す（p. 176）
- スチールガードネット*（p. 279）
- カーゴネット*（p. 277）
- ラゲッジカバー*（p. 274）
- 重量（p. 641）

荷物固定用アイレット

折りたたみ式の荷物固定アイレットは、カーゴスペース内の荷物固定地点として、ストラップを固定するために使用されます。



⚠ 警告

硬い物や尖った物、重い物が確実に固定されていない場合には、急ブレーキの際に飛び出してケガの原因となるおそれがあります。

大きい物や重い物は、シートベルトまたはストラップベルトで必ず確実に固定してください。

関連情報

- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 271）
- バッグフック（p. 274）
- スチールガードネット*（p. 279）
- カーゴネット*（p. 277）
- ラゲッジカバー*（p. 274）

バッグフック

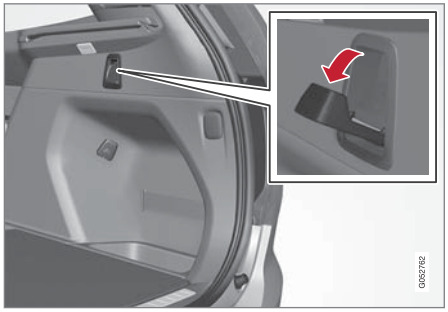
バッグフックと伸縮ストラップはバックを所定の位置に保つことができるため、バッグが倒れて中身がカーゴスペースに散乱するのを防止することができます。

フロアハッチの下*[4]

カーゴスペースのフロアハッチの一部であるカバーには、バッグフック 2 個と伸縮ストラップ 1 個[5] が用意されています。ストラップは 4 つの異なる位置に取り付けることができます。

バッグフックを使用するときには、カバーを持ち上げてください。伸縮ストラップでバッグを適切な位置に固定してください。バッグに取っ手があり、高さが適切である場合、フックに吊してください。

側面



サイドパネルにも収納式のバッグフックが 2 個（カーゴスペースの各側 1 個）用意されています。

重要

バッグフックの耐荷重は最大 5 kg（11 lbs）です。

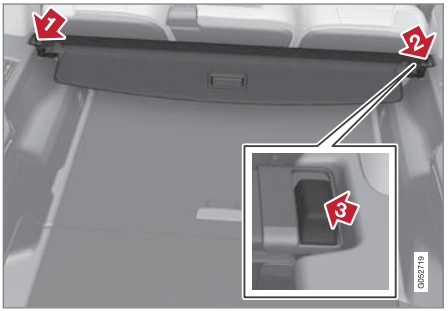
関連情報

- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 271）
- スチールガードネット*（p. 279）
- カーゴネット*（p. 277）
- ラゲッジカバー*（p. 274）

ラゲッジカバー*

ラゲッジカバーを広げると、カーゴスペースへの視線を遮ることができます。

取り付け



1. ラゲッジカバーのエンドピースの 1 つをカーゴスペースのサイドパネルの窪みに挿入します。
2. もう一方のエンドピースを反対側のサイドパネルの窪みに挿入します。

[4] 5 人乗り車両に適用されます。
[5] 伸縮ストラップはボルボディーラーで追加注文することができます。

3. 両側のエンドピースを 1 つずつ押し付けます。
   > 「カチッ」という音が聞こえて、各エンドピースの赤いマークが消えたら、ラゲッジカバーが取り付けられたことを意味します。確実に取り付けられていることを確認してください。

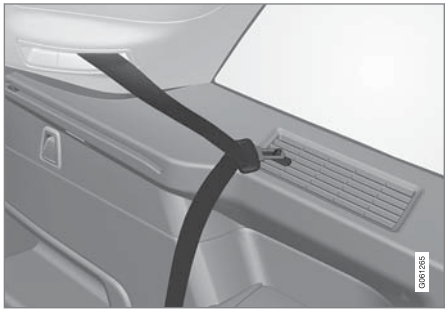
使用法

ラゲッジカバーには 2 つの展開位置(フルカバー位置と荷積み位置)があります。荷積み位置ではラゲッジカバーが部分的に引き出されているため、カーゴスペースの中に手が届きやすくなります。

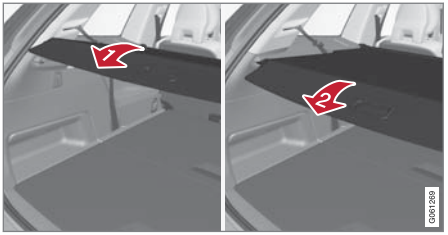
フルカバー位置

7 人乗り車両の場合

1.



3 列目シートのシートベルトのロックタブをサイドパネルの指定のフックにかけます。

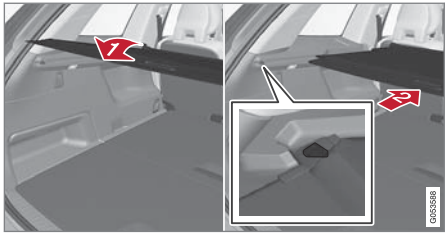


1. ハンドルを握ってラゲッジカバーを引き出し、カーゴスペースのサイドパネルに沿ってスライドさせます。後端位置まで引っ張ります。
2. カーゴスペースを覆う位置までラゲッジカバーを引き出したら、カバーのアタッチメントピンをサイドパネルの溝に入れて、ハンドルを下方向に軽く押して傾けながら手を離します。
   > ラゲッジカバーがフルカバー位置にロックされます。

5 人乗り車両の場合

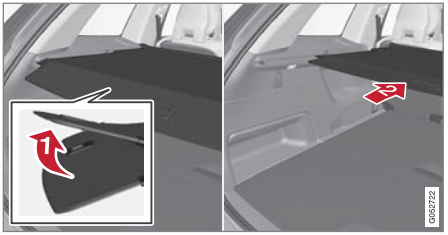
1. ハンドルを握ってラゲッジカバーを引き出し、カーゴスペースのサイドパネルに沿ってスライドさせます。後端位置まで引っ張ります。
2. カーゴスペースを覆う位置までラゲッジカバーを引き出したら、カバーのアタッチメントピンをサイドパネルの溝に入れて、ハンドルを下方向に軽く押して傾けながら手を離します。
   - ラゲッジカバーがフルカバー位置にロックされます。

荷積みモード



1. 格納位置からの場合、ハンドルを握ってカバーを引き出し、カーゴスペースのサイドパネルに沿ってスライドさせ、後端位置まで引っ張り、カバーのアタッチメントピンをサイドパネルの溝に入れます(カバーが既にフルカバー位置にある場合、次のステップを参照してください)。
2. フルカバー位置からハンドルを握ってラゲッジカバーのアタッチメントピンをサイドパネルの溝に入れ、放します。
   - 荷積み位置で止まるまで、カバーを巻き取らせます。

手がふさがっている場合：



1. フルカバー位置の場合、ひじなどでラゲッジカバーのハンドル部分を軽く押し上げます。
   - 2. カバーは荷積み位置で停止するまで巻き取られます。

荷積み位置からフルカバー位置に戻すには：

1. ハンドルを握って、ラゲッジカバーを後端位置まで引き出します。
2. 軽く放しながら、ハンドルを下方向に軽く押して傾けます。
   - カバーがフルカバー位置にロックされます。

重要

ラゲッジカバーの上には物を載せないでください。

警告

7 人乗りの車両の場合、絶対にラゲッジカバーを取り付けたままでリアシートに乗員を乗せないでください。衝突の際に、重傷を負うおそれがあります。

格納方法

1. フルカバー位置からの場合：

   ハンドルを持ち上げて後方に引っ張り、ラゲッジカバーのアタッチメントピンを溝から外し、放します。

   荷積み位置から：

   ハンドルを握ってラゲッジカバーを溝から引き出し、フルカバー位置まで引っ張ります。ハンドルを持ち上げて後方に引っ張り、アタッチメントピンを溝から外し、放します。

2. カバーのアタッチメントピンをサイドパネルの外に出した状態で、カバーを格納位置まで巻き取らせます。

取り外し

格納位置：

1. 巻き取られたラゲッジカバーの一方のエンドピースにあるボタンを押して、その端を持ち上げます。

   7 人乗り車両の場合、3 列目シートのシートベルトロックタブをサイドパネルの上にあるフックから外します。

2. カバーを慎重に上/外方向に傾けます。
   > 反対側のエンドピースが自動的にゆるみ、カバーをカーゴスペースから取り出すことができます。

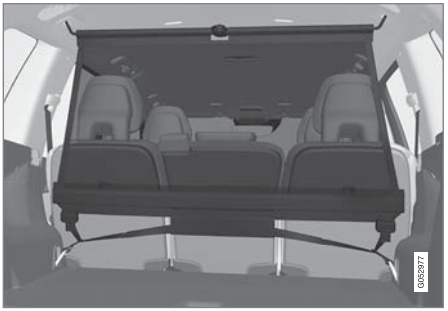
関連情報

- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 271）
- スチールガードネット*（p. 279）
- カーゴネット*（p. 277）
- 荷物固定用アイレット（p. 273）

カーゴネット*

カーゴネットは、急ブレーキの際などに荷物が座席に投げ出されることを防ぎます。

カーゴネットは、4 つの固定ポイントに取り付けます。



安全のため、カーゴネットは必ず下記の要領で取り付けて、固定してください。

ネットは強靭なナイロン繊維製で、取り付け位置は、車内の 2 箇所から選択できます。

- リア装着 – 2 列目シートの後ろ
- フロント装着 – フロントシートの後ろ

警告

カーゴスペース内の積荷は確実に固定してください。また、正しく装着されたセーフティネットを使用してください。

取り付け

⚠ 警告

セーフティネットの上部固定ポイントが正しく装着され、プラーストラップが確実に留められていることを確認してください。

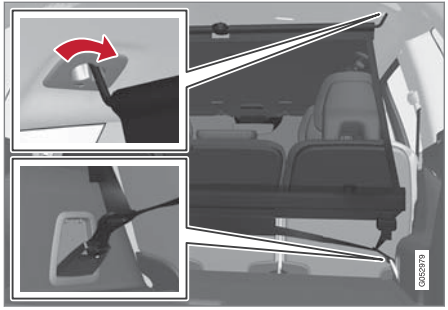
損傷のあるセーフティネットは使用しないでください。

注意

前方取り付けの場合、いずれかのリアドアから取り付けると、カーゴネットをもっとも簡単に取り付けることができます。

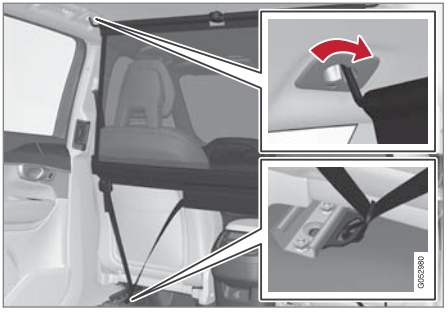
1. カーゴネットを広げ、ネットの分割された上部ロッドが広げた位置でロックされていることを確認してください。
2. ネットの一方の固定フックをフロントまたはリアのルーフマウンティングに引っかけます。このとき、アンカーストラップのロックが手前を向くようにしてください。
3. ネットのもう一方の固定フックを、反対側のルーフマウンティングに引っかけます。バネの付いた伸縮式固定フックにより、容易に固定できます。

   ネットの固定フックを注意しながら前方に押し、各ルーフマウンティングの前端位置に合わせてください。
4. リア装着：ネットを後ろ側ルーフマウンティングに取り付けた状態で、カーゴネットのアンカーストラップをカーゴスペースの前側フロアフックに引っかけます。



リア装着

フロント装着：ネットを前側ルーフマウンティングに取り付けた状態で、アンカーストラップをシートのスライドレール後部にある外側フックに引っかけます。バックレストを起こし、シートを若干前方に動かすと取り付けやすくなります。



フロント装着

シート/バックレストを元の位置に戻す際、シート/バックレストをネットに強く押し付けないように注意してください。シート/バックレストがネットに軽く触れる程度に調整してください。

5. アンカーストラップを使用して、カーゴネットを張ります。

重要

シートやバックレストがセーフティネットに強く当たっていると、ネットやルーフマウンティングが損傷を受ける場合があります。

取り外しおよび保管

カーゴネットは容易に取り外して、折り畳むことができます。

1. アンカーストラップロックのボタンを押し、各側のアンカーストラップを少し出して、カーゴネットのテンションをゆるめます。
2. キャッチを押し込んで、アンカーストラップの両方のフックを外します。
3. 上側の留め具を外して、ネットをルーフマウンティングから外します。
4. ロッドの赤いボタンを押し、ネットを畳んで巻けるようにします。

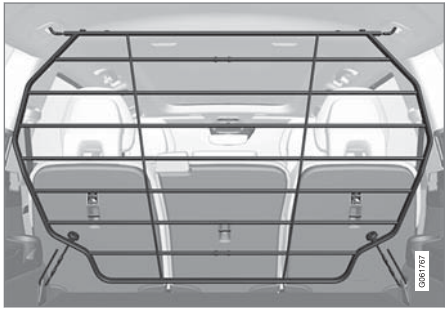
関連情報

- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 271）
- スチールガードネット*（p. 279）
- ラゲッジカバー*（p. 274）
- 荷物固定用アイレット（p. 273）

スチールガードネット*

スチールガードネットは、カーゴスペース内の荷物やペットが座席に投げ出されることを防ぎます。

スチールガードネットは ECE R17 の法的要件に準拠した衝突試験に合格しており、ボルボの強度要件を満たしています。



安全のため、スチールガードネットは必ず正しく取り付け、適切に固定する必要があります。

⚠ 警告

絶対にカーゴスペースに人を乗せて走行しないでください。急ブレーキや事故の際にケガをするおそれがあり危険です。

スチールガードネットはガードネットと未固定のファスナー 2 個で構成されています。各ファスナーにはキャップが付属し、スチールガードネット用のプラスチックスリーブが 2 個あります。

⚠ 警告

スチールガードネットは、必ずここに記載されているリア位置のみで使用してください。フロントシート後方のルーフマウンティングはスチールガードネット用ではありません。

⚠ 警告

スチールガードネットを車内に取り付けるときには、安全のため、3 列目シート[6] を下げる必要があります。

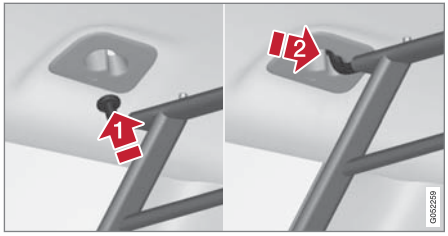
重要

保護グリルはラゲッジカバーと同時に取り付けることができません。

[6] 7 人乗り車両に適用。

取り付け

1. リアシートを下げて、スチールガードネットを一方のリアドアまたはテールゲートから車内に載せます。スチールガードネットのアーチ/凸側をカーゴスペースに向け、各側のフックが上を指すようにしてください。この段階では、ファスナーおよびプラスチックスリーブは使用しません。



2. スチールガードネットのフックの 1 つをルーフマウンティングの大きい方の開口部に入れます(1)。

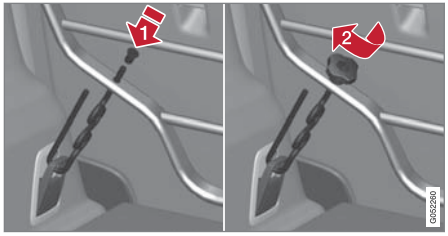
   フックの近くでスチールガードネットをつかみ、小さい方の開口部の方向へ引っ張ります/ずらします(2)。

   › これでフックがルーフマウンティングの固定位置に固定されました。

3. 上記のステップ 2 の作業を繰り返して、反対側のフックを取り付け位置に固定します。

⚠ 警告

スチールガードネットが外れることのないように、スチールガードネットのフックがルーフマウンティングにしっかり取り付けられていることを確認してください。



4. ファスナーフックをカーゴスペースフロアの荷物固定穴に下から引っかけ、ネジ部をスチールガードネットの下側取り付け穴に下から通します(1)。

   ファスナーのネジ部のプラスチックスリーブを、スリーブフランジを上に向けた状態でスライドさせ、穴に通します。キャップの下端がスチールガードネットから約 5 mm の位置に達するまで、キャップをねじ込みます(2)。

5. 反対側でステップ 4 の作業を繰り返します。

6. スチールガードネットが中心に来るように調整して、ファスナー 2 個を交互に締め付け、グリルを適切に固定します。

取り外し

スチールガードネットを取り外すときは、逆の手順で行います。

ファスナーは、プラスチックスリーブをスチールガードネットの穴から取り外す前に取り外すことができます。

関連情報

- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 271）
- 荷物固定用アイレット（p. 273）
- カーゴネット*（p. 277）
- ラゲッジカバー*（p. 274）

* オプション/アクセサリー。

ロックおよびアラーム

リモートコントロールキー

リモートコントロールキーを使用すると、ドア、テールゲートおよび燃料給油口フラップのロック/ロック解除ができます。車両を始動するときには、リモートコントロールキーを車内に置いておく必要があります。

リモートコントロールキー(左)とボタンレスキー(Key Tag)(右)

車両にはキーレススタート(Passive Start)が標準装備されているため、エンジンの始動時にリモートコントロールキーを物理的に使用することはありません。エンジンを始動するには、キーが車内の前部(運転者のポケットの中、トンネルコンソールのカップホルダーの中など)にある必要があります。 「エンジンの始動」の項を参照してください。

ドアおよびテールゲートのキーレスロック/ロック解除(Passive Entry*)もオプションで用意されています。この場合、キーの作動範囲は運転席ドアから半径約 1.5 m (5 フィート)の半円内、テールゲートから約 1 m (3 フィート)の半円内です。「リモートコントロールキーの作動範囲」の項を参照してください。

キーレススタートおよびキーレスロック/ロック解除機能装備車の場合、リモートコントロールキーを車内またはカーゴスペースのどこに置いていても、車両を始動することができます。

車両に付属するリモートコントロールキーは、それぞれ独自の車両設定を割り当てた運転者プロフィールに関連付けることができます。特定のプロフィールが関連付けられているキーを使用すると、そのプロフィールの設定に合うように車両の設定が調節されます。「運転者プロフィール」の項を参照してください。

ボタンレスキー(Key Tag)

キーレスロック/ロック解除機能*装備車の場合、通常のキーよりも少し小さくて軽いボタンレスキー(Key Tag)が付属します。キーレススタートおよびキーレスロック/ロック解除に限り、このキーは通常のリモートコントロールキーと同様に機能します[1]。このキーは脱着式キーブレードがなく、電池を交換できません。新しい Key Tag は、ボルボ指定のサービス工場で注文することができます。

キーの追加注文

車両にはリモートコントロールキーが 2 個付属しています。キーレスロック/ロック解除機能*装備車の場合、Key Tag が 1 個付属します。キーは追加注文できます。車両 1 台に対してプログラムおよび使用可能なキーは 12 個までです。キーを追加注文すると、運転者プロフィールが追加されます(各リモートコントロールキーに 1 つずつ)。これは Key Tag にも適用されます。

キーを紛失した場合、「リモートコントロールキーを紛失した場合」の項を参照してください。

リモートコントロールキーボタン

リモートコントロールキーにはボタンが 4 つ(左側に 1 つ、右側に 3 つ)あります。

ロック - ボタンを押すと、ドア、テールゲートおよび燃料給油口フラップがロックされ、アラームもセット* されます。ボタン

[1] このキーは防水仕様で、水深約 10 m (30 フィート)の水中でも最長 60 分間耐えることができるため、水中や水辺でのアウトドア活動に適しています。

を長押しすると、すべてのウインドとパノラマルーフ*が同時に閉まります。「外側からのロック/ロック解除」と「内側からのロック/ロック解除」の項を参照してください。

ロック解除 – ボタンを押すと、ドアおよびテールゲートがロック解除され、アラームも解除されます。長押しすると、すべてのパワーウインドが同時に開きます(グローバルオープニング機能とも呼ばれる)[2]。「外側からのロック/ロック解除」の項を参照してください。

テールゲート – テールゲートのみロック解除されて、テールゲートのアラームが解除されます。パワーテールゲート*装備車の場合、ボタンを長押しするとテールゲートが自動的に開きます。テールゲートを閉じるときにも長押しします。この場合、警告音が鳴ります。「パワーテールゲート」の項を参照してください。

パニックアラーム機能 – 緊急時に注意を促すための機能です。赤いボタンを 3 秒以上押し続けるか、3 秒以内に続けて 2 回押すと、方向指示器およびホーンが作動します。アラームが作動してから 5 秒以上経過後、再び同じボタンを押すと停止させることができます。もしくは、3 分後に、自動的に停止します。

⚠ 警告

乗員を車内に残す場合、車両を離れるときに必ずリモートコントロールキーを携行して、パワーウインドおよびサンルーフの電源を確実に切ってください。

ⓘ 注意

リモートコントロールキー/Key Tag を車内に残したままロックしないよう、ご注意ください。

車両をロックして別の有効なキーでアラームをセットすると、車内に残したままのリモートコントロールキー/Key Tag は無効になります。「デッドロック」機能も解除されます。

無効になったキーは、車両のロックを解除したときに有効に戻ります。

干渉

キーレススタートおよびキーレスロック/ロック解除*のリモートコントロールキー機能は、電磁場および電磁遮蔽により妨げられることがあります。

ⓘ 注意

リモートコントロールキーを金属物や電子機器(携帯電話、タブレット、ノートパソコン、充電器など)の近くに保管することは避けてください。必ず 10～15 cm (4～6 インチ)以上離れた場所に保管してください。

干渉が解消されない場合、リモートコントロールキーのキーブレードを使用し、キーをカップホルダー内のバックアップリーダーに載せて車両のアラームを解除してください。「脱着式キーブレードによるロック/ロック解除」の項を参照してください。

ⓘ 注意

リモートコントロールキーをカップホルダーの中に入れる場合、他の車両キー、金属物、電子機器(携帯電話機、タブレット、ノートパソコン、充電器など)がカップホルダーの中にないことを確認してください。カップホルダーに複数の車両キーを近い距離で置いた場合、互いに干渉するおそれがあります。

[2] 気温の高いときに素早く車内を換気する場合などに使用します。

▶▶

リモートコントロールキーを紛失した場合

リモートコントロールキーを紛失した場合は、サービス工場で新しいキーを注文できます。ボルボ指定のサービス工場を推奨します。残りのリモートコントロールキーをボルボのサービス工場へお持ちください。不正に使用されることを防ぐため、紛失したキーのコード番号を車両のシステムから消去する必要があります。

現在車両に登録されているキーの数は、センターディスプレイのトップビューで確認することができます。

関連情報

- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 284)
- 脱着式キーブレード (p. 297)
- リモートコントロールキーの電池交換 (p. 304)
- 内側からのロック/ロック解除 (p. 291)
- 外側からのロック/ロック解除 (p. 287)
- 運転者プロフィール (p. 220)
- 車両の始動 (p. 459)
- Red Key - 制限付きリモートコントロールキー* (p. 285)

リモートコントロールキーの作動範囲

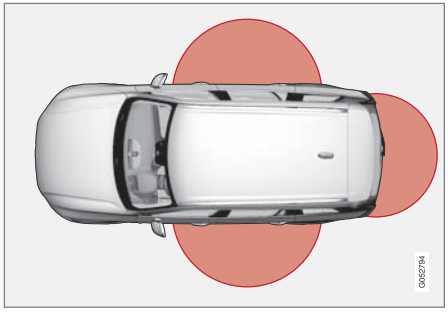
リモートコントロールキーが正しく作動するためには、キーが車両から一定距離の範囲内にある必要があります。

手動操作

リモートコントロールキーの機能(または を押すことで作動するロック/ロック解除など)の作動範囲は、車両から約20 m(65 フィート)以内です。

ボタンが押されたことを車両が認識しない場合には、車両に近寄ってからもう一度試行してください。

キーレス操作 [3]



図の陰影部分はシステムのアンテナでカバーされている範囲を示しています。

キーレス操作では、リモートコントロールキーまたはボタンレスキー(Key Tag)が車両の両側面から半径約 1.5 m (5 フィート)の半円内またはテールゲートから約 1 m (3 フィート)の半円内にある必要があります。

> **注意**
>
> 周囲の電波、建物、地形などによって、リモートコントロールキーの機能が妨げられる場合があります。車両は、つねにキーブレードでロック/ロック解除できます。

リモートコントロールキーを車外へ持ち出した場合

エンジンの作動中にリモートコントロールキーを車外へ持ち出すと、最後のドアが閉まったときにドライバーディスプレイに **キーが見つかりません 車内にありません** という警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

キーを車内に戻してから右側のキーパッドの **0** ボタンを押すか、または最後のドアを閉めると、メッセージが消えます。

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 282)
- スタートおよびロックシステム のアンテナ位置 (p. 286)

[3] キーレスロック/ロック解除オプション(Passive Entry*)装備車のみに適用されます。

Red Key – 制限付きリモートコントロールキー*

Red Key を利用すると、運転者は車両の一部の機能に制限を設定することができます。この制限は、車両を貸し出したときなどに安全運転を促すためのものです。

Red Key では、 最高速度の指定、スピードリマインダーの設定およびスピーカーシステムの最大音量の設定を行うことができます。また、車両の運転者サポートシステムの一部もつねにオンになります。キーのその他の機能は、通常のリモートコントロールキーと同じです。

Red Key はボルボディーラーに 1 個から注文することができます。制限付きキーは 1 台の車両に対して合計で 11 個までプログラムして使用することができます。少なくとも 1 個は通常のリモートコントロールキーである必要があります。

Red Key の設定は、通常のリモートコントロールキーの使用者がセンターディスプレイのトップビューから**設定 ➔ システム ➔ ドライバープロファイル ➔ レッドキー**の順に選択して行います。

車両の運転者サポート機能の中には、Red Key の使用者では解除できないものがあります。

このような制限は、事故の危険を減らす役割を果たすよう意図されているため、若年運転者や係員付き駐車サービス、サービス工場などに車両を預けるときに安心感が増します。Red Key を使用している人は、設定を変更することができません。

設定可能な項目

Red Key では、以下の項目を設定することができます。

速度リミッター(Speed Limiter)[4](オン/オフ)：
- 設定範囲：50–250 km/h (30–160 mph)
- 初期設定：120 km/h (75 mph)
- 設定単位：1 km/h (1 mph)

ドライバーディスプレイに次のようなシンボルとメッセージが表示されます。

「レッドキー 制限速度を超える ことはできません」

スピードリマインダー[4](オン/オフ)：
- 設定範囲：0–250 km/h (0–160 mph)
- 初期設定：50、70、90 km/h (30、45、55 mph)
- 設定単位：1 km/h (1 mph)
- 同時に設定可能なリマインダーの最大数：6

最大音量抑制[4](オン/オフ)：
- 初期設定：オン

アダプティブクルーズコントロール*：
- 初期設定：もっとも長いインターバル
- 詳しくは、「アダプティブクルーズコントロール」の項を参照してください。

運転者サポート機能

Red Key を使用している場合、以下の運転者サポート機能がつねにオンになります。

- Blind Spot Information (BLIS)* – 「Blind Spot Information」の項を参照してください。
- レーンアシスト(LDW および LKA)* – 「レーンアシスト」の項を参照してください。
- 車間警告機能* – 「車間警告機能」の項を参照してください。

[4] Red Key でのみ使用可能なオプション。

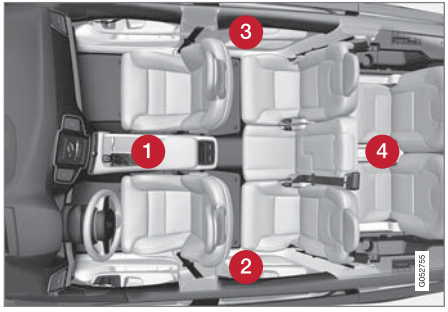
- City Safety – 「City Safety」の項を参照してください。
- Driver Alert Control (DAC)* – 「ドライバー・アラート・コントロール」の項を参照してください。
- ロード・サイン・インフォメーション* – 「ロード・サイン・インフォメーション」の項を参照してください。

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 282)
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 344)
- 車間警告機能* (p. 341)
- BLIS* (p. 402)
- City Safety (p. 390)
- レーン・キーピング・エイド (p. 418)
- Driver Alert Control (p. 416)
- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 410)
- 運転者プロフィール (p. 220)

スタートおよびロックシステム のアンテナ位置

車両にはキーレススタートおよびロックシステム[5]が装備されているため、車両のさまざまな場所に多くのアンテナが組み込まれています。



アンテナの場所

1. トンネルコンソール前部のカップホルダーの下
2. 左側リアドアの上側前部[6]
3. 右側リアドアの上側前部[6]
4. リアシートバックレストの中央[6]

⚠ 警告

心臓ペースメーカーをご使用のお客様は、ペースメーカーからキーレスシステムのアンテナまでの距離が 22 cm (9 インチ)以内にならないようにしてください。ペースメーカーとキーレスシステムが、相互に干渉するおそれがあります。

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 282)
- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 284)

[5] キーレスロックシステムは、キーレスロック/ロック解除機能(Passive Entry*)装備車のみに適用されます。
[6] キーレスロック/ロック解除機能(Passive Entry*)装備車のみ。

外側からのロック/ロック解除

車両はリモートコントロールキーのボタンを使用して、外側からロック/ロック解除することができます。キーレスロック/ロック解除(Passive Entry)*装備車の場合、ドアまたはテールゲートハンドルを使用してこの操作を行うことができます。テールゲートは電動*と足の動き*の両方、またはどちらか一方で操作することができます。

リモートコントロールキーによるロック/ロック解除

リモートコントロールキーのボタンを使用すると、すべてのドアとテールゲートを同時にロック/ロック解除することができます。

ロック

ロック作動を有効にするには、運転席ドアが閉じている必要があります。それ以外のドアやテールゲートが開いている場合、それらはロックされず、閉じるまでアラームがセットされます*。すべてのドアおよびテールゲートを閉じてロックすると、アラームのムーブメントセンサー*がオンになります。

注意

リモートコントロールキー/Key Tag を車内に残したままロックしないよう、ご注意ください。

車両をロックして別の有効なキーでアラームをセットすると、車内に残したままのリモートコントロールキー/Key Tag は無効になります。「デッドロック」機能も解除されます。

無効になったキーは、車両のロックを解除したときに有効に戻ります。

警告

車内に人が閉じ込められる危険を防止するため、デッドロック機能を解除しない限り、車内に人を残して車両から離れないでください。

ドアロック解除

リモートコントロールキーでロック/ロック解除できない場合は、電池が消耗している可能性があります。この場合、脱着式キーブレードで運転席側ドアをロック/ロック解除してください。詳しくは、「脱着式キーブレード」の項を参照してください。

注意

必ず車両に近づいて、もう一度ロック解除操作を試してください。

リモートコントロールキーによるロック解除の設定

ドアロック解除の作動方法は複数のオプションから選択できます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ロック ➔ ﾘﾓｰﾄ・ﾛｯｸ解除と車内からのﾄﾞｱﾛｯｸ解除**をタップします。
3. オプションを選択します。
   - **全てのドア**
     – すべてのドアを同時にロック解除します。
   - **シングルドア**
     – 運転席ドアをロック解除します。すべてのドアをロック解除するには、リモートコントロールキーのロック解除ボタンを 2 回押す必要があります。

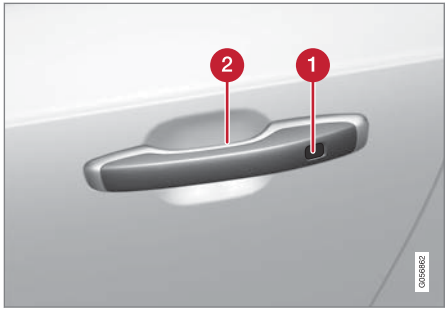
ﾘﾓｰﾄ・ﾛｯｸ解除と車内からのﾄﾞｱﾛｯｸ解除 機能で設定された内容は、車内からハンドルで開けることによる集中ロック解除にも影響します。車内からのロック解除への影響に関する詳細情報については、「車内からのロック/ロック解除」の項を参照してください。

キーレス*ロック/ロック解除

キーレスロック/ロック解除*装備車の場合、リモートコントロールキーは近く(ポケットやハンドバッグの中など)にあるだけで機能するため、両手がふさがっている状態でロック解除したいときなどに便利です。システムの作動範囲については、「リモートコントロールキーの作動範囲」の項を参照してください。

感圧面

ドアハンドルの外側には感応式ロックスイッチがあり、内側には感応式ロック解除スイッチがあります。テールゲートハンドルには、ロック解除のみに使用される、ラバー加工されたプレッシャープレートがあります。



1 感応式ロックスイッチ

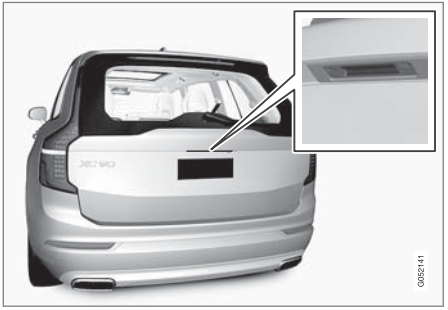
2 感応式ロック解除スイッチ

注意

感圧面は一度に 1 つずつ触れることが重要です。ハンドルを握っているときにロック面に触れると、コマンドが二重に発生する可能性があります。この場合、要求した動作(ロック/ロック解除)は実行されないか、または遅れて実行されます。

注意

リモートコントロールキーが作動範囲内にある場合、洗車の際にシステムが作動する可能性があります。



テールゲートのラバー加工されたプレッシャープレート(ロック解除のみに使用)

＊ オプション/アクセサリー。

キーレスロック

車両をロックするには、すべてのドアを閉じておく必要があります。一方、サイドドアハンドルでロックするときには、テールゲートは開いておくことができます。

- ドアを閉じた後にドアハンドルの外側のマーク面を後方に向かってタッチするか、または、テールゲートを閉じる前にテールゲートの下端にあるロック[7] ボタンを押します。
  - 〉 ウインドスクリーンのロックインジケーターが点滅を開始して、車両がロックされたことを示します。

すべてのパワーウインドとパノラマルーフ* を同時に閉めるには、すべてのパワーウインドとパノラマルーフ* が閉じるまで、ドアハンドル外側の感応式ロックスイッチに指をあてます。

キーレスエントリー

- ドアハンドルをつかむか、テールゲートハンドルの下側のラバー加工されたプレッシャープレートを押して、車両をロック解除します。
  - 〉 ウインドスクリーンのロックインジケーターが消灯して、車両がロック解除されたことを示します。ドアまたはテールゲートを通常の方法で開いてください。

キーレスエントリーの設定

キーレスエントリーの作動方法は複数のオプションから選択できます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ロック ➔ キーレス・ロック解除** をタップします。
3. オプションを選択します。
   - **全てのドア**
   - すべてのドアを同時にロック解除します。
   - **シングルドア**
   - 選択したドアをロック解除します。

オートリロック機能

ドアまたはテールゲートは、ロック解除後 2 分以内に開けないと自動的に再ロックされます。これはロックのかけ忘れを防ぐための機能です。

Volvo On Call によるロック解除

Volvo On Call*アプリを使用して、車両を離れた場所からロック解除することができます。

Volvo On Call の別冊付録を参照してください。

関連情報

- リモートコントロールキー（p. 282）
- テールゲートのロック/ロック解除（p. 294）
- パワーテールゲート*（p. 300）
- リモートコントロールキーの作動範囲（p. 284）
- 脱着式キーブレード（p. 297）
- アラーム*（p. 309）

[7]「パワーテールゲート」の項を参照してください。

車両のロック/ロック解除の表示

リモートコントロールキーを使用して車両をロック/ロック解除すると、方向指示器が点滅して正常に作動したことがわかります。

ロック/ロック解除の表示を個別に変更することができます。設定オプションについては、「車両によるロックおよびロック解除の確認方法を選択する」を参照してください。

車外での表示

ロック作動

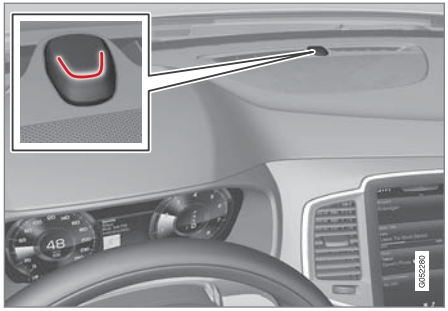
- ロックの表示として、車両の非常点滅灯が点滅し、ドアミラーが格納されます[8]。

ドアロック解除

- ロック解除の表示として、車両の非常点滅灯が2回点滅し、ドアミラーが展開します[8]。

車両がロックされていることを表示するためには、すべてのドア、テールゲートおよびボンネットが閉じている必要があります。運転席ドアのみが閉じた状態でロックを行うと[9]、車両はロックされますが、表示されるのは、すべてのドア、テールゲートおよびボンネットが閉じた後になります。

ロック&アラームインジケーター



ダッシュボードのロック&アラームインジケーターがアラームシステムの状態を表示します。

長い点滅は、車両がロックされたことを示します。車両がロックされている場合、短いパルス状の点滅で表示されます。

ロックボタンでの表示

フロントドア

フロントドアのインジケーターランプ付きロックボタン

いずれかのフロントドアのロックボタンのインジケーターランプが点灯している場合、すべてのドアがロックされています。いずれかのドアを開けると、両側のドアのランプが消灯します。

8 格納式パワードアミラー装備の車両のみ。
9 キーレスロック/ロック解除(Passive Entry*)装備車には適用されません。

すべてのドア*

リアドアのインジケーターランプ付きロックボタン

いずれかのドアのロックボタンのインジケーターランプが点灯している場合、そのドアはロックされています。いずれかのドアをロック解除すると、そのドアのランプは消灯しますが、他のランプは点灯し続けます。

車両によるロックおよびロック解除の確認方法を選択する

ロック作動/解除の表示に関しては、センターディスプレイで別の方法に変更することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ロック** をタップします。
3. **音声でドアロックを確認** および **目でドアロックを確認** の設定をそれぞれ選択します。

「アプローチライト」および「ドアミラーの調節」の項でロック/ロック解除の表示について詳しい説明をお読みください。

関連情報

- 外側からのロック/ロック解除（p. 287）
- アプローチライト点灯（p. 193）
- ドアミラーの調節（p. 199）

内側からのロック/ロック解除

ドアおよびテールゲートは、車内からフロントドアのセントラルロックコントロールを使用してロックおよびロック解除することができます。リアドアのロックコントロール*では、それぞれのリアドアがロックされます。

セントラルロック

フロントドアのインジケーターランプ付きロック/ロック解除ボタン

– ロックするには ボタンを、ロック解除するには ボタンを押します。

ドアロック解除

– ボタンを押して、すべてのドアとテールゲートをロック解除します。

ボタンを長押しすると、すべてのパワーウインドが同時に開きます(グローバルオープニング機能[10]とも呼ばれる)。

別のロック解除方法

フロントドアの別のロック解除方法に使用されるハンドル

- どちらかのフロントドアのハンドルを引いて離します。
  - 〉 リモートコントロールキーの **ﾘﾓｰﾄ・ﾛｯｸ解除と車内からのﾄﾞｱﾛｯｸ解除** 機能で **全てのドア** オプションが選択されている場合は、すべてのドアのロックが解除されます。**シングルドア** オプションが選択されている場合は、このフロントドアのみがロック解除されて開きます。

オプションは設定ビューで選択します。詳しくは、「車外からのロック/ロック解除」の項を参照してください。

ロック

- ボタンを押します。両側のフロントドアを閉じておく必要があります。
  - 〉 すべてのドアとテールゲートがロックされます。

ボタンを長押しすると、すべてのパワーウインドとパノラマルーフ*が同時に閉じます。

ロックボタン*リアドア

リアドアのインジケーターランプ付きロックボタン

リアドアのロックボタンはそのドアのみをロックします。

リアドアをロック解除するには：

- ドアハンドルを引きます。リアドアがロック解除され、開きます。

自動ロックの設定

ドアおよびテールゲートは、車両が動き出すと自動的にロックすることができます。設定の変更方法：

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ロック**をタップします。
3. この機能をオン/オフにするには、**運転中のドア自動ロック** を選択します。

関連情報

- 外側からのロック/ロック解除（p. 287）
- 車両のロック/ロック解除の表示（p. 290）
- チャイルドロック（p. 308）

[10] 気温の高いときに素早く車内を換気する場合などに使用します。

デッドロック*

デッドロックを使用すると、すべてのドアハンドルが機械的に施錠されるため、車両を外側からロックしたときに内側からドアを開けることができなくなります。

デッドロック機能は、リモートコントロールキーおよびキーレスロック(Passive Entry)*で作動します。デッドロック機能は、ドアがロックされてから約 10 秒後に作動します。

注意

遅延時間内にドアが開けられた場合には、手順が中断され、アラームは解除されます。

デッドロック機能が作動している場合、車両をロック解除するには、必ずリモートコントロールキー、キーレスロック解除または Volvo On Call*アプリ を使用する必要があります。

脱着式キーブレードを使用して、左側フロントドアをロック解除することもできます。脱着式キーブレードを使用して車両をロック解除すると、アラーム*が作動します。アラームをオフにする方法については、「アラーム」の項を参照してください。

警告

車内に人が閉じ込められる危険を防止するため、デッドロック機能を解除しない限り、車内に人を残して車両から離れないでください。

デッドロックを一時的に解除する

車内に人を残したまま車外からドアをロックする場合、**ガード解除** 機能を使用して一時的にデッドロック機能を解除することができます。この手順は、アラームのムーブメントセンサーおよびチルトセンサー*の一時解除と同じです。

センターディスプレイの機能ビューで **ガード解除** ボタンをタップして、デッドロック機能を一時的にオフにします。

この後、センターディスプレイに **ガードレベルの低減** と表示され、以後の車両のロック作動ではデッドロックが一時的に解除されます。アラームシステムのムーブメントセンサーとチルトセンサー*も同時にオフになりますのでご注意ください。

従来のロックでは、電源ソケットへの電源供給がただちに遮断されますが、デッドロック機能を一時的に解除した場合は、ロックしてから最長 10 分間、電源ソケットへの電源供給が継続されます。

車両をロック解除してからロックし直す場合、デッドロック機能を再度解除する必要があります。

次回のエンジン始動時にシステムはリセットされます。

注意

- 車両がロックされているときは、アラームが有効になっていますのでご注意ください。
- いずれかのドアを車内から開けた場合、アラームが作動します。

関連情報

- リモートコントロールキー（p. 282）
- 外側からのロック/ロック解除（p. 287）
- 内側からのロック/ロック解除（p. 291）
- 脱着式キーブレードによるロック/ロック解除（p. 298）
- アラーム*（p. 309）

テールゲートのロック/ロック解除

テールゲートには、ロック/ロック解除と開き方にさまざまな方法があり、車両の装備レベルに応じて異なります。

リモートコントロールキーによるテールゲートのロック解除

リモートコントロールキーの ボタンを使用すると、テールゲートのアラームを解除し、テールゲートのロックを解除することができます。

1. リモートコントロールキーの ボタンを押します。
   > ダッシュボードのロック&アラームインジケーターが消灯して、車両全体のアラームが解除されていることを示します。

   アラームのレベルセンサー、ムーブメントセンサー、およびテールゲートオープンセンサーの機能も非作動状態になります。

   テールゲートはロック解除されますが、ドアがロックされたままでアラーム機能がセットされている間、テールゲートは閉じた状態を維持します。

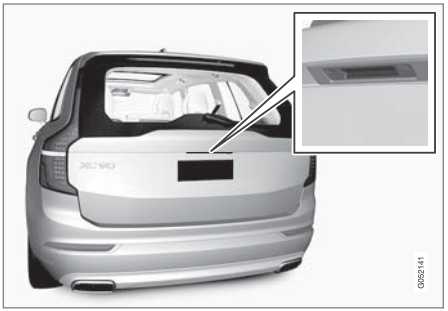
   テールゲートを開くには、テールゲートハンドルの下にあるゴム製のプレッシャープレートをつかんで開けます。

   2 分以内にテールゲートが開かれないと、ロックが再作動し、アラームも再びセットされます。

   パワーテールゲートオプション*装備車

2. リモートコントロールキーの ボタンを長押し(約 1.5 秒)します。
   > テールゲートのロックは解除されて開きますが、ドアはロックされたままでアラーム機能は作動しています。

テールゲートのキーレスロック解除*



感圧面のあるラバープレート

テールゲートは電動ロックで閉まったままとなります。リモートコントロールキーは、近く(ポ

* オプション/アクセサリー。

ケットやハンドバッグの中など)にあるだけで機能します。

1. テールゲートを開く – テールゲートハンドルの下側のラバー加工されたプレッシャープレートを軽く押します。
   > ロックが解除されます。

注意

リモートコントロールキーがテールゲート近くで検知されない場合、ロック/ロック解除は作動しません。詳しくは「リモートコントロールキー作動範囲」の項を参照してください。

2. テールゲートを完全に開くには、アウターハンドルを持ち上げます。

重要

- テールゲートのロックを解除するのにほとんど力は要りません。ラバー加工されたプレッシャープレートを軽く押してください。
- テールゲートを開ける際には、ラバー加工されたプレッシャープレートは持ち上げないでください。ハンドルを使用してください。強い力がかかると、ラバー加工されたプレッシャープレート部分の電気接点が損傷を受ける場合があります。

警告

テールゲートを開けたまま、走行しないでください。テールゲート開口部から、有害な排気ガスを車内に引き込んでしまうおそれがあります。

内側からのテールゲートのロック解除

1.

メーター・パネルの ボタンをかるく押します。
> テールゲートは、ラバー加工されたプレッシャープレートをつかむことにより、外側からロック解除して開けることができます。

パワーテールゲートオプション*装備車

2. メーター・パネルの ボタンを長押しします。
   > テールゲートが開きます。

リモートコントロールキーによるロック

– リモートコントロールキーの 🔒 ボタンを押します。
  › ダッシュボードのロック&アラームインジケーターが点滅し始めます。車両がロックされ、アラーム*がセットされます。

関連情報

- リモートコントロールキー（p. 282）
- リモートコントロールキーの作動範囲（p. 284）
- パワーテールゲート*（p. 300）
- 足の動きによるテールゲートの開閉*（p. 303）

プライベートロックの使用

グローブボックスおよびテールゲートはロック（いわゆるプライベートロック）することができるため、車両を点検整備に出すときやホテルの駐車サービスに預けるときなどに役立ちます。

注意

プライベートロック機能を有効にするためには、最小要件として、キーがイグニッション位置 I になっている必要があります。

プライベートロック用機能ボタン。ロックの現在の状態に応じて、**プライベートロック解除** または **プライベートロック起動** が表示されます。

初めて使用する前にセキュリティコードを入力する

この機能を初めて使用するときには、セキュリティコードを選択する必要があります。セキュリティコードを使用すると、選択した PIN コードを紛失した、または忘れた場合にプライベートロックを解除することができます。このセキュリティコードは、後でプライベートロック機能に設定される PIN コードすべてに対して PUK コードの役割を果たします。

セキュリティコードは安全な場所に保管してください。

セキュリティコードの作成方法：

1. 機能ビューでプライベートロックのボタンを押します。
   › ポップアップウィンドウが表示されます。
2. 登録するセキュリティコードを入力します。
   › セキュリティコードが保存されます。これでプライベートロック機能は使用できるようになりました。

システムをゼロにリセットした場合、上記の手順を再度行う必要があります。

プライベートロックをかける

1. 機能ビューでプライベートロックのボタンを押します。
   › ポップアップウィンドウが表示されます。
2. ロック後に、グローブボックスおよびテールゲートのロック解除に使用するコードを入力して、**確認** をタップします。
   › グローブボックスおよびテールゲートがロックされます。ロックされると、機能ビューのボタンに緑のインジケーターが表示されます。

* オプション/アクセサリー。

プライベートロックを解除する

1. 機能ビューでプライベートロックのボタンをタップします。
   > ポップアップウィンドウが表示されます。
2. ロック時に使用したコードを入力して、**確認**をタップします。
   > グローブボックスおよびテールゲートのロックが解除されます。ロックが解除されると、機能ビューのボタンによる緑のインジケーターが消灯します。

注意

暗証番号をなくした/忘れた場合、または間違った暗証番号を 4 回以上入力した場合、セキュリティコードを使用すると、プライベートロックを無効にすることができます。

注意

プライベートロックがオンになっているときに、Volvo On Call* または Volvo On Call* アプリを使用して車両のロックを解除すると、プライベートロックは自動でオフになります。

関連情報

- グローブボックスの使用 (p. 270)
- テールゲートのロック/ロック解除 (p. 294)

脱着式キーブレード

リモートコントロールキーには金属製の脱着式キーブレードが付属しています。このキーブレードは、多くの機能の起動や一部の操作に使用することができます。

キーブレードは特別なコード番号を使用していますので、新しいキーを注文される場合は、ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

キーブレードの適用箇所

脱着式キーブレードを使用して：

- リモートコントロールキーでセントラルロックを解除できない場合、左側 [11] フロントドアを手動で開けることができます。
- すべてのドアを緊急ロックできます。「脱着式キーブレードによるロック/ロック解除」の項を参照してください。
- リアドアの手動チャイルドロックを作動/解除できます。「チャイルドロック」を参照してください。

ボタンレスキー [12](Key Tag)には脱着式キーブレードがありません。必要な場合、通常の脱着式キーブレードを使用してください。

▶▶

キーブレードを外す

1

1 1. 表面を上にし、ボルボのロゴを正しい方向に向けてリモートコントロールキーを保持し、下端のキーリング近くにあるボタンを右にスライドさせます。表面のカバーを上方向に数ミリずらします。

2. カバーが外れて、キーから離すことができます。

2

2 1. キーブレードを上に傾けて外します。

3

3 使用後は、キーブレードをリモートコントロールキーの元の位置に戻します。

1. カバーをカチッという音がするまで押し付けます。

2. 次にカバーをスライドさせて戻します。

› さらにカチッという音が聞こえたら、カバーが正しく取り付けられたことを意味します。

関連情報

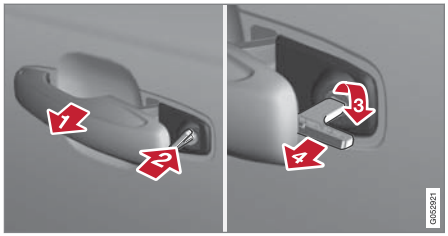
- 脱着式キーブレードによるロック/ロック解除（p. 298）
- チャイルドロック（p. 308）
- リモートコントロールキー（p. 282）

脱着式キーブレードによるロック/ロック解除

リモートコントロールキーの電池が消耗した場合などは、脱着式キーブレードを使用して、外側から車両をロック解除することができます。

11 左ハンドル車、右ハンドル車を問わず適用されます。
12 キーレスロック/ロック解除オプション(Passive Entry*)装備車に付属。

ドアロック解除



1. 左側[13]のフロントドアハンドルをいっぱいまで引き出し、ロックシリンダーが見えるようにします。
2. キーをロックシリンダーに差し込みます。
3. 時計回りに 45 度回して、キーブレードをまっすぐ後方に向けます。
4. キーを 45 度戻して、開始位置の状態にします。キーをロックシリンダーから抜いて、ハンドルから手を離し、ハンドルの後部を車両に元通りに接触させます。
5. ハンドルを引き出します。
   > ドアが開きます。

ロックするときの操作も同様ですが、ステップ (3) の時計回りとは反対に、反時計回りに 45 度回してください。

アラームの停止*

注意

キーブレードを使用してドアをロック解除し、その後ドアを開けると、アラームが作動します。

カップホルダー内のバックアップリーダーの場所

以下の手順に従って、アラームを解除します。

1. リモートコントロールキーをトンネルコンソールのカップホルダーの底部にあるバックアップリーダーに置きます。
2. スタートノブを回して手を離します。
   > ノブは自動的に開始位置に戻ります。アラームシグナルが停止して、アラームがオフになります。

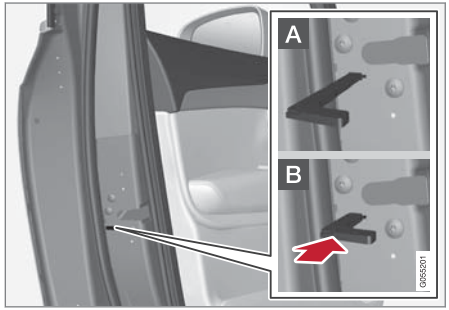
ロック作動

電源が失われた場合やキーの電池が消耗した場合などは、脱着式キーブレードで車両をロックすることもできます。

左側フロントドアは、ロックシリンダーと脱着式キーブレードを使ってロックすることができます。

他のドアにはロックシリンダーはありませんが、代わりに各ドアの端にロックスイッチがあります。これはキーブレードを使用して押し込むことが必要です。これを押し込むと機械的にロック/ブロックされ、外側からは開けることができなくなります。

この場合でもドアは内側から開けることができます。



手動ドアロック。チャイルドロックと混同しないでください。

[13] 右ハンドル車、左ハンドル車を問わず適用されます。

– 脱着式キーブレードをリモートコントロールキーから外します。キーブレードをロックの穴に差し込み、キーを奥まで約 12 mm 押し込みます。

A ドアは、外側からも内側からも開けることができます。

B ドアは外側からは開かなくなります。A 位置に戻すには、内側ドアハンドルを開くことが必要です。

各ドアは、リモートコントロールキーのロック解除ボタンか、運転席ドアのセントラルロックボタンによってもロック解除できます。

注意

- ドアのロックリセットは、そのドアのみに作動します。すべてのドアに同時に作動するわけではありません。
- 手動チャイルドロックまたはパワー・チャイルドロックが作動しているリアドアを手動でロックすると、車外からも車内からも開けることができなくなります。この方法でロックされたドアは、リモートコントロールキーまたはセントラルロックボタンでのみロック解除できます。

関連情報

- 脱着式キーブレード（p. 297）

パワーテールゲート*

テールゲートは電動で開閉することができます。

拡張オプションとして、足の動きで開閉することもできます。詳しくは、「足の動きによるパワーテールゲートの開閉」の項を参照してください。

開ける

テールゲートは、ハンドル、足の動き*、メーター・パネルのボタン、またはリモートコントロールキーで開くことができます。

テールゲートを開くときは、以下のいずれかの操作をします。

- テールゲートハンドルを軽く押します。
- メーター・パネルの ボタンを長押しします。テールゲートが開き始めるまで押したままにします。
- リモートコントロールキーの ボタンを長押しします。テールゲートが開き始めるまで押したままにします。
- リアバンパーの下で足を動かします*。

メーター・パネルにある開閉ボタン

閉める

テールゲートは、メーター・パネルのボタン、足の動き*、リモートコントロールキー、またはテールゲートの下端にあるボタン [14] で閉じることができます。

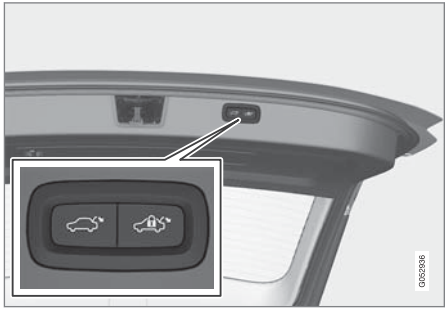
テールゲートを閉じるときは、以下のいずれかの操作をします。

– メーター・パネルの ボタンまたはリモートコントロールキーの ボタンを長押しします。

› テールゲートが自動的に閉じて、確認音が鳴ります。テールゲートはロック解除されたままです。

[14] キーレスロック/エントリー機能(Passive Entry*)装備車には、閉じるためのボタンが 1 つと、閉じてロックするためのボタンが 1 つあります。

– テールゲートの下面にある ボタン[14] を押します。



テールゲートの下側にある閉操作およびロック用ボタン

› テールゲートが自動的に閉じます。テールゲートはロック解除されたままです。

注意

ボタンはハッチを開けてから 24 時間有効です。その後は手動で閉める必要があります。

閉じてロックする

– テールゲートを閉じると同時にテールゲートとすべてのドアをロックするには、テールゲートの下面にある ボタン[14] を押します(ロックするにはすべてのドアを閉じておく必要があります)。

› テールゲートが自動的に閉じ、テールゲートとドアがロックされ、アラーム*がセットされます。

注意

リモートコントロールキーがテールゲート近くで検知されない場合、ロック/ロック解除は作動しません。詳しくは「リモートコントロールキー作動範囲」の項を参照してください。

注意

キーフリー*ブロック/クローズを使用する場合、キーがテールゲート近くで検知されないと警告音が 3 回鳴ります。詳しくは「リモートコントロールキー作動範囲」と「ロックおよびリモートコントロールキー」の項を参照してください。

重要

テールゲートを手動で開閉する際は、ゆっくりと開閉してください。抵抗が感じられる場合は、無理に開閉しないでください。損傷または故障の可能性があります。

開/閉操作をキャンセルする

– 開/閉操作をキャンセルするには、以下のいずれかの方法を使用します。

- メーター・パネルのボタンを押します。
- リモートコントロールキーのボタンを押します。
- テールゲートの下端にある閉ボタン[14] を押します。
- アウターハンドルの下側のラバー加工されたプレッシャープレートを押します。
- 足の動きを使用します*(詳しくは、「足の動きによるパワーテールゲートの開閉」の項を参照してください)。

› テールゲートの動きが中断されて停止し、手動で操作できるようになります。

開く際の最高位置はプログラム可能

テールゲートを開く際の最高位置は、天井の低いガレージなどに合わせて調節することができます。

[14] キーレスロック/エントリー機能(Passive Entry*)装備車には、閉じるためのボタンが 1 つと、閉じてロックするためのボタンが 1 つあります。

最高位置を調節するには

1. テールゲートを開けて、開いた位置で止めます。
2. テールゲートの下側にある ボタンを3秒以上押します。
   > 設定位置が保存されたことを示す、短い確認音が2回鳴ります。

最高位置をリセットするには

– テールゲートを可能な範囲でもっとも高い位置まで手動で動かし、テールゲートの ボタンを3秒以上押します。
   > 設定位置が消去されたことを示す確認音が2回鳴ります。テールゲートを開くと、もっとも高い位置まで開くようになります。

注意

- システムが長時間継続して作動していた場合には、過重負担を避けるためオフになります。約2分経過すると、再び作動させることができます。

ピンチプロテクション

テールゲートの開閉がある程度の力により妨げられると、ピンチプロテクションが作動します。

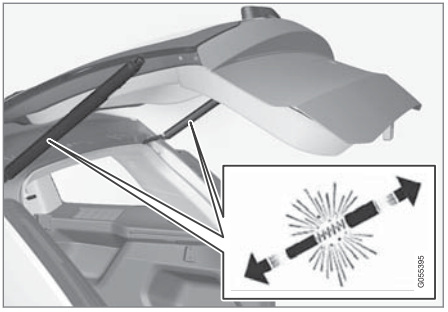
- 開いている途中で動きが妨げられると、テールゲートが停止して、長い確認音が鳴ります。
- 閉じている途中で動きが妨げられると、テールゲートが停止して、長い確認音が鳴り、テールゲートはプログラムされている最高位置まで戻ります。

警告

開閉時に挟まれる危険があるのでご注意ください。挟まれたことで深刻な事態をまねくおそれがあるので、開閉前にテールゲートの近くに誰もいないことを確認してください。

テールゲートの操作は、つねに慎重に行ってください。

プリテンションスプリング



パワーテールゲート用のプリテンションスプリング

警告

パワーテールゲートのプリテンションスプリングを分解しないでください。高圧がかかっているため、分解するとケガをする可能性があります。

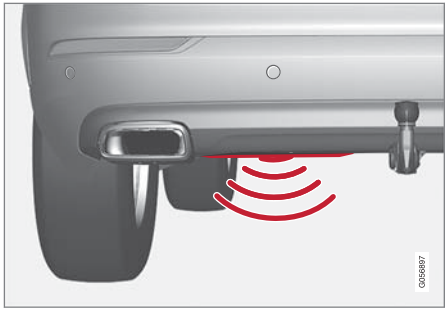
関連情報

- テールゲートのロック/ロック解除 (p. 294)
- 足の動きによるテールゲートの開閉* (p. 303)
- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 284)

* オプション/アクセサリー。

足の動きによるテールゲートの開閉*

テールゲートはリアバンパーの下で前方へキックをするような動作をすることで開閉することができます。両手がふさがっているときでも簡単に操作できます。



センサーはバンパー中央の左に取り付けられています。

テールゲートを開閉するためには、車両のリモートコントロールキー(1 個)が車両後方の作動範囲内 [15] にある必要があります。この条件はすでにロック解除されている車両にも該当します。洗車時などに不意に開くことを防止するためです。

操作

検知器の作動有効領域内でキックをするような動作をします。

開閉

注意

キック操作のテールゲート機能には、次の 2 つのバージョンがあります。

- 足の動きで開閉ができる
- 足の動きでロック解除のみができる(テールゲートは手で持ち上げて開く)

キック動作での開閉機能には、「パワーテールゲート」*オプションが必要です。

– リアバンパーの左下で前方へゆっくりとキックをするような動作を**1 度**行います。次に後ろへ一歩下がります。バンパーに触れないようにします。

  › 開/閉動作がオンになると、短い確認音が鳴り、テールゲートが開きます/閉じます。

  テールゲートが開位置にあるときは、足の動きにより閉じます。

テールゲートは、メーター・パネルのボタン、リモートコントロールキー、またはテールゲートの下にあるボタン [16] で閉じることもできます。詳しくは、「パワーテールゲート」の項を参照してください。

承認済みのリモートコントロールキーが車両の後方にない状態でキックをするような動作を複数回行うと、しばらく経過するまでテールゲートを開くことはできません。

キックをするような動作をしているときは、足が車両の下に入ったままにならないようにします。起動に失敗する場合があります。

15 詳しくは、「リモートコントロールキーの作動範囲」の項を参照してください。
16 キーレスロック/エントリー機能(Passive Entry)*装備車のみに適用されます。

開/閉操作をキャンセルする

– テールゲートの開閉中にテールゲートの動きを止めるには、前方へゆっくりとキックをするような動作を**1度**行います。

開閉をキャンセルするときに、リモートコントロールキーが車両の近くにある必要はありません。

注意

リアバンパーに大量の氷、雪、汚れなどが付着していると、機能が低下する、またはまったく動作しなくなる可能性があります。このため、つねにきれいな状態に保つようにしてください。

注意

リモートコントロールキーが作動範囲内にある場合、洗車機内などでシステムがオンになる可能性がありますのでご注意ください。

関連情報

- テールゲートのロック/ロック解除 (p. 294)
- パワーテールゲート* (p. 300)
- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 284)

リモートコントロールキーの電池交換

リモートコントロールキーの電池が消耗した場合、電池を交換する必要があります。

注意

すべてのバッテリーの耐用年数には限りがあり、最終的には交換が必要です(Key Tagには適用されません)。バッテリーの耐用年数は、車両/キーの使用頻度により異なります。

以下の場合には、リモートコントロールキーの電池を交換する必要があります。

インフォメーションシンボルが点灯し、**ｷｰのﾊﾞｯﾃﾘｰが低下 オーナーズマニュアルを 参照して下さい** というメッセージがドライバーディスプレイに表示された場合

または

- 車両から 20 m (65 フィート)以内の距離でリモートコントロールキーから繰り返し信号を送っても、ロックが反応しなくなった場合

注意

必ず車両に近づいて、もう一度ロック解除操作を試してください。

ボタンレスキー[17] (Key Tag)のバッテリーは交換できません。ボルボ指定のサービス工場で新しいキーを注文することができます。

重要

電池が消耗した Key Tag は、必ず正規ボルボサービス工場へお渡しください。電池が消耗していてもバックアップスタートにより車両を始動することが可能なため、キーを車両から削除する必要があります。

[17] このキーは、キーレスロック/エントリーオプション(Passive Entry*)装備車に付属しています。

交換方法

1 1 表面を上にし、ボルボのロゴを正しい方向に向けてリモートコントロールキーを保持し、下端のキーリング近くにあるボタンを右にスライドさせます。表面のカバーを上方向に数ミリずらします。

2 カバーが外れて、キーから放すことができます。

2 1 キーの向きを変え、ボタンを横に動かして、裏面のカバーを上方向に数ミリずらします。

2 カバーが外れて、キーから放すことができます。

3 ドライバーなどを使用して、バッテリーカバーを反時計回りに回し、マークを **OPEN** に合わせます。

爪などを窪みに押し込み、電池カバーを慎重に持ち上げます。

電池カバーを上方向に押し開きます。

4 電池の(+)側が上を向いています。図のように、電池を慎重に取り出します。

重要

新しいバッテリーやその端子表面を手で触れないでください。機能が低下するおそれがあります。

5 (+)側を上に向けて、新しい電池を取り付けます。リモートコントロールキーの電池接点を指で触らないようにしてください。

1 エッジを下にしてバッテリーをホルダーに入れます。次にバッテリーを前方にスライドさせて、2つのプラスチックの留め具の下にはめ込みます。

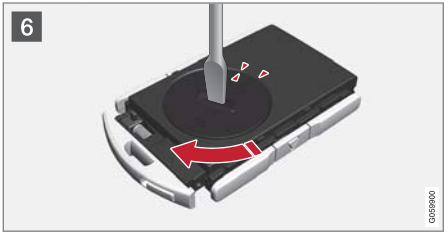
2 バッテリーを押し込み、上側にある黒いプラスチックの留め具の下にはめ込みます。

注意

CR2032 (3V)の電池を使用してください。

注意

ボルボでは、リモートコントロールキーのバッテリーには、UN Manual of Test and Criteria, Part III, sub-section 38.3 の適合品を使用することをお薦めしています。工場出荷時のバッテリーまたはボルボ指定のサービス工場で交換されたバッテリーは、上記の基準を満たしています。



6 電池カバーを元通りに取り付けて時計回りに回し、マークを CLOSE に合わせます。

7 1. 裏面のカバーを元の位置に戻し、カチッという音がするまで押し込みます。

2. 次にカバーをスライドさせて戻します。

› さらにカチッという音が聞こえたら、カバーが正しく取り付けられたことを意味します。

8 1. リモートコントロールキーを回してカチッという音がするまで押し込み、フロントサイドのカバーに再度取り付けます。

2. 次にカバーをスライドさせて戻します。

› さらにカチッという音が聞こえたら、カバーが正しく取り付けられたことを意味します。

重要

使用済みのバッテリーは、環境に優しい方法で処分してください。

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 282)

イモビライザー

電子式イモビライザーは、侵入者が車両を始動するのを防ぐ盗難防止システムです。

車両は適切なリモートコントロールキーでのみ始動することができます。

ドライバーディスプレイに表示される以下のエラーメッセージは、電子式イモビライザーと関連しています。

シンボル	メッセージ	意味
	キーが見つかりません **オーナーズマニュアルを参照して下さい**	始動時のリモートコントロールキー読み取りエラー – キーをキーシンボル近くのカップホルダーに入れて、もう一度お試しください。

追跡システム付きリモートコントロールイモビライザー [18]

車両には、車両を追跡し、位置を割り出すことができるシステムが装備されており、イモビライザーを遠隔操作してエンジンの始動を阻むことができます。このシステムの起動に関するお問い合わせやご相談は、最寄りのボルボ・ディーラーにご連絡ください。

18 特定市場のみ。使用には Volvo On Call*が必要。

◀◀ ドライバーディスプレイに表示される以下のエラーメッセージは、追跡システム付きリモートコントロールイモビライザーと関連しています。

シンボル	メッセージ	意味
	ﾘﾓｰﾄｴﾝｼﾞﾝﾛｯｸ 車を始動できません	追跡システム付きリモートコントロールイモビライザーが作動しています。車両は始動できません。Volvo On Call サービスセンターに連絡します。

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 282)
- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 284)

チャイルドロック

チャイルドロックは、お子様が内側からリアドアを開けるのを防ぎます。ロックには電動式*と手動式があります。

電動による作動/解除*

パワー・チャイルドロックは、**0** 以外のすべてのイグニッション位置で作動/解除できます。作動/解除は、エンジンを停止してから 2 分以内に行うことができます。ただし、いずれのドアも開いていないことが前提です。詳しくは、「イグニッション位置」の項を参照してください。

電動作動/解除用ボタン

1. エンジンを始動するか、**0** 以外のイグニッション位置を選択します。
2. 運転席ドアのコントロールパネルのボタンを押します。
   › ドライバーディスプレイに **ﾘｱﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ起動済** のメッセージが表示され、ボタンのランプが点灯します。ロックが作動していることを表します。

パワー・チャイルドロックが作動しているとき:

- パワーウインドは、運転席ドアのコントロールパネルスイッチでのみ開けることができます。
- リアドアは内側から開けられません。

ロックを解除するには:

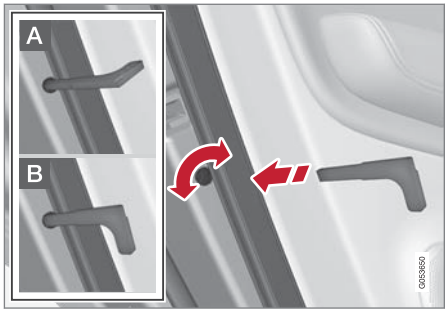
– 運転席ドアのコントロールパネルのボタンを押します。
   › ドライバーディスプレイに **ﾘｱﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ停止済** のメッセージが表示され、ボタンのランプが消灯します。ロックが解除されていることを表します。

エンジンを切ると、その時点での設定が保存されます。つまり、エンジン停止時にチャイルドロックが作動していれば、次回エンジンを始動したときにも作動したままとなります。

* オプション/アクセサリー。

シンボル	メッセージ	意味
	ﾘｱﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ 起動済	チャイルドロックが有効になっています
	ﾘｱﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ 停止済	チャイルドロックが無効になっています

手動による作動/解除



手動チャイルドロックがかかった状態。手動ドアロックと混同しないでください。

– 脱着式キーブレードでノブを回してください。詳しくは、「脱着式キーブレード」の項を参照してください。

A ドアは内側から開かなくなります。

B ドアは、外側からも内側からも開けることができます。

注意

- ドアのノブコントロールは、そのドアのみに作動します。両方のリアドアに同時に作動するわけではありません。
- 電動チャイルドロック装着車には、手動チャイルドロックは装着されていません。

関連情報

- 脱着式キーブレード（p. 297）
- イグニッション位置（p. 457）

アラーム*

アラームは車両への不正侵入時などに警告します。

作動可能状態のアラームは、次のようなときに作動します：

- ドア、ボンネット、またはテールゲートが開けられたとき [19]
- 車内の動きを感知したとき(ムーブメントセンサー*装着車の場合)
- 車両が持ち上げられたり、けん引されたとき(チルトセンサー*装着車の場合)
- メインバッテリーのケーブルの接続が外されたとき
- サイレンの接続を切断しようとしたとき

アラームシステムに故障が検知されると、ドライバーディスプレイにシンボル、および**ｱﾗｰﾑｼｽﾃﾑ故障 販売店にお問い合わせ下さい**というメッセージが表示されます。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

注意

アラームシステムの部品は、絶対にご自身で修理や改造をしないでください。保険が適用されなくなる場合があります。

注意

車内でなんらかの動きが検知されると、ムーブメントセンサーによりアラームが作動します。気流も動きとして感知されます。このため、ウインドまたはパノラマルーフ*が開いたままになっている場合や車内ヒーターが作動している場合には、アラームが作動するおそれがあります。

こうした状況を避けるには:車両から離れる場合には、ウインド/パノラマルーフを閉じてください。車に一体化されているパーキングヒーター(またはポータブル電気ヒーター)を使用する場合には、空気吹出口からの気流が車内上方に向かうことがないように気流を調整してください。または、アラームレベルを引き下げる方法もあります。この項目の後の説明を参照してください。

アラームのセット

車両をロックしてアラームをセットする場合、以下のいずれかの操作をします。

- リモートコントロールキーのロックボタンを押します
- ドアハンドルの外側のマーク部分に触れます [20]
- テールゲートのラバー加工されたプレッシャープレートを押します [20]

パワーテールゲート装備車では、車両をロックしてアラームをセットする場合、テールゲートの下面にあるボタンを使用することもできます。

アラームを非作動状態にする

車両をロック解除してアラームを解除する場合、以下のいずれかの操作をします。

- リモートコントロールキーのロック解除ボタンを押します
- いずれかのドアハンドルを握ります [20]
- テールゲートのラバー加工されたプレッシャープレートを押します [20]

作動したアラームの停止

– リモートコントロールキーのロック解除ボタンを押すか、スタートノブを時計回りに回して手を離し、車両をイグニッション位置 I にします。

注意

- 車両がロックされているときは、アラームが有効になっていますのでご注意ください。
- いずれかのドアを車内から開けた場合、アラームが作動します。

19 特定市場に適用
20 キーレスロック/エントリー機能(Passive Entry*)装備車のみに適用されます

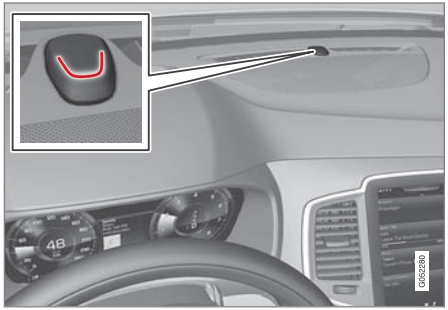
アラームシグナル

アラームが作動したときは：

- サイレンは、30 秒間またはアラームを解除するまで鳴ります。
- すべての方向指示器が 5 分間、またはアラームを解除するまで点滅します。

アラーム作動の原因が取り除かれない場合、アラームサイクルは最大で 10 回繰り返されます[21]。

ロック＆アラームインジケーター



ダッシュボードにある赤い LED が、アラームシステムの状態を表示します：

- LED 消灯 – アラームが解除されています。
- LED が 2 秒に 1 回点滅 – アラームがセットされています。
- アラームが解除された後は、スタートノブを時計回りに回し手を離してイグニッション位置 I を選択するまで、または最長 30 秒間、LED が高速点滅して、アラームが作動したことを表します。

アラームの機能解除

ムーブメントセンサーおよびチルトセンサーを一時的に解除してアラームを解除します。

ロックした車内に犬を残す場合やカートレインまたはカーフェリーで車両を輸送するときなどは、アラームが誤作動しないように、ムーブメントセンサーおよびチルトセンサーをオフにしてください。この手順は、デッドロック機能の一時解除と同じです。

センターディスプレイの機能ビューで **ガード解除** ボタンを押して、ムーブメントセンサーおよびチルトセンサーを一時的にオフにします。

関連情報

- アラームの自動セット/再セット*（p. 311）
- リモートコントロールキーを使用しないアラーム*の解除（p. 312）
- デッドロック*（p. 293）

アラームの自動セット/再セット*

アラームの自動再セットは、アラームをセットし忘れた状態で、車両が放置されるのを防ぐ機能です。

リモートコントロールキーで車両をロック解除（およびアラーム解除）してから 2 分以内にドアまたはテールゲートを開けないと、アラームは自動的に再びセットされます。同時に車両もロックされます。

一部の市場では、運転席ドアを開閉した後にロックしないでおくと、しばらく経過後に自動的にアラームが再セットされます。

関連情報

- アラーム*（p. 309）
- リモートコントロールキーを使用しないアラーム*の解除（p. 312）

21 特定市場に適用

リモートコントロールキーを使用しないアラーム*の解除

リモートコントロールキーが電池切れなどにより機能しない場合でも、車両のロック解除およびアラームの解除を行うことができます。

1. 脱着式キーブレードを使用して、運転席ドアをロック解除します。
   > アラームは、次のようなときに作動します：

カップホルダー内のバックアップリーダーの場所

2. リモートコントロールキーを、トンネルコンソールのカップホルダー内にあるバックアップリーダーの中に置きます。
3. スタートノブを時計回りに回して、ノブから手を離します。
   > アラームが解除されます。

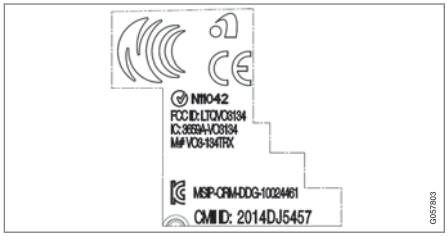
関連情報

- アラーム*（p. 309）
- アラームの自動セット/再セット*（p. 311）
- 脱着式キーブレード（p. 297）
- 車両の始動（p. 459）

リモートコントロールキーシステムの型式認定

リモートコントロールキーシステムの型式認定が表内に記載されています。

ロックシステム - キーレススタート(Passive Start)およびキーレスロック/ロック解除(Passive Entry*)



リモートコントロールキーシステムの CEM マーク追加の型式認定番号については、下の表を参照してください

国/地域	型式認定	
ヨルダン	TRC/LPD/2014/250	
セルビア	P1614120100	
アルゼンチン	CNC ID: C-14771	

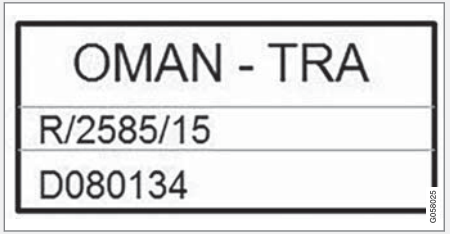
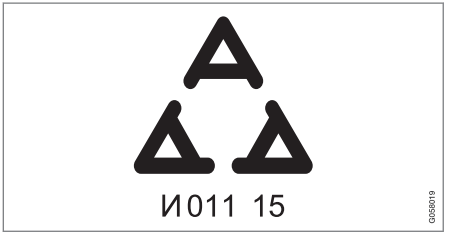
国/地域	型式認定	
ブラジル	MT-3245/2015	
インドネシア	Nomor: 38301/SDPPI/2015	
マレーシア	RAAT/37A/0315/S(15-0663)	
メキシコ	IFETEL: RLVDEV015-0396	
ロシア		
アラブ首長国連邦	ER37847/15 DA0062437/11	

国/地域	型式認定	
ナミビア	TA-2016-02	
南アフリカ	TA-2014-1868	

リモートコントロールキーシステムの型式認定の詳細については、support.volvocars.com を参照してください。

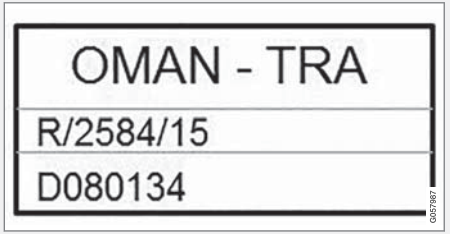
リモートコントロールキー

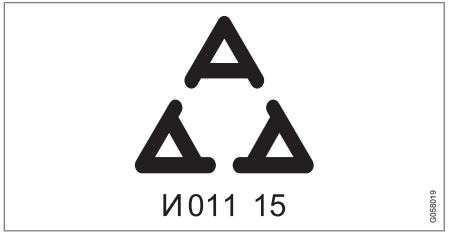
国/地域	型式認定	
ヨルダン	TRC/LPD/2015/104	
モロッコ	AGREE PAR L'ANRT MAROC Numéro d'agrément: MR 10668 ANRT 2015 Date d'agrément: 24/07/2015	

国/地域	型式認定	
メキシコ	IFETEL Marca: HUF Modelo (s): HUF8423 NOM-121-SCT1-2009 La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.	
オマーン		
セルビア		

国/地域	型式認定	
アラブ首長国連邦		
ナミビア	TA-2015-102	
南アフリカ	TA-2015-432	

キータグ

国/地域	型式認定	
ヨルダン	TRC/LPD/2015/107	
モロッコ	AGREE PAR L'ANRT MAROC Numéro d'agrément: MR 10667 ANRT 2015 Date d'agrément: 24/07/2015	
メキシコ	IFETEL Marca: HUF Modelo (s): HUF8432 NOM-121-SCT1-2009 La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.	
オマーン		

国/地域	型式認定	
セルビア		
アラブ首長国連邦		

国/地域	型式認定	
ナミビア	TA-2015-103	
南アフリカ	TA-2015-414	

関連情報

- リモートコントロールキー（p. 282）

運転者サポート

速度感応式のステアリングホイール操舵力

速度感応式パワーステアリングは、車速が上がるとステアリングを重くしてハンドル操作をしやすくします。

高速道路では、ステアリングはさらに重く感じられます。駐車時や低速走行時はステアリングホイールが軽くなり、わずかな力で操舵できます。

注意

状況により、パワーステアリングの温度が上がりすぎて、一時的に冷却が必要になることがあります。この間、パワーステアリングのアシスト力が低下するため、ステアリングホイールを回すときに、通常よりも少し重く感じられることがあります。

ステアリングのアシスト力が一時的に低下すると、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。

ステアリングホイール操舵力を変更する*

操舵力のレベルを選択するには、「ドライブモード」の項の「選択可能なドライブモード」のオプション、INDIVIDUAL に関する説明を参照してください。

INDIVIDUAL オプションを備えたドライブモードコントロールが装備されていない車両の場合、操舵力の選択にはセンターディスプレイのトップビューと以下の検索パスを使用します。

設定 ➔ My Car ➔ ドライブモード ➔ ステアリングパワー

速度が 10 km/h (6 mph)を超えている場合、ステアリングホイールを回しているときには、操舵力の選択は利用することができません。

関連情報

- ドライブモード* (p. 472)

スタビリティ・システム RSC[1]

スタビリティ・システム RSC は、急ハンドル時またはスリップ時などに車両が横転する危険性を最小限に抑えます。

RSC システムは、車両の側方傾斜の変化や、その度合いを検知します。このセンサーからの情報を基に、システムは横転の危険性を予測します。車両が危険な状態になると、エレクトロニック・スタビリティ・コントロールが起動し、エンジントルクを小さくして車両が安定性を回復するまで 1 本または複数のホイールにブレーキをかけます。

警告

RSC システムは、通常の走行条件下で走行時の安全性を高める機能です。ただし、このシステムが働いているからといって、むやみに走行速度を上げないでください。必ず、安全運転のための一般的な注意事項に従ってください。

関連情報

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール ESC (p. 323)
- 重要な安全上のご注意！ (p. 94)

* オプション/アクセサリー。

エレクトロニック・スタビリティ・コントロール ESC[2]

エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)は、横滑りの回避を支援し、車両のトラクションを向上させます。

制動中に ESC が作動すると、振動音が聞こえることがあります。アクセルペダルを踏み込むと、通常よりゆっくり加速します。

⚠ 警告

- スタビリティ・システム ESC 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- ESC は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

ESC システムは以下の機能で構成されています。

- アクティブ・ヨー・コントロール
- スピンコントロール
- トラクション・コントロール・システム
- エンジン・ドラッグ・コントロール
- トレーラー・スタビリティ・アシスト

アクティブ・ヨー・コントロール

この機能は、個々の車輪の回転と制動力をコントロールして、車両を安定させます。

スピンコントロール

この機能は、加速中に駆動輪が空転することを防ぎます。

トラクション・コントロール・システム

この機能は、低速走行時に作動し、アクセルを踏んだときに駆動輪の片側が空転すると、その車輪の駆動力を空転していない側の車輪に伝えます。

エンジン・ドラッグ・コントロール

エンジン・ドラッグ・コントロール(EDC[3])は、滑りやすい路面を低めのギヤで走行中にエンジンブレーキをかけた場合や、シフトダウンした場合などに、不意なホイールロックを防止します。走行中の不意なホイールロックは、運転者が車両の制御を失う原因の一つとなります。

トレーラー・スタビリティ・アシスト*[4]

トレーラー・スタビリティ・アシスト(TSA[5])は、蛇行が発生した場合に車両とトレーラーを安定させる機能です。詳細については、「トレーラー・スタビリティ・アシスト」の項も参照してください。

ⓘ 注意

スポーツモードをオンにすると、TSA 機能がオフになります。

関連情報

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモード (p. 324)
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのシンボルおよびメッセージ (p. 325)
- スタビリティ・システム RSC[1] (p. 322)
- トレーラー・スタビリティ・アシスト* (p. 506)

1 Roll Stability Control
2 Electronic Stability Control
3 Engine Drag Control
4 トレーラー・スタビリティ・アシストはボルボ純正トウバーの取り付けに含まれます。
5 Trailer Stability Assist

エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモード

ESC[7] システムはつねにオンの状態です。オフにすることはできません。しかし、運転者がスポーツモードを選択すると、よりアクティブな運転が可能になります。

スポーツモードでは、ESC システムがアクセルペダルやステアリングホイールの動き、さらにコーナリングをモニターし、通常よりもアクティブに運転しているとシステムが判断すると、一定範囲内で後輪の意図的なスリップを許容します。スリップが一定レベルを超えると、ESC が介入し、車両を安定させます。

例えば、運転者がアクセルペダルを放して、意図的なスリップを止めると、ESC システムが介入して、車両を安定させます。

スポーツモードでは、車両が動けなくなった場合や、砂や深い雪など緩い路面を走行している際にも、最大のトラクションが得られるようになります。

スポーツモードを選択/解除する

スポーツモードはセンターディスプレイの機能ビューで起動/解除します。

- 機能ビューで **ESC スポーツ モード** をタップします。
  - 〉 スポーツモードが起動/解除され、緑色/灰色のインジケーターがボタンに表示されます。

ドライバーディスプレイは、機能が解除されるか、エンジンを停止するまで、このシンボルを点灯させることにより、スポーツモードを示します。次回のエンジン始動後には、ESC システムは通常モードに戻ります。

スポーツモードの限界

速度リミッター、クルーズコントロールまたはアダプティブクルーズコントロール機能のひとつがオンになっているときは、**ESC スポーツ モード** 機能は選択できません。

関連情報

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール ESC（p. 323）
- 速度リミッター*（p. 327）
- クルーズコントロール（p. 335）
- アダプティブクルーズコントロール*（p. 344）

[7] Electronic Stability Control

エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイには、エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(Electronic Stability Control - ESC)に関する多くのシンボルおよびメッセージが表示される可能性があります。

いくつかの例が以下の表に示されています。

シンボル	メッセージ	意味
	約 2 秒間点灯	エンジン始動時のシステムチェックを行っています。
	点滅状態	ESC システムが起動中です。
	点灯状態	スポーツモードが選択されています。 **注意：**このモードの場合、ESC システムは解除されていません。一部制限されているだけです。
	横滑り防止装置 **一時的にオフ**	ブレーキが高温になりすぎて、ESC システムが一時的に制限されたことを示します。ブレーキ温度が正常に戻ると、機能は自動的に作動状態に戻ります。 ドライバーディスプレイのメッセージを確認してください。
	横滑り防止装置 **販売店に お問い合わせ下さい**	ESC システムが解除されています。 • 安全な場所に停車して、エンジンを一度停止し、その後再始動してください。 • メッセージが残る場合は、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ○ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

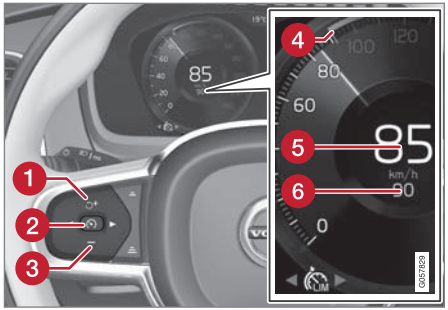
関連情報

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール ESC（p. 323）
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモード（p. 324）
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理（p. 153）

速度リミッター*

速度リミッター(SL[8])は、クルーズコントロールが逆になったものとみなすことができます。運転者がアクセルペダルで速度を調節しますが、速度リミッターは、事前に選択/設定した速度を不用意に上回ることをがないようにします。

概要



機能のボタンとシンボル[9]

1. ：速度リミッターをスタンバイモードから作動させて、設定上限速度を有効にします。
1. ＋：設定上限速度を上げます。
2. **スタンバイモードから** – 速度リミッターを作動させて、現在の速度を記憶します。
2. **アクティブモードから** – 速度リミッターを解除/スタンバイモードに変更します。
3. －：設定上限速度を下げます。
4. 設定上限速度用マーカー
5. 車両の現在速度
6. 設定上限速度

警告

- 速度リミッター機能は、運転を手助けするための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 運転者はつねに周囲の交通状況に注意し、速度リミッターが適切な速度を維持していない場合には適宜対応する必要があります。
- 速度リミッターは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

作動限界

急な下り坂では、速度リミッターのエンジンブレーキだけでは不十分となり、設定上限速度を超過する場合があります。この場合、運転者への警告として、ドライバーディスプレイにメッセージ **制限速度を超過しました** が表示されます。

[8] Speed Limiter
[9] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

注意

上限速度を 3 km/h（約 2 mph）以上超えると、上限速度を超えたことを知らせるメッセージが表示されます。

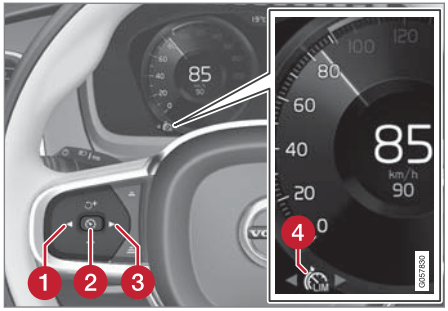
関連情報

- 速度リミッターの作動と起動（p. 328）
- 速度リミッターの解除/再作動（p. 329）
- 速度リミッターの速度を管理する（p. 329）
- 速度リミッターをオフにする（p. 331）
- 自動速度リミッター*（p. 331）
- 自動速度リミッターの作動/解除（p. 333）
- 自動速度リミッターの許容範囲の変更（p. 334）

速度リミッターの作動と起動

速度を制限させるには、最初に速度リミッター機能（SL[10]）を選択して作動させておく必要があります。

速度リミッターをスタンバイモードにする



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

– ◄ (1)または ► (3)を押して、速度リミッターのシンボル/機能 LIM (4)を表示します。
  › シンボル(4)が表示されて、速度リミッターがスタンバイモードになります。

速度リミッターを起動します。

速度リミッターはエンジンが始動するまで作動させることができません。設定可能な上限速度の下限は 30 km/h（20 mph）です。

– 速度リミッターがスタンバイモードで LIM シンボルが表示されているときに、ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
  › 速度リミッターが起動して、現在の速度が上限速度として記憶されます。

関連情報

- 速度リミッター*（p. 327）
- 速度リミッターの速度を管理する（p. 329）
- 速度リミッターの解除/再作動（p. 329）
- 速度リミッターをオフにする（p. 331）

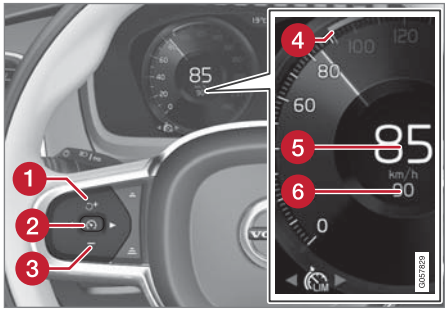
10 速度リミッター

* オプション/アクセサリー。

速度リミッターの速度を管理する

速度リミッター(SL[11])はさまざまな速度に設定することができます。

設定速度の設定/変更



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

- 設定速度を変更するには、ステアリングホイールの ＋ ボタン(1)または － (3)を短くまたは長く押します。
  - **短く**押す：押すたびに、速度が+/- 5 km/h (+/- 5 mph)単位で変化します。
  - **長く押す**：設定速度インジケーター(4)が目標速度に達したら、ボタンから指を離します。
- 最後にボタンを押した後の設定速度がメモリーに記憶されます。

11 Speed Limiter

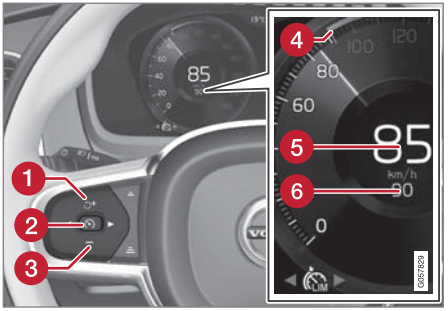
関連情報

- 速度リミッター* (p. 327)
- 速度リミッターの作動と起動 (p. 328)
- 速度リミッターの解除/再作動 (p. 329)
- 速度リミッターをオフにする (p. 331)

速度リミッターの解除/再作動

速度リミッター(SL[12])は一時的に解除してスタンバイモードにしておき、後で再作動させることができます。

速度リミッターを解除してスタンバイモードにする

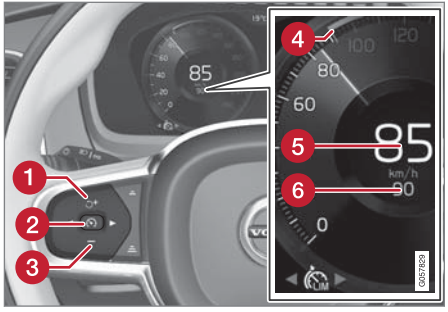


注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

速度リミッターを解除してスタンバイモードにするには：

- ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
  - 〉ドライバーディスプレイの上限速度マークとシンボルの色が白から灰色に変わります。これは速度リミッターが一時的に解除されたことを示します。運転者は設定された上限速度よりも速い速度で運転することができます。

スタンバイモードからの速度リミッターの再作動



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

速度リミッターをスタンバイモードから再作動させるには：

- ステアリングリモコンのボタン (1)を押します。
  - 〉ドライバーディスプレイの上限速度マークの色が灰色から白に変わり、車速は最後に記憶された上限速度に制限されます。

または

- ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
  - 〉ドライバーディスプレイの速度リミッターインジケーターおよびシンボルの色が灰色から白に変わり、車両は現在の速度を上限速度として適用します。

アクセルペダルによる一時的な加速

速度リミッターは、速度リミッターをスタンバイモードに設定しなくてもアクセルペダルの操作で一時的に無効にすることができるため、危険な状況から脱出する場合などに急加速することができます。

必要な状況では、以下のように操作してください。

1. アクセルペダルをいっぱいまで踏み込み、目標の速度に到達した時点で踏み込みをゆるめて加速を中断します。
   - 〉この場合、速度リミッターは作動状態を維持するため、ドライバーディスプレイのシンボルは白色です。
2. 一時的な加速が完了したら、アクセルペダルから足を完全に放します。
   - 〉最後に設定された上限速度を下回るまで車両に自動的にブレーキがかかります。

関連情報

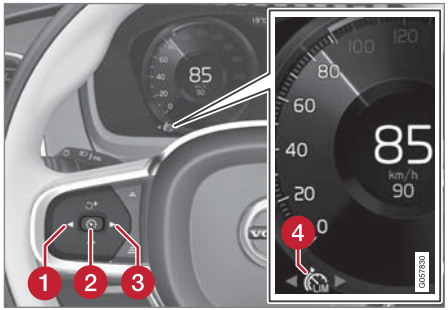
- 速度リミッター*（p. 327）
- 速度リミッターの作動と起動（p. 328）
- 速度リミッターの速度を管理する（p. 329）
- 速度リミッターをオフにする（p. 331）

12 Speed Limiter

* オプション/アクセサリー。

速度リミッターをオフにする

速度リミッター(SL[13])は解除することができます。



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

1. ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
   > 速度リミッターがスタンバイモードになります。
2. ステアリングリモコンのボタン ◄ (1)または ► (3)を押して、別の機能に切り替えます。
   > ドライバーディスプレイで点灯中の速度リミッターのシンボルおよび表示灯(4)が消灯し、設定上限速度が削除されます。
3. ステアリングリモコンのボタン (2)を再度押します。
   > 別の機能がオンになります。

関連情報

- 速度リミッター*（p. 327）
- 速度リミッターの作動と起動（p. 328）
- 速度リミッターの速度を管理する（p. 329）
- 速度リミッターの解除/再作動（p. 329）

自動速度リミッター*

自動速度リミッター(ASL[14])機能は、道路標識に表示されている速度に合わせて車両の上限速度を調整するのに役立ちます。

13 Speed Limiter
14 Automatic Speed Limiter

速度リミッター機能(SL[15])は、自動速度リミッター(ASL)に切り替えることができます。

自動速度リミッターはロード・サイン・インフォメーション[16]機能の速度情報を使用して、車両の上限速度を調整します。

⚠ 警告

- ASL 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 運転者に速度関連の道路標識がはっきりと見える場合でも、ロード・サイン・インフォメーション(RSI)機能から ASL への速度情報が正しくない場合があります。そのような場合、運転者自身が操作して、適切な速度に加速または減速する必要があります。
- ASL は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。
- 「ロード・サイン・インフォメーションの制限事項」の項も参照してください。

SL または ASL のどちらが作動中か

ドライバーディスプレイのシンボルは、どちらの速度リミッターが作動しているかを示します。

シンボル	SL	ASL
A	✓	✓
「70」よりも後の標識シンボル B = ASL が作動中		✓

A 白色のシンボル：機能作動中、灰色のシンボル：スタンバイモード
B シンボルの色が表す意味については、次の「ASL シンボル」の項を参照してください。

ASL シンボル

標識シンボル(スピードメーターの中央に設定速度「70」と一緒に表示される)は、3 色で表示され、それぞれの意味は以下の通りです。

標識シンボルの色	意味
黄緑色	ASL が作動中
灰色	ASL がスタンバイモード
オレンジ色	ASL が一時的にスタンバイモード(道路標識を読み取れないことなどが原因)

ASL の機能の限界

自動速度リミッターには、車両が通過する道路標識の制限速度情報ではなく、RSI[16] 機能からの速度情報が使用されます。

RSI[16] が速度情報を読み取ることができず、ASL に情報を提供できない場合、ASL はスタンバイモードにセットされ、SL に切り替わります。このような場合、運転者自身がブレーキを操作して、適切な速度に減速する必要があります。

RSI[16] 機能が速度情報を読み取って ASL に提供できるようになると、ASL は再度作動します。

「ロード・サイン・インフォメーションの機能の限界」の項も参照してください。

関連情報

- 速度リミッター* (p. 327)
- 自動速度リミッターの作動/解除 (p. 333)

15 速度リミッター
16 Road Sign Information - RSI

- 自動速度リミッターの許容範囲の変更 (p. 334)
- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 410)
- ロード・サイン・インフォメーション*の限界 (p. 415)

自動速度リミッターの作動/解除

自動速度リミッター機能(ASL[17])は、速度リミッター(SL[18])の補助として作動/解除することができます。

ASL を作動させる

速度標識 アシスト ボタンは、センターディスプレイの機能ビューにあります。

自動速度リミッターを作動させるには：

1. **速度標識 アシスト** ボタンを押します。
   > ASL はスタンバイモードになり、ボタンに緑色のインジケーターが点灯して、ドライバーディスプレイのスピードメーターの中央に標識シンボルが表示されます。
2. ステアリングホイールの ボタンを押します。
   > ASL が現在の車両速度で作動します。

ASL を解除する

自動速度リミッターを解除するには：

– 機能ビューで **速度標識アシスト** をタップします。
  > ASL が解除されてボタンの表示が灰色に変わり、SL が作動します。

⚠ 警告

ASL から SL に切り替えると、車両は表示制限速度に従わず、メモリーに記憶されている制限速度のみに従うようになります。

関連情報

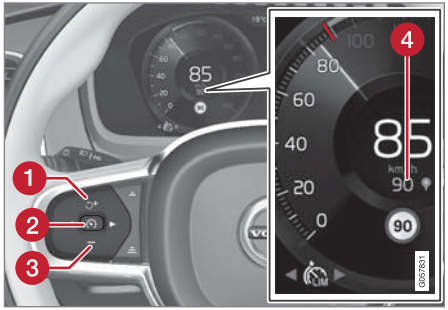
- 自動速度リミッター* (p. 331)
- 自動速度リミッターの許容範囲の変更 (p. 334)

17 Automatic Speed Limiter
18 Speed Limiter

自動速度リミッターの許容範囲の変更

自動速度リミッター機能(ASL[19])の設定では、許容範囲を変更することができます。

表示されている制限速度は増減させることができます。例えば、車両が 70 km/h (43 mph)の制限速度を守っているときに、運転者は車両が 75 km/h (47 mph)を維持して走行できるように設定することができます。



機能のボタンとシンボル [20]

- スピードメーターの中央(4)の表示が 70 km/h (43 mph)から 75 km/h (47 mph)に変わるまで、ステアリングホイールの + ボタン(1)を押します。
  - 完了すると、通過する標識が 70 km/h (43 mph)を表示している限り、車両は選択された許容値 5 km/h (4 mph)を使用します。

    この許容範囲は表示速度の異なる道路標識を通過するまで適用されます。それ以降、車両は新しい制限速度に従って走行し、許容範囲はメモリーから削除されます。

    ロード・サイン・インフォメーション*機能がオンの場合、表示制限速度を示す赤色のインジケーターがスピードメーターに表示されます。

許容範囲は、速度リミッターで速度設定を変更するときと同じ方法で調節します。

注意

選択可能な最大許容値は+/- 10 km/h (5 mph)です。

関連情報

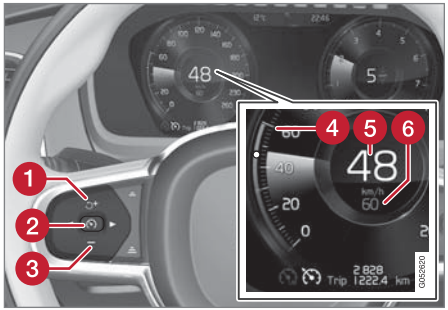
- 自動速度リミッター* (p. 331)
- 自動速度リミッターの作動/解除 (p. 333)
- 速度リミッターの速度を管理する (p. 329)
- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 410)
- 速度リミッター* (p. 327)

19 Automatic Speed Limiter
20 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

クルーズコントロール

クルーズコントロール(CC[21])は、運転者が一定速度を維持するときに役立ちます。このため、車の流れが一定な高速道路やまっすぐな道路が長く続くときに、リラックスして運転が楽しめます。

概要



機能のボタンとシンボル[22]

1 ：クルーズコントロールをスタンバイモードから作動させて、設定速度を有効にします。

1 ＋：設定速度を上げます。

2 ：**スタンバイモードから** – クルーズコントロールを作動させて、現在の速度を記憶します。

2 ：**アクティブモードから** – クルーズコントロールを解除/スタンバイモードに変更します。

3 －：設定速度を下げます。

4 設定速度用マーカー

5 車両の現在速度

6 設定速度

注意

アダプティブクルーズコントロール* 装備車では、クルーズコントロールとアダプティブクルーズコントロールを切り替えることができます。「CC と ACC の切り替え」を参照してください。

警告

- クルーズコントロール機能は、運転を手助けするための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 機能の限界やシステムの使用前に知っておくべきことを把握するために、運転者には、オーナーズマニュアルを確認して、この機能に関連する項目をすべて読むことをお薦めします(本項の終わりにあるリンクの一覧を参照してください)。
- クルーズコントロールは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

関連情報

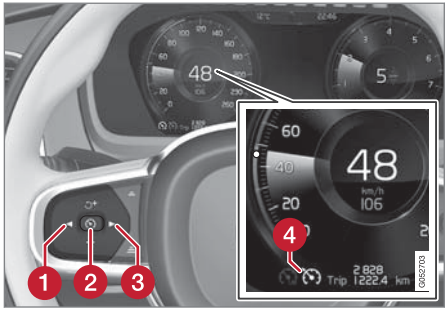
- クルーズコントロールの作動と起動 (p. 336)
- クルーズコントロールの速度を管理する (p. 337)
- クルーズコントロールの解除/再作動 (p. 338)

21 Cruise Control
22 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

- クルーズコントロールを解除する (p. 340)
- クルーズコントロール とアダプティブクルーズコントロール* を切り替える (p. 357)
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 344)

クルーズコントロールの作動と起動

速度を制御できるようにするには、最初にクルーズコントロール機能(CC[23])を選択して作動させておく必要があります。



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

クルーズコントロールをスタンバイモードにする

クルーズコントロールをスタンバイモードにするには：

– ◄ (1)または ► (3)を押して、シンボル/機能 (4)に移動します。

› シンボルが表示され、クルーズコントロールが作動可能な状態になります。

クルーズコントロールの作動/起動

クルーズコントロールをスタンバイモードから起動させるには、車速が 30 km/h (20 mph)以上である必要があります。設定可能な下限速度は 30 km/h (20 mph)です。

クルーズコントロールの起動：

– シンボル/機能 が表示されているときに、ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。

› クルーズコントロールが起動して、現在の速度が設定速度になります。

注意

クルーズコントロールは、車速が 30 km/h (20 mph)未満のときは使用できません。

関連情報

- クルーズコントロール (p. 335)
- クルーズコントロールの速度を管理する (p. 337)
- クルーズコントロールの解除/再作動 (p. 338)
- クルーズコントロールを解除する (p. 340)

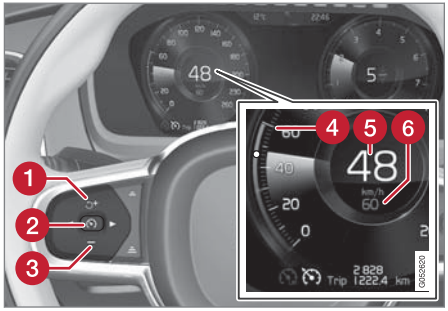
23 Cruise Control

* オプション/アクセサリー。

クルーズコントロールの速度を管理する

クルーズコントロール(CC[24])はさまざまな速度に設定することができます。

設定速度の設定/変更



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

– 設定速度を変更するには、ステアリングホイールの ＋ ボタン(1)または － (3)を短くまたは長く押します。
  - **短く**押す：押すたびに、速度が+/- 5 km/h (+/- 5 mph)単位で変化します。
  - **長く押す**：速度インジケーター(4)が目標速度に達したら、ボタンから指を離します。
  - 最後にボタンを押した後の設定速度がメモリーに記憶されます。

運転者がステアリングホイールの ＋ ボタン(1)を押す前にアクセルペダルで車両の速度を上げた場合、ボタンを押したときに運転者の足がアクセルペダルに載っていれば、ボタンを押した時点の速度が記憶されます。

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを放すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

フットブレーキの代わりにエンジンブレーキを使用する

クルーズコントロールを使用している場合、フットブレーキで速度を調節する頻度は少なくなります。下り坂では、速度が出すぎてしまい、エンジンブレーキで加速を制限することが望ましい場合があります。この場合、運転者はクルーズコントロールによるフットブレーキの使用を一時的に無効にすることができます。

以下の手順に従ってください。

– アクセルペダルを半分程度まで踏み込んで放します。
  > クルーズコントロールは自動フットブレーキを解除して、エンジンブレーキのみを使用します。

ドライブモード依存のクルーズコントロール

クルーズコントロールによる速度の維持方法は、選択中のドライブモード[25]によって異なることがあります。

クルーズコントロール Eco Cruise

ECO ドライブモードでは、他のドライブモードのときよりもクルーズコントロールの加減速がスムーズになり、燃費性能および環境性能が最適化されます。これに伴い、車両の速度が設定速度を一時的に上回る、または下回ることがあります。

「クルーズコントロール ECO」の「Eco Cruise ドライブモード」の補足情報を参照してください。

クルーズコントロール Dynamic Cruise

Dynamic ドライブモードでは、他のモードのときよりもクルーズコントロールの加減速が強く感じられ、ダイレクトに伝わる印象を受けます。

関連情報

- クルーズコントロール (p. 335)
- クルーズコントロールの作動と起動 (p. 336)
- クルーズコントロールの解除/再作動 (p. 338)
- クルーズコントロールを解除する (p. 340)

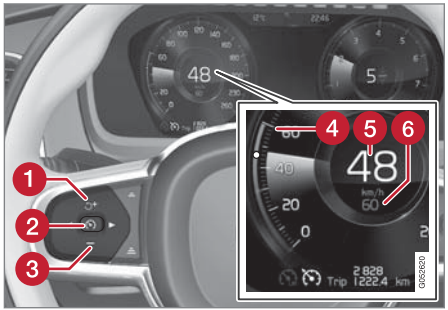
24 Cruise Control
25 補足情報については、「ドライブモード」の項を参照してください。

- ドライブモード*（p. 472）
- ECO ドライブモード（p. 475）

クルーズコントロールの解除/再作動

クルーズコントロール(CC[26])は一時的に解除してスタンバイモードにしておき、後で再作動させることができます。

クルーズコントロールを解除してスタンバイモードにする



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

クルーズコントロールをスタンバイモードにするには：

– ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
  › ドライバーディスプレイのクルーズコントロールマークとシンボルの色が白から灰色に変わります。これはクルーズコントロールが一時的に解除されたことを示します。運転者は自らの操作で速度を制御する必要があります。

運転者の操作に伴うスタンバイモードへの移行

以下の場合、クルーズコントロールは一時的に解除されて、スタンバイモードになります。

- フットブレーキが使用された
- ギヤセレクターレバーを **N** 位置にした
- 運転者が、設定されている速度よりも速い速度を 1 分間以上維持した

このような場合、運転者は車速をご自分で制御しなければなりません。

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを放すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

26 Cruise Control

* オプション/アクセサリー。

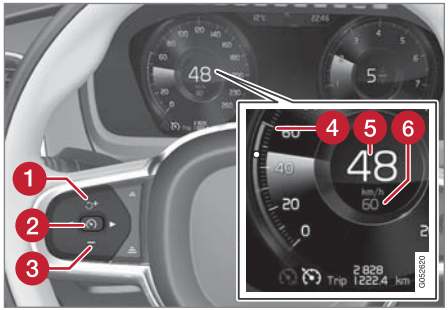
自動スタンバイモード

次のような場合には、クルーズコントロールが一時的に解除され、スタンバイモードになります。

- タイヤのグリップ力が失われたとき
- エンジン回転数が低すぎる、または高すぎるとき
- ブレーキ温度が高くなりすぎたとき
- 車速が 30 km/h (20 mph) を下回ったとき

このような場合、運転者は車速をご自分で制御しなければなりません。

スタンバイモードからのクルーズコントロールの再作動



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

クルーズコントロールをスタンバイモードから作動させるには：

- ステアリングリモコンのボタン (1) を押します。
  - 〉 ドライバーディスプレイのクルーズコントロールマークとシンボルの色が灰色から白に変わり、車両は直近に記憶された速度になります。

または

クルーズコントロールをスタンバイモードから作動させるには：

- ステアリングリモコンのボタン (2) を押します。
  - 〉 ドライバーディスプレイのクルーズコントロールマークとシンボルの色が灰色から白に変わり、車両は現在の速度で走行します。

⚠ 警告

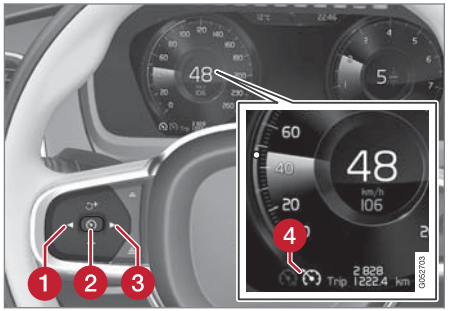
ステアリングリモコンボタン を押して速度を戻すと、速度が著しく上昇することがあります。

関連情報

- クルーズコントロール（p. 335）
- クルーズコントロールの作動と起動（p. 336）
- クルーズコントロールの速度を管理する（p. 337）
- クルーズコントロールを解除する（p. 340）

クルーズコントロールを解除する

クルーズコントロール Cruise Control - CC は解除することができます。



機能のボタンとシンボル [27]

クルーズコントロールを解除するには：

1. ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
   > クルーズコントロールがスタンバイモードになります。
2. ステアリングリモコンのボタン ◂ (1)または ▸ (3)を押して、別の機能に切り替えます。
   > ドライバーディスプレイで点灯中のクルーズコントロールのシンボル (4)が消灯し、設定速度が削除されます。
3. ステアリングリモコンのボタン (2)を再度押します。
   > 別の機能がオンになります。

注意

アダプティブクルーズコントロール* 装備車では、クルーズコントロールとアダプティブクルーズコントロールを切り替えることができます。「CC と ACC の切り替え」を参照してください。

関連情報

- クルーズコントロール (p. 335)
- クルーズコントロールの作動と起動 (p. 336)
- クルーズコントロールの速度を管理する (p. 337)
- クルーズコントロールの解除/再作動 (p. 338)
- クルーズコントロール とアダプティブクルーズコントロール* を切り替える (p. 357)

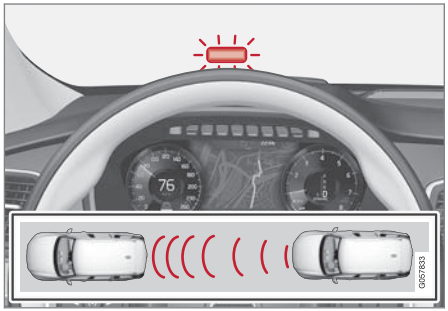
[27] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

* オプション/アクセサリー。

車間警告機能*

車間警告機能[28] は、先行車との車間時間が短くなりすぎた場合に運転者に警告するシステムです。

車間警告機能は、速度が 30 km/h (20 mph)を超えているときに作動し、同じ方向に走行している先行車に対してのみ反応します。対向車、低速で走行している車両、または停止している車両に対して、車間情報は表示しません。



ウインドスクリーンに表示される車間警告機能用警告灯[29]

前方の車両との車間時間がプリセット値よりも短くなると、ウインドスクリーンの視認できる位置に警告灯が点灯します。

注意

陽射しが強いとき、光のコントラストが極端なとき、運転者がサングラスを着用しているとき、運転者が前方をまっすぐ見ていないときなどは、ウインドスクリーンの警告灯が見えにくいことがあります。

注意

アダプティブクルーズコントロール作動中は、車間警告機能は解除されます。

警告

車間警告機能は、前方の車両との車間時間が、プリセットされた値より短くなったときにのみ反応します。自車の車速とは関係しません。

ヘッドアップディスプレイ*

ウインドスクリーンに表示される車間警告機能用シンボル[29]

ヘッドアップディスプレイ装備車では、前方の車両との車間時間がプリセット時間よりも短い間、ウインドスクリーンにシンボルが表示され続けます。ただし、この作動は車両のメニューシステムの設定で **運転者サポートを表示** 機能がオンになっていることが前提です。設定方法については、「ヘッドアップディスプレイ」の項を参照してください。

28 Distance Alert
29 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

注意

陽射しが強いとき、光のコントラストが極端なとき、運転者がサングラスを着用しているとき、運転者が前方をまっすぐ見ていないときなどは、ウインドスクリーンの警告灯が見えにくいことがあります。

関連情報

- 車間警告機能*の作動と車間時間の設定 (p. 342)
- 車間警告機能*の限界 (p. 343)
- ヘッドアップディスプレイ* (p. 156)
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 344)

車間警告機能*の作動と車間時間の設定

車間警告 [30] 機能は、車間時間の設定を変更すること、またはオフにすることができます。

オン/オフ

センターディスプレイの機能ビューで **車間警告** ボタンを押します。

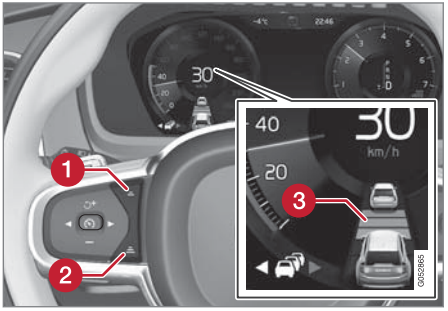
- ボタンが緑のとき - Distance Alert がオンになっています。
- ボタンがグレーのとき - Distance Alert はオフになっています。

Distance Alert は、エンジン始動のたびに自動的に起動します。

車間警告機能の車間時間の設定

先行車両との車間時間は増減させることができ、1～5 本の横線によってドライバーディスプレイに表示することができます。線の数が多いほど、車間時間が長くなります。横線が 1 本であれば、前方の車両まで約 1 秒であることを示し、横線が 5 本あれば、約 3 秒であることを示します。

アダプティブクルーズコントロール機能の作動中も、同じシンボルが表示されます。



車間時間用コントロール

1. 車間時間を短くする
2. 車間時間を長くする
3. 車間警告機能

– ステアリングリモコンのボタン(1)または(2)を押して、車間時間を長くまたは短くします。
  › 現在の車間時間が距離インジケーター(3)に表示されます。

[30] Distance Alert

注意

- 車速が速くなるほど、一定車間時間に相当する計算上の距離(単位：メートル)が長くなります。
- 各地の交通法規で許可されている車間時間のみを使用してください。
- 設定された車間時間は、アダプティブクルーズコントロールおよび Pilot Assist 機能にも使用されます。

警告

- 必ず現在の交通状況に適した車間時間を使用してください。
- 車間時間が短いと、不測の事態が発生した場合に回避操作を行う時間が制限されることを運転者は認識しておく必要があります。

関連情報

- 車間警告機能*（p. 341）
- 車間警告機能*の限界（p. 343）
- アダプティブクルーズコントロール*（p. 344）

車間警告機能*の限界

車間警告[31]機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

警告

- 車間警告機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 車両の大きさが検知能力に影響をおよぼすことがあるため、オートバイなどの場合には、設定よりも短い車間時間で警告灯が点灯したり、警告が一時的に機能しなくなるおそれがあります。
- 極めて高速で走行すると、レーダーユニット視野の限界により、設定よりも短い車間時間で警告灯が点灯する場合があります。
- 車間警告機能は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」の項を参照してください。

関連情報

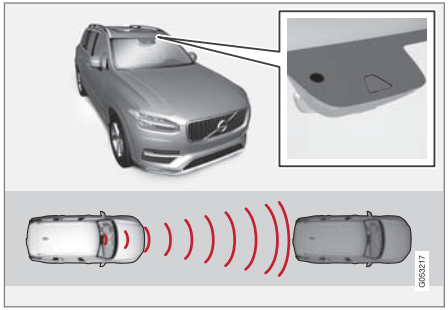
- 車間警告機能*（p. 341）
- 車間警告機能*の作動と車間時間の設定（p. 342）
- レーダーユニットの限界（p. 378）

[31] Distance Alert

アダプティブクルーズコントロール*

アダプティブクルーズコントロール(ACC[32])は、運転者が一定の速度を維持し、前方を走行している車両との車間時間をあらかじめ選択した時間に維持するのに役立ちます。

アダプティブクルーズコントロールは、交通の流れがスムーズな高速道路や長い直線の幹線道路を長時間走行する際に、よりリラックスした走行を可能にします。



カメラとレーダーユニットは、先行車両との距離を測定します[33]。

運転者は目標速度と、先行車との車間時間を選択します。カメラおよびレーダーユニットが前方に自車よりも遅い車両を検知すると、先行車との車間時間設定に基づいて自動的に速度が調整されます。前方の車両がいなくなると、車両は選択されていた速度に戻ります。

⚠ 警告

- アダプティブクルーズコントロール機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 機能の限界やシステムの使用前に知っておくべきことを把握するために、運転者には、オーナーズマニュアルを確認して、この機能に関連する項目をすべて読むことをお薦めします(本項の終わりにあるリンクの一覧を参照してください)。
- アダプティブクルーズコントロールは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

アダプティブクルーズコントロールは、アクセルおよびブレーキにより速度を制御します。ブレーキを使用して速度を調整する際に、ブレーキが低い音を発するのは正常です。

アダプティブクルーズコントロールは、速度をスムーズに制御します。急ブレーキが必要な状況では、必ずご自分でブレーキをかけてください。速度差が大きく異なる場合や、前方の車両が急ブレーキをかけた場合などです。レーダーユニットには限界があるため、不意にブレーキがかかることや、あるいはまったくブレーキがかからないことがあります。

アダプティブクルーズコントロールは、同じ車線上で前方を走行している車両との車間時間を一定に保ちながら走行するようにします。レーダーユニットが前方の車両を検知できない場合、車両は運転者の設定した速度を維持します。先行車両が加速して設定速度を超えた場合も同様です。

以下はオートマチックトランスミッション車に適用されます。

- アダプティブクルーズコントロールは、静止状態から 200 km/h (125 mph)までの速度範囲で別の車両に追従することができます。

32 Adaptive Cruise Control
33 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

⚠ 警告

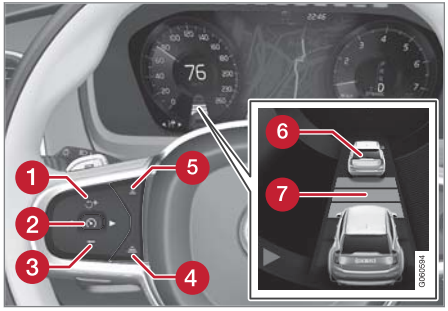
- アダプティブクルーズコントロールは、衝突を回避するシステムではありません。システムが前方の車両を検知しない場合、必ず運転者が責任を持って操作を行う必要があります。
- アダプティブクルーズコントロールは、人や動物には反応しません。また、自転車やオートバイなどの小型車両にも対応していません。さらに、車高の低いトレーラー、対向車、低速で走行している車両、または静止している車両および物体に対して、ブレーキを作動させることもありません。
- アダプティブクルーズコントロールは、市街地走行時、ジャンクション走行時、滑りやすい路面走行時、水たまりが多い路面や雪や泥に覆われている路面走行時、激しい雨や雪の中の走行時、視界が悪いとき、曲がりくねった道路走行時など、要求が厳しい状況では使用しないでください。

重要

アダプティブクルーズコントロール・コンポーネントのメンテナンスは、必ずボルボ指定のサービス工場でのみ行ってください。

概要

コントロール



機能のボタンとシンボル [33]

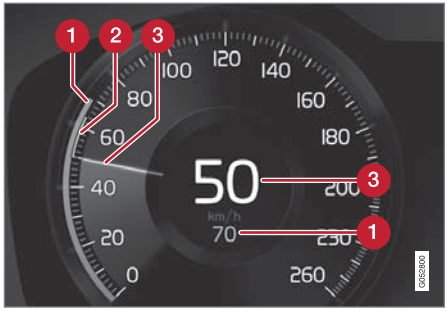
1. ：アダプティブクルーズコントロールをスタンバイモードから作動させて、設定速度を有効にします。
1. ＋：設定速度を上げます。
2. ：**スタンバイモードから** – アダプティブクルーズコントロールを作動させて、現在の速度を記憶します。
2. ：**アクティブモードから** – アダプティブクルーズコントロールを解除/スタンバイモードに変更します。
3. －：設定速度を下げます。
4. 前方の車両までの車間時間が長くなります。
5. 前方の車両までの車間時間が短くなります。
6. 対象車両シンボル：ACC が対象車両を検知し、プリセットの車間時間で対象車両に追従しています。
7. 前方の車両までの車間時間のシンボル

注意

アダプティブクルーズコントロール* 装備車では、クルーズコントロールとアダプティブクルーズコントロールを切り替えることができます。「CC と ACC の切り替え」を参照してください。

[33] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

ドライバーディスプレイ

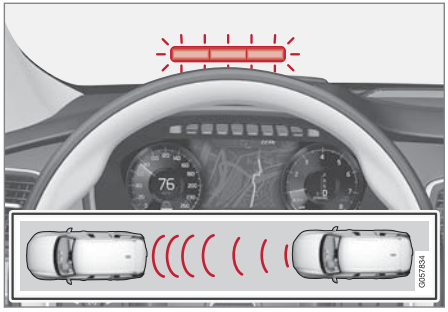


速度の表示 [33]

1. 設定速度
2. 前方の車両の速度
3. 自車の現在速度

交通状況に応じたさまざまなシンボルの組み合わせについては、「アダプティブクルーズコントロールのシンボルと機能」の項を参照してください。

衝突の危険警告



ウインドスクリーンに表示される衝突警告灯 [33]

アダプティブクルーズコントロールは、フットブレーキの約 40%の能力を使用します。車両がアダプティブクルーズコントロールのブレーキ能力以上のブレーキを必要とするときに、運転者がブレーキをかけない場合は、警告灯と警告音が作動して、ただちに運転者の介入が必要であることを警告します。

注意

陽射しが強いとき、光のコントラストが極端なとき、運転者がサングラスを着用しているとき、運転者が前方をまっすぐ見ていないときなどは、ウインドスクリーンの警告灯が見えにくいことがあります。

警告

アダプティブクルーズコントロールは、レーダーユニットが検知した車両に対してのみ警告を発します。そのため、警告を発しない場合や、警告に遅延が生じる場合があります。

- 絶対に警告が出るまで待たないでください。必要に応じてブレーキをかけてください。

[33] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

ヘッドアップディスプレイ*

ウインドスクリーンに表示される衝突警告用シンボル [33]

ヘッドアップディスプレイ装備車の場合、ウインドスクリーンに点滅するシンボルで警告が表示されます。

注意

陽射しが強いとき、光のコントラストが極端なとき、運転者がサングラスを着用しているとき、運転者が前方をまっすぐ見ていないときなどは、ウインドスクリーンの警告灯が見えにくいことがあります。

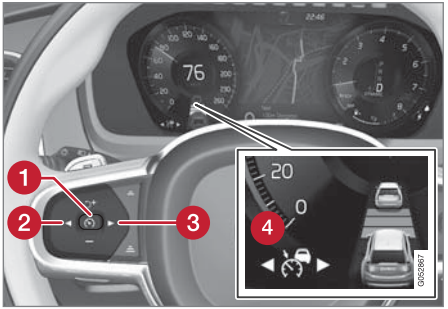
関連情報

- アダプティブクルーズコントロール*の作動と起動（p. 347）
- アダプティブクルーズコントロール*の速度を管理する（p. 349）
- アダプティブクルーズコントロール*の車間時間の設定（p. 350）
- アダプティブクルーズコントロール*の解除/作動（p. 352）
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト（p. 354）
- アダプティブクルーズコントロールによる追従対象車両変更およびオートブレーキ（p. 355）
- アダプティブクルーズコントロール*の限界（p. 356）
- クルーズコントロール とアダプティブクルーズコントロール* を切り替える（p. 357）
- アダプティブクルーズコントロール*のシンボルおよびメッセージ（p. 359）
- 車間警告機能*（p. 341）
- ヘッドアップディスプレイ*（p. 156）

アダプティブクルーズコントロール*の作動と起動

アダプティブクルーズコントロール(ACC[34])は最初に作動状態にしておき、速度と距離を制御する必要があるときに起動させる必要があります。

アダプティブクルーズコントロールをスタンバイモードにする



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

エンジンの始動直後、アダプティブクルーズコントロールはスタンバイモードになります。ア

[33] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。
[34] Adaptive Cruise Control

◂◂ クティブモードからスタンバイモードにするには、以下の手順に従ってください。

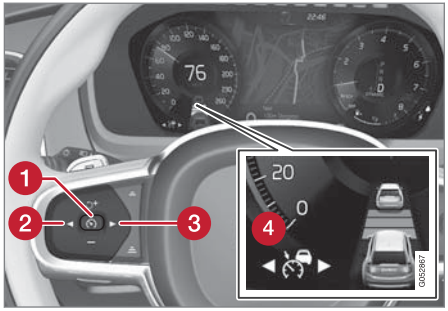
– ステアリングホイールの ◂ (2)または ▸ (3)ボタンを押して、シンボル/機能 (4)に移動します。

› シンボルが表示されて、アダプティブクルーズコントロールがスタンバイモードになります。

アダプティブクルーズコントロールの起動/作動

ACC を起動するには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 運転席シートベルトが着用され、運転席ドアが閉まっている。
- 自車の前方の範囲内に車両(「対象車両」)が走行している、または現在の速度が 15 km/h (9 mph)以上である。



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

– シンボル/機能 (4)が表示されているときに、ステアリングリモコンのボタン (1)を押します。

› アダプティブクルーズコントロールが起動し、現在の速度が記憶され、スピードメーターの中央に数値で表示されます。

車間時間は、距離シンボルが車両 2 台を表示しているときにのみ、前方の車両を対象にして ACC により調節されます。

同時に速度範囲がマークされます。

高い方の速度が設定/選択速度で、低い方の速度が先行車(対象車)の速度です。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 344)
- アダプティブクルーズコントロール*の速度を管理する (p. 349)
- アダプティブクルーズコントロール*の車間時間の設定 (p. 350)
- アダプティブクルーズコントロール*の解除/作動 (p. 352)
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト (p. 354)
- アダプティブクルーズコントロールによる追従対象車両変更およびオートブレーキ (p. 355)
- アダプティブクルーズコントロール*の限界 (p. 356)
- アダプティブクルーズコントロール*のシンボルおよびメッセージ (p. 359)

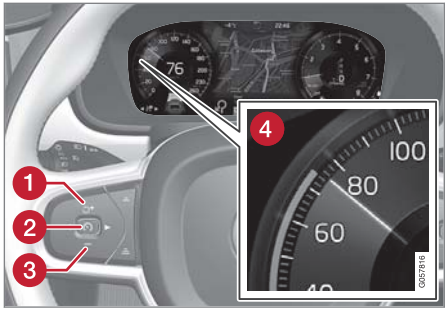
* オプション/アクセサリー。

- クルーズコントロール とアダプティブクルーズコントロール* を切り替える (p. 357)
- 車間警告機能* (p. 341)

アダプティブクルーズコントロール* の速度を管理する

アダプティブクルーズコントロール(ACC[35])はさまざまな速度に設定することができます。

設定速度の設定/変更



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

– 設定速度を変更するには、ステアリングホイールの + ボタン(1)または − (3)を短くまたは長く押します。
  - **短く**押す：押すたびに、速度が+/- 5 km/h (+/- 5 mph)単位で変化します。
  - **長く押す**：設定速度インジケーター(4)が目標速度に達したら、ボタンから指を離します。
  - 最後にボタンを押した後の設定速度がメモリーに記憶されます。

運転者がステアリングホイールの + ボタンを押す前にアクセルペダルで車両の速度を上げた場合、ボタンを押したときに運転者の足がアクセルペダルに載っていれば、ボタンを押した時点の速度が記憶されます。

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを放すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

オートマチックトランスミッション
アダプティブクルーズコントロールは、静止状態から 200 km/h (125 mph)までの速度範囲で別の車両に追従することができます。

アダプティブクルーズコントロールで設定できる最低速度は 30 km/h (20 mph)です。静止するまで先行車の追従が可能ですが、30 km/h (20 mph)未満の速度を選択/保存することはできません。

設定可能な最高速度は、200 km/h (125 mph)です。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 344)
- アダプティブクルーズコントロール*の作動と起動 (p. 347)

35 Adaptive Cruise Control

- アダプティブクルーズコントロール*の車間時間の設定（p. 350）
- アダプティブクルーズコントロール*の解除/作動（p. 352）
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト（p. 354）
- アダプティブクルーズコントロールによる追従対象車両変更およびオートブレーキ（p. 355）
- アダプティブクルーズコントロール*の限界（p. 356）
- アダプティブクルーズコントロール*のシンボルおよびメッセージ（p. 359）
- クルーズコントロール とアダプティブクルーズコントロール* を切り替える（p. 357）
- 車間警告機能*（p. 341）

アダプティブクルーズコントロール*の車間時間の設定

アダプティブクルーズコントロール(ACC[36])では、車間時間の設定を変更することができます。

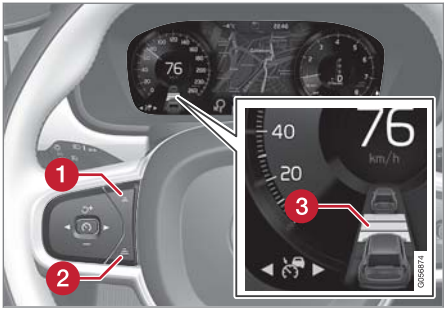
先行車両との車間時間は増減させることができ、1～5 本の横線によってドライバーディスプレイに表示されます。線の数が多いほど、車間時間が長くなります。横線が 1 本であれば、前方の車両まで約 1 秒であることを示し、横線が 5 本あれば、約 3 秒であることを示します。

車間警告機能の作動中も同じシンボルが表示されます。

注意

ドライバーディスプレイのシンボルが 2 台の車両を表示している場合、ACC はプリセットの車間時間で前方の車両に追従しています。

車両が 1 台だけ表示されている場合、前方の適度な範囲内に車両がいないことを表しています。



車間時間用コントロール

1. 車間時間を短くする
2. 車間時間を長くする
3. 車間警告機能

– ステアリングリモコンのボタン(1)または(2)を押して、車間時間を長くまたは短くします。
  > 現在の車間時間が距離インジケーター(3)に表示されます。

前方を走行している車両の後をスムーズかつ快適に走行できるように、状況によりアダプティブクルーズコントロールが、車間時間を大幅に変更する場合があります。低速走行時、車間距離が短いときは、アダプティブクルーズコントロールが車間時間を若干増やします。

36 Adaptive Cruise Control

注意

- 車速が速くなるほど、一定車間時間に相当する計算上の距離(単位：メートル)が長くなります。
- 各地の交通法規で許可されている車間時間のみを使用してください。
- アダプティブクルーズコントロールがオンになっているときに速度の上昇に反応しないように思われる場合、先行車との車間時間が設定時間よりも短いことが考えられます。

警告

- 必ず現在の交通状況に適した車間時間を使用してください。
- 車間時間が短いと、不測の事態が発生した場合に回避操作を行う時間が制限されることを運転者は認識しておく必要があります。

ACC による先行車両との距離の維持方法*を設定する

運転者は、アダプティブクルーズコントロールによる先行車両とのプリセット車間時間の維持方法を数種類の走行スタイルから選択することができます。選択には、ドライビングモードコントロール **DRIVE MODE** を使用します。

以下のオプションの中から 1 つ選択します：

- **Eco** – ACC は最適な燃料消費量を重視します。したがって、先行車両との車間時間は長くなります。
- **Comfort** – ACC は先行車両との設定車間時間をできるだけスムーズに守ることを重視します。
- **Dynamic** – ACC は先行車両との設定車間時間をさらに忠実に守ることを重視します。したがって、状況によっては、急加速/急減速の機会が増えることになります。

詳細情報については、「ドライブモード」の項を参照してください。

「クルーズコントロール Eco Cruise」の「ECO ドライブモード」の項でも、詳細情報を確認することができます。

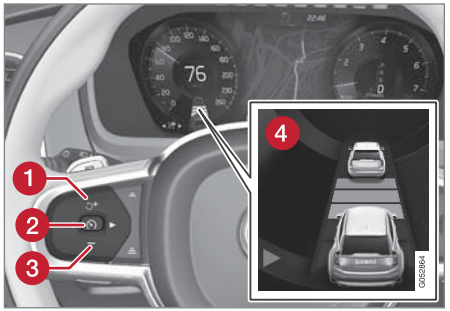
関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 344)
- アダプティブクルーズコントロール*の作動と起動 (p. 347)
- アダプティブクルーズコントロール*の速度を管理する (p. 349)
- アダプティブクルーズコントロール*の解除/作動 (p. 352)
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト (p. 354)
- アダプティブクルーズコントロールによる追従対象車両変更およびオートブレーキ (p. 355)
- アダプティブクルーズコントロール*の限界 (p. 356)
- アダプティブクルーズコントロール*のシンボルおよびメッセージ (p. 359)
- クルーズコントロール とアダプティブクルーズコントロール* を切り替える (p. 357)
- 車間警告機能* (p. 341)
- ドライブモード* (p. 472)
- ECO ドライブモード (p. 475)

アダプティブクルーズコントロール* の解除/作動

アダプティブクルーズコントロール(ACC[37])は一時的に解除してスタンバイモードしておき、後で再作動させることができます。

アダプティブクルーズコントロールを解除してスタンバイモードにする



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

一時的にアダプティブクルーズコントロールをオフにし、スタンバイモードにするには：

– ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
  › ドライバーディスプレイの シンボルの色が白から灰色に変わり、スピードメーターの中央に表示されている設定速度の色がベージュ色から灰色に変わります。

⚠ 警告

- アダプティブクルーズコントロールがスタンバイモードの場合、運転者が自ら操作して、速度および先行車との距離を調整する必要があります。
- アダプティブクルーズコントロールがスタンバイモードのときに車両が先行車に接近しすぎると、代わりに車間警告機能が車間距離が短いことを警告します。

運転者の操作に伴うスタンバイモードへの移行

以下の場合、アダプティブクルーズコントロールは一時的に解除されて、スタンバイモードになります。

- フットブレーキが使用された
- ギヤセレクターレバーを **N** 位置にした
- 運転者が、設定されている速度よりも速い速度を 1 分間以上維持した

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを放すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

37 Adaptive Cruise Control

自動スタンバイモード

アダプティブクルーズコントロールは、他のシステム(エレクトロニック・スタビリティ・コントロール ESC[38] など)に依存しています。これらのシステムのいずれかが作動を停止した場合、アダプティブクルーズコントロールは自動的に解除されます。

⚠ 警告

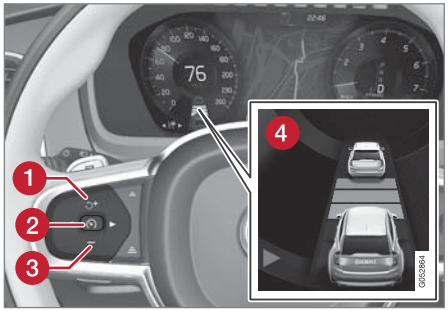
自動スタンバイモードになると、警告音が鳴り、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。

- これ以降は、運転者が車両の速度を調節し、必要に応じてブレーキをかけて、他の車両との安全な距離を確保する必要があります。

次のようなときに、自動的にスタンバイモードに移行することがあります。

- 速度が 10 km/h 未満で、ACC が前方の車両を停止している車両なのか、減速帯などの物体であるのかを判断できないとき
- 速度が 10 km/h 未満で、前方の車両が曲がり、ACC が追従する車両がなくなったとき
- 運転者がドアを開けたとき
- 運転者がシートベルトを外したとき
- エンジン回転数が低すぎる、または高すぎるとき
- タイヤのグリップ力が失われたとき
- ブレーキ温度が高温になったとき
- パーキングブレーキをかけたとき
- カメラおよびレーダーユニットが雪や大雨で覆われているとき(カメラレンズ/電波が遮られているとき)

スタンバイモードからのアダプティブクルーズコントロールの再作動



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

ACC をスタンバイモードから再作動させるには：

- ステアリングリモコンのボタン (1)を押します。
  - 速度は直近に記憶された速度に設定されます。

⚠ 警告

ステアリングリモコンボタン を押して速度を戻すと、速度が著しく上昇することがあります。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 344)
- アダプティブクルーズコントロール*の作動と起動 (p. 347)
- アダプティブクルーズコントロール*の速度を管理する (p. 349)
- アダプティブクルーズコントロール*の車間時間の設定 (p. 350)
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト (p. 354)

[38] Electronic Stability Control

- アダプティブクルーズコントロールによる追従対象車両変更およびオートブレーキ (p. 355)
- アダプティブクルーズコントロール*の限界 (p. 356)
- アダプティブクルーズコントロール*のシンボルおよびメッセージ (p. 359)
- クルーズコントロール とアダプティブクルーズコントロール* を切り替える (p. 357)
- 車間警告機能* (p. 341)
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール ESC (p. 323)

アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト

アダプティブクルーズコントロール(ACC[39])または Pilot Assist は、他の車両を追い越すときに運転者を支援することができます。

追い越しアシストの仕組み

ACC または Pilot Assist が別の車両に追従しているとき、運転者が方向指示器[40] を操作して追い越す意思を示した場合、アダプティブクルーズコントロールまたは Pilot Assist は、自車が追い越し車線に達する**前に**、前方の車両の方向へ自車を加速させて追い越しをしやすくします。

速度の遅い車両に接近しているときにブレーキを早くかけすぎることのないように、この機能は減速を遅らせます。

この機能は、自車が追い越した車両から十分に離れるまで作動し続けます。

⚠ 警告

この機能は追い越し時以外の状況で多く作動することがあります(例えば、車線変更時や別の道路への合流時に方向指示器を使用したときなど - 車両は一時的に加速します)。

追い越しアシストの継続

追い越しアシストが作動するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 前方に車両(「対象車両」)が存在していること
- 自車の**現在の速度**が 70 km/h (43 mph)以上であること
- ACC または Pilot Assist の**設定速度**が追い越しを安全に行うことができるほどの速度であること

追い越しアシストの起動

追い越しアシストを起動するには：

– 方向指示器を作動させます。

  左ハンドル車では左側の方向指示器を使用し、右ハンドル車では右側の方向指示器を使用します。

  › 追い越しアシストが起動します。

39 Adaptive Cruise Control
40 左ハンドル車では左側の、右ハンドル車では右側の方向指示器のみです。

追い越しアシストの限界

⚠ 警告

追い越しアシストシステムを使用している場合、状況の急変に伴って車両が不必要に加速するおそれがあることを運転者は認識しておく必要があります。

したがって、以下のような場合など、一部の状況では使用をひかえる必要があります。

- 車両が進む予定の出口が通常の追い越し時に使用する側と同じ側にあり、車両がその出口に接近している
- 自車が追い越し車線に入り終わる前に前方の車両が減速する
- 追い越し車線の交通の流れが遅くなっている
- 右ハンドル車で左側通行の国を走行している(逆も同様)

この種の状況は、ACC または Pilot Assist を一時的にスタンバイモードにすることにより回避することができます。

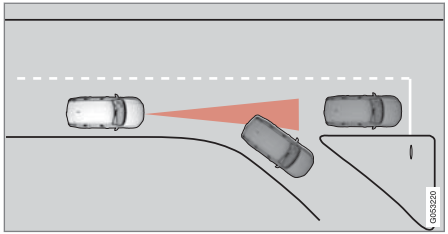
関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 344)
- Pilot Assist* (p. 361)

アダプティブクルーズコントロールによる追従対象車両変更およびオートブレーキ

オートマチックトランスミッション車の場合、アダプティブクルーズコントロール(ACC[41])には対象車両を変更する機能と特定速度でブレーキをかける機能があります。

追従対象車両の変更



追従対象となっている先行車両が突然曲がった場合、前方の車両が停止していることに突然気づく場合があります。

アダプティブクルーズコントロールにより30 km/h (20 mph)**未満**の速度で別の車両に追従しているときに追従対象車両が走行車両から静止車両に変わると、アダプティブクルーズコントロールは減速して静止車両に対応します。

⚠ 警告

アダプティブクルーズコントロールにより、約 30 km/h (20 mph)を**超える**速度で別の車両に追従している際に、目標車両が移動中の車両から静止車両に変わった場合には、アダプティブクルーズコントロールは静止している車両を**無視**して、設定されている速度まで加速します。

- 運転者は注意を怠らず、必要に応じてブレーキをかけてください。

追従対象車両の変更による自動スタンバイモード

以下の場合、アダプティブクルーズコントロールが解除され、スタンバイモードになります。

- 速度が 5 km/h (3 mph)未満で、アダプティブクルーズコントロールが、追従対象が静止車両なのか別の障害物(減速帯など)なのかを判断できない場合。
- 速度が 5 km/h (3 mph)未満で、先行車が曲がったためアダプティブクルーズコントロールが追従する車両がなくなった場合。

オートブレーキ

渋滞時や赤信号など、停止する時間が約 3 秒以内であれば、自動的に走行が始まります。先行車両が動き出すまでにそれ以上の時間がかかる場合には、アダプティブクルーズコントロール

41 Adaptive Cruise Control

◂◂ はオートブレーキによりスタンバイモードになります。

– アダプティブクルーズコントロールを再作動させるには、以下のいずれかの方法を行います。

  - ステアリングホイールの ↻+ ボタンを押します。
  - アクセルペダルを踏み込みます。

  › 前方の車両が 6 秒以内に前進し始めた場合、アダプティブクルーズコントロールは、前方の車両への追従を再開します。

ⓘ 注意

ACC は最長 5 分間車両を静止させておくことができます。それ以上経過すると、パーキングブレーキが作動し、アダプティブクルーズコントロールが解除されます。

アダプティブクルーズコントロールを再起動できるようにするには、パーキングブレーキを解除する必要があります。

オートブレーキの停止

状況により、静止すると同時にオートブレーキが停止して、アダプティブクルーズコントロールがスタンバイモードになることがあります。このため、ブレーキが解除され、車両が動き出す場合があります。運転者はご自分でブレーキをかけ、適切な位置を保ってください。

これは以下の状況で発生することがあります。

- 運転者がブレーキペダルに足を載せたとき
- パーキングブレーキをかけたとき
- ギヤセレクターレバーを **P**、**N** または **R** 位置にしたとき
- 運転者がアダプティブクルーズコントロールをスタンバイモードにしたとき

パーキングブレーキの自動作動

一部の状況では、パーキングブレーキが作動して、車両を静止状態に保ちます。

アダプティブクルーズコントロールがフットブレーキで車両を静止状態に保持しているときに以下の状況が発生すると、パーキングブレーキが作動します。

- 運転者がドアを開けるか、シートベルトを外したとき
- ACC が車両を約 5 分間以上静止状態に保ったとき
- ブレーキがオーバーヒートしたとき
- エンジンが停止したとき

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 344)
- 停車時のオートブレーキ (p. 486)
- パーキングブレーキ (p. 482)

アダプティブクルーズコントロール*の限界

アダプティブクルーズコントロール(ACC[42])は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

急な坂道や重い荷物を積載しての走行

アダプティブクルーズコントロールは主に、平坦な路面走行時用に設計されています。急な下り坂を走行する場合、この機能が前方の車両と適切な距離を保つことがむずかしい場合があります。このような場合には、特に注意をはらい、いつでもブレーキをかけられるようにしてください。

- 重い荷物を積載しているとき、または車両にトレーラーが連結されているときには、アダプティブクルーズコントロールを使用しないでください。

その他

- アダプティブクルーズコントロールがオンになっているときは、**Off Road** ドライブモードは選択できません。

ⓘ 注意

本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」の項を参照してください。

関連情報

- カメラユニットの限界（p. 387）
- レーダーユニットの限界（p. 378）
- アダプティブクルーズコントロール*（p. 344）
- アダプティブクルーズコントロール*の作動と起動（p. 347）
- アダプティブクルーズコントロール*の速度を管理する（p. 349）
- アダプティブクルーズコントロール*の車間時間の設定（p. 350）
- アダプティブクルーズコントロール*の解除/作動（p. 352）
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト（p. 354）
- アダプティブクルーズコントロールによる追従対象車両変更およびオートブレーキ（p. 355）
- クルーズコントロール とアダプティブクルーズコントロール* を切り替える（p. 357）
- アダプティブクルーズコントロール*のシンボルおよびメッセージ（p. 359）

クルーズコントロール とアダプティブクルーズコントロール* を切り替える

アダプティブクルーズコントロール(ACC[43])装備車では、運転者がクルーズコントロール(CC[44])と ACC を切り替えることができます。

ドライバーディスプレイのシンボルは、どちらのクルーズコントロールが作動しているかを示します

CC	ACC
A	A
クルーズコントロール	アダプティブクルーズコントロール

A 白色のシンボル：機能作動中、灰色のシンボル：スタンバイモード

ACC から CC に切り替える

次の手順に従ってください。

1. ステアリングホイールの ボタンを使用して、アダプティブクルーズコントロールをスタンバイモードにします。

42 Adaptive Cruise Control
43 Adaptive Cruise Control
44 Cruise Control

2. センターディスプレイの機能ビューで **クルーズ コントロール** ボタンを押します。ボタンのインジケーターが灰色から緑色に変わります。
   > ドライバーディスプレイのシンボルが ACC から CC に切り替わります。アダプティブクルーズコントロールはオフになり、クルーズコントロールがスタンバイモードになります。
3. ステアリングホイールの ボタンを押します。
   > クルーズコントロールが起動して、現在の速度を記憶します。

⚠ 警告

ACC から CC に切り替えた場合、車両の特性が以下のように変わります。

- プリセットされている先行車との車間時間を維持しなくなる。
- 設定速度のみに従うため、必要に応じて運転者がブレーキをかける必要がある。

CC がオンの状態でエンジンを停止すると、次回エンジンを始動したときに ACC が自動的にオンになります。

CC から ACC に切り替える

次の手順に従ってください。

1. ステアリングホイールの ボタンを使用して、クルーズコントロールをスタンバイモードにします。
2. 機能ビューで **クルーズ コントロール** ボタンを押します。ボタンのインジケーターが緑色から灰色に変わります。
   > ドライバーディスプレイのシンボルが CC から ACC に切り替わります。アダプティブクルーズコントロールがオンになって、スタンバイモードになります。
3. ステアリングホイールの ボタンを押します。
   > アダプティブクルーズコントロールが起動して、現在の速度と前方の車両とのプリセット車間時間を記憶します。

関連情報

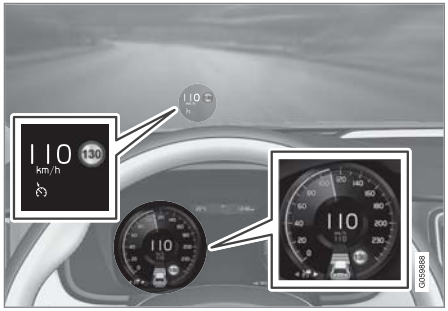
- クルーズコントロール（p. 335）
- アダプティブクルーズコントロール*（p. 344）

* オプション/アクセサリー。

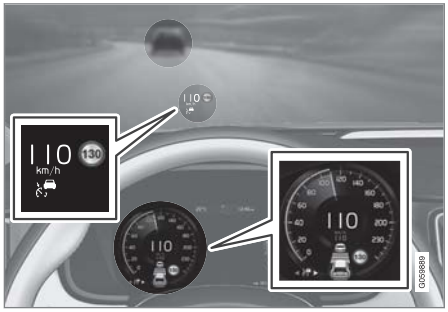
アダプティブクルーズコントロール* のシンボルおよびメッセージ

アダプティブクルーズコントロール(ACC[45])に関する多数のシンボルおよびメッセージが、ドライバーディスプレイおよびヘッドアップディスプレイ* の両方またはどちらか一方に表示されます。

以下は事例の一部です[46]。



上図[47]は、アダプティブクルーズコントロールが 110 km/h (68 mph)を維持するように設定され、かつ前方に追従対象の車両がないことを示しています。



上図[47]は、アダプティブクルーズコントロールが 110 km/h (68 mph)を維持するように設定され、同時に、同じ速度を維持している先行車を追従していることを示しています。

45 Adaptive Cruise Control
46 次図の例では、RSI (Road Sign Information)機能により制限速度が 130 km/h (80 mph)であることが示されています。
47 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

シンボル	メッセージ	意味
	シンボルが白色	車両は設定/選択されている速度を維持します。
	全車速追従 **利用不可** シンボルが灰色	アダプティブクルーズコントロールはスタンバイモードになっています。
	全車速追従 **販売店に お問い合わせ下さい** シンボルが灰色	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
	ｳｨﾝﾄﾞｽｸﾘｰﾝｾﾝｻｰ **ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされた。ｵｰ ﾅｰｽﾞ ﾏﾆｭｱﾙを見て下さい**	カメラおよびレーダーユニットのセンサーの前方のウインドスクリーンを清掃してください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ○ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

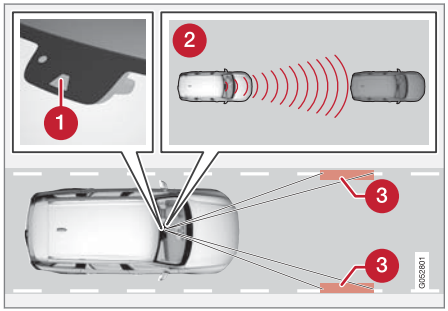
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 344)
- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 410)
- ヘッドアップディスプレイ* (p. 156)

Pilot Assist*

Pilot Assist は、ステアリングアシストを使用して両側の車線境界線の間を走行するよう運転者を支援するとともに、運転者が一定の速度を維持し、前方を走行している車両との車間時間をあらかじめ選択した時間に維持するのに役立ちます。

Pilot Assist の仕組み

Pilot Assist 機能は、交通の流れが一定な高速道路を長時間走行する際に、より快適でリラックスした走行を可能にします。



カメラとレーダーユニットは、先行車両との距離を測定し、車線境界線を検知します[48]。

1. カメラおよびレーダーユニット
2. 距離リーダー
3. レーダー、車線マーク

運転者は目標速度と、先行車との車間時間を選択します。Pilot Assist はカメラおよびレーダーユニットを使用して、先行車までの距離と路面の車線境界線をスキャンします。ステアリングアシストにより車両が車線内に保たれる一方で、自動速度調節により設定車間時間が維持されます。

Pilot Assist ステアリングアシストは先行車の速度と車線境界線を考慮に入れます。必要に応じて、運転者は Pilot Assist の薦めるステアリング操作を無視して、別の方向に操舵することができます。例えば、車線変更時や道路上の障害物を避ける場合などです。

Pilot Assist が車線をはっきりと判別できない場合(カメラおよびレーダーユニットが車線境界線を認識できない場合など)、Pilot Assist はステアリングアシストを一時的に解除しますが、車線が判別できるようになると、作動を回復します。ただし、速度および距離の制御機能は作動状態が維持されます。

⚠ 警告

Pilot Assist ステアリングアシストは自動的にオフになり、事前の通知なしに作動状態に戻ります。

ステアリングアシストの現在の状態は、ステアリングホイールのシンボルの色で表示されます。

- 緑色の場合、ステアリングアシストが作動しています。
- 灰色の場合(図の色)、ステアリングアシストは解除されています。

48 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

⚠ 警告

- Pilot Assist 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 機能の限界やシステムの使用前に知っておくべきことを把握するために、運転者には、オーナーズマニュアルを確認して、この機能に関連する項目をすべて読むことをお薦めします(本項の終わりにあるリンクの一覧を参照してください)。
- Pilot Assist は、車線の各側に車線境界線がはっきり塗装されている場合にのみ使用してください。それ以外の状況で使用すると、周辺の検知できない障害物と接触する危険性が高くなります。
- Pilot Assist は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、車線から逸脱することなく、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

Pilot Assist は、アクセルおよびブレーキにより速度を制御します。ブレーキを使用して速度を調整する際に、ブレーキが低い音を発するのは正常です。

Pilot Assist は速度をスムーズに制御しようとします。急ブレーキが必要な状況では、必ずご自分でブレーキをかけてください。速度差が大きく異なる場合や、前方の車両が急ブレーキをかけた場合などです。カメラおよびレーダーユニットには限界があるため、不意にブレーキがかかることや、あるいはまったくブレーキがかからないことがあります。

Pilot Assist の目的は、運転者が設定した車間時間を保ちながら同じ車線上にいる先行車両に追従することです。レーダーユニットが前方の車両を検知できない場合、車両は運転者の設定した速度を維持します。先行車両が加速して設定速度を超えた場合も同様です。

以下はオートマチックトランスミッション車に適用されます。

- Pilot Assist は、静止状態から 200 km/h (125 mph)までの速度範囲で別の車両に追従することができます。
- Pilot Assist は、ほぼ静止した状態から 140 km/h (87 mph)までの速度範囲でステアリングアシストを提供することができます。

⚠ 警告

- Pilot Assist は、衝突回避システムではありません。システムが前方を走行する車両を感知しない場合は、運転者が車両を操作しなければなりません。
- Pilot Assist は人、動物、物、小型車両(自転車やオートバイなど)、車高の低いトレーラー、対向車、低速車、静止車両を対象にブレーキを作動させることはありません。
- Pilot Assist は、市街地走行時、ジャンクション走行時、滑りやすい路面走行時、水たまりが多い路面や雪や泥に覆われている路面走行時、激しい雨や雪の中の走行時、視界が悪いとき、曲がりくねった道路の走行時、出入道路の走行時、車両にトレーラーが接続されているときなど、要求が厳しい状況では使用しないでください。

重要

Pilot Assist 内部コンポーネントのメンテナンスは、サービス工場で実施する必要があります。ボルボ指定のサービス工場をご利用ください。

カーブの走行および道路の分岐時

Pilot Assist は運転者と連携するため、運転者は Pilot Assist からのステアリングアシスト

を待つことなく、つねに自らステアリング操作を行う意識を持ち、特にカーブを走行するときには準備を心がけることが必要です。

車両が出口に近づいたとき、または車線が分岐する場合、運転者は予定進路の方向へ操舵して、Pilot Assist が目的の方向を特定できるようにする必要があります。

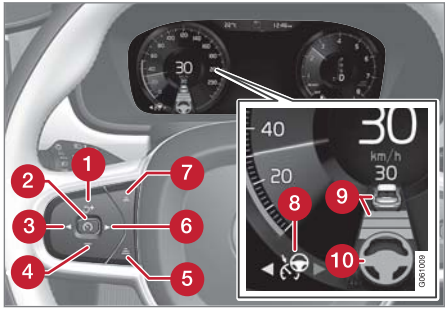
Pilot Assist は車両を車線中央に維持しようとする

Pilot Assist はステアリングアシスト時に車両を車線内に維持しようとするため、ドライビングエクスペリエンスをできるだけスムーズにするには、車両に最適な位置を見つけさせることが推奨されます。運転者は車両が車線内を安全に走行していることを確認し、いつでも自らのステアリング操作により車線内での位置を調節することができます。

車両が Pilot Assist によって車線内に正しく維持されない場合、Pilot Assist をオフにするか、またはアダプティブクルーズコントロールに切り替えることをお薦めします。

概要

コントロール

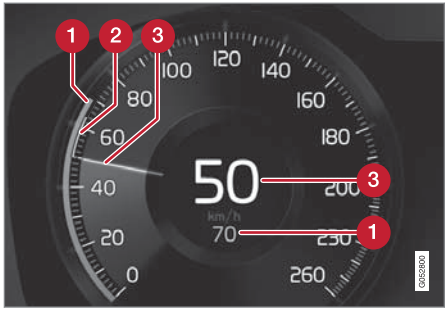


機能のボタンとシンボル [48]

1. : Pilot Assist をスタンバイモードから作動させて、設定速度および車間時間を有効にします。
1. ＋ : 設定速度を上げます。
2. : **スタンバイモードから** – Pilot Assist を作動させて、現在の速度を記憶します。
2. : **アクティブモードから** – Pilot Assist を解除/スタンバイモードに変更します。
3. ◂ : Pilot Assist からアダプティブクルーズコントロールに切り替えます。
4. ー : 設定速度を下げます。
5. 前方の車両までの車間時間が長くなります。
6. ▸ : アダプティブクルーズコントロールから Pilot Assist に切り替えます。
7. 前方の車両までの車間時間が短くなります。
8. 機能シンボル
9. 対象車両および前方の車両までの車間時間のシンボル
10. ステアリングアシスト作動/解除表示シンボル

[48] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

ドライバーディスプレイ

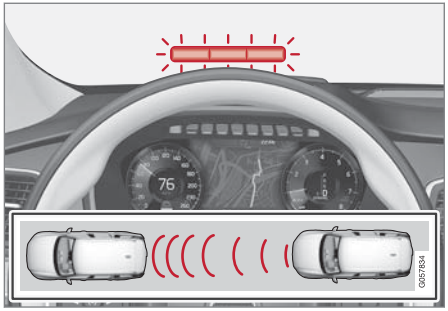


速度の表示 [48]

1. 設定速度
2. 前方の車両の速度
3. 自車の現在速度

交通状況に応じたさまざまなシンボルの組み合わせについては、「Pilot Assist のシンボルおよびメッセージ」の項を参照してください。

衝突の危険警告



ウインドスクリーンに表示される衝突警告灯 [48]

Pilot Assist はフットブレーキの能力の約 40% を使用します。車両が Pilot Assist のブレーキ能力以上のブレーキを必要とするときに、運転者がブレーキをかけない場合は、警告灯と警告音が作動して、ただちに運転者の介入が必要であることを警告します。

注意

陽射しが強いとき、光のコントラストが極端なとき、運転者がサングラスを着用しているとき、運転者が前方をまっすぐ見ていないときなどは、ウインドスクリーンの警告灯が見えにくいことがあります。

警告

Pilot Assist は、カメラおよびレーダーユニットが検知した車両に対してのみ警告を発します。そのため警告が作動しない、または遅れる場合があります。

- 絶対に警告が出るまで待たないでください。必要に応じてブレーキをかけてください。

[48] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

ヘッドアップディスプレイ*

ウインドスクリーンに表示される衝突警告用シンボル [48]

ヘッドアップディスプレイ装備車の場合、ウインドスクリーンに点滅するシンボルで警告が表示されます。

注意

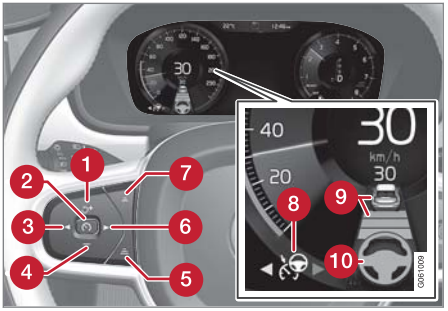
陽射しが強いとき、光のコントラストが極端なとき、運転者がサングラスを着用しているとき、運転者が前方をまっすぐ見ていないときなどは、ウインドスクリーンの警告灯が見えにくいことがあります。

関連情報

- Pilot Assist*の作動と起動（p. 365）
- Pilot Assist*の速度を管理する（p. 367）
- Pilot Assist*の車間時間の設定（p. 368）
- Pilot Assist*による対象車両の変更とオートブレーキ（p. 371）
- Pilot Assist*のオフ/オン（p. 369）
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト（p. 354）
- Pilot Assist*の限界（p. 373）
- Pilot Assist*のシンボルおよびメッセージ（p. 375）
- アダプティブクルーズコントロール*（p. 344）
- 車間警告機能*（p. 341）
- ヘッドアップディスプレイ*（p. 156）
- レーダーユニットの限界（p. 378）
- カメラユニットの限界（p. 387）

Pilot Assist*の作動と起動

速度および距離の制御とステアリングアシストの使用を可能にするには、最初に Pilot Assist を作動させてから起動する必要があります。



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

Pilot Assist を起動するには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 運転席シートベルトが着用され、運転席ドアが閉まっている。
- 自車の前方の範囲内に車両（「対象車両」）が走行している、または現在の速度が 15 km/h (9 mph)以上である。

[48] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

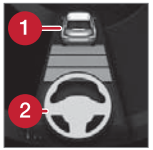
◀◀ アダプティブクルーズコントロールが**スタンバイモード**の場合：

1. ステアリングリモコンのボタン ▸ (6)を押します。
   › シンボルが、Pilot Assist のスタンバイモード(8)に変わります。
2. ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
   › Pilot Assist が起動し、現在の速度が設定されてスピードメーターの中央に数字で表示されます。

または

アダプティブクルーズコントロールが**起動している**場合：

– ステアリングリモコンのボタン ▸ (6)を押します。
  › Pilot Assist が起動します。



Pilot Assist ステアリングアシストは、ステアリングホイールシンボル(2)が灰色から緑色に変わったときにのみ作動します。

Pilot Assist は、距離シンボルがステアリングホイールシンボルの上に車両(1)を表示しているときにのみ、先行車との車間時間を調整しています。

同時に速度範囲がマークされます。

高い方の速度が設定/選択速度で、低い方の速度が先行車(対象車)の速度です。

運転者の手はステアリングホイールに

Pilot Assist が機能するには、運転者が両手をステアリングホイールに置いている必要があります。運転者がステアリングホイールを握っていないことを Pilot Assist が検知した場合、運転者はディスプレイテキストと警告音によりステアリング操作を自発的に行うように促されます。

それでも運転者がステアリングホイールを握っていることを Pilot Assist が検知できない場合、この機能はスタンバイモードに移行します。その後 Pilot Assist を再度起動するには、ステアリングホイールの ボタンを押す必要があります。

注意

Pilot Assist は、運転者の両手がステアリングホイールに置かれている場合にのみ作動します。

関連情報

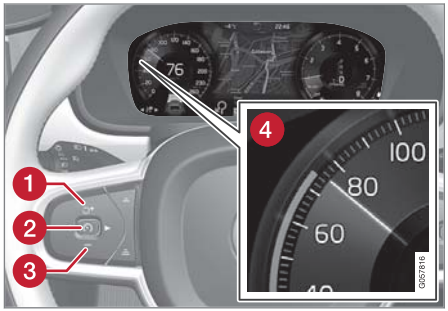
- Pilot Assist*（p. 361）
- Pilot Assist*の速度を管理する（p. 367）
- Pilot Assist*の車間時間の設定（p. 368）
- Pilot Assist*による対象車両の変更とオートブレーキ（p. 371）
- Pilot Assist*のオフ/オン（p. 369）
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト（p. 354）
- Pilot Assist*の限界（p. 373）
- Pilot Assist*のシンボルおよびメッセージ（p. 375）

* オプション/アクセサリー。

Pilot Assist*の速度を管理する

Pilot Assist はさまざまな速度に設定することができます。

設定速度の設定/変更



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

– 設定速度を変更するには、ステアリングホイールの ＋ ボタン(1)または － (3)を短くまたは長く押します。
  - **短く**押す：押すたびに、速度が+/- 5 km/h (+/- 5 mph)単位で変化します。
  - **長く押す**：設定速度インジケーター(4)が目標速度に達したら、ボタンから指を離します。
- 最後にボタンを押した後の設定速度がメモリーに記憶されます。

運転者がステアリングホイールの ＋ ボタンを押す前にアクセルペダルで車両の速度を上げた場合、ボタンを押したときに運転者の足がアクセルペダルに載っていれば、ボタンを押した時点の速度が記憶されます。

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを放すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

オートマチックトランスミッション

Pilot Assist は、静止状態から 200 km/h (125 mph)までの速度範囲で別の車両に追従することができます。

Pilot Assist で設定できる最低速度は 30 km/h (20 mph)です。静止するまで先行車の追従が可能ですが、30 km/h (20 mph)未満の速度を選択/保存することはできません。

設定可能な最高速度は、200 km/h (125 mph)です。

関連情報

- Pilot Assist* (p. 361)
- Pilot Assist*の作動と起動 (p. 365)
- Pilot Assist*の車間時間の設定 (p. 368)
- Pilot Assist*による対象車両の変更とオートブレーキ (p. 371)
- Pilot Assist*のオフ/オン (p. 369)
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト (p. 354)
- Pilot Assist*の限界 (p. 373)
- Pilot Assist*のシンボルおよびメッセージ (p. 375)

Pilot Assist*の車間時間の設定

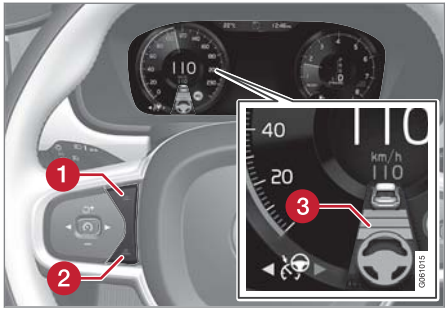
Pilot Assist では、車間時間の設定を変更することができます。

先行車両との車間時間は増減させることができ、1〜5 本の横線によってドライバーディスプレイに表示されます。線の数が多いほど、車間時間が長くなります。横線が 1 本であれば、前方の車両まで約 1 秒であることを示し、横線が 5 本あれば、約 3 秒であることを示します。

注意

ドライバーディスプレイのシンボルが車両とステアリングホイールを示している場合、Pilot Assist が所定の車間時間で先行車両に追従していることを表しています。

ステアリングホイールが 1 つだけ表示されている場合、前方の適度な範囲内に車両がいないことを表しています。



車間時間用コントロール

1. 車間時間を短くする
2. 車間時間を長くする
3. 車間警告機能

– ステアリングリモコンのボタン(1)または(2)を押して、車間時間を長くまたは短くします。

  › 現在の車間時間が距離インジケーター(3)に表示されます。

先行車に気持ちよくスムーズに追従するために、Pilot Assist は状況により車間時間を著しく変化させます。例えば、低速走行時に車間距離が短くなると、Pilot Assist は車間時間を少し長くします。

注意

- 車速が速くなるほど、一定車間時間に相当する計算上の距離(単位：メートル)が長くなります。
- 各地の交通法規で許可されている車間時間のみを使用してください。
- Pilot Assist がオンになっているときに速度の上昇に反応しないように思われる場合、先行車との車間時間が設定時間よりも短いことが考えられます。

警告

- 必ず現在の交通状況に適した車間時間を使用してください。
- 車間時間が短いと、不測の事態が発生した場合に回避操作を行う時間が制限されることを運転者は認識しておく必要があります。

Pilot Assist による先行車両との距離の維持方法*を設定する

運転者は、Pilot Assist による先行車両とのプリセット車間時間の維持方法を数種類の走行スタイルから選択することができます。選択には、ドライビングモードコントロール **DRIVE MODE** を使用します。

＊ オプション/アクセサリー。

以下のオプションの中から 1 つ選択します：

- **Eco** – ACC は最適な燃料消費量を重視します。したがって、先行車両との車間時間は長くなります。
- **Comfort** – Pilot Assist は先行車両との設定車間時間をできるだけスムーズに守ることを重視します。
- **Dynamic** – Pilot Assist は先行車両との設定車間時間をさらに忠実に守ることを重視します。したがって、状況によっては、急加速/急減速の機会が増えることになります。

詳細情報については、「ドライブモード」の項を参照してください。

「クルーズコントロール Eco Cruise」の「ECO ドライブモード」の項でも、詳細情報を確認することができます。

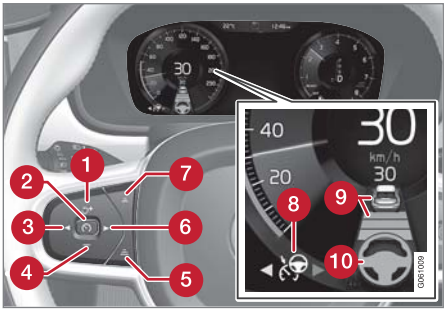
関連情報

- Pilot Assist* (p. 361)
- Pilot Assist*の作動と起動 (p. 365)
- Pilot Assist*の速度を管理する (p. 367)
- Pilot Assist*による対象車両の変更とオートブレーキ (p. 371)
- Pilot Assist*のオフ/オン (p. 369)
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト (p. 354)
- Pilot Assist*の限界 (p. 373)
- Pilot Assist*のシンボルおよびメッセージ (p. 375)
- 車間警告機能* (p. 341)
- ドライブモード* (p. 472)
- ECO ドライブモード (p. 475)

Pilot Assist*のオフ/オン

Pilot Assist は一時的に解除してスタンバイモードにすることができます。この場合、後で再作動させることができます。

Pilot Assist をオフにしてスタンバイモードにする



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

一時的に Pilot Assist をオフにし、スタンバイモードにするには：

- ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
  - 〉 Pilot Assist がスタンバイモードにセットされます。ドライバーディスプレイのシンボル(8)の色が白色から灰色に変わり、スピードメーターの中央に表示されている設定速度の色がベージュ色から灰色に変わります。

◀◀ または

– ステアリングリモコンのボタン ◀ (3) を押します。
  〉 Pilot Assist がオフになり、アダプティブクルーズコントロールがアクティブモードになります。

⚠ 警告

- Pilot Assist がスタンバイモードの場合、運転者が自らステアリングを操作するとともに、速度および先行車との距離を調整する必要があります。
- Pilot Assist がスタンバイモードのときに車両が先行車に接近しすぎると、代わりに車間警告機能が車間距離が短いことを警告します。

運転者の操作に伴うスタンバイモードへの移行

以下の場合、Pilot Assist は一時的に解除されて、スタンバイモードになります。

- フットブレーキが使用された
- ギヤセレクターレバーを N 位置にした
- 方向指示器を 1 分間以上使用した
- 運転者が、設定されている速度よりも速い速度を 1 分間以上維持した

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを放すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

方向指示器を使用した場合、Pilot Assist ステアリングアシストは一時的に解除されます。操作が終わってもまだ車線境界線を検知できる場合、ステアリングアシストは自動的に作動状態に戻ります。

自動スタンバイモード

Pilot Assist は、スタビリティ・コントロール/横滑り防止 ESC[49] など、他のシステムに依存しています。このような他のシステムのいずれかが作動を停止すると、Pilot Assist は自動的にオフになります。

⚠ 警告

自動スタンバイモードになると、警告音が鳴り、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。

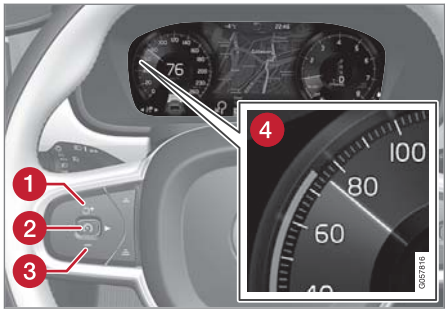
- これ以降は、運転者が車両の速度を調節し、必要に応じてブレーキをかけて、他の車両との安全な距離を確保する必要があります。

次のようなときに、自動的にスタンバイモードに移行することがあります。

- 運転者がドアを開けたとき
- ブレーキ温度が高温になったとき
- 運転者が両手をステアリングホイールに置いていないとき
- パーキングブレーキをかけたとき
- エンジン回転数が低すぎる、または高すぎるとき
- 運転者がシートベルトを外したとき
- タイヤのグリップ力が失われたとき
- カメラおよびレーダーユニットが雪や大雨で覆われているとき(カメラレンズ/電波が遮られているとき)
- 速度が 10 km/h 未満で、Pilot Assist が前方の車両を停止している車両なのか、減速帯などの物体であるのかを判断できないとき
- 速度が 10 km/h 未満で、前方の車両が曲がり、Pilot Assist が追従する車両がなくなったとき

49 Electronic Stability Control

スタンバイモードからの Pilot Assist の再作動



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

Pilot Assist を再作動させるには：

- ステアリングリモコンのボタン (1)を押します。
  - 速度は直近に記憶された速度に設定されます。

⚠ 警告

ステアリングリモコンボタン を押して速度を戻すと、速度が著しく上昇することがあります。

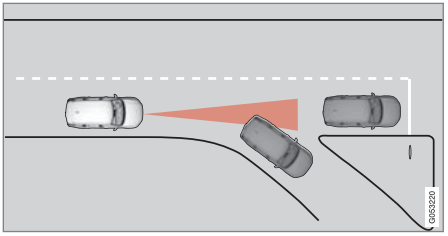
関連情報

- Pilot Assist* (p. 361)
- Pilot Assist*の作動と起動 (p. 365)
- Pilot Assist*の速度を管理する (p. 367)
- Pilot Assist*の車間時間の設定 (p. 368)
- Pilot Assist*による対象車両の変更とオートブレーキ (p. 371)
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト (p. 354)
- Pilot Assist*の限界 (p. 373)
- Pilot Assist*のシンボルおよびメッセージ (p. 375)
- 車間警告機能* (p. 341)
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール ESC (p. 323)

Pilot Assist*による対象車両の変更とオートブレーキ

オートマチックトランスミッション車の場合、Pilot Assist には対象車両を変更する機能と特定速度でブレーキをかける機能があります。

追従対象車両の変更



追従対象となっている先行車両が突然曲がった場合、前方の車両が停止していることに突然気づく場合があります。

Pilot Assist により 30 km/h (20 mph)**未満**の速度で別の車両に追従しているときに追従対象車両が走行車両から静止車両に変わると、Pilot Assist は減速して静止車両に対応します。

⚠ 警告

Pilot Assist により、約 30 km/h (20 mph) を**超える**速度で別の車両に追従している際に、目標車両が移動中の車両から静止車両に変わった場合には、Pilot Assist は静止している車両を**無視**して、設定されている速度まで加速します。

- 運転者は注意を怠らず、必要に応じてブレーキをかけてください。

追従対象車両の変更による自動スタンバイモード

以下の場合、Pilot Assist は解除されてスタンバイモードになります。

- 速度が 5 km/h (3 mph) 未満で、Pilot Assist が、追従対象が静止車両なのか別の障害物 (減速帯など) なのかを判断できない場合。
- 速度が 5 km/h (3 mph) 未満で、先行車が曲がったため Pilot Assist が追従する車両がなくなった場合。

オートブレーキ

渋滞時や赤信号など、停止する時間が約 3 秒 以内であれば、自動的に走行が再開します。前方の車両が動き出すまでにそれ以上の時間がかかる場合には、Pilot Assist はオートブレーキによりスタンバイモードになります。

– Pilot Assist を再作動させるには、以下の方法を行います。
  - ステアリングホイールの ↻ ボタンを押します。
  - アクセルペダルを踏み込みます。
  - 前方の車両が 6 秒以内に前進し始めた場合、Pilot Assist は前方の車両への追従を再開します。

ⓘ 注意

Pilot Assist は最大 5 分間車両を静止させておくことができます。それ以上経過すると、パーキングブレーキが作動し、機能は解除されます。

Pilot Assist を再度作動させるには、パーキングブレーキを解除する必要があります。

オートブレーキの停止

状況により、静止すると同時にオートブレーキが停止して、Pilot Assist がスタンバイモードになることがあります。このため、ブレーキが解除され、車両が動き出す場合があります。運転者はご自分でブレーキをかけ、静止状態に保ってください。

これは以下の状況で発生することがあります。

- 運転者がブレーキペダルに足を載せたとき
- パーキングブレーキをかけたとき
- ギヤセレクターレバーを **P**、**N** または **R** 位置にしたとき
- 運転者が Pilot Assist をスタンバイモードにしたとき

パーキングブレーキの自動作動

特定の状況では、パーキングブレーキが作動して、車両を静止状態に保ちます。

Pilot Assist がフットブレーキで車両を静止状態に保持しているときに以下の状況が発生すると、パーキングブレーキが作動します。

- 運転者がドアを開けるか、シートベルトを外したとき
- Pilot Assist が車両を約 5 分間以上静止状態に保ったとき
- ブレーキがオーバーヒートしたとき
- エンジンが停止したとき

関連情報

- Pilot Assist* (p. 361)
- Pilot Assist*の作動と起動 (p. 365)
- Pilot Assist*の速度を管理する (p. 367)
- Pilot Assist*の車間時間の設定 (p. 368)
- Pilot Assist*のオフ/オン (p. 369)
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト (p. 354)

* オプション/アクセサリー。

- Pilot Assist*の限界 (p. 373)
- Pilot Assist*のシンボルおよびメッセージ (p. 375)

Pilot Assist*の限界

Pilot Assist 機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

Pilot Assist 機能は、さまざまな状況で運転者の役に立つ支援機能です。しかし、周辺との間に安全な距離を確保し、車線内で適切な位置を維持することは、つねに運転者の責任です。

⚠ 警告

状況により、Pilot Assist ステアリングアシストは適切に運転者を支援することがむずかしい場合や自動的に解除される場合があります。このような状況では、Pilot Assist の使用はお薦めできません。考えられる状況の例：

- 車線区分線が摩耗している、欠如している、または重なり合っているとき。
- 車線の境界が明確でないとき。例：車線が分岐しているまたは合流している場合、出口付近、複数の表示が存在する場合など。
- 道路上、または道路付近にある境界線やその他の線が車線よりも目立つとき。例：カーブ、合流地点、道路工事、防壁や路肩の境界線、濃い影など。
- 車線が狭い、または曲がりくねっているとき。
- 車線に隆起または穴があるとき。
- 悪天候のとき。例：雨、雪、霧、ぬかるみ、低照度条件による視界の低下、逆光、濡れた路面など。

運転者は、Pilot Assist には以下のような機能の限界があることにも注意してください。

- 高い縁石、路側防護策、一時的な障害物(トラフィックコーン、防護策など)は検知されません。または、車線境界線とし

て正しく検知されずに、車両が接触する危険性があります。運転者は自分自身でそのような障害物と車両の間に適切な距離を確保する必要があります。

- センサーおよびレーダーセンサーには、道路交通環境で接近する物体や障害物すべてを検知する性能はありません。例：ルートを完全に、または部分的に妨げる道路の深いくぼみ、停止車両、物体など。
- Pilot Assist は、歩行者や動物などを「感知」することはできません。
- 推奨のステアリング装置の性能には限界があります。運転者のハンドル操作をつねに支援し、車両を車線内に維持できるわけではありません。

運転者はいつでも Pilot Assist によるステアリング操作を修正または調整することができ、ステアリングホイールを任意の方向に回すことができます。

急な坂道や重い荷物を積載しての走行

Pilot Assist は主に、平坦な路面走行時用に設計されています。急な下り坂を走行する場合、この機能が前方の車両と適切な距離を保つことがむずかしい場合があります。このような場合には、特に注意をはらい、いつでもブレーキをかけられるようにしてください。

- 重い荷物を積載しているとき、または車両にトレーラーが連結されているときには、Pilot Assist を使用しないでください。

注意

トレーラーやバイシクルホルダーなどが車両の電気系統に接続されている場合、Pilot Assist は作動できません。

その他

- Pilot Assist が作動しているときには、**Off Road** ドライブモードは選択することができません。

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」の項を参照してください。

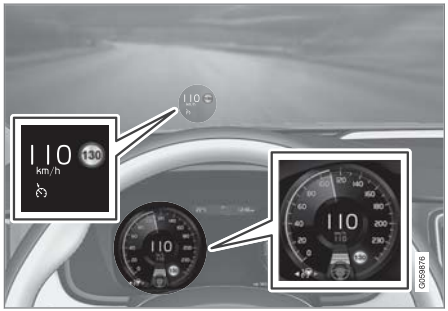
関連情報

- Pilot Assist*（p. 361）
- Pilot Assist*の作動と起動（p. 365）
- Pilot Assist*の速度を管理する（p. 367）
- Pilot Assist*の車間時間の設定（p. 368）
- Pilot Assist*による対象車両の変更とオートブレーキ（p. 371）
- Pilot Assist*のオフ/オン（p. 369）
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト（p. 354）
- Pilot Assist*のシンボルおよびメッセージ（p. 375）
- カメラユニットの限界（p. 387）
- レーダーユニットの限界（p. 378）
- ドライブモード*（p. 472）

Pilot Assist*のシンボルおよびメッセージ

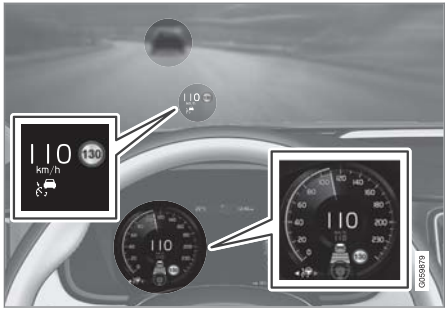
Pilot Assist に関する多数のシンボルおよびメッセージが、ドライバーディスプレイおよびヘッドアップディスプレイ*の両方またはどちらか一方に表示されます。

以下は事例の一部です[50]。



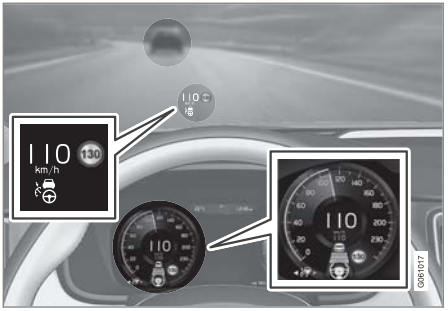
上図[51]は、Pilot Assist が 110 km/h (68 mph) を維持するように設定され、かつ前方に追従対象の車両がないことを示しています。

Pilot Assist は、車線境界線を感知することができないため、ステアリングアシストはしません。



上図[51]は、Pilot Assist が 110 km/h (68 mph) を維持するように設定され、同時に、同じ速度を維持している先行車を追従していることを示しています。

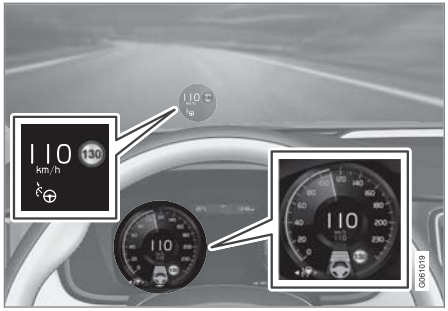
Pilot Assist は、車線境界線を感知することができないため、ステアリングアシストはしません。



上図[51]は、Pilot Assist が 110 km/h (68 mph) を維持するように設定され、同時に、同じ速度を維持している先行車を追従していることを示しています。

この事例では、車線境界線を感知することができるため、Pilot Assist はステアリングアシストも提供します。

50 次図の例では、RSI (Road Sign Information)機能により制限速度が 130 km/h (80 mph)であることが示されています。
51 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。



上図[51]は、Pilot Assist が 110 km/h (68 mph) を維持するように設定され、かつ前方に追従対象の車両がないことを示しています。

この事例でも、車線境界線を感知することができるため、Pilot Assist はステアリングアシストを提供します。

関連情報

- Pilot Assist* (p. 361)
- Pilot Assist*の作動と起動 (p. 365)
- Pilot Assist*の速度を管理する (p. 367)
- Pilot Assist*の車間時間の設定 (p. 368)
- Pilot Assist*による対象車両の変更とオートブレーキ (p. 371)
- Pilot Assist*のオフ/オン (p. 369)
- アダプティブクルーズコントロール* または Pilot Assist* による追い越しアシスト (p. 354)
- Pilot Assist*の限界 (p. 373)
- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 410)

レーダーユニット

レーダーユニットには他の車両を感知する役割があり、複数の運転者サポートシステムによって使用されます。

注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

レーダーユニットは以下の機能に使用されます。

- 車間警告機能*
- アダプティブクルーズコントロール*
- レーン・キーピング・エイド
- Pilot Assist*
- City Safety

レーダーユニットは、絶対に改造しないでください。改造して使用することは、違法行為です。

51 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

関連情報

- レーダーユニットの限界（p. 378）
- レーダーユニットの型式認定（p. 382）
- 車間警告機能*（p. 341）
- アダプティブクルーズコントロール*（p. 344）
- レーン・キーピング・エイド（p. 418）
- Pilot Assist*（p. 361）
- City Safety（p. 390）

レーダーユニットの限界

レーダーユニットには限界があるため、レーダーユニットを使用する機能にも限界があります。

カメラユニットの視野妨害

印の付いた範囲には、ステッカーやウインドフィルムなどを貼らないでください [52]。

レーダーユニットはウインドスクリーン上部の内側にカメラユニットと一緒に取り付けられています。

重要

カメラおよびレーダーユニットの正面や周辺のウインドスクリーンの外側または内側には、物を置いたり、貼り付けたり、または取り付けたりしないでください。カメラおよびレーダー依存の機能の妨げになる可能性があります。

この場合、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

ドライバーディスプレイにこのシンボルと「**ｳｨﾝﾄﾞｽｸﾘｰﾝｾﾝｻｰ ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされた。ｵｰ ﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙを見て下さい**」というメッセージが一緒に表示された場合、カメラユニットとレーダーユニットが前方の他の車両を検知できないことを意味しています。

以下の表には、表示メッセージの考えられる原因と、その対処法の例が記載されています。

原因	対処
カメラおよびレーダーユニット前方のウインドスクリーン表面が汚れているか、氷または雪が付着している。	カメラおよびレーダーユニット前方のウインドスクリーン表面の泥や氷、雪などをきれいに取り除いてください。
濃霧や激しい雨、雪などが原因で、レーダー信号またはカメラ視野が遮られている。	対処法なし。激しい雨や雪のときは、ユニットが機能しない場合があります。

52 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

原因	対処
路面から跳ね上がる水や雪により、レーダー信号またはカメラ視野が遮られている。	対処法なし。水たまりの多い道や雪道では、ユニットが機能しない場合があります。
ウインドスクリーンの内側とカメラおよびレーダーユニットの間に汚れが付着した。	ボルボ指定のサービス工場で、ウインドスクリーン内側のユニットカバーを清掃してください。

注意

カメラおよびレーダーユニット正面のウインドスクリーンは、つねにきれいな状態に保ってください。

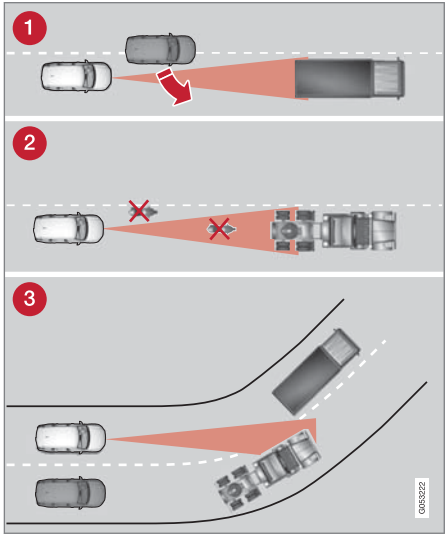
車速

次のような場合は、レーダーユニットが前方を走行している車両を感知する能力が著しく低下します。

- 前方の車両の速度が自車の速度と大きく異なる。

視野の限界

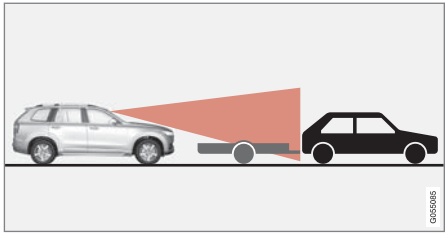
レーダーユニットの視野には限界があります。状況によっては別の車両を検知したり、検知が遅れたりする場合があります。



レーダーユニットの視野

1. レーダーユニットは、自車と前方を走行している車両との間に割り込んで来る車両など、至近距離の車両を感知するのに時間がかかることがあります。
2. オートバイなどの小型車や、車線の中央を走行していない車両を感知しない場合があります。
3. カーブでは、感知していた車両とは異なる車両を感知したり、感知中の車両を見失う場合があります。

車高の低いトレーラー



車高の低いトレーラーがレーダーの視野から外れている状態

車高の低いトレーラーもまた、レーダーユニットにとって感知が困難であったり、またはまったく感知できない場合があります。そのため、アダプティブクルーズコントロールや Pilot Assist が有効になっているときに車高の低いトレーラーの後ろを走行する際は、特に注意する必要があります。

高温

温度が非常に高いときは、カメラおよびレーダーユニットの電子装置を保護するために、エンジン始動後から約 15 分間、ユニットが一時的にオフになることがあります。温度が十分に下がると、カメラおよびレーダーユニットは自動的に再起動します。

ウインドスクリーンの損傷

重要

カメラまたはレーダーユニット「ウインド」のいずれかの正面のウインドスクリーンにひび割れ、擦り傷、石はね傷があり、その面積が約 0.5 × 3.0 mm (0.02 × 0.12 in.) 以上の場合は、ウインドスクリーンの交換をサービス工場に依頼してください。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

修理しないと、カメラおよびレーダーユニットを使用する運転者サポートシステムの性能低下につながる可能性があります。

この場合、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

レーダーユニットを使用する運転者サポートシステムの故障や不具合、または機能低下を防ぐために、以下の項目についても注意が必要です。

- ボルボでは、カメラおよびレーダーユニットの正面部分にあるひび割れ、擦り傷、石はね傷は**修理せず**に、ウインドスクリーン全体を交換することをお薦めします。
- ウインドスクリーンを交換する前にボルボ指定のサービス工場に連絡して、適切なウインドスクリーンが注文され、取り付けられるようにしてください。
- ウインドスクリーンワイパーを交換する際は、ボルボ社が承認している(または同等の)製品を使用してください。

重要

ウインドスクリーンを交換した場合、サービス工場でカメラおよびレーダーユニットを再調整して、車両のすべてのカメラおよびレーダーベースシステムが正しく機能することを確認してください。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

メンテナンス

カメラおよびレーダーユニットが正しく機能するように、ユニットの正面のウインドスクリーンから泥や氷、雪などをきれいに取り除き、洗車用洗剤と水で定期的に洗浄してください。

注意

カメラおよびレーダーユニットが泥、氷、雪などに覆われているときは、センサーの機能が低下し、誤作動する場合があります。

この場合、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

関連情報

- レーダーユニット（p. 376）
- カメラユニットの限界（p. 387）

- 車間警告機能*の限界 (p. 343)
- アダプティブクルーズコントロール*の限界 (p. 356)
- City Safety の限界 (p. 398)
- Pilot Assist*の限界 (p. 373)

レーダーユニットの型式認定

レーダーユニットの型式認定が次の表に記載されています。

市場	ACC[A]	BLIS(ブラインド・スポット・インフォメーション・システム)[B]	シンボル	型式認定
ブラジル		✓		Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Modelo: L2C0055TR 1500-15-8065 EAN: 07897843840978
	✓			Modelo: L2C0054TR 4122-14-8645 EAN: (01)07897843840855
ヨーロッパ	✓	✓		Hereby, Delphi Electronics & Safety declares that L2C0054TR / L2C0055TR are in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. The Declaration of Conformity may be consulted at Delphi Electronics & Safety / 2151 E. Lincoln Road / Kokomo, Indiana 46902 USA

市場	ACC[A]	BLIS(ブラインド・スポット・インフォメーション・システム)[B]	シンボル	型式認定
アラブ首長国連邦	✓			TRA REGISTERED No: ER37536/15 DEALER No: DA37380/15
		✓		TRA REGISTERED No: ER37357/15 DEALER No: DA37380/15
インドネシア	✓			37295/POSTEL/2014 4927
		✓		38806/SDPPI/2015 4927
ヨルダン	✓			Type Approval No.: TRC/LPD/2014/255 Equipment Type: Low Power Device (LPD)
		✓		Type Approval No.: TRC/LPD/2015/3 Equipment Type: Low Power Device (LPD)

市場	ACC[A]	BLIS(ブラインド・スポット・インフォメーション・システム)[B]	シンボル	型式認定
韓国	✓			Certification No. MSIP-CMI- DPH-L2C0054TR
		✓		Certification No. MSIP-CMI-DPH-L2C0055TR
モロッコ	✓	✓		AGREE PAR L’ANRT MAROC NUMÉRO D’AGRÉMENT: MR 9929 ANRT 2014 DATE D’AGRÉMENT: 26/12/2014
マレーシア	✓			This device has been certified under the Communications & Multimedia Act of 1998, Communications and Multimedia (Technical Standards) Regulations 2000. To retrieve your device’s serial number, please visit (support.volvocars.com) and search for “SIRIM Label Verification”. Type Approval No.: RALM/21A/0315/S(150520)
		✓		Type Approval No.: RALM/21A/0315/S(150618)
モルドバ	✓	✓		1024

市場	ACC[A]	BLIS(ブラインド・スポット・インフォメーション・システム)[B]	シンボル	型式認定
シンガポール	✓	✓	Complies with IDA standards DA105753	Complies with IDA Standards DA105753
南アフリカ	✓		ICASA	TA-2014/1824 APPROVED
		✓		TA-2014/2390 APPROVED
台湾	✓			CCAB15LP0560T3
		✓		CCAB15LP0680T0

A ACC = Adaptive Cruise Control
B BLIS = Blind Spot Information

関連情報

- レーダーユニット (p. 376)
- レーダーユニットの限界 (p. 378)
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 344)
- Pilot Assist* (p. 361)
- BLIS* (p. 402)

カメラユニット

カメラユニットには車線境界線や道路標識を検知する役割があり、複数の運転者サポートシステムによって使用されます。

注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

カメラユニットは以下の機能に使用されます。

- アダプティブクルーズコントロール*
- レーンアシスト*
- Driver Alert Control*
- Pilot Assist*
- City Safety
- 車線逸脱回避ステアリングアシスト
- ロード・サイン・インフォメーション*
- アクティブハイビーム*

関連情報

- カメラユニットの限界（p. 387）
- アダプティブクルーズコントロール*（p. 344）
- レーン・キーピング・エイド（p. 418）
- Driver Alert Control（p. 416）
- Pilot Assist*（p. 361）
- City Safety（p. 390）
- 車線逸脱回避ステアリングアシスト（p. 426）
- ロード・サイン・インフォメーション*（p. 410）
- ハイビームのオン/オフ（p. 183）

カメラユニットの限界

カメラユニットには限界があるため、カメラユニットを使用する機能にも限界があります。

視界不良

カメラは人間の目と同様に限界があり、大雪や大雨、濃霧、風塵、吹雪などではカメラの「視界」が悪化します。このような状況の下では、カメラに依存するシステムの機能が大幅に低下するか、一時的に解除される場合があります。

前方から強い光が射し込んでいるとき、車道からの反射光があるとき、路面に雪や氷があるとき、路面が汚れているとき、車線境界線が見えにくいときなども、カメラの機能(車線のスキャンや歩行者、サイクリスト、大型動物および他車を感知する機能など)が著しく低下するおそれがあります。

カメラユニットの視野妨害

印の付いた範囲には、ステッカーやウインドフィルムなどを貼らないでください[53]。

カメラユニットはウインドスクリーン上部の内側にレーダーユニットと一緒に取り付けられています。

重要

カメラおよびレーダーユニットの正面や周辺のウインドスクリーンの外側または内側には、物を置いたり、貼り付けたり、または取り付けたりしないでください。カメラおよびレーダー依存の機能の妨げになる可能性があります。

この場合、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

ドライバーディスプレイにこのシンボルと **ｳｨﾝﾄﾞｽｸﾘｰﾝｾﾝｻｰ ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされた。ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙを見て下さい** というメッセージが一緒に表示された場合、カメラユニットとレーダーユニットが前方の他の車両を検知できないことを意味しています。

以下の表には、表示メッセージの考えられる原因と、その対処法の例が記載されています。

[53] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

原因	対処
カメラおよびレーダーユニット前方のウインドスクリーン表面が汚れているか、氷または雪が付着している。	カメラおよびレーダーユニット前方のウインドスクリーン表面の泥や氷、雪などをきれいに取り除いてください。
濃霧や激しい雨、雪などが原因で、レーダー信号またはカメラ視野が遮られている。	対処法なし。激しい雨や雪のときは、ユニットが機能しない場合があります。
路面から跳ね上がる水や雪により、レーダー信号またはカメラ視野が遮られている。	対処法なし。水たまりの多い道や雪道では、ユニットが機能しない場合があります。
ウインドスクリーンの内側とカメラおよびレーダーユニットの間に汚れが付着した。	ボルボ指定のサービス工場で、ウインドスクリーン内側のユニットカバーを清掃してください。
前方からの強い光	対処法なし。明るさが良好になるようにカメラユニットが自動的にリセットされます。

注意

カメラおよびレーダーユニット正面のウインドスクリーンは、つねにきれいな状態に保ってください。

高温

温度が非常に高いときは、カメラおよびレーダーユニットの電子装置を保護するために、エンジン始動後から約 15 分間、ユニットが一時的にオフになることがあります。温度が十分に下がると、カメラおよびレーダーユニットは自動的に再起動します。

ウインドスクリーンの損傷

重要

カメラまたはレーダーユニット「ウインド」のいずれかの正面のウインドスクリーンにひび割れ、擦り傷、石はね傷があり、その面積が約 0.5 × 3.0 mm (0.02 × 0.12 in.) 以上の場合は、ウインドスクリーンの交換をサービス工場に依頼してください。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

修理しないと、カメラおよびレーダーユニットを使用する運転者サポートシステムの性能低下につながる可能性があります。

この場合、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

レーダーユニットを使用する運転者サポートシステムの故障や不具合、または機能低下を防ぐために、以下の項目についても注意が必要です。

- ボルボでは、カメラおよびレーダーユニットの正面部分にあるひび割れ、擦り傷、石はね傷は**修理せず**に、ウインドスクリーン全体を交換することをお薦めします。
- ウインドスクリーンを交換する前にボルボ指定のサービス工場に連絡して、適

切なウインドスクリーンが注文され、取り付けられるようにしてください。

- ウインドスクリーンワイパーを交換する際は、ボルボ社が承認している(または同等の)製品を使用してください。

重要

ウインドスクリーンを交換した場合、サービス工場でカメラおよびレーダーユニットを再調整して、車両のすべてのカメラおよびレーダーベースシステムが正しく機能することを確認してください。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

メンテナンス

カメラおよびレーダーユニットが正しく機能するように、ユニットの正面のウインドスクリーンから泥や氷、雪などをきれいに取り除き、洗車用洗剤と水で定期的に洗浄してください。

注意

カメラおよびレーダーユニットが泥、氷、雪などに覆われているときは、センサーの機能が低下し、誤作動する場合があります。

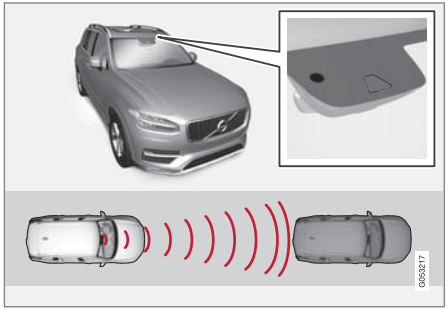
この場合、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

関連情報

- カメラユニット (p. 386)
- レーダーユニットの限界 (p. 378)
- レーン・キーピング・エイド (p. 418)
- Driver Alert Control の限界 (p. 418)
- Pilot Assist*の限界 (p. 373)
- City Safety の限界 (p. 398)
- ロード・サイン・インフォメーション*の限界 (p. 415)

City Safety

City Safety は歩行者、サイクリスト、大型動物、および車両が出現すると警告表示、触覚警告および警告音で運転者に知らせます。運転者が妥当な時間内に行動を起こさない場合、自動的にブレーキを作動します。



レーダーユニットの位置[54]

City Safety は衝突を防止すること、または衝突速度を低減することができます。

City Safety は、歩行者、大型動物、サイクリストまたは車両と衝突する危険があるときに運転者を支援する機能です。

City Safety 機能は、渋滞時の走行などで、前方の交通状況の変化や注意不足などにより事故が発生する可能性があるときに、運転者が衝突を回避できるように支援します。

この機能は、運転者が適切な時間内にブレーキ操作やステアリング操作を行わず、衝突の危険が迫っているときに、車両に自動的にブレーキをかけることにより運転者を支援します。

City Safety により、短時間で鋭くブレーキがかけられ、通常の状況であれば、前方の車両のすぐ手前で車を停止させることができます。多くのドライバーにとっては、これは通常の運転スタイルの範囲内ではないため、不快に感じられる場合があります。

City Safety は、運転者がブレーキをかけ遅れたときに作動します。そのため、あらゆる状況で運転者の補助となるわけではありません。

不必要な介入を避けるため、City Safety は直前まで作動しないように設計されています。

運転者または乗員は通常 City Safety に気づくことはありません。作動に気づくのは、衝突寸前になったときのみです。

⚠ 警告

- City Safety 機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- City Safety オートブレーキ機能は衝突を防止すること、または衝突速度を低減することができますが、制動力を最大限に発揮させるためには、オートブレーキが作動する場合でも、必ず運転者がブレーキペダルを踏み込む必要があります。
- 警告およびステアリングアシストは、衝突の危険が高い場合にのみ作動します。したがって、絶対に衝突警告または City Safety の介入を待たないでください。
- 歩行者およびサイクリストに対する警告およびブレーキ介入は、車速が 70 km/h (43 mph) を超えると解除されます。
- 加速度が大きい場合、City Safety はオートブレーキを一切作動しません。
- City Safety は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に

54 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

- 機能の限界やシステムの使用前に知っておくべきことを把握するために、運転者には、オーナーズマニュアルを確認して、City Safety に関連する項目をすべて読むことをお薦めします(本項の終わりにあるリンクの一覧を参照してください)。

City Safety のパラメーター

City Safety は、オートブレーキ機能を使用して車両を減速させることにより、前方の車両、サイクリスト、歩行者または大型動物との衝突を回避することができます。

速度差が以下の規定速度を上回る場合、City Safety のオートブレーキ機能では衝突を回避できませんが、衝突の被害を軽減することはできます。

車両

前方の車両の場合、City Safety は車速を最大で 60 km/h (37 mph)減速することができます。

サイクリスト

サイクリストの場合、City Safety は車速を最大で 50 km/h (30 mph)減速することができます。

歩行者

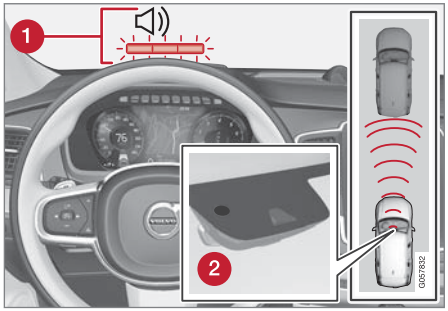
歩行者の場合、City Safety は車速を最大で 45 km/h (28 mph)減速することができます。

大型動物

大型動物と衝突する危険がある場合、City Safety は車速を最大で 15 km/h (9 mph)減速させることができます。

大型動物に対するブレーキ機能は、高速での衝撃力を低減することが主な目的であり、70 km/h (43 mph)を超える速度でもっとも効果を発揮し、低速時には効果が低下します。

概要



機能の概要 [54]

1. 衝突の危険を知らせる警告音および警告灯
2. カメラおよびレーダーユニットによる距離測定

City Safety は 3 つのステップを以下の順序で実行します。

1. 衝突警告システム
2. ブレーキサポート
3. オートブレーキ

以下は、3 つのステップの内容に関する具体的な説明です。

1 – 衝突警告システム

まず運転者に衝突事故が切迫していることを警告します。

City Safety は、歩行者、サイクリストまたは車両が自車の前方を自車と同じ方向に移動している、または自車の前方で停止している場合に検知することができます。City Safety は、自車の前方の道路を横断している歩行者、サイクリストまたは大型動物も検知することができます。

歩行者、大型動物、サイクリスト、または車両(「City Safety の横方向の交通への対応」の項に記載されている車両を含む)と衝突する危険がある場合、赤い警告灯の点滅、警告音およびブレーキパルスによる触覚警告で運転者に注意を促します。低速走行時や急ブレーキまたは急加速時には、触覚警告はありません。ブレーキパルス周波数は車速に応じて変化します。

54 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

2 – ブレーキサポート

警告の後もさらに衝突の危険が増した場合は、衝突警告システムによりブレーキサポートが作動します。

システムがブレーキだけでは衝突を回避するのに不十分だと判断すると、ブレーキサポートが運転者の制動を補助します。

3 – オートブレーキ

オートブレーキ機能は最後に作動します。

この時点でも運転者が事故を回避するための行動を開始せず、衝突の危険が切迫した場合には、運転者がブレーキをかけるかどうかに関係なく、オートブレーキ機能が作動します。この場合、衝突時の速度を減少させるためにフルブレーキがかかります。もしくは、衝突を避けるのに十分であれば、制動力が制限されます。

オートブレーキと連動して、シートベルトテンショナーも作動することがあります。詳しくは、「シートベルトテンショナー」の項を参照してください。

状況により、オートブレーキの動作は軽い制動で始まり、徐々にフルブレーキに達することもあります。

City Safety により静止物体との衝突が阻止されると、車両は停止状態を維持し、運転者からの積極的な操作を待ちます。前方の車両が自車よりも遅い速度で走行しているために自車にブレーキがかかった場合、前方の車両が維持している車速と同じ速度に減速します。

運転者はアクセルペダルを踏み込むことで、いつでもブレーキの介入を中断させることができます。

注意

City Safety によりブレーキが作動する際には、ブレーキランプが点灯します。

City Safety が作動してブレーキがかかると、ドライバーディスプレイにディスプレイテキストが表示され、この機能が作動していることを示します。

警告

City Safety が装備されているからといって、運転スタイルを変更しないでください。ブレーキの作動を City Safety のみに頼っていると、いずれ衝突事故が発生します。

市場による制限事項

City Safety は一部の国では利用できません。City Safety がセンターディスプレイの **設定** メニューに表示されない場合、車両にこの機能は装備されていません。

センターディスプレイのトップビューでの検索パス：

- **設定** ➔ **My Car** ➔ **IntelliSafe**

関連情報

- City Safety の警告距離の設定（p. 393）
- City Safety による障害物の検知（p. 394）
- 回避操作ができない場合の City Safety（p. 397）
- City Safety の横方向の交通への対応（p. 396）
- City Safety の限界（p. 398）
- City Safety に関するメッセージ（p. 401）
- シートベルトテンショナー（p. 97）

City Safety の警告距離の設定

City Safety はつねにオンになっていますが、その警告距離は運転者が選択することができます。

注意

City Safety 機能を無効にすることはできません。この機能はエンジン/電気モーター始動時に自動的に起動し、エンジン/電気モーターが停止するまでオンの状態を維持します。

警告距離はシステムの感度を特定して、警告灯、警告音および触覚警告が作動するときの距離を制御します。

警告距離を選択するには：

1. センターディスプレイのトップビューで**設定 ➔ My Car ➔ IntelliSafe** を選択します。
2. **City Safety 警告** で **遅め**、**普通**、**早め** のいずれかを選択して、警告距離を設定します。

早め 設定で警告が出る回数が多すぎて、不愉快に感じることがある場合は、警告距離に **普通** または **遅め** を選択することができます。

警告が出る回数が多すぎる、警告が邪魔に感じられる場合には、警告距離を短くします。これにより、警告の総数は減りますが、後で City Safety から警告を受けることになります。

したがって、**遅め** 警告距離は、例外的な場合(ダイナミック走行など)にのみ使用してください。

警告

- どのような自動システムであっても、あらゆる状況で 100%適切に機能するという保証はありません。このため、絶対に人や動物、車両を対象に City Safety をテストしないでください。重大な物損事故や人身事故、場合によっては死亡事故につながるおそれがあります。
- City Safety は運転者に衝突の危険を警告しますが、運転者の反応時間を短くすることはできません。
- 状況により、警告距離を **早め** に設定していても、警告が出るタイミングが遅いと感じられる場合があります(例えば、前方を走行している車両と自車の速度差が大きいときや、前方の車両が急ブレーキをかけたときなど)。
- 警告距離が **早め** に設定されている場合、警告のタイミングが早まります。したがって、警告距離 **普通** のときよりも警告が出される回数が増える可能性がありますが、City Safety がさらに効果的になるため、この設定をお薦めします。

注意

City Safety 機能の衝突警告の警告距離を最低レベル「**遅め**」に設定すると、Rear Collision Warning の方向指示器による警告はオフになります。

ただし、シートベルトのプリテンショナー装置(自動巻き上げ装置)、およびブレーキ機能はオンになったままです。

関連情報

- City Safety (p. 390)
- City Safety による障害物の検知 (p. 394)
- 回避操作ができない場合の City Safety (p. 397)
- City Safety の横方向の交通への対応 (p. 396)
- City Safety の限界 (p. 398)
- City Safety に関するメッセージ (p. 401)
- Rear Collision Warning (p. 402)

City Safety による障害物の検知

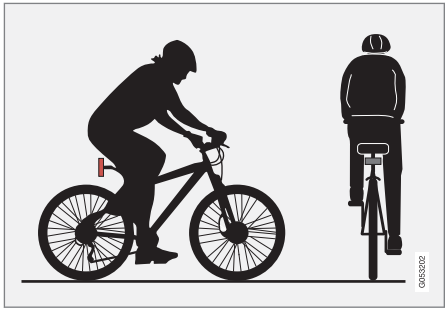
City Safety が検知できる障害物は、車両、サイクリスト、大型動物、および歩行者です。

車両

City Safety は、停車している車両または自車と同じ方向に走行している車両のほとんどと、「City Safety の横方向の交通への対応」で説明されている車両を検知します。

City Safety が暗闇で車両を検知できるためには、対象車両のフロントライトおよびリアランプが明るく点灯している必要があります。

サイクリスト



City Safety がサイクリストとして認識できる最適な例(サイクリストの輪郭と自転車の外形がはっきりしている)。

システムが最大限の性能を発揮するためには、サイクリスト検知機能が自転車と乗る人の体の輪郭に関するできるだけ明瞭な情報を得ることが必要です。すなわち、自転車、頭部、両腕、両肩、両脚、胴体に加え、人間のような動きのパターンが検知できることを意味します。

自転車と乗る人の体の大部分がカメラの視界に入っていない場合には、システムはサイクリストを検知することができません。

システムは、大人用の自転車に大人が乗っている場合にサイクリストを検知することができます。

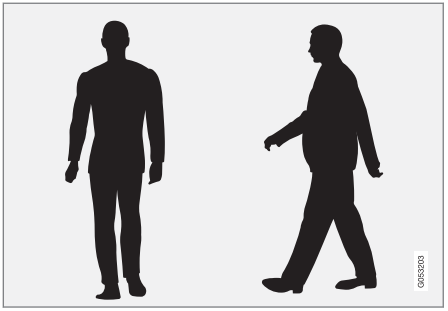
⚠ 警告

City Safety は補助的な運転者サポートですが、状況によりサイクリストを検知できない場合があります。例えば、以下のようなサイクリストは検知できません。

- 身体の一部が隠れているサイクリスト。
- 背景とのコントラストが明確でないサイクリスト。警告およびブレーキの介入が遅れたり、作動しなかったりする場合があります。
- 体の輪郭を隠す衣服を身に着けているサイクリスト。
- 大きい荷物などを積んでいる自転車は検知できません。

車両を適切に運転し、速度に応じて安全な距離を保つことは、つねに運転者の責任です。

歩行者



体型が明確で、システムが歩行者であると認識できる最適な例

システムが最大限の性能を発揮するためには、歩行者を検知するシステム機能が、体型に関しできるだけ明瞭な情報を得ることが必要です。すなわち、頭部、両腕、両肩、両脚、胴体に加え、人間のような動きのパターンが検知できることを意味します。

歩行者を検知できるようにするためには、背景との対比が必要です。これには服装、背景および天気などの要素が影響します。対比がはっきりしない場合、歩行者は検知が遅れたり、まったく検知できないことがあり、警告やブレーキが遅れる、または作動しないことがあります。

City Safety は、歩行者が車両のヘッドライトで照らされた場合、暗闇でも歩行者を検知することができます。

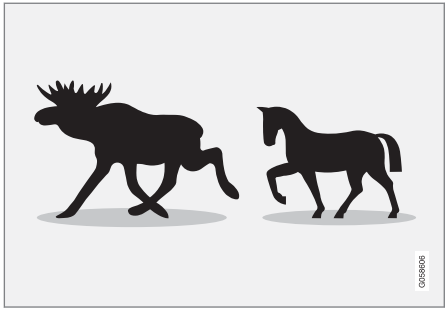
⚠ 警告

City Safety は補助的な運転者サポートですが、状況により歩行者を検知できない場合があります。例えば、以下のような歩行者は検知できません。

- 体の一部が隠れている歩行者、体の輪郭がわかりにくい衣服を着用している歩行者、または身長が 80 cm (32 in.)未満の歩行者。
- 歩行者の背景コントラストが良好でない場合。警告およびブレーキの介入が遅れたり、作動しなかったりする場合があります。
- 大きな荷物などを運んでいる歩行者。

車両を適切に運転し、速度に応じて安全な距離を保つことは、つねに運転者の責任です。

大型動物



City Safety が大型動物として判断できる最適な条件は、静止しているかゆっくり移動しており、体型が明確であることです。

システムが最大限の性能を発揮するためには、大型動物(鹿、馬など)を検知するシステム機能が、体型に関しできるだけ明瞭な情報を得ることが必要です。つまり、動物を横から直接検知するとともに、動物の通常の動きのパターンを検知できることを意味します。

動物の体の一部がカメラの視界に入っていない場合には、システムは動物を検知することができません。

City Safety は、大型動物が車両のヘッドライトで照らされた場合、暗闇でも大型動物を検知することができます。

⚠ 警告

City Safety は補助的な運転者サポートですが、状況により大型動物を検知できない場合があります。例えば、以下のような大型動物は検知できません。

- 身体の一部が隠れている大型動物
- 正面あるいは真後ろから輪郭を捉えた大型動物
- 動きの素早い大型動物
- 大型動物と背景とのコントラストが良好でない場合。警告およびブレーキの介入が遅れたり、作動しなかったりする場合があります。
- 犬、猫などの小動物

車両を適切に運転し、速度に応じて安全な距離を保つことは、つねに運転者の責任です。

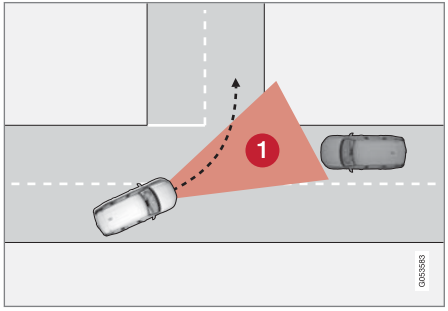
関連情報

- City Safety (p. 390)
- City Safety の警告距離の設定 (p. 393)
- City Safety による障害物の検知 (p. 394)
- 回避操作ができない場合の City Safety (p. 397)
- City Safety の横方向の交通への対応 (p. 396)

- City Safety の限界 (p. 398)
- City Safety に関するメッセージ (p. 401)

City Safety の横方向の交通への対応

City Safety は、交差点で右折して対向車の進路を横切るときに役立ちます。



City Safety が対向車を検知できる範囲

City Safety が衝突進路の接近車両を検知するためには、City Safety が状況を分析できる範囲(1)に対向車が入る必要があります。

さらに以下の条件も満たす必要があります。

- 自車が 4 km/h (3 mph)以上の速度で走行している
- 左折(右側通行の市場)または右折(左側通行の市場)している
- 接近車両のヘッドライトが点灯している

⚠ 警告

- 「クロストラフィック対応 City Safety」機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 対向車と衝突する危険を察知した警告およびブレーキの介入は、非常に遅い段階で行われることがよくあります。
- 絶対に、衝突警告が作動するまで、または City Safety が介入するまで待たないでください。
- City Safety は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

横方向の交通への対応における限界

状況により、City Safety は横方向からの接近車両と衝突する危険に対処することがむずかしい場合があります。例えば、以下のような状況です。

- 滑りやすい走行状況で、スタビリティ・コントロール ESC が介入している場合
- 接近車両の検知が遅すぎた場合
- 接近車両がなにかに隠れて見えない場合

- 接近車両がヘッドライトを点灯していない場合
- 接近車両の走行が予測不能できない場合(遅い段階での急な車線変更など)

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」の項を参照してください。

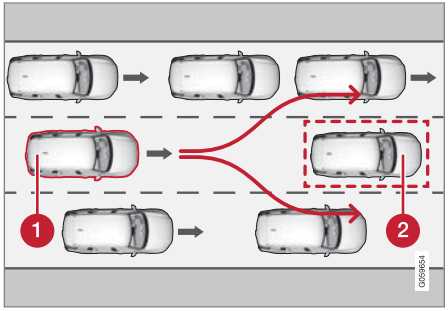
関連情報

- City Safety (p. 390)
- City Safety の警告距離の設定 (p. 393)
- City Safety による障害物の検知 (p. 394)
- 回避操作ができない場合の City Safety (p. 397)
- City Safety の限界 (p. 398)
- City Safety に関するメッセージ (p. 401)
- カメラユニットの限界 (p. 387)
- レーダーユニットの限界 (p. 378)

回避操作ができない場合の City Safety

City Safety には、ステアリング操作だけでは衝突を回避できない場合に、早めに自動的にブレーキをかけて運転者を支援する機能があります。

City Safety は、遅い段階で前方に低速走行の車両または停止中の車両が見つかった場合に備えて、横に「逃げ道」があるかどうかを予測し続けることにより運転者を支援します。



自車(1)は前方の車両(2)を回避できる方法がないことを「予見」しているため、早めにオートブレーキをかけることができます。

1. 自車
2. 低速走行/停止中の車両

運転者がステアリング操作により衝突を回避できる可能性がある間、City Safety はオートブレーキ機能による介入を行いません。

ただし、隣の車線の混雑状況から回避操作ができないと予想した場合、City Safety 機能は早い段階で自動的にブレーキをかけ始めることにより運転者を支援することができます。

警告

- City Safety の特定の状況を予測する機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- City Safety は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」の項を参照してください。

関連情報

- City Safety (p. 390)
- City Safety の警告距離の設定 (p. 393)
- City Safety による障害物の検知 (p. 394)
- City Safety の横方向の交通への対応 (p. 396)
- City Safety の限界 (p. 398)
- City Safety に関するメッセージ (p. 401)
- カメラユニットの限界 (p. 387)
- レーダーユニットの限界 (p. 378)

City Safety の限界

City Safety 機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

周囲の状況

低い物体

積荷が突き出ていることを示す布/テープなどの垂れ下がる物体や、補助ライトやブルバーなどボンネットより高い位置にあるアクセサリーによって機能が制限されます。

横滑り

路面が滑りやすいときには、制動距離が長くなるため、City Safety が衝突を回避する能力が低下する場合があります。そのような状況では、アンチロックブレーキおよびスタビリティ・コントロール ESC[55] が可能な範囲で最良の制動力を発揮しながら安定性を維持します。

前方からの光

陽射しが強いとき、光の反射があるとき、運転者がサングラスを着用しているとき、運転者が前方をまっすぐ見ていないときなどは、ウインドスクリーンの警告灯が見えにくいことがあります。

熱

強い陽射しなどが原因で車内温度が上昇すると、ウインドスクリーンの警告灯が一時的に作動しなくなることがあります。

カメラおよびレーダーユニットの視野

カメラの視野には限界があります。このため、状況によっては歩行者、大型動物、サイクリスト、車両が検知されないか、検知が遅れる場合があります。

汚れている車両は他の車両よりも検知に時間がかかることがあります。暗い場合、オートバイは検知が遅れること、またはまったく検知されないことがあります。

カメラおよびレーダーユニットが遮られているという内容のメッセージがドライバーディスプレイに表示された場合、City Safety は前方の歩行者、大型動物、サイクリスト、車両または車線境界線を検知できないことがあります。つまり、City Safety の機能が低下する可能性があります。

ただし、ウインドスクリーンのセンサーが遮られている場合でも、エラーメッセージが表示されないことがあるため、運転者はカメラおよびレーダーユニットの正面付近のウインドスクリーンをつねにきれいな状態に保つ必要があります。

重要

City Safety コンポーネントのメンテナンスおよび交換は、ボルボ指定のサービス工場にお任せください。

[55] Electronic Stability Control

運転者の操作

後退

車両後退中は、City Safety は一時的に解除されます。

低速

City Safety は 4 km/h 未満 (3 mph 未満)の低速では作動しません。駐車時など、非常に低速で前方の車両に接近している状況でこのシステムが作動しないのはそのためです。

運転者による積極的な操作

運転者の操作がつねに優先されます。そのため、衝突が回避できない状態でも、運転者が明確にステアリングを操作したり、アクセルペダルを操作したりしているときには、City Safety は介入しません、または警告/介入を見合わせます。

したがって、積極的で意識的な運転操作は、衝突警告や介入を遅らせることになり、不必要な警告を最小限にとどめることができます。

その他

⚠ 警告

- カメラおよびレーダーユニットが歩行者、サイクリスト、大型動物、または前方の車両を正確に感知できないような交通状況では、警告が出るタイミングまたはブレーキがかかるタイミングが遅れる場合や、まったく警告が出ない、あるいはブレーキがかからない場合があります。
- 夜間に車両を検知するためには、検知対象の車両のヘッドライトとテールランプが明るく点灯している必要があります。
- カメラおよびレーダーユニットが歩行者とサイクリストを検知できる範囲には限界があります。このシステムは相対速度が 50 km/h (30 mph)未満のときに効果的な警告およびブレーキ介入を行うことができます。停止車両や低速の車両に対する警告およびブレーキ介入は、速度が 70 km/h (43 mph)以下のときに効果を発揮します。大型動物に対する減速は 15 km/h (9 mph)未満です。この減速は車速が 70 km/h (43 mph)を超えている場合に可能です。この速度を下回っている場合、大型動物に対する警告およびブレーキ介入は効果が低減します。
- 夜間や視界が悪いときには、停止車両、低速走行車または低速で移動中の大型動物に対する警告が出ない場合があります。
- 歩行者およびサイクリストに対する警告およびブレーキ介入は、車速が 70 km/h (43 mph)を超えると解除されます。
- カメラおよびレーダーユニットの正面や周辺のウインドスクリーンの外側または内側には、物を置いたり、貼り付けたり、または取り付けたりしないでください。カメラ依存の機能の妨げになる可能性があります。
- カメラセンサー付近に異物、雪、氷、汚れなどが付着すると、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

ⓘ 注意

本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

ⓘ 注意

本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」の項を参照してください。

関連情報

- City Safety (p. 390)
- City Safety の警告距離の設定 (p. 393)
- City Safety による障害物の検知 (p. 394)
- 回避操作ができない場合の City Safety (p. 397)
- City Safety の横方向の交通への対応 (p. 396)
- City Safety に関するメッセージ (p. 401)
- カメラユニットの限界 (p. 387)
- レーダーユニットの限界 (p. 378)
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール ESC (p. 323)

City Safety に関するメッセージ

ドライバーディスプレイには、City Safety に関する多くのメッセージが表示されます。

いくつかの例が以下の表に示されています。

メッセージ	意味
City Safety **自動介入**	City Safety がブレーキをかけたとき、またはオートブレーキをかけたとき、メッセージ表示と連動していくつかのドライバーディスプレイシンボルが点灯することがあります。
City Safety **機能低下。販売店に お問い合わせ下さい。**	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ◯ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- City Safety (p. 390)
- City Safety の警告距離の設定 (p. 393)
- City Safety による障害物の検知 (p. 394)
- 回避操作ができない場合の City Safety (p. 397)
- City Safety の横方向の交通への対応 (p. 396)
- City Safety の限界 (p. 398)

Rear Collision Warning

Rear Collision Warning (RCW)機能は、後続車からの衝突を避けるのに役立ちます。

RCW は、エンジン始動のたびに自動的に起動します。

RCW は方向指示器を急速に点滅させて、後続車の運転者に衝突の可能性があることを警告します。

車速が 30 km/h 未満(20 mph 未満)のときに、後方から衝突される危険があることを RCW が検知すると、シートベルトテンショナーがフロントシートベルトに張力をかけ、Whiplash Protection System セーフティシステムが起動します。

また、衝突時に自車が加速するのを抑えるために、衝突の直前に RCW がフットブレーキを作動させることもあります。ただし、フットブレーキを作動させるのは、車両が停止している場合に限定されます。アクセルペダルを踏むと、フットブレーキはただちに解除されます。

作動限界

状況により、RCW は衝突の危険があるときに運転者を支援することがむずかしい場合があります。例えば、以下のような状況です。

- 後方から接近してくる車両の検知が遅すぎた場合
- 後方から接近してくる車両が直前に車線を変更した場合
- 後方から接近してくる車両の速度が 80 km/h (50 mph)を超えている場合

注意

一部の市場では、地域の交通規制に従い、RCW が方向指示器による警告を**行いません**。こういった場合は、この機能は無効にされています。

注意

City Safety 機能の衝突警告の警告距離を最低レベル「**遅め**」に設定すると、Rear Collision Warning の方向指示器による警告はオフになります。

ただし、シートベルトのプリテンショナー装置(自動巻き上げ装置)、およびブレーキ機能はオンになったままです。

関連情報

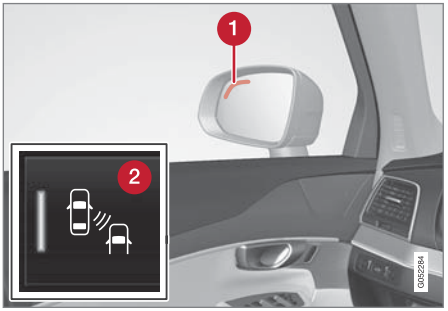
- City Safety (p. 390)
- City Safety の警告距離の設定 (p. 393)
- シートベルトテンショナー (p. 97)
- Whiplash Protection System (p. 95)

BLIS*

BLIS[56] 機能は、混雑中の片側数車線の道路を走行しているときに、自車の斜め後ろや横の車両について警告し、運転者をサポートするように設計されています。

BLIS は次のような車両の存在を警告して運転者をサポートします。

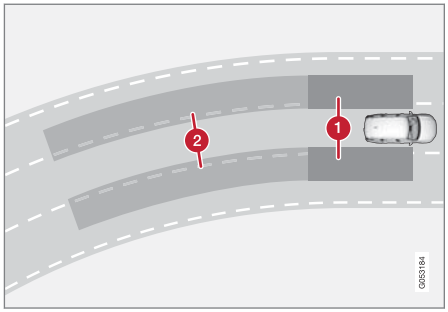
- 死角に入っている車両
- 右隣および左隣の車線を走行しながら急接近してくる車両



BLIS ランプの位置 [57]

1. インジケーターランプ
2. この機能の起動/解除には、センターディスプレイの機能ビューの BLIS ボタンを使用します。

* オプション/アクセサリー。



BLIS の原理

1 死角内のゾーン

2 急速に接近する車両用のゾーン

BLIS 機能は、車速が 10 km/h (6 mph)を超えているときに作動します。

このシステムは、次の場合に反応するように設計されています：

- 自車が他車によって追い越される
- 他車が自車に急速に接近している

BLIS がゾーン 1 内で車両を検知する、またはゾーン 2 内で急接近する車両を検知すると、該当する側のドアミラーのインジケーターランプが点灯します。この状況で運転者が警告が発せられている側の方向指示器を出すと、インジケーターランプが点灯から強い点滅に変わります。

注意

他の車両を感知した側のインジケーターランプが点灯します。車両が両側から追い越されている場合は、左右のインジケーターランプが点灯します。

警告

- BLIS 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 安全に車線を変更すること、および的確に判断することは、つねに運転者の責任です。
- BLIS は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

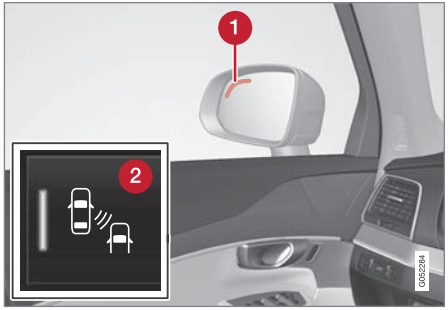
関連情報

- BLIS*を起動/解除する (p. 404)
- BLIS*の限界 (p. 404)
- BLIS* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ (p. 409)
- Cross Traffic Alert* (p. 405)

56 Blind Spot Information Systems
57 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

BLIS*を起動/解除する

BLIS[58] 機能はオン/オフにすることができます。



BLIS ランプの位置[59]

1. インジケーターランプ
2. この機能の起動/解除には、センターディスプレイの機能ビューの BLIS ボタンを使用します。

– 機能ビューで **BLIS** をタップします。
  › BLIS が起動/解除され、緑色/灰色のインジケーターがボタンに表示されます。

エンジンを始動して BLIS がオンになると、ドアミラーインジケーターランプが 1 回点滅して、機能がオンになったことを確認します。

エンジンを停止すると BLIS はオフになり、次回のエンジン始動時までオフの状態を維持します。インジケーターランプは点灯しません。

関連情報

- BLIS* (p. 402)
- BLIS*の限界 (p. 404)
- BLIS* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ (p. 409)

BLIS*の限界

BLIS[60] 機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

機能限界の例：

- センサーが汚れ、氷または雪で覆われると、機能が低下し、警告が解除されることがあります。
- トレーラー、バイシクルホルダーなどを車両の電気系統に接続すると、BLIS 機能は自動的に解除されます。
- BLIS 機能が本来の機能を発揮するためには、車両のトウバーにバイシクルホルダー、ラゲッジキャリアなどが取り付けられていないことが必要です。

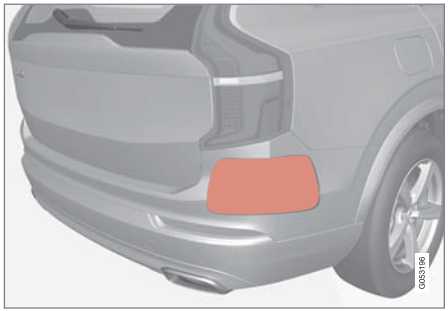
⚠ 警告

- BLIS は、急カーブでは作動しません。
- BLIS は、後退時には作動しません。

センサー

BLIS のセンサーはリアフェンダー/バンパーの各隅の内側にあります。これらのセンサーは Cross Traffic Alert (CTA)機能にも使用されます。

58 Blind Spot Information
59 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。
60 Blind Spot Information



車両の左右両側のこの面をきれいな状態に保ってください。

- もっとも効率的に作動するように、センサー前面の領域はつねにきれいにしておいてください。
- センサーがある領域に物体やテープ、ラベルなどを貼り付けないでください。

重要

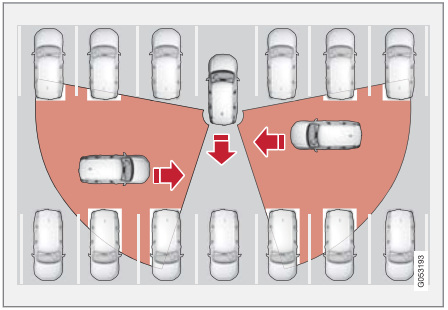
BLIS および CTA 機能コンポーネントの修理またはバンパーの塗装修理はサービス工場で実施する必要があります。ボルボ指定のサービス工場にお任せください。

関連情報

- BLIS* (p. 402)
- BLIS*を起動/解除する (p. 404)
- Cross Traffic Alert* (p. 405)
- BLIS* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ (p. 409)
- Cross Traffic Alert の機能の限界 (p. 407)

Cross Traffic Alert*

CTA[61] は、後退中に車両後方の左右から近づいてくる車両について警告するように設計された BLIS[62] の補助的な運転者サポートです。



CTA の原理

CTA は、駐車スペースから後退して出るときなど、後退中に横方向から近づいてくる車両を検知することで、BLIS を補完します。

CTA はもともと車両を検知するように設計されていますが、条件が整っている場合には、サイクリストや歩行者など、小さめの対象物も検知できる場合があります。

CTA は、車両が後退しているときまたはリバースギヤが選択されているときにのみ作動します。

CTA が横方向から接近してくるものを感知すると、以下の動作によって示されます。

- 警告音 – 接近してくる側のスピーカー(左または右)から音が聞こえます。
- 画面の PAS[63] グラフィックのアイコン点灯
- パークアシスト・カメラトップビューのアイコン

画面の PAS グラフィックの CTA アイコン点灯 [64]

⚠ 警告

- Cross Traffic Alert 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 車両を安全に後退させること、および的確に判断することは、つねに運転者の責任です。
- Cross Traffic Alert は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

関連情報

- Cross Traffic Alert*を起動/解除する (p. 406)
- BLIS* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ (p. 409)
- Cross Traffic Alert の機能の限界 (p. 407)
- BLIS* (p. 402)
- パークアシスト* (p. 431)

Cross Traffic Alert*を起動/解除する

CTA[65] 機能は解除することができます。

オン/オフ

センターディスプレイの機能ビューで **クロス・トラフィック・アラート** ボタンを押します。

- ボタンが緑のとき – CTA がオンになっています。
- ボタンが灰色のとき – CTA はオフになっています。

CTA は、エンジン始動のたびに自動的に起動します。

関連情報

- Cross Traffic Alert* (p. 405)
- Cross Traffic Alert の機能の限界 (p. 407)
- BLIS* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ (p. 409)
- BLIS* (p. 402)

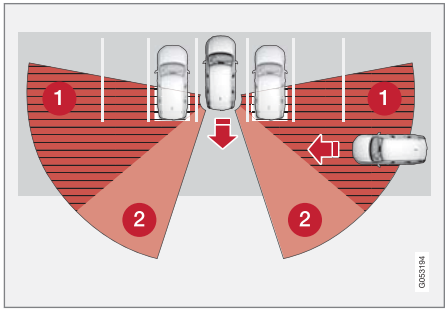
61 Cross Traffic Alert
62 Blind Spot Information
63 パーク・アシストシステム
64 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

Cross Traffic Alert の機能の限界

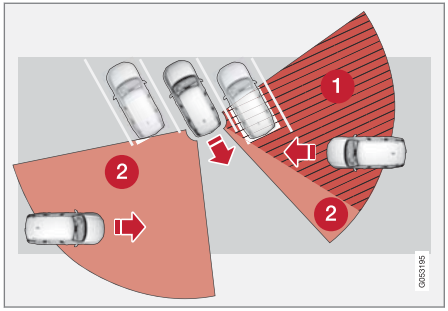
CTA[66] 機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

CTA の機能にはある程度の限界があり、すべての状況で正しく動作するとは限りません。例えば、障害物(他の駐車車両など)がある場合、CTA センサーが障害物を透視することは不可能です。

最初から CTA の「視野」が制限されて接近中の車両を直前まで検知できない状況としては、以下のような例が考えられます。



車両が駐車スペースの奥に駐車されている



角度のある駐車スペースでは、CTA の一方側は完全に死角になる可能性があります。

1. CTA の死角
2. CTA の検知/「視認」可能範囲

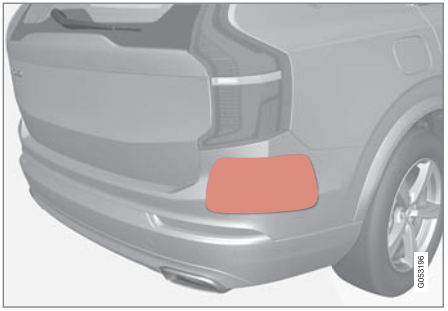
しかし、車両がゆっくり後退するに従って、車両と障害物との角度が変化して死角が急速に小さくなります。

機能が制限されるその他の例：

- センサーが汚れ、氷または雪で覆われると、機能が低下し、警告が解除されることがあります。
- トレーラー、バイシクルホルダーなどを車両の電気系統に接続すると、CTA 機能は自動的に解除されます。
- CTA 機能が本来の機能を発揮するためには、車両のトウバーにバイシクルホルダー、ラゲッジキャリアなどが取り付けられていないことが必要です。

センサー

CTA のセンサーはリアフェンダー/バンパーの各隅の内側にあります。これらのセンサーは BLIS[67] 機能にも使用されます。



車両の左右両側のこの面をきれいな状態に保ってください。

- もっとも効率的に作動するように、センサー前面の領域はつねにきれいにしておいてください。
- センサーがある領域に物体やテープ、ラベルなどを貼り付けないでください。

65 Cross Traffic Alert
66 Cross Traffic Alert
67 Blind Spot Information

重要

BLIS および CTA 機能コンポーネントの修理またはバンパーの塗装修理はサービス工場で実施する必要があります。ボルボ指定のサービス工場にお任せください。

関連情報

- Cross Traffic Alert* (p. 405)
- Cross Traffic Alert*を起動/解除する (p. 406)
- BLIS* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ (p. 409)
- BLIS* (p. 402)
- BLIS*の限界 (p. 404)

BLIS* および Cross Traffic Alert* に関するメッセージ

ドライバーディスプレイには、BLIS[68] および CTA[69] に関する多くのメッセージが表示されます。

いくつかの例が以下の表に示されています。

メッセージ	意味
BLIS センサー **販売店に お問い合わせ下さい**	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
BLIS オフ **トレーラーが 連結しています**	車両の電気系統にトレーラーが接続されたため、BLIS および CTA が解除されました。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ◯ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

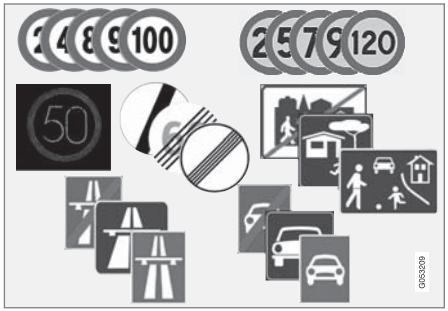
関連情報

- BLIS*（p. 402）
- BLIS*を起動/解除する（p. 404）
- BLIS*の限界（p. 404）
- Cross Traffic Alert*（p. 405）
- Cross Traffic Alert*を起動/解除する（p. 406）
- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイのメッセージの管理（p. 153）

[68] Blind Spot Information
[69] Cross Traffic Alert

ロード・サイン・インフォメーション*

ロード・サイン・インフォメーション機能(RSI[70])は、通過した速度標識および特定の禁止標識を運転者に知らせる補助機能です。



読み取り可能な標識の例[71]

RSI は、高速道路や幹線道路の起点/終点時の速度や、追い越し禁止、一方通行などの情報を運転者に知らせます。

高速道路/中央分離帯付き道路の標識と制限速度の標識の両方を通過した場合、RSI は高速道路/中央分離帯付き道路の標識シンボルの表示を選択します。新しい制限速度はドライバーディスプレイのスピードメーターに線で直接表示されます。

⚠ 警告

- ロード・サイン・インフォメーション機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- ロード・サイン・インフォメーションは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

RSI を起動/解除する

ロード・サイン・インフォメーション機能は選択式であり、運転者が**オン**または**オフ**を選択することができます。

センターディスプレイの機能ビューで **Road Sign Information** ボタンを押します。

- ボタンが緑のとき – RSI がオンになっています。
- ボタンが灰色のとき – RSI はオフになっています。

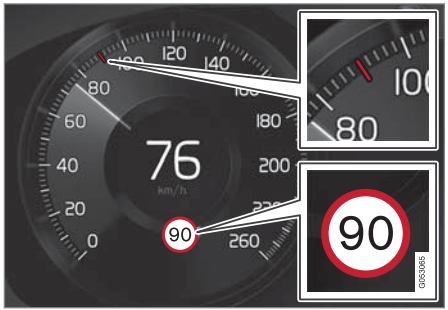
関連情報

- ロード・サイン・インフォメーションの標識表示 (p. 411)
- ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定 (p. 413)
- ロード・サイン・インフォメーションおよびスピード違反取り締まりカメラ情報* (p. 414)
- ロード・サイン・インフォメーション*の限界 (p. 415)

70 Road Sign Information
71 道路標識は市場によって異なります。本マニュアル内の図は例に過ぎません。

ロード・サイン・インフォメーションの標識表示

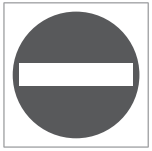
ロード・サイン・インフォメーション機能(RSI[72])は、標識および状況に応じて、さまざまな方法で道路標識を登録および表示します。



記録された速度情報の例 [73]

RSI が制限速度の道路標識を検知すると、ドライバーディスプレイにその標識がシンボルとして表示されるとともに、スピードメーターに赤色の表示が追加されます。

制限速度のシンボルの他に、「追い越し禁止」などの標識も追加 [73] 表示されることがあります。



運転者が進入禁止の標識のある道路に進入すると、この標識[73] のシンボルがドライバーディスプレイに点滅して警告します。

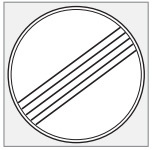
車両に Sensus Navigation*が装備されている場合、車両が間違った方向に進行しているかどうかを特定するために地図の情報も使用されます。

音声による警告 機能がオンの場合、進入禁止の入口方向に走行しているときにも警告音が鳴ることがあります。「ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ」の項の「警告音のオン/オフ」を参照してください。

制限速度または高速道路の終点

RSI が現在の制限速度の終了(高速道路の終点など)を表す「間接的な制限速度標識」を検知すると、対応する道路標識のシンボルがドライバーディスプレイに表示されます。

間接的な制限速度標識 [73] の例：



全制限の終点

高速道路の終点

ドライバーディスプレイのシンボルは 10～30 秒経過後に消え、次の速度関連標識を通過するまで非表示のままになります。

制限速度の変更

制限速度が変わるときに直接的な制限速度標識を通過すると、対応する道路標識のシンボルがドライバーディスプレイに表示されます。

直接的な制限速度標識 [73] の例：

ドライバーディスプレイのシンボルは約 5 分後に消え、次の速度関連標識を通過するまで非表示のままになります。

72 Road Sign Information
73 道路標識は市場によって異なります。本マニュアル内の図は例にすぎません。

Sensus Navigation

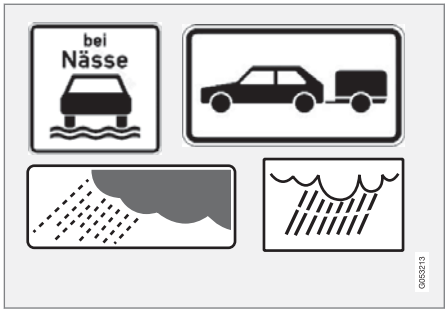
Sensus Navigation 装備車では、以下の場合にナビゲーション装置から速度情報が読み取られます。

- 制限速度を間接的に示す標識(高速道路、中央分離帯付き道路、市街地終わり標識など)を検知した場合。
- 前に検知した速度標識の適用区間が終了したと仮定されるが、新しい標識が検知されていない場合。

注意

ダウンロードしたサードパーティ製アプリをナビゲーションに使用する場合、速度に関する情報はサポートされません。

付加的標識

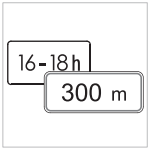


付加的標識の例 [73]

場合によっては、同一道路上であっても、異なる制限速度標識が掲示されている場合があります。このような場合には、付加的標識が表示されることで、複数の制限速度が適用されていることがわかります。また、現在通行中の箇所は、雨や霧発生時には特に事故が発生しやすい場所であることもあります。

雨に関連した付加的標識はウインドスクリーンワイパーが作動しているときにのみ、表示されます。

車両にトレーラーが接続されているとき、「トレーラー」の付加的標識の付いた速度標識を通過すると、その速度がドライバーディスプレイに表示されます。



制限速度の中には、特定の距離の走行後、または特定の時間帯のみ適用されるものがあります。このような状況では、制限速度を示すシンボルの下の付加的標識で運転者の注意を促します。ドライバーディスプレイの付加的標識には、「DIST」または「TIME」が表示されます。

ドライバーディスプレイの速度シンボルの下にある空フレームの付加的標識のシンボル [73] は、RSI が現在の制限速度の補足となる付加的標識を検知したことを示しています。

「学校、幼稚園、保育所などあり」の標識

「学校、幼稚園、保育所などあり」の警戒標識 [73] が衛星ナビゲーションシステムの地図データに含まれている場合 [74]、ドライバーディスプレイにこのタイプの標識が表示されます。

73 道路標識は市場によって異なります。本マニュアル内の図は例にすぎません。
74 Sensus Navigation* 装備車のみ。

関連情報

- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 410)
- ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定 (p. 413)
- ロード・サイン・インフォメーションおよびスピード違反取り締まりカメラ情報* (p. 414)
- ロード・サイン・インフォメーション*の限界 (p. 415)

ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定

RSI[75] の補助機能 **制限速度警告** は選択式であり、運転者が**オン**または**オフ**を選択することができます。

制限速度警告 は、規定の制限速度または設定している「制限速度」を超過したときに運転者に警告します。運転者が減速しない場合、警告が1回繰り返されます。

速度警告は、規定の速度を上回ったときに、ドライバーディスプレイ上の制限時速を示すシンボル[76] が一時的に点滅することで発せられます。

速度違反取締りカメラ情報に該当する場所で制限速度を超えると、必ず速度警告が出されます。

速度警告のオン/オフ

補助機能 **制限速度警告** をオンにするには、以下の手順に従ってください。

1. センターディスプレイのトップビューで**設定** ➔ **My Car** ➔ **IntelliSafe** ➔ **Road Sign Information** を選択します。
2. **制限速度警告** を選択します。
   > 機能がオンになり、制限速度セレクターが表示されます。

   (以下の見出しの「制限速度セレクター」の説明を参照してください)

75 Road Sign Information
76 道路標識は市場によって異なります。本マニュアル内の図は例にすぎません。

速度警告の制限速度を調節する

運転者は設定速度よりも低い速度または高い速度で警告を受けるように選択することができます。

速度警告の制限速度を選択するには、以下の手順に従ってください。

1. センターディスプレイのトップビューで**設定 ➔ My Car ➔ IntelliSafe ➔ Road Sign Information** を選択します。
2. **制限速度警告** を選択します。
   > 機能がオンになり、制限速度セレクターが表示されます。
3. 画面の上/下矢印をタップして、速度警告の制限速度を調節します。

ドライバーディスプレイのスピード違反取り締まりカメラのシンボルは、選択した制限速度に関係なく表示されます。

警告音オン/オフ

速度警告と関連付けて警告音を鳴らすように設定することもできます。

警告音の設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

1. センターディスプレイのトップビューで**設定 ➔ My Car ➔ IntelliSafe ➔ Road Sign Information** を選択します。
2. **音声による警告** を選択/解除して、警告音をオン/オフにします。

音声による警告 機能がオンになっている場合、一方通行/進入禁止の入口方向へ走行しているときにも警告されます。

関連情報

- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 410)
- ロード・サイン・インフォメーションの標識表示 (p. 411)
- ロード・サイン・インフォメーションおよびスピード違反取り締まりカメラ情報* (p. 414)
- ロード・サイン・インフォメーション*の限界 (p. 415)

ロード・サイン・インフォメーションおよびスピード違反取り締まりカメラ情報*

RSI[77] および Sensus Navigation* 装備車では、接近するスピード違反取り締まりカメラに関する情報をドライバーディスプレイに表示されます。

ドライバーディスプレイのスピード違反取り締まりカメラ警告 [78]

[77] Road Sign Information
[78] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルおよび市場/地域により異なっている場合があります。

車両が検知した制限速度を超過している場合、車両がスピード違反取り締まりカメラに近づくと運転者に警告を発します。ただし、ご利用の地域用ナビゲーションマップに、スピード違反取り締まりカメラに関する情報が含まれている必要があります。

スピード違反取り締まりカメラに関連する速度警告の詳細については、「 ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定」と「ロード・サイン・インフォメーションの限界」の項を参照してください。

注意

ナビゲーションマップ上のスピード違反取り締まりカメラに関する情報は、一部の市場/地域ではご利用いただけません。

関連情報

- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 410)
- ロード・サイン・インフォメーションの標識表示 (p. 411)
- ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定 (p. 413)
- ロード・サイン・インフォメーション*の限界 (p. 415)

ロード・サイン・インフォメーション*の限界

ロード・サイン・インフォメーション(RSI[79])機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

以下のようなものが、RSI 機能を低下させる可能性があります。

- 色があせた標識
- カーブに設置された標識
- 向きが変えられた標識や損傷のある標識
- 道路よりも非常に高い位置に設置された標識
- 全体または一部が隠れている標識や設置位置が不適切な標識
- 霜や雪、泥で完全にまたは部分的に覆われている標識
- 最新情報が反映されていない、正しくない、または速度情報がない[80] デジタル道路地図[81]

注意

RSI 機能は、一部のタイプのサイクルキャリア(トレーラーの電源ソケットへ接続されたもの)を、接続されたトレーラーとみなすことがあります。そのような場合、ドライバーディスプレイに誤った速度情報が表示されることがあります。

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

関連情報

- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 410)
- ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定 (p. 413)
- ロード・サイン・インフォメーションの標識表示 (p. 411)
- カメラユニットの限界 (p. 387)

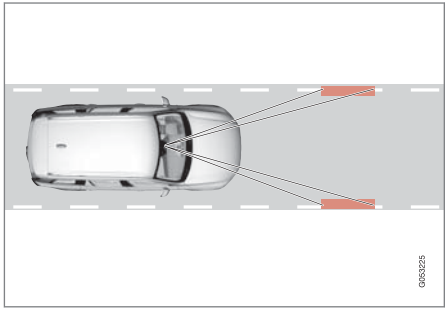
79 Road Sign Information

Driver Alert Control

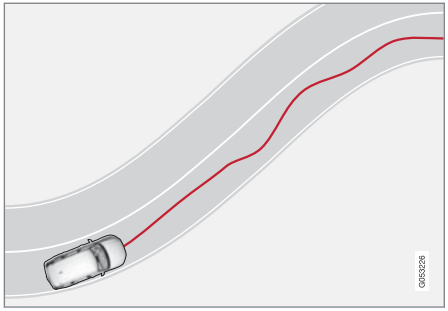
Driver Alert Control (DAC)機能は、集中力の低下や居眠りが現れるなど、運転者の運転が不安定になり始めたときに運転者の注意を喚起する機能です。

DAC の目的は幹線道路で徐々に運転能力が低下することを感知することです。この機能は、市街地走行を意図したものではありません。

この機能は車速が 65 km/h (40 mph)を超えると作動し、60 km/h (37 mph)を超過している間作動し続けます。



走行している車線の両側の車線マークをカメラが感知し、運転者がステアリングホイールを操作する動きと道路の位置を比較します。



車両の挙動が不安定になり始めると、運転者への警告として、このシンボルがドライバーディスプレイに表示され、テキストメッセージ **休憩して下さい** が表示されます。

車両の挙動が改善されず、著しく不安定になると、運転者への警告として、同じシンボルがドライバーディスプレイに表示され、警告音が鳴り、テキストメッセージ **ちょっと休憩して下さい** が表示されます。

Sensus Navigation* で **休憩所案内** 機能がオンになっている場合、休憩場所の提案も **ちょっと休憩して下さい** 警告と同時に表示されます。

しばらくしても挙動が改善されない場合、再警告されます。

⚠ 警告

- Driver Alert Control 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- Driver Alert Control の警告を、運転時間を引き延ばすための目安として使用しないでください。運転者は一定間隔で休憩するように計画を立て、十分な休憩をとる必要があります。
- Driver Alert Control は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

80 地域によっては、速度情報の含まれる地図データがない場合があります。
81 Sensus Navigation 装備車のみ。

⚠ 警告

Driver Alert Control からのアラームは必ず真剣に受け止め、対処してください。眠気に襲われている運転者は、自分のコンディションを自覚していない場合が多く見受けられます。

アラームが鳴った場合、または疲労を感じている場合：

- できるだけ早く車両を安全に停止して、休憩してください。

研究調査により、疲労時の運転は酒または興奮剤の影響下での運転と同様の危険があることがわかっています。

関連情報

- Driver Alert Control を起動/解除する (p. 417)
- Driver Alert Control の限界 (p. 418)

Driver Alert Control を起動/解除する

Driver Alert Control(DAC)機能はオン/オフにすることができます。

オン/オフ

DAC の設定を変更するには：

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car ➔ IntelliSafe ➔ ドライバー・アラート・コントロール** を選択します。
3. **注意力の低下を警告** を選択/解除して、DAC をオン/オフにします。

警告時の休憩所ガイドを選択する

休憩所ガイドをオンまたはオフにするかどうかを選択することができます。休憩所ガイドをオンにすると、DAC が警告を出したとき、同時に、適切な休憩所の候補が自動的に表示されます。

休憩所案内 を選択するには：

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** を押します。
2. **My Car ➔ IntelliSafe ➔ ドライバー・アラート・コントロール** を選択します。
3. **休憩所案内** を選択/解除して、機能をオン/オフにします。

関連情報

- Driver Alert Control (p. 416)
- Driver Alert Control の限界 (p. 418)

Driver Alert Control の限界

Driver Alert Control (DAC)機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

状況により、運転能力が低下していなくてもシステムが警告を発する場合があります。例えば：

- 強い横風が吹いているとき
- わだちが多い路面を走行しているとき

⚠ 警告

状況次第では、疲労感があっても運転に変化が見られず(Pilot Assist 機能を使用している場合など)、DAC が警告を出さないことがあります。

このため、DAC 機能からの警告の有無に関係なく、少しでも疲労を感じたら、必ず停車して休憩することが重要です。

ⓘ 注意

本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

関連情報

- Driver Alert Control (p. 416)
- Driver Alert Control を起動/解除する (p. 417)
- カメラユニットの限界 (p. 387)
- Pilot Assist* (p. 361)

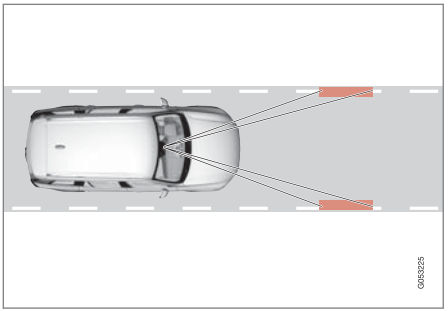
レーン・キーピング・エイド

レーン・キーピング・エイド(LKA[82])の機能は、高速道路や同様の主要道路を走行中に、車両が現在の車線から不意に逸脱する危険を低下させることに役立ちます。

レーン・キーピング・エイドはステアリング操作を行って車両を車線内に戻し、ステアリングホイールの振動で運転者に警告します。

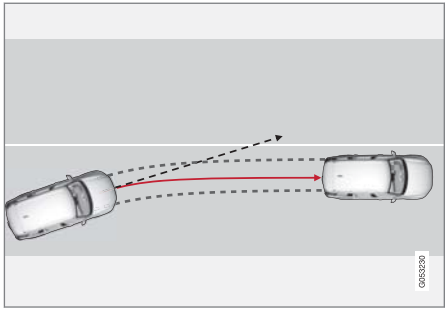
レーン・キーピング・エイドは、車線境界線がはっきりと視認できる道路で速度が65～200 km/h (40～125 mph)のときに作動します。

狭い道路では、この機能は利用できないことがあります。この場合は、スタンバイモードになります。道幅が十分な広さになると、機能は利用できる状態に戻ります。

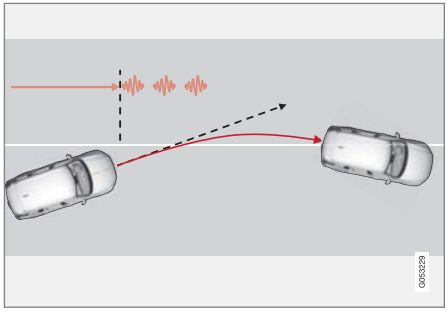


カメラが道路/車線の境界線を検知します。

＊ オプション/アクセサリー。



レーンアシストはステアリング操作を行って車両を車線内に戻します。



レーンアシストはステアリングホイールを振動させて警告します[83]。

設定に応じて、レーンアシストは以下のように動作します。

- **アシスト**[84] がオンの場合：車両が車線境界線に接近すると、LKA が軽度のステアリングホイール操舵力を駆使して、自発的にステアリング操作を行い、車両を車線内に戻します。
- **警告**[84] がオンの場合：車両が車線境界線を越えそうになると、ステアリングホイールの振動により運転者に警告します。

注意

方向指示器を使用している場合、レーンアシストによるステアリング補正または警告はありません。

警告

- レーン・キーピング・エイド機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- この機能は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

ステアリングアシスト

LKA が機能するためには、運転者が両手をステアリングホイールに置いている必要があります。システムはこの状態をモニターし続けます。

運転者の手がステアリングホイールから離れると、運転者にステアリング操作を自発的に行うように促すため、このシンボルと以下のメッセージが表示されます。

- **Lane Keeping Aid ハンドル操作して下さい**

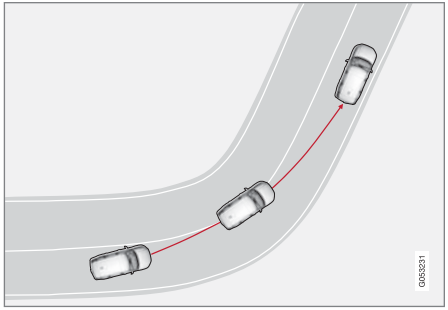
82 Lane Keeping Aid
83 車両が車線から逸脱している時間が長くなるほど、ステアリングホイールの振動も長くなります。
84 「レーン・キーピング・エイドのオン/オフ」の項の「LKA のアシストオプション」を参照してください。

運転者がステアリング操作を開始しない場合は、再度シンボルが表示されるとともに警告音が鳴り、次のメッセージが表示されます。

- **Lane Keeping Aid ハンドルが適用されるまでスタンバイ**

それでも運転者がメッセージに従わずステアリング操作を開始しない場合は、LKA がスタンバイモードに設定されます。スタンバイモードになると、運転者が再度ステアリング操作を開始するまで機能は利用できなくなります。

レーンアシストが介入しない



急な内向きカーブでは、レーンアシストは作動しません。

方向指示器を使用しているときやカーブをショートカットするときなど、状況により、レーンアシストはステアリングアシストまたは警告による介入のいずれも行わず車線境界線を越えることを許容します。

作動限界

困難な走行条件では、レーンアシストが運転者を適切に支援できなくなる可能性があります。そのような場合、この機能をオフにしてください。

該当する条件の例：

- 道路工事
- 冬季の路面状態
- 路面不良
- スポーツ走行重視の運転スタイル
- 視認性の低下を伴う天候不良
- 車線境界線以外の線または崖
- 車線境界線がない、または不鮮明な道路

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

関連情報

- レーンアシストをオン/オフにする (p. 421)
- 車線逸脱回避ステアリングアシスト (p. 426)
- 追突回避ステアリングアシスト* (p. 429)
- 正面衝突回避ステアリングアシスト (p. 428)
- レーンアシストのシンボルおよびメッセージ (p. 422)
- カメラユニットの限界 (p. 387)

* オプション/アクセサリー。

レーンアシストをオン/オフにする

レーンアシスト(LKA[85])機能は選択式であり、運転者がオン**または**オフ**を選択し、一部の補助機能を選択することができます。**

オン/オフ

センターディスプレイの機能ビューで **ﾚｰﾝ･ｷｰﾋﾟﾝｸﾞ･ｴｲﾄﾞ** ボタンを押します。

- ボタンが緑のとき - LKA がオンになっています。
- ボタンが灰色のとき - LKA はオフになっています。

LKA のアシストオプションを選択する

運転者は、車両が車線から逸脱した場合の LKA の反応方法を選択することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで**設定 ➔ My Car ➔ IntelliSafe** を選択します。
2. **Lane Keeping Aid モード** の場合、LKA の反応方法を選択します。
   - **アシスト** - 警告なしにステアリングアシストが行われます。
   - **両方** - 警告とともにステアリングアシストが行われます。
   - **警告** - 運転者への警告のみ

関連情報

- 車線逸脱回避ステアリングアシスト (p. 426)
- レーン・キーピング・エイド (p. 418)
- 追突回避ステアリングアシスト* (p. 429)
- 正面衝突回避ステアリングアシスト (p. 428)
- レーンアシストのシンボルおよびメッセージ (p. 422)

[85] Lane Keeping Aid

レーンアシストのシンボルおよびメッセージ

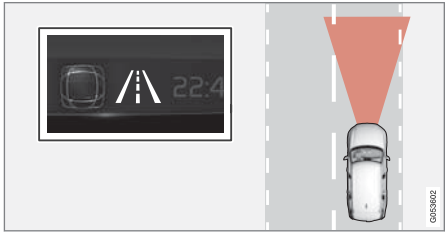
ドライバーディスプレイには、レーンアシスト(LKA[86])に関する多くのシンボルおよびメッセージが表示される可能性があります。

ドライバーディスプレイのシンボル

レーンアシストは、状況に応じて、ドライバーディスプレイのシンボルにより視覚化されます。

以下は、シンボルおよびシンボルが表示される状況の例です。

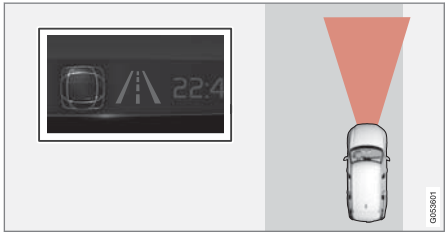
利用可能



利用可能 – シンボルの車線境界線が白色

レーンアシストは片側または両側の車線境界線をスキャンしています。

利用不可



利用不可 – シンボルの車線境界線が灰色

レーンアシストが車線境界線を検知できない、速度が遅すぎる、または道路が狭すぎる状態です。

ステアリングアシスト/警告の表示

ステアリングアシスト/警告 – シンボルの車線境界線がカラー表示

レーンアシストは、システムが警告を出していることや車両を車線内に戻そうとしていることを示します。

86 Lane Keeping Aid

シンボルおよびメッセージ

いくつかの例が以下の表に示されています。

シンボル	メッセージ	意味
	ドライバー支援ｼｽﾃﾑ **機能低下。販売店に お問い合わせ下さい。**	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
	ｳｨﾝﾄﾞｽｸﾘｰﾝｾﾝｻｰ **ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされた。ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙを見て下さい**	カメラの前方車線をスキャンする能力が低下しています。
	Lane Keeping Aid **ハンドル操作して下さい**	運転者がステアリングホイールに両手を置いていないと、LKA ステアリングアシストは機能しません。指示に従って、ステアリングホイールを操作してください。
	Lane Keeping Aid **ハンドルが適用される までスタンバイ**	運転者がステアリングホイールの操作を再度始めるまで、LKA はスタンバイモードにセットされます。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ○ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- レーン・キーピング・エイド（p. 418）
- レーンアシストをオン/オフにする（p. 421）
- 追突回避ステアリングアシスト*（p. 429）
- 正面衝突回避ステアリングアシスト（p. 428）
- 車線逸脱回避ステアリングアシスト（p. 426）

衝突の危険があるときのアシスト

衝突回避 アシスト 機能は、ステアリングを自発的に操作して車両を車線内に戻すことにより、車両が不意に車線から外れる危険および他の車両または障害物と衝突する危険を低減できるように支援します。

衝突回避 アシスト 機能は、以下の 3 つの補助機能で構成されています。

- 車線逸脱回避ステアリングアシスト
- 正面衝突回避ステアリングアシスト
- 追突回避ステアリングアシスト*

自動作動の後には、自動作動が発生したことがテキストメッセージにより運転者に通知されます。

- **衝突回避アシスト**: **自動介入**

注意

必要な操舵の程度を判断するのは、つねに運転者です。車両が操舵の権限を握ることは絶対にできません。

衝突の危険があるときのアシストのオン/オフ

この機能は選択式であり、運転者が機能の**オン**または**オフ**を選択することができます。

オフにするには、以下の手順に従ってください。

1. センターディスプレイのトップビューで**設定 ➔ My Car ➔ IntelliSafe** を選択します。
2. **衝突回避アシスト** の選択を解除します。
   > この機能の選択が解除されます。

注意

衝突回避 アシスト 機能をオフにすると、すべての補助機能がオフになります。

- 車線逸脱回避ステアリングアシスト
- 対向車衝突回避ステアリングアシスト
- 追突回避ステアリングアシスト

この機能はオフにできますが、ほとんどの状況で走行安全性の向上につながるため、つねにオンにしておくことをお薦めします。

関連情報

- 車線逸脱回避ステアリングアシスト (p. 426)
- 衝突の危険があるときのアシストのシンボルおよびメッセージ (p. 425)
- 正面衝突回避ステアリングアシスト (p. 428)
- 追突回避ステアリングアシスト* (p. 429)
- レーン・キーピング・エイド (p. 418)

* オプション/アクセサリー。

衝突の危険があるときのアシストのシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイには、この機能に関する多くのシンボルおよびメッセージが表示される可能性があります。

いくつかの例が以下の表に示されています。

シンボル	メッセージ	意味
	衝突回避 アシスト **自動介入**	この機能の作動に伴い、システムが作動していることを示すメッセージが運転者に対して表示されます。
	ｳｨﾝﾄﾞｽｸﾘｰﾝｾﾝｻｰ **ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされた。ｵｰ ﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙを見て下さい**	カメラの前方車線をスキャンする能力が低下しています。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ○ ボタンを軽く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- 車線逸脱回避ステアリングアシスト（p. 426）
- レーン・キーピング・エイド（p. 418）

車線逸脱回避ステアリングアシスト

この補助機能は運転者の支援機能の 1 つで、ステアリングを自発的に操作して車両を道路に戻すことにより、車両が不意に道路から逸脱する危険を低減します。

本機能は、車線境界線がはっきりと視認できる道路で速度が 65～140 km/h (40～87 mph)のときに作動します。

カメラが道路の端および/車線境界線(塗装)をスキャンします。車両が道路の端を越えそうになると、車両はステアリング操作によって道路に戻され、ステアリング操作だけで道路からの逸脱を回避できない場合には、ブレーキも作動します。

ただし、方向指示器を使用している場合、この機能によるステアリングアシストまたはブレーキ作動は行われません。また、運転者が自発的に車両を運転していることをこの機能が検知した場合は、機能の作動が遅れます。

自動作動の後には、自動作動が発生したことがテキストメッセージにより運転者に通知されます。

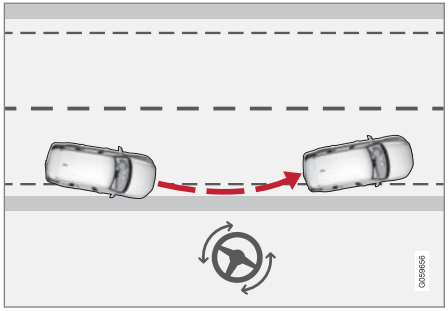
- **衝突回避アシスト**: **自動介入**

ステアリングアシストのレベル

この機能には 2 つの作動レベルがあります。

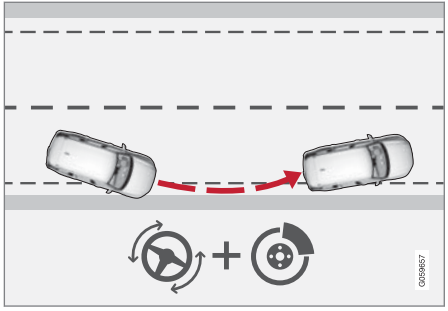
- ステアリングアシストのみ
- ステアリングアシストおよびブレーキ作動

ステアリングアシストのみ



ステアリングアシストによる介入

ステアリングアシストおよびブレーキ作動



ステアリングアシストおよびブレーキ作動による介入

ブレーキ作動は、ステアリングアシストだけでは十分でない状況で効果を発揮します。制動力は車道逸脱時の状況に応じて自動的に調整されます。

車道逸脱回避ステアリングアシストのオン/オフ

この機能は選択式であり、運転者が機能の**オン**または**オフ**を選択することができます。

オフにするには、以下の手順に従ってください。

1. センターディスプレイのトップビューで**設定** ➔ **My Car** ➔ **IntelliSafe** を選択します。
2. **衝突回避アシスト** の選択を解除します。
   > この機能の選択が解除されます。

注意

衝突回避 アシスト 機能をオフにすると、すべての補助機能がオフになります。

- 車線逸脱回避ステアリングアシスト
- 対向車衝突回避ステアリングアシスト
- 追突回避ステアリングアシスト

この機能はオフにできますが、ほとんどの状況で走行安全性の向上につながるため、つねにオンにしておくことをお薦めします。

車道逸脱回避ステアリングアシストの機能の限界

困難な走行条件では、この機能が運転者を適切に支援できなくなる可能性があります。そのような場合、この機能をオフにしてください。

該当する条件の例：

- 道路工事
- 冬季の路面状態
- 狭い道路
- 路面不良
- スポーツ走行重視の運転スタイル
- 視認性の低下を伴う天候不良
- 車線境界線がない、または不鮮明な道路
- 車線境界線以外の線または崖

⚠ 警告

- 「車線逸脱回避ステアリングアシスト」補助機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- この機能は路肩にある防護柵、欄干などの障害物を検知することができません。
- 車線逸脱回避ステアリングアシストは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

ⓘ 注意

本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

ⓘ 注意

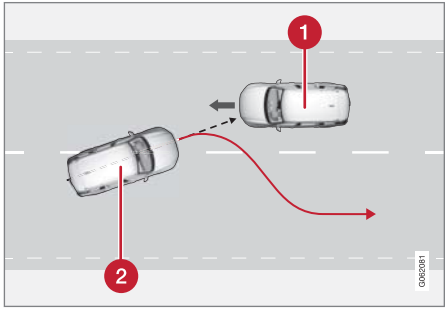
本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」の項を参照してください。

関連情報

- レーン・キーピング・エイド（p. 418）
- 追突回避ステアリングアシスト*（p. 429）
- 正面衝突回避ステアリングアシスト（p. 428）
- レーンアシストのシンボルおよびメッセージ（p. 422）
- 衝突の危険があるときのアシストのシンボルおよびメッセージ（p. 425）
- カメラユニットの限界（p. 387）
- レーダーユニットの限界（p. 378）

正面衝突回避ステアリングアシスト

この補助機能は、車両が対向車線に入り込んでいることに気付かない、注意散漫になっている運転者を支援することができます。



この機能は車両を元の車線内に誘導することができます。

1. 対向車
2. 自車

本機能は、車線境界線がはっきりと視認できる道路で速度が 60～140 km/h（37～87 mph）のときに作動します。

対向車が接近しているときに自車が車線から逸脱しそうになっている場合、この機能は運転者を支援し、ステアリング操作を行って車両を車線内に戻すことができます。

方向指示器が使用されている場合、この機能は介入しません。運転者が車両を自発的に運転していることをこの機能が検知した場合、機能の作動は遅れます。

自動作動の後には、自動作動が発生したことがテキストメッセージにより運転者に通知されます。

- **衝突回避アシスト：自動介入**

⚠ 警告

- 「対向車衝突回避ステアリングアシスト」補助機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- ステアリングアシストは、衝突の危険が高い場合にのみ作動します。したがって、絶対にこの機能の介入を待たないでください。
- この機能は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

対向車との衝突の危険があるときのステアリングアシストのオン/オフ

この機能は選択式であり、運転者が機能の**オン**または**オフ**を選択することができます。

オフにするには、以下の手順に従ってください。

1. センターディスプレイのトップビューで**設定** ➔ **My Car** ➔ **IntelliSafe** を選択します。
2. **衝突回避アシスト** の選択を解除します。
   › この機能の選択が解除されます。

ⓘ 注意

衝突回避 アシスト 機能をオフにすると、すべての補助機能がオフになります。

- 車線逸脱回避ステアリングアシスト
- 対向車衝突回避ステアリングアシスト
- 追突回避ステアリングアシスト

この機能はオフにできますが、ほとんどの状況で走行安全性の向上につながるため、つねにオンにしておくことをお薦めします。

正面衝突回避ステアリングアシストの機能の限界

この機能は、一部の状況で動作が制限され、作動しないことがあります。

- オートバイなどの小型車が対象の場合
- 車線境界線がはっきりと表示されていない道路の場合
- 車両の大部分が隣の車線に入っている場合
- 60～140 km/h (37～87 mph)の速度範囲から外れている場合

その他の厳しい状況：

- 道路工事
- 冬季の路面状態
- 狭い道路
- 路面不良
- スポーツ走行重視の運転スタイル
- 視認性の低下を伴う天候不良

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

注意

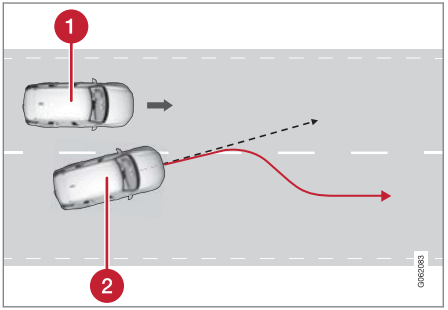
本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」の項を参照してください。

関連情報

- レーン・キーピング・エイド（p. 418）
- レーンアシストをオン/オフにする（p. 421）
- 車線逸脱回避ステアリングアシスト（p. 426）
- 追突回避ステアリングアシスト*（p. 429）
- カメラユニットの限界（p. 387）
- レーダーユニットの限界（p. 378）

追突回避ステアリングアシスト*

この補助機能は、他の車両が後方または死角から接近しているときに自車が車線から逸脱しそうになっていることに気付かない、注意が散漫になっている運転者を支援することができます。



この機能はステアリング操作で車両を車線内に戻すことができます。

1 死角内の他の車両

2 自車

他の車両が死角に入っているとき、または隣の車線の車両が急接近しているときに自車が車線から逸脱しそうになっている場合、この機能は運転者を支援し、ステアリング操作を行って車両を車線内に戻すことができます。

この機能は、運転者が他の車両が接近中であることに気付かずに、方向指示器を使用して意図

的に車線変更をする場合にも支援することができます。

本機能は、車線境界線がはっきりと視認できる道路で速度が 60～140 km/h (37～87 mph)のときに作動します。

自動作動の後には、自動作動が発生したことがテキストメッセージにより運転者に通知されます。

- **衝突回避アシスト**: **自動介入**

追突回避ステアリングアシストのオン/オフ

この機能は選択式であり、運転者が機能の**オン**または**オフ**を選択することができます。

オフにするには、以下の手順に従ってください。

1. センターディスプレイのトップビューで**設定** ➔ **My Car** ➔ **IntelliSafe** を選択します。
2. **衝突回避アシスト** の選択を解除します。
   > この機能の選択が解除されます。

注意

衝突回避 アシスト 機能をオフにすると、すべての補助機能がオフになります。

- 車線逸脱回避ステアリングアシスト
- 対向車衝突回避ステアリングアシスト
- 追突回避ステアリングアシスト

この機能はオフにできますが、ほとんどの状況で走行安全性の向上につながるため、つねにオンにしておくことをお薦めします。

追突回避ステアリングアシストの機能の限界

この機能は、以下のような一部の状況で動作が制限され、作動しないことがあります。

- オートバイなどの小型車が対象の場合
- 車両の大部分が隣の車線に入っている場合
- 道路/車線の車線境界線がない、または不鮮明な場合
- 60～140 km/h (37～87 mph)の速度範囲から外れている場合

その他の厳しい状況：

- 道路工事
- 冬季の路面状態
- 狭い道路
- 路面不良
- スポーツ走行重視の運転スタイル
- 視認性の低下を伴う天候不良

警告

- 「追突回避ステアリングアシスト」補助機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- ステアリングアシストは、衝突の危険が高い場合にのみ作動します。したがって、絶対にこの機能の介入を待たないでください。
- この機能は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」の項を参照してください。

カメラおよびレーダーユニットの他に、この機能は車両の後ろ向きレーダーも使用しますが、そのレーダーには運転者が認識しておくべき一般的限界があります。「BLIS の限界」の項を参照してください。

関連情報

- レーン・キーピング・エイド（p. 418）
- レーンアシストをオン/オフにする（p. 421）
- 車線逸脱回避ステアリングアシスト（p. 426）
- 正面衝突回避ステアリングアシスト（p. 428）
- カメラユニットの限界（p. 387）
- レーダーユニットの限界（p. 378）
- BLIS*の限界（p. 404）

パークアシスト*

パークアシストは、狭い場所で駐車操作を行うときに障害物までの距離を確認音とセンターディスプレイのグラフィック表示で示し、運転者の操作をサポートします。

障害物ゾーンおよびセンサーセクターを示す画面表示

センターディスプレイに車両と障害物の位置関係が表示されます。

ハイライトされた領域は、障害物の位置を示しています。車両シンボルがハイライトされた領域に近いほど、車両と検知された障害物の距離が短いことを示します。

障害物までの距離が短くなるほど、確認音が速くなります。オーディオユニットからのサウンドなどは、自動的にミュート(消音)になります。

前方および横の障害物に対する確認音は、車両が走行しているときに作動し、車両が約 2 秒間静止すると停止します。後方の障害物に対する確認音は車両が停止しているときも作動します。

車両の後方または前方の障害物から 30 cm 以内の距離では、確認音は連続音になり、アクティブなセンサーの、車両のシンボルにもっとも近い領域がハイライト表示されます。

パークアシストの確認音の音量は、確認音が鳴っているときにセンターコンソールの［❯II］ダイヤルを使用することにより調整することができます。また、トップビューの **設定** メニューオプションでも調整することができます。

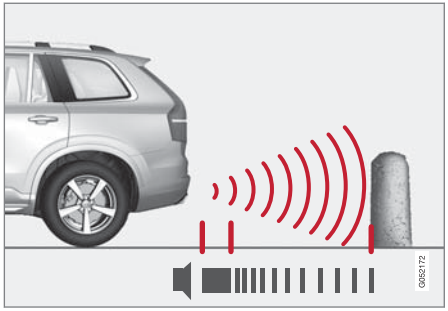
注意

- 警告音の作動は、車両の進路にある障害物のみが対象です。

⚠ 警告

- パークアシスト機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- パーキングセンサーには死角があり、すべての物体を感知することはできません。
- 車両のそばに人間やペットなどがいる場合がありますので、特にご注意ください。
- パークアシストは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

後方



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

リアセンサーは、ギヤの入っていない状態で車両が後方に動き出した場合やギヤセレクターレバーをリバース位置にしたときに作動します。

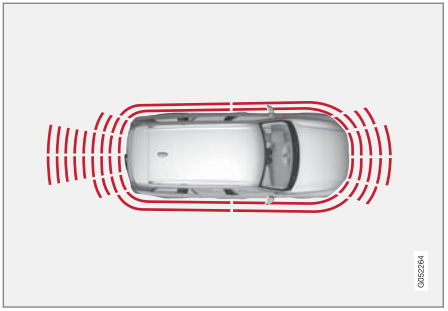
測定範囲は車両後方約 1.5 m (5 ft)です。

トレーラーを連結した状態で後退する場合、リアパークアシストは自動的に解除されます。

ⓘ 注意

ボルボ純正トレーラーケーブルを使用せずに、トウバーにトレーラーまたはバイクキャリアーを取り付けて後退する際には、センサーがトレーラーやバイクキャリアーに反応しないように、パークアシストを手動で解除することが必要になる場合があります。

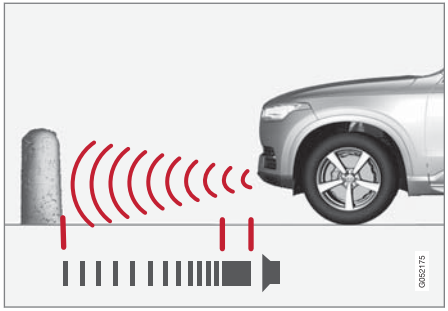
側方



パークアシストサイドセンサーは、エンジン始動時に自動的に起動します。センサーは速度が 10 km/h 未満(6 mph 未満)のときに作動します。

距離の測定は、両サイドから約 30 cm (1 ft)の距離で開始します。両サイドにある障害物を知らせる警告音は、サイドスピーカーから聞こえます。

前方



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

フロントパークアシストセンサーは、エンジン始動時に自動的に起動します。フロントセンサーは速度が 10 km/h 未満(6 mph 未満)のときに作動します。

測定範囲は車両前方約 80 cm (2.5 ft)です。

注意

パーキングブレーキを作動した場合、またはオートマチックトランスミッション車両で P モードを選択した場合は、パークアシストが非作動状態になります。

重要

補助ライトなど装着時：センサーの邪魔にならないように注意してください。補助ライトを障害物として検知して、誤作動する場合があります。

関連情報

- パークアシスト*の作動/解除（p. 433）
- パークアシスト*の限界（p. 434）
- パークアシスト*のシンボルおよびメッセージ（p. 436）
- パークアシスト・カメラ*（p. 437）
- パークアシスト・パイロット*（p. 446）

パークアシスト*の作動/解除

パークアシスト機能はオン/オフにすることができます。

オン/オフ

前方および側方用パークアシストセンサーは、エンジン始動時に自動的に起動します。車両が後退する場合、またはリバースギヤに入れた場合、リアセンサーが起動します。

この機能はセンターディスプレイの機能ビューで作動/解除します。

パークアシストは、カメラビューからもオン/オフにすることができます。

– 機能ビューで **パークアシスト** をタップします。
  > パークアシストがオン/オフになり、緑色/灰色のインジケーターがボタンに表示されます。

関連情報

- パークアシスト*（p. 431）
- パークアシスト*の限界（p. 434）
- パークアシスト*のシンボルおよびメッセージ（p. 436）

パークアシスト*の限界

パークアシスト機能はあらゆる状況ですべてのものを検知できるとは限らないため、動作が制限されることがあります。

運転者はパークアシストの以下のような限界について認識しておく必要があります。

⚠ 警告

車両にトレーラー、バイシクルホルダーなどが取り付けられて電気的に接続されている場合、後退中にこのシンボルが表示されているときはさらに注意してください。

このシンボルは、後方のパークアシストセンサーが**オフ**で、障害物を警告することを示します。

重要

チェーンや光沢のある細いポール、低い柵などの物体が「信号遮蔽」領域に入ってきたために、センサーがこれらの物体を一時的に検知せず、本来なら途切れのないトーンに変わるはずのパルス音が、不意に停止する場合があります。

センサーはプラットフォームなどの高い物体を検知することはできません。

- このような場合には特に注意をはらって、車両の操縦/移動を極めてゆっくり実行するか、実行中の操作を完全に停止してください。センサーからの情報がつねに信頼できるとは限らない状況であるため、車両やその他の物体を破損させる危険があります。

重要

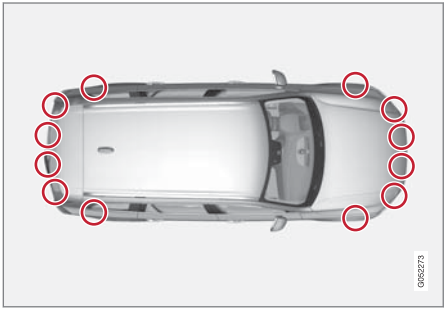
状況によっては、システムが使用する周波数と同じ周波数の外部の音源などにより、パークアシストが誤作動する場合があります。

例えば、車のホーン、濡れたアスファルトの路面でのタイヤの音、エアブレーキ、オートバイの排気音などです。

注意

トウバーは車両の電気系統に設定されているため、この機能が車両後方の障害物までの距離を測定するとき、トウバーの突き出しは計算に含まれます。

メンテナンス



パーキングセンサーの位置 [87]

パークアシストが最適に作動するように、パークアシストセンサーを水と洗車用洗剤で定期的に清掃してください。

[87] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

注意

センサーが泥、氷、雪などに覆われているときは、センサーが誤作動する、機能が低下する、またはまったく機能しなくなる場合があります。

関連情報

- パークアシスト*（p. 431）
- パークアシスト*の作動/解除（p. 433）
- パークアシスト*のシンボルおよびメッセージ（p. 436）

パークアシスト*のシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイおよび/またはセンターディスプレイには、パークアシストのシンボルおよびメッセージが表示されることがあります。

いくつかの例が以下の表に示されています。

シンボル	メッセージ	意味
		後方パークアシストセンサーが**解除されています**。したがって、障害物に対する警告音はありません。
	ﾊﾟｰｸｱｼｽﾄｼｽﾃﾑ **ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされていま す。ｸﾘｰﾆﾝｸﾞが必要です**	機能の 1 つ以上のセンサーの視野が遮られています。すみやかに点検して、修正してください。
	ﾊﾟｰｸｱｼｽﾄｼｽﾃﾑ **利用できません。販売店 にお問い合わせ下さい。**	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ◯ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- パークアシスト*（p. 431）
- パークアシスト*の作動/解除（p. 433）
- パークアシスト*の限界（p. 434）

パークアシスト・カメラ*

パークアシスト・カメラは、狭い場所で駐車操作を行うときにセンターディスプレイのカメラ画像とグラフィック表示で障害物を示し、運転者の操作をサポートします。

概要

パークアシスト・カメラは、リバースギヤを選択したときに自動で起動するサポート機能であり、センターディスプレイから手動で起動することもできます。

カメラ画像の例 [88]

1. **ズーム** [89] – 拡大/縮小します
2. **360° ビュー*** – すべてのカメラをオン/オフにします
3. **PAS*** – パークアシストをオン/オフにします
4. **ガイド線** – ガイドラインをオン/オフにします
5. **牽引棒*** – トウバー用ガイドライン*[90] をオン/オフにします
6. **CTA*** – Cross Traffic Alert をオン/オフにします

⚠ 警告

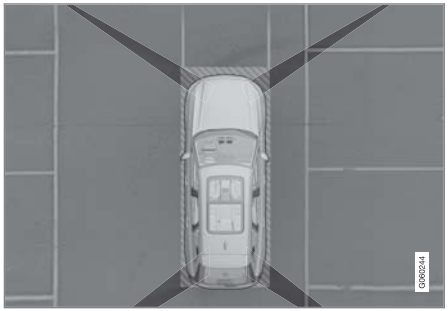
- パーキングカメラ機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- パーキングカメラには死角があり、すべての物体を感知することはできません。
- 車両のそばに人間やペットなどがいる場合がありますので、特にご注意ください。
- 画面上の物体/障害物は、画面上の見かけより、車両に接近している可能性があります。
- パーキングカメラは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

カメラ画像

この機能では、360° の合成画像と 4 つの各カメラ画像(リア、フロント、左、右)が表示されます。

88 図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。
89 拡大すると、ガイドラインはオフになります。
90 一部の市場では利用できません。

360° ビュー*



パーキングカメラの「視野」とおおよその撮影可能範囲

この機能はすべてのパーキングカメラを作動させ、車両の 4 つの面がセンターディスプレイに同時に表示されます。これにより、運転者は低速で操作しているときに車両の周囲を確認しやすくなります。

以下の操作により、360° ビューから各カメラ画像を個別に表示することができます。

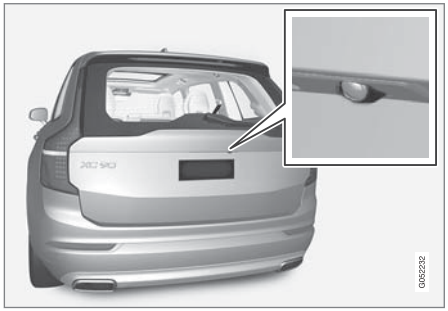
- 画面上で目的のカメラの「視野」をタップします(例 : フロントカメラの正面/上)。

使用中のカメラは、選択した画像の画面上部に表示されます。

車両に **パークアシストシステム*** も装備されている場合は、検知された障害物までの距離が色分けされて表示されます。

カメラは自動または手動で起動することができます。「パークアシスト・カメラの起動」の項目を参照してください。

後方



リアカメラ [88] はナンバープレートの上に取り付けられています。

リアカメラは車両後方の広い領域を表示します。一部のモデルでは、バンパーの一部が表示されます。また、場合によりトウバーが表示される場合もあります。

センターディスプレイに表示されている物体はわずかに傾いているように見えることがありますが、これは異常ではありません。

前方

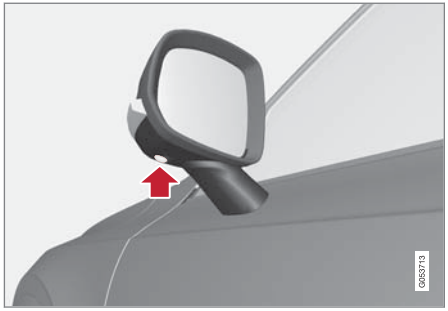
前方用パーキングカメラ [88] はグリルにあります。

フロントカメラは、横方向の視界が制限されている進出路(高い生け垣がある場所など)で役立ちます。フロントカメラは速度が 25 km/h (16 mph)に達するまで作動し続け、その速度を超えた時点でオフになります。

車速が 50 km/h (30 mph)に達せず、フロントカメラがオフになってから 1 分以内に 22 km/h (14 mph)未満に減速した場合は、カメラが再度起動します。

[88] 図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

側方



サイドカメラ[88]は各ドアミラーに取り付けられています。

サイドカメラにより車両の各側の様子が表示されます。

関連情報

- ガイドラインとパークアシスト・カメラ*の視野（p. 439）
- パークアシスト・カメラ*の起動（p. 441）
- パークアシスト・カメラ*の機能の限界（p. 442）
- パークアシスト*（p. 431）
- パークアシスト・パイロット*（p. 446）
- Cross Traffic Alert*（p. 405）

ガイドラインとパークアシスト・カメラ*の視野

パークアシスト・カメラは、画面に線を表示することで、車両とその周辺との位置関係を示します。

ガイドライン

ガイドラインの例[91]

ガイドラインは、その時点でのステアリングホイールの角度に基づいて車両の輪郭の予想進路を示します。これにより、縦列駐車や狭い場所への後退、トレーラーの接続が容易になります。

画面上のガイドラインは、車体後方の地面に引かれたように画面に表示され、ステアリング角に応じて変化します。運転者は、車両が旋回しているときでも、車両の進行方向を確認することができます。

このようなガイドラインには、車両のもっとも突き出た部分（トウバーやドアミラー、車両の角など）が含まれます。

注意

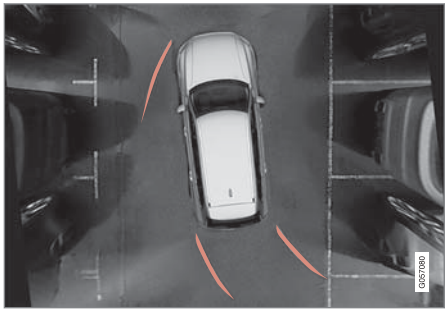
- 車両に電気的に接続されていないトレーラーをけん引中に後退する際には、ディスプレイに表示されるガイドラインは**車**の進路であり、トレーラーの進路ではありません。
- トレーラーが車両の電気系統に電気的に接続されている場合には、画面にガイドラインは表示されません。
- 拡大時には、ガイドラインは表示されません。

88 図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。
91 図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

重要

- リアカメラ画像を選択した場合、モニターには車両後方の様子のみが表示されます。後退中に操舵するときには、車両の横および正面を確認してください。
- フロントカメラ画像を選択した場合も同じです。ディスプレイには車両前方の様子のみが表示されるため、後方を実際に確認してください。
- ガイドラインは**最短**経路を示します。そのため車両の横に十分注意し、前進中にステアリングホイールを操作する際に横をなにかにぶつけたり、後退中にステアリングホイールを操作する際にフロント部分をなにかにぶつけたりしないようにしてください。

360° ビューのガイドライン*



360° ビューとガイドライン [91]

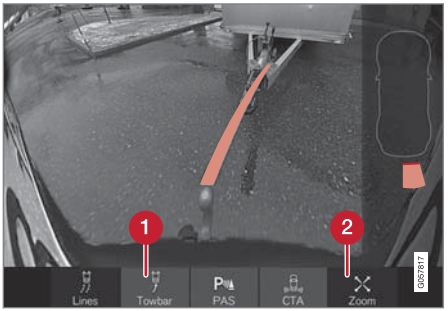
360° ビューでは、車両の後方、前方、および左右にガイドラインが表示されます(進行方向による)。

- 前進する場合 : フロントライン
- 後退時:サイドラインおよびリバースライン

フロントカメラまたはリアカメラが選択されている場合、ガイドラインは車両の進行方向に関係なく表示されます。

サイドカメラ 1 台が選択されている場合、ガイドラインは後退時のみに表示されます。

トウバー用ガイドライン*



トウバーにガイドラインを適用する [91]

1. **牽引棒** – トウバー用ガイドラインをオンにします。
2. **ズーム** – 拡大/縮小します。

カメラはガイドラインでトレーラーまでのトウバーの予想軌道を表示することにより、トレーラーを接続しやすくします。

1. **牽引棒** (1)を押します。
   > トウバーの予想軌道のガイドラインが表示されます。同時に、車両のガイドラインは非表示になります。

   車両とトウバーの両方のガイドラインを同時に表示することはできません。

91 図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

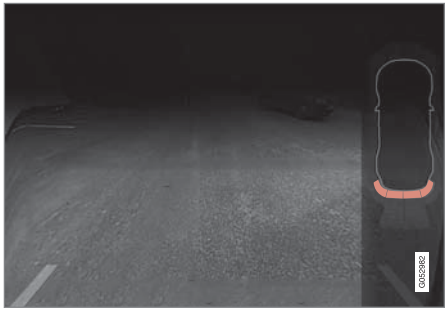
* オプション/アクセサリー。

2. さらに精度の高い操作が必要とされる場合、**ズーム**（2）を押します。
   > カメラ画像が拡大されます。

パークアシストのセンサー視野*

車両にパークアシスト が装備されている場合、360° ビューに障害物を検知するセンサーごとに距離が色分けされて表示されます。

後方および前方のセンサー視野



画面は車両シンボルにセンサー視野を色分け表示できます[91]。

フロントおよびリバースセンサーの領域は、障害物までの距離が短くなるにつれて色が黄色からオレンジ色を経て赤色に変わります。

フロントおよびリバースセンサー領域の色	距離（m）
黄色	0.6-1.5
オレンジ	0.4-0.6
赤色	0-0.4

側方のセンサー視野

サイドセンサー領域はオレンジ色のみで表示されます。

サイドセンサー領域の色	距離（m）
オレンジ	0-0.3

関連情報

- パークアシスト・カメラ*（p. 437）
- パークアシスト・カメラ*の起動（p. 441）
- パークアシスト・カメラ*の機能の限界（p. 442）

パークアシスト・カメラ*の起動

パークアシスト・カメラは、リバースギヤを選択した場合に自動で起動します。センターディスプレイの機能ボタンの１つを使用して手動で起動することもできます。

後退時のカメラ画像

リバースギヤを選択すると、最後に使用したカメラ画像がサイドビューのいずれか、または360° ビューであった場合は360° ビューが画面に表示され、それ以外の場合はリアビューが表示されます。

手動カメラ起動時のカメラ画像

センターディスプレイの機能ビューでこのボタンを使用して、パーキングカメラを起動します。

画面は360° ビューを表示します。

カメラの自動停止

運転者の気が散らないよう、25 km/h（16 mph）になるとフロントビューは消灯します。速度が50 km/h（31 mph）を超えることなく、1分以内に22 km/h（14 mph）まで下がると、カメラは自動的に再起動します。

その他のカメラビューは、15 km/h（9 mph）で消灯し、再起動しません。

91 図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

関連情報

- パークアシスト・カメラ*（p. 437）
- ガイドラインとパークアシスト・カメラ*の視野（p. 439）
- パークアシスト・カメラ*の機能の限界（p. 442）

パークアシスト・カメラ*の機能の限界

パークアシスト・カメラはあらゆる状況ですべてのものを検知できるとは限らないため、動作が制限されることがあります。

運転者はパークアシスト・カメラの以下のような限界について認識しておく必要があります。

⚠ 警告

車両にトレーラー、バイシクルホルダーなどが取り付けられて電気的に接続されている場合、後退中にこのシンボルが表示されているときはさらに注意してください。

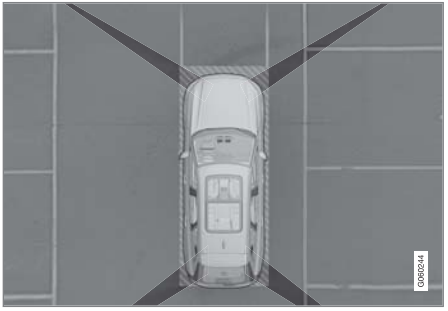
このシンボルは、後方のパークアシストセンサーが**オフ**で、障害物を警告することを示します。

ⓘ 注意

サイクルキャリアなどアクセサリーを車両の後ろに取り付けるとカメラの視界を遮るおそれがあります。

死角

画面上では隠れている部分が比較的小さく見えていても、実際に視界から隠れているのは、相当大きな領域である場合がありますのでご注意ください。障害物の実際の大きさは、車両がかなり接近するまでわからない場合があります。



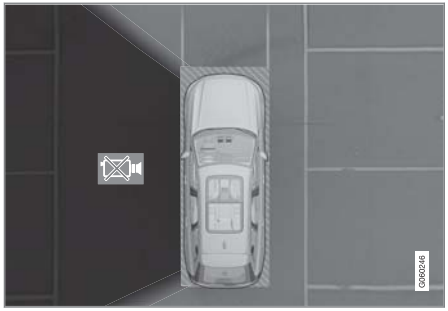
カメラどうしの視野の間には死角があります。

360° ビューでは、カメラどうしの間で障害物が「消える」ことがあります。

カメラの不具合

カメラ領域が黒色で、このシンボルが表示されている場合、カメラに不具合があることを示しています。次図は表示例です。

＊ オプション/アクセサリー。



車両の左側カメラに不具合があります。

黒色のカメラ領域

以下の場合にもカメラ領域が黒色で表示されますが、その際にはカメラの不具合を示すシンボルは**表示されません**。

- ドアが開いている
- テールゲートが開いている
- ドアミラーが格納されている

周囲の明るさ

カメラの画像は、周囲の明るさに応じて自動的に調整されます。このため、画質と輝度は若干変化します。明るさが十分ではない場合、画質が低下することがあります。

メンテナンス

カメラレンズは、ぬるま湯と洗車用洗剤で定期的に洗浄してください。レンズを傷つけないように注意してください。

注意

もっとも効率的に作動するように、カメラのレンズに泥や雪、氷が付着していないように気をつけてください。これは暗いときには特に重要です。

関連情報

- パークアシスト・カメラ*（p. 437）
- ガイドラインとパークアシスト・カメラ*の視野（p. 439）
- パークアシスト・カメラ*の起動（p. 441）
- パークアシスト・カメラ*のシンボルおよびメッセージ（p. 444）

パークアシスト・カメラ*のシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイ、またはどちらか一方に、パークアシスト・カメラのシンボルおよびメッセージが表示されることがあります。

以下の表に例が示されています。

シンボル	メッセージ	意味
		後方パークアシストセンサーが**解除されています**。したがって、障害物に対する警告音およびフィールドマークはありません。
		カメラが解除されています。

シンボル	メッセージ	意味
	ﾊﾟｰｸｱｼｽﾄｼｽﾃﾑ **ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされていま す。ｸﾘｰﾆﾝｸﾞが必要です**	機能の 1 つ以上のセンサーの視野が遮られています。すみやかに点検して、修正してください。
	ﾊﾟｰｸｱｼｽﾄｼｽﾃﾑ **利用できません。販売店 にお問い合わせ下さい。**	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ◯ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- パークアシスト*（p. 431）
- パークアシスト*の作動/解除（p. 433）
- パークアシスト*の限界（p. 434）

パークアシスト・パイロット*

アクティブパークアシスト・パイロット (PAP[92]) は、運転者が駐車スペースから出し入れするときに役立ちます。

PAP は最初にスペースの広さが十分であるかを確認してから、運転者のアシスト機能操作を支援します。

センターディスプレイには、シンボル、グラフィックおよびメッセージでさまざまな操作指示とそのタイミングが表示されます。

⚠ 警告

- PAP 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 車両のそばに人間やペットなどがいる場合がありますので、特にご注意ください。
- PAP は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

ⓘ 注意

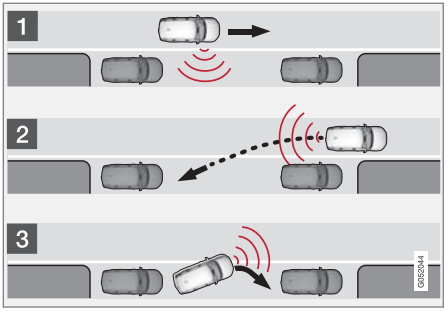
PAP 機能はスペースの寸法を測り、車両を操舵します。運転者の役割は以下の通りです。

- 車両周辺に目を配ります
- センターディスプレイのインストラクションに従います
- ギヤ(リバース/前進)を選択します。運転者がギヤチェンジを行う必要があるときには、「ピーン」という音がします
- 安全速度の制御、維持を行います
- ブレーキを操作し、停止します

駐車状況の種類

PAP は以下のようなさまざまな駐車状況で使用することができます。

縦列駐車



縦列駐車方式

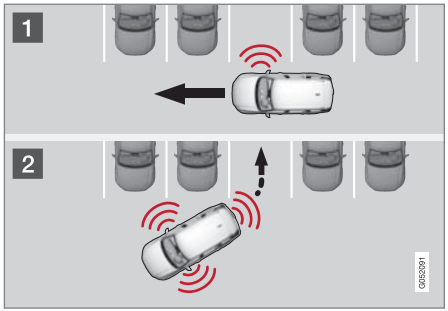
PAP 機能は以下の手順で駐車を行います。

1. 駐車スペースが特定されて測定されます。
2. 後退中に、車両は駐車スペースに入るように操舵されます。
3. 車両を前進/後退させて、車両を駐車スペースに入れます。

自動発車 機能を使用することにより、縦列駐車された車両は PAP による支援を利用して駐車スペースから出ることもできます。「アクティブパークアシストによる駐車」の「駐車スペースから出る」を参照してください。

92 Park Assist Pilot

並列駐車



並列駐車方式

PAP 機能は以下の手順で駐車を行います。

1. 駐車スペースが特定されて測定されます。
2. 車両を駐車スペースへ後退させます。その後車両を前進/後退させて、車両を駐車スペースに入れます。

> **注意**
>
> 並列駐車された車両に PAP **自動発車** 機能を使用することは**できません**。本機能は縦列駐車された車両にのみ使用する必要があります。

関連情報

- アクティブパークアシスト*による駐車 (p. 447)
- パークアシスト・パイロット*の限界 (p. 451)
- パークアシスト・パイロット*に関するメッセージ (p. 453)

アクティブパークアシスト*による駐車

アクティブパークアシスト・パイロット (PAP[93]) は、運転者の駐車操作を 3 段階で支援します。この機能は駐車スペースから車両を出すときにも役立ちます。

> **注意**
>
> PAP 機能はスペースの寸法を測り、車両を操舵します。運転者の役割は以下の通りです。
>
> - 車両周辺に目を配ります
> - センターディスプレイのインストラクションに従います
> - ギヤ(リバース/前進)を選択します。運転者がギヤチェンジを行う必要があるときには、「ピーン」という音がします
> - 安全速度の制御、維持を行います
> - ブレーキを操作し、停止します

それぞれのステップが行われるときには、センターディスプレイの画面にシンボル、グラフィックおよびメッセージが表示されます。

エンジンが始動し、以下の条件が満たされると、PAP が起動します。

- 車両にトレーラーが連結されていない。
- 速度が 30 km/h (20 mph)未満であること。

93 Park Assist Pilot

注意

PAP が駐車スペースを探しているときは、車両から駐車スペースまでの距離が 0.5～1.5 m (1.6～5.0 ft)である必要があります。

パーキング

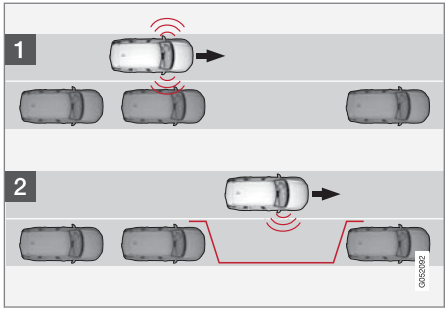
PAP は以下の手順で駐車を行います。

1. 駐車スペースが特定されて測定されます。
2. 後退中に、車両は駐車スペースに入るように操舵されます。
3. 車両がスペースに入ります。その後システムが運転者にギヤの変更を要求する場合があります。

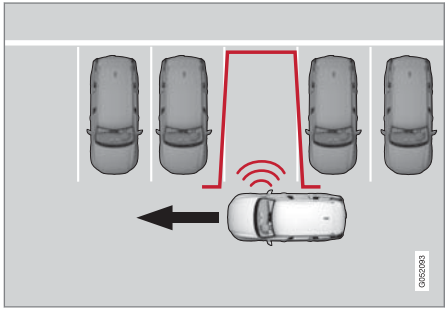
駐車スペースの探索と測定

この機能はセンターディスプレイの機能ビューで作動することができます。

カメラビューからアクセスすることも可能です。



縦列駐車方式



並列駐車方式

次の手順に従ってください。

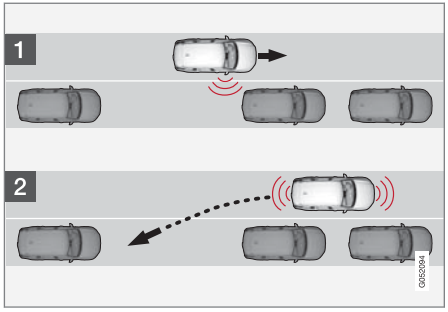
1. 縦列駐車の場合は 30 km/h (20 mph)以下、並列駐車の場合は 20 km/h (12 mph)以下で走行します。
2. 機能ビューで **自動駐車** をタップします。
   > PAP が駐車スペースを探し、十分なスペースがあるか確認します。
3. 適切な駐車スペースが見つかったことを示すグラフィックおよびメッセージがセンターディスプレイに表示されたときに、すぐに停車できるように備えておきます。
   > ポップアップウィンドウが表示されます。
4. **縦列駐車** または **並列駐車** を選択し、リバースギヤを選択します。

注意

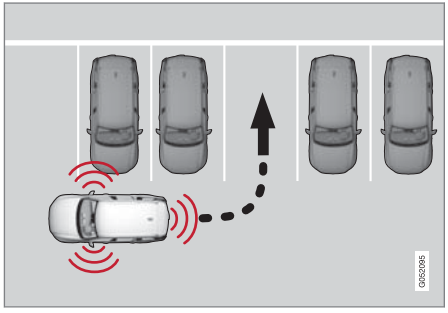
PAP は車両の助手席側にある駐車スペースを探し、指示を表示して、車両を案内します。しかし、必要であれば、運転席側の路上に駐車させることもできます。

- 運転席側の方向指示器を作動させてください。システムは運転席側の駐車スペースを探します。

駐車スペースへ後退して入れる



縦列駐車



並列駐車

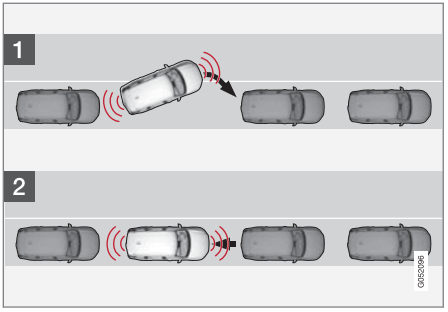
車両を後退させて駐車スペースへ入れるときには、以下の手順に従ってください。

1. 車両後方になにもないことを確認し、リバースギヤを作動させてください。
2. ステアリングホイールにふれることなく、車両を 7 km/h (4 mph)以下の速度で慎重に後退させます。
3. センターディスプレイのグラフィックおよびメッセージで指示されたときに、すぐに停車できるように備えておきます。

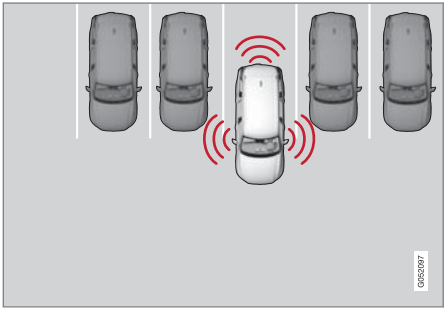
注意

- PAP 機能が作動している間は、ステアリングホイールに手を触れないようにしてください。
- ステアリングホイールの動きが一切妨げられず、自由に回転できるようにしてください。
- 最適な結果を得るためには、ステアリングホイールが回転し終わるのを待ってから、前進/後進を始めてください。

車両を駐車スペースに入れる



縦列駐車



並列駐車

次の手順に従ってください。

1. ギヤセレクターレバーを D 位置に入れ、ステアリングホイールが回り終わるまで待って、ゆっくりと前進させます。
2. センターディスプレイのグラフィックおよびメッセージで指示されたときに、すぐに停車できるように備えておきます。
3. リバースギヤを選択して、ゆっくりと後退させます。
4. センターディスプレイのグラフィックおよびメッセージで指示されたときに、すぐに停車できるように備えておきます。

機能が自動的にオフになり、画像とメッセージにより、駐車が完了したことが表示されます。運転者が車両の位置を修正することが必要になる場合があります。車両が正しく駐車されているか判断できるのは、運転者のみです。

重要

パークアシストがセンサーを使用するときと比べ、PAP がセンサーを使用するときには、警告距離が短くなります。

駐車スペースから出る

注意

駐車スペースから出る場合、**自動発車** 機能の使用は縦列駐車に限定する必要があります。並列駐車された車両には使用できません。

自動発車 機能はセンターディスプレイの機能ビューで作動させます。

次の手順に従ってください。

1. 機能ビューで **自動発車** をタップします。
2. 方向指示器を使用して、車両が駐車スペースから出る方向を選択します。
3. センターディスプレイのグラフィックおよびメッセージで指示されたときに、すぐに停車できるように備えておきます。駐車手順の場合と同様に指示に従ってください。

機能の動作が完了すると、ステアリングホイールが一気に戻ることがあります。この場合、運転者は駐車スペースから出られるようにステアリングホイールを最大舵取り角度まで回すことが必要になる可能性があります。

運転者がまだ車両が駐車スペースにあると考える場合でも、PAP がさらなるステアリング操作なしで運転者が車両を駐車スペースから出せると判定した時点で、この機能は停止します。

関連情報

- パークアシスト・パイロット*（p. 446）
- パークアシスト・パイロット*の限界（p. 451）
- パークアシスト・パイロット*に関するメッセージ（p. 453）

* オプション/アクセサリー。

パークアシスト・パイロット*の限界

アクティブパークアシスト・パイロット(PAP[94])機能はあらゆる状況ですべてのものを検知できるとは限らないため、動作が制限されることがあります。

⚠ 警告

- PAP 機能は、運転を手助けするための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 車両のそばに人間やペットなどがいる場合がありますので、特にご注意ください。
- 駐車操作時には、車両の前部が対向車線の方向へ振れることがあるため注意してください。
- センサーの検知範囲よりも高い場所にある物体は、駐車操作に必要な計算を行うときに考慮されないため、PAP が駐車スペースに対してステアリングを切るタイミングが早くなりすぎる可能性があります。したがって、このような駐車スペースへの駐車は避けてください。
- PAP は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、他の車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

運転者はパークアシスト・パイロットの以下のような限界について認識しておく必要があります。

駐車動作の中止

以下の場合、駐車の一連動作が中止されます。

- 運転者がステアリングホイールに触れたとき
- 車速が高すぎるとき(7 km/h (4 mph)以上)
- 運転者がセンターディスプレイの キャンセル を押したとき
- アンチロックブレーキまたはエレクトロニック・スタビリティ・コントロールが作動したとき(滑りやすい路面でホイールのグリップ力が失われた場合など)

必要に応じて、駐車動作の中止理由を説明するメッセージがセンターディスプレイに表示されます。

重要

状況によっては、PAP が駐車スペースを見つけることができない場合があります。システムが使用するのと同じ超音波周波数を発信している外部サウンドソースによって、センサーが干渉を受けることがその理由の一つとして考えられます。

例えば、車のホーン、濡れたアスファルトの路面でのタイヤの音、エアブレーキ、およびオートバイの排気音などです。

94 Park Assist Pilot

注意

センサーが泥、氷、雪などに覆われているときは、センサーの機能が低下し、誤作動する場合があります。

運転者の責任

PAP は、補助機能に過ぎず、失敗のない全自動の機能ではないことを忘れないでください。したがって、運転者はいつでも駐車操作を停止できるように準備しておかなければなりません。

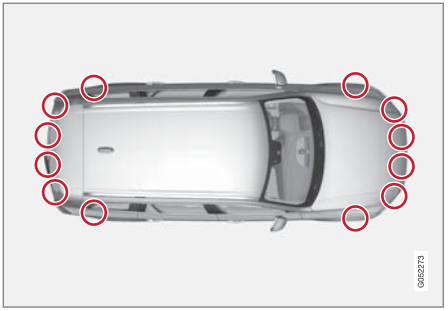
他にも、駐車するときに留意しておかなければならないことがいくつかあります。

- PAP は既に駐車されている車両を基準に機能します。それらの車両が適切に駐車されていない場合、タイヤやホイールリムが縁石に当たって損傷する場合があります。
- PAP は、カーブなどのない、まっすぐな道路上に駐車することを想定して設計されています。このため、PAP が駐車スペースの広さを測定するときには、車両が駐車スペースと平行になっていることを確認してください。
- 狭い道路では操作に必要なスペースが不十分なため、駐車スペースを提供できない場合があります。
- PAP が選択したスペースが駐車に適しているかを判断する責任は運転者にあります。
- PAP の機能に影響するおそれがあるため、必ずタイヤ空気圧が適切で、承認されているタイヤ[95]を使用してください。
- 大雨または雪のときには、システムが駐車スペースを正しく測定できないことがあります。
- スノーチェーンやスペアタイヤ装着時には、PAP を使用しないでください。
- 積荷が車両から突き出ている場合には、PAP を使用しないでください。
- 駐車された車両の 1 台が他の車両よりも突き出ている場合、並列駐車のスペースを検知できなかったり、不要な提案を行ったりする場合があります。

重要

別の承認済みホイールリムおよび/またはタイヤサイズに変更すると、タイヤの円周が変化するおそれがあるため、PAP システムのパラメータの更新が必要になることがあります。ボルボ指定のサービス工場にご相談ください。

メンテナンス



PAP センサーの位置[96]

PAP 機能が正常に作動するように、パークアシストセンサーを水と洗車用洗剤で定期的に清掃してください。

関連情報

- パークアシスト・パイロット*（p. 446）
- アクティブパークアシスト*による駐車（p. 447）
- パークアシスト・パイロット*に関するメッセージ（p. 453）

95 「承認されているタイヤ」とは、納車時に装着されていたのと同じメーカーの、同じタイプのタイヤを指します。
96 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

* オプション/アクセサリー。

パークアシスト・パイロット*に関するメッセージ

ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイ、またはどちらか一方に、アクティブパークアシスト・パイロット(PAP[97])のメッセージが表示されることがあります。

以下の表に例が示されています。

メッセージ	意味
ﾊﾟｰｸｱｼｽﾄｼｽﾃﾑ ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされていま す。ｸﾘｰﾆﾝｸﾞが必要です	機能の 1 つ以上のセンサーの視野が遮られています。すみやかに点検して、修正してください。
ﾊﾟｰｸｱｼｽﾄｼｽﾃﾑ 利用できません。販売店 にお問い合わせ下さい。	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ○ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- パークアシスト・パイロット*（p. 446）
- アクティブパークアシスト*による駐車（p. 447）
- パークアシスト・パイロット*の限界（p. 451）

97 Park Assist Pilot

運転操作の要領

アルコールロック*

アルコールロックは、アルコールの影響下にある運転者が車両を運転できないようにする機能です。運転者は呼気検査により、アルコールの影響下にないことを実証するまで、エンジンを始動することができません。アルコールロックは、各市場での飲酒運転に関する法規で規定されている制限値を基に校正されます。

車両には、ボルボの推奨する複数メーカーおよびモデルのアルコールロックとの電気接続に対応するインターフェースが用意されています。このインターフェースを使用すると、アルコールロックを簡単に接続できるだけでなく、アルコールロック関連のメッセージを車両のメインディスプレイに表示するなど、機能を統合することもできます。特定のアルコールロックについては、その製品の取扱説明書を参照してください。

⚠ 警告

アルコールロックは補助機能に過ぎず、運転者の責任を免除するものではありません。酔っていない状態で安全に車両を運転する責任は、つねに運転者にあります。

アルコールロックのバイパス*

緊急時、またはアルコールロックが故障している場合には、アルコールロックをバイパスして車両を運転することができます。

各アルコールロックを使用して解除する方法については、各製品の説明書を参照してください。

バイパス機能の起動（Bypass）

ⓘ 注意

すべてのバイパス起動は記録され、アルコールロックのコントロールユニットのメモリーに保存されます。バイパスを取り消すことはできません。

画面に **ｱﾙｺｰﾙﾛｯｸに吹込む 代りにﾊﾞｲﾊﾟｽしますか?** というメッセージが表示されます。

– ステアリングホイール右側のステアリングリモコンにある **0** ボタンを 1 回押して、バイパスを選択します。
  › これでアルコールロックがバイパスされて、車両を始動できるようになりました。

バイパス機能の使用回数が規定値に達するとサービスが必要になります。使用可能な回数はアルコールロックの取り付け時に選択されます。

関連情報

- アルコールロックを使用してエンジンを始動する前に（p. 457）
- 車両の始動（p. 459）

＊ オプション/アクセサリー。

アルコールロックを使用してエンジンを始動する前に

車両のドアを開けると、アルコールロックが自動的にオンになり、使用できる状態になります。

注意事項

装置が正しく機能し、できるだけ正確な測定値が得られるように、以下にご注意ください。

- 呼気検査の前の約 5 分間は飲食を避けてください。
- 過度のウインドスクリーン洗浄を避けてください。ウォッシャー液に含まれるアルコール成分により、測定結果に誤差が出るおそれがあります。

> **注意**
>
> 一定時間運転した後は、30 分以内であれば、新たに呼気検査をしなくてもエンジンを再始動することができます。

関連情報

- アルコールロックのバイパス*（p. 456）
- 車両の始動（p. 459）

イグニッション位置

車両の電気系統はイグニッション位置/レベルに応じて、さまざまな車両の機能を利用可能にすることができます。

エンジンが停止している状態でも一部の機能を使用できるようにするために、車両の電気系統には 3 つのレベル（**0**、**I**、**II**）が用意されています。これらのレベルは、オーナーズマニュアル全体で「イグニッション位置」として言及されています。

次の表は、各イグニッション位置/レベルで利用できる機能を示しています。

レベル	機能
0	• オドメーター（積算距離計）、時計、水温計が表示されます。 • パワーシート* が調節できます。 • パワーウインドを使用できます。 • センターディスプレイを起動して使用することができます。 • インフォテイメントシステムを使用できます。 このイグニッション位置の場合、上記の機能はタイマー制御され、一定時間が経過した後に自動的にオフになります。

レベル	機能
I	• パノラマルーフ、パワーウインド、車内の 12V 電源ソケット、Bluetooth、ナビゲーション、電話、ベンチレーションファンおよびウインドスクリーンワイパーが使用できます。 • パワーシートが調節できます。 • カーゴスペース内の 12V 電源ソケットが使用できます。 • 車両から離れたときに作動していた場合、インフォテイメントシステムが自動的に起動します。 **このイグニッション位置では、バッテリーに電流消費の負荷がかかります。**
II	• ヘッドライトを点灯させることができます。 • 表示灯/警告灯が 5 秒間点灯します。 • 他にもいくつかのシステムが作動可能状態です。しかし、シートヒーターおよびリアウインドの熱線は車両の始動後にのみ起動することができます。 **このイグニッション位置では、バッテリーから大量の電流を消費するため、使用をひかえてください。**

イグニッション位置の選択

トンネルコンソールのスタートノブ

- **イグニッション位置 0** – 車両をロック解除し、リモートコントロールキーを車内にある状態にします。

> **注意**
>
> エンジンを始動**せず**に I または II レベルにする場合、これらのイグニッションポジションを選択するときに、ブレーキペダルまたはクラッチペダル(マニュアルトランスミッション車)を踏み込ま**ないでください**。

- **イグニッション位置 I** – スタートノブを時計回りに回して、ノブから手を離します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。
- **イグニッション位置 II** – スタートノブを時計回りに回して、そのまま約 4 秒間保持します。ノブを放します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。
- **イグニッション位置 0 に戻す** – イグニッション位置 I および II から 0 に戻すには – スタートノブを時計回りに回して、ノブから手を離します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。

関連情報

- 車両の始動 (p. 459)
- 車両をオフにする (p. 460)
- ドライバーディスプレイ (p. 132)

車両の始動

車両を始動するには、リモートコントロールキーが車内にある状態でトンネルコンソールのスタートノブを使用します。

トンネルコンソールのスタートノブ

⚠ 警告

出発前に：

- シートベルトを着用してください。
- シート、ステアリングホイールおよびミラーを調節してください。
- ブレーキペダルがいっぱいまで踏み込めることを確認してください。

車両はキーレススタート(Passive Start)に対応しているため、車両の始動時にリモートコントロールキーを物理的に使用することはありません。

車両を始動するには：

1. リモートコントロールキーを車内に置いておく必要があります。Passive Start 装備車の場合、キーを車内の前部に置いておく必要があります。キーレスロック/ロック解除オプション* 装備車の場合、キーは車内の任意の場所に置いておくことができます。
2. ブレーキペダルをいっぱいに踏み込んで保持します[1]。オートマチックトランスミッション車の場合、ギヤ位置が **P** または **N** であることを確認します。マニュアルトランスミッション車の場合、ギヤレバーがニュートラル位置にあることと、またはクラッチペダルを踏み込んでいることを確認します。
3. スタートノブを時計回りに回して、ノブから手を離します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。

ⓘ 注意

ディーゼルエンジン搭載車では、エンジンが始動するまでに若干の遅れが出る場合があります。

エンジンを始動すると、エンジンが始動するかオーバーヒート保護機能が作動するまでスターターモーターが作動し続けます。

トンネルコンソール内のバックアップリーダーの場所

始動する際に **キーが見つかりません** というメッセージがドライバーディスプレイに表示された場合は、リモートコントロールキーをカップホルダー内のバックアップリーダーの上に置いてください。その後、再度始動を試みてください。

[1] 車両が動いているときは、スタートノブを時計回りに回すだけでエンジンを始動できます。

注意

リモートコントロールキーをカップホルダーの中に入れる場合、他の車両キー、金属物、電子機器(携帯電話機、タブレット、ノートパソコン、充電器など)がカップホルダーの中にないことを確認してください。カップホルダーに複数の車両キーを近い距離で置いた場合、互いに干渉するおそれがあります。

重要

3 回始動を試みてもエンジンが始動しない場合には、3 分待ってからもう一度試みてください。バッテリーが回復すると、始動できる可能性が高くなります。

警告

走行中やけん引中は、リモートコントロールキーを車両から**絶対に**取り出さないでください。

警告

車両から離れるときには、必ずリモートコントロールキーを車外へ持ち出し、車両の電気系統がイグニッション位置 **0** になっていることを確認してください。お子様が車内にいるときには特に注意が必要です。

注意

冷寒時、エンジン始動後のエンジン回転数が、通常よりも若干高くなる場合があります。これは、エミッションシステムをできるだけすみやかに正常な作動温度にして有害な排気ガスを抑え、環境を保護するためです。

関連情報

- イグニッション位置（p. 457）
- 車両をオフにする（p. 460）
- リモートコントロールキー（p. 282）
- リモートコントロールキーの電池交換（p. 304）

車両をオフにする

車両をオフにするときには、トンネルコンソールにあるスタートノブを使用します。

トンネルコンソールのスタートノブ

車両をオフにするには：

- スタートノブを時計回りに回してノブから手を離します。車両がオフになります。ノブは自動的に開始位置に戻ります。

オートマチックトランスミッション車のギヤセレクターレバーが **P** 位置に入っていない場合、または車両が動き出す場合：

- ノブを時計回りに回し、車両がオフになるまでノブをそのまま保持します。

関連情報

- 車両の始動（p. 459）
- イグニッション位置（p. 457）

ステアリングホイールロック

ステアリングホイールロックは、盗難時などに車両の操舵を困難にします。ステアリングホイールロックが作動または解除されるときには、機械音が聞こえることがあります。

ステアリングロックの起動

車両を外側からロックし、エンジンを停止すると、ステアリングロックが起動します。車両のロックを解除し一定時間が経過すると、ステアリングロックが自動的に起動します。

ステアリングロックの解除

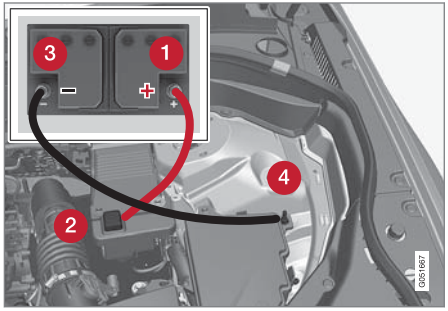
車両のロックを外側から解除すると、ステアリングロックは解除されます。車両がロックされていない場合、リモートコントロールキーが車内にある状態で、スタートノブを時計回りに回してエンジンを始動すれば、ステアリングロックは解除されます。

関連情報

- 車両の始動（p. 459）
- 車両をオフにする（p. 460）
- ステアリングホイール（p. 177）

別のバッテリーによるジャンプスタート

なんらかの理由で車のメインバッテリーが放電した場合は、他のバッテリーにジャンパーケーブルを接続して、エンジンを始動することができます。



ジャンパーケーブルの取り付け箇所

車両をジャンプスタートする際には、ショートなどの損傷を防ぐため、次の手順を厳守してください。

1. 車両の電気系統をイグニッション位置 **0** にします。
2. 電気を供給する側のバッテリーが 12V であることを確認してください。
3. 電気を供給する側のバッテリーが他車に取り付けられている場合には、その車両のエンジンを切り、2 台の車が接触していないことを確認してください。
4. 赤いリード線の一方のクランプを他車のバッテリーのプラス端子(1)に接続します。

重要

エンジンルーム内の部品とショートしないように、ジャンパーケーブルは慎重に接続してください。

5. プラス側のジャンプスタートポイントのカバー(2)を開けます。
6. 赤いリード線のもう一方のクランプを車両のプラス側ジャンプスタートポイント(2)に接続します。
7. 黒いリード線の一方のクランプを他車のバッテリーのマイナス端子(3)に接続します。
8. 黒いリード線の他方のクランプを車両のマイナス側のジャンプスタートポイント(4)に接続します。
9. 始動を試みたときに火花が発生することを防ぐため、ジャンパーケーブルのクランプは確実に接続してください。

10. 「電気を供給する側の車両」のエンジンを始動し、アイドリングよりも若干高い回転数（約 1,500 rpm）で数分間回転させます。
11. バッテリーが放電した車両のエンジンを始動させます。

重要

始動操作中には、ケーブルと車両の接続部に触れないでください。火花が発生するおそれがあります。

12. リード線を逆の順序で外します。先に黒いジャンパーケーブルを外し、次に赤いジャンパーケーブルを外してください。

    黒いリード線のクランプが車両のプラス側ジャンプスタートポイント/他車バッテリーのプラス端子や、赤いリード線のクランプに接触しないようご注意してください。

警告

- バッテリーからは、非常に引火性の高い、酸素と水素の混合ガスが発生します。ジャンパーケーブルを正しく接続しないと、火花が発生し、バッテリーが爆発するおそれがあります。
- フューエルシステムコンポーネントまたは可動部にはジャンパーケーブルを接続しないでください。高温のエンジンパーツに注意してください。
- バッテリー液には、腐食性の強い希硫酸が使用されており、触れると重度のヤケドを負うおそれがあります。
- 電解液が目、皮膚または衣服に付着した場合は、ただちに大量の水で洗い流してください。目に入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- バッテリーの近くでは絶対に喫煙しないでください。

関連情報

- メインバッテリー（p. 609）
- イグニッション位置（p. 457）
- 車両の始動（p. 459）
- ボンネットの開閉（p. 593）

トランスミッション

トランスミッションはエンジンと駆動輪をつなぐ駆動系（パワートランスミッション）の一部です。トランスミッションの機能は、速度と必要な出力に応じてギヤ比を変更することです。

車両には 8 速オートマチックトランスミッションが搭載されています。この変速数は、エンジンのトルクおよびパワーレンジを効率的に活用できることを意味します。ギヤの 2 つはオーバードライブギヤです。オーバードライブギヤは一定のエンジン回転数で走行しているときに燃料を節約します。手動でギヤを選択することもできます。ドライバーディスプレイに、現在使用しているギヤポジションが表示されます。

重要

駆動システムのコンポーネントへの損傷を防止するために、トランスミッションの作動温度が点検されます。オーバーヒートのおそれがある場合には、ドライバーディスプレイの警告灯が点灯し、ディスプレイテキストが表示されます。この場合は、指示に従ってください。

ドライバーディスプレイのシンボル

トランスミッションに不具合が発生すると、ドライバーディスプレイにシンボルとメッセージが表示されます。

シンボル	意味
	トランスミッションに関する情報またはエラーメッセージ。推奨される指示に従ってください。
	トランスミッションが高温になっているか、オーバーヒートしています。推奨される指示に従ってください。
	性能低下/加速性能が 低下しました 動力伝達装置に一時的な不具合が発生した場合、車両は動力伝達装置の損傷防止のため、エンジン出力を制限したリンプホームモードになることがあります。

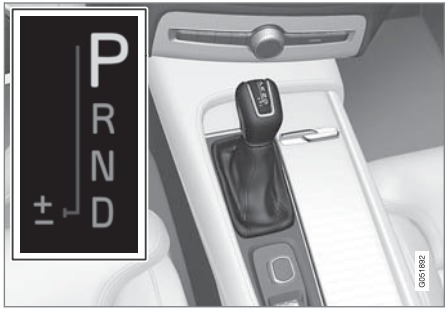
関連情報

- オートマチックトランスミッションのギヤポジション（p. 463）
- ギヤシフトインジケーター*（p. 465）

オートマチックトランスミッションのギヤポジション

オートマチックトランスミッション車では、最適な走行が得られるようにシステムがギヤを選択します。トランスミッションには、マニュアルギヤシフトモードもあります。

ドライバーディスプレイ上のギヤポジション



ギヤセレクターレバーの位置はドライバーディスプレイに以下のように表示されます。

P、R、N、D または M。

マニュアルギヤシフトモードでは、使用中のギヤも表示されます。

ギヤポジション

パーキング位置 – P

駐車したとき、またはエンジンを始動するときには、P 位置を選択します。パーキング位置を選択するときは車両が停止していなければいけません。

ギヤセレクターレバーをパーキング位置から動かすときには、イグニッション位置を II にして、ブレーキペダルを踏み込む必要があります。

P 位置では、トランスミッションが機械的にロック状態になります。駐車するときには、最初にパーキングブレーキをかけてください。

⚠ 警告

傾斜面に駐車するときには、必ずパーキングブレーキをかけてください。ギヤを入れる、またはオートマチックトランスミッションの P 位置にするだけでは、車両を静止状態に保持できないことがあります。

ⓘ 注意

車両をロックしてアラームをセットするには、ギヤセレクターレバーが P 位置であることが条件になります。

リバース位置 – R

後退するときは、R を選択してください。リバース位置を選択するときは車両が停止していなければいけません。

ニュートラル位置 – N

トランスミッションが、どのギヤにも入っていない状態です。エンジンを始動することができます。ギヤセレクターレバーが **N** 位置にあり、車両が停止しているときは、パーキングブレーキをかけてください。

ギヤセレクターレバーをニュートラル位置から他の位置にシフトするときには、イグニッション位置を **II** にして、ブレーキペダルを踏み込む必要があります。

ドライブ位置 – D

D 位置は、通常走行時に使用する位置です。加速に応じて、すべての前進ギヤ間で自動的にシフトアップ、シフトダウンが行われます。ギヤを **R** から **D** へシフトするときは、車両が停止していなければいけません。

マニュアルギヤシフトモード – M

マニュアルギヤシフトモードは、前進走行中いつでも選択することができます。アクセルペダルを放すと、エンジンブレーキがかかります。

マニュアルギヤシフトモードを選択するには、ギヤセレクターレバーを **D** 位置から横に動かして「**±**」にしてください。その時点で使用しているギヤがドライバーディスプレイに表示されます。

- 一段シフトアップするには、ギヤセレクターレバーを「**+**」（プラス）へ前方に押して放します。
- 一段シフトダウンするには、ギヤセレクターレバーを「**-**」（マイナス）へ後方に押して放します。

ドライバーディスプレイのマニュアルギヤシフトモード[2]

このトランスミッションは、選択しているギヤの速度設定範囲を車速が下回ると、自動的にシフトダウンしてノッキングやストールを防ぎます。

オートマチックギヤシフトに戻すには、ギヤセレクターレバーをエンドポジションまで横に動かして **D** 位置にしてください。

キックダウン

アクセルペダルをフロアの奥まで（通常、フルアクセルと思う位置よりもさらに深く）踏み込むと、ただちに低いギヤにシフトダウンします。これをキックダウンと呼びます。

アクセルペダルをキックダウン位置から戻すと、トランスミッションは再び自動的にシフトアップします。

キックダウンは追い越しなど、最大加速が必要なときに使用してください。

安全機能

エンジンのオーバーレブを防止するために、トランスミッションコントロールプログラムには、ダウンシフトインヒビターが装備されており、キックダウン機能を制限しています。

トランスミッションは、エンジン回転速度が高いためにエンジンに損傷を与えるおそれがあるようなダウンシフト/キックダウンは許可しません。エンジン回転速度が高い状態では、この方法でシフトダウンしても、なにも起こりません。もともとのギヤがかみ合ったままとなります。

キックダウンすると、エンジン回転速度に応じて、ギヤ位置が 1 つ以上シフトダウンします。車速がそのギヤでの最高速度に達すると、エンジンを損傷させないように自動的にシフトアップします。

[2] 図は概略図です。配置は車両の装備により異なる場合があります。

関連情報

- トランスミッション（p. 462）
- ステアリングホイールパドルによるギヤチェンジ*（p. 467）
- ギヤシフトインジケーター*（p. 465）
- ギヤセレクターインヒビター（p. 466）
- イグニッション位置（p. 457）

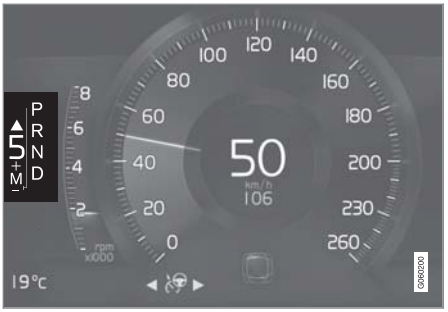
ギヤシフトインジケーター*

ドライバーディスプレイのギヤシフトインジケーターは、マニュアルギヤシフト時の現在のギヤを表示します。また、最適な燃費を実現するギヤシフトのタイミングも表示します。

マニュアルギヤシフト時にエコドライブを実践するには、適切なギヤで走行することとギヤを適切なタイミングでシフトすることが重要です。

ギヤシフトインジケーターは、ドライバーディスプレイに現在のギヤを表示し、シフトアップが推奨されるときに上向きの矢印を表示します。

12 インチドライバーディスプレイ*のギヤシフトインジケーター



8 インチドライバーディスプレイのギヤシフトインジケーター

関連情報

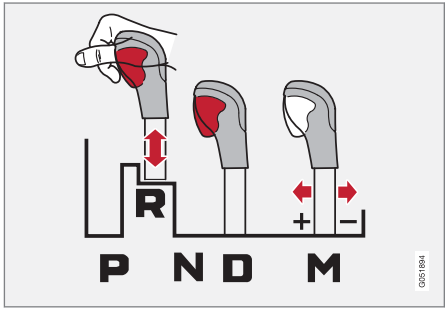
- トランスミッション（p. 462）
- オートマチックトランスミッションのギヤポジション（p. 463）

ギヤセレクターインヒビター

ギヤセレクターインヒビターは、オートマチックトランスミッションでのギヤポジションの偶発的な変更を防止します。

ギヤセレクターインヒビターには、メカニカル式とオートマチック式の 2 つのタイプがあります。

メカニカルギヤセレクターインヒビター



ギヤセレクターレバーは、**N** 位置と **D** 位置の間で前後に自由に動かすことができます。それ以外の位置はロックされており、レバーにあるインヒビターボタンを押してロックラッチを解除します。

インヒビターボタンを押すと、レバーは **P** 位置、**R** 位置、**N** 位置、**D** 位置の間で前後に自由に動かすことができます。

オートマチックギヤセレクターインヒビター

オートマチックギヤセレクターインヒビターには、特別な安全装置があります。

パーキング位置 – P からの移動

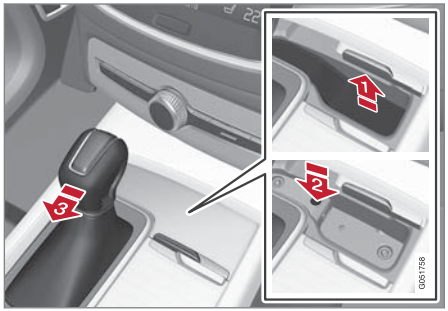
ギヤセレクターレバーを **P** 位置から動かすときには、イグニッション位置を **II** にして、ブレーキペダルを踏み込む必要があります。

ニュートラル位置 – N からの移動

ギヤセレクターレバーが **N** 位置で、車両が約 3 秒以上停止（エンジン回転とは関係なく）している場合、レバーは固定されます。

ギヤセレクターレバーを **N** 位置から他の位置に動かすときには、イグニッション位置を **II** にして、ブレーキペダルを踏み込む必要があります。

オートマチックギヤセレクターインヒビターを解除する



バッテリーの放電などが原因で車両を運転できない場合、車両を移動させるためには、ギヤセレクターレバーを **N** 位置にする必要があります。

1. ギヤセレクターレバーの正面部分にあるラバーマットを持ち上げます。底部にバネ式ボタンのある穴を確認します。
2. 小さいドライバーを穴に入れて押さえます。
3. ギヤセレクターレバーを **N** 位置に動かして、ボタンから小さいドライバーを離します。
4. ラバーマットを所定位置に戻します。

関連情報

- オートマチックトランスミッションのギヤポジション（p. 463）
- イグニッション位置（p. 457）

ステアリングホイールパドルによるギヤチェンジ*

ステアリングホイールパドルはギヤセレクターレバーを補完し、ステアリングホイールから手を離さずに手動でギヤを変えることができます。

ステアリングホイールパドルの起動

ステアリングホイールのパドルを使用してギヤチェンジを行うには、まずパドルを起動する必要があります。

– パドルのひとつを後方(ステアリングホイール側)に向かって引きます。
  › ドライバーディスプレイの数字は、現在のギヤを示しています。

ステアリングホイールパドルでギヤをシフトしているときの、ドライバーディスプレイ

マニュアルギヤシフトモード

ギヤポジション M の場合、ステアリングホイールパドルは自動的に起動します。

マニュアルギヤシフトモードで、ステアリングホイールパドルによりギヤをシフトしているときのドライバーディスプレイ

スイッチ

ギヤを一段変更するには：

– パドルのひとつを後方(ステアリングホイール側)に引いて放します。

1 「−」：ひとつ下のギヤを選択します。

2 「+」：ひとつ上のギヤを選択します。

エンジン回転速度が許容範囲内の場合は、パドルを引くとギヤチェンジが実行されます。

ギヤチェンジの度に、ドライバーディスプレイの数字が変わり、現在のギヤを表示します。

機能の解除

ギヤポジション D での手動解除

– ステアリングホイールパドルを解除するには、右側のパドル(+)をステアリングホイールの方向に引き、ドライバーディスプレイの現在のギヤを示す数字が消えるまでそのまま保持します。

自動解除

ギヤポジション D では、ステアリングホイールパドルを使用しないと、間もなくオフになります。現在のギヤを示す数字が消えて、オフになったことを示します。

エンジンブレーキ中は例外です。エンジンブレーキがかかっている間、パドルは使用可能な状態を維持します。

ギヤポジション M では、自動解除の機能はありません。

関連情報

- オートマチックトランスミッションのギヤポジション（p. 463）
- ギヤシフトインジケーター*（p. 465）

Start/Stop

Start/Stop 機能を使用すると、赤信号や渋滞で停車したときにエンジンが一時的に停止し、走行を再開するときに自動的に始動します。

Start/Stop 機能は、燃料消費量を減らすための省エネ機能の 1 つであり、排気ガスの排出量の低減にも役立ちます。

このシステムは、可能な場合にエンジンをオートストップさせることにより、環境に配慮した運転スタイルを身につけることができるようにします。

関連情報

- Start/Stop 機能の使用（p. 468）
- Start/Stop 機能の条件（p. 470）

Start/Stop 機能の使用

Start/Stop 機能は、停車時にエンジンを一時的に停止し､走行を継続するときに自動的に再始動します。

Start/Stop 機能は、エンジンの始動時に使用できる機能で、特定の条件が満たされているときに作動させることができます。ドライバーディスプレイに、機能の使用可能状況が表示されます。以下の「ドライバーディスプレイのシンボル」を参照してください。

エンジンがオートストップしたときでも、車両の標準システム(照明、ラジオなど)は通常通りに作動します。ただし、一部の装備品は一時的に出力が制限されます(エアコンディショナーのファン速度やオーディオシステムの大音量など)。

オートストップ

エンジンのオートストップが機能するには、以下の条件が整っている必要があります。

* オプション/アクセサリー。

- フットブレーキを使用して車両を停止し、足をブレーキペダルに載せたままにしてください。エンジンがオートストップします。

Eco または **Comfort**[3] ドライブモードの場合、完全に停車する前にエンジンがオートストップすることがあります。

全車速追従 または **Pilot Assist** 機能がオンになっている場合、エンジンは約 3 秒後にオートストップします。

「Start/Stop 機能の条件」の項を参照してください。

オートスタート

エンジンがオートスタートするためには、以下の条件を満たす必要があります。

- ブレーキペダルから足を離します。エンジンがオートスタートし、走行を再開することができます。上り坂ではヒル・スタート・アシスト(HSA)が作動し、車両の後退を防止します。
- **オートホールド** 機能が作動すると、アクセルペダルが踏み込まれるまでオートスタートが先延ばしされます。
- **全車速追従** または **Pilot Assist** 機能が作動すると、アクセルペダルを踏み込んだとき、またはステアリングホイール左側のステアリングリモコンの ボタンを押したときにエンジンがオートスタートします。
- ブレーキペダルを踏んだまま、アクセルペダルを踏み込んでください。エンジンがオートスタートします。
- 下り坂の場合：車両が動き始めるようにブレーキペダルの踏み込みを少しゆるめてください。少し速度が上昇した後、エンジンはオートスタートします。

ドライバーディスプレイのシンボル

12 インチドライバーディスプレイ*装備車

- 機能を使用できる場合、タコメーターに **READY** と表示されます。
- 機能が動作中でエンジンがオートストップしている場合、タコメーターの指針が **READY** を指します。
- 機能を使用できない場合、**READY** はグレー表示されます。
- 機能が解除されている場合、なにも表示されません。

機能が動作中で、エンジンがオートストップしています。

[3] 通常のスタートモード。

8 インチドライバーディスプレイ装備車
シンボルはスピードメーターの下端に表示されます。

シンボル	意味
	白色のシンボル：機能を使用できます。
	ベージュ色のシンボル：機能が動作中で、エンジンがオートストップしています。
	機能を使用できません。条件が満たされていません。
	機能が解除されている場合、シンボルはまったく表示されません。

機能の解除
状況によっては、機能を一時的に解除することが望ましい場合があります。

解除するには、センターディスプレイの機能ビューの **Start/Stop** 機能ボタンを使用してください。機能がオフになると、ボタンのインジケーターが消灯します。

機能は以下の操作が行われるまでオフになります。

- 再度オンにする
- ドライブモードを **Eco** または **Comfort** にする
- 車両を始動しなおす

関連情報
- Start/Stop（p. 468）
- Start/Stop 機能の条件（p. 470）
- ヒル・スタート・アシスト（p. 486）
- 停車時のオートブレーキ（p. 486）
- アダプティブクルーズコントロール*（p. 344）
- Pilot Assist*の作動と起動（p. 365）

Start/Stop 機能の条件
Start/Stop 機能が作動するためには、多くの条件を満たす必要があります。

満たされていない条件が 1 つでもある場合、ドライバーディスプレイで通知されます。「Start/Stop 機能の使用」の項を参照してください。

エンジンがオートストップしない
以下の場合、エンジンはオートストップしません。

- 始動後に車速が約 10 km/h（6 mph）に到達していないとき。
- オートストップが特定の回数に達し、次にオートストップする前に車速が約 10 km/h（6 mph）を再度超える必要があるとき。
- 運転者がシートベルトを着用していないとき。
- メインバッテリーの容量が最低許容レベルを下回っているとき。
- エンジンが通常の作動温度に達していないとき。
- 外気温が-5 ℃未満、または約 30 ℃を超えているとき。
- ウインドスクリーンの電熱機能が作動しているとき。
- 空調が設定値と異なっているとき。
- 車両が後退しているとき。

* オプション/アクセサリー。

- メインバッテリーの温度が許容範囲から外れているとき。
- 運転者がステアリングホイールを大きく動かしたとき。
- 道路の勾配が非常に急であるとき。
- ボンネットが開いているとき。
- 高地の走行時にエンジンが作動温度に達していないとき。
- ABS システムが作動したとき。
- 急ブレーキをかけたとき(ABS システムが作動していない場合でも)。
- 短時間に多くの始動を行ったためにスターターモーターの熱保護機能が作動したとき。
- エキゾーストシステムのディーゼル微粒子除去フィルターがいっぱいのとき[4]。
- 車両の電気系統にトレーラーが電気的に接続されているとき。
- トランスミッションが通常の作動温度に達していないとき。
- ギヤセレクターレバーが **±** の位置にあるとき。

エンジンがオートスタートしない

以下の状況では、オートストップ後もエンジンがオートスタートしません。

- 運転者がシートベルトを着用しておらず、ギヤセレクターレバーが **P** 位置で運転席ドアが開いているとき。この場合、通常の始動手順を実施する必要があります。

ブレーキペダルから足を離していないのにエンジンがオートスタートする

以下のような状況では、運転者がブレーキペダルから足を離さなくても、エンジンがオートスタートします。

- 車内の湿度が高いためにウインドに曇りが発生するとき。
- 空調が設定値と異なっているとき。
- 一時的に電流消費量が増加しているときや、メインバッテリー容量が最低許容レベルを下回ったとき。
- ブレーキペダルを何度も踏み込んだとき。
- ボンネットが開いているとき。
- 車両が動き始めたとき、または、車両が完全に静止することなくオートストップした場合に速度が少し上昇したとき。
- ギヤセレクターレバーが **D** または **N** の位置にあるときに運転席のシートベルトバックルを外したとき。
- ギヤセレクターレバーを **D** 位置から **R** 位置または **±** に動かしたとき。
- ギヤセレクターレバーが **D** の位置にあるときに運転席ドアを開けたとき。「ピーン」という音とディスプレイテキストにより、イグニッションがオンであることがわかります。

⚠ 警告

エンジンがオートストップした状態では、ボンネットを開けないでください。ボンネットを開ける前に、通常の方法でエンジンを停止してください。

関連情報

- Start/Stop (p. 468)
- Start/Stop 機能の使用 (p. 468)
- 補助バッテリー (p. 613)

[4] ディーゼル車に適用されます。

ドライブモード*

ドライブモードを選択すると、走行特性が変化して、ドライビングエクスペリエンスが向上し、特殊な状況で走行しやすくなります。

ドライブモードを使用すると、さまざまなドライビングニーズに応じて多くの機能や設定を素早く利用することができます。以下のシステムは、個々のドライブモードで走行性能を最大限に引き出せるように調整されています。

- ステアリング
- エンジン/トランスミッション/全輪駆動*
- ブレーキ
- エアサスペンション*および衝撃吸収
- ドライバーディスプレイ
- Start/Stop 機能
- エアコンディショナー機能

現在の走行条件にもっとも適したドライブモードを選択してください。状況に応じて選択できないドライブモードがあることに注意してください。

ドライブモードの選択

1. ドライブモードコントロールの **DRIVE MODE** を押します。
   > センターディスプレイにポップアップメニューが開きます。
2. ホイールを上または下に回して、設定したいドライブモードを選択します。
3. ドライブモードコントロールを押すか、タッチスクリーンに直接タッチして選択を確定します。
   > 選択したドライブモードはドライバーディスプレイに表示されます。

ドライブモードが選択できないときは、メッセージが表示されます。

以下はその例です。

- **ｷﾞｱがﾏﾆｭｱﾙのため選択不可**
- **ﾊﾞｯﾃﾘｰ低下のため選択不可**
- **低温のため選択不可**
- **制限のため選択不可**
- **高速運転中は選択不可**

選択可能なドライブモード

COMFORT

- これは車両の通常モードです。

始動したとき、車両は Comfort モードで、Start/Stop 機能がオンになります。この設定では、車両を快適に感じ、ステアリングが軽く、衝撃吸収がやわらかくて、車体の動きが滑らかです。

二酸化炭素排出量については、このモードで認証を受けています。

* オプション/アクセサリー。

ECO

- Eco モードでは、エネルギー効率の高い、環境に配慮した走行向けに車両が調整されます。

このドライブモードを使用すると、例えば、Start/Stop 機能がオンになり、車高が低下して風の抵抗が減り、一部のエアコンディショナー設定の出力が低減されます。

ドライバーディスプレイには、燃料効率のよい運転を促す ECO ゲージが表示されます。

このドライブモードの詳細については、「ECO ドライブモード」の項を参照してください。

OFF ROAD

- 過酷な地形や悪条件の路面を走行するときに車両のトラクションが最大限に引き出されます。

このドライブモードでは、車高が高くなり、ステアリングが軽く、全輪駆動、ヒルディセントコントロール(Hill Descent Control)連動低速コントロール機能が起動しています。Start/Stop 機能はオフになります。

このドライブモードは、低速時にのみオンにすることができ、スピードメーターには速度リミッターの範囲が表示されます。この速度を超えると、Off road は一時中断され、別のドライブモードがオンになります。

Off road モードでは、ドライバーディスプレイのスピードメーターとタコメーターの間にコンパスが表示されます。

注意

このドライビングモードは一般道で使用するためには設計されていません。

注意

OFF ROAD モードの状態でイグニッションをオフにしたため車高が高くなっている場合、次回のエンジン始動時に車高が下がります。

重要

トレーラーコネクターのないトレーラーを接続して走行しているときには、OFF ROAD ドライブモードを使用しないでください。この指示に従わないと、エアベローズを損傷する可能性があります。

DYNAMIC

- Dynamic モードの場合、車両はよりスポーティな特性を持ち、加速に対し迅速に反応します。

ギヤチェンジが高速化してはっきり認識できるようになり、トランスミッションはトラクションの大きいギヤを優先します。

ステアリング応答が速くなり、衝撃吸収が硬めになって、車高が低くなるため、車体が道路に追従し、コーナリング時のロールが低減します。

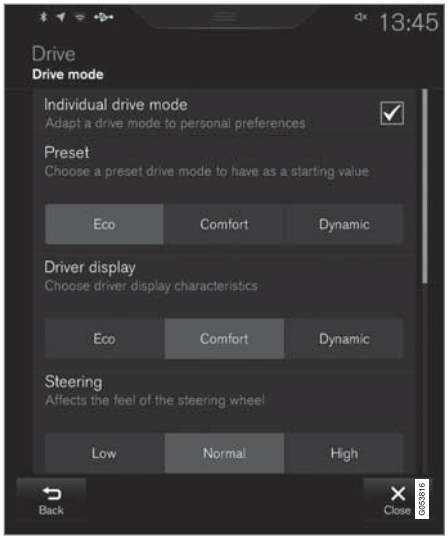
Start/Stop 機能はオフになります。

INDIVIDUAL

- 個人の好みに応じてドライブモードが調整されます。

最初に基本のドライブモードを選択してから、好みの走行特性に応じて設定を調節してください。この設定は独自の運転者プロフィールに保存されます。

独自のドライブモードは、最初にセンターディスプレイで有効にした場合にのみ利用できます。



独自のドライブモードの設定ビュー [5]

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ドライブモード** の順にタップして、**INDIVIDUAL ドライブモード** を選択します。
3. **プリセット** で、**エコ**、**コンフォート**、**ダイナミック** の中から、最初のドライブモードを選択します。

   選択に応じて、以下の設定を調節します。

   - **メーター**
   - **ステアリングパワー**
   - **パワートレイン**
   - **ブレーキ特性**
   - **サスペンション制御**
   - **ECO 温度調整**
   - **Start/Stop**

関連情報

- 速度感応式のステアリングホイール操舵力 (p. 322)
- オートレベライザー*および衝撃吸収 (p. 477)
- Start/Stop (p. 468)
- ECO ドライブモード (p. 475)
- AWD(全輪駆動車)* (p. 479)
- ヒルディセントコントロール* (p. 488)
- アダプティブクルーズコントロール*の車間時間の設定 (p. 350)

[5] 図は概略図です。配置は、車両モデルまたはソフトウェアのアップデートにより異なる場合があります。

* オプション/アクセサリー。

ECO ドライブモード

ドライビング モード ECO では、燃料効率に優れ、環境に優しい運転ができるように車両の走行特性が最適化されます。

このドライブモードを使用すると、燃料の節約と環境の保護につながります。

以下の特性が、ECO 走行向けに調整されます。

- トランスミッションでのシフトポイント
- エンジンマネジメントおよびアクセルペダルのレスポンス
- 車速が 65～140 km/h (40～87 mph)のときにアクセルペダルから足を離すと、Eco Coast フリーホイール機能が作動し、エンジンブレーキが解除される。
- エアコンディショナーシステムの一部の機能が低出力で作動する、またはオフになる。
- オートレベライザー機能*が車高を下げて、風の抵抗を減らす。
- ドライバーディスプレイが、環境に優しく、燃料効率のよい運転を促す情報を ECO ゲージに表示する。

ECO モードの選択

ECO モードは、エンジンを停止するとオフになります。そのため、エンジンを始動するたびにオンにする必要があります。この機能がオンのときには、ドライバーディスプレイに ECO と表示されます。

ドライブモードコントロール装備車*

1. ドライブモードコントロールの **DRIVE MODE** を押します。
   > センターディスプレイにポップアップメニューが開きます。
2. ホイールを上または下に回して、使用したいドライブモードを選択します。
3. ドライブモードコントロールを押すか、タッチスクリーンに直接タッチして選択を確定します。

センターディスプレイの機能ビュー

ドライブモードコントロール非装備車には、センターディスプレイの機能ビューに **ドライビング モード ECO** 用機能ボタンがあります。

- ボタンを押すと、機能がオンになります。
  > この機能がオンになると、ボタンのインジケーターが点灯します。

フリーホイール機能 Eco Coast

フリーホイール機能 Eco Coast では、エンジンブレーキが解除され、代わりに車両の運動エネルギーを惰性走行に使用して、惰性走行の距離を伸ばします。運転者がアクセルペダルから足を離すと、トランスミッションとエンジンの接続が自動的に切り離され、エンジン回転数がアイドリング回転数まで低下し、燃料消費量が減少します。

この機能は、前方に制限速度の低い区間があり減速が予想される状況や、緩やかな下り坂で長時間惰性走行できる場合に最適です。

フリーホイール機能の起動

以下の条件が満たされているときに、アクセルペダルから完全に足を離すと、機能が起動します。

- **Eco** ドライブモードが選択されているとき。
- ギヤセレクターレバーが **D** の位置のとき。
- 速度が約 65-140 km/h (40-87 mph)の範囲内。
- 下り坂の場合、勾配が約 6%以下のとき。

フリーホイール機能を使用しているときには、ドライバーディスプレイに **COASTING** と表示されます。

▶▶

機能の限界

以下の場合、フリーホイール機能は使用できません。

- エンジンとトランスミッションの両方、またはどちらか一方が通常作動温度ではない。
- ギヤセレクターレバーを **D** 位置およびマニュアル位置から動かした。
- 速度が約 65-140 km/h (40-87 mph)の範囲から外れている。
- 下り坂で勾配が約 6%を超えている。
- ステアリングホイールパドル*を使用して、マニュアルギヤチェンジを行った。

フリーホイール機能の解除およびオフ

状況によっては、機能を一時的に解除またはオフにしてエンジンブレーキを使用する方が望ましい場合があります。例えば、急勾配の下り坂を走行する場合や追い越し操作の直前などは、機能を解除した方が安全に運転できる可能性が高くなります。

フリーホイール機能を解除するには、以下の操作を行ってください。

- アクセルペダルまたはブレーキペダルを踏み込みます。
- ギヤセレクターレバーをマニュアルポジションにします。
- ステアリングホイールパドルでギヤチェンジします*。

フリーホイール機能をオフにするには、以下の操作を行ってください。

- ドライブモード*を変更するか、機能ビューで **ドライビング モード ECO** をオフにします。

フリーホイール機能がない場合でも、短い距離であれば惰性走行することができます。その場合も燃料消費量は減ります。ただし、フリーホイール機能をオンにして、長距離の惰性走行を可能にした方が、燃費性能を最大限に引き出すことになります。

クルーズコントロール Eco Cruise

ECO ドライブモードでクルーズコントロールを使用すると、他のドライブモードのときよりも車両の加速と減速がゆるやかになり、燃料の節約を可能にします。このため、車両の速度が設定速度を少し上回る、または少し下回ることがあります。

- 滑らかな路面では、クルーズコントロールが作動しているときに車両が惰性走行すると、車両の速度が設定速度から逸脱することがあります。
- 急な上り坂では、車両の速度が低下し、シフトダウンした時点でひかえめに加速が始まって、設定速度が実現されます。
- 車両が惰性走行する下り坂では、車両の速度が設定速度を少し上回る、または下回ることがあります。この機能は、設定速度を維持するために通常のエンジンブレーキを使用し、必要に応じてフットブレーキも使用されます。

ドライバーディスプレイの ECO ゲージ

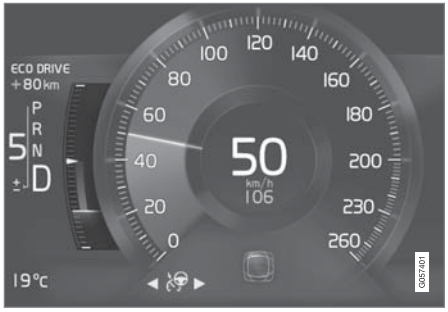
ECO ゲージは、どれだけ燃料効率のよい運転をしているかを示します。

- 燃料効率のよい運転をしている場合、このゲージは低い値を示し、指針が緑色の範囲内にあります。
- 急ブレーキや急加速など、燃料効率の悪い運転をしている場合、ゲージは高い値を示します。

ECO ゲージには、標準的な運転者なら同じ走行条件でどのように運転するかを示すインジケーターもあります。このインジケーターはゲージの短いポインターで表示されます。

* オプション/アクセサリー。

12 インチドライバーディスプレイ*の ECO ゲージ



8 インチドライバーディスプレイの ECO ゲージ

ECO エアコンディショナー

Eco ドライブモードでは、エネルギー消費を減らすために、車内で ECO エアコンディショナーが自動的にオンになります。

> **注意**
>
> ECO 機能をオンにすると、エアコンディショナーシステムの設定のいくつかのパラメーターが変更され、一部の電力消費機器の機能が制限されます。一部の設定は手動でリセットできますが、すべての機能を回復させるためには、ECO 機能をオフにするか、またはエアコンディショナーの全機能が作動するように **Individual***ドライブモードを調整する必要があります。

曇りが発生して運転に支障がある場合、最大デフロスターのボタンを押してください。この機能は通常どおりに動作します。

関連情報

- 経済走行（p. 499）
- Start/Stop（p. 468）
- ドライブモード*（p. 472）
- アダプティブクルーズコントロール*の車間時間の設定（p. 350）
- ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ（p. 240）

オートレベライザー*および衝撃吸収

オートレベライザーは走行中に車両のサスペンションと衝撃吸収特性を自動的に制御して、快適性と機能性を最適な状態に保ちます。荷積みや乗り降りをしやすくするために、手動で車高を調節することもできます。

エアサスペンションおよび衝撃吸収

システムは選択したドライブモードと車速に応じて調整されます。エアサスペンションを使用すると、高速時に車両の車高が低めに調節されて、風の抵抗が軽減し、安定性が向上します。通常、衝撃吸収は快適性重視で設定され、路面状態、加速、ブレーキおよびコーナリングに応じて連続的に制御されます。

オートレベライザーの作動中は、ドライバーディスプレイに表示されます。

ボンネットまたはドアが 1 つでも開いている場合、制御を行うことはできません。

▶▶

オートレベライザーの設定

乗車アシスト

乗り降りしやすくなるように、車高を下げることができます。

センターディスプレイを使用して乗車アシストをオンにする

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ルームミラー/ドアミラーとイージーエントリー** をタップします。
3. **イージーエントリー/イグジットサスペンション** を選択します。
   > 駐車して車両をオフにすると、車高が下がります(ドアを開けるとオートレベライザーは停止します。ドアを閉めた後、オートレベライザーの動作が再開するまでにしばらく時間がかかることがあります)。車両を始動して走行を開始すると、選択されているドライブモードに対応する車高まで上昇します。

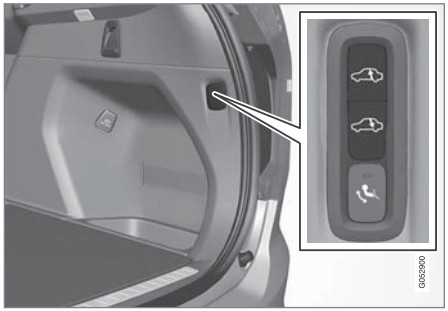
エアサスペンションおよびオートレベライザーの解除

状況により、機能の解除が必要になることがあります。車両をジャッキ*で持ち上げる場合などが該当します。解除しておかないと、ジャッキの使用により車両が水平でなくなったとき、エアサスペンションに問題が発生する可能性があります。

センターディスプレイを使用して機能をオフにする

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ パーキングブレーキおよびサスペンション** をタップします。
3. **レベリング制御の解除** を選択します。

荷積みモード



カーゴスペースのボタンを使用して車両後部の高さを調節すると、荷物の積み下ろしがしやすくなります。トレーラーの接続/切り離しもしやすくなります。「荷物の積み込み」の項を参照してください。

駐車時

駐車時は、車両の上と下に十分なスペースがあることを確認してください。車両の車高は、外気温、積載状態、荷積みモードの使用、始動後に選択したドライブモードなどに応じて異なる場合があります。

駐車からしばらく経過した後でも、車高を調節できることがあります。これは、車両温度の低下に伴ってエアスプリングの温度が変化したときに発生する車高の変化を補正するためです。

輸送時

車両をフェリー、列車またはトラックで輸送する場合、車両はタイヤの周りにロープをかけて固定する必要があります。シャシの他の部分にはロープをかけないでください。輸送中にエアサスペンションが変化して、固定状態に悪影響をおよぼす可能性があります。

関連情報

- ドライブモード*（p. 472）
- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 271）

* オプション/アクセサリー。

AWD(全輪駆動車)*

全輪駆動車 AWD(All Wheel Drive)では、車両の 4 輪すべてに同時に駆動力がかかります。

トラクション性能を最大に引き出してタイヤのスピンを防止するため、駆動力を自動的に分配して最適なグリップ力が得られるようにします。システムは後輪のトルクの必要性を計算し続け、最大でモーターのトルクの半分をすぐに後輪に再分配することができます。

全輪駆動には高速走行での安定効果もあります。通常の走行状況では、駆動力の大半が前輪に分配されます。停車しているときは、加速時の最大トラクションに備えて、必ず全輪駆動の状態になります。

全輪駆動の特性は、選択したドライブモードによって異なります*。

関連情報

- ドライブモード* (p. 472)
- 低速コントロール* (p. 487)

ブレーキ機能

車両のブレーキは、減速するとき、または車両の動き出しを防止するときに使用します。

フットブレーキとパーキングブレーキの他に、車両にはいくつかのオートブレーキアシスト機能が搭載されています。オートブレーキアシスト機能を使用すると、赤信号で停車しているとき、上り坂で発進するとき、または下り坂を走行しているときに運転者がブレーキペダルに足を載せておく必要がなくなります。

オートブレーキ機能には以下の種類があり、実際に搭載されるものは車両の装備に応じて異なります。

- 停車時のオートブレーキ(Auto Hold)
- ヒル・スタート・アシスト(Hill Start Assist)
- 衝突後のオートブレーキ
- City Safety
- ヒルディセントコントロール(Hill Descent Control)*

関連情報

- フットブレーキ (p. 479)
- パーキングブレーキ (p. 482)
- ヒルディセントコントロール* (p. 488)
- ヒル・スタート・アシスト (p. 486)
- 停車時のオートブレーキ (p. 486)
- 衝突後のオートブレーキ (p. 482)

フットブレーキ

フットブレーキはブレーキシステムの一部です。

車両には、2 つのブレーキ回路があります。一方のブレーキ回路が損傷すると、ブレーキペダルの踏み込み量が大きくなります。したがって、通常の制動効果を得るには、通常よりもペダルを強く踏み込むことが必要になります。

ブレーキサーボは、ブレーキペダルの踏力を補助する働きをします。

⚠ 警告

ブレーキサーボは、エンジン作動時にのみ作動します。

エンジンが停止しているときにフットブレーキを使用する場合は、ペダルが重く感じられ、通常よりも強い力でペダルを踏み込む必要があります。

起伏の激しい地域や、重い荷物を積載して走行するときは、マニュアルギヤシフトモードでエンジンブレーキを使用すると、ブレーキへの負担を軽減することができます。長い下り坂を走行するときは、上りのときと同じギヤを使用すると、エンジンブレーキをもっとも効率的に活用することができます。急勾配の下り坂を低速で走行しているときには、**Off Road** ドライブモード*を使用して、エンジンブレーキを強めてください。

アンチロックブレーキシステム

車両にはアンチロックブレーキ Anti-lock Braking System(ABS)が装備されています。アンチロックブレーキは、制動中にホイールのロックを防止して、ステアリングの制御を維持できるようにします。ABS が作動すると、ブレーキペダルに振動が感じられる場合がありますが、これは異常ではありません。

車両の始動後、ブレーキペダルから足を離したときに、ABS システムの自己診断機能が短時間作動します。低速走行時に、さらにシステムの自動テストが行われることがあります。テストが行われているときは、ブレーキペダルで振動が感じられることがあります。

濡れた路面でのブレーキ操作

大雨の中、ブレーキをかけずに長時間走行していると、最初にブレーキをかけたときに、ブレーキの効きが少し遅れる可能性があります。この症状は、洗車機で洗車した後にも発生することがあります。この場合、ブレーキペダルを通常よりも強めに踏む必要があります。したがって、前方の車両との車間距離を長めに維持する必要があります。

濡れた路面を走行した後、または洗車機を使用した後には、車両に確実にブレーキをかけてください。これによりブレーキディスクの温度が上がるため、ブレーキディスクの乾燥時間が短くなり、腐食から保護できます。ブレーキをかけるときには、周辺の交通状況に注意を払ってください。

凍結防止剤が散布された路面でのブレーキ操作

凍結防止剤が散布された路面を走行しているときには、ブレーキディスクおよびブレーキライニングに塩の層が形成されることがあります。この層が形成されると、制動距離が延びる可能性があります。したがって、前方の車両との車間距離を長めに維持する必要があります。また、以下の点にもご注意ください。

- ときどきブレーキをかけて、塩の層を取り除いてください。ブレーキをかけるときには、他の道路使用者を危険にさらすことのないようにご注意ください。
- 走行を終えた後、および次回の走行を開始する前に、ブレーキペダルを慎重に踏んでください。

メンテナンス

車両の信頼性と安全性を可能な限り確保するため、メンテナンスノート(整備手帳)に記載されているボルボのメンテナンスサービス間隔に従って点検整備を行ってください。

交換したばかりの新品のブレーキライニングおよびブレーキディスクは、数百キロメートル走行して部品が馴染むまでは本来の制動効果を発揮しません。制動効果の不足分を補うために、ブレーキペダルを通常よりも強めに踏み込んでください。ボルボ承認のブレーキライニングのみを使用することをお薦めします。

重要

ブレーキシステム構成部品の摩耗状況を定期的に点検してください。

手順に関する情報をサービス工場にお問い合わせいただくか、サービス工場に点検を依頼してください。ボルボ指定のサービス工場をお薦めします。

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	ブレーキフルードレベルを点検してください。ブレーキフルードレベルが低いときは補充し、ブレーキフルードが減った原因を確認してください。
	エンジン始動時に 2 秒間点灯：自動機能点検です。 2 秒を超える点灯：ABS システムに不具合があります。通常のブレーキシステムは正常に機能していますが、ABS 機能は使用できません。

⚠ 警告

ブレーキ不具合と ABS 不具合の警告灯が両方同時に点灯した場合、ブレーキシステムに不具合が発生したことを表しています。

- リザーバータンクのブレーキフルードレベルがこの時点で正常であれば、最寄りのボルボ指定のサービス工場まで慎重に走行し、ブレーキ系統の点検を受けてください。
- ブレーキフルードレベルがリザーバータンクの **MIN** マークより低い場合は、ブレーキフルードを補充するまで絶対に運転しないでください。ブレーキフルードが減った原因を点検してください。

関連情報

- ブレーキ機能（p. 479）
- 制動力増幅（p. 481）
- ブレーキランプ（p. 188）
- アダプティブブレーキランプ（p. 481）

アダプティブブレーキランプ

アダプティブブレーキランプは、急ブレーキをかけた際、後続車にそれを知らせて注意を促すためのものです。このライトは通常のブレーキランプ（点灯）と異なり、点滅を繰り返します。

アダプティブブレーキランプは、急ブレーキをかけたとき、または高速走行時に ABS システムが作動したときに点灯します。エマージェンシーブレーキで速度が低下すると、ブレーキランプは点滅から通常の点灯に切り替わります。同時に、車両の非常点滅灯が作動します。これらの点滅は、運転者が車両を再度高速まで加速させるか、非常点滅灯をオフにするまで続きます。

関連情報

- フットブレーキ（p. 479）
- 非常点滅灯（p. 188）
- ブレーキランプ（p. 188）

制動力増幅

制動力増幅システム、BAS（Brake Assist System）は、制動中に制動力を高めて、制動距離を短くするのに役立ちます。

このシステムは、運転者のブレーキ操作の傾向を感知して必要に応じて制動力を高めます。制動力は ABS システムが作動するレベルまで増幅することができます。この機能は、ブレーキペダルにかかる圧力が弱まると一時中断します。

ⓘ 注意

BAS 機能が作動している場合、ブレーキペダルが通常よりも少し奥に入りますが、必要な間、ブレーキペダルを離さずに踏み続けてください。

ブレーキペダルから足を離すと、すべての制動が停止します。

関連情報

- フットブレーキ（p. 479）

衝突後のオートブレーキ

衝突でパイロテクニックシートベルトテンショナーまたはエアバッグが作動した場合、または大型動物との衝突が検知された場合でも、車両のブレーキが自動的に作動します。この機能により、二次的な衝突の発生を防止または抑制します。

重大な衝突の後は、車両を制御および操舵できなくなる危険性があります。車両の進路にある他の車両や物への二次的な衝突を回避または軽減するため、オートブレーキシステムが自動的に作動して、車両を安全に停止させます。

制動中はブレーキランプおよび非常点滅灯が作動します。車両が停車すると、パーキングブレーキがかかり、非常点滅灯は点滅を続けます。

後続車の衝突する危険などがあり、ブレーキをかけることが適切ではない場合、運転者がアクセルペダルを踏み込むことによりシステムを無効にすることができます。

この機能は、衝突後にブレーキシステムが正常に動作するものと想定しています。

「Rear Collision Warning」および「Blind Spot Information」の項も参照してください。

関連情報

- ブレーキ機能 (p. 479)
- シートベルトテンショナー (p. 97)
- エアバッグ (p. 102)
- Rear Collision Warning (p. 402)
- BLIS* (p. 402)

パーキングブレーキ

パーキングブレーキは、ホイール 2 輪を機械的にロック/ブロックして、静止状態の車両が動き出すことを防止します。

パーキングブレーキのコントロールは、フロントシート間のトンネルコンソールにあります。

エレクトリックパーキングブレーキが作動すると、電動モーターの音がかすかに聞こえる場合があります。この音は、パーキングブレーキの自動機能点検のときにも聞こえる場合があります。

パーキングブレーキは、車両が停止しているときは後輪のみに作動します。パーキングブレーキを車両が動いているときに作動させると、通常のフットブレーキと同様に 4 輪に作動します。車両がほぼ停止した時点で後輪のみの作動に変わります。

* オプション/アクセサリー。

関連情報

- ブレーキ機能（p. 479）
- パーキングブレーキを使用する（p. 483）
- パーキングブレーキに不具合がある場合（p. 485）

パーキングブレーキを使用する

パーキングブレーキは、静止状態の車両が動き出すのを防ぐのに使用します。

パーキングブレーキをかける

1. コントロールを引き上げます。
   > パーキングブレーキがかかると、ドライバーディスプレイのシンボルが点灯します。
2. 車両が停止していることを確認してください。

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	パーキングブレーキがかかると、シンボルが点灯します。 シンボルが点滅する場合、不具合が発生したことを表します。ドライバーディスプレイのメッセージをお読みください。

自動作動

以下の場合、パーキングブレーキは自動的に作動します。

- Auto Hold 機能(停車時のオートブレーキ)がオンで、約 5 分間停車しているとき。
- 急勾配の坂道で、ギヤポジション **P** を選択しているとき。
- 「パーキングブレーキの自動作動」がオンの状態で車両をオフにしたとき[6]。

エマージェンシーブレーキ

緊急時には、コントロールを引き上げたまま保持すると、車両が動いている状態でパーキングブレーキをかけることができます。コントロールから手を離すと、ブレーキ動作は停止します。

注意

高速時にはエマージェンシーブレーキが作動している間、確認音が鳴ります。

6「パーキングブレーキの設定」の項を参照してください。

パーキングブレーキを解除する

手動解除

1. ブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。
2. コントロールを押し下げます。
   > パーキングブレーキが解除され、ドライバーディスプレイのシンボルが消灯します。

自動解除

1. シートベルトを着用します。
2. ブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。
3. エンジンを始動します。
4. ギヤポジション **D** または **R** を選択して、アクセルペダルを踏みます。
   > パーキングブレーキが解除され、ドライバーディスプレイのシンボルが消灯します。

注意

車両の最初の始動では、シートベルトが着用されていない状態でパーキングブレーキが自動的に解除されることがあります。

坂道での駐車

警告

傾斜面に駐車するときには、必ずパーキングブレーキをかけてください。ギヤを入れる、またはオートマチックトランスミッションの **P** 位置にするだけでは、車両を静止状態に保持できないことがあります。

上り坂で駐車する場合：

- ステアリングホイールを**車道側**に若干回します。

下り坂で駐車する場合：

- ステアリングホイールを**歩道側**に若干回します。

重い荷物を積載した上り坂

車に大きな負荷がかかっているとき(重い荷物を積載しているときや、トレーラーけん引時など)に、傾斜の急な上り坂でパーキングブレーキを自動解除すると、車が後方に下がるおそれがあります。これを防ぐため、発進時にパーキングブレーキコントロールを引き上げたまま保持してください。エンジンが十分な駆動力を得たら、コントロールを放してください。

パーキングブレーキの設定

パーキングブレーキの自動作動はセンターディスプレイで選択します。

車両をオフにしたときの自動作動：

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car** ➔ **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷおよびｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ** の順に押して、**パーキングブレーキを自動で有効化** 機能を解除/選択します。

関連情報

- パーキングブレーキ（p. 482）
- パーキングブレーキに不具合がある場合（p. 485）
- 停車時のオートブレーキ（p. 486）

パーキングブレーキに不具合がある場合

数回試してもパーキングブレーキを解除できない、またはかけることができない場合、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

パーキングブレーキをかけた状態で走行すると、警告音が鳴ります。

不具合が解消される前に駐車しなければならない場合は、坂道での駐車と同様にタイヤを向けて[7]、セレクターレバーを **P** 位置に入れてください。

バッテリー電圧低下

バッテリー電圧が低下すると、パーキングブレーキの作動や解除ができなくなります。バッテリーの電圧が異常に低い場合には、他車などのバッテリーを接続してください。

ブレーキライニングの交換

エレクトリックパーキングブレーキが採用されているため、リアブレーキライニングは必ずボルボ指定のサービス工場で交換してください。

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	シンボルが点滅する場合、不具合が発生したことを表します。ドライバーディスプレイのメッセージを参照してください。
	ブレーキシステムの不具合。ドライバーディスプレイのメッセージを参照してください。
	ドライバーディスプレイの情報メッセージ

メッセージの例：

- **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷ 販売店に お問い合わせ下さい**
- **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷ システム過熱**
- **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷ リリースされていません**
- **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷ 停車できません**
- **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷ 一時的に利用できません**

関連情報

- ブレーキ機能（p. 479）
- パーキングブレーキを使用する（p. 483）
- パーキングブレーキ（p. 482）
- 別のバッテリーによるジャンプスタート（p. 461）

[7]「パーキングブレーキを使用する」の項を参照してください。

ヒル・スタート・アシスト

ヒル・スタート・アシスト、Hill Start Assist (HSA)は、上り坂で発進するときに車両の後退を防止します。坂道を後退して上る場合は、前進を防止します。

この機能では、足をブレーキペダルからアクセルペダルへ動かす間の数秒間、ブレーキシステム内の圧力が保持されます。

一時的に保持されるブレーキ効果は、数秒経過するか、運転者が加速すると、解除します。

ヒル・スタート・アシストは、停車時のオートブレーキ機能(Auto Hold)が解除されている場合でも使用できます。

関連情報

- ブレーキ機能 (p. 479)
- 停車時のオートブレーキ (p. 486)

停車時のオートブレーキ

停車時のオートブレーキ(Auto Hold)を使用すると、赤信号や合流点で停車したとき、運転者は制動力を維持した状態でブレーキペダルから足を離すことができます。

機能

停車すると、ブレーキが自動的に作動します。この機能はフットブレーキまたはパーキングブレーキを使用して停車状態を維持し、どのような勾配でも動作します。アクセルペダルを再度踏み込むと、ブレーキは解除されます。

下り坂または上り坂でブレーキをかけて停車した場合、踏み込む力をゆるめる前にブレーキペダルを少し強めに踏んで、車両がまったく動かないことを確認してください。

停車する、または車両をオフにすると、約 5 秒後にパーキングブレーキがかかります。

自動解除

以下の場合、この機能は自動的に解除されます。

- 運転席ドアが開いていて、運転席シートベルトが着用されていないとき。

オートブレーキ用スイッチ

この機能がオンになると、ボタンのインジケーターが点灯します。

Auto Hold のオンまたはオフには、トンネルコンソールのスイッチを使用します。再度オンにするまで、機能はオフのままになります。

この機能が作動してフットブレーキで車両を静止させている(A シンボルが点灯)場合、機能を解除するには、ボタンを押すと同時にブレーキペダルを踏み込む必要があります。

この機能が解除されている場合、ヒル・スタート・アシスト(HSA)がアクティブな状態を維持して、上り坂での発進時に車両が後退するのを防止します。

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	オートブレーキ機能がフットブレーキを使用して停車状態を維持しているときに、シンボルが点灯します。
	オートブレーキ機能がパーキングブレーキを使用して停車状態を維持しているときに、シンボルが点灯します。

関連情報

- ブレーキ機能 (p. 479)
- ヒル・スタート・アシスト (p. 486)

低速コントロール*

低速コントロール機能 Low Speed Control (LSC)は、オフロードや滑りやすい路面での走行時にトラクションを向上させます。例えば、キャラバンをけん引して草地を走行する場合やボートトレーラーをけん引して進水用スロープを走行する場合などに本領を発揮します。

ドライブモードコントロール*装備車の場合、この機能は Off Road ドライブモードに含まれています。

この機能は低速(約 40 km/h (25 mph)以下)でのトレーラーけん引やオフロード走行向けに調整されています。

低速コントロールは、ローギヤおよび全輪駆動を優先して、ホイールスピンの回避とすべての車輪でのトラクション向上に役立ちます。低速でのトラクションを高め、速度を制御しやすくするために、アクセルペダルのレスポンスが低下します。

この機能は Hill Descent Control (HDC)とともに作動して、急勾配の下り坂での減速をアクセルペダルで制御できるようにし、ブレーキペダルの使用機会を減らします。このシステムは急勾配の下り坂を走行するときに一定の低速を維持するのに役立ちます。

低速コントロール LSC をオンにする

この機能の起動は車両の装備に応じて異なります。

ドライブモードコントロール装備車*

- Off Road ドライブモードを選択すると、機能が作動します。
- 別のドライブモードを選択すると、解除されます。

センターディスプレイの機能ビュー

ドライブモードコントロール非装備車には、センターディスプレイの機能ビューに **ヒル・ディセント・コントロール** 連動低速コントロール用機能ボタンがあります。

– ボタンを押すと、機能がオンになります。
  › この機能がオンになると、ボタンのインジケーターが点灯します。

注意

LSC および HDC が作動すると、アクセルペダルの感覚とエンジンレスポンスが変化します。

注意

このドライビングモードは一般道で使用するためには設計されていません。

注意

この機能は走行速度が上昇すると解除されるため、速度が下がったら、必要に応じて再度オンにしてください。

関連情報

- ブレーキ機能（p. 479）
- ヒルディセントコントロール*（p. 488）
- ドライブモード*（p. 472）

ヒルディセントコントロール*

ヒルディセントコントロール、Hill Descent Control（HDC）は、より強力なエンジンブレーキを使用した低速機能です。この機能を使用することにより、急勾配の坂道を下る際にフットブレーキを使用せず、アクセルペダルだけで速度を増減することが可能になります。

ドライブモードコントロール*装備車の場合、この機能は Off Road ドライブモードに含まれています。

ヒルディセントコントロールは、低速でのオフロード走行に対応するように調整されているため、路面が滑らかではない下り坂の走行で役立ちます。運転者はブレーキペダルを使用する必要がなく、その分、ステアリング操作に集中することができます。

警告

HDC はあらゆる状況で作動するわけではなく、補助機能に過ぎません。

安全運転の責任は、つねに運転者にあります。

機能

ヒルディセントコントロールを使用すると、ブレーキシステムのアシストにより非常に低速で前進および後退することができます。アクセルペダルを使用すると、速度を上昇させることができます。アクセルペダルから足を離すと、坂道の傾斜に関係なく、車両は徐行に戻ります。フットブレーキを使用する必要はありません。HDC 機能が作動すると、ブレーキランプが点灯します。

運転者は、フットブレーキを踏めばいつでも、ブレーキをかけて徐行速度を落としたり停車することができます。

この機能は、オフロードや滑りやすい路面での走行時にトラクションを向上させて運転を支援する Low Speed Control（LSC）とともに作動します。これらのシステムは低速（約 40 km/h（25 mph）以下）時に使用されるように設計されています。

ヒルディセントコントロール HDC をオンにする

ヒルディセントコントロールは低速時にのみ作動します。

この機能の起動は車両の装備に応じて異なります。

ドライブモードコントロール装備車*

- Off Road ドライブモードを選択すると、機能が作動します。
- 別のドライブモードを選択すると、解除されます。急勾配の下り坂を走行中にドライブモードを変更すると、制動効果が徐々に低下します。

センターディスプレイの機能ビュー

ドライブモードコントロール非装備車には、センターディスプレイの機能ビューに **ヒル・ディセント・コントロール** 連動低速コントロール用機能ボタンがあります。

– ボタンを押すと、機能がオンになります。
  > この機能がオンになると、ボタンのインジケーターが点灯します。

HDC を使用して走行する際の留意点

- HDC はギヤ位置 **D**、**R**、マニュアルギヤチェンジの 1 速または 2 速ギヤのときに使用することができます。
- マニュアルギヤチェンジでは 3 速以上のギヤにシフトできません。

ⓘ 注意

LSC および HDC が作動すると、アクセルペダルの感覚とエンジンレスポンスが変化します。

ⓘ 注意

このドライビングモードは一般道で使用するためには設計されていません。

ⓘ 注意

この機能は走行速度が上昇すると解除されるため、速度が下がったら、必要に応じて再度オンにしてください。

関連情報

- ブレーキ機能（p. 479）
- 低速コントロール*（p. 487）
- ドライブモード*（p. 472）

水たまりでの運転

水たまりでの運転とは、冠水した道路上の深い水たまりを通る走行を意味します。その際は、十分な注意が必要です。

水深 45 cm（17.7 インチ）までの水たまりであれば、歩行速度程度の速さで通過することができます。水が流れている場所を通過するときは、特に慎重に運転してください。

水たまりを走行するときは、低速を維持し、車両を停止させないでください。水たまり通過後、ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキシステムが濡れたり泥が付着すると、ブレーキが効くまでの時間が長くなるおそれがあります。

- 水たまりなどを走行した後は、必要に応じてエレクトリックヒーターおよびトレーラーカップリングのコネクターを清掃してください。
- ドアシルに届くほどの深い水たまりに、長い間停車しないでください。電気装置の故障の原因となるおそれがあります。

▶▶

重要

- エアフィルターに水が入ると、エンジンが損傷するおそれがあります。
- トランスミッションに水が入ると、オイルの潤滑性能が低下し、関連システムの寿命が短くなります。
- コンポーネント、エンジン、トランスミッション、ターボチャージャー、ディファレンシャル、またはその内部コンポーネントが洪水、静水ロック、またはオイル不足により損傷した場合、保証は適用されません。
- 深い水たまりの中でストールしたときは、エンジンを再始動しないでください。車両をけん引して、水たまりから外に出して、ボルボ指定のサービス工場に搬送してください。エンジン故障の危険があります。

関連情報

- けん引（p. 508）
- 車両移動（p. 510）

エンジンおよび駆動システムのオーバーヒート

起伏の激しい地域や気温が高いときなど特殊な条件では、エンジンや駆動システムがオーバーヒートする場合があります。特に重い荷物を積載しているときは、ご注意してください。

- オーバーヒートすると、エンジンの出力が一時的に制限されることがあります。
- 気温の高い状況下で走行するときは、グリルの前に補助ライトなどを取り付けないでください。
- エンジンのクーリングシステムの温度が異常に高くなると、警告灯が点灯して、ドライバーディスプレイに **ｴﾝｼﾞﾝ温度 高温。安全に 停車して下さい。** というメッセージが表示されます。安全な場所に停車して、エンジンを数分間アイドリングさせて温度を下げてください。
- **ｴﾝｼﾞﾝ温度 高温。 ｴﾝｼﾞﾝを停止して下さい** または **ｴﾝｼﾞﾝ冷却液 レベル低下。ｴﾝｼﾞﾝを停止して下さい。** というメッセージが表示された場合は、車両を停止してエンジンを切ってください。
- トランスミッションがオーバーヒートした場合、代わりのギヤシフトプログラムが選択されます。また、組み込まれている保護機能が作動して、警告灯を点灯したり、ドライバーディスプレイに **ﾄﾗﾝｽﾐｯｼｮﾝがやや高温 温度を下げるため 減速して下さい** または **ﾄﾗﾝｽﾐｯｼｮﾝが高温安全に停車し、ｴﾝｼﾞﾝが 冷めるまでお待ち下さい** というメッセージを表示したりします。推奨されている指示に従い、減速、または安全な場所に停車し、エンジンを数分間アイドリングさせてトランスミッションの温度を下げてください。
- 車両がオーバーヒートすると、冷暖房が一時的に停止する場合があります。
- 長時間過酷な条件下で走行した後は、停車直後にエンジンを停止しないでください。

注意

エンジン停止後も、エンジンクーリングファンがしばらく回転を続ける場合がありますが、これは異常ではありません。

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	エンジン高温。推奨される指示に従ってください。
	エンジン冷却液レベル低下推奨される指示に従ってください。
	トランスミッション高温/オーバーヒート/冷却済み。推奨される指示に従ってください。

関連情報
- クーラントの補充（p. 598）
- トレーラーなどのけん引（p. 503）
- 長距離走行の準備（p. 492）

メインバッテリーへの過剰な負荷

車内のさまざまな電気機器により、メインバッテリーにさまざまな負荷が加わります。車両がオフのときは、イグニッション位置 II は使用しないようにしてください。代わりに、イグニッション位置 I を使用すると、電力の消費を抑えることができます。

電気系統に負担をかけるような、各種アクセサリーにもご注意してください。車両がオフのときは、電力を大量に消費するような機能を使用しないでください。そのような機能の例は：

- ベンチレーションファン
- ヘッドライト
- ウインドスクリーンワイパー
- オーディオシステム(大音量)

メインバッテリーの電圧が低下している場合、ドライバーディスプレイに **12V バッテリー ﾊﾞｯﾃﾘｰ低下、間もなく 省電力モードになります** というメッセージが表示されます。バッテリーの負担を軽減するために節電機能が働いて、ベンチレーションファンやオーディオシステムなど、一部の機能を解除または制限します。

– この場合には、車両を始動し、走行するなど、エンジンを最低 15 分回転させたままにして、メインバッテリーを充電してください。メインバッテリーは、車両が静止したままエンジンをアイドリングさせるよりも、走行時の方が効率よく充電できます。

関連情報
- イグニッション位置（p. 457）
- メインバッテリー（p. 609）

長距離走行の準備

休日のドライブまたはその他の長距離走行の前には、車両の機能および装置を特に入念に点検することが重要です。

以下の点を確認してください。

- エンジンが正常に作動し、燃料消費量が通常通りであること
- 燃料、オイル、その他のフルードなどが漏れていないこと
- 制動中の制動力が最適であること
- すべてのランプが正常に機能していること。車両に重い荷物を積載しているときは、ヘッドライトの光軸を調整すること
- タイヤの溝の深さと空気圧が十分であること雪道または凍結路を走行する可能性がある場所へ出かける場合、ウインタータイヤに交換すること
- メインバッテリーが十分に充電されていること
- ワイパーブレードが良好な状態であること
- 三角警告板(停止表示板)と反射ベストを車内に携行していること(一部の国では法律で義務づけられています。)

関連情報

- 燃料消費量および CO2 排出量 (p. 650)
- タイヤ空気圧の点検 (p. 562)
- ウォッシャー液リザーバータンク (p. 609)
- 冬季の運転 (p. 492)
- 経済走行 (p. 499)
- カーモデム*の設定 (p. 544)
- 荷物の積み込みに関する推奨事項 (p. 271)
- Pilot Assist* (p. 361)
- 速度リミッター* (p. 327)
- ロード・サイン・インフォメーションおよびスピード違反取り締まりカメラ情報* (p. 414)
- トレーラーなどのけん引 (p. 503)
- 水たまりでの運転 (p. 489)
- アラーム* (p. 309)
- オートレベライザー*および衝撃吸収 (p. 477)
- 三角警告板(停止表示板) (p. 580)
- 緊急パンクリペアーキット (p. 568)
- スペアタイヤ* (p. 577)

冬季の運転

冬季の運転では、安全な走行を実現するために、いくつかの車両点検を行うことが重要です。

冷寒時は、特に次の点に注意してください。

- 50%のグリコールを含んだクーラントを使用してください。このクーラントは約-35 ℃ (-31 ° F)までエンジンを凍結から保護します。健康上のリスクを防ぐため、種類の異なるグリコールは混合しないでください。
- 凝結水が発生しないように、燃料タンクを満タンにしてください。
- エンジンオイルの粘度は非常に重要です。粘度の低いオイル(やわらかいオイル)を使用すると冷寒時にエンジンが始動しやすくなり、またエンジンが暖機されるまでの燃料消費量が低減されます。適切なオイルについては、「エンジンオイルに対して過酷な走行条件」の項を参照してください。

重要

過酷な条件下で走行するときや、気温が高いときは、粘度の低いオイルは絶対に使用しないでください。

- メインバッテリーの状態および充電レベルを、必ず点検してください。冷寒時はメイン

* オプション/アクセサリー。

バッテリーに大きな負担がかかり、容量が低下します。

- ウォッシャー液リザーバータンクの凍結を防ぐため、不凍液入りのウォッシャー液を使用してください。

スリップしやすい路面での運転

降雪や路面凍結のおそれがあるときは、ロードホールディングを最適化するため、ボルボ社ではすべての車輪へのウインタータイヤの装着をお薦めします。

注意

一部の国では、ウインタータイヤの使用が法律によって義務付けられています。一部の国では、スタッドタイヤの使用が禁止されています。

スリップしやすい路面での運転を体験してください。安全で、なおかつスリップしやすい場所を選んで運転し、車両がどのような動きをするか体験してください。

関連情報

- クーラントの補充（p. 598）
- エンジンオイルに対して過酷な走行条件（p. 646）
- メインバッテリー（p. 609）
- ウインタータイヤ（p. 578）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 609）
- ワイパーブレードの交換（p. 607）
- パーキングエアコンディショナー*（p. 252）
- ウインドおよびドアミラーのデフロスターのオン/オフ（p. 240）
- ドライブモード*（p. 472）
- フットブレーキ（p. 479）
- AWD(全輪駆動車)*（p. 479）
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール ESC（p. 323）

燃料給油口フラップの開閉と給油

燃料タンクには、給油キャップのない燃料給油口システムが取り付けられています。

燃料給油口フラップの開閉

燃料給油口フラップを開くには、車両をロック解除しておく必要があります。

ドライバーディスプレイでは、タンクシンボルの横にある矢印が車両のどちら側に燃料給油口フラップがあるかを示しています。

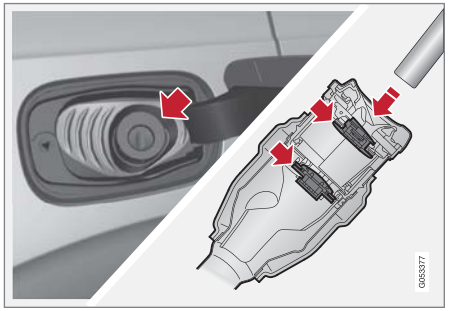
1. 燃料給油口フラップの後部を軽く押して、フラップを開けます。
2. 給油が完了したら、フラップを軽く押して閉めます。

ガソリンスタンドでの給油

重要

- ディーゼルエンジン搭載車にディーゼル以外の燃料を補給しては絶対にいけません。
- ガソリンエンジン搭載車にガソリン以外の燃料を補給しては絶対にいけません。
- 指定グレードの燃料を使用してください。

誤った燃料を少量でも使用すると、燃料系統やエンジンが損傷するおそれがあります。



給油は以下の手順で行ってください。

1. 車両をオフにして、燃料給油口フラップを開けます。
2. 車両への使用が承認されている燃料を使用してください。承認されている燃料の詳細については、「ガソリン」および「ディーゼル」のそれぞれの項を参照してください。
3. ポンプのノズルを燃料給油口に差し込みます。フィラーパイプには、開く 2 つのフラップがあります。必ず両方のフラップの奥までポンプのノズルを押し入れてから、給油を開始してください。
4. 燃料タンクに燃料を入れすぎないようにご注意ください。給油機が最初に自動停止した時点で、給油をやめてください。
   > 燃料は満タンです。

注意

過度に給油すると、気温の高いときはタンク内の燃料が膨張して漏れ出すおそれがあります。

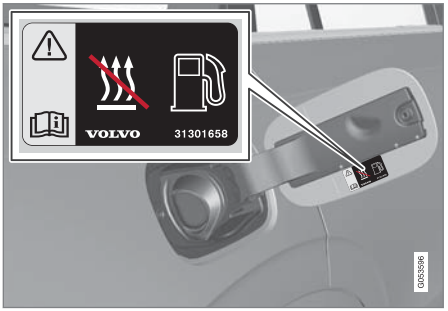
燃料容器での給油 [8]

燃料容器を使用して補給する場合、トランクルーム/カーゴスペース内のフロアハッチの下にある漏斗を使用してください。

1. 燃料給油口フラップを開けます。
2. 漏斗を燃料給油口に差し込みます。フィラーパイプには、開く 2 つのフラップがあります。必ず両方のフラップの奥まで漏斗のパイプを押し入れてから、給油を開始してください。

ラベル

ガソリンスタンド付近では、絶対にフューエルドリブンヒーターを使用しないでください。



燃料給油口フラップの内側のラベル

関連情報

- 燃料の取り扱い（p. 495）
- ガソリン（p. 496）
- ディーゼル（p. 496）
- 燃料計（p. 142）

[8] ディーゼルエンジン搭載車のみに適用されます。

燃料の取り扱い

エンジン出力の低下や燃費の悪化を招くため、ボルボ社が指定するグレードに満たない燃料は使用しないでください。

⚠ 警告

燃料の微粒子を吸い込んだり、燃料の飛沫が目に入らないように、注意してください。

万が一、燃料の飛沫が目に入った場合、コンタクトレンズを使用している際はコンタクトレンズを取り出して、十分な流水で最低 15 分間目を濯いだ後、医師による診察を受けてください。

燃料は絶対に誤飲しないでください。ガソリン、バイオエタノール、これらの混合物およびディーゼル燃料は毒性が非常に強く、飲み込んだ場合、永久的な障害、あるいは死にいたるおそれがあります。万が一、燃料を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

地面にこぼれた燃料が、引火するおそれがあります。

燃料を補給する前に、フューエルドリブンヒーターのスイッチを必ずオフにしてください。(該当車両)

絶対に電源の入った携帯電話を携帯して燃料を補給しないでください。受発信の際の微弱な電流から出る火花により燃料蒸気に引火して、火災やヤケドを負うおそれがあります。

重要

異なるタイプの燃料を混合した場合や、推奨されていない燃料を使用した場合には、ボルボの保証およびその他のサービス契約はすべて無効になります。これは、どのエンジンにも当てはまります。

注意

悪天候、トレーラーをけん引しながらあるいは標高の高い地域での走行、不適切な燃料の使用などが組み合わさると、車両が本来の性能を発揮できない場合があります。

関連情報

- ガソリン（p. 496）
- ディーゼル（p. 496）
- 燃料給油口フラップの開閉と給油（p. 493）
- 経済走行（p. 499）

ガソリン

ガソリンはガソリンエンジン搭載車用のエンジン燃料です。

大手メーカーのガソリンのみを使用してください。品質が疑われるような燃料は、絶対に使用しないでください。ガソリンは、EN 228 または JIS K 2202 規格に適合している必要があります。

重要

- エタノール含有量が体積パーセントで10%以下の燃料が使用できます。
- JIS K2202 E3、JIS K2202 E10 および EN 228 E10 ガソリン(体積パーセントで10%以下のエタノール混合)は使用が許可されています。
- エタノールの混合率が E10(体積パーセントで 10%以下のエタノール混合)よりも高い燃料(例：E85)は使用が禁止されています。

オクタン価

- 通常の走行条件では、95 RON 以上を使用することができます。
- 性能を最適化し、燃料消費量を低減するため、98 RON の使用をお薦めします。

外気温が+38 ℃以上の天候下で走行する場合は、性能を最適化して燃費をよくするため、もっとも高いオクタン価のガソリンを使用してください。

重要

- 触媒コンバーターが損なわれないよう、必ず無鉛ガソリンを使用してください。
- 金属添加物の含まれている燃料は使用しないでください。
- ボルボ社が推奨していない燃料添加剤は一切使用しないでください。

関連情報

- 燃料の取り扱い (p. 495)
- 燃料給油口フラップの開閉と給油 (p. 493)

ディーゼル

ディーゼルはディーゼルエンジン搭載車用のエンジン燃料です。

大手メーカーのディーゼル燃料のみを使用してください。品質が疑われるような燃料は、絶対に使用しないでください。EN 590、SS 155435、または JIS K 2204 規格に適合しているディーゼル燃料のみ使用してください。ディーゼルエンジンは、燃料の汚染(過剰な量の硫黄や金属など)に敏感です。

寒冷時(0 ℃未満)は、ディーゼル燃料の中にパラフィンが析出して、着火不良の原因となることがあります。販売されている燃料の品質は季節および気候帯により調整されていますが、極端な気象条件や古い燃料、異なる気候帯の移動が原因でパラフィンが析出することがあります。

タンク内の燃料の量が多ければ、凝結水の発生が防止できます。

給油時はフューエルフィラーパイプの周囲が汚れていないか点検してください。塗装面に燃料をこぼさないようにご注意してください。塗装面にこぼれた燃料は、洗剤と水を使用して洗い流してください。

重要

ディーゼル燃料の条件：

- EN 590、SS 155435 または JIS K 2204 規格に適合している
- 硫黄含有量が 10 mg/kg 以下である
- FAME[9] (B7)が 7 vol %以下である

重要

次のようなディーゼル燃料は、絶対に使用しないでください：

- 特殊な燃料添加剤
- 船舶用ディーゼル燃料
- 暖房用の油
- FAME[10] および植物油

これらの燃料はボルボ社の推奨基準に達しておらず、摩耗を早め、エンジンが損傷する原因になります。不正な燃料を使用したことが原因で発生した損傷には、ボルボ社の保証は適用されません。

関連情報

- ディーゼルエンジン車のタンクが空になった場合（p. 497）
- ディーゼル微粒子除去フィルター（p. 498）

ディーゼルエンジン車のタンクが空になった場合

燃料切れでエンジンがストールした場合には、燃料システムを点検する必要があります。

燃料タンクにディーゼル燃料を注入した後、エンジンを始動する前に以下の手順に従ってください。

1. リモートコントロールキーを車内に置いておく必要があります。
2. 車両をイグニッション位置 II にします - ブレーキペダル(マニュアルトランスミッション車の場合はクラッチペダル)を踏み込むことなくスタートノブを時計回りに回し、スタートノブをそのまま約 4 秒間保持します。ノブを放します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。
3. 約 1 分間待ちます。
4. エンジンを始動します。ブレーキペダルを踏み込み、スタートノブを再度時計回りに回します。

9 脂肪酸メチルエステル
10 FAME (B7)が 7 vol %以下のディーゼル燃料を使用できます。

注意

燃料が切れて、燃料を補給する前に：

- できる限り平坦な地面に停車してください。車両が傾いていると、燃料供給部分にエアポケットができる可能性が高くなります。

燃料容器から補給する場合の留意事項

燃料容器から補給する場合、トランクルーム/カーゴスペース内のフロアハッチの下にある漏斗を使用してください。漏斗をフィラーパイプにしっかりと差し込んでください。フィラーパイプには開閉式のカバーが付いています。漏斗のパイプをカバーの奥まで入れてから給油を開始してください。

関連情報

- ディーゼル（p. 496）
- 燃料消費量および CO2 排出量（p. 650）

ディーゼル微粒子除去フィルター

ディーゼルエンジン車には、排出ガスを効果的に浄化するためにディーゼル微粒子除去フィルターが装備されています。

通常の走行時、排出ガス中の粒子状物質がディーゼル微粒子除去フィルターに集められます。条件が満たされると、再生による粒子状物質の焼却が開始され、フィルターが空になります。再生を開始するには、エンジンが通常作動温度に達している必要があります。ディーゼル微粒子除去フィルターの再生は自動で行われ、通常 10～20 分かかります。

注意

再生中は、以下のような状況が発生する場合があります。

- 一時的にエンジン出力のわずかな減少が感じられる
- 燃費が一時的に上昇する
- 焦げたような臭いがする

冷寒時にパーキングヒーター*を使用すると、エンジンをより早く正常な作動温度にすることができます。

重要

フィルターに微粒子が詰まると、エンジンの始動が困難になる場合や、フィルターが機能しなくなる場合があります。この結果、フィルターの交換が必要になる場合があります。

ディーゼル車で短距離を低速走行する場合

ディーゼル排出ガス浄化システムの能力は、車両の運転方法による影響を受けます。性能を最大限に引き出すためには、さまざまな速度である程度の距離を走行することが重要です。

低速で(または寒冷時に)短距離を走行する機会が多い場合、エンジンが通常作動温度に達しないことにより、問題が発生して、最終的に不具合が発生し、警告メッセージが表示されるおそれがあります。車両を主に市街地走行に使用する場合、やや高めの速度で運転する機会を定期的に設けて、ディーゼル排出ガス浄化システムが再生できるようにすることが重要です。

- 給油から次の給油までの間に、60 km/h (38 mph)を超える速度で主要幹線道路を 20 分以上走行する必要があります。

関連情報

- ディーゼル（p. 496）

* オプション/アクセサリー。

経済走行

先を予測して、運転スタイルと速度をそのときどきの交通状況に合わせながらスムーズに運転することで、環境に優しい、経済的な走行をすることができます。

- 燃料消費量をさらに低く抑えるために、Ecoドライブモードをオンにしてください。
- Eco Coast[11] フリーホイール機能を使用してください。エンジンブレーキが解除され、車両の運動エネルギーを使用して、惰性走行の距離を伸ばすことができます。
- 走行条件に合わせ、できるだけ高いギヤ[12]で走行してください。エンジン回転が低ければ、燃料消費量も少なくなります。ギヤシフトインジケーターを使用してください。
- 一定の速度で走行し、他の車両や障害物との間に十分な距離を確保して、ブレーキ操作を最小限に抑えてください。
- 高速走行では、燃料消費量が増加します。速度が速くなると、空気抵抗が大きくなります。
- 正しいタイヤ空気圧で走行し、空気圧は定期的に点検してください。最適な結果を得るために、ECOタイヤプレッシャーを選択してください。
- 使用するタイヤにより、燃費が変わります。適切なタイヤに関する情報は、ディーラーにお問い合わせください。
- 不必要な荷物は車両から取り出してください。荷物が多いほど、燃料消費も多くなります。
- 他の道路使用者に支障を与えない場合は、エンジンブレーキを有効に使用して減速してください。
- ルーフ上にスペースボックスや荷物などを載せて走行すると、風の抵抗が大きくなり、燃料消費量が増加します。使用していないロードキャリアは取り外してください。
- 不必要に、パワーウインドを開けて走行しないでください。

⚠ 警告

下り坂走行時などであっても、車が動いている間はけっしてエンジンを停止しないでください。パワーステアリングやブレーキサーボといった重要なシステムが作動しなくなります。

関連情報

- ECOドライブモード（p. 475）
- 承認タイヤ空気圧（p. 651）
- 燃料消費量およびCO2排出量（p. 650）
- Drive-E – さらにクリーンに走る喜びを（p. 26）

11 「ECOドライブモード」の項を参照してください。
12 マニュアルギヤチェンジによる走行に適用されます。

トーイングブラケット*

車両にはトーイングブラケットを装着することができます。トーイングブラケットを装着すると、トレーラーなどをけん引できるようになります。

この車両では複数の種類のトーイングブラケットを使用することができます。詳しくはボルボディーラーにお問い合わせください。

けん引能力およびトウボール荷重については、「けん引能力およびトウボール荷重」の項を参照してください。

重要

エンジンを停止したとき、メインバッテリーが放電しないように、トレーラーコネクターへの常時バッテリー電圧供給を自動的に停止することができます。

重要

摩耗防止のため、トウボールは定期的な清掃とグリースによる潤滑が必要です。

注意

振動ダンパー付きのヒッチを使用する際には、トウボールは絶対にグリースを塗らないでください。

トウボールにクランプ固定するタイプのサイクルキャリアを取り付ける場合も同様です。

注意

トーイングブラケット装備車の場合、けん引フック用のリアマウンティングはありません。

関連情報

- トレーラーなどのけん引（p. 503）
- けん引重量およびトウボール荷重（p. 642）
- トレーラー・スタビリティ・アシスト*（p. 506）
- トーイングブラケット*の仕様（p. 502）
- 格納式トウバー*（p. 500）

格納式トウバー*

格納式トウバーはいつでも簡単にアクセスすることができ、必要に応じて、簡単に引き出す/格納することができます。格納位置にすると、トウバーは完全に隠れます。

警告

トーイングブラケットの伸縮方法の指示に慎重に従ってください。

トウバーの引き出し

警告

トウバー伸長時は、車両後方のバンパー中央付近に立たないようにしてください。

1. テールゲートを開きます。トウバーの引き出し/格納用ボタンはカーゴスペース後部の右側にあります。引き出し機能を作動させるには、ボタンのインジケーターがオレンジ色で点灯している必要があります。

2. ボタンを押して放します。ボタンを長く押しすぎると、引き出し動作が始まらないことがあります。
   > トウバーが引き出され、ロック解除位置まで下がります。インジケーターランプがオレンジ色で点滅します。

⚠ 警告

トレーラーがトーイングブラケットに接続されている場合には、引き出し/格納用ボタンを押さないでください。

ⓘ 注意

トウバーをロック位置に動かすためには、その前にトウバーの引き出し手順を終えておく必要があります。この手順には数秒かかることがあります。トウバーがロック位置に固定されない場合、数秒待ってからやり直してください。

3. トウバーを最終位置まで動かします。トウバーは所定の位置で固定およびロックされます。インジケーターランプがオレンジ色で点灯します。
   > トウバーは使用できる状態になりました。

⚠ 警告

トレーラーのセーフティケーブルは必ず適切なブラケットに接続してください。

注意

しばらくすると、省エネモードが起動し、インジケーターランプが消灯します。トランクリッド/テールゲートを閉じて開くと、システムはオンに戻ります。トーイングブラケットの格納または引き出し時に適用されます。

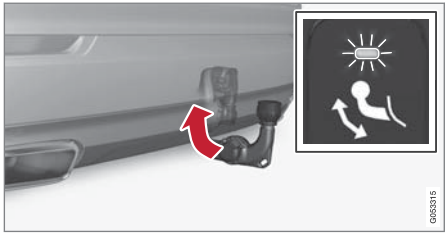
車両がトレーラーの接続を電気的に検知すると、インジケーターランプは点灯を停止します。

トウバーの格納

重要

トーイングブラケットを格納する場合、電源ソケットにプラグまたはアダプターがないことを確認してください。

1. テールゲートを開きます。カーゴスペースの右後部にあるボタンを押して放します。ボタンを長く押しすぎると、格納動作が始まらないことがあります。
   > トウバーがロック解除位置まで自動的に下がります。ボタンのインジケーターランプがオレンジ色で点滅します。



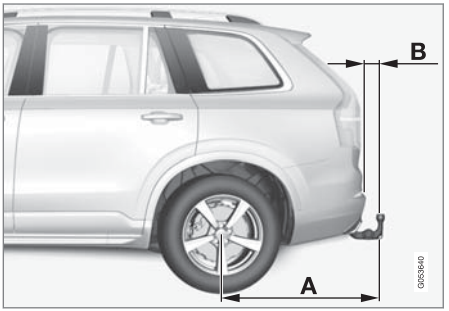
2. トーイングブラケットを格納位置まで動かしてロックします。
   > トーイングブラケットが正しく格納されたら、インジケーターランプが点灯に変わります。

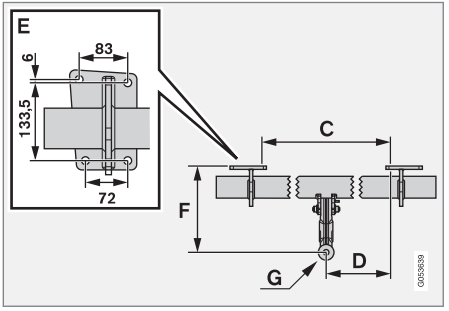
関連情報

- トーイングブラケット*（p. 500）
- トーイングブラケット*の仕様（p. 502）

トーイングブラケット*の仕様

トーイングブラケットの寸法およびマウンティングポイント





＊ オプション/アクセサリー。

マウンティングポイントの寸法(mm)	
A	1,476
B	86
C	875
D	437.5
E	前図参照
F	273
G	ボールセンター

関連情報
- トーイングブラケット*（p. 500）

トレーラーなどのけん引
トレーラーを使用した走行では、トーイングブラケットやトレーラー、トレーラー内の荷物の配置について、考慮すべき重要なポイントがいくつかあります。

最大許容重量は、車両重量により異なります。乗員およびトウバーなど車両に装着されているアクセサリーの総重量の分だけ、最大許容重量が小さくなります。

車両には、トレーラーのけん引に必要な装置が付属しています。

- 認定されたタイプのトーイングブラケットをご使用ください。
- トウボールにかかる荷重が最大荷重を超えないように、トレーラー内の重量を配分してください。トウボール荷重は車両の最大許容重量の一部として計算されます。
- タイヤの空気圧は、定員乗車時の推奨空気圧に調節してください。タイヤ空気圧については、「承認タイヤ空気圧」の項を参照してください。
- トレーラーなどのけん引時は、エンジンに通常の場合よりも大きい負荷がかかります。
- 新車時は、重いトレーラーなどのけん引をひかえてください。少なくとも 1,000 km (620 miles)走行するまでお待ちください。
- 長い急な下り坂では、ブレーキに通常よりも大きな負担がかかります。手動でシフトするときにシフトダウンして、速度を調節してください。
- 速度と重量に関する規則を厳守してください。
- トレーラーをけん引して勾配の急な長い坂道を上るときは、低速で走行してください。
- 規定の最大トレーラー重量は、海抜 1,000 m (3,280 ft)以下の高度でのみ適用されます。これよりも高い場所では、空気密度の低下に伴いエンジン出力および登坂能力が低下するため、最大トレーラー重量を減らす必要があります。高さが 1,000 m (3,280 ft) (またそれ未満)高くなるごとに、車両およびトレーラーの重量を 10%ずつ減らす必要があります。
- 道路の勾配が 12%を超える場合は、トレーラーなどのけん引を行わないでください。

注意

悪天候、トレーラーをけん引しながらの走行、あるいは標高の高い地域での走行と不適切な燃料の使用などが組み合わさると、車両の燃料消費量が大幅に増加します。

トレーラーコネクター
車両のトーイングブラケットのコネクターが 13 ピンコネクターで、トレーラーのコネクターが 7 ピンコネクターの場合は、アダプターが必要です。ボルボ社が認可したアダプターを使用

してください。ケーブルが地面に触れていないことを確認してください。

重要

エンジンを停止したとき、メインバッテリーが放電しないように、トレーラーコネクターへの常時バッテリー電圧供給を自動的に停止することができます。

トレーラーの重量

ボルボの最大許容トレーラー重量については、「けん引能力およびトウボール荷重」の項を参照してください。

警告

けん引に関する重量の注意事項を厳守してください。緊急回避操作や急ブレーキ時に、車両が操縦不能となるおそれがあります。

注意

このマニュアルに記載されたトレーラーの最大許容重量は、ボルボ社が指定した重量です。各国の法律によって、トレーラーの最大許容重量やトレーラーけん引時の最高速度が厳しく制限されている場合があります。トウバーによっては、車両が実際にけん引できる重量よりも大きい最大許容荷重が認定されているものもあります。

オートレベライザー*

車両のオートレベライザーシステムは積載物(最大許容重量以下)に関係なく一定の車高を維持しようとします。停車時は、リアサスペンションが少し下がりますが、これは異常ではありません。

起伏の激しい地域や気温が高い状況で走行する場合

状況により、トレーラーのけん引中にオーバーヒートするおそれがあります。オーバーヒートを起こすと、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されると共に警告灯が点灯します。「エンジンおよび駆動システムのオーバーヒート」の項を参照してください。

オートマチックトランスミッションは、負荷とエンジン回転速度に合った適切なギヤを選択します。

急勾配の坂

オートマチックトランスミッションをエンジンに無理な負担がかかるような高いギヤで固定しないでください。つねに高いギヤでエンジン回転速度を低めに保つことがよいとは限りません。

坂道での駐車

1. ブレーキペダルを一番奥まで踏み込みます。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. ギヤポジション **P** を選択します。
4. ブレーキペダルから足を離します。

トレーラーを接続した状態でやむをえず坂道に駐車する場合は、必ず輪止めを使用してください。

坂道発進

1. ブレーキペダルを一番奥まで踏み込みます。
2. ギヤポジション **D** を選択します。
3. パーキングブレーキを解除します。
4. ブレーキペダルから足を離し、発進します。

関連情報

- トーイングブラケット*(p. 500)
- トレーラーランプ(p. 505)
- けん引重量およびトウボール荷重(p. 642)
- トレーラー・スタビリティ・アシスト*(p. 506)
- 承認タイヤ空気圧(p. 651)
- 低速コントロール*(p. 487)
- エンジンおよび駆動システムのオーバーヒート(p. 490)

トレーラーランプ

トレーラーを接続している場合 – 出発前に、トレーラーランプがすべて機能することを確認してください。

トレーラーの方向指示器とブレーキランプ

トレーラーの方向指示器またはブレーキランプバルブが 1 つ以上故障している場合、ドライバーディスプレイにシンボルとメッセージが表示されます。トレーラーのその他のランプについては、出発前に運転者が手動で点検する必要があります。「トレーラーランプの点検」の項を参照してください。

シンボル	メッセージ
	• **ﾄﾚｰﾗｰ方向指示灯 右側ウインカーに 不具合があります** • **ﾄﾚｰﾗｰ方向指示灯 左側ウインカーに 不具合があります**
	• **ﾄﾚｰﾗｰﾌﾞﾚｰｷﾗｲﾄ 故障**

トレーラーの方向指示器のランプに不具合が発生すると、ドライバーディスプレイの方向指示器シンボルも通常より速く点滅します。

トレーラーのリアフォグランプ

トレーラーを接続しているときには、車両のリアフォグランプが点灯しないことがあります。この場合、リアフォグランプ機能はトレーラーに切り替わります。したがって、リアフォグランプを使用する場合、安全に走行するために、トレーラーにリアフォグランプが装備されていることを確認してください。

トレーラーランプの点検*

自動点検

トレーラーを電気的に接続した後に、オートランプ作動を使用してトレーラーランプが作動しているかを点検することができます。この機能は、出発前にトレーラーランプの作動を確認するのに役立ちます。

この点検は、エンジンを停止にした状態で行う必要があります。

1. トレーラーをトーイングブラケットに接続すると、ドライバーディスプレイに **自動トレーラーランプ検査** メッセージが表示されます。
2. ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの **0** ボタンを押して、メッセージを確認します。
   › ランプチェックが始まります。
3. 車外へ出て、ランプの機能を点検します。
   › すべてのトレーラーランプが点滅を開始します。その後ランプは一度に 1 つずつ点灯します。
4. トレーラーのすべてのランプが正常に機能することを目視で確認します。
5. しばらくすると、トレーラーのすべてのランプが再点滅します。
   › これで点検は完了です。

自動点検をオフにする

自動点検機能は、センターディスプレイでオフにすることができます。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ライトと照明** をタップします。
3. **自動トレーラーランプ検査** の選択を解除します。

手動点検

自動点検がオフになっている場合、手動で点検をすることができます。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ライトと照明** をタップします。
3. **手動トレーラーランプ検査** を選択します。
   › ランプチェックが始まります。車外へ出て、ランプの機能を点検します。

▸▸

関連情報
- トレーラーなどのけん引（p. 503）
- トーイングブラケット*（p. 500）

トレーラー・スタビリティ・アシスト*

トレーラー・スタビリティ・アシスト(TSA[13])は、蛇行し始めた場合に車両とトレーラーを安定させる機能です。この機能はスタビリティ・システム ESC[14] に含まれています。

蛇行の原因

蛇行は、どのような車両とトレーラーの組み合わせでも発生します。通常、蛇行は高速走行時に発生します。しかし、トレーラーに過剰な負荷がかかっている場合や、積荷の配分が不適切(後に偏っている)な場合、低めの走行速度でも発生するおそれがあります。

蛇行が発生する要因として、次のようなものがあります。

- トレーラーをけん引している車両が、強い突風を横から受けた場合。
- 起伏のある道や、穴の上を走行した場合。
- 急なハンドル操作。

いったん蛇行が発生してしまうと抑制するのは非常にむずかしく、抑制できない場合もあります。こうなると車両およびトレーラーの運転操作が困難になり、別車線にはみ出したり、車道を逸脱するおそれがあります。

トレーラー・スタビリティ・アシスト機能

トレーラー・スタビリティ・アシスト機能は、車両の動き(特に横方向の動き)を連続的に監視します。蛇行を感知すると前輪の左右個別にブレーキをかけ、車両およびトレーラーの安定化を図ります。多くの場合、この段階で車両の制御が回復します。

トレーラー・スタビリティ・アシストの最初の動作で蛇行が解消されない場合は、車両およびトレーラーのすべての車輪にブレーキがかかり、エンジン出力が低減されます。蛇行が徐々に治まり、車両およびトレーラーが安定すると、システムは停止します。これで、運転者は車両を再び完全に制御できるようになります。

ⓘ 注意

運転者がセンターディスプレイのメニューシステムで **横滑り防止装置** を解除してスポーツモードを選択すると、スタビリティ機能は解除されます。

運転者が蛇行を修正しようとして、ハンドルを激しく操作すると、トレーラー・スタビリティ・アシストが作動しない場合があります。トレーラーと運転者のどちらが蛇行の原因であるのかをシステムが判断できないためです。

13 Trailer Stability Assist
14 Electronic Stability Control（エレクトロニック・スタビリティ・コントロール）

トレーラー・スタビリティ・アシストの作動中は、ドライバーディスプレイに **ESC** シンボルが点滅します。

関連情報

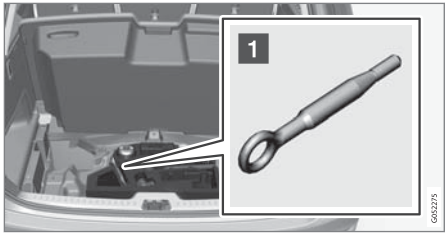
- トレーラーなどのけん引（p. 503）
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール ESC（p. 323）

けん引フック

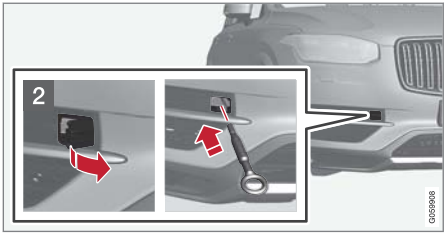
けん引にはけん引フックを使用します。けん引フックは、フロントまたはリアバンパーの右側にある、カバーがついたネジ式のソケットに取り付けます。

> **注意**
>
> トーイングブラケット装備車の場合、けん引フック用のリアマウンティングはありません。

けん引フックの取付け

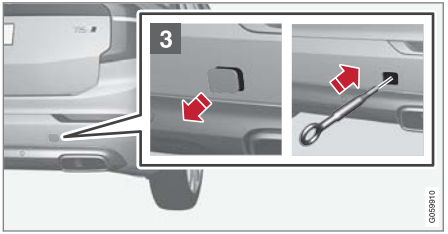


1 けん引フックをカーゴスペースのフロアハッチの下にあるフォームブロックから取り出します。



2 フロント：カバーを取り外すには、カバーの短辺の 1 つにあるマークを使用します。

› カバーは中心線を軸に旋回させて取り外すことができます。



3 リア：カバーを取り外すには、指でマークを押しながら、同時にコインなどを使用して反対側/隅部を引き出します。

› カバーは中心線を軸に旋回させて取り外すことができます。

4. けん引フックが止まるまでねじ込みます。ホイールレンチ*を使用するなどして、けん引フックを確実に取り付けてください。

重要

けん引フックを所定の位置にしっかり止まるまでねじ込むことが重要です。

けん引フックは、使用後に必ず取り外して、元の位置に戻してください。

最後にカバーを忘れずにバンパーに付け直してください。

レッカー車の平台へ車両を引き上げるときには、けん引フックを使用できる場合があります。車両の位置と車高により、使用の可否が決まります。

レッカー車のスロープの傾斜が急すぎる場合、または車高が十分でない場合、けん引フックで車両の引き上げを試みると、車両が損傷するおそれがあります。

必要に応じて、レッカー車のリフティング装置を使用して車両を持ち上げます。けん引フックは使用しないで下さい。

警告

車両をレッカー車の平台へ引き上げる際は、レッカー車の後ろに人が立っていたり、物が置かれていてないか必ず確認してください。

重要

けん引フックは、路面での車両のけん引専用です。溝に落ちた車両の引き上げなどには**使用しないで**ください。車両移動が必要な場合は、レッカーサービスに連絡して救援を求めてください。

関連情報

- けん引（p. 508）
- 車両移動（p. 510）

けん引

けん引では、けん引ロープを使用して車両をもう 1 台の車両がけん引します。

けん引を行う前に、必ず法律で定められている制限速度などを確認してください。

準備およびけん引

1. 車両の非常点滅灯を作動させます。
2. ロープをけん引フックに固定します。
3. 車両をロック解除して、ステアリングロックを解除します。

注意

イグニッション位置 II では、車両がロック解除されると、ステアリングロックが解除されます。詳しくは、「イグニッション位置」の項を参照してください。

4. スタートノブを時計回りに回し、そのまま約 4 秒間保持して、イグニッション位置 II にします。ノブを放します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。

   エンジンを始動させることなく II レベルにするには、イグニッション位置を選択するときに、ブレーキペダル(マニュアルトランスミッション車の場合はクラッチペダル)を踏み込まないでください。

* オプション/アクセサリー。

5. ギヤセレクターレバーをニュートラル **N** に入れ、パーキングブレーキを解除します。

   バッテリー電圧が低すぎる場合、パーキングブレーキを解除することができません。バッテリーの電圧が異常に低い場合には、他車などのバッテリーを接続してください。

   › これでけん引車はけん引を開始することができます。

6. けん引車の速度が低下した場合には、不必要な急な引きを避けるために、ブレーキペダルを軽く踏み、ロープが張った状態を保ちます。

7. 足は必ずブレーキペダルに置いて、いつでも踏める状態にしてください。

重要

必ず車両の前進方向にのみ、けん引してください。

- オートマチックトランスミッション車はけん引時の走行速度 80 km/h (50 mph)以下、けん引距離 80 km 以内を厳守してください。

警告

- けん引を開始する前に、ステアリングホイールロックが解除されていることを確認してください。
- イグニッション位置 **II** にしておく必要があります。イグニッション位置 **I** では、すべてのエアバッグの作動が解除されます。
- けん引するときには、必ずリモートコントロールキーを車内に置いたままにしてください。

警告

エンジンが OFF になっているとブレーキサーボやパワーステアリングが機能しません。ブレーキペダルを踏み込むには約 5 倍の力が必要となり、ステアリングも通常よりかなり重く感じられます。

ジャンプスタート

けん引によって、エンジンを始動させないでください。メインバッテリーの消耗が著しいためにエンジンを始動できない場合、補助バッテリーを使用してください。「別のバッテリーによるジャンプスタート」の項を参照してください。

重要

エンジンをけん引始動しようとすると、触媒コンバーターに損傷が発生するおそれがあります。

関連情報

- 三角警告板(停止表示板) (p. 580)
- けん引フック (p. 507)
- 車両移動 (p. 510)
- 別のバッテリーによるジャンプスタート (p. 461)
- イグニッション位置 (p. 457)

車両移動

車両移動が必要な場合、別の車両の助けを借りて車両を移動します。

レッカー移動が必要な場合は、レッカーサービスに連絡して救援を求めてください。

レッカー車の平台へ車両を引き上げるときには、けん引フックを使用することができます。

オートレベライザー*装備車に適用されます。エアサスペンション装備車の場合、ジャッキで車両を持ち上げる前にエアサスペンション機能を解除する必要があります。この機能はセンターディスプレイを使用してオフにしてください。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car** ➔ **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷおよびｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ** をタップします。
3. **レベリング制御の解除** を選択します。

車両の位置と車高により、平台への引き上げの可否が決まります。レッカー車のスロープの傾斜が急すぎる場合、または車高が十分ではない場合、車両の引き上げを試みると、車両が損傷するおそれがあります。この場合、レッカー車のリフト装置を使用して車両を持ち上げる必要があります。

⚠ 警告

車両をレッカー車の平台へ引き上げる際は、レッカー車の後ろに人が立っていたり、物が置かれていてないか必ず確認してください。

重要

けん引フックは、路面での車両のけん引専用です。溝に落ちた車両の引き上げなどには**使用しないで**ください。車両移動が必要な場合は、レッカーサービスに連絡して救援を求めてください。

重要

必ず車両の前進方向にのみ、けん引してください。

関連情報

- けん引（p. 508）
- けん引フック（p. 507）

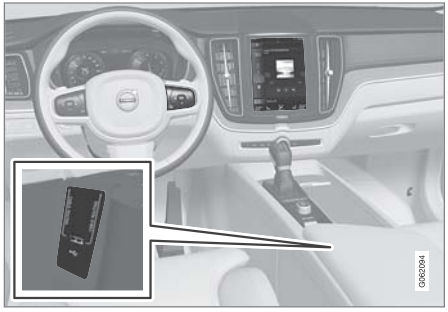
* オプション/アクセサリー。

オーディオ・メディア

オーディオ・メディア

オーディオ・メディアシステムは、メディアプレーヤーおよびラジオで構成されます。Bluetooth 経由で携帯電話を接続すると、車内でハンズフリー機能を使用したり、ワイヤレスで音楽を再生したりすることもできます。車両がインターネットに接続されているときには、アプリを使用してメディアを再生することもできます。

機能の操作には、音声、ステアリングリモコンまたはセンターディスプレイを使用します。スピーカーとアンプの数は、車両に装備されているオーディオシステムにより異なります。



システムアップデート

オーディオ・メディアシステムはつねに更新されています。車両がインターネットに接続しているときには、機能を最適化するためのアップデートをダウンロードすることができます。「システムアップデート」の項と support.volvocars.com を参照してください。

関連情報

- メディアプレーヤー（p. 516）
- ラジオ（p. 514）
- 電話（p. 532）
- オンライン車両*（p. 539）
- アプリ（p. 512）
- イグニッション位置（p. 457）
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル（p. 46）
- 音声認識（p. 159）
- システムアップデート（p. 589）
- オーディオ・メディアのライセンス契約（p. 546）

アプリ

アプリケーション（アプリ）を使用すると、車両の一部のサービスが利用しやすくなります。

アプリケーションビュー（一般的な画像。基本アプリは市場およびモデルにより異なります）

一部の基本的なアプリは常時利用できます。車両がインターネットに接続されている場合、さらにアプリをダウンロードすることができます。ダウンロード可能なアプリには、インター

* オプション/アクセサリー。

ネットラジオやミュージックサービスなど、さまざまな種類があります。

一部のアプリは、車両がインターネットに接続されている場合にのみ使用できます。

– アプリビューでアプリをタップして起動します。

関連情報

- オンライン車両*（p. 539）
- アプリのダウンロード､アップデートおよびアンインストール（p. 544）
- アプリの設定を変更する（p. 223）

オーディオ設定

オーディオシステムは､最適な音の再生ができるようにプリセットされていますが､必要に応じて調節することができます。

通常、音量の調節には、センターディスプレイの下にある音量調節コントロールまたはステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用します。

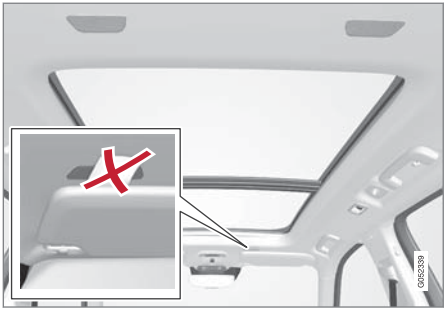
最適な音の再生の設定

オーディオシステムは、デジタル信号処理技術を利用し、再生音質を最適化するように事前に校正されています。車両のモデルとオーディオシステムのコンビネーションから生まれるサウンド特性に合わせ、スピーカー、アンプ、車内音響、乗員の着座位置などを考慮した校正が施されています。車速と音量調節の設定を考慮するダイナミック校正もあります。

オーディオ設定については、オーナーズマニュアルの関連セクションで説明されています。設定にアクセスするには、トップビューを開き、**設定 ➔ サウンド** の順にタップします。

アクティブノイズリダクション*

一部の車両には、オーディオシステムを使用して車内のエンジンノイズを低減するアクティブノイズリダクション機能が搭載されています。ルーフに搭載されているマイクが不快なノイズを検知し、オーディオシステムがノイズを打ち消す信号を出力して、ノイズを低減します。



車両ルーフのマイク

注意

車両のマイクに物を被せないでください。

関連情報

- メディアのオーディオ設定（p. 523）
- 音声認識の設定（p. 161）
- 電話の設定（p. 538）
- オーディオ・メディア（p. 512）
- オンライン車両*（p. 539）

ラジオ

AM ラジオおよび FM ラジオを受信することができます。オンライン車両の場合、インターネットラジオを受信することもできます。

ラジオは音声認識、ステアリングホイールのステアリングリモコン、またはセンターディスプレイで操作することができます。

関連情報

- ラジオ放送局の変更および検索（p. 514）
- オンライン車両*（p. 539）
- ラジオおよびメディアの音声認識操作（p. 162）
- メディアプレーヤー（p. 516）
- ラジオの設定（p. 516）

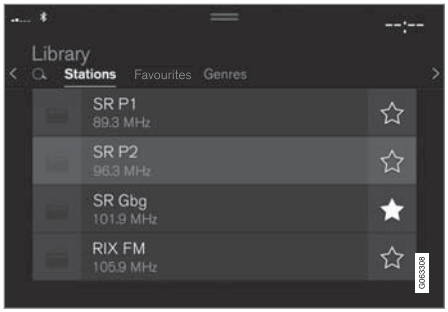
ラジオ放送局の変更および検索

ラジオは、地域内でもっとも強い信号を送信しているラジオ放送局のリストを自動的に作成します。

ラジオの起動

1. アプリビューから必要なバンド(**FM** など)を開きます。
2. 放送局を選択します。

バンド内でリストを変更する



1. **ﾗｲﾌﾞﾗﾘ** をタップします。
2. **放送局**、**お気に入り** または **ジャンル** から再生を選択します。
3. リストから目的の放送局をタップします。

お気に入り – 選択したお気に入りのチャンネルのみを再生します。「お気に入り」を参照してください。

ジャンル – 選択したジャンル/内容(ポップス、クラシックなど)を放送しているチャンネルのみを再生します。

選択したリスト内で放送局を変更する

– センターディスプレイの下またはステアリングホイール右側のステアリングリモコンにある ⏮ または ⏭ を押します。

  › 選択したプレイリスト内でハイライトが上または下に 1 つ移動します。

センターディスプレイから放送局を変更することもできます。

お気に入り

– ☆ をタップすると、バンドのお気に入りおよびラジオのお気に入りのチャンネルを追加または削除することができます。

お気に入りが放送局リストから保存された場合、ラジオは自動的にもっとも良好な周波数を探します。ただし、お気に入りが手動放送局検索から保存された場合、ラジオが自動的にもっと良好な周波数に変更されることはありません。

同じバンド内のお気に入りから選択する方法については、「バンド内でリストを変更する」を参照してください。すべてのお気に入りの中から選択する方法については、「ラジオのお気に入り」を参照してください。

* オプション/アクセサリー。

ラジオのお気に入り

ラジオのお気に入りは、保存されたすべてのバンドからのお気に入りを表示します。

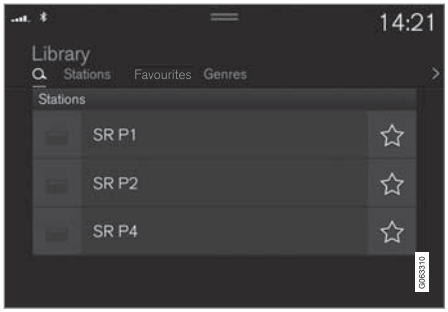
1. アプリビューからアプリ **お気に入りラジオ** を開きます。
2. リストで目的の放送局をタップして、放送を聞き始めます。

お気に入りを削除すると、バンドのお気に入りからも削除されます。

バンドを変更する

– アプリビューに戻って、必要なバンド(**FM** など)をタップするか、または右側のステアリングリモコンでアプリビューを開いて、そこから選択します。

ラジオ放送局を探す



検索可能なパラメーターは、選択されたバンドによって異なります。

- AM – 放送局および周波数
- FM – 放送局、ジャンルおよび周波数

1. **ﾗｲﾌﾞﾗﾘ** をタップします。
2. をタップします。
   > キーボード付き検索ビューが開きます。
3. 検索語を入力します。
   > 文字を入力するたびに検索が行われ、検索結果がカテゴリー別に表示されます。

手動選局

手動選局に変更すると、受信状態が良好ではない場合でもラジオ周波数は自動的に周波数を変更することがなくなります。

– **手動選局** をタップする、コントロールを引く、または または をタップする方法のいずれかで選択します。長押しすると、そのバンドで受信可能な次の放送局にジャンプします。ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用することもできます。

関連情報

- ラジオ (p. 514)
- ラジオおよびメディアの音声認識操作 (p. 162)

ラジオの設定

さまざまなバンドの設定

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの ◯ を押す、またはセンターディスプレイの **キャンセル** をタップすると、道路交通情報などの放送を一時的に中断することができます。

トップビューを下方向にドラッグして、**設定** ➔ **メディア** の順に選択し、目的のバンドを選択します。機能を起動/停止する。

AM/FM

- **放送情報を表示** – 番組内容、アーティストなどの情報を表示します。
- **プログラム名を固定** – 番組サービス名の連続スクロールを停止するときに選択します。代わりに、20 秒後に動きが止まります。
- **ニュース** – 現在のメディア再生を中断して、ニュースを放送します。ニュース放送が終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。
- **交通情報** – 現在のメディア再生を中断して、交通渋滞に関する情報を放送します。道路交通情報が終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。
- **地域的受信障害** – 現在のメディア再生を中断して、付近の交通渋滞に関する情報を放送します。道路交通情報が終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。**地域的受信障害** 機能は **交通情報** 機能を地理的に限定したバージョンです。同時に **交通情報** 機能をオンにする必要があります。
- **アラーム** – 現在のメディア再生を中断して、大事故や災害に関する警報を送信します。道路交通情報が終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。
- **交通情報** – 現在のメディア再生を中断して、交通情報を放送します。オフにすると、前のメディアソースの再生が再開します。

関連情報

- ラジオ（p. 514）
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル（p. 46）

メディアプレーヤー

メディアプレーヤーは、CD プレーヤー* のオーディオ、USB ポートまたは Bluetooth 経由で接続した外部オーディオソースのオーディオを再生することができます。USB ポートに接続したデバイスのビデオを再生することもできます。

車両がインターネットに接続されているときには、アプリ経由でインターネットラジオやオーディオブックを聞いたり、ミュージックサービスを利用したりすることもできます。

メディアプレーヤーではラジオも操作できます。ラジオについては、別のセクションを参照してください。

* オプション/アクセサリー。

メディアプレーヤーはセンターディスプレイから操作しますが、いくつかの機能はステアリングホイール右側のステアリングリモコンまたは音声認識機能で操作することができます。

関連情報

- メディア再生 (p. 517)
- ラジオおよびメディアの音声認識操作 (p. 162)
- アプリ (p. 512)
- ラジオ (p. 514)
- CD プレーヤー* (p. 521)
- Bluetooth® 経由のメディア (p. 521)
- USB ポート経由のメディア (p. 522)
- ビデオ (p. 523)

メディア再生

メディアプレーヤーはセンターディスプレイから操作します。いくつかの機能はステアリングホイール右側のステアリングリモコンまたは音声認識機能で操作することもできます。

メディアプレーヤーではラジオも操作できます。ラジオについては、別のセクションを参照してください。

メディアソースの起動

アプリケーションビュー(一般的な画像。基本アプリは市場およびモデルにより異なります)

CD*

1. CD を挿入します。
2. アプリビューからアプリ **CD** を開きます。
3. 再生するものを選択します。
   > 再生が始まります。

USB メモリー

1. USB メモリーを接続します。
2. アプリビューからアプリ **USB** を開きます。
3. 再生するものを選択します。
   > 再生が始まります。

MP3 プレーヤーおよび iPod®

> **注意**
>
> iPod から再生を開始するには、(USB ではなく) iPod アプリを使用してください。
>
> iPod をオーディオソースとして使用しているとき、車両のオーディオ・メディアシステムのメニュー構造は、iPod のメニュー構造と同様になります。

1. メディアソースを接続します。
2. 接続したメディアソースで再生を開始します。
3. アプリビューからアプリ(**iPod**、**USB**)を開きます。
   > 再生が始まります。

Bluetooth 接続機器

1. メディアソースの Bluetooth をオンにします。
2. メディアソースを接続します。
3. 接続したメディアソースで再生を開始します。
4. アプリビューからアプリ **Bluetooth** を開きます。
   > 再生が始まります。

インターネットメディア

1. 車両を接続します。
2. アプリビューからアプリを開きます。
   > 再生が始まります。

ビデオ

1. メディアソースを接続します。
2. アプリビューからアプリ **USB** を開きます。
3. 再生したいアイテムのタイトルをタップします。
   > 再生が始まります。

Apple CarPlay

Apple CarPlay は別の項に記載されています。

メディアの操作および変更

メディアプレーヤーは音声認識、ステアリングホイールのステアリングリモコン、またはセンターディスプレイで操作することができます。

音量 - センターディスプレイの下にあるコントロールノブを回すか、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの ▲ ▼ を押して、音量を調節します。

再生/一時停止 - 再生中の曲の画像、センターディスプレイの下にあるボタン、またはステアリングホイール右側のステアリングリモコンの ○ をタップします。

曲の変更 - センターディスプレイで目的の曲をタップするか、センターディスプレイの下またはステアリングホイール右側のステアリングリモコンにある ⏮ または ⏭ を押します。

早送り/移動 - センターディスプレイの時間軸をタップし、横方向にドラッグするか、センターディスプレイの下またはステアリングホイール右側のステアリングリモコンにある ⏮ または ⏭ を長押しします。

メディアの変更 – アプリの前のソースから選択する、アプリビューで目的のアプリをタップする、またはステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用してアプリメニューから選択する 方法のいずれかを使用します。

ライブラリ – ライブラリから再生するときに、このボタンを押します。

ｼｬｯﾌﾙ – 再生順序をシャッフルするときに、このボタンを押します。

類似ｼﾞｬﾝﾙ – Gracenote を使用して USB デバイスにある類似の音楽を検索し、そこからプレイリストを作成するときに、このボタンを押します。プレイリストには、50 曲まで入れることができます。

ﾃﾞﾊﾞｲｽを変更 – 複数の USB デバイスが接続されているときに、USB デバイスの切り替えにこのボタンを押します。

ビデオの設定

ビデオプレーヤーがフルスクリーンモードになっているとき、またはトップビューを開いて **設定 ➔ ビデオ** の順に押すと、**音声言語**、**オフ**、および **字幕言語** を変更することができます。

DivX® の再生

購入した DivX ビデオオンデマンド(VOD)映画を再生するには、この DivX Certified® 認証機器を登録する必要があります。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **ビデオ ➔ DivX® VOD** の順にタップして、登録コードを読み出します。
3. vod.divx.com を参照し、登録を完了します。

関連情報

- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する (p. 150)
- ラジオおよびメディアの音声認識操作 (p. 162)
- 車両に接続する (p. 540)
- アプリ (p. 512)
- メディアの検索 (p. 520)
- Bluetooth® 経由でデバイスを接続する (p. 522)
- USB ポート経由でデバイスを接続する (p. 522)
- CD プレーヤー* (p. 521)
- ラジオ (p. 514)
- Gracenote® (p. 520)
- ビデオ (p. 523)
- メディアのオーディオ設定 (p. 523)
- テレビ* (p. 524)
- Apple CarPlay* (p. 526)
- Android Auto* (p. 529)
- メディアの技術仕様 (p. 531)

Gracenote®

Gracenote は、再生中に表示される情報(アーティスト、アルバム、曲名および関連画像)を識別します。

Gracenote MusicID® は、音楽認識の業界標準です。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **メディア ➔ Gracenote®** をタップします。
3. Gracenote データの設定を選択する：

- **Gracenote®オンライン検索** - Gracenote のオンラインデータベースで再生メディアを検索します。
- **Gracenote®複数結果** - 検索結果が複数だった場合の Gracenote データの表示方法を選択します。

  1 - ファイルの元データが使用される。

  2 - Gracenote データが使用される。

  3 - Gracenote または元データを選択することができる。
- **なし** - 結果を表示しない。

Gracenote のアップデート

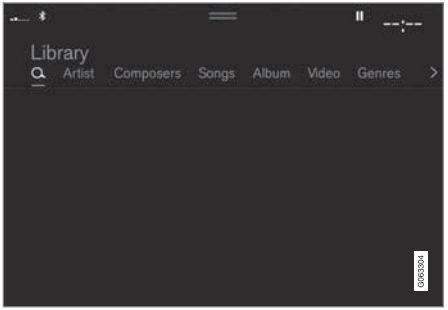
Gracenote データベースのコンテンツはつねにアップデートされ続けています。最適な機能のために、最新のアップデートをダウンロードしてください。詳しい情報およびダウンロードについては、support.volvocars.com をご覧ください。

関連情報

- メディア再生 (p. 517)
- オーディオ・メディアのライセンス契約 (p. 546)

メディアの検索

アーティスト、作曲者、曲名、アルバム、ビデオ、オーディオブック、プレイリストおよびポッドキャスト(インターネット経由のデジタルメディア。オンライン車両のみ対応)を検索条件として使用することができます。

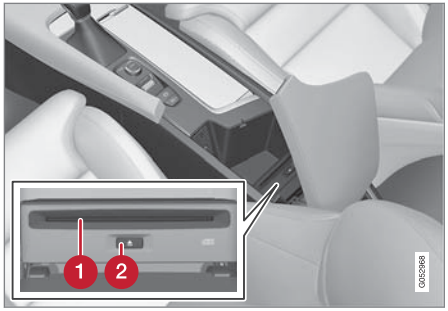


1. をタップします。
   > キーボード付き検索ビューが開きます。
2. 検索語を入力します。
3. **検索** をタップします。
   > 接続されている機器が検索され、検索結果がカテゴリー別に表示されます。

画面を横方向にスワイプすると、各カテゴリーが個別に表示されます。

関連情報
- メディアプレーヤー（p. 516）
- メディア再生（p. 517）
- センターディスプレイのキーボードの使用（p. 50）
- オンライン車両*（p. 539）

CD プレーヤー*
メディアプレーヤーはオーディオファイルの記録されている CD を再生することができます。サポートされている形式については、技術仕様を参照してください。



1 ディスク挿入/取り出しスロット

2 ディスク取り出しボタン

関連情報
- メディア再生（p. 517）
- ラジオおよびメディアの音声認識操作（p. 162）
- メディアプレーヤー（p. 516）
- メディアの技術仕様（p. 531）

Bluetooth® 経由のメディア
車両のメディアプレーヤーには、Bluetooth® が装備されており、携帯電話や PDA など Bluetooth® 搭載の外付けデバイスからオーディオファイルをワイヤレスで再生することができます。

関連情報
- Bluetooth® 経由でデバイスを接続する（p. 522）
- メディア再生（p. 517）
- ラジオおよびメディアの音声認識操作（p. 162）
- メディアプレーヤー（p. 516）
- イグニッション位置（p. 457）
- メディアの技術仕様（p. 531）

Bluetooth® 経由でデバイスを接続する

メディアのストリーミング再生やインターネット接続(利用可能な場合)のためにBluetooth® 機器を車両に接続します。

市販されている多くの携帯電話にワイヤレスBluetooth® テクノロジーが搭載されていますが、車両に完全には対応していない機種もあります。対応機種については、support.volvocars.com を参照してください。

メディアデバイスの接続手順は、携帯電話の接続の場合と同じです。

関連情報

- 携帯電話の接続 (p. 533)
- Bluetooth® 経由のメディア (p. 521)
- メディア再生 (p. 517)
- メディアプレーヤー (p. 516)

USB ポート経由のメディア

iPod® や MP3 プレーヤーなどの外部オーディオソースをオーディオシステムに接続できます。

充電式バッテリー付きのデバイスは、USB 経由で接続されている場合、イグニッションが I または II 位置のとき、あるいはエンジンが作動しているときに充電されます。

外部ソースのコンテンツは、互換性のある形式のファイルのみで構成されている場合、読み込み時間が短くなります。USB ポート経由ではビデオファイルも再生することができます。

MP3 プレーヤーによっては、本オーディオシステムがサポートしない、独自のファイルシステムを持っている場合があります。

関連情報

- USB ポート経由でデバイスを接続する (p. 522)
- メディア再生 (p. 517)
- ラジオおよびメディアの音声認識操作 (p. 162)
- メディアプレーヤー (p. 516)
- イグニッション位置 (p. 457)
- ビデオ (p. 523)
- Apple CarPlay* (p. 526)
- メディアの技術仕様 (p. 531)

USB ポート経由でデバイスを接続する

iPod® や MP3 プレーヤーなどの外部オーディオソースは、トンネルコンソールのポートの 1 つを使用してオーディオシステムに接続できます。リッドを閉めるときにはさまれないように、ケーブルは前方にくるよう配置してください。

Apple CarPlay* および Android Auto* を使用する際は、携帯電話を白フレームの USB ポート(USB ポートが 2 つある場合)に接続してください。

トンネルコンソールの USB ポート

関連情報

- メディア再生 (p. 517)
- USB ポート経由のメディア (p. 522)

* オプション/アクセサリー。

- メディアプレーヤー（p. 516）
- メディアの技術仕様（p. 531）

ビデオ

メディアプレーヤーを使用すると、USB 接続のデバイスに保存されているビデオを再生することができます。

車両が動き始めると映像は表示されなくなり、音声のみが再生されます。停車すると、映像が再度表示されます。

サポートされている動画形式については、「メディアの技術仕様」の項を参照してください。

関連情報

- メディア再生（p. 517）
- メディアプレーヤー（p. 516）
- メディアの技術仕様（p. 531）

メディアのオーディオ設定

音楽およびその他の再生のオーディオ設定を変更する

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **サウンド** をタップして、設定を選択します。
   - **トーン** – 低音、高音、イコライザーなどの個人的設定。
   - **バランス** – 右/左スピーカーのバランスとフロント/リアスピーカーのバランス。
   - **システム音量** – 車両のさまざまなシステムの音量調節。例：**音声コントロール**、**パークアシスト**、および**電話着信音**。

サウンドエクスペリエンス*

ヨーテボリコンサートホールの音響の再現

サウンド 体験 アプリには、オーディオ再生の詳細なオプション(コンサートホールの雰囲気を味わえる再生など)が用意されています。こ

◀◀ の設定を使用すると、それまでのオーディオ設定は無効になります。

関連情報
- オーディオ設定（p. 513）
- メディアプレーヤー（p. 516）

テレビ*1

特定の走行速度に達すると映像は表示されなくなりますが、音声はつねに聞くことができます。車両がほぼまたは完全に停止すると、映像は再度表示されます。

TV はセンターディスプレイから操作します。機能の中には、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンまたは音声認識で操作できるものもあります。

関連情報
- TV*の使用（p. 524）

TV*2 の使用

TV をつける
1. アプリビューからアプリ **TV** を開きます。
2. チャンネルを選択します。

TV チャンネルの変更または検索
TV は受信状態のもっとも良好なチャンネルを自動的に検索します。

視聴可能なチャンネルのリストを変更する
1. **ﾗｲﾌﾞﾗﾘ** をタップします。
2. **TV チャンネル** または **お気に入り** から再生を選択します。
3. 目的のチャンネルを選択します。

選択したリストからチャンネルを変更する
– センターディスプレイの下またはステアリングリモコンにある ⏮ または ⏭ を押します。
  › 選択したプレイリスト内でハイライトが上または下に 1 つ移動します。

センターディスプレイから放送局を変更することもできます。

1 特定市場に適用
2 特定市場に適用

お気に入り

TV チャンネルはお気に入りとして保存することができます。

– ☆ をタップすると、お気に入りリストのチャンネルを追加/削除できます。

TV ガイド

番組ガイドを使用すると、今後 48 時間以内に放送される TV 番組の情報を表示することができます。

– **ガイド** をタップすると、TV 番組に関する情報が表示されます。

> **注意**
>
> 車両を国内で移動した場合(ある市から別の市への移動など)、周波数が異なることがあるため、**お気に入り** が利用できなくなる可能性があります。

TV 画像の形式を変更する

画像形式 をタップすると、TV 画像の表示形式を選択することができます。

1. **オート** – TV 画像は伝送中の画像形式で表示されます。
2. **オートフィル** – TV 画像はトリミングされることなく最大化されます。

緊急警報

システムは現在のメディア再生を中断して、大事故や災害に関する警報を送信します。道路交通情報が終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。センターディスプレイの下またはステアリングリモコンにある ⏮ または ⏭ を押すと、メッセージを中断することができます。

TV の設定

一部の設定オプションは、トップビューでも、TV 表示がフルスクリーンモードのときでも使用することができます。

ビデオプレーヤーがフルスクリーンモードになっているとき、またはトップビューを開いて **設定 ➔ メディア ➔ TV** の順に押すと、以下を変更することができます。

- **字幕言語**
- **音声言語**
- **セグメント自動切り替え** を選択すると、TV は自動的に HDTV[3] を選択します(利用不可の場合は SDTV[4])。HDTV 12-セグメント(フルセグ)または SDTV 1 セグメント(ワンセグ)のみを選択するオプションもあります。

B-CAS

- TV 受信機には IC カードが内蔵されています。
- IC カードの所有権は B-CAS 社に帰属します。
- IC カードには B-CAS 社の規定した契約約款が適用されます。
- B-CAS カードのシリアル番号は、車両のセンターディスプレイで **設定 ➔ メディア ➔ TV** の順にタップする、または TV 受信機に貼付されているラベルを見ることにより確認することができます。
- 契約約款については、「オーディオ・メディアのライセンス契約」(KB0007D)の「B-CAS カード使用許諾契約約款」の項を参照してください。

> **注意**
>
> このシステムが対応するテレビ放送は、圧縮方式に MPEG-2 形式または MPEG-4 形式を使用し、I-SDBT 規格に準拠している国の放送に限定されます。このシステムはアナログ放送に対応していません。

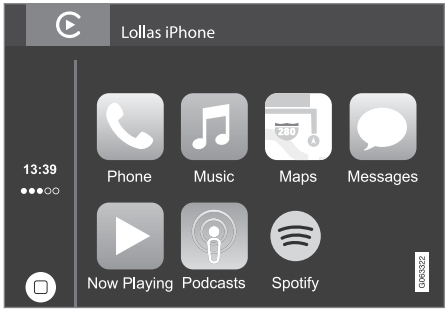
[3] 高画質 TV
[4] 標準画質 TV

関連情報

- テレビ* (p. 524)
- ラジオおよびメディアの音声認識操作 (p. 162)
- メディア再生 (p. 517)
- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 41)
- オーディオ・メディアのライセンス契約 (p. 546)

Apple CarPlay*

Apple CarPlay を使用すると、運転に集中したままで、音楽を聴く、電話をかける、行き方を調べる、メッセージを送受信する、Siri を使用する、などの操作ができます。Apple CarPlay は選択した Apple デバイスと連動します。



車両に Apple CarPlay が装備されていない場合、後から搭載することができます。Apple CarPlay の搭載については、ボルボ・ディーラーにお問い合わせください。

サポートされているアプリや対応している携帯電話の情報については、Apple のウェブサイト: www.apple.com/ios/carplay/をご覧ください。Apple CarPlay に対応していないアプリを使用した場合、iPhone と車両との接続が切断されることがあります。Volvo は Apple CarPlay のコンテンツに関して一切責任を負いません。

Apple CarPlay 経由で地図ナビゲーションを使用している場合、センターディスプレイのみに案内が表示されます。ドライバーディスプレイまたはヘッドアップディスプレイには表示されません。

Apple CarPlay アプリは、センターディスプレイ、携帯電話またはステアリングホイール右側のステアリングリモコン(一部機能のみ)で操作することができます。これらのアプリは Siri を使用して音声で操作することもできます。ステアリングホイールの ボタンを長押しすると、Siri を使用した音声認識が始まり、短く押すと、車両独自の音声認識が起動します。Siri の解除が早すぎる場合、ステアリングホイールの ボタンを長押ししてください。

Apple CarPlay を使用すると次に承諾したことになります。 Apple CarPlay は、Apple Inc. の使用条件に基づいて提供されるｻｰﾋﾞｽです。したがってﾎﾞﾙﾎﾞ・ｶｰｽﾞでは Apple CarPlay やその機能/用途について一切責任を負いません。Apple CarPlay を使用する場合、お客様の車両から特定の情報（位置情報を含む）が iPhone に送信されます。利用者本人または第三者による Apple CarPlay の使用に関しては、ﾎﾞﾙﾎﾞ・ｶｰｽﾞではなく利用者本人が全責任を負います。

関連情報

- メディアプレーヤー (p. 516)
- 車両に接続する (p. 540)
- Apple CarPlay*の使用 (p. 527)

* オプション/アクセサリー。

Apple CarPlay*の使用

Apple CarPlay を使用するには、携帯電話の音声認識機能の Siri をオンにする必要があります。携帯電話も Wi-Fi またはモバイルネットワークでインターネットに接続している必要があります。

iPhone を接続して Apple CarPlay を起動する

注意

Apple CarPlay は Bluetooth がオフの場合にのみ使用することができます。したがって、Bluetooth で車両に接続されている携帯電話またはメディアプレーヤーは、Apple CarPlay の使用中には利用できなくなります。車両のアプリでインターネット接続が必要な場合、代わりの方法でインターネットに接続する必要があります。Wi-Fi または車載のカーモデム*を使用してください。

1. iPhone を USB ポートに接続します。USB ポートが 2 つある場合、白フレームのポートを使用する必要があります。
2. ポップアップメッセージの内容を確認し、**OK** をタップします。
3. アプリビューで **Apple CarPlay** をタップします。
4. 利用規約を読み、**承認** をタップして接続します。
   > Apple CarPlay のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。
5. 目的のアプリをタップします。
   > アプリが起動します。

Apple CarPlay の起動

Apple CarPlay を起動するには、iPhone の接続完了後に以下の手順に従ってください。

1. iPhone を USB ポートに接続します。USB ポートが 2 つある場合、白フレームのポートを使用する必要があります。
   > **自動起動の設定が選択されている場合** – Apple CarPlay のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。
2. Apple CarPlay のサブビューが開かない場合、アプリビューで **Apple CarPlay** をタップします。
   > Apple CarPlay のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。
3. 目的のアプリをタップします。
   > アプリが起動します。

別のアプリを同じサブビューで起動すると、Apple CarPlay はバックグラウンドで動作します。Apple CarPlay をサブビューで再表示するには、アプリビューで Apple CarPlay アイコンをタップします。

Apple CarPlay と iPod の接続を切り替える

Apple CarPlay から iPod へ

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信** ➔ **Apple CarPlay** に移動します。
3. USB ケーブルを接続したときに Apple CarPlay の自動起動を伴わないようにする Apple デバイスのボックスのチェックを外します。
4. Apple デバイスを切り離して USB ポートに接続します。
5. アプリビューからアプリ **iPod** を開きます。

iPod から Apple CarPlay へ

1. アプリビューで **Apple CarPlay** をタップします。
2. ポップアップメッセージの内容を確認し、**OK** をタップします。
3. Apple デバイスを切り離して USB ポートに接続します。
   > Apple CarPlay のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。

関連情報

- メディアプレーヤー (p. 516)
- メディア再生 (p. 517)
- USB ポート経由でデバイスを接続する (p. 522)

- Apple CarPlay*の設定 (p. 528)
- 車両に接続する (p. 540)

Apple CarPlay*の設定

Apple CarPlay で接続された Apple デバイスの設定

自動起動

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ Apple CarPlay** に移動して、設定を選択します。
   - ボックスにチェックを付ける - USB ケーブルを接続したときに Apple CarPlay が自動的に起動する。
   - ボックスのチェックを外す - USB ケーブルを接続したときに Apple CarPlay が自動的に起動しない。

リストには Apple デバイスを 20 台まで登録することができます。リストがいっぱいのときに新規デバイスを接続すると、もっとも古いデバイスが削除されます。

リストを削除するには、工場出荷時設定にリセットする必要があります。「設定メニューの設定のリセット」の項を参照してください。

システム音量

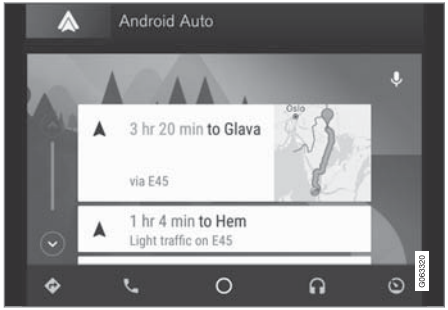
1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **サウンド ➔ システム音量** をタップし、以下の設定を行います。
   - **音声コントロール**
   - **ナビ音声案内**
   - **電話着信音**

関連情報

- Apple CarPlay* (p. 526)
- 設定メニューの設定のリセット (p. 219)

Android Auto*

Android Auto では、音楽の再生、電話の発信、ルート検索、Android デバイスの車両対応アプリの使用などの操作が可能です。
Android Auto は対応している Android デバイスと連動します。



サポートされているアプリや対応している携帯電話の情報については、ウェブサイト：www.android.com/auto/ をご覧ください。サードパーティー製アプリについては、Google Play をご覧ください。Volvo は Android Auto のコンテンツに関して一切責任を負いません。

Android Auto はアプリビューから起動します。一度 Android Auto を起動すると、次回そのデバイスが接続されたときに、アプリケーションが自動的に起動します。自動起動は設定でオフにすることができます。

注意

電話を Android Auto に接続すると、Bluetooth 経由で別のメディアプレーヤーにストリーミングすることができます。Android Auto の使用中は Bluetooth が有効になります。

Android Auto 経由で地図ナビゲーションを使用している場合、センターディスプレイのみに案内が表示されます。ドライバーディスプレイまたはヘッドアップディスプレイには表示されません。

Android Auto はステアリングホイール右側のステアリングリモコンまたは音声操作を使用し、センターディスプレイから操作できます。ステアリングホイールの ボタンを長押しすると音声認識操作が始動し、軽く押すとオフになります。

Android Auto を使用することで、あなたは 次のことを承認したことになります： Android Auto は、Google Inc. がその契約 条件のもとで提供するサービスです。 Volvo Cars は、Android Auto またはその機 能やアプリケーションに対する責任を負い かねます。Android Auto を使用する場合、 車両は特定の情報(位置情報を含む)を接 続中の Android フォンに送信します。あな たは、ご自身または他者による Android Auto の使用に対して全責任を負います。

Android Auto の起動

初めて Android を接続する場合

1. Android を USB ポートに接続します。USB ポートが 2 つある場合、白フレームのポートを使用する必要があります。
2. ポップアップメッセージの内容を確認し、**OK** をタップします。
3. アプリビューで **Android Auto** をタップします。
4. 利用規約を読み、**承認** をタップして接続します。
   > Android Auto のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。
5. 目的のアプリをタップします。
   > アプリが起動します。

以前に接続したことのある Android を使用する場合

1. 携帯電話を USB ポートに接続します。
   > **自動起動の設定が選択されている場合** – Android Auto のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。
2. **自動起動の設定が選択されていない場合** – アプリビューから **Android Auto** アプリを開きます。
   > Android Auto のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。
3. 目的のアプリをタップします。
   > アプリが起動します。

別のアプリを同じサブビューで起動すると、Android Auto はバックグラウンドで動作します。Android Auto をサブビューで再表示するには、アプリビューで Android Auto アイコンをタップします。

関連情報

- メディアプレーヤー（p. 516）
- メディア再生（p. 517）
- USB ポート経由でデバイスを接続する（p. 522）
- Android Auto*の設定（p. 530）
- 車両に接続する（p. 540）
- センターディスプレイの概要（p. 34）

Android Auto*の設定

はじめて Android Auto と接続した携帯電話の設定

自動起動

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ Android Auto** をタップして、設定を選択します。
   - ボックスにチェックを付ける – USB ケーブルを接続したときに Android Auto が自動的に起動する。
   - ボックスのチェックを外す – USB ケーブルを接続したときに Android Auto が自動的に起動しない。

リストには Android デバイスを 20 台まで登録することができます。リストがいっぱいのときに新規デバイスを接続すると、もっとも古いデバイスが削除されます。

リストを削除するには、工場出荷時設定にリセットする必要があります。「設定メニューの設定のリセット」の項を参照してください。

システム音量

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **サウンド ➔ システム音量** をタップし、以下の設定を行います。
   - **音声コントロール**
   - **ナビ音声案内**
   - **電話着信音**

関連情報

- Android Auto*（p. 529）
- 設定メニューの設定のリセット（p. 219）
- センターディスプレイの概要（p. 34）

メディアの技術仕様

互換ファイル形式、オーディオ仕様および USB

オーディオファイル

形式	ファイル拡張子	コーデック
MP3	.mp3	MPEG1 Layer III、MPEG2 Layer III、MP3 Pro (mp3 互換)、MP3 HD (mp3 互換)
AAC	.m4a、.m4b、.aac	AAC LC (MPEG-4 part III Audio)、HE-AAC (aacPlus v1/v2)
WMA	.wma	WMA8/9、WMA9/10 Pro
WAV	.wav	LPCM
FLAC	.flac	FLAC

動画ファイル

形式	ファイル拡張子
MP4	.mp4、m4v
MPEG-PS	.mpg、.mp2、.mpeg、.m1v
AVI	.avi
AVI (DivX)	.avi、divx
ASF	.asf、.wmv
MKV	.mkv

字幕

形式	ファイル拡張子
SubViewer	.sub
SubRip	.srt
SSA	.ssa

DivX®

DivX Certified (DivX 認証)デバイスは、高品質の DivX (.divx、.avi)ビデオ再生に対応していることが実証されています。DivX ロゴの表示がある場合、DivX ムービーをご自由に再生できます。

プロファイル	DivX Home Theater
動画コーデック	DivX、MPEG-4
解像度	720x576
ビットレート	4.8Mbps
フレームレート	30 fps
ファイル拡張子	.divx、.avi
最大ファイルサイズ	4 GB
音声コーデック	MP3、AC3
字幕	XSUB
特殊機能	多言語字幕、多重音声、レジューム再生
参考	DivX Home Theater プロファイルのすべての要件を満たします。お持ちのファイルを DivX Home Theater の動画に変換するためのソフトウェアツールおよび詳細情報については、divx.com を参照してください。

USB デバイスへの保存

システムが USB デバイスを正しく読み取るためには、以下の仕様に準拠する必要があります。再生中は、センターディスプレイにフォルダー構造は表示されません。

	最大数
ファイル	15,000
フォルダー	1,000
フォルダー階層	8
プレイリスト	100
1 プレイリスト内のアイテム	1,000
サブフォルダー	無制限

USB コネクターの技術仕様

- タイプ A ソケット
- バージョン 2.0
- 供給電圧 5V
- 最大供給電流 2.1A

関連情報

- メディアプレーヤー（p. 516）
- メディア再生（p. 517）

電話

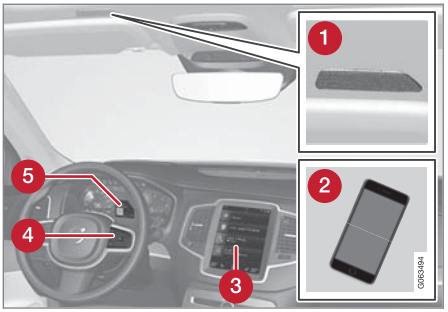
Bluetooth 対応の携帯電話は、車両の内蔵ハンズフリーシステムにワイヤレスで接続することができます。

携帯電話のさまざまな機能を、オーディオ、およびメディアシステムからハンズフリーで使用できます。携帯電話は、車両に接続している場合でも、携帯電話本体のキーで操作することができます。

携帯電話を車両にペアリングして接続すると、携帯電話を使用して、電話、メッセージの送受信、メディアのストリーミング、およびインターネット接続を行うことができます。

携帯電話はセンターディスプレイから操作しますが、一部の操作は、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用して、音声認識およびアプリメニューで利用することもできます。

概要



1. マイク
2. 携帯電話
3. センターディスプレイの電話操作
4. 音声認識およびドライバーディスプレイに表示される電話機能の操作用キーパッド
5. ドライバーディスプレイ

関連情報

- 携帯電話の接続（p. 533）
- 携帯電話の接続/切断（p. 534）
- 通話の操作（p. 535）
- テキストメッセージの操作（p. 536）
- 電話の設定（p. 538）
- テキストメッセージの設定（p. 538）

- Bluetooth® 設定 (p. 539)
- 音声認識 (p. 159)
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する (p. 150)
- メディアプレーヤー (p. 516)

携帯電話の接続

Bluetooth を有効にした携帯電話を車両に接続すると、電話、メッセージの送受信、メディアのストリーミング、車両とインターネットの接続を行うことができます。

Bluetooth 機器は同時に 2 台接続することができます。その場合、1 台はメディアのストリーミングのみが可能です。電話/メッセージの発着信、メディアのストリーミングおよびインターネット接続を利用するときには、直近に接続した携帯電話が自動的に接続されます。携帯電話の使用を変更するには、「Bluetooth 設定」を参照してください。

接続は機器ごとに 1 回行います。接続の後、Bluetooth 機器は検知可能/探索可能な状態である必要はなく、Bluetooth をオンにしておくだけで機能します。携帯電話を介して車両をインターネットに接続するには、携帯電話のテザリングをオンにする必要があります。車両には、接続済みの Bluetooth 機器を 20 台まで保存することができます。

接続には 2 通りの方法があります。車両から携帯電話を探索する方法と携帯電話から車両を探索する方法です。

方法 1 – 車両から携帯電話を探索する

1. 携帯電話を Bluetooth 経由で探索可能/検知可能な状態にします。
2. 携帯電話の Bluetooth 経由で車両をインターネットに接続するには、携帯電話で Bluetooth 経由のテザリング(ポータブル/インターネット共有)をオンにします。
3. 電話のサブビューを開きます。
   - 車両に接続されている携帯電話がない場合、**電話を追加** をタップします。
   - 車両に接続されている携帯電話がある場合、**変更** をタップします。ポップアップウィンドウで **電話を追加** をタップします。

   > 利用可能な Bluetooth 機器が一覧表示されます。新しい機器が検知されると、リストが更新されます。
4. 接続する携帯電話の名前をタップします。
5. 車両の指定数字コードが携帯電話のものと一致していることを確認します。この場合、双方で許可を選択します。
6. 電話連絡先およびメッセージのオプションの許可または拒否を携帯電話で選択します。

注意

- 一部の携帯電話では、メッセージ機能を有効にする必要があります。
- 一部の携帯電話は完全互換ではないため、車内で連絡先やメッセージが表示されないことがあります。

方法 2 – 携帯電話から車両を探索する

1. 電話のサブビューを開きます。
   - 車両に接続されている携帯電話がない場合、**電話を追加 ➔ 車両を検出モードにする** をタップします。
   - 車両に接続されている携帯電話がある場合、**変更** をタップします。ポップアップウィンドウで **電話を追加 ➔ 車両を検出モードにする** をタップします。
2. 携帯電話の Bluetooth をオンにします。
3. 携帯電話の Bluetooth 経由で車両をインターネットに接続するには、携帯電話で Bluetooth 経由のテザリング(ポータブル/インターネット共有)をオンにします。
4. 携帯電話で Bluetooth 機器を探索します。
   > 利用可能な Bluetooth 機器が一覧表示されます。
5. 車両の名前を携帯電話で選択します。
6. 車両の指定数字コードが外部機器のものと一致していることを確認します。この場合、双方で許可を選択します。
7. 電話連絡先およびメッセージのオプションの許可または拒否を携帯電話で選択します。

注意

- 一部の携帯電話では、メッセージ機能を有効にする必要があります。
- 一部の携帯電話は完全互換ではないため、車内で連絡先やメッセージが表示されないことがあります。

注意

電話のオペレーティングシステムがアップデートされると、接続が中断される場合があります。この場合、いったん車両から電話を削除し、再度接続してください。

対応する携帯電話機種

市販されている多くの携帯電話にワイヤレス Bluetooth テクノロジーが搭載されていますが、車両に完全には対応していない機種もあります。対応機種については、support.volvocars.com を参照してください。

関連情報

- 電話 (p. 532)
- 携帯電話の接続/切断 (p. 534)
- Bluetooth® 設定 (p. 539)
- 通話の操作 (p. 535)
- テキストメッセージの操作 (p. 536)
- オンライン車両* (p. 539)

携帯電話の接続/切断

携帯電話の接続、変更、または接続を解除します。

携帯電話の自動接続

自動的に接続できるのは、直近に接続された 2 台の携帯電話のみです。

1. 車両をイグニッション位置 I にする前に携帯電話の Bluetooth をオンにします。

   同時に車両をインターネットに接続するには、携帯電話のテザリング(ポータブル/インターネット共有)をオンにする必要があります。
2. I 以上のイグニッション位置にします。
   > 携帯電話が接続されます。

携帯電話の手動接続

1. 携帯電話の Bluetooth をオンにします。

   同時に車両をインターネットに接続するには、携帯電話のテザリング(ポータブル/インターネット共有)をオンにする必要があります。
2. 電話のサブビューを開きます。
   > 過去に接続した携帯電話が表示されます。
3. 接続する携帯電話の名前をタップします。
   > 携帯電話が接続されます。

* オプション/アクセサリー。

携帯電話の切断

– 携帯電話の Bluetooth をオフにします。

携帯電話が作動範囲外にある場合、その接続は自動的に切断されます。通話中に携帯電話を切断した場合、その通話は携帯電話で継続することができます。

携帯電話を変更する

1. 電話のサブビューを開きます。
2. **変更** をタップします。
   > 利用可能な Bluetooth 機器が一覧表示されます。
3. 接続する携帯電話をタップします。

電話を削除する

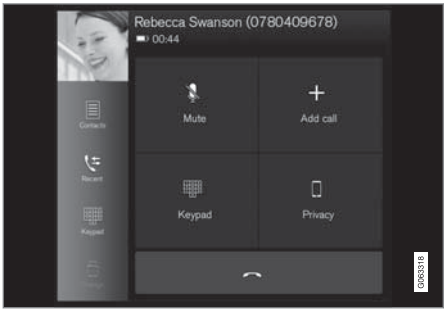
1. 電話のサブビューを開きます。
2. **設定 ➔ 通信 ➔ Bluetooth デバイス** をタップします。
   > 接続されている Bluetooth 機器が一覧表示されます。
3. 削除する携帯電話をタップします。
4. **デバイスを削除** をタップして、選択を確定します。
   > 携帯電話は車両から接続解除されます。

関連情報

- 電話（p. 532）
- 携帯電話の接続（p. 533）
- 電話の設定（p. 538）
- Bluetooth® 設定（p. 539）
- イグニッション位置（p. 457）
- オンライン車両*（p. 539）

通話の操作

車内で Bluetooth 接続電話の通話に対応します。



一般的な図

電話をかける

1. 電話のサブビューを開きます。
2. 通話履歴からの選択、キーパッドによる番号入力、または連絡先リストからの選択により、通話先を選択します。連絡先リストでは、検索またはブラウズすることができます。連絡先リストで ☆ をタップすると、連絡先が **お気に入り** に追加されます。
3. **発信** または 📞 をタップします。
4. **通話を終了** をタップして通話を終了します。

アプリメニューを使用して、通話履歴から電話をすることもできます。使用するには、ステアリングホイール右側のステアリングリモコン からアクセスしてください。

グループ通話をする

通話中に以下の操作を行います。

1. **通話を追加** をタップします。
2. 通話履歴、お気に入り、または連絡先リストから電話することを選択します。
3. 通話履歴の項目/列をタップするか、連絡先リストの連絡先の横にある をタップします。
4. **通話を切替** をタップして、通話相手を切り替えます。
5. **通話を終了** をタップして、現在の相手との通話を終了します。

会議通話

グループ通話中に以下の操作を行います。

1. **グループ通話** をタップして、接続中のグループ通話を統合します。
2. **通話を終了** をタップして通話を終了します。

着信

着信があると、ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイに表示されます。ステアリングホイール右側のステアリングリモコンまたはセンターディスプレイを使用して、着信に対応します。

1. **応答/拒否** をタップします。
2. **通話を終了** をタップして通話を終了します。

通話中の着信

1. **応答/拒否** をタップします。
2. **通話を終了** をタップして通話を終了します。

個人的な電話

– 通話中に **プライバシー** をタップして、設定を選択します。
  - **携帯電話に切替** – ハンズフリー機能がオフになり、通話は携帯電話で継続されます。
  - **ドライバー向けに最適化する** – 助手席側のルーフのマイクがオフになり、通話は車両のハンズフリー機能で継続されます。

関連情報

- 電話（p. 532）
- 電話の音声認識コントロール（p. 161）
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する（p. 150）
- センターディスプレイのキーボードの使用（p. 50）
- 電話の設定（p. 538）

テキストメッセージの操作

車内で Bluetooth 接続電話のメッセージに対応します。

一部の電話では、メッセージ機能をオンにする必要があります。一部の携帯電話は対応していません。対応していない機種の場合、車両で連絡先およびメッセージを表示することはできません。対応機種については、support.volvocars.com を参照してください。

センターディスプレイのテキストメッセージを管理する

テキストメッセージはセンターディスプレイに表示するように設定されている場合にのみ、センターディスプレイに表示されます。「テキストメッセージの設定」の項を参照してください。

アプリビューで **メッセージ** をタップして、センターディスプレイのテキストメッセージを管理します。

センターディスプレイでテキストメッセージを読む

– **音声** を押すと、メッセージが読み上げられます。

センターディスプレイのテキストメッセージを送信する

1. メッセージへの返信またはメッセージの新規作成はできません。
   - メッセージに返信 – 返信したいメッセージの発信元をタップし、**返信** をタップします。
   - メッセージを新規作成 – **新規作成**、**+** の順にタップします。連絡先を選択するか、数字を入力します。
2. メッセージを入力します。
3. **送信** をタップします。

ドライバーディスプレイのテキストメッセージを管理する

テキストメッセージはドライバーディスプレイに表示するように設定されている場合にのみ、ドライバーディスプレイに表示されます。「テキストメッセージの設定」の項を参照してください。

ドライバーディスプレイで新着のテキストメッセージを読む

– メッセージを読み上げさせる – ステアリングリモコンを使用して **音声** を選択します。

ドライバーディスプレイで返信メッセージを音声入力する

テキストメッセージが読み上げられた後、音声入力で簡単な返信メッセージを作成することができます。

– ステアリングリモコンを使用して **返信** を押します。音声入力ダイアログが開始されます。本機能を使用するには、車両がインターネットに接続されている必要があります。

メッセージ通知

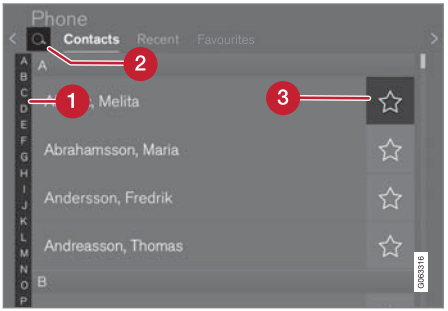
通知設定については、「テキストメッセージの設定」の項を参照してください。

関連情報

- 電話（p. 532）
- テキストメッセージの設定（p. 538）
- 電話の設定（p. 538）
- 電話の音声認識コントロール（p. 161）
- センターディスプレイのキーボードの使用（p. 50）
- 車両に接続する（p. 540）

電話帳の管理

車内で Bluetooth 接続電話の連絡先を利用できます。



1. 文字および ＃ の一覧 – 一致する連絡先を見つけることができます。電話帳の既存の連絡先に応じて、一致する文字のみが表示されます。
2. **連絡先を検索** – 🔍 をタップすると、連絡先リストに登録されている名前の電話番号を検索できます。
3. **お気に入り** – ☆ をタップすると、お気に入りリストの連絡先を追加/削除できます。

注意

センターディスプレイには、アクティブな Bluetooth 接続の電話からの連絡先のみが表示されます。最大で 3,000 件の連絡先を表示できます。

並べ替え

連絡先リストは ABC 順に表示され、特殊文字および数字は ＃ に表示されます。並べ替えの対象には名または姓を指定することができます。「電話の設定」の項を参照してください。

関連情報

- 電話 (p. 532)
- 電話の音声認識コントロール (p. 161)
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニューを使用する (p. 150)
- センターディスプレイのキーボードの使用 (p. 50)
- 電話の設定 (p. 538)

電話の設定

接続されている携帯電話の設定

電話

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ 電話** をタップして、設定を選択します。
   - **着信音** – 着信音の選択。携帯電話または車両の着信音を使用することができます。一部の携帯電話は完全には対応していないため、携帯電話の着信音を車内で使用できないことがあります。対応機種については、support.volvocars.com を参照してください。
   - **連絡先のソート順** – 連絡先リストの並べ替え順序の選択。

   ヘッドアップディスプレイ*の着信通知については、「ヘッドアップディスプレイ」の項を参照してください。

関連情報

- テキストメッセージの設定 (p. 538)
- Bluetooth® 設定 (p. 539)
- 電話 (p. 532)
- 携帯電話の接続 (p. 533)
- ヘッドアップディスプレイ* (p. 156)

テキストメッセージの設定

接続されている電話でのテキストメッセージの設定

メッセージ

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ テキストメッセージ**をタップして、設定を選択します。
   - **センターディスプレイに通知** – センターディスプレイのステータスバーにメッセージ通知を表示します。
   - **メーターに通知** – ドライバーディスプレイに通知を表示します。ドライバーディスプレイでの通知がオンになっている場合、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンで受信メッセージを扱うことができます。
   - **SMS 着信音** – 受信メッセージの着信音の選択。

関連情報

- 電話 (p. 532)
- 携帯電話の接続 (p. 533)
- テキストメッセージの操作 (p. 536)
- 電話の設定 (p. 538)

* オプション/アクセサリー。

Bluetooth® 設定

Bluetooth 接続のデバイスの設定

Bluetooth

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ Bluetooth デバイス** をタップして、設定を選択します。

- **デバイスを追加** – 新しい機器のペアリングを開始します。
- **ペアリング済デバイス** – 接続されている機器のリストを表示します。
- **デバイスを削除** – 接続されている機器を削除します。
- **このデバイスで利用可能なサービス** – 発信、メッセージ送受信、メディアのストリーミングおよびインターネット接続の中からデバイスの使用オプションを設定します。
- **インターネット接続** – デバイスの Bluetooth 接続を使用して車両をインターネットに接続します。

関連情報

- オンライン車両*（p. 539）
- 電話（p. 532）
- 携帯電話の接続（p. 533）
- メディアプレーヤー（p. 516）

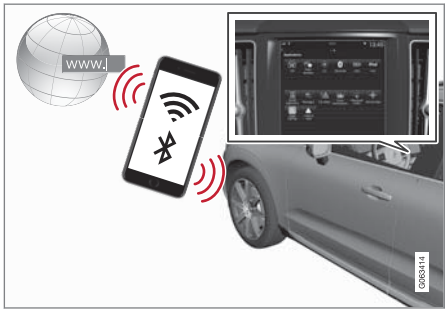
オンライン車両*

オンライン車両では、アプリによるインターネットラジオおよびミュージックサービスを利用したり、車内からディーラーへの連絡やソフトウェアのダウンロードなどを行うことができます。

車両は Bluetooth または Wi-Fi 経由で電話に接続するか、または車両の内蔵モデム*を使用して接続します。

車両がインターネットに接続されている場合、そのインターネット接続(Wi-Fi ホットスポット)を共有して、他の機器がインターネット接続を利用できるようにすることができます[5]。

接続状態はセンターディスプレイのステータスバーにシンボルで表示されます。



関連情報

- 車両に接続する（p. 540）
- アプリ（p. 512）
- コネクテッド・サービス予約（p. 586）
- システムアップデート（p. 589）
- Volvo ID（p. 24）
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル（p. 46）
- Wi-Fi ホットスポットによるインターネットの共有（p. 541）

[5] Wi-Fi との接続の場合には適用されません。

車両に接続する

車両は Bluetooth または Wi-Fi 経由で携帯電話に接続するか、または車両の内蔵モデム*を使用して接続します。

携帯電話およびネットワークプロバイダからインターネット接続(インターネット接続共有)サービスが提供されている必要があります。契約内容にデータ通信が含まれている必要があります。

注意

データはインターネット使用時に転送され(データ通信)、費用が発生する場合があります。

データローミングの有効化には、追加費用が発生する場合があります。

データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。

注意

Apple CarPlay を使用している場合、車両は Wi-Fi またはカーモデム*でのみインターネットに接続することができます。

注意

Android Auto を使用している場合、車両は Wi-Fi、Bluetooth またはカーモデム*でインターネットに接続することができます。

接続する前に、support.volvocars.com で**サービスの利用規約**と**お客様の個人情報保護方針**をお読みください。

Bluetooth で接続する

「携帯電話の接続」を参照してください。

Wi-Fi で接続する

1. 携帯電話のテザリング(ポータブル/インターネット共有)をオンにします。
2. トップビューで **設定** をタップします。
3. **通信 ➔ Wi-Fi** に移動します。
4. Wi-Fi ボックスのチェックを付けて/外して、オン/オフにします。
5. 接続するネットワークのネットワーク名をタップします。
6. ネットワークパスワードを入力します。
7. 以前に別の接続元を使用したことがある場合、接続変更のオプションを確認します。
   > 車両がネットワークに接続します。

車両との接続が切断される(車両を離れて次回使用するまでの間など)と、一部の携帯電話はテザリングがオフになります。したがって、次回の使用時には携帯電話のテザリングを再度有効にする必要があります。

携帯電話が車両に接続されると、将来の使用に備えて保存されます。保存済みの携帯電話の数が最大数(50)に達した場合、最初に接続された携帯電話が削除されます。保存済みのネットワークのリストを表示する、または保存済みのネットワークを手動で削除するには、**設定 ➔ 通信 ➔ Wi-Fi ➔ 保存されたネットワーク**に移動します。

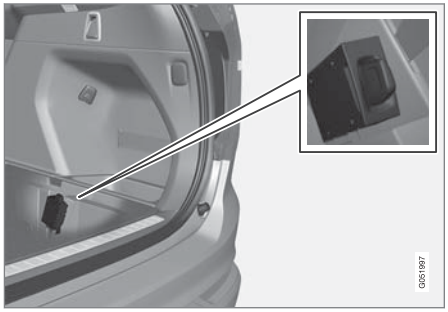
ネットワーク接続要件については、「Wi-Fi の技術とセキュリティ」を参照してください。

カーモデム*[6] で接続する

カーモデムでインターネットに接続している場合、Volvo On Call サービスはその接続を使用します。

6 Volvo On Call 装備車のみ

1.



パーソナル SIM カードをホルダーに挿入します。

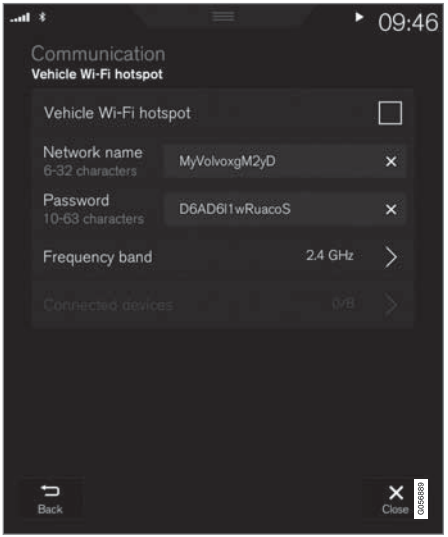
2. トップビューで **設定** をタップします。
3. **通信 ➔ カーモデムインターネット** をタップします。
4. **カーモデムインターネット** のボックスのチェックを付けて/外してオン/オフにします。
5. 以前に別の接続元を使用したことがある場合、接続変更のオプションを確認します。
6. SIM カードの PIN コードを入力します。
   › 車両がネットワークに接続します。

関連情報

- オンライン車両*（p. 539）
- 携帯電話の接続（p. 533）
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル（p. 46）
- Wi-Fi ネットワークを削除する（p. 543）
- Wi-Fi の技術とセキュリティ（p. 543）
- インターネット接続なし/接続不良（p. 542）
- カーモデム*の設定（p. 544）
- Bluetooth® 設定（p. 539）
- Apple CarPlay*（p. 526）

Wi-Fi ホットスポットによるインターネットの共有

車両がインターネットに接続されている場合、そのインターネット接続を共有して、他の機器がインターネット接続を利用できるようにすることができます。[7]



[7] Wi-Fi との接続の場合には適用されません。

◀◀ ネットワークプロバイダ(SIMカード)がテザリング（インターネット共有)に対応している必要があります。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ 車両 Wi-Fi ホットスポット** をタップします。
3. **ネットワーク名** をタップし、テザリングを指定します。
4. **パスワード** をタップし、接続する機器に入力する必要のあるパスワードを選択します。
5. **周波数帯** をタップし、テザリングのデータ送信に使用する周波数帯を選択します。一部の市場では周波数帯の選択ができません。
6. **車両 Wi-Fi ホットスポット** のボックスのチェックを付けて/外してオン/オフにします。
7. 以前に Wi-Fi を接続元として使用したことがある場合､接続変更のオプションを確認します。
   > これで外部機器を車両のテザリング(Wi-Fi ホットスポット)に接続できます。

ⓘ 注意

Wi-Fi ホットスポットを有効にした場合、ご利用のネットワークプロバイダから追加料金が加算される場合があります。

データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。

接続状態はセンターディスプレイのステータスバーにシンボルで表示されます。

接続しているデバイス をタップして、現在接続中のデバイスの一覧を表示します。

関連情報

- オンライン車両*（p. 539）
- Wi-Fi の技術とセキュリティ（p. 543）
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル（p. 46）
- インターネット接続なし/接続不良（p. 542）

インターネット接続なし/接続不良

ネットワークに影響をおよぼす要因

データ転送量は車内で使用するサービスまたはアプリによって異なります。例えば、オーディオストリーミングはデータ転送量が大きく、良好な接続状態と信号強度が必要です。

携帯電話から車両

接続の速度は、車内の携帯電話の位置によって異なることがあります。信号強度を強めるために、携帯電話をセンターディスプレイに近づけてください。間に混信がないことを確認してください。

携帯電話からネットワーク

モバイルネットワークの速度は現在地の受信状態によって異なります。トンネル、山間、峡谷、屋内などでは、受信状態が悪くなる場合があります。通信速度はご利用のネットワーク契約によっても異なります。

ⓘ 注意

データ転送の問題については、ご利用のネットワークプロバイダにお問い合わせください。

携帯電話の再起動

接続に問題がある場合、携帯電話を再起動すると問題の解消に役立つことがあります。

* オプション/アクセサリー。

関連情報
- オンライン車両*（p. 539）
- 車両に接続する（p. 540）

Wi-Fi ネットワークを削除する
使用しないネットワークの削除

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ Wi-Fi ➔ 保存されたネットワーク** に移動します。
3. 削除するネットワークの横にある **削除** をタップします。
4. 選択を確定します。
   > 今後、車両がそのネットワークに接続されることはなくなります。

すべてのネットワークを削除する
工場出荷時設定に戻すと、すべてのネットワークを同時に削除することができます。ユーザーデータおよびシステム設定がすべて工場出荷時の設定にリセットされます。ご注意ください。

関連情報
- オンライン車両*（p. 539）
- 車両に接続する（p. 540）
- 設定メニューの設定のリセット（p. 219）

Wi-Fi の技術とセキュリティ
接続可能なネットワークタイプ

以下のタイプのネットワークのみに接続することができます。

- 周波数帯 - 2.4 または 5 GHz[8]
- 規格 - 802.11 a/b/g/n
- セキュリティタイプ - WPA2-AES-CCMP

車両の Wi-Fi システムは、車内の Wi-Fi 機器に対応するように設計されています。

同じ周波数帯域で同時に複数の機器が動作している場合、性能が低下するおそれがあります。

関連情報
- オンライン車両*（p. 539）
- 車両に接続する（p. 540）
- Wi-Fi ホットスポットによるインターネットの共有（p. 541）
- インターネット接続なし/接続不良（p. 542）

[8] 周波数帯の選択はすべての市場で利用できません。

カーモデム*[9] の設定

車両には、インターネット接続に使用できるモデムが装備されています。Wi-Fi 経由でインターネットに接続することもできます。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ カーモデムインターネット**をタップして、設定を選択します。

- **カーモデムインターネット** – カーモデムをインターネット接続に使用するかどうかを選択します。
- **ﾃﾞｰﾀ使用量** – **ﾘｾｯﾄ** をタップすると、送受信されたデータ量のカウンターがリセットされます。
- **ネットワーク**

  通信事業者を選択 – ネットワークプロバイダの自動または手動選択。

  データローミング – このボックスにチェックを付けると、車両が外国にあり、ホームネットワークの外側にあるとき、カーモデムはインターネットへの接続を試みます。この結果、高額の費用を請求されることがあります。ご注意ください。自国でお使いのネットワークプロバイダーに問い合わせて、外国でのデータトラフィックに関するローミング契約を確認してください。
- **SIM カードの PIN コード**

  PIN を変更 – 4 桁以下の数字を入力できます。

  PIN コードを無効化 – SIM カードへのアクセスに PIN コードを必要とするかどうかを選択します。
- **リクエストコードを送信** – プリペイドカードのチャージまたは残高確認などに使用されます。機能はプロバイダーにより異なります。

関連情報

- オンライン車両*（p. 539）
- Wi-Fi ホットスポットによるインターネットの共有（p. 541）

アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール

車両を接続すると、新しいアプリのダウンロード、既存アプリのアップデート、アプリのアンインストールなどが可能になります。

注意

データダウンロードは、データを送信するその他のサービス（インターネットラジオなど）に影響を及ぼすおそれがあります。その他のサービスに悪影響を及ぼす場合、ダウンロードは中断することができます。その他のサービスをオフにする、または中断する方が適切な場合もあります。

注意

携帯電話を使用してダウンロードする際は、データのダウンロードにかかる費用に注意してください。

アプリの管理は、アプリケーションビューの **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ** を使用して行います。

アプリのダウンロード、アップデートまたはアンインストールは、車両がオンラインの状態である必要があります。

[9] Volvo On Call 装備車のみ

アプリのダウンロード

1. アプリ **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ** を開きます。
2. **新ｱﾌﾟﾘ** を選択して、利用可能なアプリで車両にインストールされていないアプリのリストを開きます。
3. アプリの列をタップしてリストを展開し、アプリの詳しい情報を表示します。
4. **ｲﾝｽﾄｰﾙ** を選択して、目的のアプリのダウンロードとインストールを開始します。
   > ダウンロード中はダウンロードおよびインストールの状況が表示されます。

   その時点でダウンロードを開始できない場合、メッセージが表示されます。アプリはリストに残るため、再度ダウンロードの開始を試みることができます。

ダウンロードのキャンセル

– **キャンセル** をタップすると、進行中のダウンロードがキャンセルされます。

キャンセルできるのはダウンロードのみです。インストールが始まった場合、キャンセルできません。

アプリのアップデート

アップデート中にアプリを使用している場合、インストールを完了するためにアプリが再起動されます。

すべてをアップデート

1. アプリ **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ** を開きます。
2. **全てｲﾝｽﾄｰﾙ** を選択します。
   > アップデートが開始されます。

一部をアップデート

1. アプリ **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ** を開きます。
2. **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ更新** を選択して、すべての利用可能なアップデートのリストを開きます。
3. 目的のアプリを特定して、**ｲﾝｽﾄｰﾙ** を選択します。
   > アップデートが開始されます。

アプリのアンインストール

アンインストールを完了するには、使用中のアプリを閉じる必要があります。

1. アプリ **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ** を開きます。
2. **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ更新** を選択して、すべてのインストール済みアプリのリストを開きます。
3. 目的のアプリを特定して **ｱﾝｲﾝｽﾄｰﾙ** を選択し、アプリのアンインストールを開始します。
   > アンインストールが完了すると、そのアプリはリストから消えます。

関連情報

- オンライン車両*（p. 539）
- ラジオ（p. 514）
- メディアプレーヤー（p. 516）
- システムアップデート（p. 589）

オーディオ・メディアのライセンス契約

ライセンスとは、特定のアクティビティを操作する権利、または他人の権利を契約条件に基づいて使用する権利の許諾契約です。以下はボルボ社と製造元/開発元との使用許諾契約で、本文の大部分は英語で記載されています。

Bowers & Wilkins

Bowers & Wilkins および B&W は B&W Group Ltd の商標です。Nautilus は B&W Group Ltd の商標です。Kevlar は DuPont の登録商標です。

Dirac Unison®

Dirac Unison は、低音の一体感および明瞭度を最高の状態に高めるために、周波数、時間および空間を考慮してスピーカーを最適化します。この技術により、特定の演奏会場の音響特性を忠実に再現することができます。 Dirac Unison は、先進のアルゴリズムを使用し、高精度音響測定に基づいて、Dirac Unison のすべてのスピーカーをデジタル制御します。オーケストラの指揮者のように、すべてのスピーカーを完璧に調和させます。

DivX®

DivX®, DivX Certified® およびこれらの関連ロゴは DivX, LLC の商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

この DivX Certified® デバイスは 576p 以下の DivX® Home Theater ビデオファイルを再生することができます(.avi、.divx を含む)。デジタルビデオを作成、再生およびストリーミングするには、www.divx.com でフリーソフトウェアをダウンロードしてください。

DIVX VIDEO-ON-DEMAND について:購入した DivX ビデオオンデマンド(VOD)映画を再生するには、この DivX Certified® 認証機器を登録する必要があります。機器の設定メニューで DivX VOD を確認して、登録コードを入手してください。登録の完了方法については、vod.divx.com を参照してください。

特許番号

以下の米国特許により保護されています：
7,295,673; 7,460,668; 7,515,710;
8,656,183; 8,731,369; RE45,052

Gracenote®

コンテンツの一部は Gracenote またはそのサプライヤーの著作物©です。

Gracenote、Gracenote ロゴとロゴタイプ、「Powered by Gracenote」および Gracenote MusicID は、米国およびその他の国における Gracenote, Inc. の商標または登録商標です。

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.(以下「Gracenote」)のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア(以下「Gracenote ソフトウェア」)を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報(以下「Gracenote データ」)などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、あるいは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenote サーバー」)から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆるすべての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのすべての所有権を含む、すべての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote サービスに関する Gracenote のプライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと、Gracenote データのすべての情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおけるすべての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証をいたしません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、あるいは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証はいたしません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および知的所有権の非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、あるいは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote, Inc. 2009

ユビキタス DTCP-IP

Copyright© 2015 Ubiquitous Corp.

B-CAS カード使用許諾契約約款 (KB0007D)

お客様がお買い求めの地上デジタルテレビジョン放送の受信機器には、デジタル放送を受信するためのＩＣカード（B-CAS（ビーキャス）カード）（以下「カード」といいます）が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」といいます）が受信機器メーカーと契約し、受信機器メーカーにおいて、放送番組の著作権保護等に対応したデジタル放送の受信機器（一般社団法人電波産業会（ＡＲＩＢ）の技術的基準に適合した受信機器）に内蔵されます。 当社は、このカードを、この約款の契約に基づいてお客様に貸与します。お客様は、お買い求めの受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。 この約款は「特別内蔵用　B-CASカード」と「特別内蔵用 mini Ｂ－ＣＡＳカード」に適用されます。

第１条（カードの使用目的）

このカードは、放送番組の著作権保護等に対応した地上デジタルテレビジョン放送の受信機器において、各種放送サービスを受信する目的で使用されます。

第２条（カードの所有権と使用許諾）

1. このカードの所有権は、当社に帰属します。
2. この契約に基づき、お客様およびお客様と同一世帯の方がこのカードを使用できます。

第３条 （カードの故障交換等）

1. カードが原因と思われる受信障害が発生した場合は、受信機器メーカーあるいは販売店（以下「メーカー等」といいます）に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保証に準じて、メーカー等により行われます。詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください。
2. 当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、第１条の放送サービスが受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第４条 （カードの交換依頼）

カードの不具合やシステム変更（バージョンアップ）等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。

第５条 （契約の終了）

当社は、受信機器の廃棄や譲渡等によりお客様がこのカードを使用しなくなった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第６条 （禁止事項）

1. 第１条のカードの使用目的に反する機器（例えば著作権保護に対応していない機器）に、このカードを使用することはできません。
2. このカードを使用して、ＢＳデジタル放送や 110 度ＣＳデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
3. カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。
4. カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第７条 （損害賠償）

お客様が第６条に違反する行為を行い当社に損害を与えた場合、当社は、お客様に対し損害の賠償を請求することがあります。

第８条　（約款の変更）
この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）に掲載します。

株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ

Sensus software

This software uses parts of sources from clib2 and Prex Embedded Real-time OS - Source (Copyright (c) 1982, 1986, 1991, 1993, 1994), and Quercus Robusta (Copyright (c) 1990, 1993), The Regents of the University of California. All or some portions are derived from material licensed to the University of California by American Telephone and Telegraph Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with the permission of UNIX System Laboratories, Inc. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. Neither the name of the <ORGANIZATION> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

This software uses parts of sources from "libtess". The Original Code is: OpenGL Sample Implementation, Version 1.2.1, released January 26, 2000, developed by Silicon Graphics, Inc. The Original Code is Copyright (c) 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. Copyright in any portions created by third parties is as indicated elsewhere herein. All Rights Reserved. Copyright (C) [1991-2000] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved. Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to http://oss.sgi.com/projects/FreeB/ shall be included in all copies or substantial portions of the Software. THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR

ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE. Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

This software is based in parts on the work of the FreeType Team.

This software uses parts of SSLeay Library: Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com). All rights reserved

Linux software

This product contains software licensed under GNU General Public License (GPL) or GNU Lesser General Public License (LGPL), etc.

You have the right of acquisition, modification, and distribution of the source code of the GPL/LGPL software.

You may download Source Code from the following website at no charge: http://www.embedded-carmultimedia.jp/linux/oss/download/TVM_8351_013

The website provides the Source Code "As Is" and without warranty of any kind.

By downloading Source Code, you expressly assume all risk and liability associated with downloading and using the Source Code and complying with the user agreements that accompany each Source Code.

Please note that we cannot respond to any inquiries regarding the source code.

camellia:1.2.0

Copyright (c) 2006, 2007

NTT (Nippon Telegraph and Telephone Corporation). All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer as the first lines of this file unmodified.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NTT ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NTT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Unicode: 5.1.0

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright c 1991-2013 Unicode, Inc. All rights reserved. Distributed under the Terms of Use in http://www.unicode.org/copyright.html.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in

the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that (a) the above copyright notice(s) and this permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, (b) both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in associated documentation, and (c) there is clear notice in each modified Data File or in the Software as well as in the documentation associated with the Data File(s) or Software that the data or software has been modified.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

Bluetooth®モジュールの適合宣言

Declaration of Conformity

Mitsubishi Electric Corporation Sanda Works
2-3-33, Miwa, Sanda-city, Hyogo, 669-1513 Japan

We declare, at our sole responsibility, that the following product conforms to the Essential Requirements of the Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 1999/5/EC in accordance with the tests conducted to the appropriate requirements of the relevant standards, as listed herewith.

Product :	Audio Navigation Unit	
Model/Type Number :	NR-0V	
Directive and Standards used :	Radio :	EN 300 328 V1.8.1 : 2012-6
	EMC :	EN 301 489-1 V1.9.2 : 2011-09 EN 301 489-17 V2.2.1 : 2012-09
	Safety :	IEC 60950-1:2005 (Second Edition) + Am 1:2009 and/or EN 60950-1 : 2006+A11:2010+A11:2009+A12:2011
	Health :	EN 62479: 2011-09

The authorized signatory to this declaration :

Date: 13th May 2014

Signature: T. Kyomoto

Name: **Takeshi Kyomoto**
Title: Manager,
Mitsubishi Electric Corporation Sanda Works
Address: 2-3-33, Miwa, Sanda-city, Hyogo, 669-1513, Japan

The responsible person based within the EC :

Date: 2014-05-14

Signature:

Name: **Jan Billig**
Title: General Manager,
Mitsubishi Electric Automotive Europe,B.V.
Swedish Branch, Technical Center
Address: Ostra Eriksbergsgatan 38, SE41878 Gothenburg, Sweden

国/地域	
ブラジル：	 Este equipamento opera em caráter secundário isto e, náo tem direito a protecão contra interferéncia prejudicial, mesmo tipo, e não pode causar interferéncia a sistemas operando em caráter primário. Para consultas, visite: www.anatel.gov.br
EU：	 輸出国：日本 製造元：Mitsubishi Electric Corporation 機器のタイプ：Audio Navigation Unit Mitsubishi Electric Corporation は本 Audio Navigation Unit が 1999/5/EG 指令の必須条件およびその他の規定に適合することを宣言します。
アラブ首長国連邦：	

国/地域	
カザフスタン：	 モデル名：NR 0V 製造元：Mitsubishi Electric Corporation 輸出国：日本

国/地域	
中国：	1. ■ 使用频率：2.4 - 2.4835 GHz ■ 等效全向辐射功率(EIRP)： 天线增益＜ 10dBi 时：≤100 mW 或≤20 dBm ① ■ 最大功率谱密度： 天线增益＜ 10dBi 时：≤20 dBm / MHz(EIRP) ① ■ 载频容限：20 ppm ■ 带外发射功率(在 2.4-2.4835GHz 频段以外) ≤-80 dBm / Hz (EIRP) ■ 杂散发射(辐射)功率(对应载波±2.5 倍信道带宽以外)： ● ≤-36 dBm / 100 kHz (30 - 1000 MHz) ● ≤-33 dBm / 100 kHz (2.4 - 2.4835 GHz) ● ≤-40 dBm / 1 MHz (3.4 - 3.53 GHz) ● ≤-40 dBm / 1 MHz (5.725 - 5.85 GHz) ● ≤-30 dBm / 1 MHz (其它 1 - 12.75 GHz) 2.不得擅自更改发射频率、加大发射功率(包括额外加装射频功率放大器)，不得擅自外接天线或改用其它发射天线； 3.使用时不得对各种合法的无线电通信业务产生有害干扰；一旦发现有干扰现象时，应立即停止使用，并采取措施消除干扰后方可继续使用； 4.使用微功率无线电设备，必须忍受各种无线电业务的干扰或工业、科学及医疗应用设备的辐射干扰； 5.不得在飞机和机场附近使用。
韓国：	B 급 기기 (가정용 방송통신기자재) 이 기기는 가정용(B 급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다. 해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

国/地域	
マレーシア	 This device has been certified under the Communications & Multimedia Act of 1998, Communications and Multimedia (Technical Standards) Regulations 2000.To retrieve your device’s serial number, please visit (support.volvocars.com) and search for “SIRIM Label Verification”. Device category: Navigation equipment for vehicle (Bluetooth) Model: NR-0V Type Approval No.: RBAY/18A/1015S(15-4067)

国/地域	
メキシコ：	
台湾：	低功率電波輻射性電機管理辦法 第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。 第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立停用，改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

関連情報

- オーディオ・メディア（p. 512）
- メディアプレーヤー（p. 516）
- オンライン車両*（p. 539）
- Gracenote®（p. 520）
- Sensus – オンライン接続性およびエンターテイメント（p. 30）

* オプション/アクセサリー。

サービスの利用規約とお客様の個人情報保護方針

support.volvocars.com でサービスの利用規約とお客様の個人情報保護方針をお読みください。

サービスの利用規約

ボルボは、お客様にできるだけ安全かつ快適にボルボ車を運転していただけるよう、お客様に最高のサービスを提供することに力を注いでいます。ボルボでは、緊急時の支援からさまざまなインフォテイメントサービスにいたるまで、幅広いサービスを提供します。

サービスをご利用になる前に、support.volvocars.com で利用規約(「Service Terms and Conditions」)をよくお読みください。

お客様の個人情報保護方針

個人情報保護方針はお客様のデータおよび個人情報の取り扱いに適用されます。本方針の目的は、現在、過去および未来のお客様に以下の点について全般的な説明を提供することです。

- 弊社がお客様の個人情報を収集および処理する状況。
- 弊社が収集する個人情報の種類。
- 弊社がお客様の個人情報を収集する理由。
- お客様の個人情報の取り扱い方法。

本方針は support.volvocars.com で全文を読むことができます。

関連情報

- オーディオ・メディアのライセンス契約 (p. 546)
- ドライバーディスプレイのライセンス契約 (p. 143)
- レーダーユニットの型式認定 (p. 382)

ホイールおよびタイヤ

タイヤ

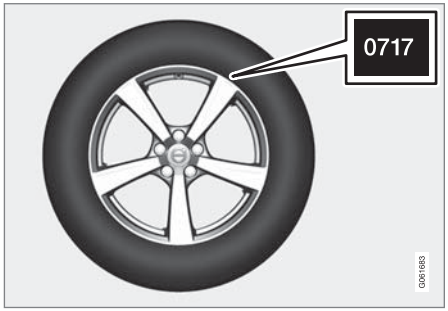
特にタイヤには、荷重を支え、路面へのグリップ力を与え、振動を抑制して、ホイールを摩耗から保護する機能があります。

タイヤは、車両の走行特性に大きく影響します。タイヤの種類、サイズ、タイヤ空気圧、速度記号は、車両の性能に大きな意味を持ちます。

推奨タイヤ

納車時には、タイヤの側面に VOL[1] マークが付いたボルボオリジナルタイヤが装備されています。これらのタイヤは、車両に合わせて慎重に調整されています。そのため、タイヤを変更する際は車両の走行特性、快適性および燃費性能を維持できるよう、新しいタイヤにもこのマークが付いていることが重要です。

新しいタイヤ



タイヤは消耗品です。製造後数年が経過すると、タイヤは次第に硬くなり、接地性が悪くなります(経年劣化)。タイヤを交換するときは、できるだけ製造年が新しいタイヤと交換してください。特に、ウインタータイヤの場合は重要です。最後の 4 桁の数字は、そのタイヤの製造週と製造年を表しています。これはタイヤの DOT マーク(Department of Transportation)と呼ばれ、例えば 0717 のように表示されます。図中のタイヤは 2017 年第 7 週に製造されたものです。

タイヤの耐用年数

製造日から 6 年以上経過したタイヤは、摩耗していなくても必ず専門家による点検が必要です。ほとんど使用されていない場合や、一切使用されていない場合でも、タイヤは経年劣化し、変質します。そのため、機能が低下します。これは、将来使用するために保管しているタイヤすべてに当てはまります。亀裂や変色などがあるタイヤは、絶対に使用しないでください。

摩耗とメンテナンス

タイヤ空気圧が適正であれば、タイヤは均一に磨耗します。タイヤの寿命および摩耗は、運転スタイル、タイヤ空気圧、気候および路面状況などに影響されます。

タイヤの片減りなどを防ぎ、タイヤの摩耗を均一にするため、前輪と後輪のタイヤをローテーションすることをお薦めします。初回は約 5,000 km 走行後、その後は 10,000 km 走行ごとに行ってください。

トレッド溝の深さについてご不明な点は、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。タイヤ間で摩耗の度合いが著しく異なる(トレッド溝の深さの差が> 1 mm より大きい)場合には、一番摩耗が少ないタイヤを必ず後輪に装着してください。アンダーステア時は、車両後部が片側に横滑りするよりまっすぐ前進するため、オーバーステア時より修正しやすいのが普通です。後輪が横滑りすると、車両の制御を完全に失う可能性がありますので、後輪が前輪より早くグリップ力を失うことがないようにすることが重要です。

⚠ 警告

タイヤが損傷していると、車両を制御できなくなるおそれがあります。

保管

ホイールにタイヤを取り付けた状態で保管するときは、横に寝かせるか吊るして保管してください。立てかけた状態で保管しないでください。

関連情報

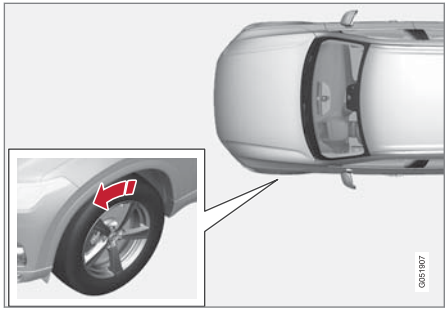
- タイヤ空気圧の点検 (p. 562)
- タイヤの回転方向 (p. 561)

[1] タイヤサイズにより異なることがあります。

- タイヤのトレッド摩耗インジケーター (p. 562)
- タイヤ・モニタリング* (p. 563)
- 緊急パンクリペアーキット (p. 568)
- タイヤのサイズ表示 (p. 582)

タイヤの回転方向

トレッドパターンが一方向にのみ回転するようにデザインされているタイヤは、サイドウォール部にタイヤの回転方向が矢印で表示されています。



矢印は、タイヤの前進回転方向を示します。

タイヤの使用期間中、前進時の回転方向がつねに同じになるように装着してください。タイヤは前後の入れ替えはできますが、絶対に左右を入れ替えないでください。タイヤが正しく装着されていない場合、降雨時などでブレーキ性能が低下する原因になります。摩耗が少ない(トレッド溝が深い)タイヤをリアに装着すると、スリップしにくくなります。

注意

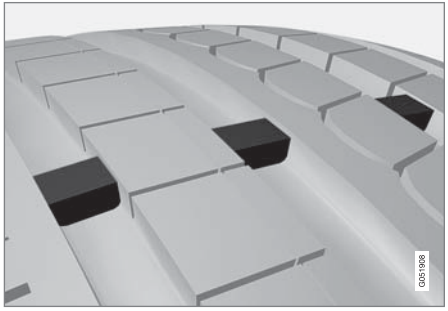
同じタイプ、同じサイズで、同じメーカーのものを装着するよう徹底してください。

関連情報

- タイヤ (p. 560)

タイヤのトレッド摩耗インジケーター

トレッド摩耗インジケーターはタイヤのトレッド溝の深さを示します。



トレッド摩耗インジケーターは、タイヤのトレッドパターンの縦溝を横切るように埋め込まれている細い隆起物です。タイヤの側面に TWI (Tread Wear Indicator)の文字が表示されています。トレッド溝の深さが 1.6 mm (1/16″)になると、トレッドはトレッド摩耗インジケーターと同じ高さになります。すみやかに新しいタイヤと交換してください。タイヤが摩耗していると、雨や雪で濡れた路面などでグリップ力が非常に悪くなり、スリップの原因になります。

関連情報

- タイヤ (p. 560)

タイヤ空気圧の点検

タイヤを適切な空気圧で使用すると、走行安全性の向上と燃料の節約につながるとともに、タイヤの寿命が延びます。

タイヤ空気圧は時間と共に低下しますが、これは異常ではありません。タイヤ空気圧は、外気温によっても変化します。タイヤ空気圧が不十分であれば、燃料消費が増加し、タイヤの寿命が短くなり、車両の走行特性に悪影響をおよぼします。タイヤ空気圧が低すぎると、走行中にタイヤが過熱して損傷するおそれがあります。タイヤ空気圧は、走行快適性やロードノイズ、走行特性に影響します。

適正タイヤ空気圧

運転席側ドアピラー(フレームとリアドアの間)にタイヤ空気圧表示ラベルがあり、異なる荷重および走行速度におけるタイヤの適正空気圧が表示されています。

ECO プレッシャーによる燃費向上

荷重が軽く(3 人以下)、走行速度が 160 km/h (100 mph)以下の場合、ECO プレッシャーを選択すると燃費を向上させることができます。ただし、ロードノイズを抑えて走行快適性を高めたい場合、さらに低い快適空気圧の使用をお薦めします。

空気圧の点検

1. タイヤ空気圧を毎月 1 回点検してください。タイヤが冷えている状態(外気温と同じ状態)で、空気圧を点検してください。タイヤは数 km 走行しただけで温まり、内部の空気圧が上がります。
2. 必要に応じて、タイヤ空気圧表示ラベルに記されている値と一致するように空気圧を調整してください。

注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、必ずダストキャップを取り付けてください。
- 必ずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食して緩めにくくなることがあります。

関連情報
- タイヤ（p. 560）
- タイヤ・モニタリング・システム*によるタイヤ空気圧の点検（p. 565）
- 緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる（p. 572）
- 承認タイヤ空気圧（p. 651）

タイヤ・モニタリング*

タイヤ・モニタリング・システム、Indirect Tyre Pressure Monitoring System（ITPMS）は、1本以上のタイヤの空気圧が低下したときにドライバーディスプレイの表示灯で警告します。

表示灯が最初に約1分間点滅した後、点灯に変わった場合、システムがタイヤ空気圧の低下を検出できない、またはタイヤ空気圧の低下を正しく警告できないことを示している可能性があります。

シンボル	意味
	• このシンボルは、タイヤ空気圧が低いときに点灯します。 • ITPMSシステムに不具合がある場合、このシンボルは約1分間点滅した後、点灯に変わります。

システムの概要
ITPMSは、ABSシステムを経由してタイヤ間の回転速度差を測定し、すべてのタイヤの空気圧が正しいかを判定します。タイヤ空気圧が低すぎる場合、タイヤの直径が変化するため、回転速度にも変化が生じます。各タイヤを比較することにより、システムは空気圧の低すぎるタイヤの有無を特定することができます。

タイヤ空気圧が低下すると、ディスプレイにタイヤ空気圧低下の表示灯が点灯してメッセージが表示されます。以下の「ドライバーディスプレイのメッセージ」の項も参照してください。

タイヤ・モニタリング・システムの概要

以下の情報では、タイヤ・モニタリング・システムの呼称として一般名の TPMS が使用されています。

各タイヤ(スペアタイヤ*を含む)は毎月 1 回点検する必要があります。タイヤを車両メーカー推奨の空気圧(タイヤ空気圧表またはタイヤ空気圧ラベルに表示されている値)にし、タイヤが冷えている状態で点検してください。タイヤのサイズがメーカー推奨のサイズと異なる場合、装着しているタイヤの適正空気圧を調べてください。

追加の安全機能として、車両にはタイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム(TPMS)が装備されており、1 本以上のタイヤの空気圧が低すぎるときに、その状態が表示されます。タイヤ空気圧低下を知らせる表示灯が点灯した場合、すみやかに停車してタイヤを点検し、適切な空気圧に調整してください。

タイヤの空気圧が低下した状態で走行を続けると、タイヤが過熱してパンクする可能性があります。タイヤの空気圧が低下していると、燃費が悪化し、タイヤの寿命が短くなるとともに、車両のハンドリング性能および停止性能にも悪影響をおよぼす可能性があります。TPMS が装着されていても、定期的なタイヤメンテナンスは必要です。タイヤ空気圧の低下限度に達しておらず、表示灯が点灯していない場合でも、適切なタイヤ空気圧を維持することは運転者の責任です。

車両には、TPMS システム不具合インジケーターも装備されています。このインジケーターはシステムが正常に機能していないときに表示されます。TPMS システム不具合インジケーターは、タイヤ空気圧低下の表示灯と併用されます。システムが不具合を検出すると、ドライバーディスプレイの表示灯が約 1 分間点滅してから点灯に変わります。この動作は、不具合が修正されるまで車両の始動時に繰り返されます。表示灯が点灯している場合、システムのタイヤ空気圧低下の検出あるいは警告機能が影響を受けることがあります。

TPMS システムの不具合が発生した場合、スペアタイヤへの変更、TPMS の正常な機能を妨げるタイヤまたはホイールへの交換など、いくつかの原因が考えられます。

タイヤを 1 本でも交換した場合、必ず TPMS の表示灯を確認して、新しいタイヤまたはホイールで TPMS が正常に機能していることを確認してください。

ドライバーディスプレイのメッセージ

表示灯が点灯すると、以下のメッセージが表示されることがあります。

- **タイヤ空気圧低下 タイヤを点検し、空気充填後に較正**
- **ﾀｲﾔ空気圧監視ｼｽﾃﾑ 一時的に 利用できません**
- **ﾀｲﾔ空気圧監視ｼｽﾃﾑ 販売店に お問い合わせ下さい**

システムがどのタイヤの空気圧が低下しているかを判別できないときは、センターディスプレイに 4 本のタイヤすべてが表示されます。

注意事項

- ホイール交換後またはタイヤ空気圧の調節後は、必ずシステムを校正してください。ボルボの推奨タイヤ空気圧については、運転席側ドアピラーのタイヤ空気圧表示ラベルを参照してください。
- TPMS システムが機能している場合でも、タイヤのメンテナンスは実施してください。
- ITPMS をオフにすることはできません。

関連情報

- タイヤ (p. 560)
- タイヤ・モニタリング・システム*によるタイヤ空気圧の点検 (p. 565)
- タイヤ・モニタリング*の校正 (p. 567)
- タイヤ・モニタリング*によるタイヤ空気圧の修正 (p. 566)

* オプション/アクセサリー。

タイヤ・モニタリング・システム*によるタイヤ空気圧の点検

タイヤ・モニタリング・システムの Indirect Tyre Pressure Monitoring System (ITPMS)装備車では、タイヤ空気圧の状態がセンターディスプレイに表示されます。

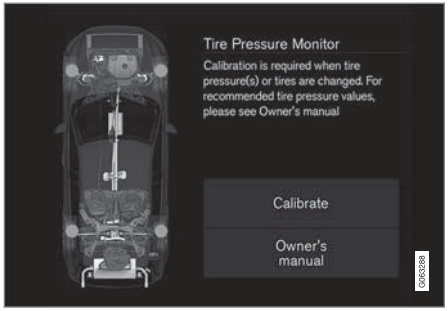
状態の点検

1. アプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。

2. **ﾀｲﾔ圧監視ｼｽﾃﾑ** をタップして、タイヤの状態を表示します。

状態表示

グラフィックに各タイヤの状態が表示されます[2]。



緑色のタイヤ：

- タイヤ空気圧が警告の対象となる制限値を上回っています。

黄色のタイヤ：

- タイヤの空気圧が低すぎます。すみやかに停車して、タイヤ空気圧を点検/修正してください。タイヤ空気圧の調節後、ITPMS を校正してください。

すべてのタイヤが黄色になっている：

- 2 本以上のタイヤの空気圧が低下しています。すみやかに停車して、タイヤ空気圧を点検/修正してください。タイヤ空気圧の調節後、ITPMS を校正してください。

すべてのタイヤが灰色になっている：

- 校正中
- 不明の状態

システムがオンになるには、35 km/h (22 mph) を上回る速度で数分間走行する必要があります。

すべてのタイヤが灰色で、次のメッセージが表示される：

- **ﾀｲﾔ空気圧監視ｼｽﾃﾑ 一時的に 利用できません**。表示灯が点滅し、約 1 分後に点灯に変わります。システムは現在利用できません。まもなくオンになります。
- **ﾀｲﾔ空気圧監視ｼｽﾃﾑ 販売店に お問い合わせ下さい**。表示灯が点滅し、約 1 分後に点灯に変わります。システムが正常に作動していません。ボルボ指定のサービス工場(推奨)にお問い合わせください。

関連情報

- タイヤ・モニタリング* (p. 563)
- タイヤ・モニタリング*の校正 (p. 567)
- タイヤ・モニタリング*によるタイヤ空気圧の修正 (p. 566)
- 車両状態 (p. 586)

[2] 図は概略図です。配置は、車両モデルまたはソフトウェアのアップデートにより異なる場合があります。

タイヤ・モニタリング*によるタイヤ空気圧の修正

タイヤ・モニタリング・システム、Indirect Tyre Pressure Monitoring System (ITPMS)は、1本以上のタイヤの空気圧が低下しすぎているときに警告を出します。

ITPMSの表示灯が点灯し、**タイヤ空気圧低下**というメッセージが表示されたら、タイヤ空気圧を点検および修正してください。タイヤ空気圧の調節後、ITPMSを校正してください。

1. タイヤプレッシャーゲージを使用して、4輪すべてのタイヤ空気圧を点検します。
2. 運転席側ドアピラーのタイヤ空気圧表示ラベルに従って、タイヤを適切な空気圧に調節します。

3. ITPMSシステムを再度校正します。「タイヤ・モニタリングの校正」の項を参照してください。
4. 35 km/h (22 mph)を超える速度で走行します。

   ITPMSシンボルは、タイヤ空気圧低下が解消され、新たに校正が実施されるまで消灯しません。

注意

タイヤ空気圧を正しく調節するには、タイヤが冷えた状態で空気圧を点検する必要があります。「タイヤが冷えた状態」とは、タイヤが外気温と同じ温度である状態です(車両の停止から約3時間後)。数キロ走行するだけでタイヤ温度が上昇し、タイヤ空気圧も上昇します。

注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、必ずダストキャップを取り付けてください。
- 必ずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食して緩めにくくなることがあります。

警告

- タイヤ空気圧が正しくないと、タイヤに不具合が発生し、運転者が車両を制御できなくなるおそれがあります。
- システムはタイヤの突然の損傷を事前に予測することはできません。

関連情報

- タイヤ・モニタリング* (p. 563)
- タイヤ・モニタリング・システム*によるタイヤ空気圧の点検 (p. 565)
- タイヤ・モニタリング*の校正 (p. 567)
- 承認タイヤ空気圧 (p. 651)
- 緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる (p. 572)

* オプション/アクセサリー。

タイヤ・モニタリング*の校正

Indirect Tyre Pressure Monitoring System (ITPMS)が正しく機能するには、タイヤ空気圧の基準値を決定する必要があります。この作業は、タイヤ交換またはタイヤ空気圧の変更のたびに行う必要があります。

たとえば、重い荷物を積載して走行する、または160 km/h (100 mph)を上回る高速で走行するときは、タイヤ空気圧をボルボの推奨タイヤ空気圧値に従ってタイヤ空気圧を調節する必要があります。そして、調節の後にシステムを再校正する必要があります。

1. 車両をオフにします。
2. 運転席側ドアピラーのタイヤ空気圧表示ラベルに従って、タイヤを必要な空気圧に調節します。

3. 車両を始動します。
4. アプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。

5. **ﾀｲﾔ圧監視ｼｽﾃﾑ** をタップします。

注意

校正を開始するときは、車両が静止している必要があります。

6. **校正** をタップします。
7. **OK** をタップして、4輪すべてのタイヤ空気圧の点検と調整が完了したことを確認します。
8. 走行を開始します。

   35 km/h (22 mph)を超える速度で走行すると、校正が行われます。エンジンを停止すると校正は一時的に中断されますが、再び走行を開始すると校正もバックグラウンドで再開されます。

   › システムがタイヤ空気圧の低下を検出するために十分なデータが収集されると、センターディスプレイのタイヤの色が灰色から緑色に変わります。校正が完了しても、システムからの確認通知はありません。

   校正に失敗すると、**校正出来ませんでした** というメッセージが表示されます。

注意

TPMSシステムは、タイヤ空気圧を調節した場合、またはタイヤ交換のたびに校正し直す必要があります。システムが正常に機能するためには、新しい基準値を保存する必要があります。

関連情報

- タイヤ・モニタリング* (p. 563)
- タイヤ・モニタリング・システム*によるタイヤ空気圧の点検 (p. 565)
- タイヤ・モニタリング*によるタイヤ空気圧の修正 (p. 566)

緊急パンクリペアーキット

緊急パンクリペアーキット、Temporary Mobility Kit (TMK)は、パンクを塞ぐときや空気圧の点検および調節を行うときに使用します。

緊急パンクリペアーキットは、電動エアコンプレッサーおよびシーリング剤が入ったボトルで構成されています。このキットは応急修理用です。シーリング剤は、トレッド部のパンクした箇所を効果的に塞ぎます。

緊急パンクリペアーキットは、タイヤのサイドウォール部のパンク修理には使用しないでください。裂け、亀裂などの損傷が大きいタイヤには、緊急パンクリペアーキットを使用しないでください。

注意

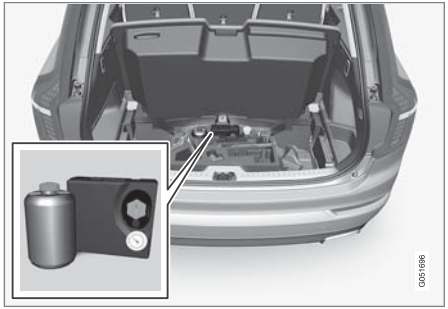
緊急パンクリペアーキットは、タイヤのトレッド部のパンクした部分をシールすることのみを目的としています。

注意

緊急パンクリペアーキット用コンプレッサーはボルボによりテストされ、承認されています。

位置

緊急パンクリペアーキットは、カーゴスペースのフロアマット下のフォームブロック内にあります。



シーリング剤ボトル

シーリング剤のボトルに表示されている有効期限が切れている場合、ボトルを交換する必要があります(ボトルのラベル参照)。取り外したボトルは、危険ゴミとして廃棄してください。

使用後には、シーリング剤ボトルを交換する必要があります。交換は、ボルボ指定のサービス工場に依頼してください。

警告

シーリング剤ボトルには、1.2エタノールおよび天然ゴムラテックスが入っています。

- 誤飲すると危険です。
- 皮膚に触れると、アレルギー反応を起こすおそれがあります。
- 皮膚に触れたり、眼に入らないようにご注意ください。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。

警告

- シーリング剤が皮膚に付着した場合、石けんと大量の水ですぐに洗い流してください。
- シーリング剤が目に入った場合、洗眼液または大量の水ですぐに洗い流してください。違和感が解消されない場合、医師の診察を受けてください。

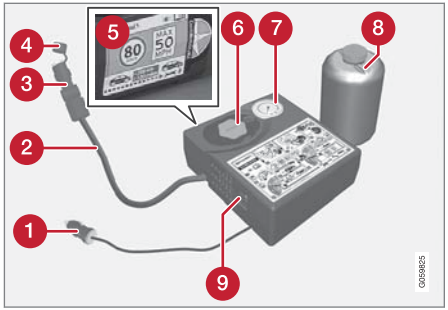
関連情報

- 緊急パンクリペアーキットを使用する (p. 569)
- 緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる (p. 572)
- タイヤ (p. 560)

緊急パンクリペアーキットを使用する

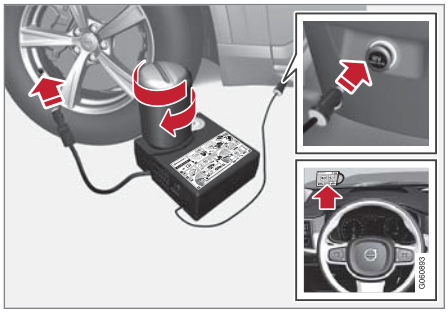
緊急パンクリペアーキット、Temporary Mobility Kit (TMK)を使用してパンクを塞ぎます。

概要



1. 電源コード
2. エアホース
3. プレッシャーリリーフバルブ
4. プロテクティブキャップ
5. 制限速度の表示ラベル
6. ボトルホルダー(オレンジ色キャップ)
7. プレッシャーゲージ
8. シーリング剤ボトル
9. スイッチ

接続



1. 車が往来する場所で作業する場合は、必ず三角警告板(停止表示板)を立てて、非常点滅灯を作動させてください。

   釘などが刺さってパンクした場合、刺さっているものをタイヤに残したままにしてください。穴を塞ぐのに役立ちます。

2. コンプレッサーの片側に取り付けられた制限速度の表示ラベルを取り外します。制限速度を守るリマインダーとして、表示ラベルをウインドスクリーンの見える位置に貼ります。緊急パンクリペアーキット使用後は、絶対に 80 km/h (50 mph)を超える速度で走行しないでください。
3. スイッチが **0** (オフ)位置にあることを確認し、電源コードおよびエアホースを適切に配置します。
4. オレンジ色のキャップをコンプレッサーから外し、シーリング剤ボトルのコルクを外します。

注意

ご使用の前にボトルのシールを開けないでください。ボトルを締め込むと、シールが自動的に開封されます。

5. ボトルをボトルホルダーの下までねじ込みます。
   > ボトルおよびボトルホルダーにはシーリング材の漏れ防止のためにリバースキャッチが装備されています。一度ねじ込むと、ボトルはボトルホルダーから外すことができません。ボトルの取り外しは、ボルボ指定のサービス工場で行う必要があります。

⚠ 警告

- シーリング剤が皮膚に付着した場合、石けんと大量の水ですぐに洗い流してください。
- シーリング剤が目に入った場合、洗眼液または大量の水ですぐに洗い流してください。違和感が解消されない場合、医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

使用後は、ボトルをホルダーから外さないでください。ボトルには、液漏れを防ぐためのリバースキャッチが付いています。

6. タイヤのダストキャップを外します。

   エアホースのプレッシャーリリーフバルブが完全にねじ込まれていることを確認し、エアホースのバルブコネクターをタイヤバルブのネジ部の下までねじ込みます。

7. 電源コードをもっとも近くの 12V 電源ソケットに接続して、車両を始動します。

ⓘ 注意

コンプレッサーの作動中には、その他の 12V 電源ソケットを一切使用しないでください。

⚠ 警告

エンジン作動中、お子様だけを車内に残したまま、車両から絶対に離れないでください。

8. スイッチを I（オン）位置にして、コンプレッサーを起動します。

⚠ 警告

コンプレッサーでタイヤに空気を充填している間は、タイヤの横に立たないでください。タイヤにヒビ割れ、ふくらみなどの異常が認められた場合は、ただちにコンプレッサーを停止してください。このような場合は、走行しないでください。ロードサイド・アシスタンス・サービスに連絡して、タイヤ販売店への移動を依頼してください。指定のタイヤ販売店をお薦めします。

ⓘ 注意

コンプレッサーが作動すると圧力は 6 バール（88 psi）程度まで上昇しますが、約 30 秒後に圧力は低下します。

9. 7 分間タイヤに空気を充填します。

❗ 重要

コンプレッサーは 10 分以上作動させないでください。過熱するおそれがあります。

10. コンプレッサーのスイッチを切り、プレッシャーゲージの圧力を確認します。タイヤ空気圧が 1.8 バール(22 psi)～3.5 バール(51 psi)であれば正常です。タイヤ空気圧が高すぎる場合は、プレッシャーリリーフバルブを使用して圧力を下げます。

⚠ 警告

タイヤ空気圧が 1.8 バール(22 psi)以下の場合は、タイヤのパンク穴が大き過ぎることを意味します。このような場合は、走行しないでください。ロードサイド・アシスタンス・サービスに連絡して、タイヤ販売店への移動を依頼してください。指定のタイヤ販売店をお薦めします。

11. コンプレッサーをオフにして、電源コードを外します。
12. エアホースをタイヤバルブから外して、ダストキャップをタイヤに元通りに取り付けます。
13. 残りのシーリング材の漏れ防止のため、エアホースに保護キャップを取り付けます。機材をカーゴスペースに入れてください。
14. シーリング剤でパンク穴が確実に塞がれるように、すみやかに 80 km/h (50 mph)以下の速度で 3 km (2 miles)以上走行し、その後に事後点検を行います。

ⓘ 注意

最初の数回転ではタイヤのパンク穴からシーリング剤が噴き出します。

⚠ 警告

車両を発進させるときには、車両の近くに誰もいないこと、シーリング剤が誰にもかからないことを確認してください。距離は 2 m(7 feet)以上である必要があります。

15. **事後点検**

    エアホースをタイヤバルブに接続し、バルブコネクターをタイヤバルブのネジ部の下までねじ込みます。コンプレッサーのスイッチをオフにします。

16. プレッシャーゲージの圧力を読み取ります。
    - タイヤ空気圧が 1.3 バール(19 psi)以下の場合は、タイヤのパンク穴が十分に塞がっていません。このような場合は、走行しないでください。ロードサイド・アシスタンス・サービスに連絡してください。
    - タイヤ空気圧が 1.3 バール(19 psi)以上ある場合は、運転席側ドアピラーのタイヤ空気圧ラベルに記載されている適正な空気圧に達するまで、空気を充填します(1 バール = 100 kPa)。タイヤ空気圧が高すぎる場合は、プレッシャーリリーフバルブを使用して圧力を下げます。
17. タイヤに空気を注入する必要がある場合：
    1. 電源コードをもっとも近くの 12V 電源ソケットに接続して、車両を始動します。
    2. コンプレッサーをオンにして、タイヤ空気圧ラベルに記載されている適正な空気圧に達するまで空気を注入します。
    3. コンプレッサーを止めます。

18. タイヤシーリング用品を取り外します。

    残りのシーリング材の漏れ防止のため、エアホースに保護キャップを取り付けます。

⚠ 警告

使用後は、ボトルをホルダーから外さないでください。ボトルには、液漏れを防ぐためのリバースキャッチが付いています。

19. ダストキャップをタイヤに元通りに取り付けます。

ⓘ 注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、必ずダストキャップを取り付けてください。
- 必ずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食して緩めにくくなることがあります。

ⓘ 注意

シーリング剤ボトルおよびホースを使用した後は、必ず新品と交換してください。交換は、ボルボ指定のサービス工場に依頼してください。

⚠ 警告

タイヤ空気圧は、定期的に点検してください。

最寄りのボルボ指定のサービス工場で、パンクしたタイヤを交換または修理してください。サービス工場に、シーリング材でタイヤを修理したことを伝えてください。

⚠ 警告

- 緊急パンクリペアーキット使用後は、絶対に 80 km/h (50 mph)を超える速度で走行しないでください。
- シーリング剤を注入したタイヤの最長走行距離は 200 km (120 miles)です。
- すみやかにボルボ指定のサービス工場でシーリング剤入りのタイヤの点検を受けてください。専門知識のあるスタッフが、そのタイヤは修理可能か、あるいは新しいタイヤと交換する必要があるか判断します。

関連情報

- 緊急パンクリペアーキット (p. 568)

緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる

車両の純正タイヤは、緊急パンクリペアーキットに入っているコンプレッサーを使用して空気を入れることができます。

1. コンプレッサーのスイッチをオフにします。スイッチが **0** (オフ)位置にあることを確認し、電源コードおよびエアホースを取り出します。
2. タイヤのダストキャップを外し、エアホースのバルブコネクターをタイヤのエアバルブにネジ部の下までねじ込みます。エアホースのプレッシャーリリーフバルブが完全にねじ込まれていることを確認します。
3. 電源コードをもっとも近くの 12V 電源ソケットに接続して、車両を始動します。

⚠ 警告

車の排気ガスを吸入すると、生命に関わるおそれがあります。ガレージなどの密閉された場所や、十分な換気設備のない場所では、絶対にエンジンを始動しないでください。

⚠ 警告

エンジン作動中、お子様だけを車内に残したまま、車両から絶対に離れないでください。

4. スイッチを I（オン）位置にして、コンプレッサーを起動します。

重要

オーバーヒートのおそれがあります。コンプレッサーを 10 分以上連続して使用しないでください。

5. 運転席側ドアピラーのタイヤ空気圧ラベルに表示されている数値まで、タイヤに空気を充填します。タイヤ空気圧が高すぎる場合は、プレッシャーリリーフバルブを使用して圧力を下げます。

6. コンプレッサーを止めます。エアホースおよび電気コードを外します。

7. ダストキャップをタイヤに元通りに取り付けます。

注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、必ずダストキャップを取り付けてください。
- 必ずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食して緩めにくくなることがあります。

関連情報

- 緊急パンクリペアーキット（p. 568）
- 承認タイヤ空気圧（p. 651）

タイヤを交換する場合

車両のホイールは、ウインタータイヤやスペアタイヤなどに交換することができます。

ホイールの取り外しおよび取り付け方法に従ってください。

サイズの異なるタイヤに変更する場合

車両に使用が認められているタイヤサイズであることを確認します。

タイヤサイズの変更ごとにソフトウェアのアップデートについて、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。サイズの異なるタイヤ（大または小）に変更する場合や、サマータイヤとウインタータイヤを交換する場合には、ソフトウェアのダウンロードが必要になることがあります。

関連情報

- ホイールの取り外し（p. 574）
- ホイールの取り付け（p. 576）
- ツールキット（p. 579）
- ウインタータイヤ（p. 578）
- スペアタイヤ*（p. 577）
- ホイールボルト（p. 577）

ホイールの取り外し

タイヤ交換時のホイール取り外し方法

1. 車が往来する場所でタイヤを交換する場合は、必ず三角警告板(停止表示板)を立てて、非常点滅灯を作動させてください。
2. パーキングブレーキをかけて、ギヤセレクターレバーを P 位置にします。

   レベル制御*装備車に適用されます。エアサスペンション装備車の場合、ジャッキ*で車両を持ち上げる前にエアサスペンション機能を解除する必要があります。

   センターディスプレイのトップビューで**設定**➔**My Car**➔**ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷおよびｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ**をタップし、**レベリング制御の解除**を選択して機能を解除してください。

⚠ 警告

ジャッキが損傷していないか、すべてのネジ山がよく潤滑されているか、泥などが付着していないか確認してください。

3. ジャッキ*、ホイールレンチ*、ホイールボルトのプラスチックキャップ取り外し用ツールをフォームブロックから取り出します。

ホイールボルトのプラスチックキャップ取り外しツール

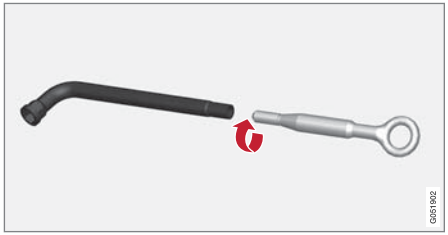
ⓘ 注意

通常のカージャッキは、パンクしたタイヤの交換時やウインタータイヤ/サマータイヤの取り換え時など、短時間で使用することだけを想定したものです。車両をジャッキアップするときには、特定の車両モデル専用のジャッキを使用する必要があります。
ジャッキをより頻繁に使用する場合や、単純なタイヤ交換より長い時間使用する場合には、修理工場用のジャッキの使用をお薦めします。この場合、そのジャッキに添付の取扱指示に従ってください。

4. 地面に接しているタイヤの前後に輪止めをします。重い木片や、大きな石などで代用しても構いません。

* オプション/アクセサリー。

5. けん引フックが止まるまでねじ込んでホイールレンチ*とつなぎ合わせます。



重要

けん引フックは、必ずホイールレンチ*の奥まで完全にねじ込んでください。

6. 専用ツールを使用して、ホイールボルトからプラスチックキャップを取り外します。
7. ホイールボルトを、ホイールレンチ*で反時計回りに½〜1 回転ゆるめます。

警告

地面とジャッキの間、およびジャッキポイントとジャッキの間に、なにも挟まないでください。

重要

地面が平坦かつ水平で、安定していることを確認してください。

8. 車両を持ち上げる場合は、ジャッキ*またはリフティングアームを車両のアンダーボディの取り付けポイントに正しく取り付けることが重要です。プラスチックカバーの三角マークはジャッキポイントを示しています。車両の各側には、ジャッキポイントが 2 箇所ずつあります。各ポイントには、ジャッキ用の窪みが設けられています。

車両のジャッキポイントと接触するように、ジャッキ*を上げます。ジャッキのヘッドがジャッキポイントに正しくセットされ、ヘッドの中心の突起がジャッキポイント穴に入っていることと、ジャッキの土台がジャッキポイントの真下にきていることを確認してください。必ず、クランクが車両の側面からできるだけ離れるようにジャッキを向けてください。このとき、ジャッキアームは車両の方向と垂直になります。

⚠ 警告

ジャッキで車を持ち上げているときは、絶対に車の下に入らないでください。

車両をジャッキで持ち上げる前に、乗員は全員車の外に出てください。交通量の多い場所でタイヤを交換せざるを得ない場合、乗員は安全な場所に退避しておく必要があります。

9. パンクしたタイヤが地面から離れるまで、車体をジャッキアップします。ホイールボルトを取り外し、ホイールを外します。

関連情報

- タイヤを交換する場合（p. 573）
- 車両を持ち上げる（p. 591）
- ホイールの取り付け（p. 576）
- ツールキット（p. 579）

ホイールの取り付け

タイヤ交換時のホイール取り付け方法

⚠ 警告

ジャッキで車を持ち上げているときは、絶対に車の下に入らないでください。

車両をジャッキで持ち上げる前に、乗員は全員車の外に出てください。交通量の多い場所でタイヤを交換せざるを得ない場合、乗員は安全な場所に退避しておく必要があります。

1. ホイールとハブの接合面をきれいにします。
2. ホイールを取り付けます。ホイールボルトを確実に締め付けます。

   ホイールボルトのねじ山には、潤滑剤を**使用しないでください**。
3. タイヤが回らなくなる位置まで車体を下げます。
4. ホイールボルトを対角線順に締め付けます。必ず正しいトルクで締め付けてください。140 Nm（103 ft.lbs.）のトルクで締め付けます。トルクレンチを使用して、締め付けトルクを確認してください。

5. ホイールボルトにプラスチックキャップを取り付けます。

ⓘ 注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、必ずダストキャップを取り付けてください。
- 必ずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食して緩めにくくなることがあります。

関連情報
- ホイールの取り外し（p. 574）
- タイヤを交換する場合（p. 573）
- スペアタイヤ*（p. 577）

ホイールボルト

ホイールボルトは、ホイールをハブに取り付けるために使用されています。

重要

ホイールボルトは 140 Nm (103 ft. lbs.)で締め付ける必要があります。強く締め過ぎたり、締め付けが足りないと、ナットおよびボルトが損傷するおそれがあります。

ボルボ社の認定を受けた、ボルボ純正品、または純正アクセサリーパーツのみを使用してください。

トルクレンチを使用して、ホイールボルトの締め付けトルクを確認してください。

ホイールボルトのねじ山には、潤滑剤を**使用しないでください**。

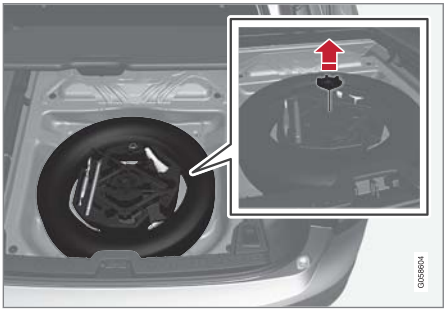
ロックホイールボルト*

カーゴスペースフロア下のフォームブロックには、ロックホイールボルト用スリーブを収納するスペースがあります。

関連情報
- タイヤを交換する場合（p. 573）

スペアタイヤ*

通常のタイヤがパンクした場合、代わりにスペアタイヤ(Temporary spare タイプ)を取り付けて一時的に使用することができます。



図は概略図です。フォームブロックの形状は車両モデルにより異なることがあります。

スペアタイヤは、スペアタイヤスペース内に外側を下にして収納されています。スペアタイヤおよびフォームブロックは、同じボルトで固定されています。フォームブロックにはタイヤ交換用のすべてのツールが収納されています。「ツールキット」を参照してください。

テンポラリースペアタイヤを装着すると、車両の走行特性が変わる場合がありますのでご注意ください。スペアタイヤはすみやかに通常のタイヤに交換する必要があります。

スペアタイヤは通常のタイヤよりも小さいため、車高に影響をおよぼします。高めの縁石にご注意し、自動洗車機は使用しないでください。

- スペアタイヤのメーカー推奨タイヤ空気圧を守ってください。
- 全輪駆動の車両では、リアアクスルの駆動を解除することができます。
- フロントアクスルにスペアタイヤが取り付けられている場合には、同時にタイヤチェーンを装着することはできません。
- スペアタイヤは修理しないでください。

重要

- スペアタイヤ装着時は、必ず 80 km/h (50 mph) 未満で走行してください。
- 「テンポラリースペアタイヤ」(応急用) タイプのスペアタイヤを同時に 2 本以上装着して走行しないでください。

スペアタイヤの取り出し

1. 後ろから前に向かって、トランクルーム/カーゴスペースのフロアを折りたたみます。
2. 固定ボルトをゆるめます。
3. ツールの入ったフォームブロックを取り出します。
4. スペアタイヤを取り出します。

パンクしたタイヤの保管

1. フォームブロックに入っているホイールバッグを取り出し、ホイールをバッグに入れます。
2. ツールをフォームブロックの所定の場所に戻し、車両に戻します。
3. 取り付けスクリューでフォームブロックを取り付け、トランクルーム/カーゴスペースのフロアを下げます。
4. パンクしたタイヤをトランクルーム/カーゴスペースに置きます。

関連情報

- ホイールの取り外し (p. 574)
- ホイールの取り付け (p. 576)
- ツールキット (p. 579)
- ジャッキ* (p. 581)

ウインタータイヤ

ウインタータイヤは冬季の路面状況に適しています。

ウインタータイヤは、ボルボ社が推奨するタイヤサイズを装着してください。タイヤサイズは、エンジンタイプにより異なります。ウインタータイヤで走行する際には、必ず全輪に正しいタイプのタイヤを装着してください。

注意

車両にもっとも適したタイヤのタイプおよびホイールリムについては、ボルボディーラーにお問い合わせください。

ウインタータイヤへの交換に関するヒント

サマータイヤとウインタータイヤを交換するときなどは、タイヤをどこから取り外したかわかるように、例えば、左前輪なら**「左前」**、右後輪なら**「右後」**のように、各タイヤに必ずマークを付けてください。

スタッド付きタイヤ

スタッド付きのウインタータイヤ装着車は、スタッドがタイヤに適正にはまるように、500～1,000 km の距離を穏やかに慣らし走行してください。タイヤ(特にスタッド)の耐用年数を長くすることができます。

* オプション/アクセサリー。

注意

スタッド付きタイヤの使用に関する規則は、国により異なります。

トレッド溝の深さ

冬期は、凍った路面、道路の雪、低い気温などが原因で、暖かい季節よりもタイヤに大きな負担がかかります。ボルボ社は、溝の深さが 4 mm 以上のウインタータイヤの使用を推奨しています。

タイヤチェーン

ボルボでは、ホイールサイズが 19 インチを超える場合、スノーチェーンを使用しないことを推奨します。

取付説明書はボルボ純正スノーチェーンに付属しています。

タイヤチェーンは、前輪のみに装着してください(AWD(全輪駆動)車も同様です)。タイヤチェーン装着時は、50 km/h (30 mph)以下で走行してください。また、タイヤチェーンを装着したまま、雪のない道路を走行しないでください。タイヤチェーンおよびタイヤの両方が著しく摩耗します。

警告

ボルボ純正タイヤチェーン、または車両モデル、タイヤサイズ、ホイールリムサイズに適合した同等品を使用してください。**片面**チェーンのみを使用することができます。

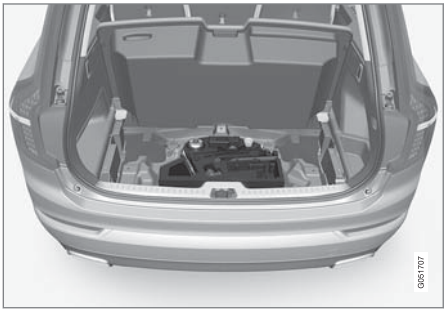
チェーンについてご不明な点がある場合、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。不適切なチェーンを使用すると、車両への深刻な損傷や事故の原因となります。

関連情報

- タイヤを交換する場合 (p. 573)

ツールキット

けん引時やタイヤの交換時などに役立つツールが、カーゴスペースに収納されています。



トランクルーム/カーゴスペースのフロアの下にあるフォームブロックには、車両のけん引フック、緊急パンクリペアーキット、ホイールボルトのプラスチックキャップ取り外しツール、ロック式ホイールボルト用ソケットが入っています。

車両にスペアタイヤ* が装備されている場合、使い捨て手袋および損傷ホイール用バッグの入ったパッケージ* とジャッキ* およびホイールレンチ* も付属しています。

関連情報

- タイヤを交換する場合 (p. 573)
- ジャッキ* (p. 581)
- 三角警告板(停止表示板) (p. 580)

- 救急用品キット（p. 582）
- けん引フック（p. 507）

三角警告板（停止表示板）

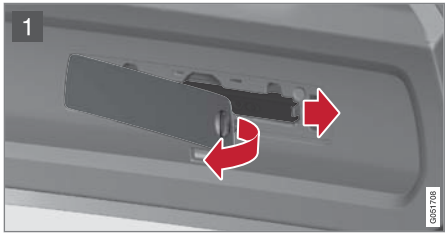
車両が道路で停止した場合、他の道路使用者に対して警告するために、三角警告板（停止表示板）を使用してください。

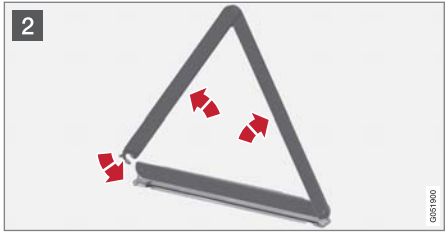
非常点滅灯も作動させてください。

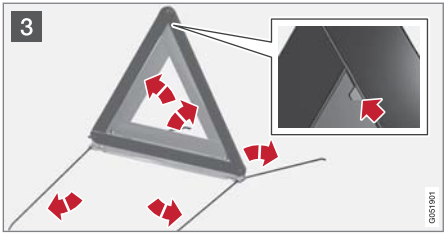
収納スペース

三角警告板（停止表示板）はテールゲートの内側の収納スペースにあります。

三角警告板（停止表示板）の設置







1 最初にノブを 1/4 回転回し、次にハッチを上端および下端のブラケットから引き外して開きます。

三角警告板（停止表示板）を固定しているラッチを右に少し押して、ケースを取り外します。

2 三角警告板（停止表示板）をケースから取り出し、広げて両端を合わせます。

3 三角警告板（停止表示板）のサポートレッグを広げます。

三角警告板（停止表示板）の使用に関する規則を厳守してください。三角警告板（停止表示板）は、通行の邪魔にならない所定の位置に置いてください。

使用後は、三角警告板（停止表示板）をケースに入れて、ケースを収納スペースの元の場所に正しく固定し、ハッチを確実に閉じてください。

関連情報
- ツールキット（p. 579）
- 非常点滅灯（p. 188）

ジャッキ*

ジャッキは、タイヤの交換時に車両を持ち上げるために使用します。

車両に付属のジャッキは、スペアタイヤへの交換時またはサマータイヤとウインタータイヤの交換時にのみ使用してください。ジャッキのネジ部には、グリースをよく塗っておいてください。

重要

ツールおよびジャッキ*を使用しないときは、車両のトランクルーム/カーゴスペースの所定位置に収納してください。

ジャッキのクランクを、正しい位置にしなければなりません。

注意

通常のカージャッキは、パンクしたタイヤの交換時やウインタータイヤ/サマータイヤの取り換え時など、短時間で使用することだけを想定したものです。車両をジャッキアップするときには、特定の車両モデル専用のジャッキを使用する必要があります。
ジャッキをより頻繁に使用する場合や、単純なタイヤ交換より長い時間使用する場合には、修理工場用のジャッキの使用をお薦めします。この場合、そのジャッキに添付の取扱指示に従ってください。

オートレベライザー*装備車に適用

エアサスペンション装備車の場合、ジャッキで車両を持ち上げる前にエアサスペンション機能を解除する必要があります。

この機能はセンターディスプレイを使用してオフにしてください。

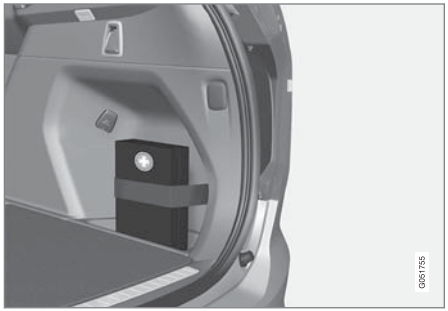
1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car** ➔ **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷおよびｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ** をタップします。
3. **レベリング制御の解除** を選択します。

関連情報
- ツールキット（p. 579）
- 車両を持ち上げる（p. 591）

救急用品キット

救急箱には救急用品キットが入っています。

救急用品キットはカーゴスペース内の右側のスペースに保管してください。



関連情報

- ツールキット（p. 579）

ホイールリムのサイズ表示

ホイールおよびリムのサイズは以下の表内の例のように設計されています。

車両は特定のホイールリムおよびタイヤの組み合わせで車両全体の認定を受けています。

すべてのホイールリムには、8Jx18x42.5 のようにサイズ表示があります。

8	ホイールリム幅(単位：インチ)
J	リムフランジプロファイル
18	ホイールリム径(単位：インチ)
42.5	オフセット(単位：mm、ホイールの中央から、ホイールのハブとの接触面までの距離)

関連情報

- タイヤ（p. 560）
- タイヤのサイズ表示（p. 582）

タイヤのサイズ表示

タイヤサイズ、ロードインデックスおよび速度記号の表示

車両は特定のホイールリムおよびタイヤの組み合わせで車両全体の認定を受けています。

タイヤの表示記号

すべてのタイヤには、235/60 R18 103 H.のようにサイズ表示があります。

235	タイヤ断面の幅(mm)
60	断面の高さと幅の比を、百分率で表した値(偏平率)
R	ラジアルタイヤ表示
18	ホイールリム径(単位：インチ)
103	最大許容タイヤロードのコード、ロードインデックス(LI)
H	制限速度の速度記号(SS)(この場合 210 km/h (130 mph)まで使用可能であることを示す)。

ロードインデックス

各タイヤには最大負荷能力を示すロードインデックス(LI)が指定されています。タイヤの最大積載重量は、車両の重量により異なります。最低許容ロードインデックスはロードインデックス表に記載されています。

速度記号

各タイヤには走行可能な最高速度が指定されています。タイヤの速度記号、SS（Speed Symbol）は、少なくとも車両の最高速度と対応している必要があります。次表は各速度記号(SS)に対応する速度制限を示します。この規定の唯一の例外は、ウインタータイヤ[3]です。ウインタータイヤの場合は、表示よりも下位の速度記号のものを使用することができます。そのようなタイヤを選択した場合、タイヤの速度記号で示されている速度よりも速く走行しないでください(例：Q の場合、走行可能な最高速度は 160 km/h (100 mph)です)。ただし、車両の制限速度は交通法規で決められています。タイヤの速度記号で決められるものではありません。

注意

制限速度が一覧表に示されています。

Q	160 km/h（100 mph）（ウインタータイヤのみ）
T	190 km/h（118 mph）
H	210 km/h（130 mph）
V	240 km/h（149 mph）
W	270 km/h（168 mph）
Y	300 km/h（186 mph）

警告

各エンジンタイプのタイヤの最低許容ロードインデックス(LI)および速度記号(SS)は、車検証に記載されています。ロードインデックスや速度記号が低すぎるタイヤを使用すると、タイヤがオーバーヒートし、損傷するおそれがあります。

関連情報

- タイヤ（p. 560）
- ホイールリムのサイズ表示（p. 582）
- 承認タイヤ空気圧（p. 651）

[3] 金属製スタッド付きのタイヤと金属製スタッドのないタイヤの両方。

保守点検

ボルボメンテナンスサービスプログラム

信頼できる安全性能を維持するため、メンテナンスノート(整備手帳)に記載されているボルボ点検整備要領に従って、点検整備を行ってください。

点検整備は、ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。ボルボ指定のサービス工場にはボルボ車を熟知したメカニックがおり、専用工具やサービス資料も完備していますので、クオリティの高い点検整備をご提供することができます。

重要

ボルボ社の保証が適用されるためには、メンテナンスノート(整備手帳)の指示に従った点検を実施する必要があります。

関連情報

- エアコンディショナーシステムの点検整備 (p. 599)
- コネクテッド・サービス予約 (p. 586)

車両状態

車両全般の状態をセンターディスプレイに表示することができ、必要に応じて、サービスを予約することができます[1]。

センターディスプレイのアプリビューから **車両の状態** アプリを起動すると、以下の4つのタブが表示されます。

- **メッセージ** – 保存されているステータスメッセージ
- **ステータス** – オイルレベルの点検
- **ﾀｲﾔ圧監視ｼｽﾃﾑ** – タイヤ空気圧の点検
- **予約** – サービスおよび修理作業の予約[1]

関連情報

- ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイから保存されたメッセージを管理する (p. 154)
- タイヤ・モニタリング・システム*によるタイヤ空気圧の点検 (p. 565)
- エンジンオイルの点検と補充 (p. 596)
- コネクテッド・サービス予約 (p. 586)

コネクテッド・サービス予約[2]

オンライン車両では、サービス、修理、予約情報を直接管理できます。

この情報は 車両の状態 アプリで管理します。このアプリはセンターディスプレイのアプリビューから開くことができます。

この方法を利用すると(一部市場のみ対応)、車内からサービスおよびサービス工場への入庫を直接予約できます。ご利用のディーラーに車両データが送信され、ディーラーはサービス工場への入庫準備を行うことができます。ディーラーはお客様に連絡して、予約日時をご提案します。一部の市場では、予約日時が近づくと、システムからお客様に予約情報が通知され、入庫予定日になると、ナビゲーションシステム[3]がサービス工場までお客様を案内することもできます。ディーラーに関する情報も車内で表示できるため、いつでもサービス工場に連絡することができます。

1 特定市場に適用
2 特定市場に適用
3 Sensus Navigation*に適用されます。

サービスを使用する前に

Volvo ID

- Volvo ID を作成します。「Volvo ID」の項を参照してください。
- 車両の Volvo ID を登録します。「Volvo ID」の項を参照してください。Volvo ID がすでにある場合、Volvo ID の作成時に使用したものと同じメールアドレスを使用してください。

連絡先のアドレスの変更

別のメールアドレスに変更したい場合、ボルボディーラーに連絡してください。

ボルボディーラーの選択

サービスおよび修理の件で連絡するボルボ・ディーラーを選択するには、www.volvocars.com に移動してログインしてください。

車両から予約する場合の必須条件

車両が予約情報を送受信するには、車両がインターネットに接続されている必要があります。「オンライン車両」の項を参照してください。

サービスの使用

サービスの予約が近づいた場合、また、車両の修理が必要になった場合(一部の状況のみ)、ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイの上部にメッセージが表示されます。サービスの日付は、前回のサービス以降の走行距離、エンジンの作動時間、経過時間によって決定されます。

サービスまたは修理の予約

サービスまたは修理の必要性を伝えるメッセージがドライバーディスプレイまたはセンターディスプレイの上部に表示されたとき、または入庫をご希望のとき、予約申し込みに必要事項を入力してください。

予約申込みの入力と送信

1. センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。
2. **予約** ボタンをタップします。
3. **予約 ﾘｸｴｽﾄ** ボタンをタップします。
4. 正しい **Volvo ID** が入力されていることを確認します。
5. 目的の **ワークショップ** が入力されていることを確認します。
6. サービス工場用の情報を **ﾀｯﾌﾟしてﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ宛ての情報を記入** フィールドに入力します(サービス工場での入庫中に作業してもらいたいこと、サービス工場に伝えておくべき重要情報など)。
7. **予約リクエストを送信** ボタンをタップします。

   > 2、3 日以内に予約日時の案がお客様の車両宛てに送信されます[4]。
   > www.volvocars.com に移動してログインしたとき、および電子メールでも同じ通知を受け取ります。
   >
   > 一部の市場では、予約のリクエストを送信した時点でドライバーディスプレイに表示されたサービスの必要性を伝えるメッセージが消灯します。

8. 申し込みをキャンセルするには、**ﾘｸｴｽﾄをｷｬﾝｾﾙ** ボタンをタップします。

予約申し込みを車両からインターネット経由でサービス工場に送信する場合、その中に車両データが含まれます。この情報を入手することにより、サービス工場では計画が立てやすくなります。

[4] この期間は市場により異なることがあります。

予約日程案を受け入れる

予約日程案が入手可能になると、車両はインターネット経由で予約日程案を受信します。車両が予約日程案を受信すると、センターディスプレイの上部にメッセージが表示されます。

1. メッセージをタップします。
2. サービスの予約日程案を受け入れる場合、**応答** ボタンをタップします。受け入れられない場合、**新しい提案を送信** または **拒否** をタップします。

予約日程案を受け入れると、回答がインターネット経由でサービス工場に送信されます。

車両データを送信する

車両データは車両からいつでも送信することができます。サービス工場への入庫を予約した場合など、都合のよいときに送信しておくと、基本情報の充実によりサービス工場では作業性が向上します。

送信される車両データは最後に保存されたデータ(最後に車両を作動させていたときのデータ)です。

1. センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。
2. **予約** ボタンをタップします。
3. **車両データを送信** ボタンをタップします。
   › 車両データが送信中であることを示すメッセージがセンターディスプレイの上部に表示されます。アクティビティインジケーターの X をタップすると、データ送信をキャンセルすることができます。

   車両データはインターネット経由で送信されます。

サービス工場情報を参照する

1. センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。
2. **予約** ボタンをタップします。
3. **ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ 情報** ボタンをタップします。
   › ポップアップウィンドウが開き、ディーラー情報が表示されます。
4. ディーラーに電話するか、住所または GPS 座標をタップしてサービス工場へのナビゲーションを開始します[3]。

予約情報と車両データ

車内からサービスの予約またはデータ送信を行うときには、予約情報と車両データがインターネット経由で送信されます[5]。車両データを受け取ると、サービス工場では次回の入庫の計画が立てやすくなります。

車両データには、以下の領域の情報が含まれます。

- サービス要件
- 前回のサービスからの経過時間
- 機能の状態
- フルードレベル
- メーター値
- 車台番号(VIN[6])
- 車両のソフトウェアバージョン
- 車両の診断データ

[3] Sensus Navigation*に適用されます。
[5] データはインターネットの使用中に送信されます(データトラフィック)。この通信には料金がかかることがあります。
[6] Vehicle Identification Number

* オプション/アクセサリー。

関連情報
- Volvo ID（p. 24）
- オンライン車両*（p. 539）
- 車両状態（p. 586）

リモートアップデート
オンライン車両では、車両の一部のシステムをセンターディスプレイからアップデートすることができます。

センターディスプレイのアプリビューから ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ アプリを起動すると、以下のことができます。

- システムソフトウェアの検索およびアップデート
- アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール

関連情報
- システムアップデート（p. 589）
- アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール（p. 544）

システムアップデート
システムアップデートは、オンライン車両および車両のインフォテイメントシステム機器に対して行われます。システムソフトウェアアップデートが利用可能な場合、アップデートは一度に全部または 1 つずつ実行することができます。

システムアップデートは、センターディスプレイのアプリビューで ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ アプリを使用して行います。ボタンをタップすると、ホームビューの下部にあるサブビューでダウンロードアプリケーションが起動します。前回のインフォテイメントシステムの起動以降に、利用可能なアップデートの検索を行っていない場合、検索が行われます。ソフトウェアのインストール中には検索は行われません。ダウンロードアプリケーションのボタン **システム更新** に、利用可能なアップデートの個数を示すアイコンが表示されます。ボタンをタップすると、車両にインストール可能なアップデートのリストが表示されます。機能に関する一般的な質問の回答や特定のシステムアップデートのダウンロードについては、support.volvocars.com を参照してください。

システムアップデートを行うには、車両がインターネットに接続されている必要があります。「オンライン車両」の項を参照してください。

◀◀ 工場出荷時設定では、ソフトウェアアップデートの検索がオンになっています。

注意

データダウンロードは、データを送信するその他のサービス(インターネットラジオなど)に影響を及ぼすおそれがあります。その他のサービスに悪影響を及ぼす場合、ダウンロードは中断することができます。その他のサービスをオフにする、または中断する方が適切な場合もあります。

注意

イグニッション位置をオフにして車両を離れると、アップデートは中断されます。

ただし、車両を離れる前にアップデートを完了する必要はありません。次に車両を使用する際にアップデートが再開されます。

すべてのシステムソフトウェアをアップデートする

– リストの下部にある **全てインストール** を選択します。

希望するリストがない場合、代わりに、**システム更新** ボタンで **全てｲﾝｽﾄｰﾙ** を選択することができます。

システムソフトウェアプログラムを個別にアップデートする

– 必要なソフトウェアについて **ｲﾝｽﾄｰﾙ** を選択します。

ダウンロードのキャンセル

– ダウンロードの開始時に **ｲﾝｽﾄｰﾙ** ボタンから置き換わったアクティビティインジケーターの X をタップします。

キャンセルできるのはダウンロードのみです。インストールが始まった場合、キャンセルできません。

ソフトウェアアップデートのバックグラウンド検索

この機能はセンターディスプレイでオフにすることができます。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ ダウンロードセンター** をタップします。
3. **ソフトウェア自動更新** を選択解除します。

利用可能なアップデートがある場合、センターディスプレイのステータスバーに **新しいソフトウェアを更新可能** というメッセージが表示されます。メッセージをタップすると、ホームビューの下部にあるサブビューでダウンロードアプリケーションが起動します。ダウンロードアプリケーションが起動するとすぐに、ダウンロードアプリケーションのボタン **システム更新** に、利用可能なアップデートの個数を示すアイコンが表示されます。

関連情報

- オンライン車両*（p. 539）
- アプリのダウンロード､アップデートおよびアンインストール（p. 544）
- リモートアップデート（p. 589）

* オプション/アクセサリー。

車両を持ち上げる

車両をジャッキアップする場合は、カージャッキまたはサービスジャッキ/ガレージジャッキを車両のアンダーボディの取り付けポイントに正しく取り付けることが重要です。

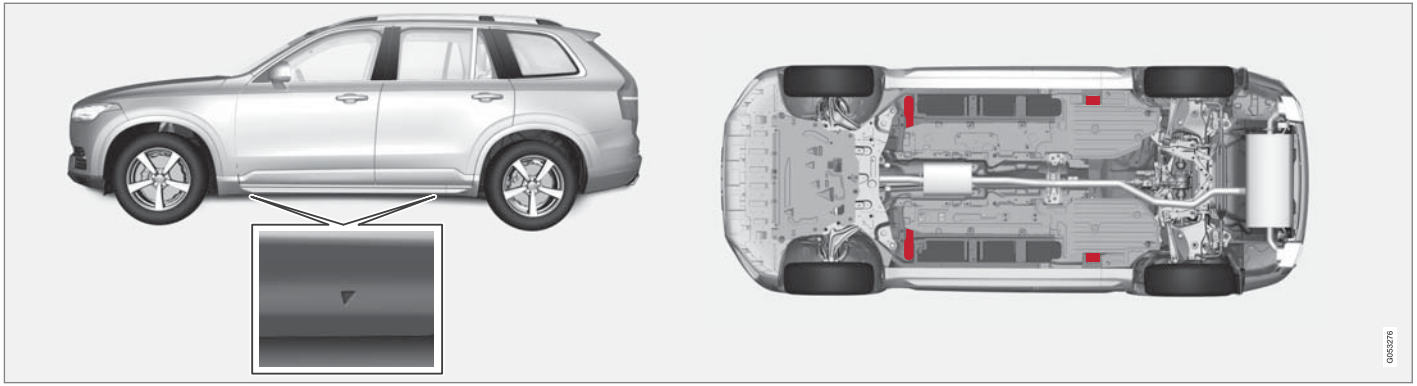
オートレベライザー*装備車の場合、ジャッキアップの前にエアサスペンション(装備されている場合)をオフにする必要があります。この機能はセンターディスプレイを使用してオフにしてください。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ サスペンション** をタップします。
3. **レベリング制御の解除** を選択します。

注意

ボルボ社は、車両搭載ジャッキのみの使用を推奨しています。ボルボ純正以外のジャッキを使用する場合には、ジャッキに添付されている指示に従ってください。

通常のカージャッキは、パンクしたタイヤの交換時やウインタータイヤ/サマータイヤの取り換え時など、短時間の使用を念頭に設計されています。ジャッキをより頻繁に使用する場合や、単純なタイヤ交換より長い時間使用する場合には、修理工場用のジャッキの使用をお薦めします。この場合、そのジャッキに添付の取扱指示に従ってください。



プラスチックカバーの三角マークは、取り付けポイントの場所を示しています(赤で表示)。

ガレージジャッキで車両をジャッキアップする場合は、ジャッキをいずれかのリフトポイントの下に配置してください。車両がガレージジャッキから外れないように、注意してジャッキを配置してください。車両を安定させるとともに損傷を防止するため、ジャッキプレートにラバーパッドが取り付けられていることを確認してください。必ずアクスルスタンドなどを使用してください。

関連情報

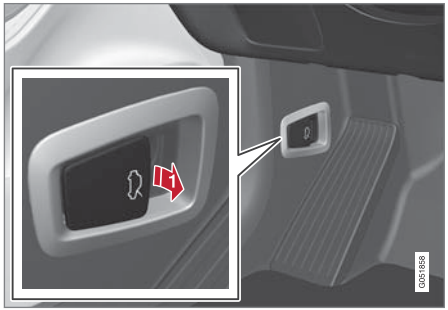
- タイヤを交換する場合（p. 573）
- ジャッキ*（p. 581）

* オプション/アクセサリー。

ボンネットの開閉

ボンネットは車内のハンドルとボンネットの下にあるハンドルを使用して開けることができます。

ボンネットを開ける



1. フットペダルの近くにあるハンドルを引いて、ボンネットを全閉位置から解除します。

2. ボンネットの下にあるハンドルを反時計回りに回してボンネットをロックラッチから外し、ボンネットを持ち上げます。

警告 – ボンネットが閉じていない

ボンネットのラッチが外れると、ドライバーディスプレイの警告灯とグラフィックが点灯し、警告音が鳴ります。車両が走行し始めると、警告音が繰り返されます。

グラフィックについては、「ドアおよびシートベルトリマインダー」の項を参照してください。

注意

ボンネットがしっかりと閉まっているにも関わらず警告灯が点灯する場合、または警告音が鳴る場合は、ボルボ指定のサービス工場までご連絡ください。

ボンネットを閉じる

1. ボンネットが自重で下がり始めるまで、押し下げます。
2. ボンネットがロックラッチに接触して停止したら、ボンネットを押し下げて完全に閉じます。

警告

挟まれるおそれがあります。ボンネットを閉める際は、ボンネットの下に妨げるものがなにもないことを確認してください。障害物がある場合、ケガをするおそれがあります。

警告

ボンネットを閉めたときは、完全にロックされていることを確認してください。ボンネットの両サイドがカチッと音を立ててしっかりと閉まっている必要があります。

ボンネットが完全に閉じた状態

⚠ 警告

ボンネットを開けたまま、走行しないでください！

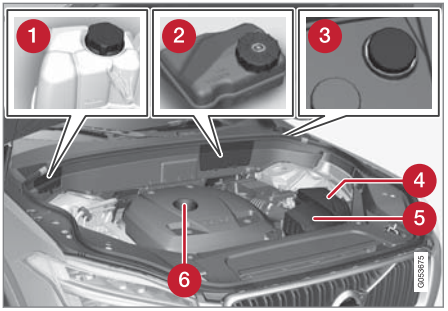
走行中にボンネットがしっかりと閉まっていない兆候がある場合は、ただちに停車して閉めます。

関連情報

- エンジンルームの概要（p. 594）
- ドアおよびシートベルトリマインダー（p. 100）

エンジンルームの概要

この概要では、サービスと関係のあるコンポーネントをいくつか示します。



モデルおよびエンジンタイプにより、エンジンルームの外観が図と異なる場合があります。

1. エキスパンションタンク（冷却水）
2. ブレーキフルードリザーバータンク（運転席側に配置）
3. ウォッシャー液フィラーパイプ [7]
4. セントラルエレクトリカルユニット
5. エアフィルター
6. エンジンオイルフィラーパイプ

[7] ウォッシャー液は定期的（給油時など）に補充してください。

⚠ 警告

ラジエーターファン(エンジンルーム前部のラジエーターの後方にある)は、エンジンが停止した後に自動的に作動を開始する、または最長で約 6 分間作動し続けることがあります。

エンジンの洗浄は必ずサービス工場で実施してもらうようにしてください。ボルボ指定のサービス工場のご利用をお薦めします。エンジンが高温のときは、火災につながるおそれがあります。

⚠ 警告

イグニッションシステムでは非常に高い危険電圧が使用されています。エンジンルーム内でなんらかの作業をする場合には、車両の電気系統を必ずイグニッション位置 **0** にしてください。

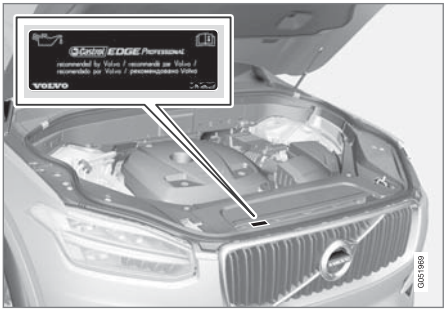
車両の電気系統がイグニッション位置 **II** のとき、あるいはエンジンが高温のときには、スパークプラグやイグニッションコイルにふれないでください。

関連情報

- ボンネットの開閉（p. 593）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 609）
- クーラントの補充（p. 598）
- ヒューズ – エンジンルーム内（p. 616）
- エンジンオイルの点検と補充（p. 596）
- イグニッション位置（p. 457）

エンジンオイル

エンジンのサービスインターバルに適応するため、指定されたエンジンオイルを使用してください。



ボルボ社の推奨品：

Castrol EDGE PROFESSIONAL

G053097

エンジンオイルの点検と補充

電子式オイルレベルセンサーでオイルの残量が検知されます。

重要

エンジンのサービスインターバルに適応できるように、工場で特別な合成エンジンオイルがエンジンに充填されています。このオイルは、エンジンの寿命、始動性能、燃費および環境保全を十分考慮して選定されています。

エンジンのサービスインターバルに適応するため、指定されたエンジンオイルを使用してください。オイルの補充および交換時には、必ず指定グレードのオイルを使用してください。異なるオイルを使用すると、エンジンの寿命、始動性能、燃費および環境保全に悪影響を及ぼします。

規定のグレードおよび粘度を備えたエンジンオイルを使用しなかった場合、エンジン関係のコンポーネントが損傷するおそれがあります。ボルボ・カー・コーポレーションは、こういった損傷に対するいかなる責任も負いません。

オイル交換は、ボルボ指定のサービス工場に依頼されることをお薦めします。

ボルボでは、オイルレベル上昇/低下警告システムや油圧低下警告システムに、異なるシステムを使用しています。一部の車両には、油圧センサーが装備されています。その場合、ドライバーディスプレイの油圧低下警告灯 が表示されます。その他の車両には、オイルレベルセンサーが装備されています。その場合、運転者への警告には、ドライバーディスプレイの警告灯 およびディスプレイテキストが表示されます。また、両方のシステムを搭載しているモデルもあります。詳しくは、ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください。

エンジンオイルおよびオイルフィルターの交換時期は、別冊のメンテナンスノート(整備手帳)を参照してください。

ボルボ社が指定するオイルグレードよりも高いグレードのオイルは、使用が認められています。ボルボは、過酷な状況下で走行する際には、指定のオイルよりもグレードの高いオイルの使用を推奨します。

関連情報

- エンジンオイルの点検と補充（p. 596）
- エンジンオイルに対して過酷な走行条件（p. 646）
- エンジンオイル – 仕様（p. 645）

フィラーパイプ[8]

場合によっては、次のサービスまでの間にオイルを補充する必要があります。

エンジンオイルレベルに関する対応は、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されるまで不要です。

⚠ 警告

このシンボルがメッセージ **ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙﾚﾍﾞﾙ 販売店に お問い合わせ下さい** と一緒に表示された場合、サービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場をお薦めします。オイルレベルが異常に高くなっている場合があります。

重要

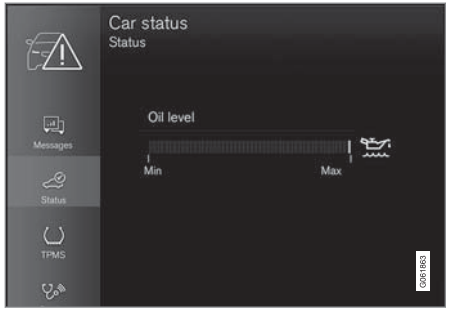
オイルレベル低下のメッセージ（例：**ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙﾚﾍﾞﾙ：低 1 リッター補給して下さい** など）と一緒にこのシンボルが表示された場合、1 L（1 quart）など、指定された量のみを補充してください。

⚠ 警告

高温のエキゾーストパイプの上に、オイルをこぼさないでください。火災につながるおそれがあります。

オイルレベルを点検する

1. センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。
2. **ステータス** をタップして、オイルレベルを表示させます。



センターディスプレイのオイルレベル用グラフィック

オイルレベルは、エンジンが停止しているときに、センターディスプレイの電子式オイルレベルゲージを使用して点検します。

オイルレベルは定期的に点検する必要があります。

ⓘ 注意

オイルが補充または排出されても、システムは変化を直接検出することができません。オイルレベルが正しく表示されるためには、車両を約 30 km（約 20 miles）走行させ、その後、エンジン停止状態で水平な場所に 5 分間静止させておく必要があります。

[8] 電子式オイルレベルセンサー付きエンジンには、オイルレベルゲージがありません。

注意

オイルレベルの適切な測定条件(エンジン停止からの経過時間、車両の傾き、外気温など)が満たされていないと、センターディスプレイにメッセージ **値の取得不可** が表示されます。これは車両のシステムに問題があることを示すものでは**ありません**。

関連情報

- エンジンオイル（p. 595）
- エンジンオイル – 仕様（p. 645）
- エンジンオイルに対して過酷な走行条件（p. 646）
- イグニッション位置（p. 457）
- 車両状態（p. 586）

クーラントの補充

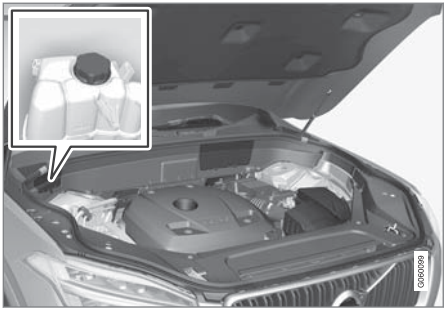
クーラントは内燃エンジンを冷却して正しい動作温度を維持させます。エンジンからクーラントに伝わった熱は車内ヒーターに使用されることがあります。

冷却水を補充するときは、容器に記載されている説明に従ってください。絶対に水だけを補充しないでください。冷却水の混合比が不適切な場合、凍結してエンジンが損傷するおそれがあります。

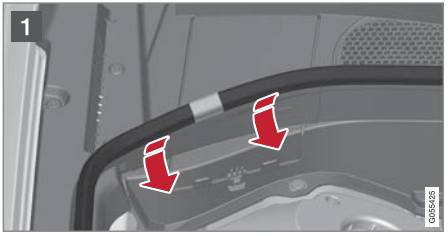
車両の下にクーラントが漏れている、クーラントの煙が発生している、または 2L 以上のクーラントを補充した場合、必ず救援を要請してください。エンジンの始動を試みると、クーリングシステムの不具合が原因でエンジンが損傷するおそれがあります。

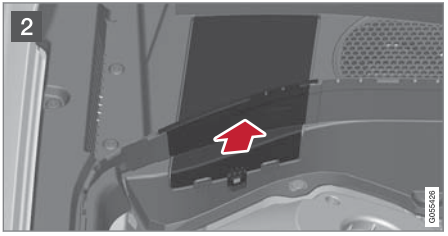
警告

クーラントは、非常に高温になります。エンジンが温まったときにクーラントを補充する場合は、エキスパンションタンクのキャップを少しずつゆるめて、タンク内の圧力を逃がしてください。



エキスパンションタンク(冷却水)





1 ラバーストリップをエンジンルームの内側方向に押して外します。

2 リリースキャッチを外しフラップを上に回して、プラスチックカバーの中のフラップを外します。

3 キャップを回して外し、クーラントを補充します。クーラントレベルは、エキスパンションタンクの **MIN** と **MAX** のマークの間でなければなりません。

重要

- 塩素、塩化物、およびその他の塩類は、クーリングシステムに錆が発生する原因となります。
- ボルボ社が推奨する、防錆剤入りの冷却水(クーラント)を使用してください。
- 冷却水の混合比は、水 50%、クーラント 50%になるようにしてください。
- クーラントと混合する水には、承認された水質の水を使用してください。水質に問題がある場合は、ボルボ社が推奨する混合済みクーラントを使用してください。
- クーラント/クーリングシステムの部品交換の際は、承認された水質の水または混合済みクーラントでクーリングシステムを洗浄してください。
- エンジンに、十分な量の冷却水が必要です。冷却が十分ではないと、温度が異常に上昇し、シリンダーヘッドに損傷(亀裂)が発生するおそれがあります。

関連情報

- クーラント – 仕様 (p. 647)

エアコンディショナーシステムの点検整備

エアコンディショナーシステムは、必ずボルボ指定のサービス工場で点検整備および修理を行ってください。

トラブルシューティングと修理

エアコンディショナーシステムには、蛍光性の透写剤が含まれています。漏れ検知作業の際には、UV ライトを使用する必要があります。

ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

R134a 冷媒仕様車

警告

エアコンディショナーシステムには、冷媒 R134a が加圧充填されています。このシステムの保守や修理は、必ずボルボ指定のサービス工場にご依頼ください。

R1234yf 冷媒仕様車

⚠ 警告

エアコンディショナーシステムには、冷媒 R1234yf が加圧充填されています。SAE J2845(自動車用 A/C システムに使用される冷媒の安全な点検整備および格納のための技術トレーニング)に従い、冷媒システムの点検整備および修理は、必ず資格および技能を有する技術者が行い、システムの安全を確保する必要があります。

関連情報

- ボルボメンテナンスサービスプログラム (p. 586)

ランプ交換

ハロゲンヘッドライトのバルブは、運転者が交換することができます。

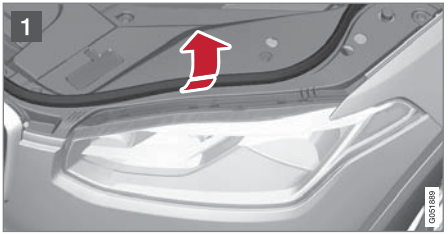
一部のモデルおよび市場には、ハロゲンヘッドライトが用意されていません。詳しくは、ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください。

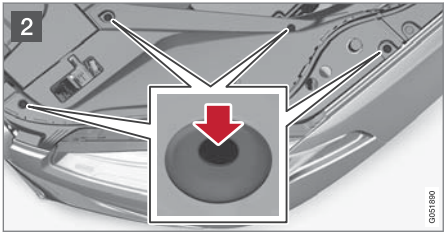
LED[9] タイプのランプはサービス工場で交換する必要があります。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

ハロゲンヘッドライトのバルブは、サービス工場に依頼しなくても交換できますが、バルブを交換するには、事前にヘッドライトのプラスチックカバーを取り外す必要があります。

ⓘ 注意

本項に記載されていないバルブに関する情報については、ボルボ・ディーラーまたはボルボ認定サービスメカニックにお問い合わせください。





1 ラバーストリップをエンジンルームの内側方向に押して外します。

2 スクリュードライバーなどを使用して、ピンをプラスチックカバーのクリップ 4 個に押し込み、カバーを取り外します。

カバーの取り付けは、取り外しと逆の順序で行ってください。

ヘッドライトの丸形ラバーカバーを取り外すと、ロービームランプの作業ができるようになります。

9 LED(Light Emitting Diode)

ヘッドライトの楕円形カバーを外すと、方向指示器、ハイビームおよびデイタイムランニングライト/ポジションランプのバルブの交換作業ができるようになります。「ヘッドライトの楕円形カバーを外す」の項を参照してください。

その他のランプで不具合が発生した場合、サービス工場[10]にご連絡ください。これは後退灯のバルブにも適用されます。LED[11]ランプに不具合が発生した場合、ランプユニット全体を交換する必要があります。

警告

バルブ交換時には、車両の電気系統を必ずイグニッション位置 **0** にしてください。

重要

バルブのガラス部分は、絶対に触らないでください。指などで触れると、付いた脂がバルブ点灯中に熱で蒸発してリフレクターに付着し、リフレクターが劣化します。

注意

不具合のあるバルブを交換した後でも、エラーメッセージが消えない場合には、車両をボルボ指定のサービス工場にお持ちください。

注意

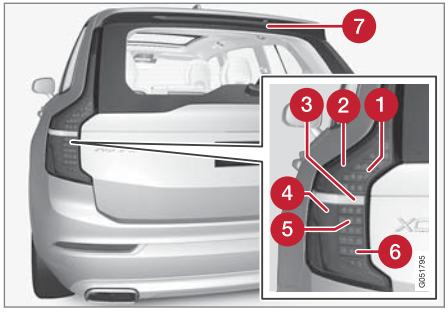
ヘッドライトやリアランプなどのエクステリアランプでは、レンズの内側が一時的に曇る場合があります。これは異常ではありません。エクステリアランプは、このような曇りに耐えるように設計されています。ライトをしばらく点灯させると、曇りは自然に解消します。

ランプ、フロント(ハロゲンヘッドライト装備車)

1. ロービーム
2. ハイビーム
3. デイタイムランニングライト/ポジションランプ
4. 方向指示器
5. フロントフォグランプ/コーナリングライト*(LED[11])

10 ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。
11 LED(Light Emitting Diode)

ランプ、リア



1. ブレーキランプ(LED[11])
2. テールランプ(LED)
3. 後退灯[12]
4. テールランプ(LED)
5. 方向指示器(LED)
6. フォグランプ(LED)
7. ハイマウントブレーキランプ(LED)

関連情報

- ロービームランプ交換（p. 602）
- ヘッドライトの楕円形カバーを外す（p. 603）
- バルブ仕様（p. 606）
- イグニッション位置（p. 457）

11 LED(Light Emitting Diode)
12 交換については、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

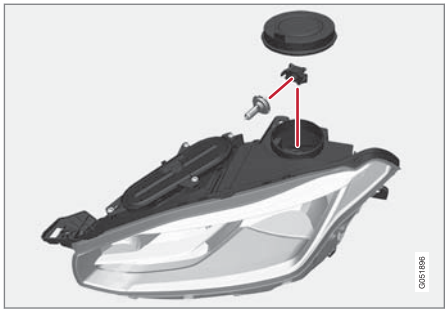
ロービームランプ交換

ハロゲンヘッドライトのロービームランプは、運転者による交換が可能です。

バルブを交換するには、事前にヘッドライトの楕円形カバーを外す必要があります。「ヘッドライトの楕円形カバーを外す」の項を参照してください。

重要

バルブのガラス部分は、絶対に触らないでください。指などで触れると、付いた脂がバルブ点灯中に熱で蒸発してリフレクターに付着し、リフレクターが劣化します。



左側ヘッドライト

1. ヘッドライトの丸型ラバーカバーを外します。
2. バルブからコネクターを取り外します。
3. バルブを上方向に軽く押し、まっすぐ引き出して外します。
4. 新しいバルブをソケットに取り付けます。バルブのガイドピンをまっすぐ上に向ける必要があります。
5. コネクターを押し込みます。
6. ヘッドライトの丸型ラバーカバーを取り付けます。

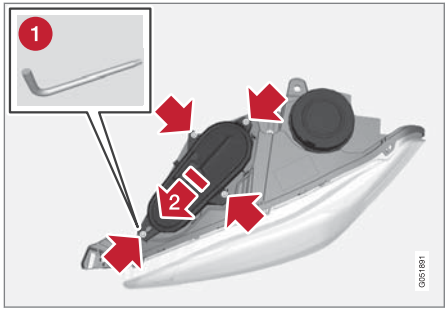
関連情報

- ランプ交換（p. 600）
- バルブ仕様（p. 606）

ヘッドライトの楕円形カバーを外す

ほとんどのヘッドライトバルブは、楕円形カバーを取り外すと作業できるようになります。

バルブを交換するには、事前にヘッドライトの楕円形カバーを取り外す必要があります。「ランプ交換」の項を参照してください。



左側ヘッドライト

1. サイズ T20 のトルクスツール(1)を使用してカバーの 4 つのスクリューをゆるめます。完全にはゆるめないでください。3〜4 回転で十分です。

2. カバーを片側にスライドさせます。

3. カバーを外します。

逆の順序でカバーを元の位置に取り付けます。

関連情報

- ハイビームランプ交換（p. 604）
- デイタイムランニングライト/ポジションランプのランプ交換（p. 604）
- フロント方向指示器ランプ交換（p. 605）
- ランプ交換（p. 600）

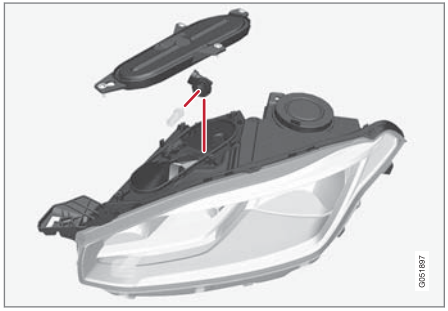
ハイビームランプ交換

ハロゲンヘッドライトのハイビームランプは、運転者による交換が可能です。

バルブを交換するには、事前にヘッドライトの楕円形カバーを外す必要があります。「ヘッドライトの楕円形カバーを外す」の項を参照してください。

重要

バルブのガラス部分は、絶対に触らないでください。指などで触れると、付いた脂がバルブ点灯中に熱で蒸発してリフレクターに付着し、リフレクターが劣化します。



左側ヘッドライト

1. バルブホルダーを上方向に向け、まっすぐ引き出してバルブを外します。
2. コネクターのロックラグ部分でプラスチックカバーを慎重に押し開いて、ロックラグを解除します。
3. バルブからコネクターを取り外します。
4. バルブを交換します。
5. バルブをソケットに取り付けて、下方向に向けます。

関連情報

- ランプ交換（p. 600）
- バルブ仕様（p. 606）
- ヘッドライトの楕円形カバーを外す（p. 603）

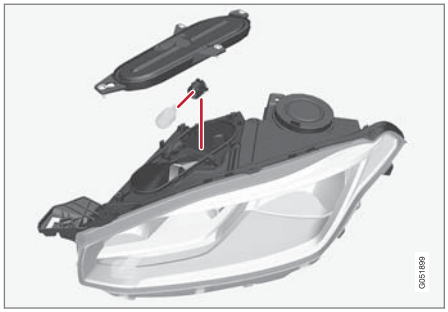
デイタイムランニングライト/ポジションランプのランプ交換

ハロゲンヘッドライトのデイタイムランニングライト/ポジションランプは、運転者による交換が可能です。

バルブを交換するには、事前にヘッドライトの楕円形カバーを外す必要があります。「ヘッドライトの楕円形カバーを外す」の項を参照してください。

注意

ハイビームバルブを外した方が、デイタイムランニングライト/ポジションランプのバルブの作業がしやすくなります。ハイビームバルブはデイタイムランニングライトバルブ/ポジションランプバルブの斜め上に取り付けられています。ハイビームバルブは、バルブホルダーを上方向に回し、まっすぐ引き出して外してください。



左側ヘッドライト

1. デイタイムランニングライトバルブ/ポジションランプバルブ用バルブホルダーをまっすぐ引き出します。
2. バルブをまっすぐ引き出して外します。
3. バルブを交換します。
4. バルブホルダーをソケットに取り付けて、所定の位置に押し込みます。
5. ハイビームバルブのバルブホルダーが取り外されている場合、そのバルブをソケットに取り付けてねじ込みます。

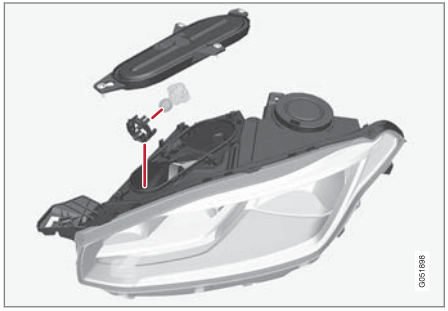
関連情報

- ランプ交換（p. 600）
- バルブ仕様（p. 606）
- ヘッドライトの楕円形カバーを外す（p. 603）

フロント方向指示器ランプ交換

ハロゲンヘッドライトの方向指示器バルブは、運転者による交換が可能です。

バルブを交換するには、事前にヘッドライトの楕円形カバーを外す必要があります。「ヘッドライトの楕円形カバーを外す」の項を参照してください。



左側ヘッドライト

1. キャッチを同時に押して、バルブホルダーをまっすぐに引き出します。
2. 新品のバルブホルダー(バルブ付き)に交換します。
3. バルブホルダーをソケットに取り付けて、所定の位置に押し込みます。

関連情報

- ランプ交換（p. 600）
- バルブ仕様（p. 606）
- ヘッドライトの楕円形カバーを外す（p. 603）

バルブ仕様

この仕様は、ハロゲンヘッドライトのバルブに関するものです。その他のランプで不具合が発生した場合、サービス工場 [13] にご連絡ください。

機能	W[A]	タイプ
ロービーム	55	H7
ハイビーム	65	H9
フロント方向指示器	24	PY24W
デイタイムランニングライト/ポジションランプ	21/5	W21/5W

A ワット

関連情報

- ランプ交換（p. 600）

サービスポジションのワイパーブレード

ウインドスクリーンのワイパーブレードを交換する際は、サービスポジション（垂直位置）にする必要があります。

サービスポジションのワイパーブレード

ワイパーブレードの交換、清掃、ウインドスクリーン上の氷を除去するときなどに持ち上げるときは、必ずサービスポジションにしてください。

重要

ワイパーブレードをサービスポジションにする前に、凍結していないことを確認してください。

サービスポジションの起動/解除

サービスポジションは、停車状態でウインドスクリーンワイパーが作動していないときに起動/解除できます。サービスポジションは、機能ビューを使用して起動/解除します。

ワイパーの サービス位置 ボタンを押します。サービスポジションを起動すると、ボタンの表示灯が点灯します。起動に伴い、ワイパーが直立位置になります。サービスポジションを解除するには、**ワイパーの サービス位置** を再度タップします。サービスポジションが解除されると、ボタンの表示灯が消灯します。

13 ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

以下の場合にも、ワイパーブレードはサービスポジションを終了します。

- ウインドスクリーンワイパーを作動させた場合。
- ウインドスクリーンウォッシャーを作動させた場合。
- レインセンサーが作動した場合。
- 車両を発進させた場合。

重要

サービスポジションのワイパーアームをウインドスクリーンから起こした場合、ワイパー、ウォッシャーまたはレインセンサーを作動させる前、または車両を運転する前に、必ずワイパーアームをウインドスクリーンの元の位置に戻してください。これは、ボンネットの塗装に傷を付けないようにするためです。

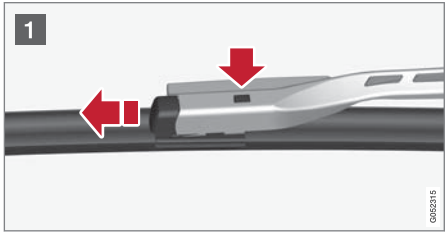
関連情報

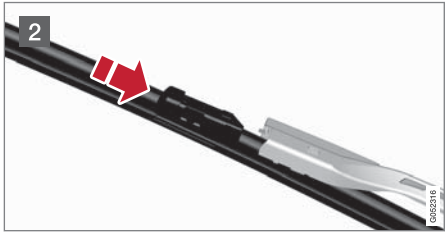
- ワイパーブレードの交換（p. 607）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 609）
- センターディスプレイの概要（p. 34）
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャー（p. 195）

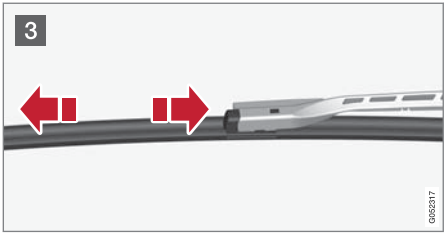
ワイパーブレードの交換

ワイパーブレードはウインドスクリーンやリアウインドの水滴を取り除きます。ウォッシャー液を同時に使用してウインドを洗浄すると良好な視界を保つことができます。ワイパースクリーンおよびリアウインドのワイパーブレードは交換することができます。

ウインドスクリーンワイパーブレードの交換





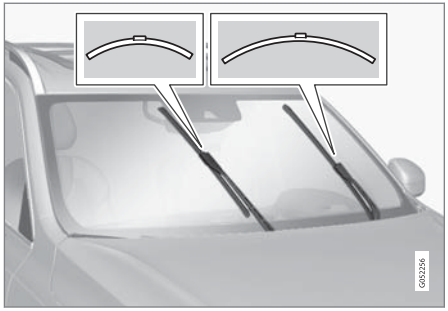


1 サービスポジションのときにはワイパーアームを折りたたんでください。ワイパーブレードのマウンティングにあるボタンを押しながら、ワイパーブレードをワイパーアームと並行方向にまっすぐ引き出します。

2 カチッと音がするまで、新しいワイパーブレードを差し込みます。

3 ワイパーブレードが確実に固定されているか確認します。

4. ワイパーアームをウインドスクリーンの方に倒して戻します。

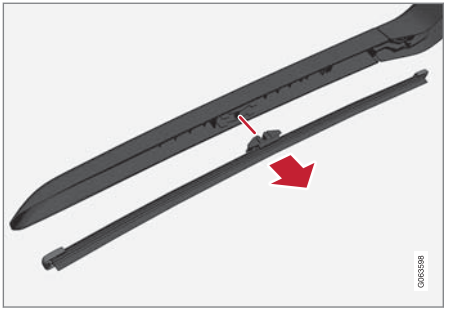


ワイパーブレードは、長さが異なります。

注意

ワイパーブレードは、長さが異なります。運転席側のワイパーブレードの方が、助手席側のワイパーブレードよりも長くなっています。

リアウインドワイパーブレードの交換



1. ワイパーアームを起こします。
2. ワイパーブレードの内側部分(矢印の位置)をつかみます。
3. 反時計回りに回します。てこの原理でワイパーブレードの端部をワイパーアームに押し付けながら回すと、ブレードが外れやすくなります。
4. 新品のワイパーブレードを所定の位置に押し込みます。カチッという音が聞こえます。確実に取り付けられているか確認してください。
5. ワイパーアームを倒します。

重要

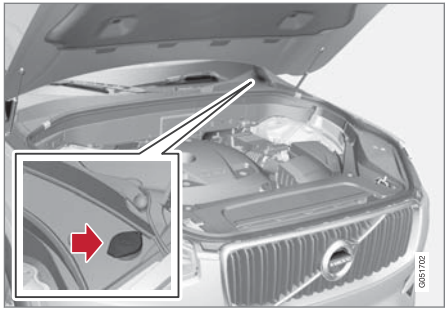
ワイパーブレードは定期的に点検してください。メンテナンスを怠ると、ワイパーブレードの耐用年数が短くなります。

関連情報

- サービスポジションのワイパーブレード (p. 606)
- エクステリアの清掃 (p. 627)

ウォッシャー液リザーバータンク

ウォッシャー液はヘッドライト、ウインドスクリーンおよびリアウインドの洗浄に使用します。気温が氷点下の場合、不凍液入りのウォッシャー液を使用する必要があります。



ウォッシャー液を補充するときには、青色キャップのリザーバータンクに注入します。リザーバータンクは、ウインドスクリーンウォッシャー、リアウインドウォッシャーおよびヘッドライトウォッシャー* に使用されます。

注意

リザーバータンクのウォッシャー液が残り約 1L になった場合、シンボル とともに、ドライバーディスプレイに **ｳｫｯｼｬｰ液 レベルが低下。 補充して下さい。** が表示されます。

指定グレード： ボルボ純正ウォッシャー液 – 寒冷時の氷点下の気温でも凍結から保護します。

重要

ボルボ純正ウォッシャー液、または推奨 pH(6～8)の同等品を適切に希釈(例：中性水と 1:1 の割合で希釈)して使用してください。

重要

ポンプやリザーバータンク、ホース内で凍結しないように、温度が氷点下のときは、凍結防止効果のあるウォッシャー液を使用してください。

容量：

- ヘッドライトウォッシャー**装備**の車両：5.5 リットル
- ヘッドライトウォッシャー**装備なし**の車両：3.5 リットル

関連情報

- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャー（p. 195）
- ボンネットの開閉（p. 593）

メインバッテリー

電気系統は単極で、シャシおよびエンジンをアースとして使用します。

メインバッテリーは、電気系統の始動およびスターターモーターやその他の電気装置の駆動に使用されます。

メインバッテリーはサービス工場で交換する必要があります[14]。

車両には、電圧安定化オルタネーターが装備されています。

メインバッテリーは、二酸化炭素削減機能 Start/Stop および回生充電向けに設計された 12V AGM バッテリー(Absorbed Glass Mat)で、車両のさまざまなシステムの機能に対応しています。

メインバッテリーの耐用年数および性能は、エンジンの始動回数、車両の使用状況、運転方法、および天候など、色々な要素に影響されます。

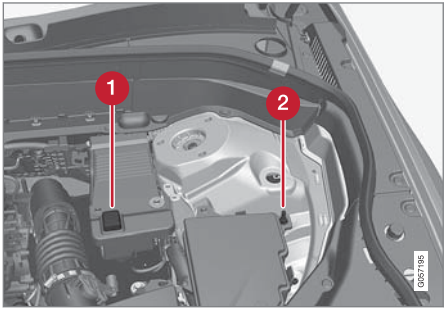
- エンジン作動中は、絶対にメインバッテリーの接続を外さないでください。
- メインバッテリーの配線が正しく、確実に接続されているか確認してください。

⚠ 警告

- バッテリーからは、非常に引火性の高い、酸素と水素の混合ガスが発生します。ジャンパーケーブルを正しく接続しないと、火花が発生し、バッテリーが爆発するおそれがあります。
- フューエルシステムコンポーネントまたは可動部にはジャンパーケーブルを接続しないでください。高温のエンジンパーツに注意してください。
- バッテリー液には、腐食性の強い希硫酸が使用されており、触れると重度のヤケドを負うおそれがあります。
- 電解液が目、皮膚または衣服に付着した場合は、ただちに大量の水で洗い流してください。目に入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- バッテリーの近くでは絶対に喫煙しないでください。

外部のメインバッテリーまたはバッテリーチャージャーを接続する場合は、エンジンルーム内の車両のチャージングポイントを使用してください。カーゴスペースにある車両のメインバッテリーのバッテリー端子を使用しては**いけません**。

充電時には、メインバッテリーと補助バッテリーの両方が充電されます。



1 プラスチャージングポイント

2 マイナスチャージングポイント

重要

メインバッテリーおよび補助バッテリーを充電する場合、必ず充電電圧制御機能付きの最新バッテリーチャージャーを使用してください。高速充電機能は使用しないでください。バッテリーが損傷するおそれがあります。

14 ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

重要

以下の指示に従わないと、外付けバッテリーやバッテリーチャージャーを接続した後、インフォテイメントの節電機能が一時的に解除される場合や、メインバッテリーの充電状態に関して誤ったメッセージが一時的にドライバーディスプレイに表示される場合があります。

- 外付けバッテリーまたはバッテリーチャージャーを接続する際、車両のメインバッテリーのマイナス端子は**絶対に使用しないでください**。**車両のマイナスチャージングポイント**のみがアースポイントとして使用できます。

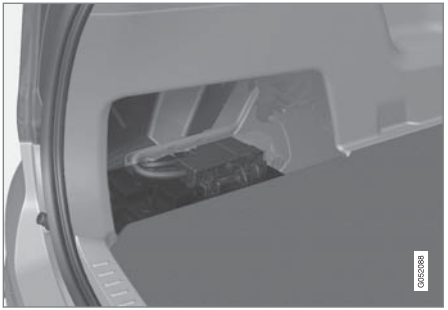
注意

放電/充電を頻繁に繰り返すと、バッテリーの耐用年数が短くなります。

バッテリーの寿命は走行状況や気候などさまざまな要因の影響を受けます。バッテリーの始動能力は時間が経つにつれて徐々に低下しますので、長時間使用しなかった場合や、短距離の運転を繰り返した場合には、充電が必要になります。極端に気温が低い場合にも始動能力が低下します。

バッテリーを良好な状態に保つために、車両を毎週少なくとも 15 分程度運転するか、自動トリクル充電機能の付いたバッテリー充電器を接続しておくことをお薦めします。

バッテリーはつねにフルに充電された状態にしておくと、耐用年数をもっとも長くすることができます。



メインバッテリーはカーゴスペースにあります。

次表には、メインバッテリーの仕様が記載されています。

	バッテリー H7 AGM
電圧(V)	12
冷寒始動電流(コールドスタートキャパシティ)[A] - CCA[B] (A)	800

	バッテリー H7 AGM
寸法、L×W×H（mm）	315×175×190（12.4×6.9×7.5 インチ）
容量(Ah)	80

A EN 規格準拠
B Cold Cranking Amperes.

バッテリーの交換は、ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

重要

メインバッテリーまたは補助バッテリーを交換する場合、AGM[15] タイプのバッテリーを取り付ける必要があります。

重要

メインバッテリーを交換する場合は、既存のバッテリーと冷間始動性能およびタイプ(バッテリーのラベルを参照)が同じバッテリーと交換してください。

注意

メインバッテリー容器のサイズは、元々取り付けられていたバッテリーの寸法と同じであるようにしてください。

関連情報

- バッテリーに表示されているシンボル (p. 612)
- 補助バッテリー (p. 613)
- 別のバッテリーによるジャンプスタート (p. 461)

バッテリーに表示されているシンボル

バッテリーには重要な情報と警告シンボルが表示されています。

	安全ゴーグルを着用してください。
	詳しくは、車両のオーナーズマニュアルを参照してください。
	お子様の手の届かない場所に保管してください。
	腐食性の強い希硫酸が入っています。

15 Absorbed Glass Mat

	火花、火気禁止。
	爆発の危険。
	リサイクルに出すことが必要です。

注意

バッテリーには鉛が含まれているため、使用済みのメインバッテリーや補助バッテリーは、環境に配慮した適切な方法でリサイクル処理してください。

関連情報

- メインバッテリー（p. 609）
- 補助バッテリー（p. 613）

16 Absorbed Glass Mat

補助バッテリー

Start/Stop 機能を装備した車両には、メインバッテリーと補助バッテリーが備えられています。

Start/Stop 機能を装備した車両には、12V バッテリーが 2 個装着されています。始動時用の非常にパワフルなメインバッテリーと、Start/Stop 機能の始動手順を補助する補助バッテリーの 2 つです。

補助バッテリーはストラットタワーの横のボックス内にあります。

次表には、補助バッテリーの仕様が記載されています。

電圧(V)	12
冷寒始動電流(コールドスタートキャパシティ)[A] – CCA[B] (A)	170
寸法、L×W×H (mm)	150×90×130 (5.9×3.5×5.1 インチ)
容量(Ah)	10

A EN 規格準拠
B Cold Cranking Amperes.

重要

メインバッテリーまたは補助バッテリーを交換する場合、AGM[16] タイプのバッテリーを取り付ける必要があります。

注意

- 車両の電流消費量が多いほど、オルタネーターの作動量が増し、さらにバッテリーの充電量を増やす必要があるため、燃料消費量の増加につながります。
- バッテリー容量が許容最低レベルを下回ると、Start/Stop 機能が解除されます。

◀◀ 電流消費量が多いために一時的に Start/Stop 機能が低下した場合には：

- 運転者がブレーキペダルから足を離さなくても、エンジンがオートスタートします。

補助バッテリーは通常、始動時に使用するメインバッテリーより頻繁に点検が必要になることはありません。ご質問や不具合があれば、サービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場をお薦めします。

重要

以下の指示に従わない場合には、外付けバッテリーやバッテリーチャージャーを接続した後、Start/Stop 機能が一時的に機能しなくなることがあります。

- 外付けバッテリーまたはバッテリーチャージャーを接続する際、車両のメインバッテリーのマイナス端子は**絶対に使用しないでください**。**車両のマイナスチャージングポイント**のみがアースポイントとして使用できます。

注意

車両の通常の電気機能が使用できないほどメインバッテリーが放電してしまい、外付けバッテリーまたはバッテリーチャージャーを使用してエンジンをジャンプスタートした場合でも、Start/Stop 機能は作動し続けます。その後間もなく Start/Stop 機能がエンジンをオートストップさせた場合、バッテリーの充電時間を確保できなかったためにバッテリー容量が不足し、エンジンオートスタートが機能しないおそれがあります。

車両をジャンプスタートした場合、またはバッテリーチャージャーでバッテリーを充電する時間が十分にない場合、車両によるバッテリーの充電が完了するまで Start/Stop 機能を一時的に無効にしておくことをお薦めします。外気温が約+15 ℃(約 60 ° F)の場合、車両でバッテリーを少なくとも 1 時間充電する必要があります。外気温がさらに低い場合、3〜4 時間の充電時間が必要になることがあります。バッテリーの充電には、外付けバッテリーチャージャーの使用をお薦めします。

関連情報

- メインバッテリー（p. 609）
- Start/Stop（p. 468）
- 別のバッテリーによるジャンプスタート（p. 461）
- バッテリーに表示されているシンボル（p. 612）

ヒューズ

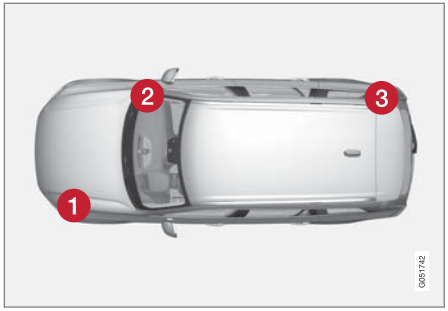
車両の電装品は、多くのヒューズによりショートや過負荷から保護されています。

⚠ 警告

ヒューズを交換する際、絶対に異なるヒューズまたは高アンペアのヒューズを使用しないでください。高アンペアのヒューズを使用すると、過大な電流が流れてもヒューズが切れず、配線を損傷させて発火し、火災を起こしたり、電装品を損傷させるおそれがあります。

電装品または電気機能が作動しない場合、電気回路に一時的に過剰な負荷がかかったため、ヒューズが切れたおそれがあります。同じ箇所のヒューズが繰返し切れる場合は、該当するヒューズの電気系統が故障しているおそれがあります。ボルボ指定のサービス工場に点検を依頼することをお薦めします。

セントラルエレクトリカルユニットの場所



左ハンドル車のセントラルエレクトリカルユニットの場所。右ハンドル車の場合、グローブボックス下のセントラルエレクトリカルユニットは左右逆になります。

1. エンジンルーム
2. グローブボックス下
3. カーゴスペース

関連情報

- ヒューズの交換（p. 615）

ヒューズの交換

車両の電装品は、多くのヒューズによりショートや過負荷から保護されています。

交換

1. ヒューズ表を参照して、該当するヒューズを探します。
2. ヒューズを取り外して、中央の曲がったワイヤーが焼き切れているか、側面から見て点検します。
3. 切れていたら、必ず同じ色、同じアンペアのヒューズと交換します。

⚠ 警告

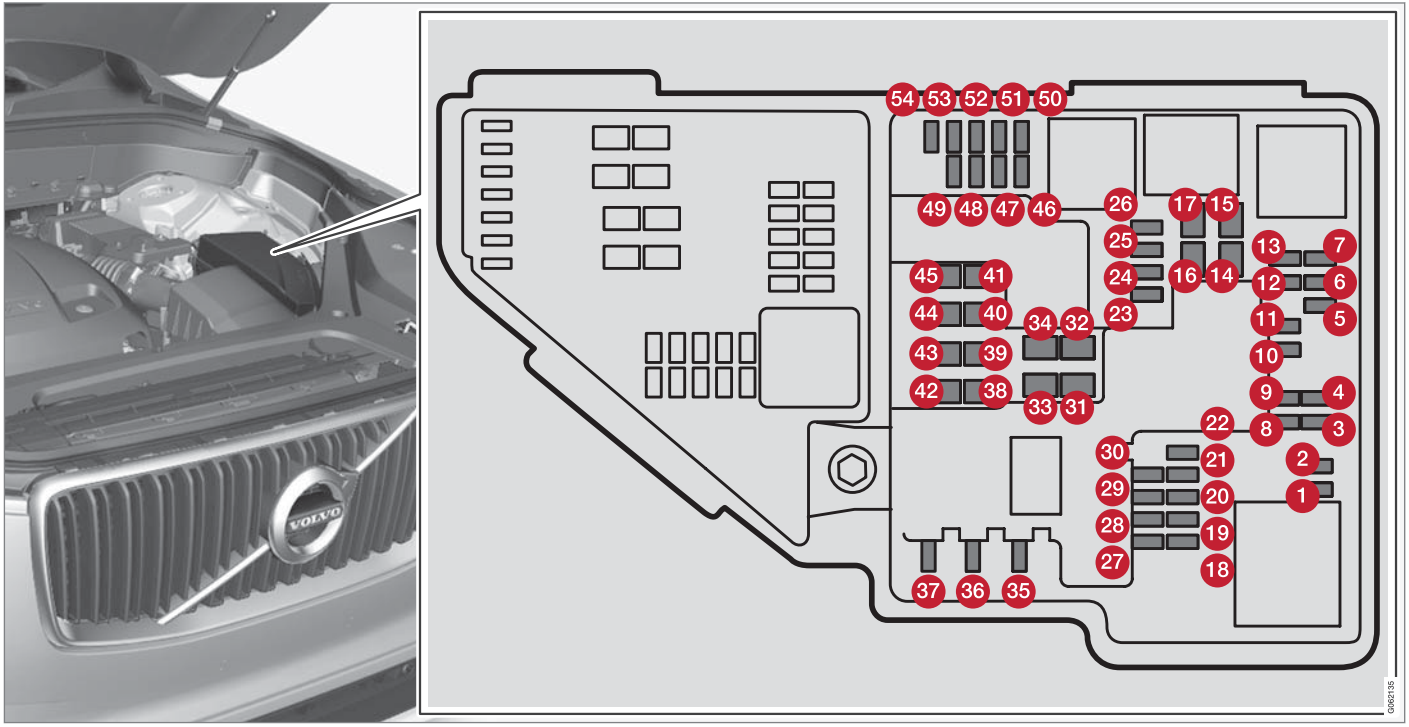
ヒューズを交換する際、絶対に異なるヒューズまたは高アンペアのヒューズを使用しないでください。高アンペアのヒューズを使用すると、過大な電流が流れてもヒューズが切れず、配線を損傷させて発火し、火災を起こしたり、電装品を損傷させるおそれがあります。

関連情報

- ヒューズ（p. 615）
- ヒューズ – エンジンルーム内（p. 616）
- ヒューズ – グローブボックス下（p. 619）
- ヒューズ – カーゴスペース内（p. 623）

ヒューズ – エンジンルーム内

エンジンルーム内のヒューズは、主にエンジンとブレーキシステムを保護します。



カバーの内側に、ヒューズを交換するときに使用するヒューズプライヤーがあります。

このヒューズボックスには、スペアヒューズを保管するスペースもあります。

位置

カバーの内側に、各ヒューズの位置を示すラベルがあります。

- 1～13、18～30、35～37 および 46～54 のヒューズは「Micro」タイプです。
- 31～34 および 38～45 のヒューズは、「MCase」タイプです。交換は、必ずサービス工場 [17] にご依頼ください。

	機能	A
1	–	–
2	–	–
3	–	–
4	イグニッションコイル(ガソリン)、スパークプラグ(ガソリン)	15
5	エンジンオイルポンプ用ソレノイド、A/C クラッチソレノイド、センターラムダソンド(ガソリン)、リアラムダソンド(ディーゼル)	15
6	バキュームレギュレーター、バルブ、出力パルス用バルブ(ディーゼル)	7.5
7	エンジンコントロールモジュール、アクチュエーター、ガススロットルユニット、EGR バルブ(ディーゼル)、ターボポジションセンサー(ディーゼル)、ターボチャージャーバルブ(ガソリン)	20
8	エンジンコントロールモジュール(ECM)	5
9	–	–
10	ソレノイド(ガソリン)、バルブ、エンジンクーリングシステム用サーモスタット(ガソリン)、EGR クーリングポンプ(ディーゼル)、グローコントロールモジュール(ディーゼル)	10
11	スポイラーローラーカバーコントロールモジュール、ラジエーターローラーカバーコントロールモジュール、出力パルス用リレーコイル(ディーゼル)	5
12	ラムダソンド(ヒーター付き酸素センサー)、フロント、ラムダソンド(ヒーター付き酸素センサー)、リア(ガソリン)	15
13	エンジンコントロールモジュール(ECM)	20
14	スターターモーター	40
15	スターターモーター	短絡
16	フューエルフィルターヒーター(ディーゼル)	30
17	–	–
18	–	–
19	–	–
20	–	–
21	–	–
22	–	–
23	–	–

17 ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

	機能	A[A]
24	トンネルコンソールの 12V 電源ソケット(フロント)	15
25	トンネルコンソールの 12V 電源ソケット(2 列目シート用レッグルーム付近)	15
26	カーゴスペースの 12V 電源ソケット*	15
27	–	–
28	–	–
29	–	–
30	–	–
31	ヒーテッドウインドスクリーン*、左側	短絡
32	ヒーテッドウインドスクリーン*、左側	40
33	ヘッドライトウォッシャー*	25
34	ウインドスクリーンウォッシャー	25
35	トランスミッションコントロールモジュール	15
36	ホーン	20

	機能	A[A]
37	サイレン*	5
38	ブレーキシステムコントロールモジュール(バルブ、パーキングブレーキ)	40
39	ウインドスクリーンワイパー	30
40	リアウインドウォッシャー	25
41	ヒーテッドウインドスクリーン*、右側	40
42		20
43	ブレーキシステムコントロールボックス(ABS ポンプ)	40
44	–	–
45	ヒーテッドウインドスクリーン*、右側	短絡
46	イグニッション ON 時に供給：エンジンコントロールモジュール; トランスミッションコンポーネント; エレクトリックステアリングサーボ; セントラルエレクトリックモジュール; ブレーキシステム用コントロールモジュール	5

	機能	A[A]
47	–	–
48	右側ヘッドライト	7.5
	右ヘッドライト、一部のタイプの LED[B]	7.5
49	–	–
50	–	–
51	バッテリー作動制御用ユニット	5
52	エアバッグ	5
53	左側ヘッドライト	7.5
	左ヘッドライト、一部のタイプの LED[B]	7.5
54	アクセルペダルセンサー	5

A アンペア
B LED（発光ダイオード）

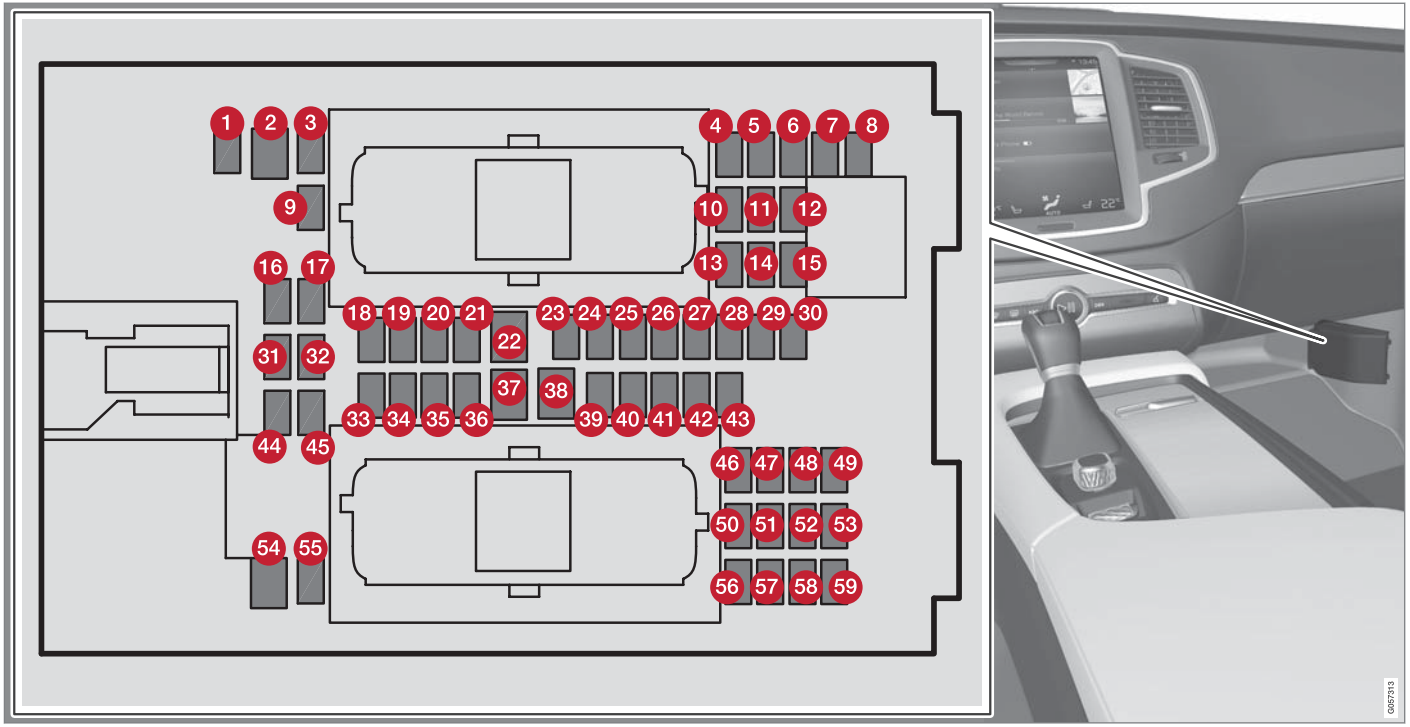
関連情報

- ヒューズの交換（p. 615）
- ヒューズ – グローブボックス下（p. 619）
- ヒューズ – カーゴスペース内（p. 623）

* オプション/アクセサリー。

ヒューズ – グローブボックス下

グローブボックスの下のヒューズは、230V 電源コンセント、ディスプレイおよびドアモジュールなどを保護します。



カバーの内側に、ヒューズを交換するときに使用するヒューズプライヤーがあります。

エンジンルーム内のヒューズボックスには、スペアヒューズを保管するスペースもあります。

位置

- 1、3～21、23～36、39～53 および 55～59 のヒューズは「Micro」タイプです。
- 2、22、37～38 および 54 のヒューズは、「MCase」タイプです。交換は、必ずサービス工場 [18] にご依頼ください。

	機能	A
1	–	–
2	トンネルコンソールの 230V 電源ソケット(2 列目シート用レッグルーム付近)*	30
3	–	–
4	ムーブメントセンサー*	5
5	メディアプレーヤー	5
6	ドライバーディスプレイ	5
7	センターコンソールのキーパッド	5
8	ソーラーセンサー	5
9	–	–
10	–	–
11	ステアリングホイールモジュール	5
12	スタートノブおよびパーキングブレーキコントロール用モジュール	5
13	ステアリングホイールヒーター用ステアリングホイールモジュール*	15
14	–	–
15	–	–
16	–	–
17	–	–
18	エアコンディショナーシステム用コントロールモジュール	10
19	ステアリングホイールロック	7.5
20	診断ソケット OBDII	10
21	センターディスプレイ	5
22	エアコンディショナーシステム用ファンモジュール(フロント)	40
23	USB ハブ	5
24	コントロールライト、ルームランプ、ルームミラー防眩機能*、レインおよびライトセンサー*、トンネルコンソールのキーパッド(リアシートのレッグルーム付近)*、フロントパワーシート*、リアドアのコントロールパネル	7.5
25	運転者サポート機能用コントロールモジュール	5
26	サンブラインド付きパノラマルーフ*	20
27	ヘッドアップディスプレイ*	5
28	ルームランプ	5
29	–	–
30	ルーフコンソールのディスプレイ(助手席のエアバッグ表示灯/シートベルトリマインダー)	5
31	–	–
32	湿度センサー	5
33	右リアドアのドアモジュール	20

18 ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

	機能	A
34	ヒューズ – カーゴスペース内	10
35	オンライン車両用コントロールモジュール：Volvo On Call 用コントロールモジュール	5
36	左リアドアのドアモジュール	20
37	オーディオコントロールモジュール(アンプ)（一部のモデル）	40
38	エアコンディショナーシステム用ファンモジュール(リア)*	40
39	マルチバンドアンテナ用モジュール	5
40	シートコンフォート(マッサージ)用モジュール(フロント)*	5
41	–	–
42	リアウインドワイパー	15
43	フューエルポンプ用コントロールモジュール	15
44	–	–
45	–	–
46	運転席シートヒーター	15
47	助手席シートヒーター	15
48	クーラントポンプ	10
49	–	–
50	左側フロントドアのドアモジュール	20
51	サスペンション(アクティブシャシ)用コントロールモジュール*	20
52	–	–
53	センサスコントロールモジュール	10
54	–	–
55	–	–
56	右側フロントドアのドアモジュール	20
57	–	–
58	TV*(一部市場)	5
59	ヒューズ 53 および 58 用のプライマリーヒューズ	15

A アンペア

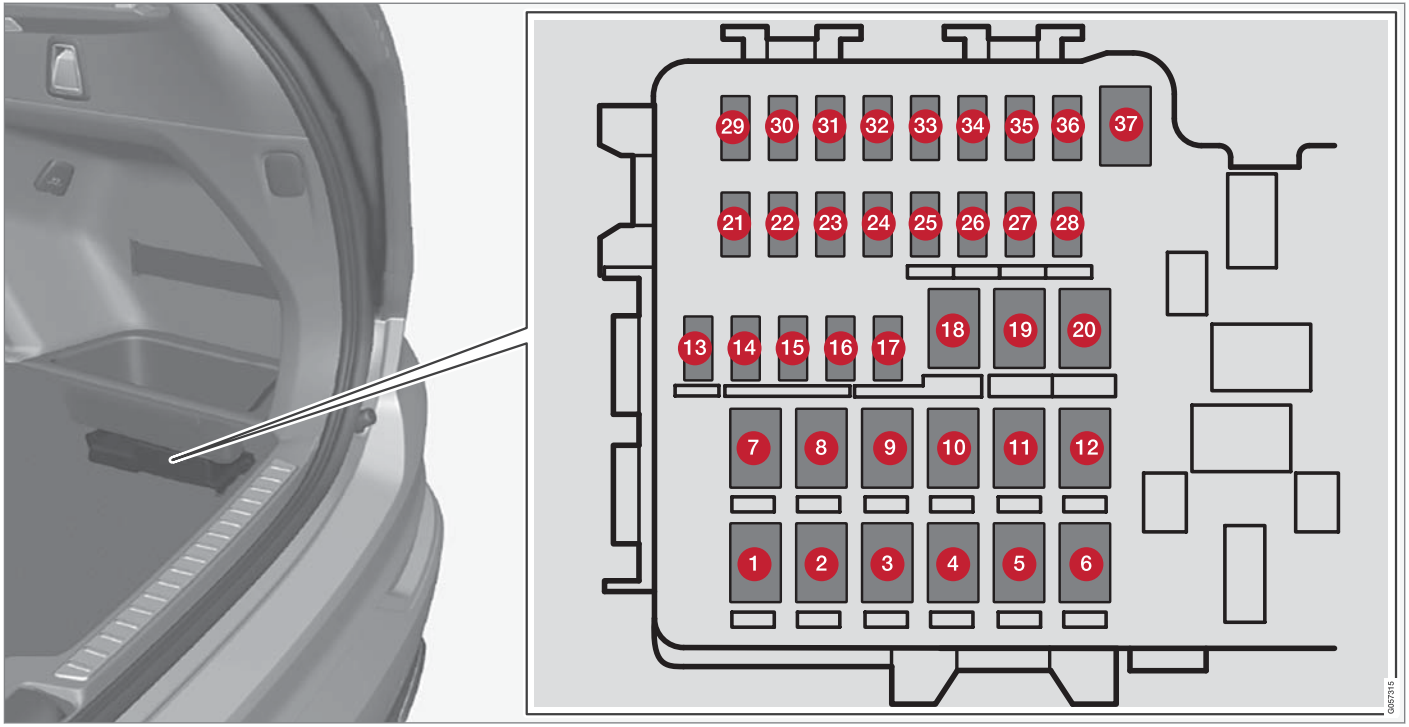
関連情報

- ヒューズの交換（p. 615）
- ヒューズ – エンジンルーム内（p. 616）
- ヒューズ – カーゴスペース内（p. 623）

* オプション/アクセサリー。

ヒューズ – カーゴスペース内

カーゴスペース内のヒューズは、特にパワーシート*、エアバッグおよびシートベルトテンショナーを保護します。



セントラルエレクトリカルユニットは右側の収納スペースの下に配置されています。

カバーの内側に、ヒューズを交換するときに使用するヒューズプライヤーがあります。

エンジンルーム内のヒューズボックスには、スペアヒューズを保管するスペースもあります。

位置

- 13～17 および 21～36 のヒューズは「Micro」タイプです。
- 1～12、18～20 および 37 のヒューズは、「MCase」タイプです。交換は、必ずサービス工場 [19] にご依頼ください。

	機能	A
1	リアウインドデフロスター	30
2	–	–
3	エアサスペンション用コンプレッサー*	40
4	電気アディショナルヒーター(右リア)*	30
5	–	–
6	電気アディショナルヒーター(左リア)*	30
7	–	–
8	亜酸化窒素低減用コントロールモジュール(ディーゼル)	30
9	パワーテールゲート*	25
10	助手席パワーシート*	20
11	トウバーコントロールモジュール*	40
12	シートベルトプリテンショナーモジュール、右側	40
13	内部リレーコイル	5
14	亜酸化窒素低減用コントロールモジュール(ディーゼル)	15
15	足動作検知用モジュール*(パワーテールゲート操作用)	5
16	アルコールロック	5
17	3 列目シートバックレスト下降用モジュール*	20
18	トウバーコントロールモジュール*	25
19	運転席パワーシート*	20
20	シートベルトプリテンショナーモジュール、左側	40
21	パーキングカメラ*	5
22	–	–
23	Dedicated Short Range Communications DSRC 用コントロールモジュール	5
24	–	–
25	–	–
26	エアバッグおよびシートベルトテンショナー用コントロールモジュール	5
27	–	–
28	シートヒーター(左リア)*	15
29	–	–
30	Blind Spot Information (BLIS)*: コントロールモジュール、外部後退音	5
31	–	–
32	シートベルトプリテンショナーモジュール	5
33	排気ガス用アクチュエーター(ガソリン、特定のエンジンタイプ)	5

[19] ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

	機能	A
34	–	–
35	All Wheel Drive (AWD)コントロールモジュール*	15
36	シートヒーター(右リア)*	15
37	–	–

A アンペア

関連情報

- ヒューズの交換 (p. 615)
- ヒューズ - グローブボックス下 (p. 619)
- ヒューズ - エンジンルーム内 (p. 616)

* オプション/アクセサリー。

エクステリアの清掃

車両が汚れたらすぐに洗車してください。汚れがこびりつく前の方が清掃しやすいためです。傷がつく危険性も減り、新車のような輝きを保ちます。油水分離装置のある自動洗車機で洗車してください。カーシャンプー(洗車用洗剤)を使用してください。

手洗い

洗車の際には、次のことに注意してください。

- 直射日光の下での洗車は避けてください。洗剤またはワックスが乾燥して、研磨効果が発生するおそれがあります。
- 塗装面に付着した鳥のフンは、すみやかに取り除いてください。鳥のフンには急速に塗装面を変色させる成分が含まれています。大量の水に浸したスポンジまたはやわらかい紙などを使用してください。変色の除去については、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。
- ホイールハウジングやバンパーを含め、ボディの底面を洗ってください。
- 泥を含む水がすべて洗い落されるまで車両全体を洗い流してください。洗浄中に引っかき傷ができるのを防止するためです。キーシリンダーなどには直接水をかけないでください。
- 汚れが取れにくい場合は、脱脂剤を温めないで使用してください。表面が日光によって熱くならないように、ご注意ください。
- 十分な量のぬるま湯と、カーシャンプー(洗車用洗剤)およびスポンジを使用して洗車してください。
- ワイパーブレードは、洗剤を入れたぬるま湯、またはカーシャンプー(洗車用洗剤)で洗ってください。
- きれいで柔らかいセーム皮またはスクレーパーなどを使用して、車体から水分を拭き取ってください。直射日光によって水滴が乾いてしまわないように注意すれば、水滴によってシミがつく可能性が低くなります。シミができると、場合によっては磨いてとることが必要になります。
- 洗車後も、アスファルトのタールが残っていることがあります。洗車後にタール除去剤を使用して、最後の汚れを取り除いてください。

⚠ 警告

エンジンの洗浄は、サービス工場にお問い合わせください。エンジンが高温のときは、火災につながるおそれがあります。

重要

ヘッドライトに汚れが付着していると、機能に影響します。定期的(燃料補給時など)にヘッドライトを清掃してください。

腐食性のある洗剤は使用せず、代わりに水と傷がつかないようなスポンジで洗浄します。

注意

ヘッドライトやリアランプなどのエクステリアランプでは、レンズの内側が一時的に曇る場合があります。これは異常ではありません。エクステリアランプは、このような曇りに耐えるように設計されています。ライトをしばらく点灯させると、曇りは自然に解消します。

重要

- 洗車の前には、必ずパノラマルーフおよびサンバイザーが閉じていることを確認してください。
- パノラマルーフには、絶対に研磨剤入りのつや出し剤を使用しないでください。
- パノラマルーフ周辺のラバーモールディングには、絶対にワックスをかけないでください。

重要

洗車後には、必ずドアおよびシルの排水口から汚れを取り除いてください。

自動洗車機

自動洗車機を使用すると簡単に早く洗車をすることができますが、自動洗車機のブラシでは完全に洗浄できない箇所が多数あります。良好な仕上がりをお求めの場合、手洗いによる洗車をお薦めします。自動洗車機による洗車を手洗いで補うこともお薦めします。

注意

最初の数カ月間は、自動洗車機の使用は避け、洗車は必ず手で行ってください。新車のうちは、塗装面がまだ完全に硬化していないためです。

重要

自動洗車機に進入する前に、停車時のオートブレーキおよびパーキングブレーキの自動作動の機能をオフにしてください。これらの機能をオフにしないと、車両が停止しているときにブレーキシステムが故障し、車両を移動させることができなくなります。

回転ホイールで車両を移動させる洗車機では、以下の手順に従ってください。

1. 自動洗車機に車両を入れます。
2. トンネルコンソールのスイッチを使用して、停車時のオートブレーキの機能をオフにします。
3. センターディスプレイのトップビューを使用して、パーキングブレーキの自動作動の機能をオフにします。
4. ギヤセレクターレバーを N 位置に動かします。
5. トンネルコンソールのスタートノブを時計回りに回して、エンジンを停止します。スタートノブを所定の位置に 4 秒以上保持します。
   > 自動洗車機を使用する準備が整いました。

重要

- 洗車の前に、自動レインセンサーがオフになっていることを確認してください。オンになっていると、ワイパーアームが作動して損傷するおそれがあります。
- ドアミラーが格納されていること、補助ライトが固定されていること、アンテナが格納または取り外されていることを確認してください。これを怠ると、自動洗車機で損傷するおそれがあります。

高圧洗浄

高圧の水をかけるときは、ノズルの先端をボディ面から 30 cm 以上離し、掃くように動かしてください。キーシリンダーなどには直接水をかけないでください。

ブレーキのテスト

雨や雪の中を長時間走行しているときは、ブレーキペダルを数回軽く踏むようにしてください。摩擦熱により、ブレーキライニングを温めて水分を取り除くことができます。非常に湿度が高いときや冷寒時に発進したときにも、この方法が有効です。

警告

洗車後は、パーキングブレーキも含め、ブレーキのテストを必ず行ってください。水分や錆がブレーキパッドに悪影響を与えていないか、ブレーキの制動効果が劣っていないか確認してください。

ワイパーブレード

ワイパーブレードにアスファルト、埃、または融雪剤が付着していたり、ウインドスクリーンに虫や氷などが付着していると、ワイパーブレードの耐用年数が短くなります。

清掃時には、ワイパーブレードをサービスポジションにしてください。

注意

ワイパーブレードおよびウインドスクリーンは、ぬるめの石けん水またはカーシャンプーで定期的に清掃してください。強い溶剤を使用しないでください。

外装プラスチック、ラバー、およびトリムコンポーネント

カラープラスチックパーツやラバー、トリムコンポーネント(光沢のあるトリムモールディングなど)を清掃および手入れするときは、ボルボ純正専用クリーナー(ボルボ・ディーラーでお求めになれます)のご使用を推奨しています。クリーナーの使用説明書の指示に従ってください。

洗車には、pH 値が 3.5 未満または 11.5 以上の洗剤を使用しないでください。このような洗剤を使用すると、陽極酸化アルミニウム製の部品* が変色するおそれがあります(図参照)。研磨剤入りのつや出し剤の使用はお薦めできません(図参照)。

pH 値が 3.5～11.5 のクリーナーを使用して洗う必要のあるパーツ

重要

プラスチックおよびラバー部分に、ワックスがけおよびポリッシュ加工を行わないでください。

脱脂剤をプラスチックおよびラバー部分に使用する必要がある場合は、軽くこするようにしてください。柔らかい洗浄用スポンジを使用してください。

光沢のあるトリムモールディングを、磨かないでください。表面に傷が付いたり、光沢が失われたりする場合があります。

研磨剤の入った艶出し剤は使用しないでください。

重要

洗車するときには、pH 値が 3.5 未満または 11.5 以上の洗浄剤は使用しないでください。使用した場合、パワーウインドの周辺部やルーフラックなどの陽極酸化アルミニウムパーツが変色する可能性があります。

陽極酸化アルミニウムパーツには、絶対に金属研磨剤を使用しないでください。変色して表面処理が損なわれる可能性があります。

ホイール

ボルボ社が推奨するクリーナー以外使用しないでください。

特にクロームメッキされたアルミホイールの場合、強力なホイールクリーナーを使用すると、表面にキズやシミが付くおそれがあります。

関連情報

- 磨きおよびワックスがけ（p. 630）
- サービスポジションのワイパーブレード（p. 606）
- 停車時のオートブレーキ（p. 486）
- パーキングブレーキを使用する（p. 483）
- オートマチックトランスミッションのギヤポジション（p. 463）
- 防錆（p. 630）

磨きおよびワックスがけ

車体の塗装面の艶が失われてきたときや、特に外装を保護したいときは、磨きとワックスがけを行ってください。新車購入後約 1 年間はポリッシュの必要はありませんが、ワックスがけをすることはできます。磨きやワックスがけは直射日光の下では行わないでください。磨く表面の温度は 45 ℃（113 ° F）以下である必要があります。

- 磨きやワックスがけは、車両をよく洗い、完全に乾かしてから行ってください。車両に付着したアスファルトやタールなどは、タール用クリーナーやホワイトガソリンを使用して取り除いてください。取れにくいシミなどは、車体塗装面専用の研磨コンパウンドを使用して取り除いてください。
- 磨き剤で磨いてから、液体または固形ワックスを使用してワックスがけを行ってください。使用する製品に記載されている使用説明書に、必ず従ってください。磨き剤とワックスが、一緒になったタイプもあります。

重要

プラスチックおよびラバー部分に、ワックスがけおよびポリッシュ加工を行わないでください。

脱脂剤をプラスチックおよびラバー部分に使用する必要がある場合は、軽くこするようにしてください。柔らかい洗浄用スポンジを使用してください。

光沢のあるトリムモールディングを、磨かないでください。表面に傷が付いたり、光沢が失われたりする場合があります。

研磨剤の入った艶出し剤は使用しないでください。

重要

ボルボ純正のペイントトリートメント以外使用しないでください。他のペイントトリートメントなどのシーリング、プロテクション、光沢シーリングなど、その他の処置によって、塗装面が損傷を受けるおそれがあります。ペイントトリートメントなどで生じた損傷は、ボルボ社の保証が適用されません。

関連情報

- エクステリアの清掃（p. 627）
- 塗装の損傷（p. 633）
- 塗装面の補修（p. 634）

防錆

車両には優れた防錆処理が施されています。

ボディの防錆処理では、金属用の最新の金属保護コーティング、高品質塗装処理、金属の重なり部分の最小化と防錆処理、遮蔽用プラスチックコンポーネント、耐摩耗処理、傷つきやすい箇所への防錆剤追加が採用されています。この組み合わせにより、長期間にわたってボディは錆の問題を免れることができます。シャシでは、ホイールサスペンションの傷つきやすいコンポーネントに耐食鋳造アルミニウムが採用されています。

点検とメンテナンス

通常、車両の防錆処理はメンテナンス不要ですが、車両をきれいな状態に維持しておくと、錆の発生する可能性をさらに低減させることができます。光沢のあるトリムコンポーネントには、強アルカリ性または強酸性の洗浄液を使用しないでください。飛び石傷を見つけた場合は、すみやかに修復を行ってください。

関連情報

- エクステリアの清掃（p. 627）
- 塗装の損傷（p. 633）

内装の清掃

ボルボ社が推奨するクリーナーおよびカーケア製品のみを使用して定期的に清掃してください。汚れがついた場合はすぐに対処することが重要です。洗浄剤を使用する前に、掃除機をかけてください。

重要

- 濃い色のジーンズやスウェードなど、衣類の素材によっては、色落ちして内装を変色させるおそれがありますのでご注意ください。内装が変色した場合、すみやかに内装の汚れた箇所を清掃して、適切に対処することが重要です。
- 車内の清掃には、強力な溶剤(ウォッシャー液、ガソリン、ホワイトガソリンなど)を絶対に使用しないでください。内装やその他のインテリア用品を損傷するおそれがあります。
- 電気を扱うボタンおよびコントロールのあるコンポーネントには、絶対に洗浄剤を直接吹き付けないでください。代わりに、洗浄剤で湿らせた布を使用して、コンポーネントを拭いてください。
- 清掃時に尖った物やマジックテープなどを使用しないでください。内装布地に損傷を与えるおそれがあります。

布地内装および天井内装

内装を傷つけるおそれがあるため、シミは絶対にこすらないでください。内装が変色するおそれがあるため、強力なシミ抜きは絶対に使用しないでください。

レザー製内装*

ボルボ車のレザー製内装は、本来の外観が長続きするように処理されています。

レザー製内装は、時間の経過とともに変化して美しい風合いが生まれる、天然皮革の製品です。レザー特有の色や性質を保つためには、定期的な清掃とトリートメントが必要です。ボルボ社は、レザー製内装のお手入れのために、総合的なケアープログラムをご用意しています。レザー製内装のお手入れには、レザー専用の Volvo Leather Care Kit/Wipes を、付属の使用説明書の指示に従ってご使用ください。レザー表面の保護処理効果を復活させることができます。

レザー特有の柔らかさと感触を保つため、年に1～4回清掃を行い、保護クリームを使用してお手入れされることをお薦めします(必要に応じて、お手入れの回数を増やしてください)。Volvo Leather Care Kit/Wipes はボルボ・ディーラーでお求めになれます。

レザー製内装の清掃

1. 湿らせたスポンジにレザークリーナーを付け、スポンジを握って泡立てます。
2. スポンジをシミに当てて、円を描くように動かします。
3. スポンジを使用してシミを十分に湿らせ、こすることなくスポンジにシミを吸い取らせます。
4. やわらかい布でシミを拭き取り、レザーを十分に乾燥させます。

レザー製内装の保護

1. 少量のレザー保護剤を布に付け、円を描くような動きでレザーに塗ります。
2. 約 20 分間乾燥させます。

レザー製内装を保護することで、太陽光の紫外線に対する耐光性が向上します。

レザーステアリングホイール

レザーは呼吸をします。レザー製ステアリングホイールにビニールのカバーをかけないでください。レザーステアリングホイールのお手入れには、Volvo Leather Care Kit/Wipes をお薦めします。最初に、湿らせたスポンジまたは布と中性の石けん水を使用して、汚れや埃などを取り除いてください。

重要

尖った物(リングなど)を使用すると、ステアリングホイールのレザーを傷つけるおそれがあります。

プラスチック製、金属製および木製インテリアパーツ

マイクロファイバークロス(ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください)などのご使用を推奨しています。マイクロファイバークロスを湿らせ、内装各部を拭いて清掃してください。

汚れをとるために、強く擦ったり、削らないでください。強いシミ抜き溶剤は、絶対に使用しないでください。

重要

ドライバーディスプレイのガラス面を清掃するときには、アルコール入りの溶剤を使用しないでください。

シートベルト

水および中性洗剤を使用してください。ボルボ純正テキスタイル専用クリーナーはボルボ・ディーラーでお求めになれます。シートベルトは、完全に乾かしてから巻き戻してください。

フロアマット

フロアカーペットを清掃するときは、フロアマットやトランクルーム/カーゴスペースのマットを取り外してください。埃や汚れは、掃除機で吸い取ってください。各フロアマットはピンで固定されています。

フロアマットを各ピンの部分でつかみ、まっすぐに持ち上げて取り外してください。

フロアマットを所定位置に装着する際には、各ピンの場所を押してください。

警告

各シートではフロアマットを 1 枚だけ使用してください。また、運転席のマットがペダルの横や下に引っかかることがないように、運転する前に、マットがピンに確実に固定されていることを確認してください。

フロアマットにシミができた場合には、掃除機をかけて掃除した後、特殊テキスタイルクリーナーをご使用ください。フロアマットの清掃には、ボルボ・ディーラーが推奨する洗剤をご利用ください。

関連情報

- センターディスプレイの清掃 (p. 632)

センターディスプレイの清掃

汚れ、シミおよび皮脂はセンターディスプレイの動作や読みやすさに影響をおよぼす可能性があります。マイクロファイバークロスを使用して、画面をこまめに清掃してください。

センターディスプレイのホームボタン

1. ホームボタンを長押しして、センターディスプレイをオフにします。
2. 付属のマイクロファイバークロス(同等の品質なら別のマイクロファイバークロスも可)を使用して、画面を拭きます。画面は、乾燥したきれいなマイクロファイバークロスで小さい円を描くようにして拭く必要があります。必要であれば、マイクロファイバークロスをきれいな水で軽く湿らせます。
3. ホームボタンを短く押して、ディスプレイをオンにします。

重要

センターディスプレイの清掃には、砂や汚れの付着していないマイクロファイバークロスを使用してください。

重要

センターディスプレイを清掃する場合、画面を強く押さないように注意してください。強く押すと、画面が損傷するおそれがあります。

重要

センターディスプレイには液体または腐食性の化学薬品を直接スプレーしないでください。ウインドクリーナー、その他の洗浄剤、エアゾールスプレー、溶剤、アルコール、アンモニア、または研磨剤入りの洗浄剤は使用しないでください。

研磨布、ペーパータオルまたはティッシュペーパーは絶対に使用しないでください。センターディスプレイに傷がつくおそれがあります。

関連情報

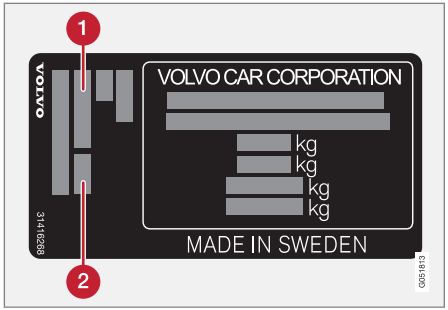
- 内装の清掃（p. 631）
- センターディスプレイの概要（p. 34）

塗装の損傷

塗装は車両を錆から守るために重要な役割を果たしていますので、定期的に点検してください。塗装面にもっとも多く見られる損傷は、飛び石による傷、引っかき傷、フェンダーやドア、バンパーの傷などです。

カラーコード

カラーコードラベルはドアピラーに貼付されています。右側リアドアを開けたときに確認できます。



1 エクステリアカラーコード

2 準エクステリアカラーコード

必ず正しい色の塗料を使用してください。

塗装面の小さな損傷の補修

塗装面に傷が付いた場合は、錆が発生しないようにただちに補修してください。

注意

塗装を修理するときには、塗装面がきれいで乾燥した状態で、温度が 15 ℃以上である必要があります。

必要になる可能性のあるもの

- プライマー[20] – プラスチック塗料を施したバンパーなどには、スプレー缶に入った特殊な癒着性プライマーが利用できます。
- 下塗りとクリアコート – スプレー缶入りやタッチアップペンタイプ[21] のものが利用できます。
- マスキングテープ
- 目の細かいサンドペーパー[20]

注意

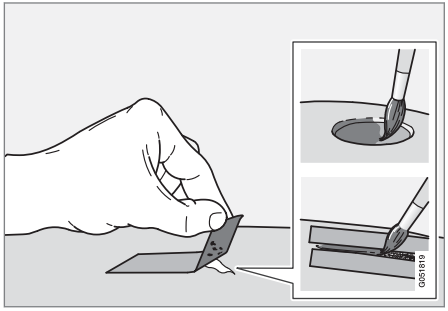
塗装を修理する場合、表面がきれいで乾燥している必要があります。表面温度は 15 ° C (60 ° F)以上である必要があります。

20 必要時。
21 タッチアップペンのパッケージに含まれていたインストラクションに従ってください。

関連情報
- 塗装面の補修（p. 634）
- タイプの表示（p. 636）
- 防錆（p. 630）

塗装面の補修

塗装面の補修は、車体をよく洗って乾燥させ、気温が 15 ℃以上のときに行ってください。



1. 損傷のある表面にマスキングテープを貼ります。剥がれかけた塗装の薄片が取り除けるようにテープを剥がします。

   損傷が金属部分に達している場合には、プライマーを使って補修してください。損傷がプラスチック部分に達している場合には、癒着性プライマーを使用するとよりよい結果が得られます。スプレー缶の蓋にスプレーを吹きかけて、薄くブラシで伸ばします。
2. 塗装の前に、非常に目の細かい研磨材を使用して、必要な場所だけ慎重に研磨します(端が一様ではない場合など)。表面をよく洗浄して、乾くまでお待ちください。
3. プライマーをよく混ぜて、細い筆かマッチ棒などで損傷部分に塗ります。プライマーが乾いたら、下塗りとクリアコートで仕上げます。

引っかき傷の場合も上記と同様に補修しますが、必要に応じてマスキングテープを使用して、傷のない部分を保護します。

タッチアップペンやスプレーペイントもボルボ・ディーラーでお求めになれます。

注意

小石などによる傷で、金属部分に達しておらず、塗装に損傷のない部分が残っている場合には、清掃後すぐ下塗りとクリアコートで処理してください。

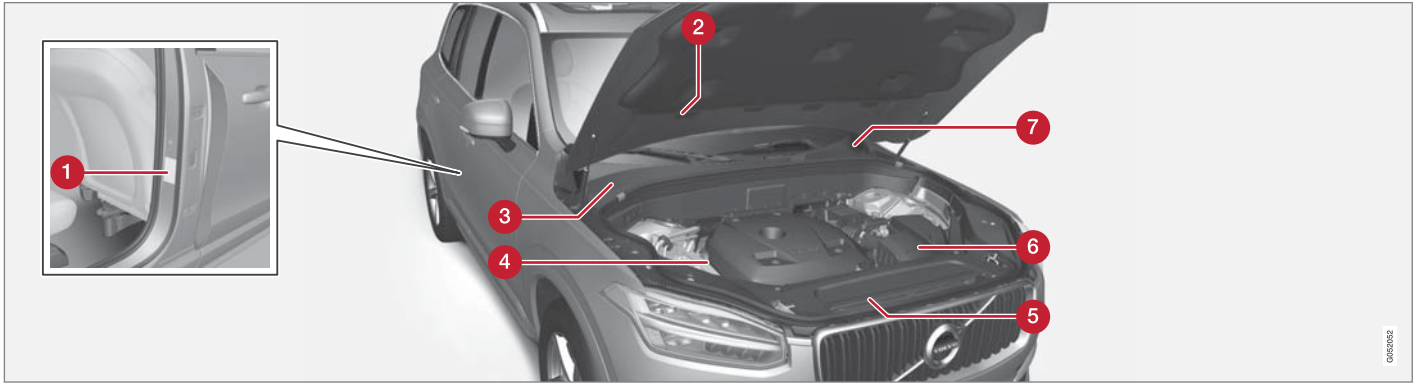
関連情報
- 塗装の損傷（p. 633）
- エクステリアの清掃（p. 627）
- タイプの表示（p. 636）

仕様

タイプの表示

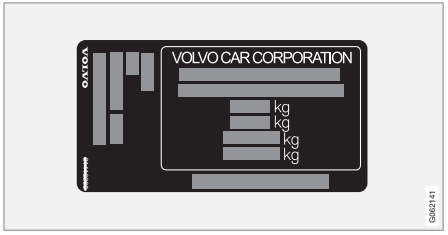
車両の表示ラベルには、シャシ番号、型式指定、カラーコードなどの情報が記載されています。

ラベルの位置



図は概略図です。詳細は、市場および車両モデルにより異なる場合があります。

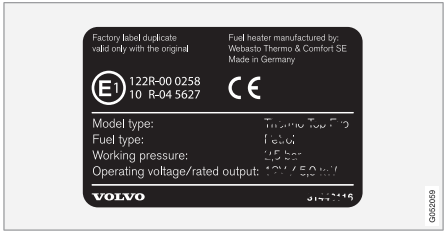
ボルボ指定のディーラーに車両についてのお問い合わせや、パーツあるいはアクセサリーのご注文をいただくときは、車両の車台番号(VIN)およびエンジンタイプをお知らせください。



1 タイプの表示、車台番号(VIN)、最大許容重量、エクステリアカラーコードおよび型式指定番号の表示ラベル。表示ラベルはドアピラーに貼付されています。右リアドアを開けたときに確認できます。

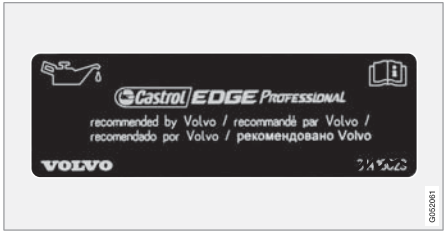
2 R1234yf 冷媒仕様車用 A/C システム表示ラベル

2 R134a 冷媒仕様車用 A/C システム表示ラベル

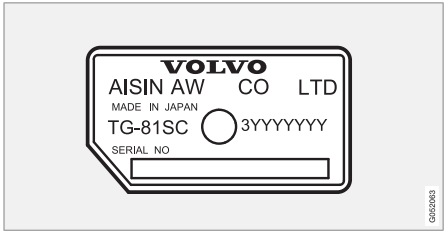


3 パーキングヒーターラベル

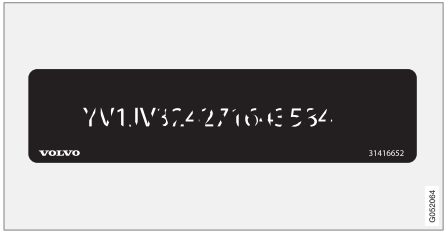
4 エンジンコードおよびエンジンのシリアルナンバーの表示ラベル



5 エンジンオイル用ラベル



6 トランスミッション型式およびシリアルナンバーの表示ラベル



7 車両の車台番号(VIN)の表示ラベル

実際の車両の各諸元値は、車検証記載の数値を参照してください。

注意

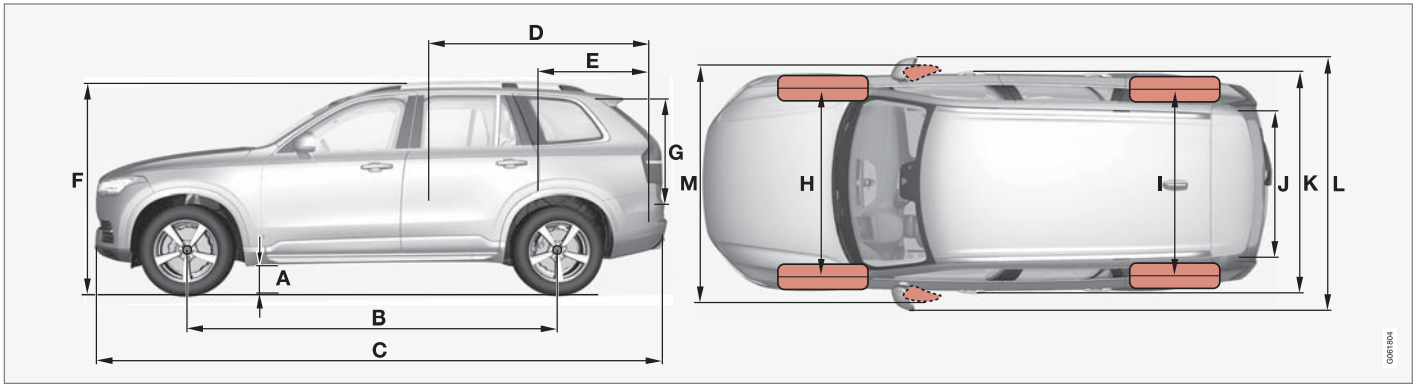
オーナーズマニュアルに掲載されている表示ラベルは、車両の表示ラベルと若干異なっている場合があります。ラベル掲載の目的は、ラベルの概観と車両に貼られている位置を示すことです。お客様の車両に関する情報は、車両内の各ラベルに記載されています。

関連情報

- エアコンディショナー – 仕様（p. 648）

寸法

車両の全長や高さなどの寸法が表内に記載されています。



	寸法	mm	インチ
A	車高[A]	227	8.9
B	ホイールベース	2984	117.5
C	全長	4950	194.9
D	荷室の長さ(フロア上の寸法、バックレストを倒した状態)	2040 1260[B]	80.3 49.6[B]

	寸法	mm	インチ
E	荷室の長さ(フロア上の寸法)	1220[C] 554[D]	48.0[C] 21.8[D]
F	全高	1776	69.9
G	荷室の高さ	816	32.1

	寸法	mm	インチ
H	トレッド(フロント)[E]	1673[F] 1665[G]	65.9[F] 65.6[G]
	トレッド(フロント)[H]	1676[F] 1668[G]	66.0[F] 65.7[G]

	寸法	mm	インチ
I	トレッド(リア)[E]	1675[F]	65.9[F]
		1667[G]	65.6[G]
	トレッド(リア)[H]	1679[F]	66.1[F]
		1671[G]	65.8[G]
J	荷室の幅(フロア上の寸法)	1192	46.9
K	全幅	1923[I]	75.7[I]
		1931[J]	76.0[J]
		1958[K]	77.1[K]
L	全幅(ドアミラーを含む)	2140	84.3
M	全幅(格納式ドアミラーを含む)	2008	79.1

A 車両重量 + 乗員 2 名の場合。タイヤのサイズ、シャシタイプなどにより多少異なります)。
B 7 人乗り車両の 2 列目シートから。*
C 5 人乗り車両。
D 7 人乗り車両。
E エアサスペンション非装備車。
F 20、21 および 22 インチホイール装着車に適用されます。
G 18 および 19 インチホイール装着車に適用されます。
H エアサスペンション装備車。
I ボディ幅
J 18 インチおよび 19 インチホイール装着車の幅。
K 20 インチ、21 インチおよび 22 インチホイール装着車の幅。

重量

最大車両総重量などは車両のラベルに記載されています。

車両重量には、運転者、燃料タンク(90%給油状態)、全フルードが含まれます。

乗員やアクセサリーの重量、トウボール荷重(トレーラーけん引時)によって積載量は左右されます。これらは車両重量には含まれていません。

最大許容重量 = 車両総重量 − 車両重量

注意

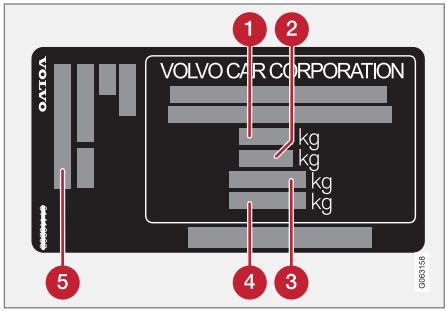
本書に記載の車両重量は、追加装備やアクセサリーのない、標準装備の車両に当てはまります。つまり最大許容重量は、追加されたアクセサリーの重量だけ減少します。

最大積載重量を減少させるアクセサリーの例としては、キネティック(Kinetic)、モメントゥム(Momentum)、およびスンムム(Summum)の各レベルのオプション装備、さらに、トウバー、ロードキャリア、スペースボックス、オーディオシステム、補助ライト、GPS、フューエルドリブンヒーター、スチールガードネット、カーペット、ラゲッジカバー、パワーシートなどがあります。

車両重量を確実に知るための方法は、実際に量ってみることです。

警告

車両走行性能は、搭載荷物の重量や、荷物を積む位置に影響を受けます。



表示ラベルはドアピラーに貼付されています。右リアドアを開けたときに確認できます。

1. 最大車両総重量
2. 最大けん引重量(車両+トレーラー)
3. 最大許容前軸荷重
4. 最大許容後軸荷重
5. 装備レベル

最大荷重：車検証を参照してください。

最大ルーフ荷量：100 kg

関連情報

- タイプの表示 (p. 636)
- けん引重量およびトウボール荷重 (p. 642)

けん引重量およびトウボール荷重

トレーラーを使用して走行する際のけん引重量およびトウボール荷重が表内に記載されています。

最大重量、ブレーキ付きトレーラー

注意

トレーラー重量が 1,800 kg を超える場合は、安全装置の使用をお薦めします。

エンジン	エンジンコード[A]	トランスミッション	最大重量、ブレーキ付きトレーラー(kg)	最大トウボール荷重(kg)
T5 AWD	B4204T20	オートマチック	2400	140
T5 AWD	B4204T23	オートマチック	2400	140
T6 AWD	B4204T27	オートマチック	2700	140
D4	D4204T14	オートマチック	1800	140
D4 AWD	D4204T6	オートマチック	2400	140
D5 AWD	D4204T23	オートマチック	2700	140

A エンジンコード、コンポーネントおよびシリアルナンバーは、エンジンに打刻されています。

重要

トレーラーを連結して走行する場合、走行速度を 100 km/h (62 mph)以下に制限するという条件下で、車両総重量(トウボール荷重を含む)から 100 kg 以内の超過が可能になります。連結車両に関する国内の法的要件(速度など)を順守する必要があります。

最大重量、ブレーキ非装備トレーラー

最大重量、ブレーキ非装備トレーラー(kg)	最大トウボール荷重(kg)
750	50

関連情報

- タイプの表示（p. 636）
- 重量（p. 641）
- トレーラーなどのけん引（p. 503）
- トレーラー・スタビリティ・アシスト*（p. 506）

エンジンの仕様

各エンジンタイプの仕様(出力など)が以下の表内に記載されています。

> **注意**
>
> 搭載されているエンジンの仕様は市場ごとに異なっていますので、あらかじめご了承ください。

エンジン	エンジンコード[A]	出力 (kW/rpm)	出力 (hp/rpm)	トルク (Nm/rpm)	気筒数
T5 AWD	B4204T20	183/5500	249/5500	350/1500-4500	4
T5 AWD	B4204T23	187/5500	254/5500	350/1500-4800	4
T6 AWD	B4204T27	235/5700	320/5700	400/2200-5400	4
D4	D4204T14	140/4250	190/4250	400/1750-2500	4
D4 AWD	D4204T6	140/4250	190/4250	420/1500-2500	4
D5 AWD	D4204T23	173/4000	235/4000	480/1750-2250	4

A エンジンコード、コンポーネントおよびシリアルナンバーは、エンジンに打刻されています。

関連情報

- タイプの表示 (p. 636)
- エンジンオイル – 仕様 (p. 645)
- クーラント – 仕様 (p. 647)

エンジンオイル – 仕様

各エンジンタイプに対応するエンジンオイルのグレードおよび容量が表内に記載されています。

ボルボの推奨品：

エンジン	エンジンコード[A]	オイルグレード	オイルフィルターを含む容量（リットル）
T5 AWD	B4204T20	カストロール エッジ Professional V 0W-20 または VCC RBS0-2AE 0W-20	約 5.6
T5 AWD	B4204T23		約 5.6
T6 AWD	B4204T27		約 5.6
D4	D4204T14	カストロール エッジ Professional V 0W-20 または VCC RBS0-2AE 0W-20	約 5.2
D4 AWD	D4204T6		約 5.2
D5 AWD	D4204T23		約 5.2

[A] エンジンコード、コンポーネントおよびシリアルナンバーは、エンジンに打刻されています。

関連情報

- タイプの表示（p. 636）
- エンジンオイルに対して過酷な走行条件（p. 646）
- エンジンオイルの点検と補充（p. 596）
- エンジンオイル（p. 595）

エンジンオイルに対して過酷な走行条件

過酷な走行条件では、通常よりも油温が上昇したり、オイル消費量が増加する場合があります。以下に過酷な走行条件をいくつか挙げます。

次のような状況で長時間走行する場合は、オイルレベルを通常よりも頻繁に点検してください。

- キャラバンやトレーラーけん引時
- 山道走行時
- 高速走行時
- 外気温が−30 ℃以下、または+40 ℃以上の環境で走行する場合

前述の項目は、低温で短距離を走行する際にも当てはまります。

過酷な条件下で走行する場合は、100%化学合成オイルの使用を推奨しています。エンジンにさらなる保護を提供します。

ボルボ社の推奨品：

重要

エンジンのサービスインターバルに適応できるように、工場で特別な合成エンジンオイルがエンジンに充填されています。このオイルは、エンジンの寿命、始動性能、燃費および環境保全を十分考慮して選定されています。

エンジンのサービスインターバルに適応するため、指定されたエンジンオイルを使用してください。オイルの補充および交換時には、必ず指定グレードのオイルを使用してください。異なるオイルを使用すると、エンジンの寿命、始動性能、燃費および環境保全に悪影響を及ぼします。

規定のグレードおよび粘度を備えたエンジンオイルを使用しなかった場合、エンジン関係のコンポーネントが損傷するおそれがあります。ボルボ・カー・コーポレーションは、こういった損傷に対するいかなる責任も負いません。

オイル交換は、ボルボ指定のサービス工場に依頼されることをお薦めします。

関連情報

- エンジンオイル − 仕様（p. 645）
- エンジンオイル（p. 595）

クーラント – 仕様

指定グレード： ボルボ純正クーラントと水[1]を 50%ずつ混ぜたもの。パッケージ参照。不確かな場合はボルボ・ディーラーにお問い合わせください。

健康上のリスクを防ぐため、種類の異なるグリコールは混合しないでください。

トランスミッションフルード – 仕様

通常の走行条件下では、トランスミッションフルードの交換は基本的に不要です。ただし、悪条件で走行している場合、交換が必要になることがあります。

オートマチックトランスミッション

指定されたトランスミッションフルード：	AW1

ブレーキフルード – 仕様

油圧式ブレーキシステムにはブレーキフルードが使用されています。ブレーキフルードは、ブレーキペダルからマスターブレーキシリンダーを通って 1 つ以上のスレーブシリンダーへ油圧を伝達します。この油圧がメカニカルブレーキに作用します。

指定グレード： ボルボ純正 Dot 4 クラス 6 または同等品。

注意

ブレーキフルードは、認定のボルボサービス工場にて交換または充填されることをお薦めします。

関連情報

- エンジンルームの概要（p. 594）

[1] 水質は、基準 STD 1285.1 を満たしていなければなりません。

燃料タンク – 容量

燃料タンクの容量は以下の表内に記載されています。

	すべてのモデル
リットル(概算値)	71[A]
米ガロン(概算値)	18.8

A 一部の市場では 60 リットル

関連情報

- 燃料給油口フラップの開閉と給油 (p. 493)

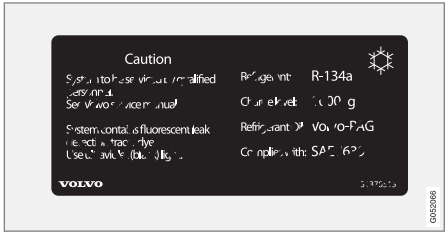
エアコンディショナー – 仕様

車両のエアコンディショナーシステムは、市場に応じて、R1234yf または R134a のいずれかのノンフロン冷媒を使用します。使用されている冷媒の情報は、ボンネットの内側に貼付されている表示ラベルに印刷されています。

エアコンディショナーシステムで使用されるフルードおよび潤滑剤の指定グレードおよび容量は以下の表に記載されています。

A/C ラベル

R134a 用ラベル



R1234yf 用ラベル

R1234yf のシンボル説明

シンボル	意味
	注記
	移動式エアコンディショナーシステム(MAC)
	潤滑剤タイプ
	移動式エアコンディショナーシステム(MAC)の整備は、資格および技能を有するメカニックが行う必要があります。
	可燃性冷媒

冷媒

R134a 冷媒仕様車

重量	指定グレード
750 g (1.65 lbs)	R134a
1,000 g[A] (2.20 lbs[A])	

A 3 列目シート* 用 A/C 装備車に適用されます。

⚠ 警告

エアコンディショナーシステムには、冷媒 R134a が加圧充填されています。このシステムの保守や修理は、必ずボルボ指定のサービス工場にご依頼ください。

R1234yf 冷媒仕様車

重量	指定グレード
650 g (900 g[A])	R1234yf

A 3 列目シート* 用 A/C 装備車に適用されます。

⚠ 警告

エアコンディショナーシステムには、冷媒 R1234yf が加圧充填されています。SAE J2845(自動車用 A/C システムに使用される冷媒の安全な点検整備および格納のための技術トレーニング)に従い、冷媒システムの点検整備および修理は、必ず資格および技能を有する技術者が行い、システムの安全を確保する必要があります。

コンプレッサーオイル

容量	指定グレード
60 ml (2.03 fl. oz.)	PAG SP-A2
80 ml[A] (2.71 fl. oz.[A])	

A 3 列目シート* 用 A/C 装備車に適用されます。

エバポレーター

! 重要

A/C システムのエバポレーターは、絶対に修理したり、以前に使用していたエバポレーターと交換したりしないでください。新しいエバポレーターは、SAE J2842 に基づいて認証および表示されている必要があります。

関連情報

- エアコンディショナーシステムの点検整備 (p. 599)
- タイプの表示 (p. 636)

燃料消費量および CO2 排出量

燃料消費量と CO2 排出量は、さまざまな原因で悪化することがあります。

燃料消費量の増加には以下のような原因が考えられます。

- 車両に追加装備があり、車両の重量が増加している場合。
- 運転スタイル。
- モデルの基本バージョンに標準装備されているホイールとは異なるホイールが装着されており、転がり抵抗が増加している場合。
- 高速走行によって空気抵抗が増加した場合。
- 燃料の品質、道路および交通の状況、天候、車両の状態。

上記の例が組み合わされると、燃料消費量が大幅に増加する可能性があります。

注意

悪天候、トレーラーをけん引しながらの走行、あるいは標高の高い地域での走行と不適切な燃料の使用などが組み合わさると、車両の燃料消費量が大幅に増加します。

関連情報

- タイプの表示（p. 636）
- 重量（p. 641）
- 経済走行（p. 499）

承認タイヤ空気圧

各エンジンタイプに対する認定のタイヤ空気圧が表内に記載されています。

注意

提供されているエンジンとタイヤ、またその組み合わせは、市場により異なっており、ご利用いただけないものもございますので、あらかじめご了承ください。

エンジン	タイヤサイズ	速度 (km/h)	重量、1〜3 名乗車		最大荷重		ECO プレッシャー[A]
			フロント (kPa)[B]	リア (kPa)	フロント (kPa)	リア (kPa)	フロント/リア (kPa)
すべてのエンジン	235/60R18	0 – 160[C]	240	240	270	270	270
	235/55 R19 275/40 R21 275/35 R22	160+[D]	240	240	270	270	-
	275/45 R20	0 – 160[C]	240	220	270	270	270
		160+[D]	240	240	270	270	-
テンポラリースペアタイヤ		80 以下[E]	420	420	420	420	-

A 経済走行
B 国によっては、SI 単位であるパスカル(pascal、Pa)の他に、バール(bar)が使用されます。1 bar = 100 kPa。
C 0 – 100 mph
D 100+ mph
E 最高 50 mph

関連情報

- タイプの表示（p. 636）
- タイヤ空気圧の点検（p. 562）

50 音順索引

数字

4WD. 479

あ

赤色キー. 285
アクセサリーおよび追加装備. 24
アクティブ・ヨー・コントロール. 323
アクティブハイビーム. 183
アクティブベンディングライト. 186
アダプティブクルーズコントロール344, 355
　一時的解除. 352
　追い越し. 354
　機能. 344
　クルーズコントロール機能の変更. . . 357
　故障診断. 356
　車間時間の設定. 350
　スタンバイモード. 352
　速度の管理. 347, 349
　レーダーセンサー. 376
アプリ. 512
　ダウンロード、アップデートおよびアンインストール. 544
アプリケーション
　設定. 223
アプローチライト. 193
アラーム. 309
　アラームの機能解除. 309
　解除. 312
　自動作動. 311
アルコールロック. 456, 457
アレルギーおよび喘息を誘発する物質. . 229
アンテナ
　位置. 286
アンビエントライト. 191

い

イグニッション位置. 457
イモビライザー. 307
　イモビライザー. 307
インストルメントの概要
　左ハンドル車. 128
　右ハンドル車. 130
インターネット、オンライン車両参照. . 539
インテグレーテッドチャイルドシート. . 123
　下げる. 124
　跳ね上げ. 124
インテリア・エア・クオリティ・システム229
インテリセーフ
　運転者サポート. 29
インフォテイメントシステム（オーディオおよびメディア）. 512
インフォメーション・ディスプレイ132, 136
インフレータブルカーテン. 107

う

ウインタータイヤ. 578
ウインターホイール. 578
ウインド
　サンブラインド. 199
ウインドおよびガラス. 33
ウインドスクリーン
　投影画像. 156
　ヒーター. 240
ウインドスクリーンウォッシャー. 195
ウォッシャー
　ウインドスクリーン. 195
　ウォッシャー液、補充. 609
　ヘッドライト. 195
　リアウインド. 196
ウォッシャー液. 609
ウォッシャーノズル、ヒーテッド. 195
運転者プロフィール. 220, 221, 222
　選択. 221
　編集. 221

え

エアクオリティ..... 228, 229
アレルギーおよびぜん息..... 229
クリーンエアフィルター..... 229
エアコン..... 234
エアコンディショナー..... 226, 230, 234
温度コントロール..... 236
自動調節..... 233
センサー..... 227
センターディスプレイ..... 231
ゾーン..... 226
体感温度..... 227
パーキング..... 252
ファンコントロール..... 238
ボイスコントロール..... 163
リアシート..... 233
エアコンディショナー、自動調節..... 233
エアコンディショナー、フルード
容量およびグレード..... 648
エアコンディショナーシステム... 226, 230
修理..... 599
冷媒..... 648
エアディストリビューション..... 243
オプション表..... 246
空気吹出口..... 243, 245
デフロスト..... 240
変更..... 244
リサーキュレーション..... 242
エアバッグ..... 102
運転席側..... 102
作動/非作動..... 104
助手席側..... 102, 104
エアバッグ、エアバッグ参照..... 102
エアリサーキュレーション..... 242
エクストラヒーター（補助ヒーター)... 261
エタノール含有量
体積に対し 10 %以下..... 496
エラーメッセージ
アダプティブクルーズコントロール. 359
メッセージおよびシンボル参照 359, 375
エンジン
オーバーヒート..... 490
解除する..... 460
始動..... 459
Start/Stop..... 468
エンジン・ドラッグ・コントロール.... 323
エンジンオイル..... 595, 646
過酷な走行条件..... 646
グレードおよび容量..... 645
フィルター..... 595
エンジンオイル、注入..... 596
エンジンオイルレベルの点検..... 597
ｴﾝｼﾞﾝ温度
高..... 490
エンジン高温..... 490
エンジンの始動..... 459
衝突後..... 109
エンジンの仕様..... 644
エンジンブレーキ、自動..... 488
エンジンルーム
エンジンオイル..... 595
概要..... 594
クーラント..... 598
エンジンをオフにする..... 460
エンジンを停止する..... 460

お

追い越しアシスト..... 354
オイル、エンジンオイルも参照... 645, 646
オイルレベルゲージ..... 596
オイルレベル低下..... 596
応急手当..... 582
オーナーズインフォメーション(オーナー様への情報)..... 14
オーディオおよびメディア..... 512
オーディオ設定..... 513, 538
テキストメッセージ..... 536
電話..... 538
メディア..... 523
メディアを再生..... 517

オートブレーキ..... 486
衝突後..... 482
オートマチックトランスミッション.... 463
オイル..... 647
トレーラー..... 503
オートリロック機能..... 289
オートレベライザー..... 477
オーナーズマニュアル..... 20
エコラベル表示..... 33
センターディスプレイ内..... 15, 17
オーバーヒート..... 490, 503
オクタン値..... 496
オプション/アクセサリー..... 20
温度
コントロール..... 236
体感..... 227
オンライン車両..... 539
コネクテッド・サービス予約..... 586
サービスと修理の予約..... 586
システムアップデート..... 589
車両を接続する..... 540
未接続/接続不良..... 542

か

カーゴスペース..... 271
固定ポイント..... 273
セーフティネット..... 277
電源ソケット..... 266
ライト..... 191
カーモデム
車両をインターネットに接続する... 540
設定..... 544
外気温度計..... 141
外寸..... 639
快適環境維持機能..... 252
オン/オフ..... 257
回転方向..... 561
回避操作が不可能な場合の City Safety 397
各種計器および操作ボタン..... 128, 130
ガソリンのグレード..... 496
型式認定
リモートコントロールキーシステム. 313
レーダーシステム..... 382
カバー
カーゴスペース..... 274
カメラセンサー..... 398
カメラセンサーの故障診断..... 387
カメラユニット..... 386
カラーコード、塗装..... 633
カラーコード、ペイント..... 633
ガラス
ラミネーテッド/強化..... 33
環境..... 26
間欠ワイパー..... 193
冠水した道路..... 489

き

キー..... 222, 282, 285, 290
ｷｰのﾊﾞｯﾃﾘｰが低下..... 304
キーボード..... 50, 54
ギヤシフトインジケーター..... 465
ギヤセレクターインヒビター..... 466
ギヤセレクターインヒビターの解除.... 466
ギヤポジション
オートマチックトランスミッション. 463
救急用品キット..... 582
救急用品キット..... 582
三角警告板(停止表示板)..... 580
給油..... 493
補充..... 493
緊急パンクリペアーキット.. 568, 569, 572
位置..... 568
概要..... 569
再点検..... 569
シーリング剤..... 568

対処..... 569
タイヤへの空気注入..... 572

く

クーラント..... 647
クーラント、注入..... 598
クーリングシステム
オーバーヒート..... 490
曇り
ヘッドライト内の凝結水..... 627
クリーン・ゾーン・インテリア・パッケージ..... 229
クリーンエアフィルター..... 229
クルーズコントロール..... 335, 336
一時的解除..... 338
解除する..... 340
速度の管理..... 336, 337
グローブボックス..... 270
クロストラフィック対応 City Safety.. 396

け

計器
燃料計..... 142
警告音
パーキングブレーキ..... 485
警告灯..... 139
アダプティブクルーズコントロール. 344
エアバッグ - SRS..... 139
警告..... 139
シートベルトリマインダー..... 139
充電不良..... 139
スタビリティ&トラクション・コントロール・システム..... 323
セーフティ..... 94
パーキングブレーキ作動..... 139
ブレーキシステムの不具合..... 139
メインバッテリーが充電されない... 139
油圧低下..... 139
経済走行..... 475, 499
携帯電話、電話を参照..... 533
けん引..... 508
けん引重量およびトウボール荷重..... 642
けん引フック..... 507

こ

小石などによる傷および引っかき傷633, 634
交通情報..... 516
後部衝撃吸収リクライニング機構..... 95
後部衝撃吸収リクライニング機構付フロントシート..... 95
後部の下降..... 272
後部の上昇..... 272
コーナー・トラクション・コントロール 323
コーナリングライト..... 187
コンバインド・メーター・パネル..... 132
設定..... 136
コンパス..... 202
校正..... 203

さ

サービスと修理の予約..... 586
サービスプログラム..... 586
サービスポジション..... 606
サイクリストの検知..... 394
再生..... 498
最大ルーフ荷重..... 641
サイドエアバッグ..... 106
座席、シート参照..... 165
三角警告板(停止表示板)..... 580
サンバイザー..... 270
サンブラインド
パノラマルーフ..... 204

リアドア..... 199

し

シート
後部衝撃吸収リクライニング機構.... 95
ヒーター..... 249
フロントパワーシート..... 165, 167
フロントマニュアルシート..... 165
ベンチレーション..... 250
メモリー機能フロントシート..... 166
シートベルト..... 97
シートベルトテンショナー..... 97
シートベルトリマインダー..... 100
妊婦の方..... 95
バックル/バックル解除..... 98
シートベルト、シートベルト参照..... 97
シートベルトテンショナー..... 97
シートベルトリマインダー..... 100
シーリング剤..... 568
システム
アップデート..... 589
自動エンジン停止
オートストップ..... 468
自動車旅行..... 492
自動洗車機..... 628
自動速度リミッター..... 331, 333, 334
シミや汚れ..... 631
車間警告機能..... 341, 342
機能の限界..... 343
車間時間の設定..... 342
ジャッキ..... 581
車内内装..... 264
サンバイザー..... 270
電源ソケット..... 266
トンネルコンソール..... 265
車内ヒーター（パーキングヒーター)... 260
車両移動..... 510
車両機能
センターディスプレイ内..... 48
車両重量..... 641
車両状態..... 586
車両総重量..... 641
車両の状態
タイヤ空気圧..... 565
車両を持ち上げる..... 591
ジャンプスタート..... 461
渋滞アシスタント..... 361, 367, 375
収納スペース..... 264
グローブボックス..... 270
トンネルコンソール..... 265
重量
車両重量..... 641
出力..... 644
衝突、衝突事故を参照..... 94
衝突回避アシスト..... 424
衝突回避アシストのシンボルおよびメッセージ..... 425
衝突回避ステアリングアシスト..... 424
衝突警告システム..... 390
歩行者保護..... 394
レーダーセンサー..... 376
衝突事故..... 94, 97, 102, 108
照明スイッチ..... 180
正面衝突回避ステアリングアシスト.... 428
触媒コンバーター
けん引..... 509
助手席エアバッグ・カットオフ・スイッチ104
シンボルおよびメッセージ
アダプティブクルーズコントロール. 359
オートブレーキ機能付衝突警告システム..... 401
センターディスプレイ・ステータスフィールド..... 46
パーキングエアコン..... 258
シンボルマーク
表示灯..... 137

す

スキッド..... 492, 493
煤フィルター..... 498
スタビライザー
　トレーラー..... 506
スタビリティ・システム..... 323
スタビリティ&トラクション・コントロール・システム..... 323, 325
　操作..... 324
スチールガードネット..... 279
ステアリングフォースレベル、ステアリングフォース参照..... 322
ステアリングホイール..... 177, 178
　ステアリングホイールの調節..... 178
　ステアリングリモコン..... 177
　パドル..... 177
　ヒーター..... 251
ステアリングホイールのステアリングリモコン..... 177
ステアリングホイールの調節..... 178
ステアリングホイールのパドル..... 177
ステアリングホイールパドル..... 467
ステアリングホイールフォース、車速感応式..... 322
ステアリングホイールロック..... 461
ストップ/スタート機能..... 468
スピード違反取り締まりカメラ..... 414
スピンコントロール..... 323
スペアタイヤ..... 577
滑りやすい路面での運転..... 493
寸法..... 639
　トーイングブラケット..... 502

せ

清掃
　シートベルト..... 632
　自動洗車機..... 628
　洗車..... 627
　センターディスプレイ..... 632
　内装..... 631
　布製内装..... 631
　ホイールリム..... 629
セーフティ..... 94
　妊婦の方..... 95
セーフティモード..... 108
　スタート/ムーブメント..... 109
設定..... 216
　カテゴリー..... 217
　システム設定..... 218
　設定メニュー..... 216
　リセット..... 219
設定の登録..... 224
センサー
　エアクオリティ..... 229
　エアコンディショナー..... 227
洗車..... 627
センターディスプレイ
　エアコンディショナー..... 231
　概要..... 34
　キーボード..... 50, 54
　ステータスバーのシンボル..... 46
　清掃..... 632
　設定変更..... 47
　操作..... 37, 41
　メッセージ..... 151
セントラルロック..... 291
全輪駆動(AWD)..... 479

そ

走行
　クーリングシステム..... 490
　トレーラーなどのけん引..... 503
走行距離..... 211
走行中にご注意いただきたいこと..... 492
走行統計..... 215
走行特性の最適化..... 322, 472
速度記号、タイヤ..... 582
速度リミッター..... 327, 331

一時的解除..... 329
開始..... 328, 329
解除..... 331
側面衝撃吸収システム..... 106, 107

た

タイプの表示..... 636
タイヤ..... 560
圧力..... 562, 651
ウインタータイヤ..... 578
回転方向..... 561
仕様..... 651
タイヤ空気圧表..... 651
タイヤプレッシャーモニタリング... 563
取り付け..... 576
取り外し..... 574
トレッド溝の深さ..... 578
トレッド磨耗インジケーター..... 562
パンク修理..... 568
保管..... 560
タイヤ空気圧表..... 651
タイヤ空気圧表示ラベル..... 562
タイヤサイズ..... 573, 582
タイヤの空気を充填する..... 572
タイヤプレッシャーモニター
調整..... 567
低タイヤ空気圧..... 566
タイヤモニタリング..... 563
高さ調整..... 477
脱着式トーイングブラケット..... 500
単位基準
トリップコンピューター..... 213

ち

チャイルドシート..... 110, 111
アッパーマウンティングポイント... 113
インテグレーテッドチャイルドシート..... 123
取付位置に関する表..... 116
ポジショニング/フィッティング.... 111
ロアマウンティングポイント..... 114
i-Size/ISOFIX マウンティングポイント..... 118
i-Size 表..... 122
ISOFIX 表..... 119
チャイルドセーフティ..... 110
チャイルドロック..... 308

つ

追突回避ステアリングアシスト..... 429
ツール..... 507, 579

て

ディーゼル..... 496
燃料切れ..... 497
ディーゼル微粒子除去フィルター..... 498
ディスプレイ照度..... 180
ディスプレイのメッセージ..... 151
管理..... 153
保存済み..... 154
低速コントロール..... 487
デイタイムランニングライト..... 182
データ
記録..... 23
データリンクコネクター..... 24
テールゲート
キック動作による開閉..... 303
パワーシート..... 300, 303
ロック/ロック解除..... 294, 296
デッドロック..... 293
解除..... 293
デフロスト..... 240
電気系統..... 609
電源ソケット..... 266
電動格納式ドアミラー..... 200

電動パーキングブレーキ..... 482
バッテリー電圧低下..... 485
電動パノラマルーフ..... 204
テンポラリースペアタイヤ
スペアタイヤ..... 577
電話..... 532
接続..... 533
通話..... 535, 537
テキストメッセージ..... 536
ボイスコントロール..... 161

と

ドアミラー..... 199
自動防眩機能..... 200
リセット..... 200
ドアミラーのリセット..... 200
冬季の運転..... 492
トウバー
折り畳み式..... 500
トーイングブラケット..... 500
仕様..... 502
時計、調節..... 142
塗装
カラーコード..... 633
塗装面の損傷と補修..... 633, 634
ドライバー・アラート・コントロール
操作..... 417
ドライバーディスプレイ
アプリケーションメニュー..... 149
メッセージ..... 151
ドライバーパフォーマンス..... 215
ドライビングモード..... 472
ドライブトレイン
トランスミッション..... 462
トラクション・コントロール..... 323
トラブルシューティング
アダプティブクルーズコントロール. 356
トランスミッション..... 462
オートマチック..... 463
トランスミッションオイル
グレード..... 647
トリップコンピューター.... 211, 213, 215
トリップメーター、リセット..... 213
トリップメーター(走行距離計)..... 211
トレーラー..... 506
ケーブル..... 503
蛇行 506
トレーラーなどのけん引..... 503
トレーラー・スタビリティ・アシスト323, 506
トレーラーなどのけん引
けん引重量..... 642
トウボール荷重..... 642
トレッド..... 562
トレッド溝の深さ..... 562, 578
トレッド磨耗インジケーター..... 562
トンネルコンソール..... 265
トンネルの検知..... 182

な

内装..... 631

に

二酸化炭素の排出..... 650
日常の手入れ..... 627
レザー製内装..... 631
荷物固定用アイレット
カーゴスペース..... 273
荷物の積み込み
概要..... 271
長尺物..... 272
荷物固定用アイレット..... 273
荷物の積み込みに関する推奨事項..... 271

ね

ネット
　カーゴスペース..... 277
燃料切れ
　ディーゼル..... 497
燃料計..... 142
燃料蒸気..... 495
燃料タンク
　容量..... 648

は

パーキングエアコンディショナー..... 252
　シンボルおよびメッセージ..... 258
パーキングヒーター..... 260
パーキングブレーキ..... 482, 483, 485
パークアシスト..... 431, 434, 436
　機能..... 431, 433
パークアシスト･カメラ 437, 439, 442, 444
　設定..... 441
パークアシスト・カメラのガイドライン 439
パークアシスト・カメラの限界..... 442
パークアシスト・パイロット..... 446
　機能..... 446
　機能の限界..... 451
　シンボルおよびメッセージ..... 453
　操作..... 447
パークアシスト・パイロット - PAP.... 446
ハイビーム..... 183
バイブレーションダンパー..... 500
バッグフック..... 274
バッグホルダー 274
バックレスト
　フロントシート、調節... 165, 166, 168
　リアシート、倒す..... 173, 175, 176
　リアシート、調節..... 172, 175
バッテリー..... 461, 609
　過負荷..... 491
　警告灯..... 612
　ジャンプスタート..... 461
　バッテリーに表示されているシンボル..... 612
　補助..... 613
　メイン..... 609
　メンテナンス..... 609
バッテリー電圧低下
　バッテリー..... 491
パノラマルーフ
　開閉..... 205
　サンブラインド..... 204
　ピンチプロテクション..... 208
　ベンチレーションポジション..... 205
バルブ、仕様..... 606
パワーウインド..... 197
　リセット..... 198
パワーウインドのリセット..... 198
パワーシート..... 165, 167
パワーセーブモード..... 491
パワーテールゲート..... 300, 303
パンク..... 568
ハンドブレーキ..... 482, 483

ひ

ヒーター..... 259
　ウインド..... 240
　シート..... 249
　ステアリングホイール..... 251
　パーキングヒーター..... 260
　補助ヒーター..... 261
ヒーテッドウォッシャーノズル..... 195
非常点滅灯..... 188
ビデオ..... 522, 523
　設定..... 517
ヒューズ
　エンジンルーム内..... 616
　カーゴスペース内..... 623
　概要..... 615

グローブボックス下..... 619
交換..... 615
ヒューズボックス..... 615
表示灯..... 137
表示ラベル
の位置..... 636
ヒル・スタート・アシスト..... 486
ヒル・スタート・アシスト(HSA).... 486
ヒルディセントコントロール..... 488
ピンチプロテクション、パノラマルーフ 208

ふ

ファン
エアディストリビューション..... 244
空気吹出口..... 245
コントロール..... 238
フェリー輸送..... 477
フォグランプ
フロント..... 187
リア..... 187
フットブレーキ..... 479, 481
フューエル..... 495, 496
燃費..... 650
プリコンディショニング..... 252
開始/停止..... 253
タイマー..... 254
フルード、容量..... 609, 648
フルードおよびオイル..... 647, 648
ブレーキ..... 479
アダプティブブレーキランプ 481
アンチロックブレーキシステム、ABS 479
停車時のオートブレーキ..... 486
ハンドブレーキ..... 482, 483, 485
ブレーキアシストシステム、BAS.... 481
ブレーキシステム..... 479
ブレーキランプ..... 188
ブレーキアシスト
衝突後..... 482
ブレーキ機能..... 479
ブレーキシステム
フルード..... 647
ブレーキフルード
グレード..... 647
ブレーキランプ..... 188
フロントシート
エアコンディショナー..... 231
温度..... 236
ヒーター..... 249
ファン..... 238
ベンチレーション..... 250
フロントシート、パワー
マッサージ..... 168
フロントシート、パワー..... 165, 167
シートの調節..... 166, 170
マルチファンクションコントロール 167, 168
メモリー機能..... 166
フロントシート、マニュアル..... 165
フロントワイパー..... 193
レインセンサー..... 194

へ

ヘッドライト
カバー..... 603
ヘッドライト光軸調整..... 180
ヘッドライト制御..... 178
ヘッドライト内の凝結水..... 627
ヘッドライトビーム
車高調節..... 180
ヘッドレスト..... 170
ベンチレーション..... 243, 244, 245
シート..... 250

ほ

ホイール
清掃..... 629
タイヤチェーン..... 578

取り付け..... 576
取り外し..... 574
ホイールおよびタイヤ
タイヤロードインデックスおよび速度記号..... 582
ホイール交換..... 573
ホイールボルト..... 577
ロック可能..... 577
ホイールリム、サイズ..... 582
ボイスコントロール..... 159
エアコンディショナー..... 163
設定..... 161
電話..... 161
マップナビゲーション..... 164
ラジオおよびメディア..... 162
方向指示器..... 189
防錆..... 630
ホームセーフライト点灯時間..... 192
ホーン..... 177
ポジションランプ..... 181
保守
防錆..... 630
補助バッテリー..... 613
補助ヒーター..... 261
ボンネット、開ける..... 593

み

磨き..... 630
水たまりでの運転..... 489

め

メイクアップミラー
ライト..... 191
メーター・パネルライト..... 180
メッセージおよびシンボル
アダプティブクルーズコントロール. 359
オートブレーキ機能付衝突警告システム..... 401
メディアプレーヤー..... 516
対応するファイルフォーマット..... 531
ボイスコントロール..... 162

も

モバイル対応オーナーズマニュアル..... 19

ら

ライセンス契約..... 546
ライト
アクティブハイビーム..... 183
アクティブベンディングライト..... 186
アプローチライト..... 193
コーナリングライト..... 187
コントロール..... 178, 190
自動点灯機能、車内..... 190
車内..... 190
照明スイッチ..... 180
ディスプレイ照度..... 180
デイタイムランニングライト..... 182
ハイビーム..... 183
バルブ、仕様..... 606
フォグランプ..... 187
ヘッドライト光軸補正..... 180
ホームセーフライト..... 192
ポジションランプ..... 181
メーター・パネルライト..... 180
リアフォグランプ..... 187
ロービーム..... 182
ラゲッジカバー..... 274
ラジオ..... 514
設定..... 516
ボイスコントロール..... 162
ラジオ放送局の変更および検索..... 514
ラベル
の位置..... 636
ラミネーテッドガラス..... 33
ランオフ・ロード・プロテクション.... 426

ランプ..... 600
トレーラー..... 505
ランプ、バルブ交換..... 600
デイタイムランニングライト/ポジションランプ..... 604
ハイビーム..... 604
フロント方向指示器..... 605
ロービーム..... 602

り

リアウインド
ウォッシャー..... 196
ヒーター..... 240
ワイパー..... 196
リアシート
エアコンディショナー..... 231, 233
温度..... 236
乗車/降車..... 175
前後位置の調節..... 172
バックレストの傾き調節..... 172
バックレストを倒す..... 173, 176
ヒーター..... 249
ファン..... 238
ヘッドレスト..... 170
リアドア
サンブラインド..... 199
リセット、トリップメーター..... 213
リフティングツール..... 581
リモートアップデート..... 589
リモートコントロール、HomeLink®
プログラム可能 208
リモートコントロールイモビライザー.. 307
リモートコントロールキー... 222, 282, 285, 290
運転者プロフィールへ接続..... 222
作動範囲..... 284
損失..... 282
脱着式キーブレード..... 297
電池の交換..... 304
リモートコントロールキーシステム、型式認定 313
リンプホーム..... 462

る

ルーフ荷重、最大重量..... 641
ルームミラー..... 201
自動防眩機能..... 201
ルームミラー/ドアミラー
インテリア..... 201
コンパス..... 202, 203
電動格納式..... 200
ドア..... 199
ヒーター..... 240
ルームランプ..... 190
オートマチック..... 190

れ

冷媒..... 599
エアコンディショナーシステム..... 648
レインセンサー..... 194
レーダーセンサー..... 344, 376
機能の限界..... 378
レーダーユニット..... 376
レーンアシスト
操作..... 421
レーンアシスト - Lane Keeping Aid (LKA)..... 418, 421, 422
レザー製内装、清掃方法..... 631

ろ

ロード・サイン・インフォメーション.. 410
機能の限界..... 415
操作..... 411, 413, 414
ロードインデックス..... 582
ロービーム..... 182
ロール・スタビリティ・コントロール.. 322

ロック
ロック..... 287, 291
ロック解除..... 287, 291
ロック/ロック解除
テールゲート..... 294, 296
ロック解除
キーブレード付き..... 298
車外から..... 287
ロック確認 290
ロックホイールボルト..... 577

わ

ワイパー/ウォッシャー..... 193
ワイパーブレード
交換..... 607
サービスポジション..... 606
ワックスがけ..... 630

A

A/C (エアコン)..... 234
ABS
アンチロックブレーキ..... 479
ACC(アダプティブクルーズコントロール)..... 344, 355
Android Auto..... 529
設定..... 530
Apple CarPlay..... 526, 527
AWD(全輪駆動)..... 479

B

BLIS(ブラインド・スポット・インフォメーション・システム)..... 402, 404
BLIS のエラーメッセージ..... 409
BLIS のメッセージ..... 409
Bluetooth
車両をインターネットに接続する... 540
接続..... 522
設定..... 539
電話..... 532

C

CD プレーヤー..... 521
City Safety..... 390, 393, 394, 398, 401
CO_2 エミッション..... 650
Cross Traffic Alert - CTA. 405, 406, 407
CTA - Cross Traffic Alert. 405, 406, 407
CZIP (クリーン・ゾーン・インテリア・パッケージ)..... 229

D

Drive-E
環境理念..... 26
Driver Alert Control..... 416
Driver Alert Control の限界..... 418

E

ECO プレッシャー..... 562, 651
ECO モード..... 475

F

Four-C..... 477
FSC、環境ラベル..... 33

G

Gracenote®..... 520
GSI(ギヤセレクターレバーアシスタンス)..... 465

H

HDC..... 488
HomeLink®..... 208

I

IAQS（インテリア・エア・クオリティ・システム)..... 229
IC（インフレータブルカーテン)..... 107
ID, Volvo..... 24
Individual ドライブモード..... 472
iPod®、接続..... 522
ITPMS - インダイレクト･タイヤ･プレッシャー・モニタリング・システム.. 563, 565, 566, 567

K

Key tag..... 282

L

Lane Keeping Aid (LKA).... 418, 421, 422

M

m, km/℃、yd, mi /℃、ft, mi/℉..... 141

P

PACOS（助手席エアバッグ･カットオフ･スイッチ)..... 104
PAP(パークアシスト・パイロット)..... 446
Pilot Assist361, 365, 367, 368, 369, 371, 373, 375
　追い越し..... 354
PIN コード..... 544

R

RSC（ロール･スタビリティ・コントロール)..... 322

S

Sensus
　接続およびエンターテイメント..... 30
Sensus Navigation..... 412
SIM カード..... 544
SIPS（側面衝撃吸収システム).... 106, 107
Start/Stop..... 468, 470
　エンジンが停止しない..... 470
　機能と操作..... 468

T

TSA(トレーラー・スタビリティ・アシスト）..... 323, 506
TV..... 524

U

USB
　車両をインターネットに接続する... 540
　メディア接続用ジャック..... 522

V

VOL マーク..... 560
Volvo ID..... 24

W

WHIPS（後部衝撃吸収リクライニング機構付フロントシート)..... 95

Wi-Fi
インターネット接続を共有、ホットスポット..... 541
車両をインターネットに接続する... 540
テクノロジーおよびセキュリティ... 543
ネットワークを削除..... 543

メモ

メモ

メモ

メモ

TP 23240 (Japanese), AT 1717, MY18, Copyright © 2000-2017 Volvo Car Corporation